

水吉VI遺跡発掘調査報告書

世増ダム関連遺跡発掘調査

序

本県には縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、8,700箇所及ぶ遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えてゆくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発とともに社会資本の充実も重要な一施策であります。特に幹線道路網の整備は、産業経済開発の大動脈として、多方面から期待されるところであります。

このような埋蔵文化財の保護、保存と開発との調和も今日的課題であり、当岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告の水吉VI遺跡は、雪谷川左岸の河岸段丘に立地し、平成3年・4年・5年の発掘調査によって、縄文時代・奈良時代及び中世の集落跡が発見され、当地方の歴史を解明するうえで、貴重な資料を得ることができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず埋蔵文化財に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、これまで発掘調査及び報告書作成にご協力、ご援助を賜りました農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所・（くろがね）軽米町教育委員会をはじめ関係各位に衷心より謝意を表します。

平成7年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 高橋 令則

例 言

1. 本報告書は、岩手県九戸郡軽米町大字軽米第24地割字水吉24ほかに所在する水吉VI遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
2. 本遺跡の発掘調査は、世増ダム建設に伴う緊急発掘調査である。調査は農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所と岩手県教育委員会との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
3. 岩手県遺跡台帳に登録されている遺跡番号はI F63-0361、調査略号はMYVI-91・92・93である。
4. 発掘調査は、平成3年度から5年度にわたって実施した。各年度の調査期間・調査面積は、次のとおりである。

平成3年度	7月16日～11月21日	5,000m ²	
4年度	4月14日～10月28日	16,900m ²	
5年度	4月12日～10月29日	26,660m ²	計48,560m ²
5. 発掘調査は、＜平成3年度＞濱田 宏・鈴木貞行・川村 聡 ＜4年度＞濱田 宏・佐々木信一・田中元明・柳田 磨 ＜5年度＞濱田 宏・高橋一浩が担当し、報告書の作成は、濱田 宏・高橋一浩・田中元明が分担して行った。執筆分担はそれぞれ本文中に示している。
6. 分析・鑑定は、次の方々及び機関に依頼した。（敬称略）

(1) 火山灰分析	三辻利一（奈良教育大学）
(2) 炭化穀類種子同定	パリノ・サーヴェイ株式会社
(3) 炭化樹種の同定	早坂松次郎（社団法人岩手県木炭協会）
(4) 石質鑑定	佐藤二郎（長内水源工業）
7. 遺跡の基準点測量は、株式会社ハイマーテックに委託した。
8. 野外調査・室内整理に際しては、次の方々から御指導、御協力をいただいた。（敬称略）鈴木克彦・木村鉄二郎・相沢 治・成田滋彦・畠山 昇（以上青森県埋蔵文化財調査センター）、市川金丸・成田誠治（以上青森県立郷土館）、田村俊之・豊田宏良（以上千歳市埋蔵文化財センター）、高橋信雄（岩手県立博物館）、農水省東北農政局八戸平原開拓建設事業所、軽米町教育委員会
9. 野外調査にあたっては、軽米町及び九戸村の方々に御協力をいただいた。
10. 調査に関わる記録、遺物等の資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

本文目次

序	
例言	
I. 調査に至る経過	1
II. 位置と環境	2
1. 遺跡の位置	2
2. 周辺の地形	2
3. 遺跡の立地	2
4. 地質と基本土層	2
5. 周辺の遺跡	5
III. 野外調査と室内整理の方法	9
1. 野外調査	9
2. 室内整理	10
IV. 検出された遺構と遺物	15
1. 縄文時代の竪穴住居跡と出土遺物	15
2. 縄文時代の竪穴状遺構と出土遺物	47
3. 古代の竪穴住居跡と出土遺物	61
4. 中世の竪穴住居跡と出土遺物	77
5. 掘立柱建物跡	83
6. 土坑と出土遺物	87
7. 陥し穴状遺構	87
8. 炉跡と出土遺物	171
9. 焼土遺構	174
V. 遺構外の出土遺物	175
1. 石器類	175
2. 縄文・弥生時代の土器類	199
3. 古代の土器	201
4. その他	201
VI. まとめ	214
1. 竪穴住居跡	214
2. 土坑	216

3. 陥し穴状遺構	218
4. 出土遺物	219
5. 水吉VI遺跡の集落の変遷	220
付篇 1 水吉VI遺跡出土火山灰の蛍光X線分析	223
2 大渡II遺跡他の古環境と植物利用	225

表目次

表 1 軽米町内の発掘調査遺跡	5	表 7 陥し穴状遺構観察表	162~164
表 2 周辺の遺跡一覧表	6	表 8 炉跡出土遺物一覧表	173
表 3 縄文竪穴住居跡・竪穴状遺構 出土石器一覧表	59・60	表 9 焼土遺構観察表	174
表 4 古代竪穴住居跡出土遺物一覧表	76	表 10 遺構外出土石器類一覧表	195~198
表 5 土坑観察表	88~113	表 11 遺構外出土土器類一覧表	211~213
表 6 土坑内出土遺物一覧表	159~161	表 12 竪穴住居跡一覧表	215
		表 13 土坑分類表	217

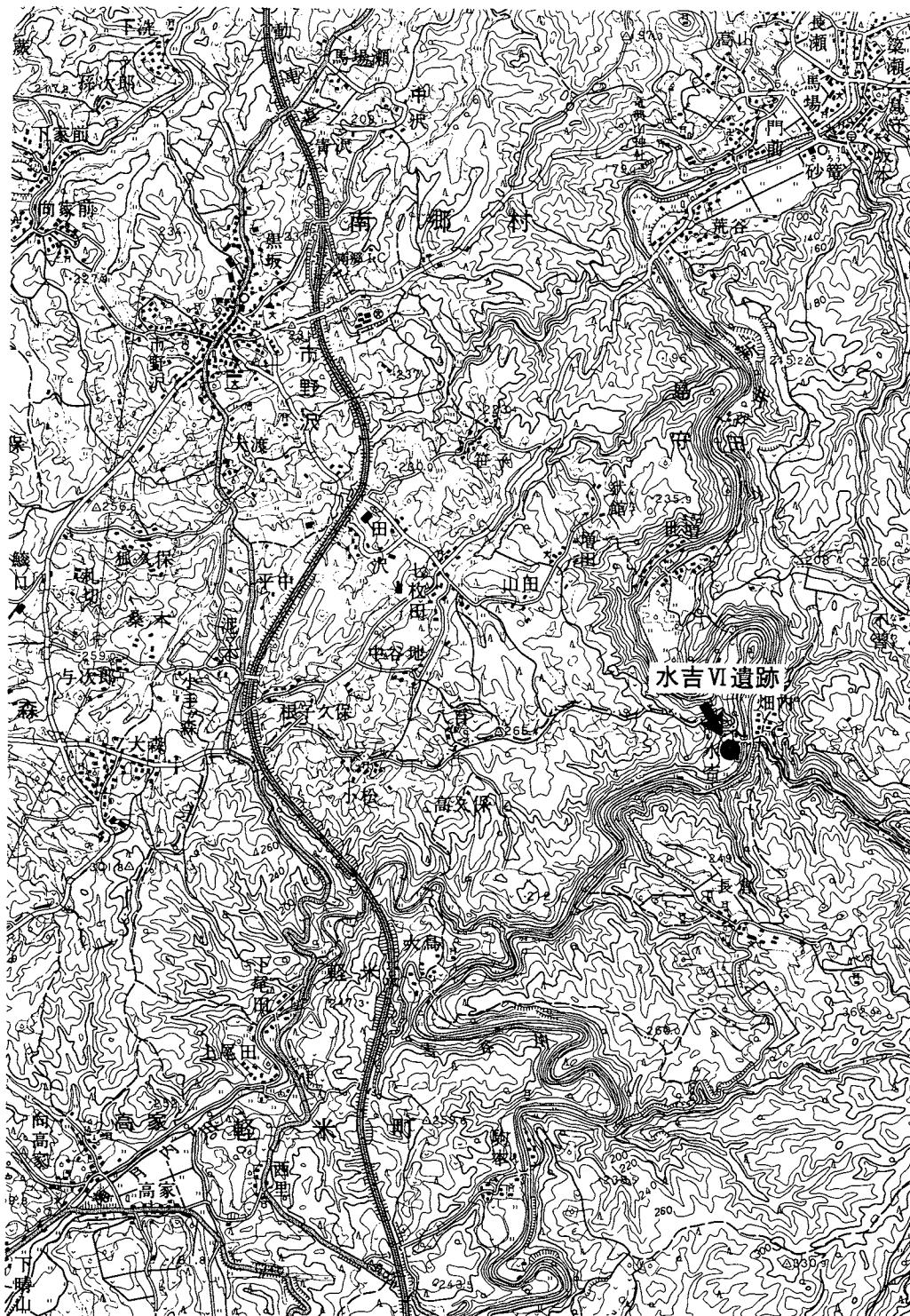
挿図目次

図 1 遺跡位置図		図 31 縄文第 1 号竪穴状遺構	48
図 2 地形分類図	3	図 32~33 縄文第 2 号竪穴状遺構(1)・(2)	49・51
図 3 基本土層	4	図 34~38 縄文第 3 号竪穴状遺構(1)~(5)	52・54~57
図 4 周辺の遺跡	7	図 39 縄文第 4 号竪穴状遺構	58
図 5 地形図とグリッド配置	11	図 40 古代第 1 号住居跡	62
図 6 遺構配置図	13	図 41 古代第 2 号住居跡	64
図 7・8 縄文第 1 号住居跡(1)・(2)	16・17	図 42 古代第 3 号住居跡	66
図 9~13 縄文第 2 号住居跡(1)~(5)	19~23	図 43 古代第 4 号住居跡	68
図 14~16 縄文第 3 号住居跡(1)~(3)	25~27	図 44 古代第 5 号住居跡	70
図 17~21 縄文第 4 号住居跡(1)~(5)	29~33	図 45 古代第 6 号住居跡	71
図 22~24 縄文第 5 号住居跡(1)~(3)	36~38	図 46・47 古代第 7 号住居跡(1)・(2)	74・75
図 25・26 縄文第 6 号住居跡(1)・(2)	39・40	図 48 中世第 1 号住居跡	77
図 27 縄文第 7 号住居跡	42	図 49 中世第 2 号住居跡	78
図 28~30 縄文第 8 号住居跡(1)~(3)	44~46		

図50 中世第3住居跡……………80	図107 炉跡出土遺物……………173
図51 中世第4号住居跡……………81	図108 焼土遺構……………174
図52 第1号掘立柱建物遺跡……………84	図109~127 遺構外出土石器類(1)~(19) ……………177~195
図53 第2号・3号・4号掘立柱建物跡……………85	図128~136 遺構外出土土器類(1)~(9) ……………202~210
図54 第5号掘立柱建物跡……………86	図137 円形陥し穴状遺構配列図……………218
図55~93 土坑(1)~(39) ……114~152	図138 円盤状石製品規模別柱状図……………219
図94~99 土坑内出土遺物(1)~(6) ……153~158	図139 水吉VI遺跡の集落変遷図……………221
図100~105 陥し穴状遺構(1)~(6) ……165~170	
図106 炉跡……………172	

写真図版目次

写真1 遺跡全景 ……228	写真97 縄文第5号住居跡出土遺物 ……324
写真2 遺跡遠景・立地状況 ……229	写真98 縄文第6号・7号住居跡出土遺物 ……325
写真3 基本土層 ……230	写真99 縄文第8号住居跡出土遺物 ……326
写真4~11 縄文第1号~8号住居跡 ……231~238	写真100 縄文第1号・2号竪穴状遺構 出土遺物 ……327
写真12~15 縄文第1号~4号竪穴状遺構 ……………239~242	写真101 縄文第3号竪穴状遺構 出土遺物(1) ……328
写真16~22 古代第1号~7号住居跡 ……243~249	写真102 縄文第3号(2)・4号竪穴状遺構 出土遺物 ……329
写真23~26 中世第1号~4号住居跡 ……250~253	写真103~109 古代第1号~7号住居跡 出土遺物 ……330~336
写真27~77 土坑(1)~(51) ……254~304	写真110 中世住居跡・縄文時代炉跡 出土遺物 ……337
写真78~83 陥し穴状遺構(1)~(6) ……305~310	写真111~116 土坑内出土遺物(1)~(6) ……338~343
写真84 掘立柱建物跡・炉跡(1) ……311	写真117~133 遺構外出土石器類(1)~(17) ……344~360
写真85 炉跡(2) ……312	写真134~139 遺構外出土土器類(1)~(6) ……361~366
写真86~88 焼土遺構(1)~(3) ……313~315	写真140 遺構外出土古銭 ……367
写真89 縄文第1号住居跡出土遺物 ……316	
写真90~92 縄文第2号住居跡 出土遺物(1)~(3) ……317~319	
写真93~94 縄文第3号住居跡 出土遺物(1)・(2) ……320~321	
写真95~96 縄文第4号住居跡 出土遺物(1)・(2) ……322~323	



1:50,000 三戸

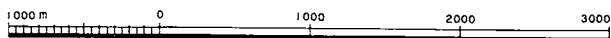


图1 遺跡位置図

I 調査に至る経過

水吉VI遺跡は「八戸平原開拓建設事業」に関連して、農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所の委託を受けて緊急発掘調査された。この事業は、豊かな農村社会の建設と地域農業の発展および生産性の高い経営を図ることを目的として昭和51年に事業化されたものである。

この事業に関連する遺跡群は岩手県と青森県にわたって分布しており、岩手県に所在する遺跡の扱いについては八戸平原開拓建設事業所と岩手県教育委員会文化課との間で協議がなされた。発掘調査は3ヵ年にわたったが、初年度の調査に至るまでの経過は次のとおりである。

平成3年1月10日付「3八戸第20号」により、八戸平原開拓建設事業所長から東北農政局長にあてて、事業にともなう水没地内の埋蔵文化財発掘調査について文化庁長官に通知をするよう依頼した。

平成3年1月28日付「3北建第65号(開)」により、東北農政局長から岩手県教育委員会を経由して文化庁長官に発掘の通知をした。

平成3年2月16日付「教文第7-94号」により、岩手県教育委員会教育長から東北農政局長あてに、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成3年2月28日付「教文第943号」により、岩手県教育委員会教育長から八戸平原開拓建設事業所長あてに、平成3年度の財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査事業として遺跡全体の内5,000㎡とした旨を通知した。

平成3年3月7日付「3八戸第20号」により、八戸平原開拓建設事業所長から岩手県文化振興事業団理事長あてに埋蔵文化財発掘調査承諾書を提出した。

以上のような経過をへて平成3年7月10日付で東北農政局長と財団法人岩手県文化振興事業団理事長との間で、発掘調査について委託契約を締結し、7月16日から調査に着手した。

(鈴木恵治)

II 位置と環境

1. 遺跡の位置

本遺跡の所在する軽米町は岩手県の北端に位置し、東は岩手県種市町と大野村、南は山形村、九戸村、西は二戸市に接する。北は青森県の名川町、南郷村、階上町と接し、遺跡はその県境付近にある。八戸自動車道軽米インターチェンジからは、北北東に約5.5kmの距離があり、その地点は北緯40度22分13秒、東経141度28分57秒付近である。

2. 周辺の地形

軽米町は、北端を青森県八戸市、南端を宮城県牡鹿半島に持つ北上山地の北部にある。この山地は岩手県の東側にあり、県全体のおよそ3分の2の面積を占める。山地の中央部が最も高く、南北に向かうに従って低くなる。

軽米町周辺には、北東に階上山(740m)、久慈平岳(706m)、南西に折爪岳(852m)、南に霧岳(567m)の山々があり、軽米はこれらの山によって囲まれた標高200m～400mの丘陵地である。

軽米町の西部を瀬月内川が、東部を雪谷川が流れるが、この2つの河川は軽米町北部の大鳥付近で合流し、新井田川と名を代えて八戸市で太平洋に注ぐ。前述の丘陵はこれらの河川によって開析されたものである。

3. 遺跡の立地

本遺跡は、軽米町最北端部を流れる新井田川によって開析された河岸段丘上にある。標高は98m～110mで北西から南東方向に緩やかに傾斜している。この段丘は高位面と低位面の2面からなるが、遺構の集中する地区は、高位面の上位と下位である。低位面については、水田を造成した際にかかなりの深さで削平されている。

4. 地質と基本土層

軽米町周辺の地質は、主にチャート、粘板岩、硬砂岩、輝緑凝灰岩などから構成される古生層が基盤として分布している。軽米町の西側の二戸市付近では、砂岩、安山岩、凝灰岩、礫岩などを主体とする新世代第三紀層に変わる。これらの地域は、いずれも表層を十和田系と推定される火山砕屑物によって被われている。それらは古期のものから、更新世では天狗平火山灰層、高館火山灰層、八戸火山灰層、完新世では二ノ倉火山灰層、南部浮石層、中振浮石層、十和田b降下火山灰、十和田a降下火山灰である。

本遺跡でも、山際の高いほうは十和田系砕屑物が、段丘の先端に向かって粘土混じりの円礫

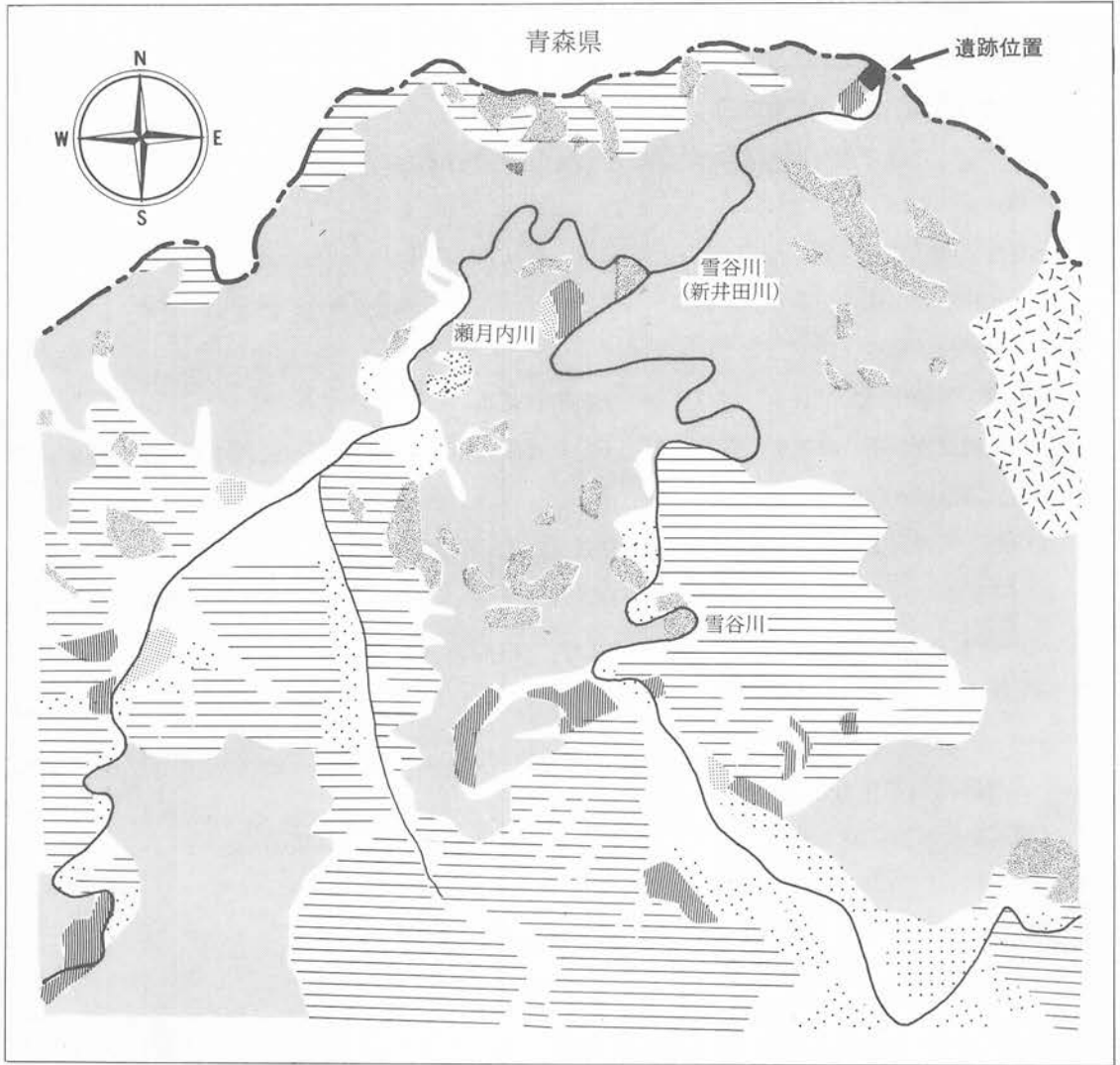


图 2 地形分類図

～シルト質土の高位段丘堆積物が堆積する。その境界は遺跡のほぼ中央部を横断している。

調査区では基本的には図3のような層序が観察される。山際の斜面部では、崖錘による角礫が厚く堆積している。また削平が著しく、表土を除去するとすぐに南部浮石層や八戸火山灰層がみられるところがある。

第I層 黒褐色土 (10Y R2/2) シルト

耕作土。径3cm～10cm大の小角礫を含み、下位にいくほど締まり、また粘性も増す。層厚は40cm前後。

第II層 暗褐色土～黒色土 (10Y R2/1～3/3) シルト

灰白色火山灰の小ブロックおよび径3cm～10cm大の小角礫を含み、やや粘性がある。層厚は10cm前後。

第III層 黒色土 (10Y R1.7～2/1) シルト～砂質シルト

上位に十和田b降下火山灰を含み、下位には南部浮石粒がわずかに混入する。硬く締まる。層厚は20cm前後。

第IV層 黒褐色土 (10Y R2/2) 中振浮石相当層

中振浮石粒および南部浮石粒を全体に含む。硬く締まり、やや粘性がある。層厚は10cm～40cm。

第V層 黒色土 (10Y R2/1)

粘土質シルト

南部浮石粒を10%～20%含む黒色土。粘性があり硬く締まる。層厚は35cm～45cm。

第VI層 褐色土 (10Y R4/6)

南部浮石層

層厚は30cm前後であるが、場所によっては最大50cmに及ぶところがある。

第VII層 黒褐色土～褐色土

(10Y R3/2～4/4)

八戸火山灰層

最上部には粘性のある層厚10cmほどの黒褐色土の層がみられ、その下にクリーム色の浮石を含む褐色土が堆積している。層厚は1m以上。

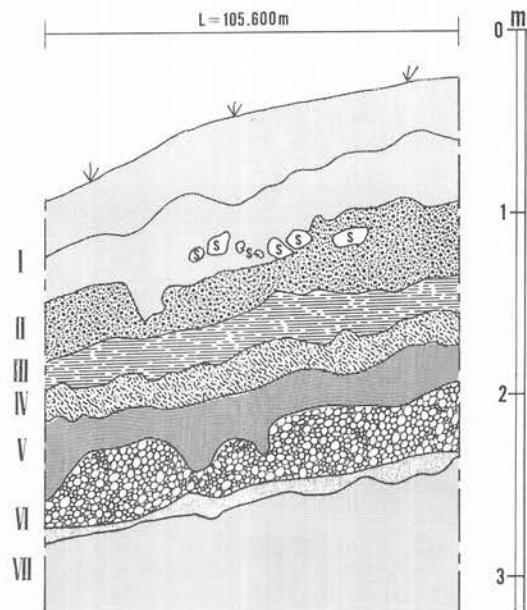


図3 基本土層

5. 周辺の遺跡

軽米町内および青森県南郷村に分布する遺跡について、図4に示した。軽米町の資料は駒板遺跡報告書（鈴木恵治ほか、1986）から抜粋し、南郷村分は、全国遺跡図〈青森県〉（文化庁、1981）から一部を取り上げたものである。なお、軽米町内の発掘調査された遺跡の内容については、表1にまとめているので参照されたい。（濱田）

表1 軽米町内の発掘調査遺跡

遺跡名	遺跡番号	種別	報告書	内 容	
				遺 構	遺 物
土弓Ⅰ遺跡	293	集落跡	岩埋文報告書50	土坑	縄文（早・晩）
粧口Ⅰ遺跡	335	散布地	175	住居…縄文（早）、古代（奈）土坑、陥し穴	縄文（早）、土師器
馬場野Ⅰ遺跡	305	集落跡	68	住居…縄文（中・後・晩）土坑、陥し穴など	縄文（前～晩）
馬場野Ⅱ遺跡	310	集落跡	99	住居…縄文（中～晩）、弥生	縄文（中～晩） 弥生
叭屋敷Ⅰa遺跡	308	集落跡	61	住居…縄文（前～晩）、古代（奈）土坑、陥し穴	縄文（前～晩） 弥生、青竜刀形石器
叭屋敷Ⅰb遺跡		集落跡	63	住居…縄文（前～後）、古代（平）土坑、陥し穴	縄文（前～晩） 赤色顔料塊など
叭屋敷Ⅱ遺跡		集落跡	47	住居…縄文（中・後）、古代（平）土坑	縄文（中・後） 土師器
叭屋敷Ⅲ遺跡		集落跡	48	住居…縄文（中・後）土坑、焼土遺構	縄文（前～晩）
大日向Ⅱ遺跡	309	散布地	100	住居…縄文（早～晩）、古代（奈・平）土器埋設、土坑など	縄文（早～晩） 土師器など
駒板遺跡	428	集落跡	98	住居…縄文（後・晩）、古代（奈）中世、土坑、陥し穴、密銭鑄造跡	縄文（後・晩） 土師器など
長倉No14遺跡	—	散布地	10	土坑	縄文（前～後）
長倉Ⅰ遺跡	114	散布地	25	土坑	縄文（前～後）
大堤Ⅱ遺跡	334	散布地	119	住居…古代（平）畑地跡、土坑、陥し穴	縄文（後・晩） 土師器など
君成田Ⅳ遺跡	402	集落跡	62	住居…縄文（中～晩）、古代（奈）陥し穴、土坑	縄文（中・後）
沼Ⅰ遺跡	167	散布地	135	なし	縄文
皂角子久保遺跡	345	散布地	129	土坑、陥し穴	縄文、土師器、木器など
玉川鉄山跡	—	製鉄跡	軽米町教育委員会	製鉄炉、製錬炉、物原など	陶磁器、鉄滓、炉壁
水吉Ⅵ遺跡	106	集落跡	本報告書	住居…縄文（早・中・晩）古代（奈）、土坑、陥し穴	縄文（早～晩）、 土師器、鉄滓、古銭

表2 周辺の遺跡一覧表

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名		
1	昼場	49	外長根	96	小松III	144	高清水II	192	高家中山II	240	外川目I	288	駒木III	336	椈口II	384	上平III
2	千石屋敷	50	畑内	97	高久保I	145	〃III	193	〃III	241	〃II	289	尾田VI	337	新田I	385	谷地渡V
3	櫛引	51	泉清水(1)	98	〃II	146	〃IV	194	〃IV	242	〃III	290	駒木Ⅻ	338	〃II	386	上平IV
4	上野平(1)	52	〃(2)	99	〃III	147	〃V	195	西里I	243	釜ノ皮III	291	土弓II	339	山口I	387	〃V
5	盲堤沢(1)	53	〃(3)	100	水吉I	148	〃VI	196	〃II	244	外川目IV	292	〃III	340	新田III	388	中村I
6	〃(2)	54	砂子崎	101	〃II	149	〃VII	197	〃III	245	昼場II	293	〃I	341	皂角子久保V	389	上平IV
7	古宮	55	大森西山	102	〃III	150	古屋敷I	198	〃IV	246	染ヶ沢III	294	大日向III	342	?	390	中村II
8	白山平(1)	56	馬場瀬(1)	103	〃IV	151	〃II	199	中崎V	247	昼場III	295	土弓V	343	小沼I	391	山内駒木I
9	〃(2)	57	〃(2)	104	〃V	152	〃III	200	内城III	248	大崎山I	296	坂ノ上	344	皂角子久保VII	392	〃II
10	湯浅屋新田(1)	58	石ノ窪遺跡	105	長倉III	153	〃IV	201	中崎VI	249	〃II	297	駒木Ⅺ	345	〃VI	393	〃III
11	〃(2)	59	石ノ門次郎遺跡	106	水吉VI	154	間屋苅I	202	内城IV	250	〃IV	298	〃II	346	小沼II	394	〃IV
12	鍋久保			107	〃VII	155	高清水VIII	203	〃V	251	〃III	299	大日向I	347	貝喰I	395	千草
13	糠塚	60	上野場I	108	大鳥VII	156	〃IX	204	〃VI	252	沼の狐森	300	横井内I	348	〃II	396	和当地I
14	笹の沢頭	61	〃II	109	〃IX	157	昼場I	205	〃VII	253	染ヶ沢IV	301	〃III	349	〃III	397	〃II
15	田面水平(1)	62	〃III	110	下尾田II	158	内場I	206	〃VIII	254	早渡I	302	土弓IV	350	〃IV	398	〃III
16	〃(2)	63	〃IV	111	大鳥III	159	昼場II	207	〃IX	255	川向	303	〃VI	351	〃V	399	〃IV
17	高山(1)	64	〃V	112	〃IV	160	長久保I	208	〃X	256	早渡II	304	?	352	山口III	400	中山V
18	〃(2)	65	小手屋森I	113	長倉小学校庭	161	〃II	209	染ヶ沢	257	向山岸I	305	馬場野I	353	〃IV	401	〃VI
19	〃(3)	66	ぬかり	114	長倉I	162	〃III	210	染ヶ沢II	258	〃II	306	中山I	354	〃V	402	君成田IV
20	江花沢	67	小手屋森II	115	大鳥I	163	〃IV	211	中崎Ⅻ	259	外川目V	307	八幡宮	355	〃VI	403	〃III
21	東山	68	〃III	116	ふん館跡	164	〃V	212	上晴山IV	260	〃VI	308	吠屋敷	356	〃VII	404	〃II
22	下横沢(1)	69	尾田II	117	尾田IV	165	〃VI	213	〃V	261	〃VII	309	大日向II	357	〃VIII	405	君成田
23	〃(2)	70	下野場II	118	大鳥VI	166	〃VII	214	中崎Ⅺ	262	京仏I	310	馬場野II	358	〃IX	406	君成田VII
24	勘左エ門山	71	下野場館	119	〃VII	167	沼I	215	西ノ角IV	263	外川目Ⅲ	311	〃III	359	荒田沢I	407	〃V
25	千日沢	72	下野場III	120	柳久保I	168	〃II	216	上晴山VII	264	〃IX	312	岸里III	360	〃V	408	〃VI
26	八地役	73	〃IV	121	長倉II	169	長久根VIII	217	西ノ角I	265	御前水古墳	313	軽米城	361	〃III	409	中山III
27	中野	74	笹目I	122	〃III	170	嘉六II	218	〃II	266	外川目X	314	中山II	362	太田向II	410	〃IV
28	下洗	75	下野場I	123	柳久保III	171	〃III	219	上晴山VI	267	〃XI	315	岸里II	363	〃III	411	袖の平
29	田屋久保	76	笹目II	124	〃IV	172	加賀屋敷I	220	西ノ角III	268	〃Ⅻ	316	沼田I	364	貝喰I	412	諏訪の森
30	三台山	77	〃III	125	館森	173	嘉六IV	221	高館	269	京仏IV	317	〃III	365	太田向IV	413	千本松
31	田ノ沢	78	〃IV	126	嘉六I	174	〃V	222	晴山館	270	外川目	318	向川原	366	〃I	414	天馬沢
32	市野沢笹子	79	苅敷山I	127	上野場VII	175	〃VI	223	下晴山I	271	御前清水	319	沼田II	367	山内下平III	415	平中
33	状館(1)	80	〃II	128	上野場向V	176	〃VII	224	柏木田I	272	上尾田I	320	岸里I	368	柳	416	上館
34	〃(2)	81	湯沢I	129	上野場山根I	177	中崎I	225	〃II	273	〃II	321	板子屋敷I	369	大久保頭I	417	松脇
35	増田(1)	82	苅敷山III	130	〃II	178	〃II	226	〃III	274	〃III	322	〃II	370	〃II	418	古館
36	〃(2)	83	〃IV	131	上野場向	179	加賀屋敷II	227	〃IV	275	〃IV	323	〃III	371	山内下平V	419	百目金
37	〃(3)	84	〃V	132	上野場向II	180	中崎III	228	〃V	276	大鳥II	324	大仙森	372	荒田沢IV	420	小屋の沢
38	十文字	85	湯沢II	133	上野場山根II	181	上晴山I	229	市子屋敷I	277	駒木V	325	上ノ山I	373	〃V	421	高屋敷
39	島守館跡	86	〃III	134	上野場向III	182	〃II	230	〃II	278	〃VI	326	観音林I	374	朝草沢I	422	まつっこ
40	下荒谷	87	〃IV	135	上野場山根IV	183	中崎IV	231	〃III	279	〃VII	327	皂角子久保II	375	〃II	423	山内
41	荒谷	88	下尾田IV	136	〃V	184	上晴山III	232	釜ノ皮I	280	〃VIII	328	〃III	376	上平I	424	狄塚I
42	向山	89	〃III	137	?	185	向高家中I	233	長者森I	281	〃IX	329	観音林II	377	〃II	425	〃III
43	松石橋	90	尾田・小松I	138	上野場山根VI	186	〃II	234	〃II	282	駒木庚申塚	330	〃III	378	大久保頭III	426	〃II
44	下山	91	〃II	139	上野場	187	向高家	235	向山岸I	283	駒木	331	〃IV	379	大久保尻	427	〃IV
45	持金沢	92	〃III	140	上野場山根VII	188	向高家中II	236	高家館	284	駒木Ⅺ	332	皂角子久保IV	380	谷地渡I	428	駒板
46	四ツ役	93	小松I	141	上野場向IV	189	尾田館	237	取揚岸I	285	尾田VIII	333	大堤I	381	〃II	429	山田
47	田ノ上	94	〃IV	142	上野場山根IX	190	尾田V	238	〃II	286	駒木I	334	〃II	382	〃III	430	板橋沢
48	馳下り(1)	95	〃II	143	高清水I	191	高家中山I	239	釜ノ皮II	287	尾田	335	椈口I	383	〃IV		

※ 青森県 (1~59)
 岩手県 (60~430)



図4 周辺の遺跡

III 野外調査と室内整理の方法

1. 野外調査

[グリッドの設定]

調査の開始年度である平成3年度の調査の際に、平面直角座標第X系の公共座標軸を使用して、遺跡全体にグリッドを設定した。平成3年度の調査区は遺跡の南西端にあたり、その区域内に基準点1と基準点2を設置した。その座標値は、

基準点1 X=41302.206m、Y=55050.851m H=103.390m

基準点2 X=41300.767m、Y=55100.708m H=100.016m

である。この2点を利用して調査区全域にメッシュを組み、基準点1から西へ50m、北へ350mの地点に座標の原点を定めた。原点から東と南に50mの大グリッドを設け、東へはI、II、III……のローマ数字、南へはA、B、C……の大文字のアルファベットを付した。また、小グリッドは更に大グリッドを東と南に10等分し、東へは1、2、3……の算用数字、南へはa、b、c、……の小文字アルファベットを付した。グリッド名はそれらの組み合わせにより、IA1a、IIB2b、IIIC3c、のように表した。

[粗掘]

かつては、遺跡内に民家や畑地があったが、調査開始時には立ち退き後数年が経過しており、ほとんどが荒地の状態であった。各年度とも草木の刈払いから調査を開始し、その後斜面の傾斜に沿って1.5m幅のトレンチを入れ、遺物の出土状況や土層の確認などを行った。その結果、遺物の出土をみた付近や表土の薄い部分は手掘りによる粗掘を行い、その他の部分については重機を使用した。特に畑地造成やビニールハウス建設の際に削平されていないところは、検出面までの深さが1m以上あったため、全域にわたり重機を稼働した。

[遺構検出と遺構名]

遺構が検出された層位は、古代では第II層下部～第III層上部の黒色土、縄文時代では第V層黒色土下部から第VII層の八戸火山灰層にかけてである。

遺構名は、野外調査の際にはその遺構が属するグリッド名をあてた。複数のグリッドに遺構がまたがる場合には、占める割合の大きいほうのものをつけた。室内整理の際には、遺構毎に連番を付し、第1号住居跡、第2号土坑のように呼称した。

[精査と実測]

原則として竪穴住居跡は4分法で、土坑、陥し穴状遺構等は2分法で精査した。住居跡内の遺物の取り上げ方は、大きく埋土と床面の2つに分け、埋土の遺物は4分割したものをQ1～Q4の区画名にして取り上げた。床面の遺物は番号を付し、平面図に図化した後に取り上げた。

図面の縮尺は20分の1とし、簡易遣り方実測を行った。

[写真撮影]

野外での写真撮影は35mm判2台（モノクロ、カラーリバーサル）と6×7cm判のモノクロ1台を使用した。6×7版については省略している場合がある。

2. 室内整理

[遺構図面]

実測した図面の座標、基準高、セクションポイントの位置などを確認し、必要な際には第2原図を作成した。その後トレース、図版作成を行った。

本報告書の図版の縮尺は、下表に示したとおりである。

[遺物の処理]

遺物の水洗は野外調査の雨天時に処理し、室内では注記、接合、復元の順に作業を進めた。各年度ごとに、遺物の個体数が確定した時点で仮番号をつけ、登録作業を行った。最終年度の平成5年度には、3カ年分の再登録をして必要に応じて報告書に掲載した。

[遺物実測図と拓本]

遺物の実測は可能なかぎり原寸で行い、実測の不可能な土器の小破片は拓本を採った。石器類は実測と同時に計測も行った。

[遺物図版]

トレース後に遺物の図版を作成した。報告書に掲載した実測図の縮尺は、次に示したとおりである。遺構外の出土遺物については、図版内に示している。

	縄文住居跡	古代住居跡	中世住居跡	掘立柱建物跡	土 坑	陥し穴	炉跡	焼土
遺構	$\frac{1}{40} \cdot \frac{1}{60}$ (第4号住)	$\frac{1}{60}$ (カマド) $\frac{1}{30}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{120}$	$\frac{1}{40}$	$\frac{1}{40}$	$\frac{1}{20}$	$\frac{1}{30}$
遺物	礫石器	剥片石器	土師器	砥石	礫石器	剥片石器	—	$\frac{1}{3} \cdot \frac{1}{6}$
	$\frac{1}{3} \cdot \frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{2}{9}$	$\frac{1}{3}$		
	大型土器	その他	土製品	鉄製品	土器	拓本		
	$\frac{1}{4}$	$\frac{3}{8} \cdot \frac{1}{3}$	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{4} \cdot \frac{1}{6}$	$\frac{1}{3}$		
			$\frac{1}{3}$	—				

[遺物撮影]

遺物の撮影は年度毎に当センターで行った。35mmのモノクロ撮影である。

[写真図版]

遺物、遺構とも縮尺は不定である。また、遺物の実測図版と写真図版の番号は一致している。
(濱田)



図5 地形図とグリッド配置

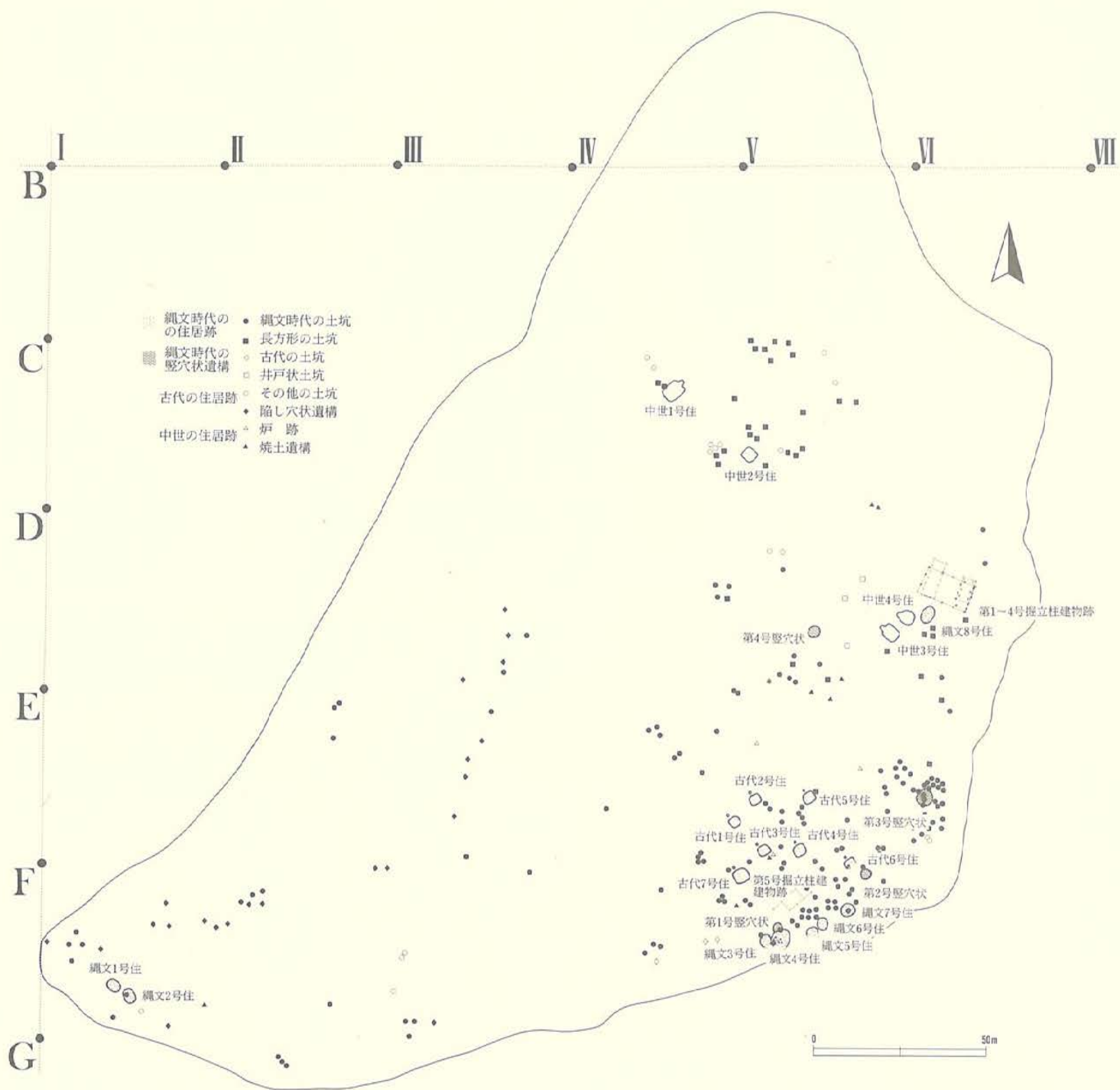


図6 遺構配置図

IV 検出された遺構と遺物

1. 縄文時代の竪穴住居跡と出土遺物

住居跡の遺構名は、年度毎にグリット名の若い順に連番を付し、第1号住居跡、第2号住居跡……と呼称した。

縄文第1号住居跡

本遺構は、ビニールハウス建設の際に一部が削平されており、斜面下方の壁は数cmしかたたない。表土を15cmほど除去した段階で、南部浮石層に暗褐色の円形の輪郭が検出された。

遺構（図7、写真図版4）

（位置）調査区南西端の傾斜が緩やかになりはじめる変換点に位置する。（重複）なし

（埋土）黒褐色土と暗褐色土を基調とし、部分的に黒色土、褐色土のブロックを含む。攪乱が見られるが、人為的なものではない。

（平面形）隅丸長方形状（規模）4.0m×4.8m

（壁）北壁が外反する以外は外傾ぎみに立ち上がる。壁高は8～58cmである。

（床面）斜面下方の壁際は南部浮石層を床面とし、その他は八戸火山灰層を床面とする。全体に平坦で、硬く締まる。

（柱穴）PP1～PP19の19個が検出された。この住居跡は壁のかなり内側に周溝を持ち、建て替拡張されていると考えられるが、PP1～PP7は拡張前の住居跡に伴い、PP8～PP14は拡張後のものに伴う。PP1～PP4は拡張後にも支柱穴として使用されていたと思われる。PP15～PP18はどちらの住居跡に伴うか不明であるが、PP18からは土器片が出土している。PP19は新期の杭跡である。

（炉）地床炉が2基確認された。1基は住居跡のほぼ中央に、もう1基は西壁寄りの周溝の内側にあり、厚さはそれぞれ最大で10cmと5cmである。検出状況から同時使用と考えられる。

（炭化材）床面直上に10片の炭化材が検出された。焼失に伴うものと考えられるが、焼土は確認されていない。樹種については図7の付表に示している。

（その他）周溝の東側が50cmほど切れているが、出入口であろう。

（時期）縄文時代中期初頭

遺物（図8、写真図版89）

（石器）1は使用痕を有する剝片、2は凹石で、両側面に敲打の痕跡も持つ。3は磨製石斧で、ほぼ中央付近で折れており、欠損した基部は出土しなかった。両刃で全体によく研磨されている。4は半円状の磨石で、分類では半円状偏平石器とした。半円の部分と反対側の面に擦痕が認められる。

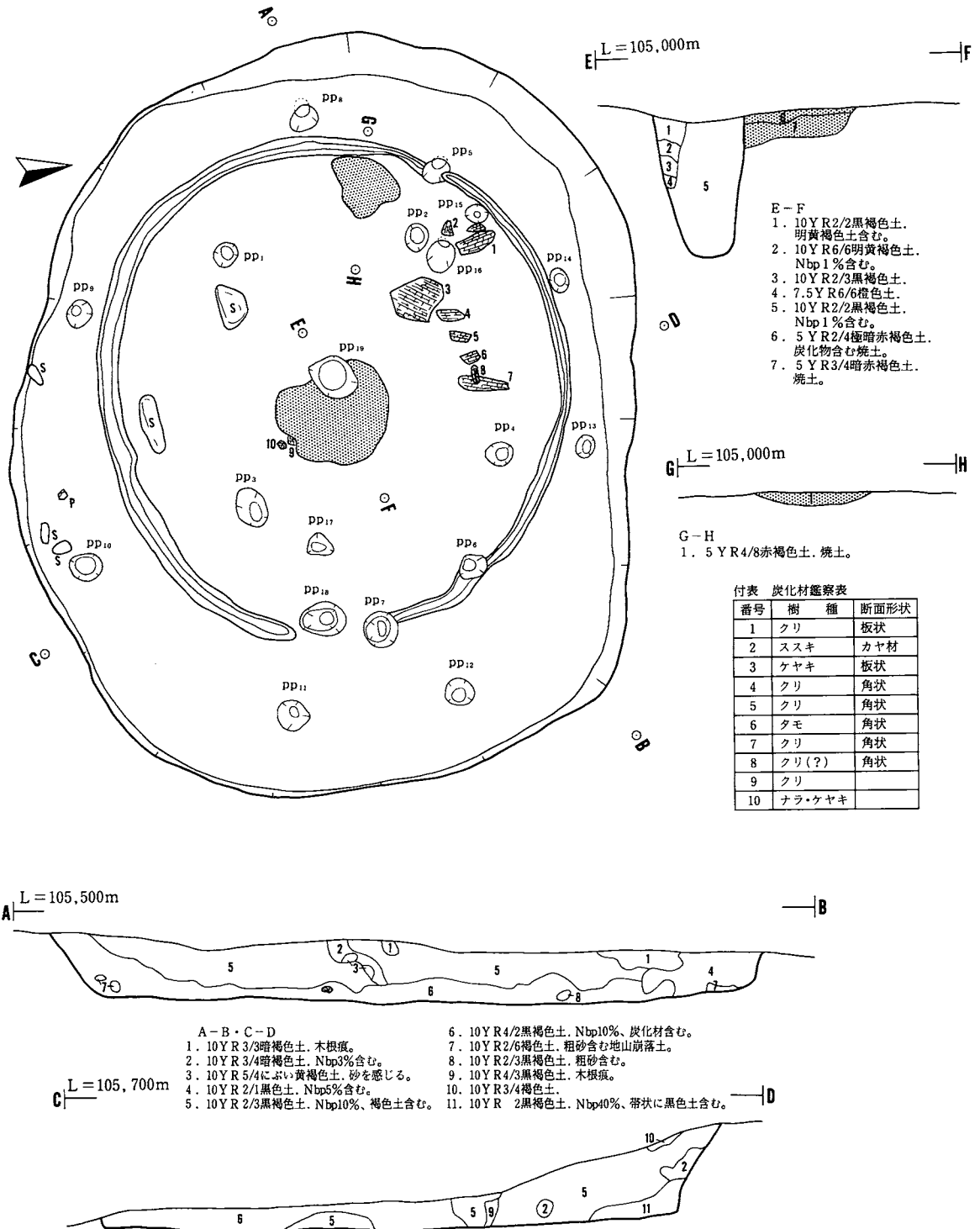


図7 縄文第1号住居跡(1)

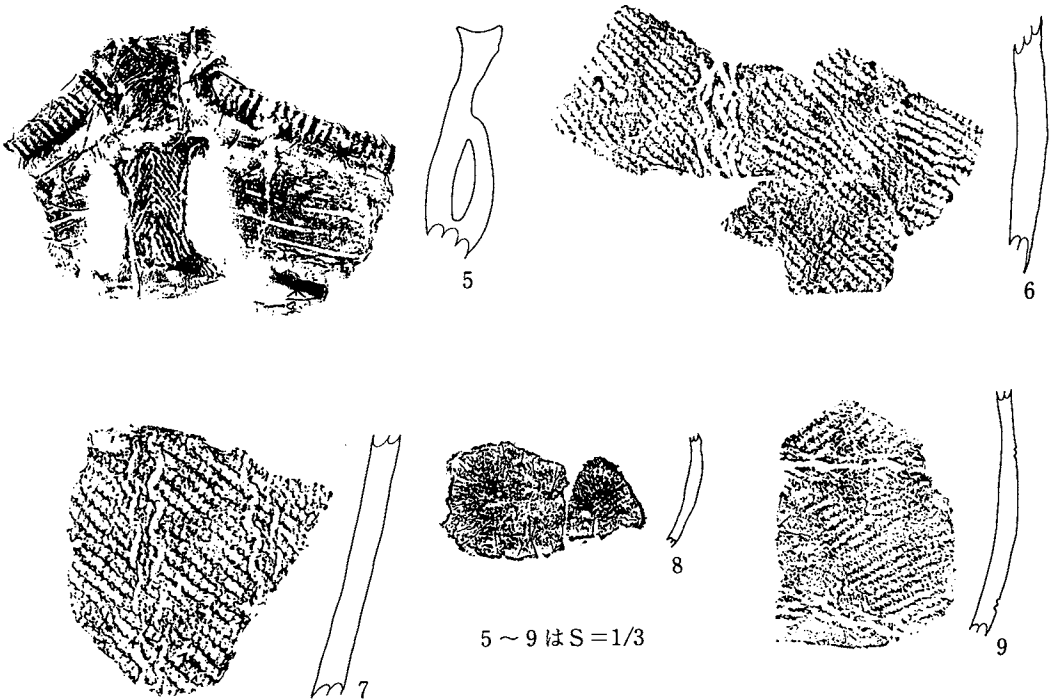
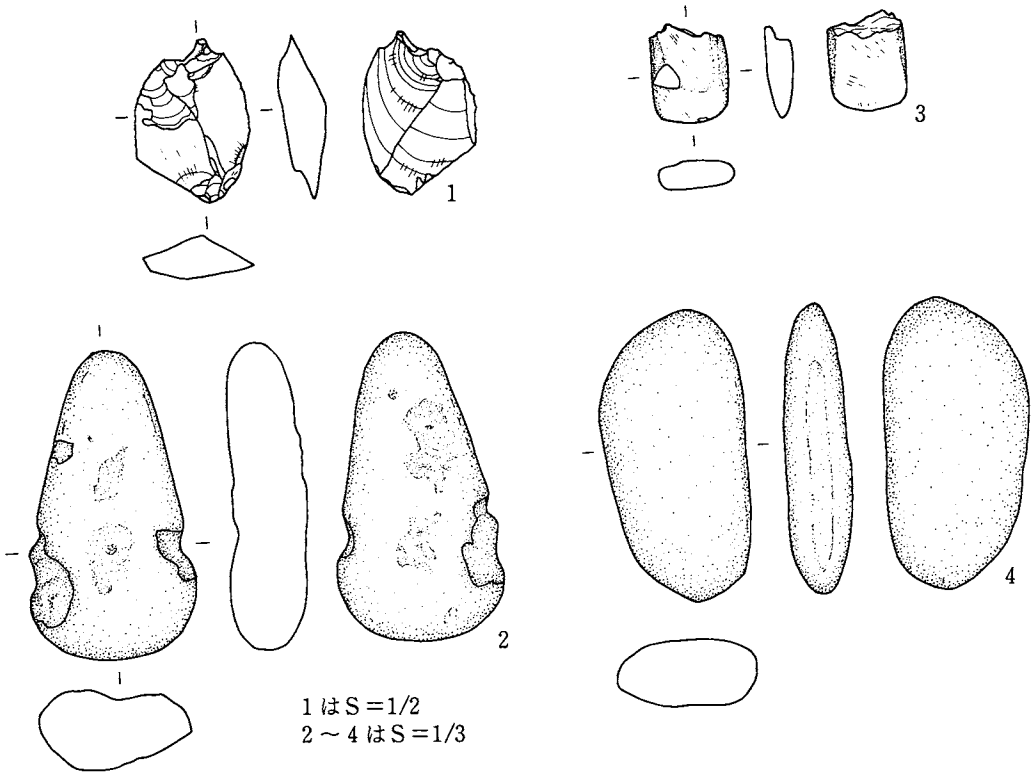


図8 縄文第1号住居跡(2)

(土器) いずれも埋土からの出土で量は少ない。深鉢4点、小型鉢1点を掲載した。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
5	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	弁状突起、撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕、橋状把手(羽状縄文付)		8	89
6	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	体部	複節斜行縄文、縦位綾絡文	ミガキ	8	89
7	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	体部	複節斜行縄文、縦位綾絡文	ミガキ	8	89
8	縄文第1号住居跡	埋土	小型鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	8	89
9	縄文第1号住居跡	埋土	深鉢	体部	単節斜行縄文、横位綾絡文	ナデ	8	89

縄文第2号住居跡

本遺構も削平を受けているが、掘り込みが深く遺物の残存状況は良好である。第1号住居跡と同様に、南部浮石層上位面で検出されたが、斜面の下方では輪郭が不明瞭であった。

遺構(図9、写真図版5)

(位置) 第1号住居跡と同じ傾斜変換点にあり、住居間の距離は北西方向に約80cmである。

(重複) 住居内に第2号土坑が検出された。本遺構のほうが新しい。

(埋土) 上位は暗褐色土、下位は黒褐色土を主体とし、黒色土を壁際に含む。一部杭跡などによる攪乱が認められる。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.7m×4.5m

(壁) すべて外反ぎみに立ち上がる。壁高は10~44mである。

(床面) 第1号住居跡と同じ状況であるが、一部に貼り床を持つ。

(柱穴) P P1~P P25の25個が検出された。住居跡の支柱穴と思われるものはP P1とP P2、副柱穴はP P3~P P13で、すべて壁際に配置されている。P P20~P P25は周溝内にある柱穴である。P P16は新期の杭跡で、P P14、P P15、P P17、P P18は住居跡に伴うか不明である。

(炉) 住居跡の中央部に地床炉が2基確認された。同時使用されていたと考えられる。厚さは4~7cmである。

(炭化材) P P2付近に5片の炭化材が検出された。いずれも床面直上からの出土である。焼土は伴わず、検出状況は第1号住居跡と同じである。樹種は図9の付表に示した。

(その他) P 1は完形の深鉢形土器が埋設されていた土坑である。住居跡に伴うもので、直径46cmの隅丸方形を呈する。深さは68cmを測り、土器は底面から46cmの高さまで正立した状態で出土した。土坑の壁と土器外面との隙間は4cmほどである。

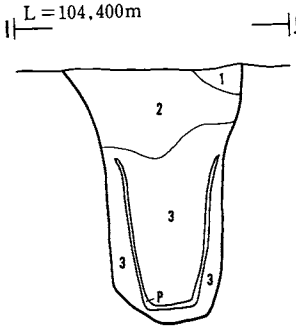
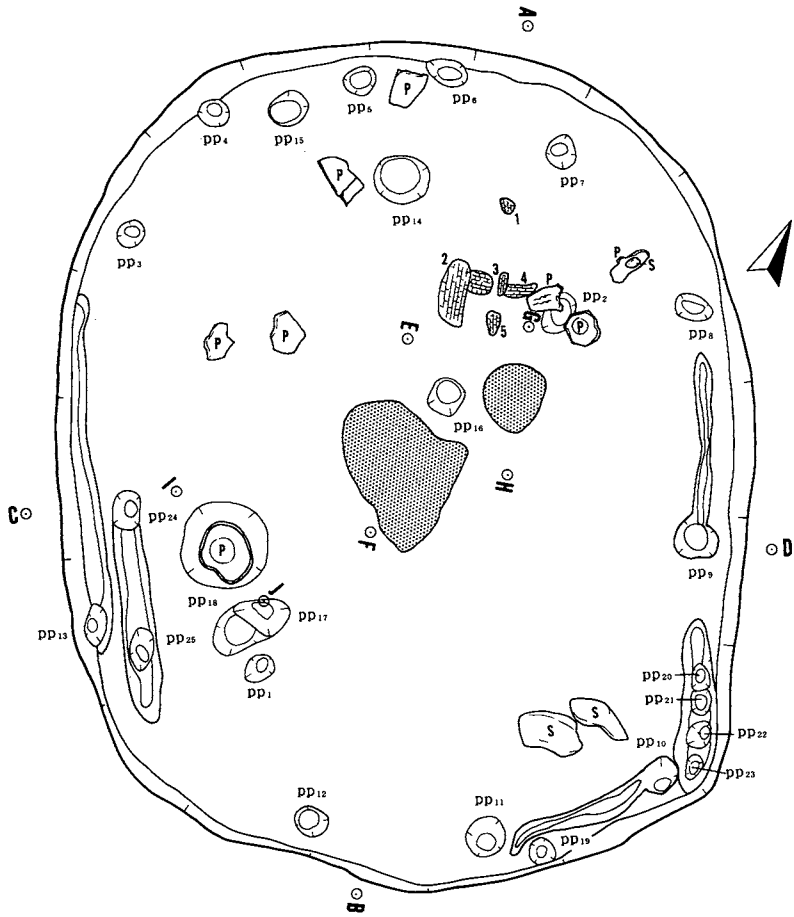
(時期) 縄文時代中期初頭

遺物(図10~13、写真図版90~92)

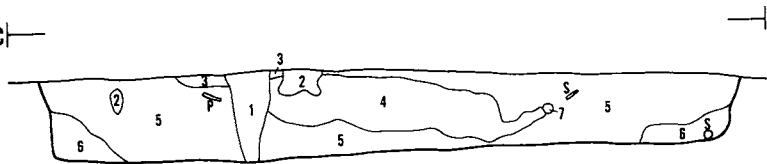
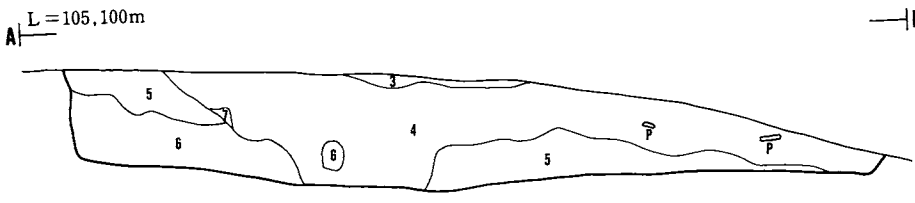
(石器) 10、11は石鏃で、10は無茎凹基、11は有茎尖基で基部の一部を欠く。12は石槍の先端部と思われるもの、13、14は側縁の一部に使用痕のみられる剥片、15、16は細部加工を有する剥片である。17、18は敲石で、17は長いほうの側縁に、細かくたたきつぶすために使用したと思われる痕跡が認められる。18は礫の先端部の敲打の痕跡とともに擦痕がみられる。19は凹石、20、21は擦面を一面に持つ磨石である。

付表 炭化材鑑察表

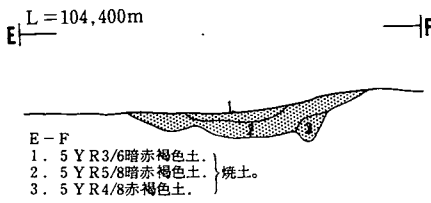
番号	樹種	断面形状
1	イタヤ	角状
2	クリ	板状
3	クリ	板状
4	クリ	角状
5	クリ	角状



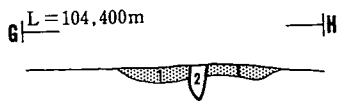
I-J
 1. 10Y R4/4褐色土。Nbp3%含む。
 2. 10Y R2/3黒褐色土。Nbp7%。褐色土の小ブロック含む。
 3. 10Y R3/4 暗褐色土。



A-B・C-D
 1. 10Y R2/3黒褐色土。杭痕。
 2. 10Y R3/2黒褐色土。木根痕。
 3. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp2%含む。
 4. 10Y R3/3暗褐色土。Nbp50%含む。
 5. 10Y R3/2黒褐色土。Nbp20~30%含む。
 6. 10Y R2/1黒色土。Nbp3%、褐色土含む。
 7. 10Y R4/6褐色土。ロームブロック。



E-F
 1. 5Y R3/6暗赤褐色土。
 2. 5Y R5/8暗赤褐色土。焼土。
 3. 5Y R4/8赤褐色土。



G-H
 1. 2.5Y R4/8赤褐色土。硬くしまる焼土。
 2. 10Y R2/1黒色土。木根痕。

図9 縄文第2号住居跡(1)

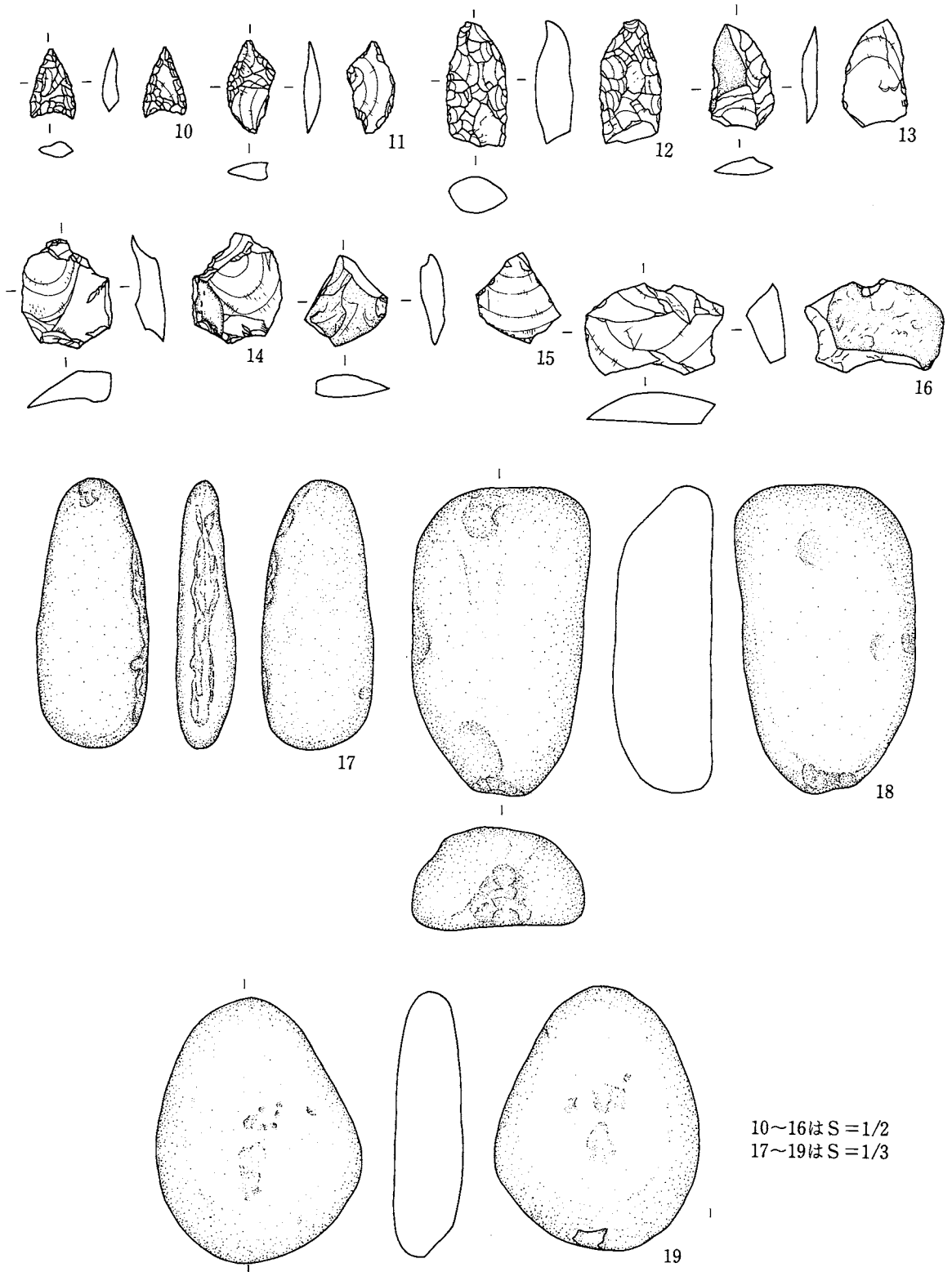
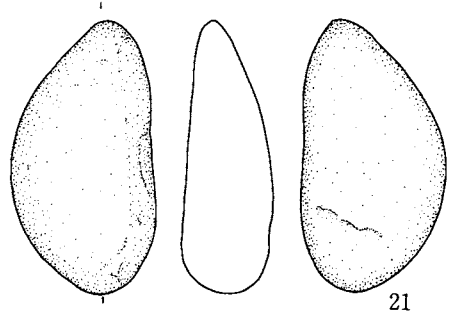
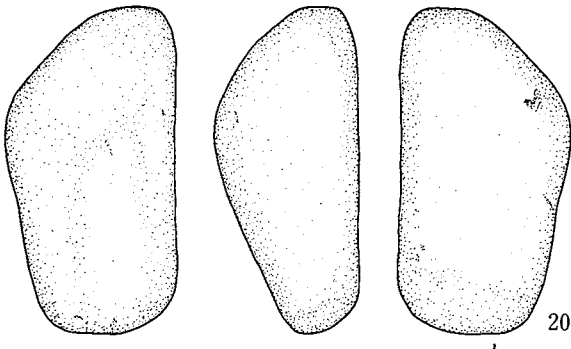
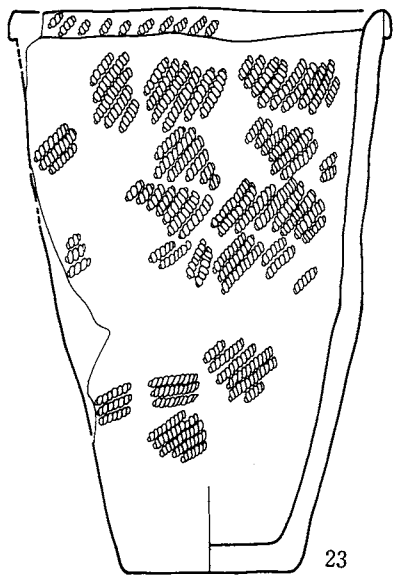
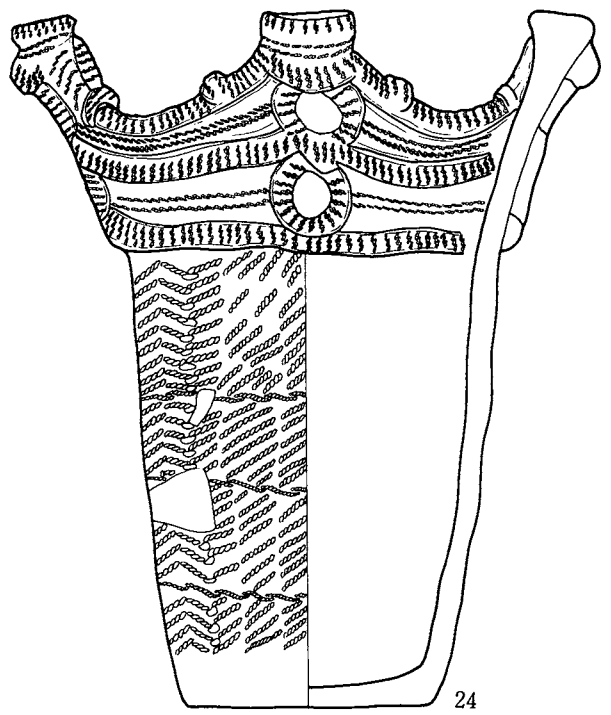
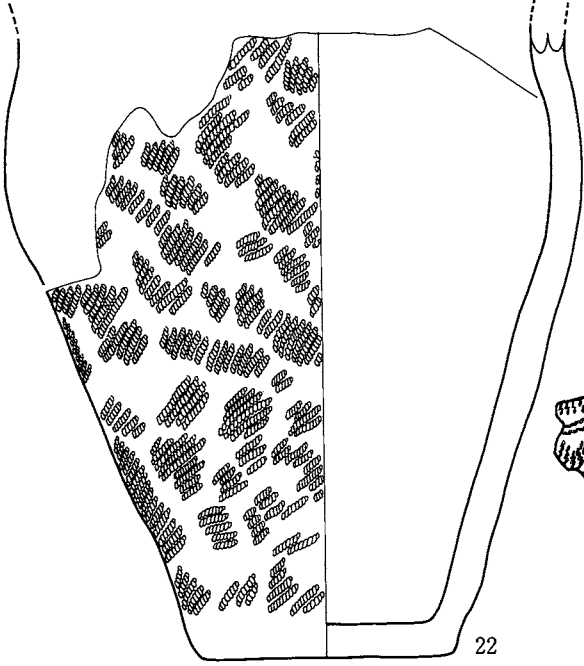


図10 縄文第2号住居跡(2)



20・21はS=1/3



22~24はS=3/8

図11 縄文第2号住居跡(3)

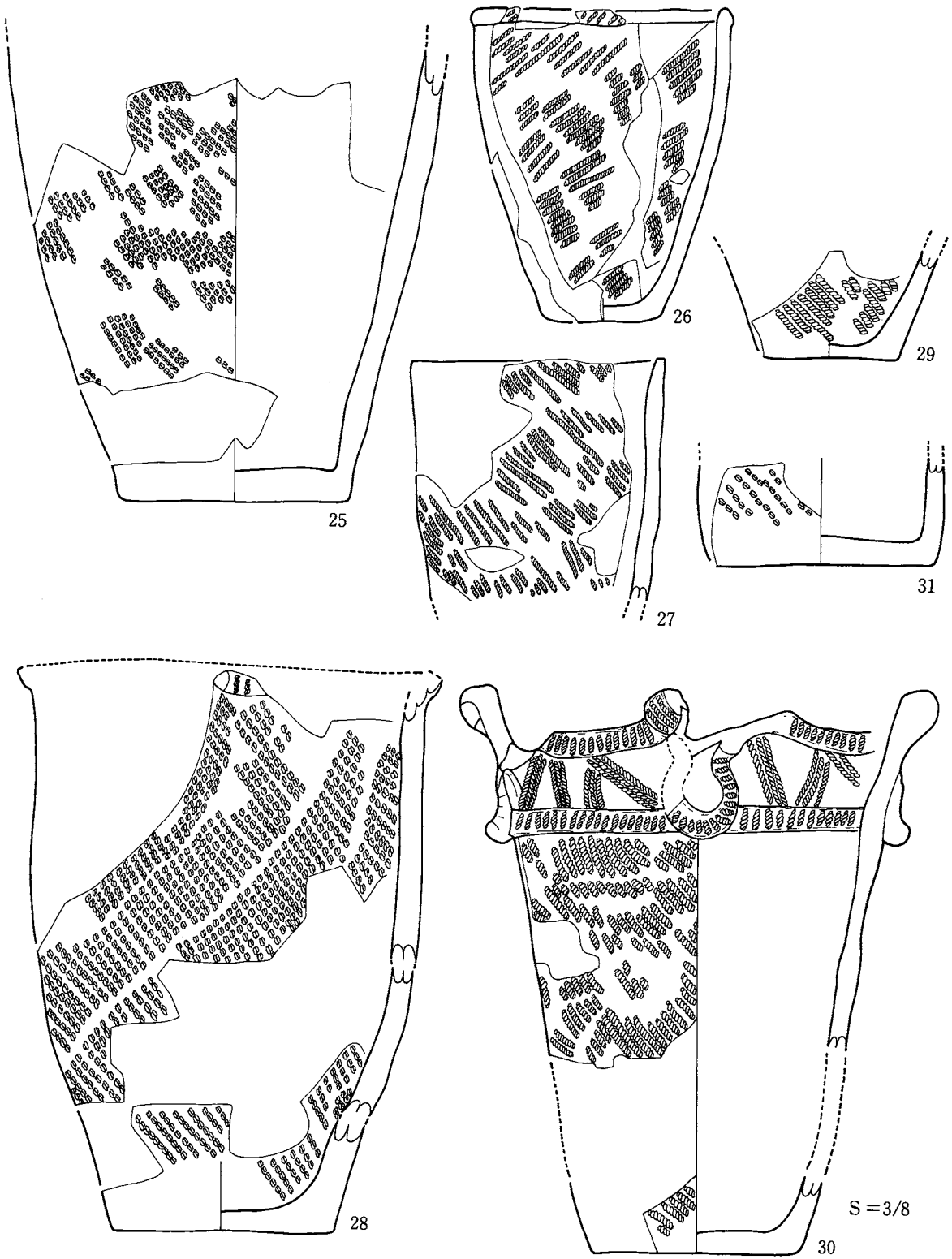
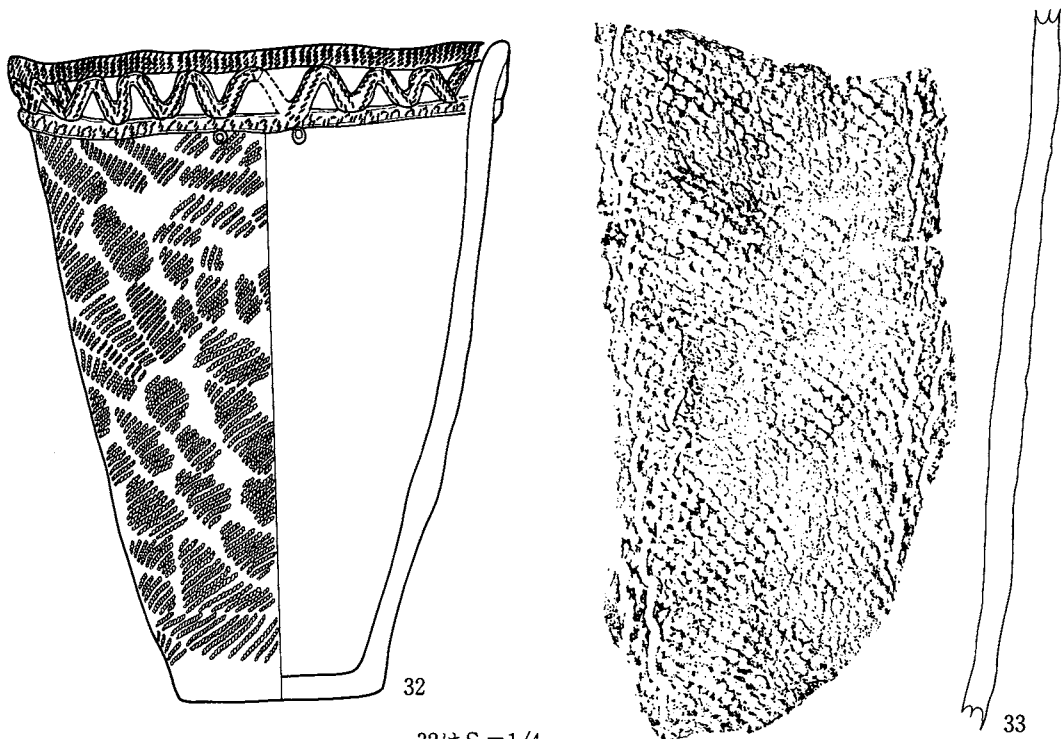


图12 縄文第2号住居跡(4)



32は S = 1/4
 33~40は S = 1/3

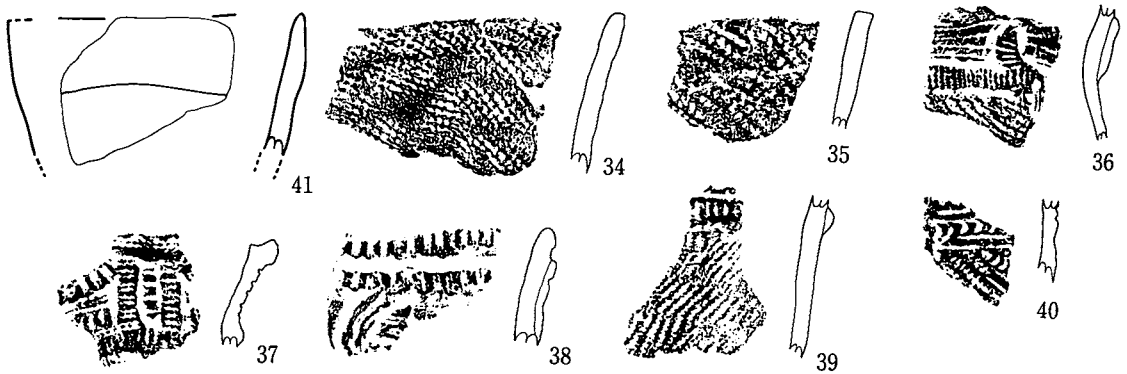


图13 縄文第2号住居跡(5)

(土器) 埋土を中心に床面からも出土している。深鉢19点、鉢1点を載せた。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
22	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	体～底部	単節斜行縄文、アスファルト補修痕	ミガキ	11	91
23	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	口～底部	単節斜行縄文、折り返し口縁	ナデ	11	91
24	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	口～底部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、平行燃紐圧痕、横位綾絡文、羽状縄文	ミガキ	11	91
25	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	体～底部	複節斜行縄文、底部付近ミガキ	ミガキ	12	91
26	縄文第2号住居跡	床面	小型深鉢	口～底部	単節斜行縄文、折り返し口縁	ミガキ	12	91
27	縄文第2号住居跡	床面・埋土	深鉢	口～底部	単節斜行縄文、山形燃紐圧痕文、単節斜行縄文	ナデ	12	91
28	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	体～底部	複節斜行縄文、燃紐圧痕隆帯	ミガキ	12	91
29	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	体～底部	単節斜行縄文、底部ミガキ	ナデ	12	91
30	縄文第2号住居跡	床面	深鉢	口～底部	燃紐圧痕隆帯	ナデ	12	92
31	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	底部	複節斜行縄文、底部ミガキ	ナデ	12	92
32	縄文第2号住居跡	P1内埋設土器	深鉢	完形	山形燃紐圧痕隆帯、単節斜行縄文、補修孔、アスファルト痕	ミガキ	13	92
33	縄文第2号住居跡	床面直上	深鉢	体部	複節斜行縄文、縦位綾絡文	ミガキ	13	92
34	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	複節斜行縄文	ミガキ	13	92
35	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	複節斜行縄文	ミガキ	13	92
36	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	燃紐圧痕、燃紐圧痕隆帯、複節斜行縄文	ミガキ	13	92
37	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	弁状突起、燃紐圧痕、燃紐圧痕隆帯、爪形刺突文	ミガキ	13	92
38	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	口縁部	燃紐圧痕、燃紐圧痕隆帯	ミガキ	13	92
39	縄文第2号住居跡	埋土	深鉢	体部	竹管平行沈線、爪形刺突文、単節斜行縄文	ナデ	13	92
40	縄文第2号住居跡	床面直上	深鉢	体部	燃紐圧痕隆帯、単節斜行縄文	ナデ	13	92
41	縄文第2号住居跡	埋土	鉢	口縁部	無文	ナデ	13	92

縄文第3号住居跡

本遺構は段丘の先端部にあり、斜面下方の南側はわずかに流失している。畑地造成の際に削平されたためか、表土を20cmほど除去したところ八戸火山灰層があらわれ、そこに円形の輪郭で検出された。

遺構 (図14、写真図版6)

(位置) 調査区南側の段丘の先端に位置する。この付近は河川による侵食作用が激しく、本来の段丘面はもっと川寄りに延びていたと思われる。

(重複) 第70号土坑に載られ、第72号土坑を載る。また、第4号住居跡と重複しており、本遺構はそれよりも古い。

(埋土) 全体に黒褐色土を主体とし、中位に層状の褐色土、ブロック状の暗褐色土、部分的に炭化物粒を含む。

(平面形) ほぼ円形 (規模) 4.6m×4.8m

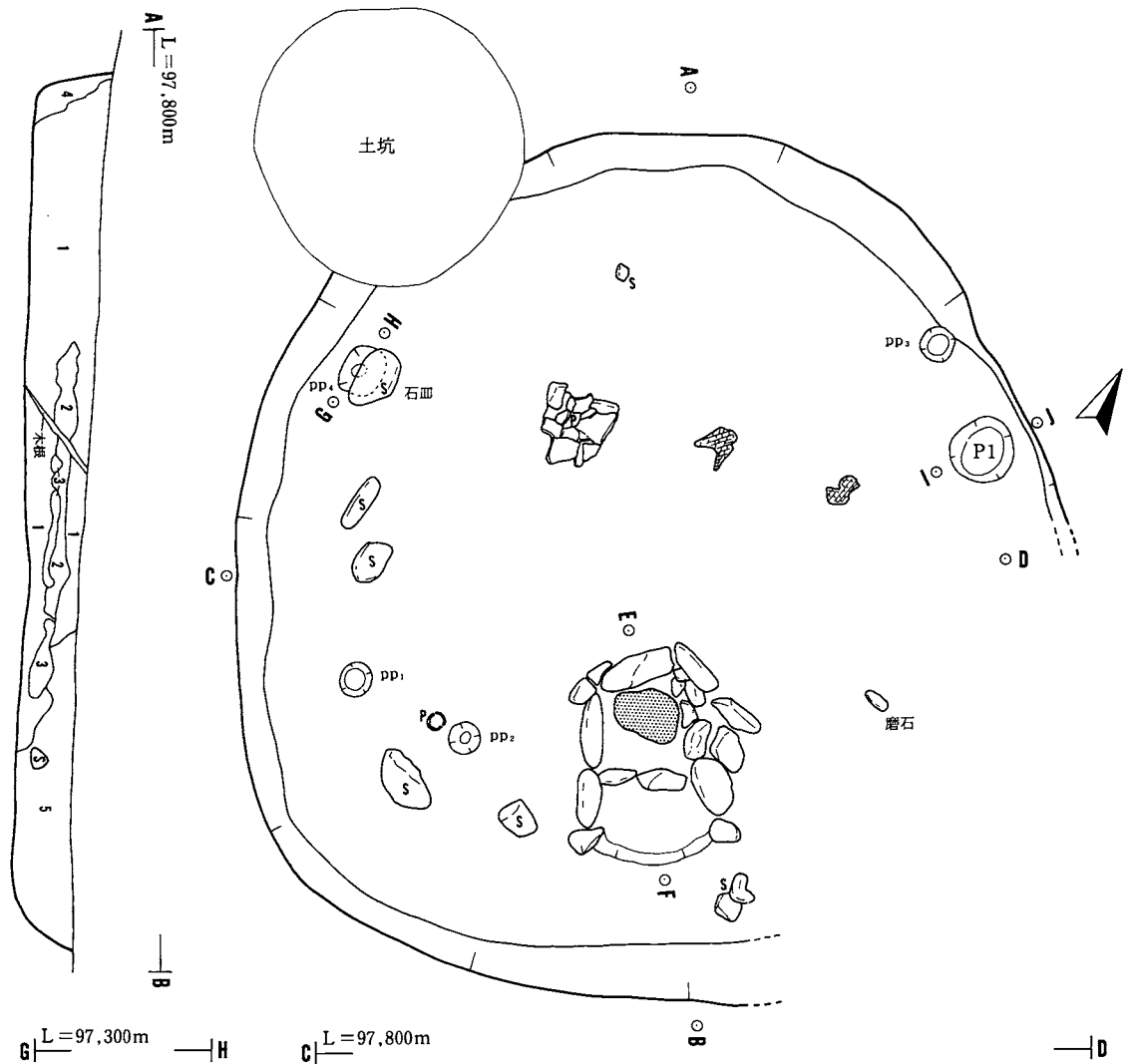
(壁) 東壁が直立する以外は外傾して立ち上がる。壁高は30～38cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とする。ほぼ平坦で全体に硬く締まる。

(柱穴) PP1～PP4の4個が検出された。PP1、PP2のどちらかとPP3、PP4は支柱穴と思われる。

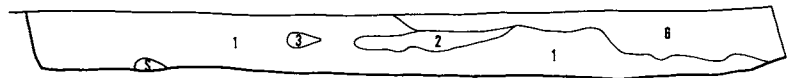
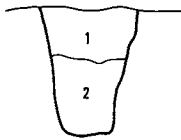
(炉) 複式炉1基が住居跡の南寄りに検出された。残存状況は良好で、前庭部に直径約40cmの掘り込みを持つ。焼土は最大で8cmの厚さを測り、焼成も良好である。

(炭化材) 中央部からわずかに北寄りに2片検出された。



G | L=97,300m | H

C | L=97,800m | D

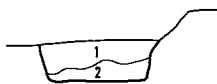


G-H (柱穴)・I-J (pit1)
 1. 10Y R3/3暗褐色土. Nbp2%含む。
 2. 10Y R3/4暗褐色土。

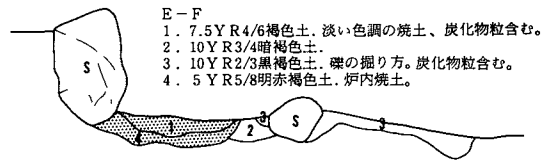
A-B・C-D

1. 10Y R2/3黒褐色土. Nbp20%、炭化材含む。
2. 10Y R4/4褐色土. Nbp10%、炭化材含む。
3. 10Y R3/4暗褐色土. Nbp30%含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土. Nbp20%、崩落土含む。
5. 7.5Y R2/1黒色土. 流失部の黒色土。
6. 10Y R2/2黒褐色土. Nbp10%、炭化物粒含む。

I | L=97,400m | J



E | L=97,200m | F



- E-F
1. 7.5Y R4/6褐色土. 淡い色調の焼土、炭化物粒含む。
 2. 10Y R3/4暗褐色土。
 3. 10Y R2/3黒褐色土. 礫の掘り方. 炭化物粒含む。
 4. 5Y R5/8明赤褐色土. 炉内焼土。

図14 縄文第3号住居跡(1)

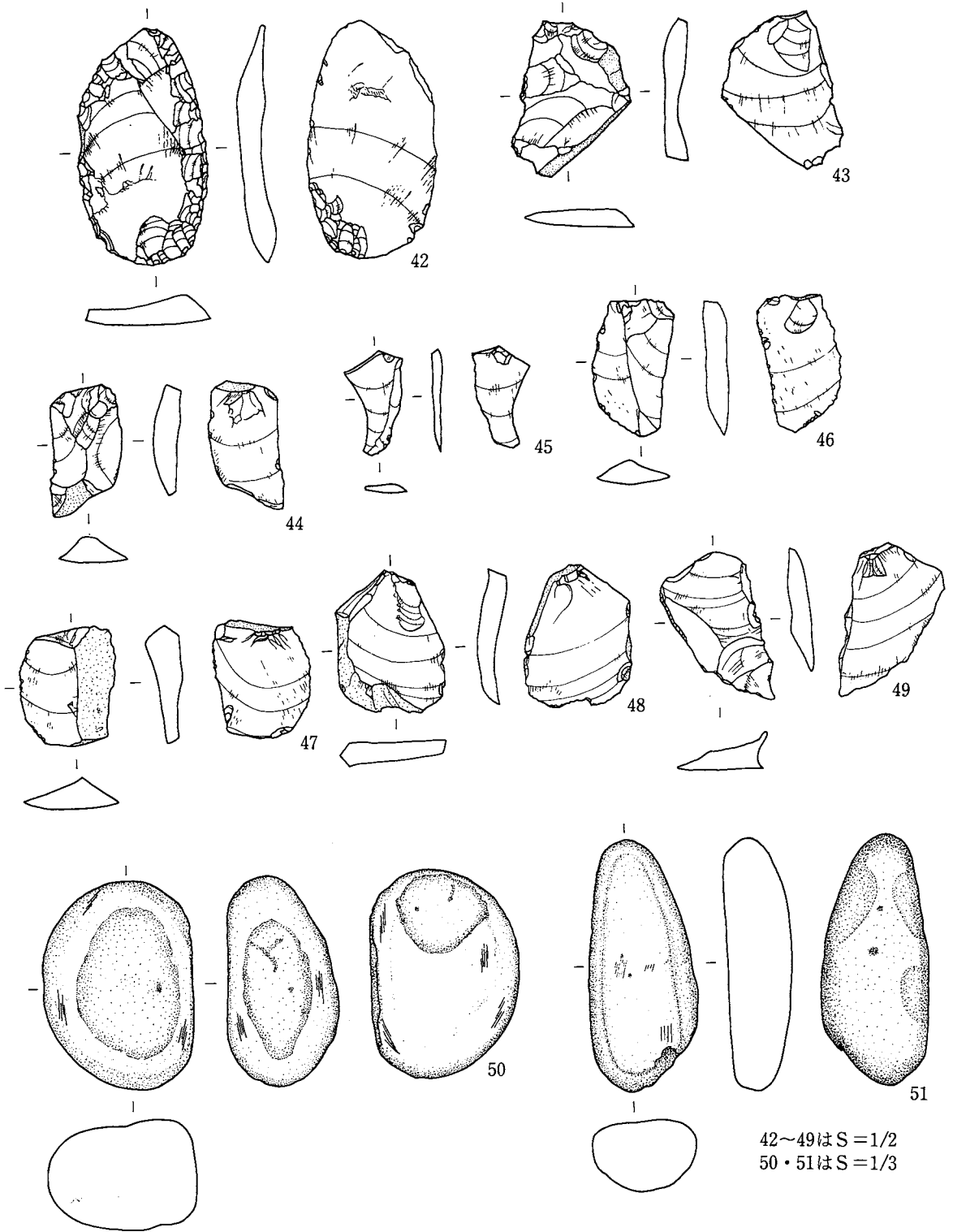


图15 縄文第3号住居跡(2)

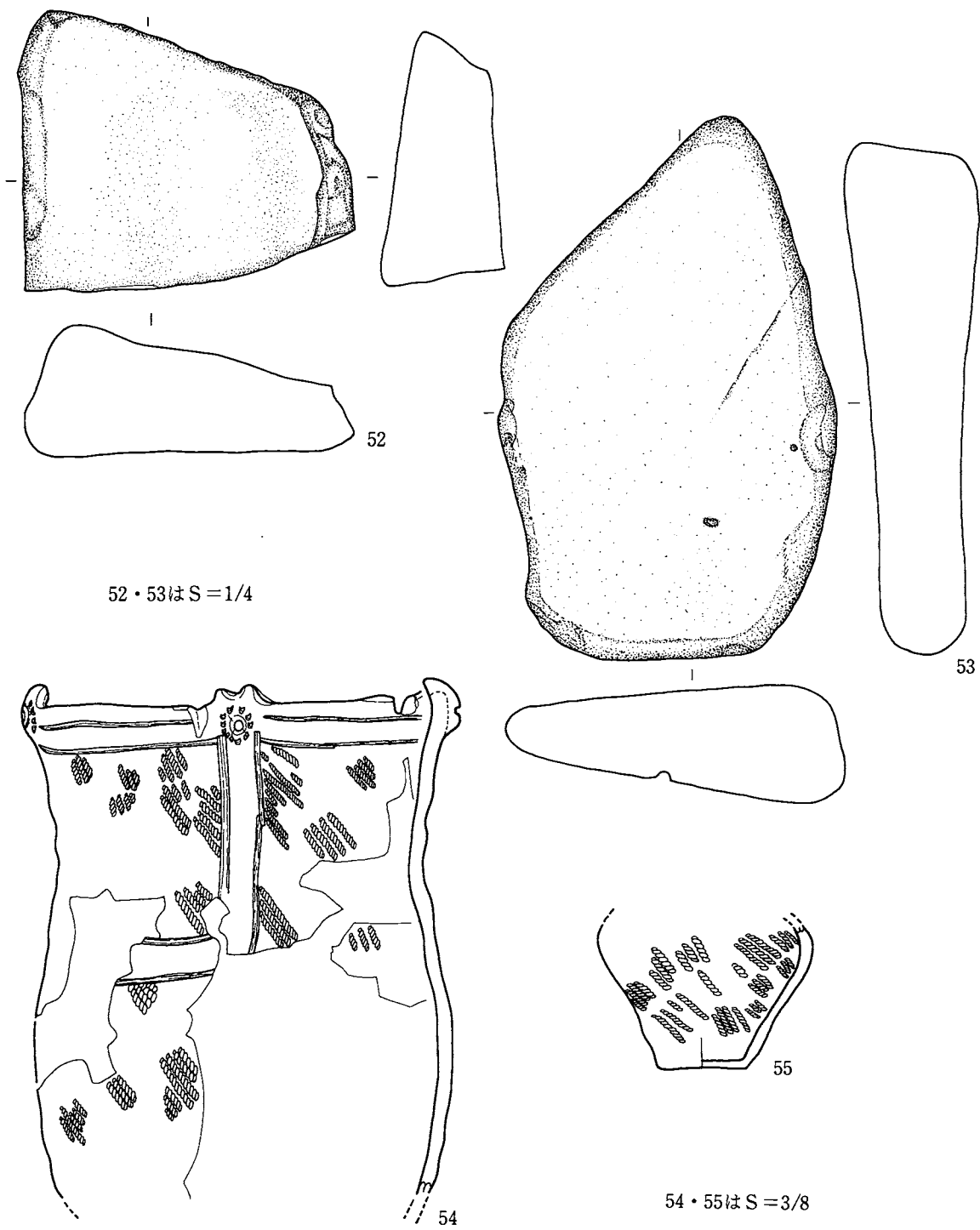


図16 縄文第3号住居跡(3)

(その他) P 1 は北東壁際にある小ピットで、直径33cm、深さ12cmである。

(時期) 縄文時代中期末葉

遺物 (図15・16、写真図版93・94)

(石器) 42は楕円形の素材に急角度の刃部をつけた凸刃の削器、43、44、45は縁辺部に使用痕のある剝片、46、47、48、49は細部加工剝片である。50、51は擦痕のみられる礫、52、53はともに両面使用の粗製石皿である。

(土器) 2点掲載したが、いずれも床面から出土した。54は中期大木10式土器である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
54	縄文第3号住居跡	床面	深鉢	口~体部	突起、ボタン状突起、平行沈線、J字状無文帯、鋸状突起、単節斜行縄文	ナデ	16	94
55	縄文第3号住居跡	床面	小型壺	体~底部	単節斜行縄文	ナデ	16	94

縄文第4号住居跡

本遺構も第3号住居跡と同様に、南側は流失しており、全体を調査できなかった。八戸火山灰層に黒色土の広がりで見出されたが、当初は大きな落ち込みと考えていたものである。トレンチを入れたところ多量の土器片が出土したため、住居跡を予想して精査した。

遺構 (図17、写真図版7)

(位置) 第3号住居跡に同じ。

(重複) 第73、74、75号土坑をすべて截る。第1号竪穴状遺構とも截りあうが、本遺構のほうが新しい。

(埋土) 上位は十和田b火山灰を含む黒色土、中位はわずかに南部浮石粒を含む黒褐色土、下位はまばらに炭化物粒を含むいぶい黄褐色土である。

(平面形) 楕円形 (規模) 6.0m×7.0m前後

(壁) 南壁を除き外反ぎみに立ち上がる。壁高は90cm~100cmである。

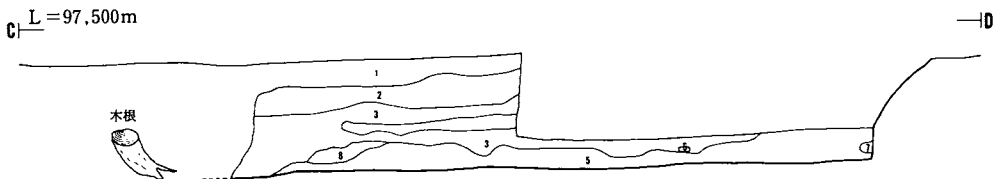
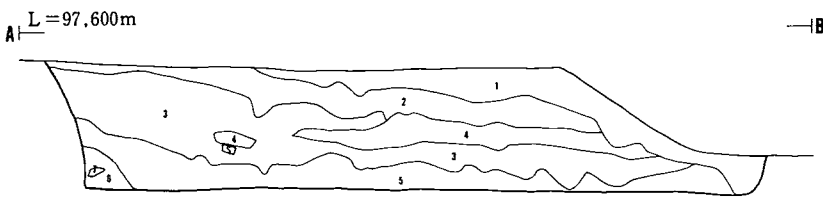
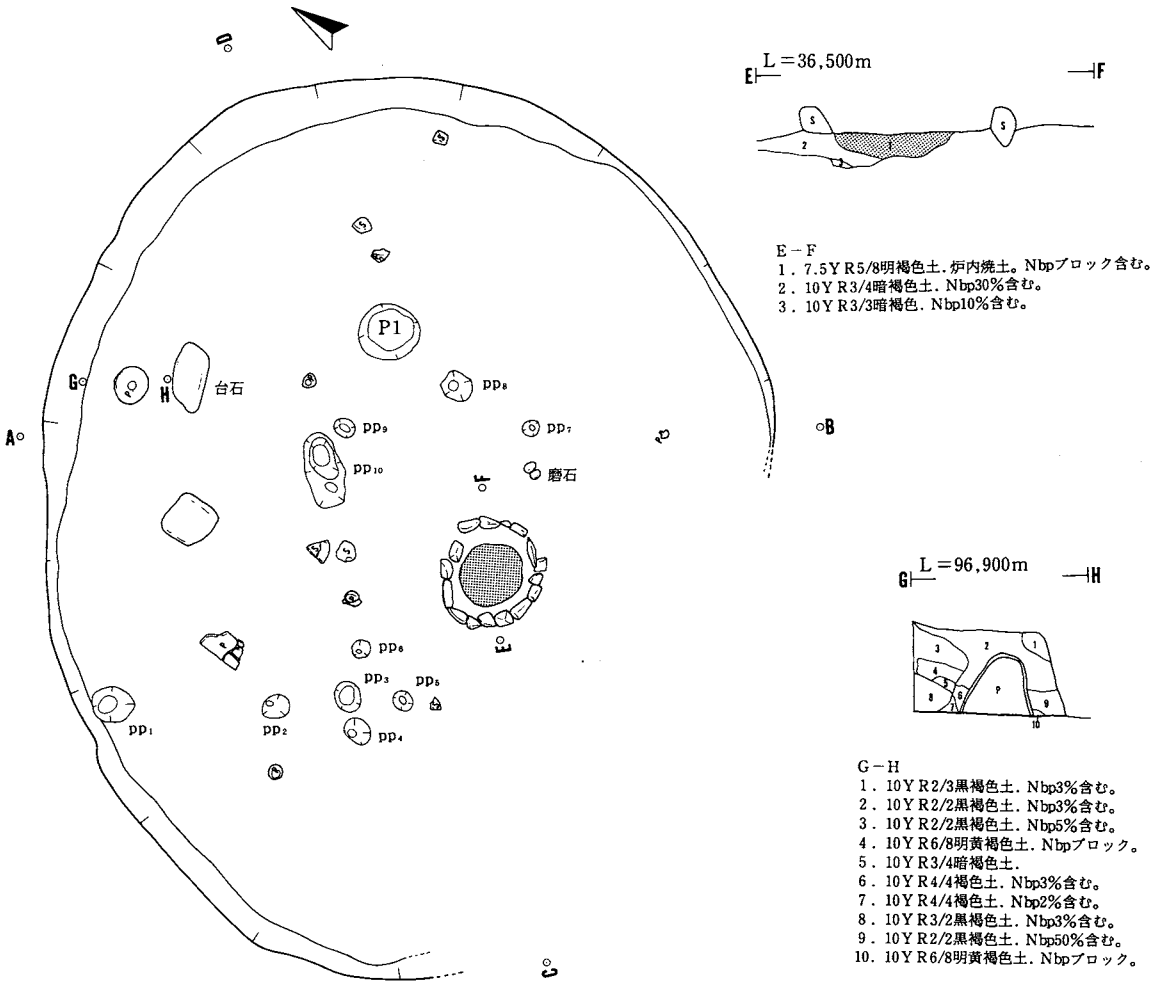
(床面) 八戸火山灰層を床面とし、平坦で硬く締まっている。

(柱穴) P P1からP P10の10個が見出された。主柱穴はP P2、P P10などが考えられる。詳しくは後述するが、本遺構は建て替え縮小されている可能性があり、上記以外の柱穴の中には、建て替え後に伴う柱穴と考えられるものが含まれている。

(炉) 住居跡中央部からわずかに南寄りに、石囲炉が見出された。楕円形状を呈し、規模は82cm×88cmである。焼土は直径50cmの円形を呈し、厚さは最大で9cmを測る。焼成は良好である。

(炭化材) 焼失に伴う炭化材等は見つからなかった。

(その他) 精査の段階で、本遺構の床面から30cmほど上位に炉跡が2基重なって見出された。ともに石囲炉で、それぞれの炉内には焼土が見られる。そのレベル差は数cmである。1棟の住居跡しか想定していなかったため、これらの炉跡の住居全体のプランはつかめなかった。よって、炉跡として処理したが、炉の検出状況や住居跡の埋土の状況から、本遺構が建て替え



- A-B・C-D
1. 10 Y R 2/1黒色土. 盛土及び耕作土。
 2. 10 Y R 1.7 Y R 黒色土. Top40%含む。
 3. 10 Y R 2/2黒褐色土. Nbp7%. 炭化物粒含む。
 4. 10 Y R 3/2黒褐色土. Nbp30%含む。
 5. 10 Y R 4/3にぶい黄褐色土. Nbp10%. 炭化物粒含む。
 6. 10 Y R 2/3黒褐色土. Nbp30%含む(汚れたバミス)。
 7. 10 Y R 3/3暗褐色土. 地山崩落土。
 8. 10 Y R 2/3黒褐色土. Nbp少量含む。

図17 縄文第4号住居跡(1)

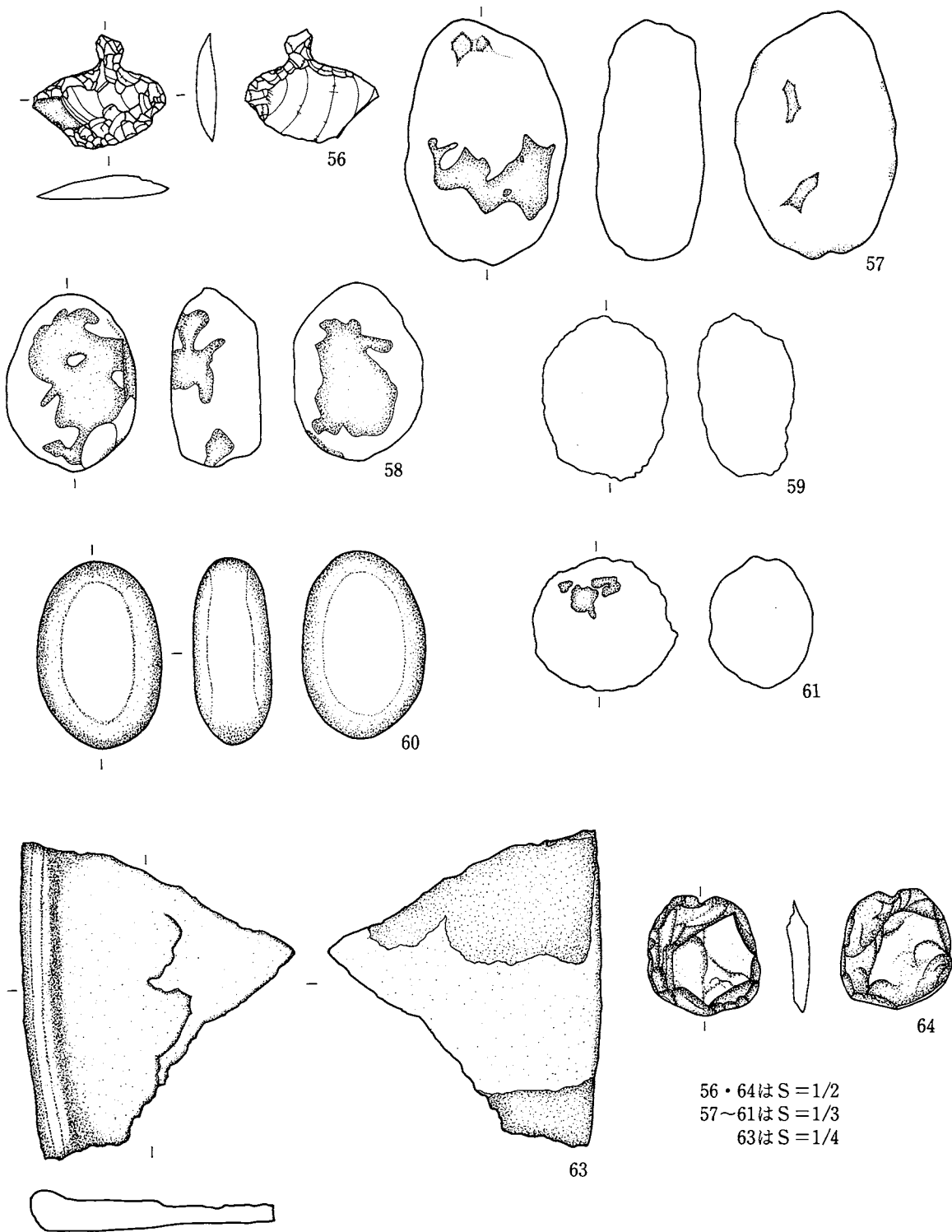
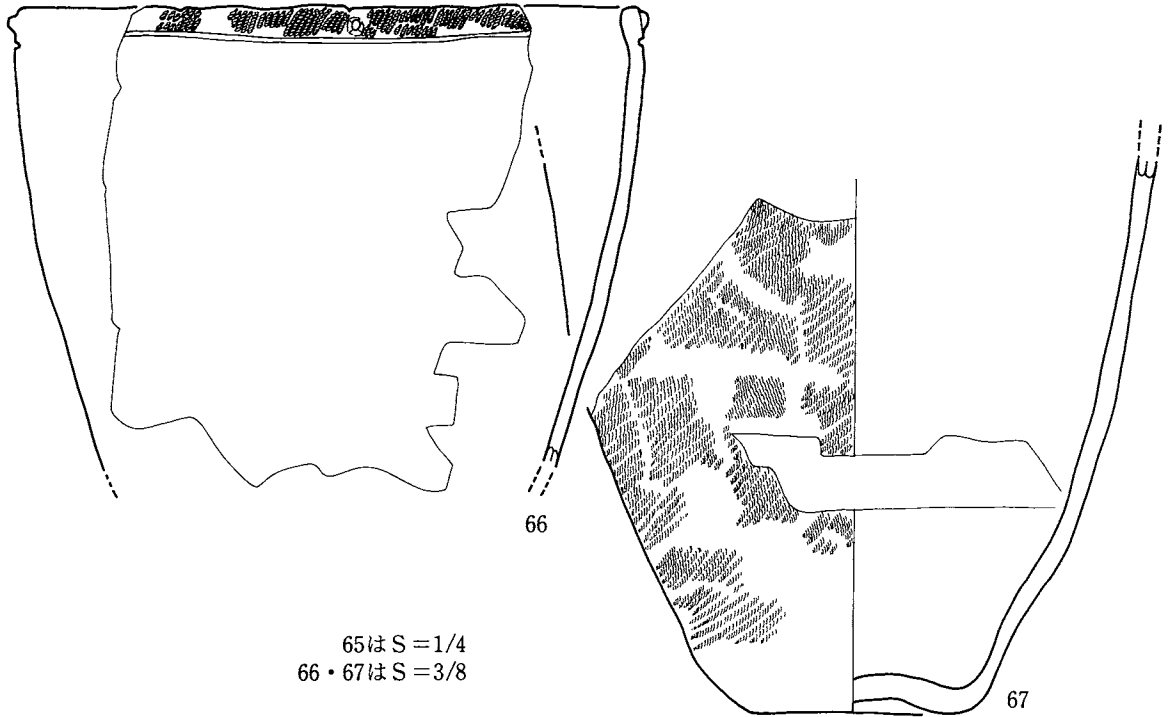
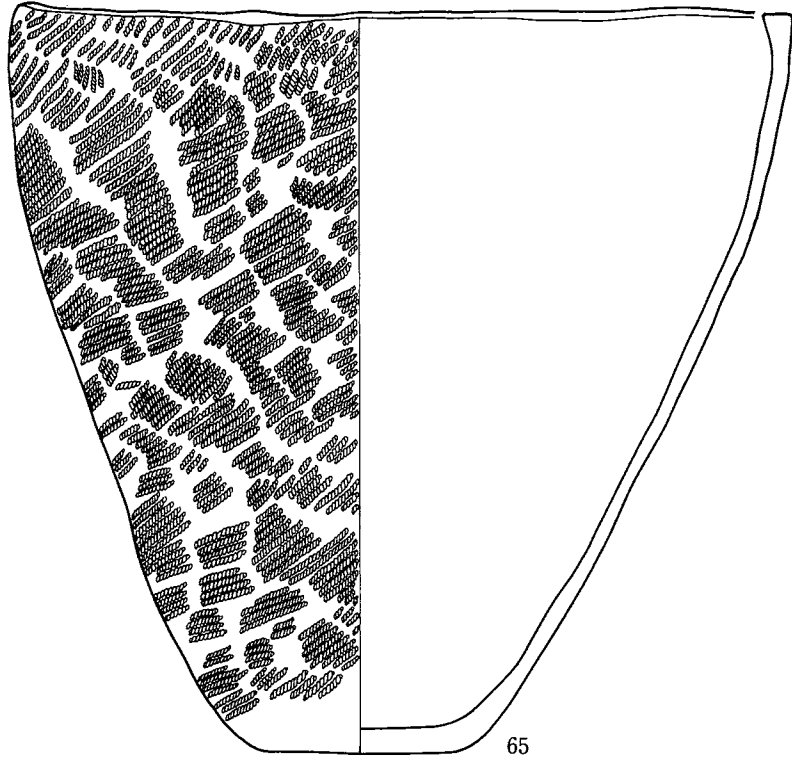


図18 縄文第4号住居跡(2)



65は S = 1/4
 66・67は S = 3/8

図19 縄文第4号住居跡(3)

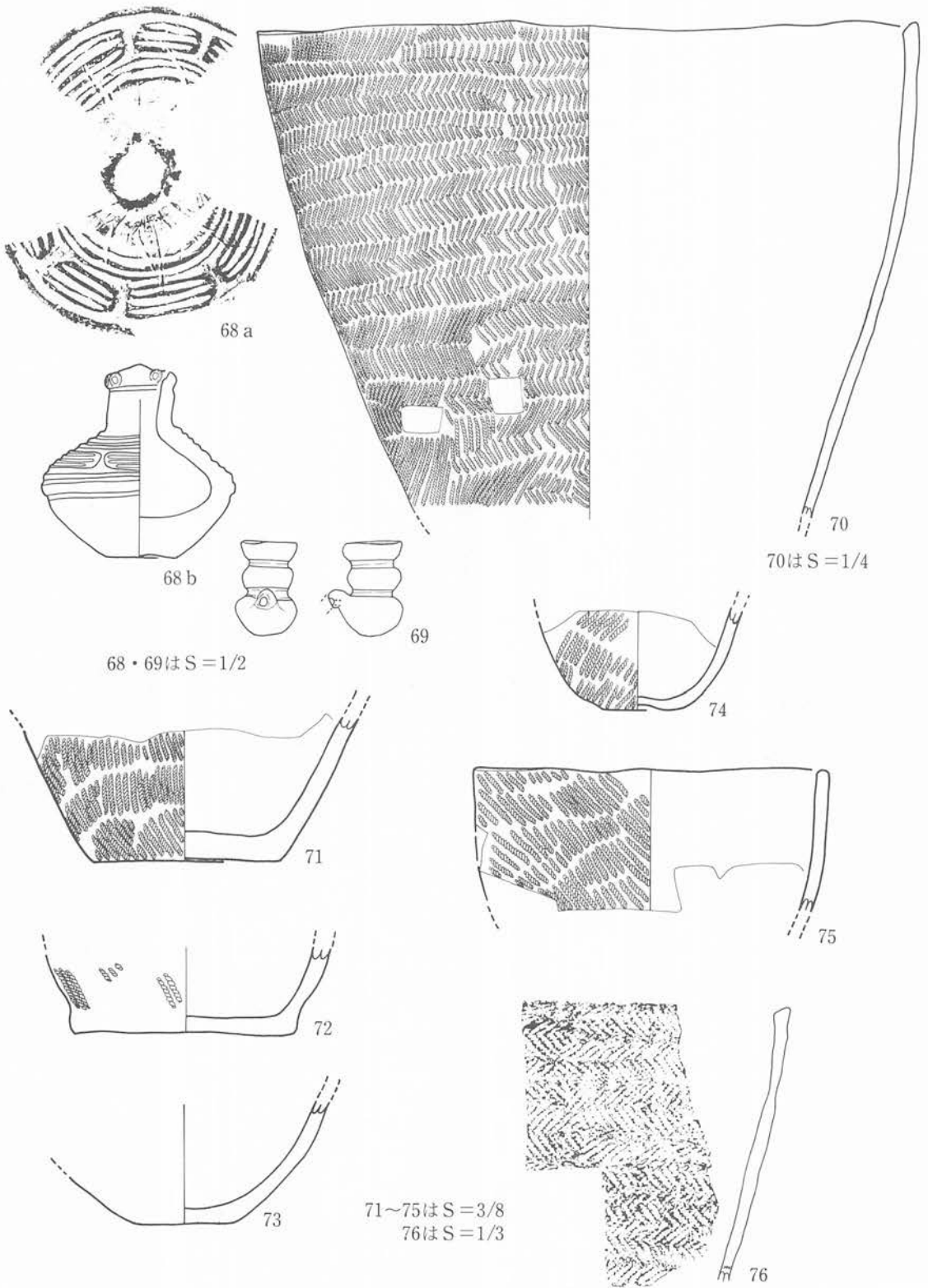


図20 縄文第4号住居跡(4)

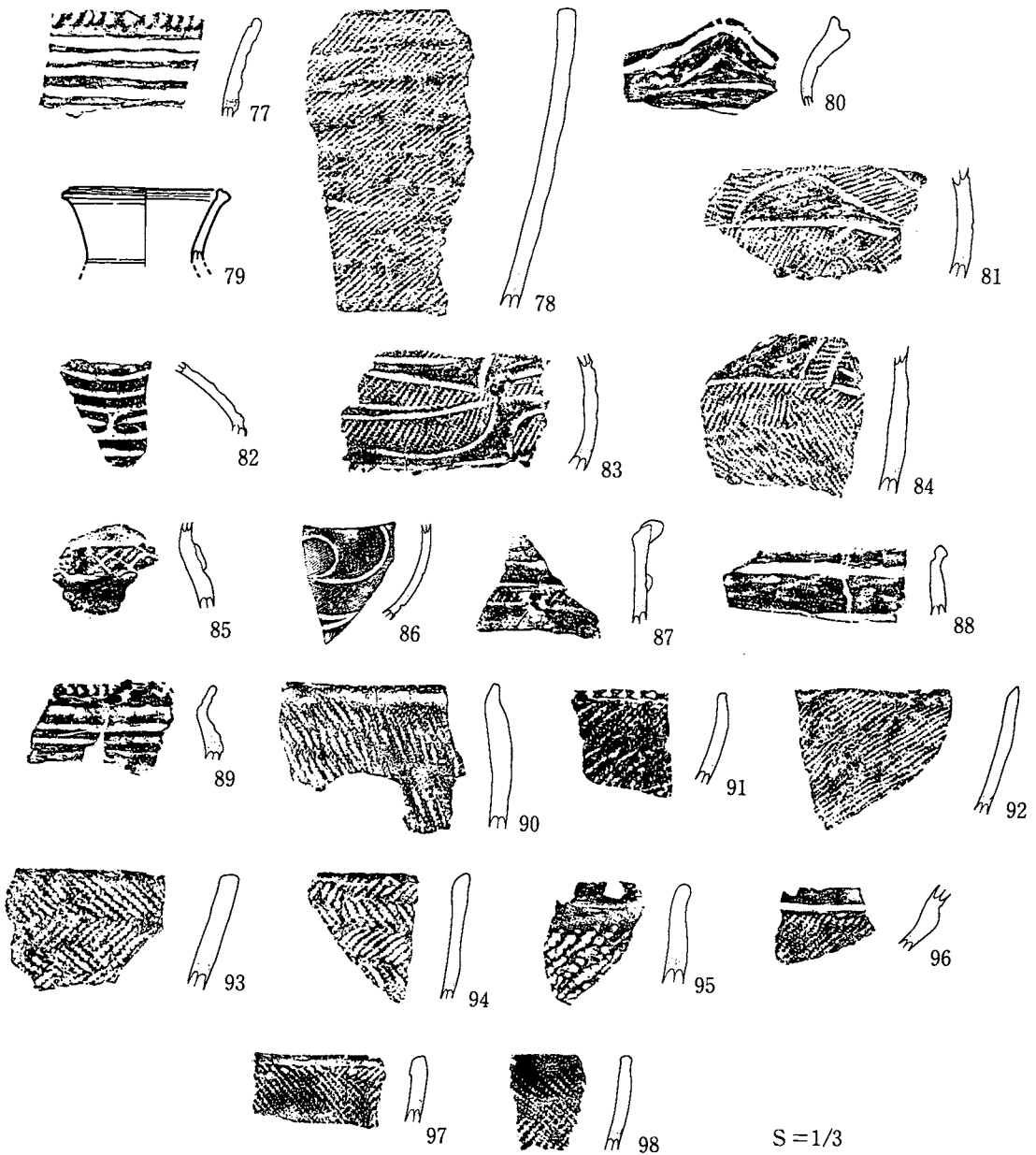


図21 縄文第4号住居跡(5)

縮小された際の炉となる可能性がある。柱穴PP3～PP7、PP9などはこれらの炉跡に伴うものかもしれない。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図18～21、写真図版95・96)

(石器) 56は横長の石匙で、緩い凸状の縁辺に片面からの刃部加工が施される。57、58、59、60、61は磨石であるが、60以外は花崗岩質のため風化が激しく、使用痕跡は明瞭でない。62(図、写真略)は53×60cmを測る台石で床面出土、63は縁辺がつくり出されている石皿の欠損品である。64は円盤状石製品である。

(土器) 大量の土器が出土しているが、そのうち34点掲載した。器種は粗製深鉢・浅鉢・鉢・壺・注口土器のミニチュアなどで、65は床面に倒立していた完形の粗製深鉢である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
65	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	完形	単節斜行縄文	ミガキ?	19	95
66	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	口～体部	折り返し口縁、口縁部斜行縄文、コブ、体部ミガキ	ミガキ	19	95
67	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	深鉢	体～底部	無節、単節斜行縄文	ナデ	19	95
68	縄文第4号住居跡	床面	小型壺	完形	変形工字文、ミガキ、突起	—	20	95
69	縄文第4号住居跡	住居付近	ミニチュア	完形	注口土器のミニチュア、顔料付着	—	20	95
70	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	口～体部	羽状縄文	ナデ	20	95
71	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	底部	単節斜行縄文	ナデ	20	96
72	縄文第4号住居跡	床面	深鉢	底部	単節斜行縄文	ナデ	20	96
73	縄文第4号住居跡	床面	鉢	体～底部	あげ底風	ナデ	20	96
74	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	小型鉢	体～底部	単節斜行縄文、あげ底	ミガキ	20	96
75	縄文第4号住居跡	埋土中位	鉢	口～底部	単節斜行縄文	ミガキ	20	96
76	縄文第4号住居跡	Q2埋土	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	20	96
77	縄文第4号住居跡	埋土上位	鉢	口縁部	刻目、平行沈線、口唇部内面に沈線	ナデ	21	96
78	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	21	96
79	縄文第4号住居跡	Q3埋土	壺	口縁部	口唇部沈線、(内外面)	ミガキ	21	96
80	縄文第4号住居跡	埋土中位	鉢	口縁部	山形突起	ナデ	21	96
81	縄文第4号住居跡	炉付近	鉢	体部	磨消縄文	ナデ	21	96
82	縄文第4号住居跡	埋土上位	壺	肩部	変形工字文	ミガキ	21	96
83	縄文第4号住居跡	埋土中位	壺	肩部	雲形文	ナデ	21	96
84	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	鉢	体部	磨消縄文	ナデ	21	96
85	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	深鉢	体部	網目状沈線、コブ	ミガキ	21	96
86	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	体部	磨消縄文	ミガキ	21	96
87	縄文第4号住居跡	埋土中～下位	深鉢	口縁部	コブ、平行沈線、斜行縄文	ミガキ	21	96
88	縄文第4号住居跡	埋土上位	浅鉢	口縁部	沈線(内外面)	ミガキ	21	96
89	縄文第4号住居跡	埋土上位	浅鉢	口～体部	刻目、突起、平行沈線	ナデ	21	96
90	縄文第4号住居跡	Q3埋土	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ナデ	21	96
91	縄文第4号住居跡	Q2埋土下位	鉢	口縁部	刻目、無節	ナデ	21	96
92	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ナデ	21	96
93	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	21	96
94	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	21	96
95	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	口唇部ミガキ、単節斜行縄文	ナデ	21	96
96	縄文第4号住居跡	埋土上位	浅鉢	体部	単節斜行縄文、ミガキ	ミガキ	21	96
97	縄文第4号住居跡	埋土下位	深鉢	口縁部	内面への折り返し口縁、単節斜行縄文	ナデ	21	96
98	縄文第4号住居跡	埋土上位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ナデ	21	96

縄文第5号住居跡

現在の段丘面の最先端部にあり、八戸火山灰層で黒褐色土の円形の輪郭を確認した。削平を受けており、掘り込みは浅い。斜面下方は輪郭が不明瞭であった。

遺構 (図22、写真図版8)

(位置) 調査区最南端に位置し、すぐ南側は段丘崖である。

(重複) 第83号土坑と截りあうが、本遺構のほうが古い。

(埋土) 黒褐色土の単層に、褐色の崩落土や黄褐色土の小ブロックを含む。

(平面形) 円形 (規模) 3.12m×3.18m

(壁) すべて直立ぎみに立ち上がる。壁高は10cm~20cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、中央部がやや高くなる。炉のまわりは硬く締まっている。

(柱穴) P P1~P P9の9個が検出されたが、すべて10cm以下と浅い。

(炉) 通常の石囲炉の外側に?記号状に礫を巡らせる特異な形態を持つ。石囲炉内には深鉢形土器の体部が埋設されている。規模は、石囲炉部分が46cm×51cmで、全体では長さ140cm、幅96cmを測る。内側の炉の構成礫と外側の礫の間には20cmほどの隙間があり、その北側の隙間部分には10cm×16cmの焼土が形成されている。

(炭化材) 検出されなかった。

(その他) 住居跡南側に入出口の痕跡と思われる礫と柱穴〈P P3、P P5〉が見られる。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図23・24、写真図版97)

(石器) 99は縦長の石匙で、ノッチ以外は片面からの刃部調整が全周する。100、101、102は磨石であるが、100と102は風化が著しい。

(土器) 出土量は少ないが、その中から5点掲載した。104は炉内に埋設された深鉢で口縁部と底部を欠く。その他は埋土からの出土である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
103	縄文第5号住居跡	床面	鉢	口~底部	口唇部斜行縄文、突起(中空)、黒色	ミガキ	23	97
104	縄文第5号住居跡	炉内埋設	深鉢	体部	単節斜行縄文	ミガキ?	23	97
105	縄文第5号住居跡	Q 1埋土	深鉢	口~体部	刻目、入組三叉文、単節斜行縄文	ナデ	24	97
106	縄文第5号住居跡	Q 3埋土	壺	口縁部	突起、平行沈線、雲形文	ミガキ	24	97
107	縄文第5号住居跡	Q 3埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	24	97

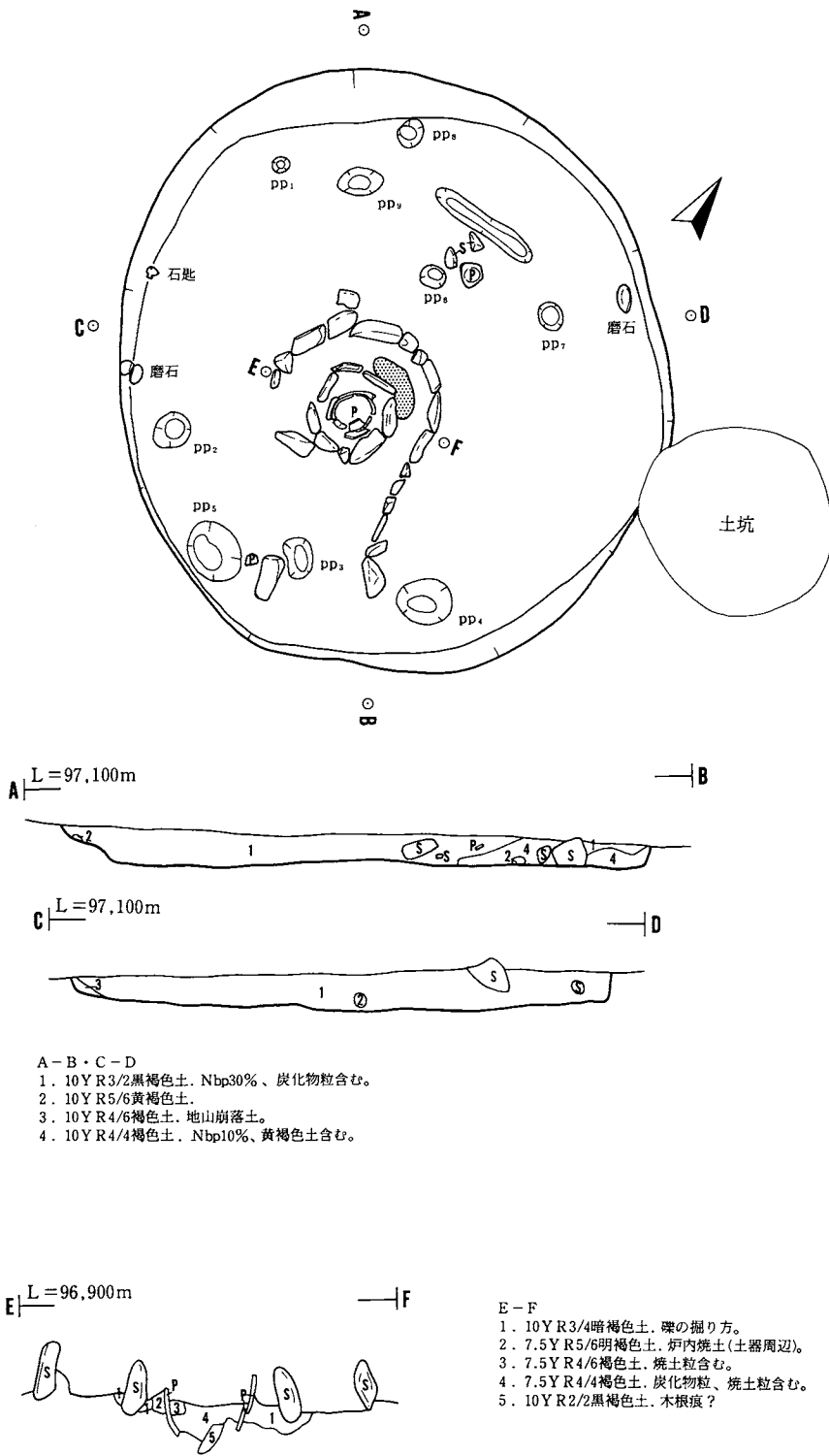
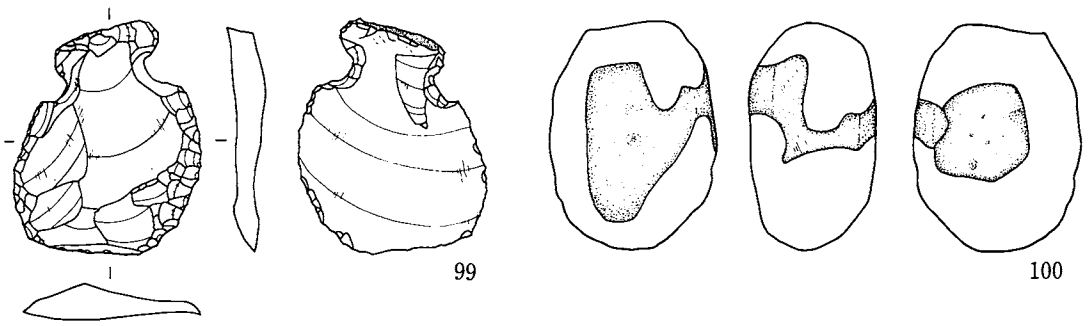


図22 縄文第5号住居跡(1)

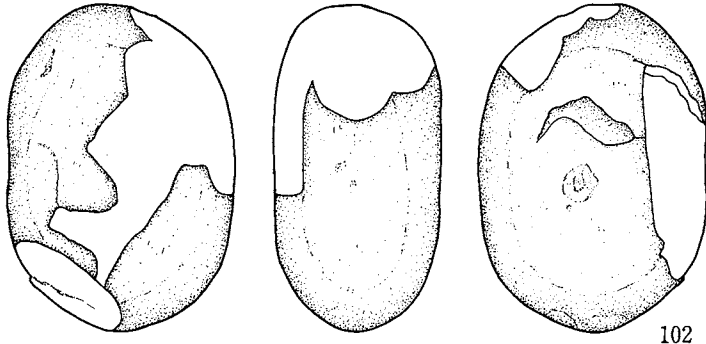


99

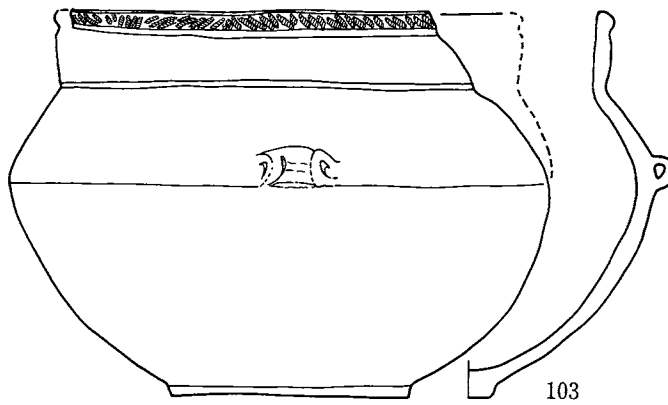
100



101



102



103

99は S = 1/2
 100~102は S = 1/3
 103は S = 3/8

図23 縄文第5号住居跡(2)

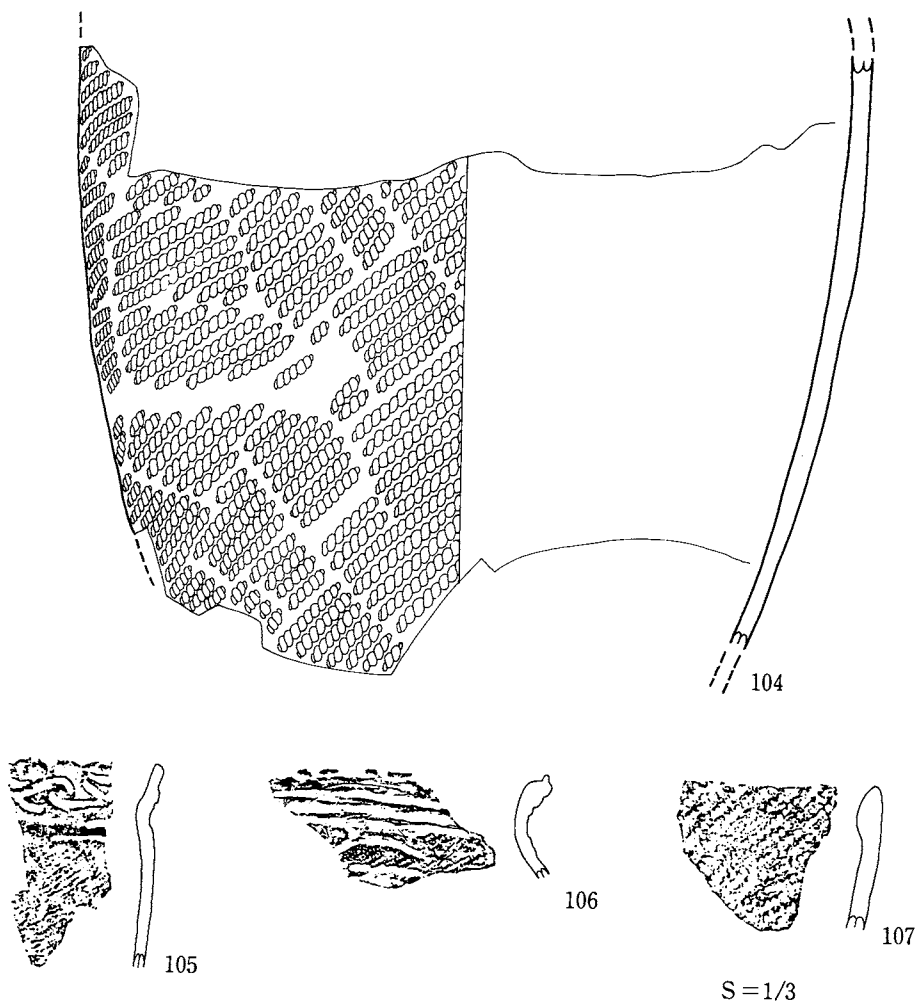


図24 縄文第5号住居跡(3)

縄文第6号住居跡

第5号住居跡と同様に段丘のへりで検出された。住居跡の南側1/2程度が流出しており、全体は調査できなかった。また、遺構の上部は削平されている。

遺構(図25、写真図版9)

(位置) 調査区最南端部にあり、第5号住居跡とは北東方向に約2mの距離がある。

(重複) 第86、87、88号土坑が床面で検出された。本遺構が新しい。

(埋土) 南部浮石をわずかに含む暗褐色土の単層である。

(平面形) 隅丸長方形か? (規模) 短軸3.26cmで長軸は不明。

(壁) 南壁は不明で、その他はすべて外傾する。壁高は18cm~22cmである。

(床面) 凹凸があり、わずかに南側に傾斜している。

(柱穴) P P1～P P4の4個が検出された。P P3は新期の柱穴で、それ以外は本遺構に伴う。

(炉) 住居跡のほぼ中央と思われる部分に、土器埋設炉が1基検出された。焼土は土器の周辺に形成され、規模は35cm×43cm、厚さは最大で14cmを測る。炉の付近に礫があるが、検出状況から石囲炉の構成礫とは考えにくい。

(炭化材) 数片検出されたが、焼失に伴うものかは不明である。

(その他) なし

(時期) 縄文時代晩期？

遺物 (図26、写真図版98)

(石器) 108、109は偏平な自然石の両面を使用した石皿で、ともに焼成を受けている。

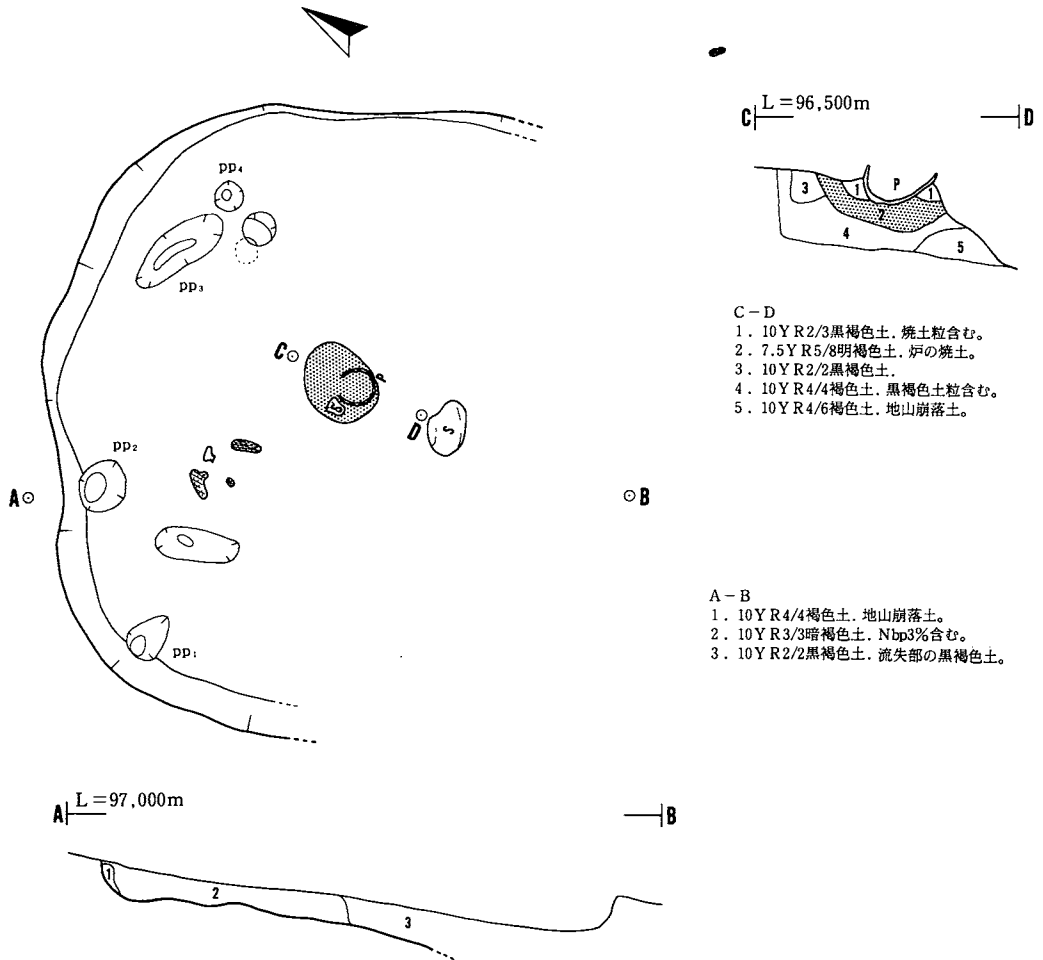


図25 縄文第6号住居跡(1)

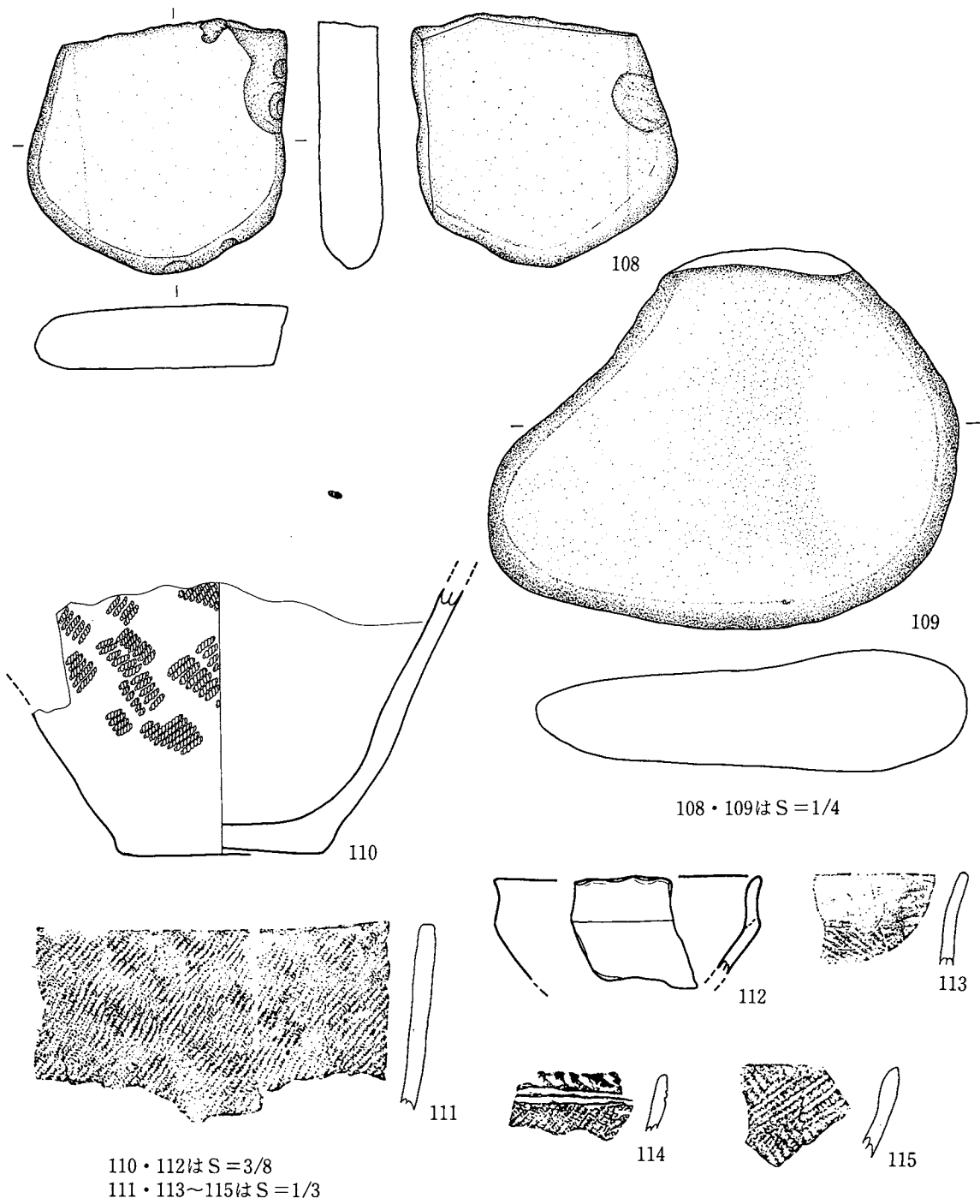


図26 縄文第6号住居跡(2)

(土器)流出しているためか出土量は少ない。掲載した6点のうち炉の埋設土器である110以外は埋土から出土している。鉢・壺・深鉢がみられる。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
110	縄文第6号住居跡	床面	深鉢	口～底部	単節縄文、横位綾絡文、底部ミガキ	ナデ	26	98
111	縄文第6号住居跡	Q1埋土	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	26	98
112	縄文第6号住居跡	Q2埋土	浅鉢	口～体部	刻目?	ナデ	26	98
113	縄文第6号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	26	98
114	縄文第6号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	刻目、突起、平行沈線、単節斜行縄文	ミガキ	26	98
115	縄文第6号住居跡	Q2埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	26	98

縄文第7号住居跡

第5、6号住居跡と同様の検出状況であるが、南側の流出が少なくほとんど全体が調査できた。この付近は削平が八戸火山灰層にまでおよんでおり、上部はかなり削り取られている。

遺構 (図27、写真図版10)

(位置) 第6号住居跡の北東、約4mに位置する。

(重複) 第99号土坑が炉の下に検出された。

(埋土) 黒褐色土を主体とし、暗褐色土、南部浮石粒のブロックを壁際を含む。

(平面形) 楕円形状 (規模) 3.2m×3.0m前後

(壁) すべて外反して立ち上がる。壁高は南壁を除き13cm～15cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、南側に緩く傾斜している。硬く締まっている。

(柱穴) 検出されなかった。

(炉) 住居跡中央部からわずかに南寄りに石囲炉が検出された。規模は57cm×62cmほどで一部礫が抜けた痕跡がみられる。焼土は34cm×45cmの楕円形状で、厚さは最大で8cmである。

(炭化材) 見られなかった。 (その他) なし

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図27、写真図版98)

(石器) 116は刃部調整は明瞭でないが、石筥の欠損品で両面加工が施される。

(土器) 10点掲載した。深鉢・鉢・注口土器などがみられるが、117は床面から、125は炉内から出土している。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
117	縄文第7号住居跡	床面	深鉢	口～体部	単節斜行縄文、ナデ	ナデ	27	98
118	縄文第7号住居跡	Q1埋土	注口土器	注口部		—	27	98
119	縄文第7号住居跡	Q2埋土	深鉢	口縁部	折り返し口縁、斜行縄文	ミガキ	27	98
120	縄文第7号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	平行沈線	ナデ	27	98
121	縄文第7号住居跡	Q2埋土	鉢	口縁部	磨消縄文、コブ	ミガキ	27	98
122	縄文第7号住居跡	Q2埋土	鉢	口縁部	単節斜行縄文、コブ	ミガキ	27	98
123	縄文第7号住居跡	Q2埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文	ナデ	27	98
124	縄文第7号住居跡	Q1埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ナデ	27	98
125	縄文第7号住居跡	炉内	深鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	27	98
126	縄文第7号住居跡	Q1埋土	鉢	体部	沈線区画、コブ	ナデ	27	98

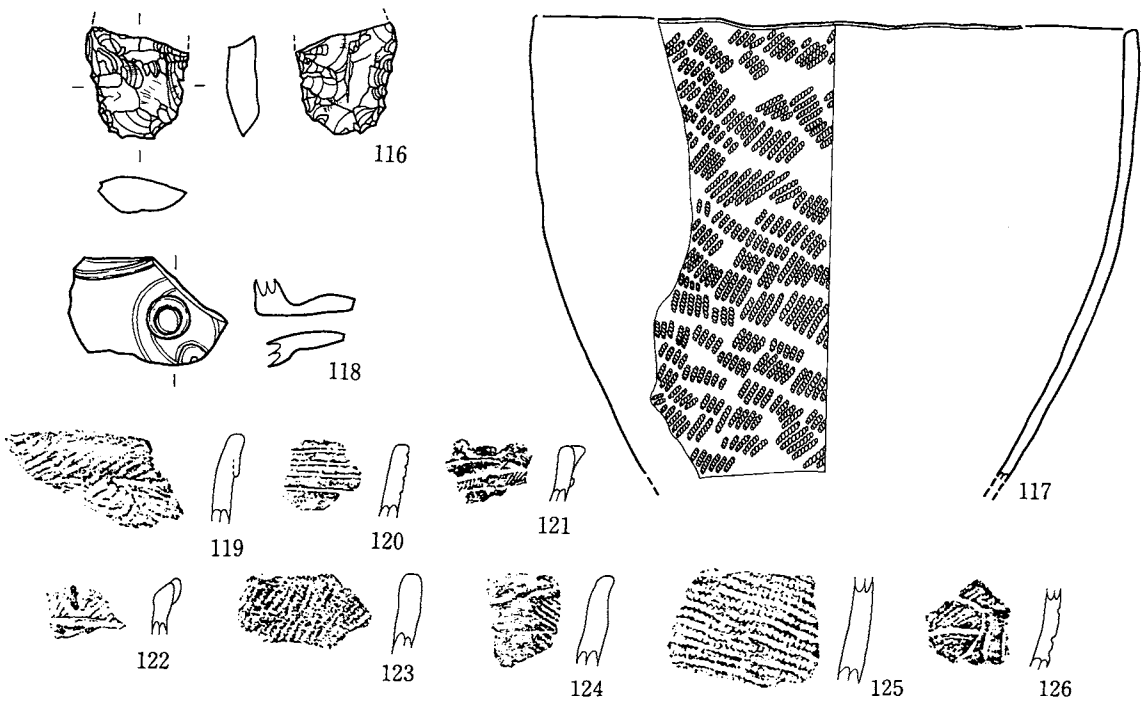
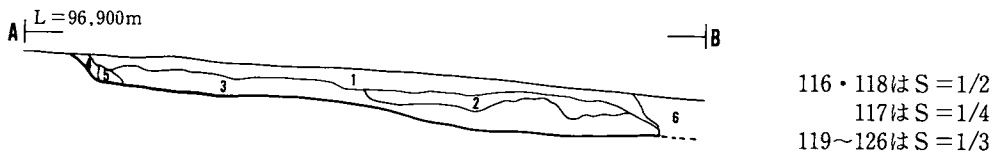
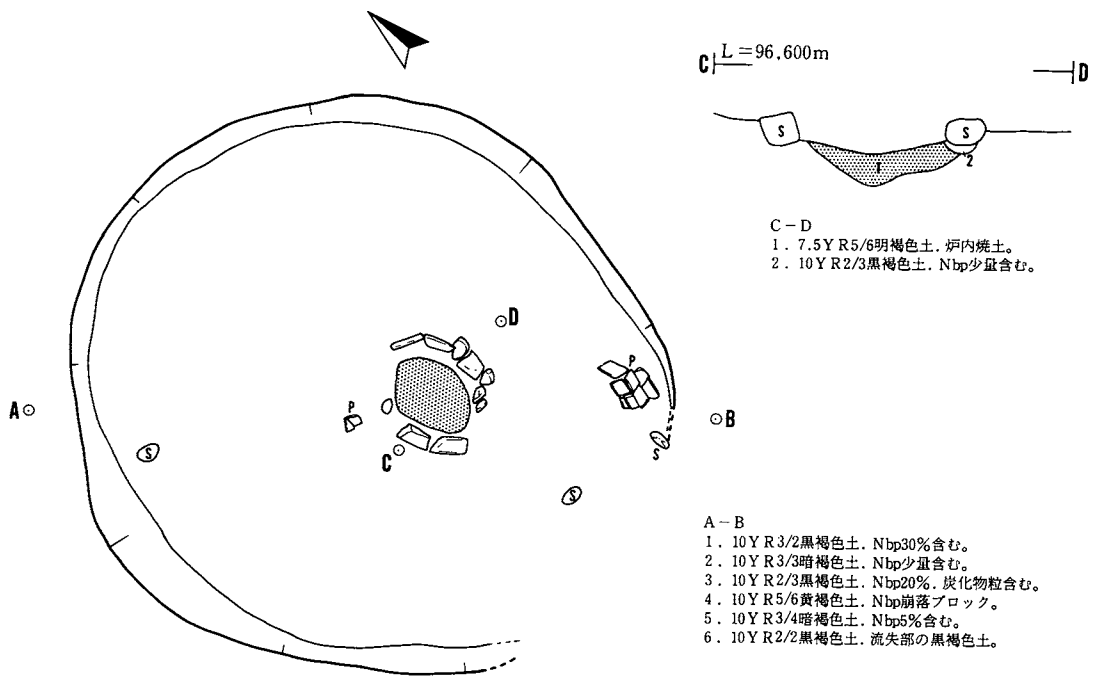


図27 縄文第7号住居跡

縄文第8号住居跡

本遺構のあるVID区は、調査区南東部では最も地山標高が高く、トレンチャーによる攪乱が著しい。耕作土を除去するとすぐに八戸火山灰層が見られ、その面で黒褐色土の長方形の広がり確認された。その検出状況から、本来は南部浮石層下に見られる縄文時代早期の住居跡を予測して精査したものである。なお、検出プラン内には炭化物粒が散在していた。

遺構 (図28、写真図版11)

(位置) 中世の第4号住居跡と隣合う。間隔は2mほどである。 (重複) なし

(埋土) 上位は黒褐色土、壁際から下位にかけては黄褐色土や明褐色土が主体となる。全体に、炭化物粒、焼土粒をまばらに含む。

(平面形) 長楕円形 (規模) 3.7m×2.8m

(壁) すべて直立ぎみに外傾する。壁高は42cm～56cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、細かな凹凸はあるが、全体に平坦である。

(柱穴) 壁柱穴51個、中央付近に1個が検出された。壁柱穴の間隔は6cm～16cmほどで、個々の規模は、直径10cm前後、深さは10cm～50cmである。また、住居跡の中央部側に傾けられていたと考えられる柱穴も認められた。

(炉) 焼成は良くないが、南隅付近に地床炉が検出された。33cm×50cmの不整形を呈し、最大厚は20cmである。さらにその下部にもわずかに焼成を受けている様子が観察された。

(炭化材) 木材は検出されなかったが、炭化した堅果類(クルミ)が出土した。

(その他) なし

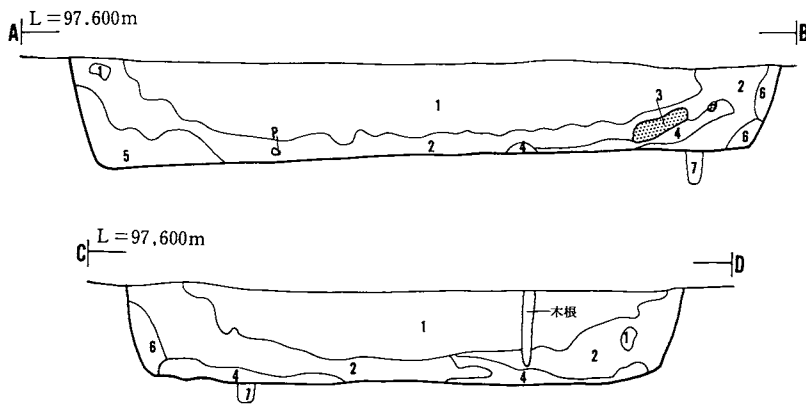
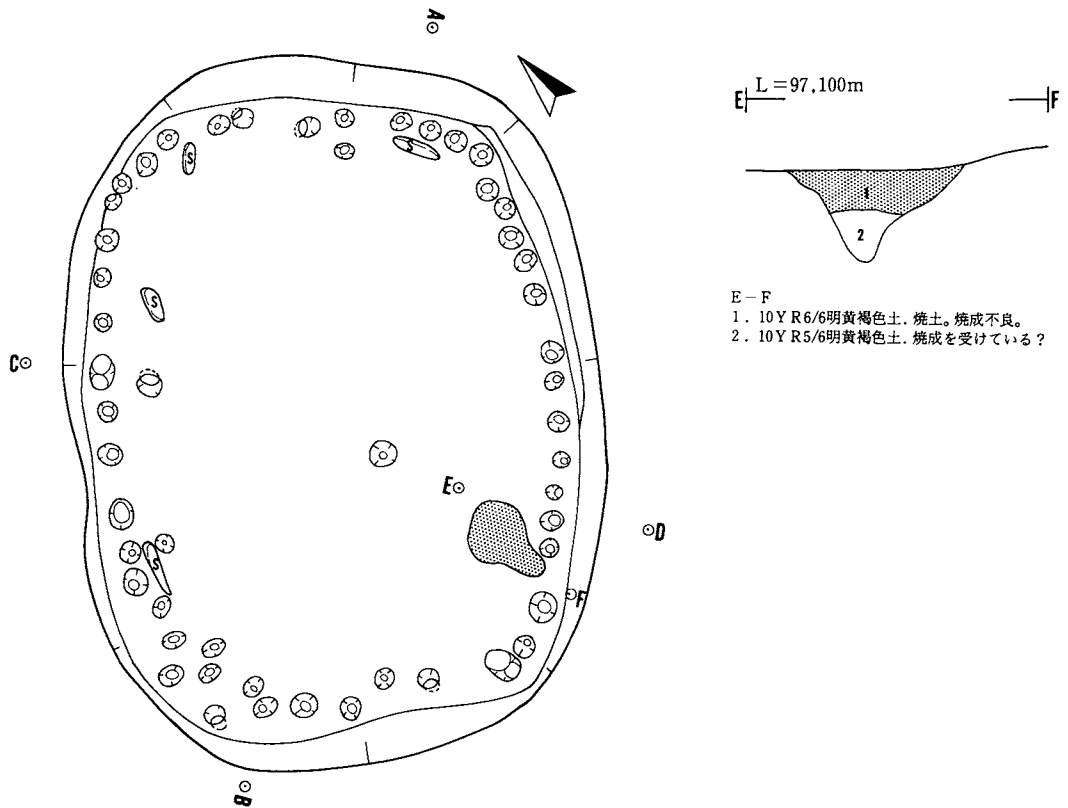
(時期) 縄文時代早期前半

遺物 (図29・30、写真図版99)

(石器) 127は無茎平基の石鏃で、先端部を欠く。128は側縁に細部加工のみられる剥片、129～132、133、134は加工の認められない剥片で、他に10点ほどあるが割愛した。これらはすべて埋土からの出土である。135は棒状の自然石の側縁に敲打の痕跡を持つもので、握りと思われる部分は使用による擦痕の光沢がみられる。136は磨石、137はチャートの石核である。

(土器) 同一固体と思われるものもあるが9点載せた。いずれも破片で口縁部破片が2点、その他は体部のものであるが、138は尖底の底部に近い部分である。 (濱田)

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
138	縄文第8号住居跡	埋土	深鉢	体～底部	無文、全面ミガキ、砂粒含む	ミガキ	30	99
139	縄文第8号住居跡	Q4埋土下位	深鉢	口縁部	無文、繊維?	ナデ	30	99
140	縄文第8号住居跡	Q4埋土	深鉢	口縁部	無文、繊維?	ナデ	30	99
141	縄文第8号住居跡	ベルト内	深鉢	体部	0段多条、小澱含む	ナデ	30	99



- A-B
1. 10 Y R 2/3 黒褐色土. 炭化物粒、焼土粒含む。
 2. 10 Y R 5/6 黄褐色土. 炭化物粒、浮石粒含む。
 3. 7.5 Y R 5/6 明褐色土. 焼土粒ブロック。
 4. 10 Y R 4/6 褐色土. 炭化材、焼土粒多量に含む。
 5. 10 Y R 4/4 褐色土. 炭化物粒含む。
 6. 10 Y R 6/6 明黄褐色土. 浮石粒わずかに含む。
 7. 10 Y R 5/6 黄褐色土. 壁柱穴の埋土。

図28 縄文第8号住居跡(1)

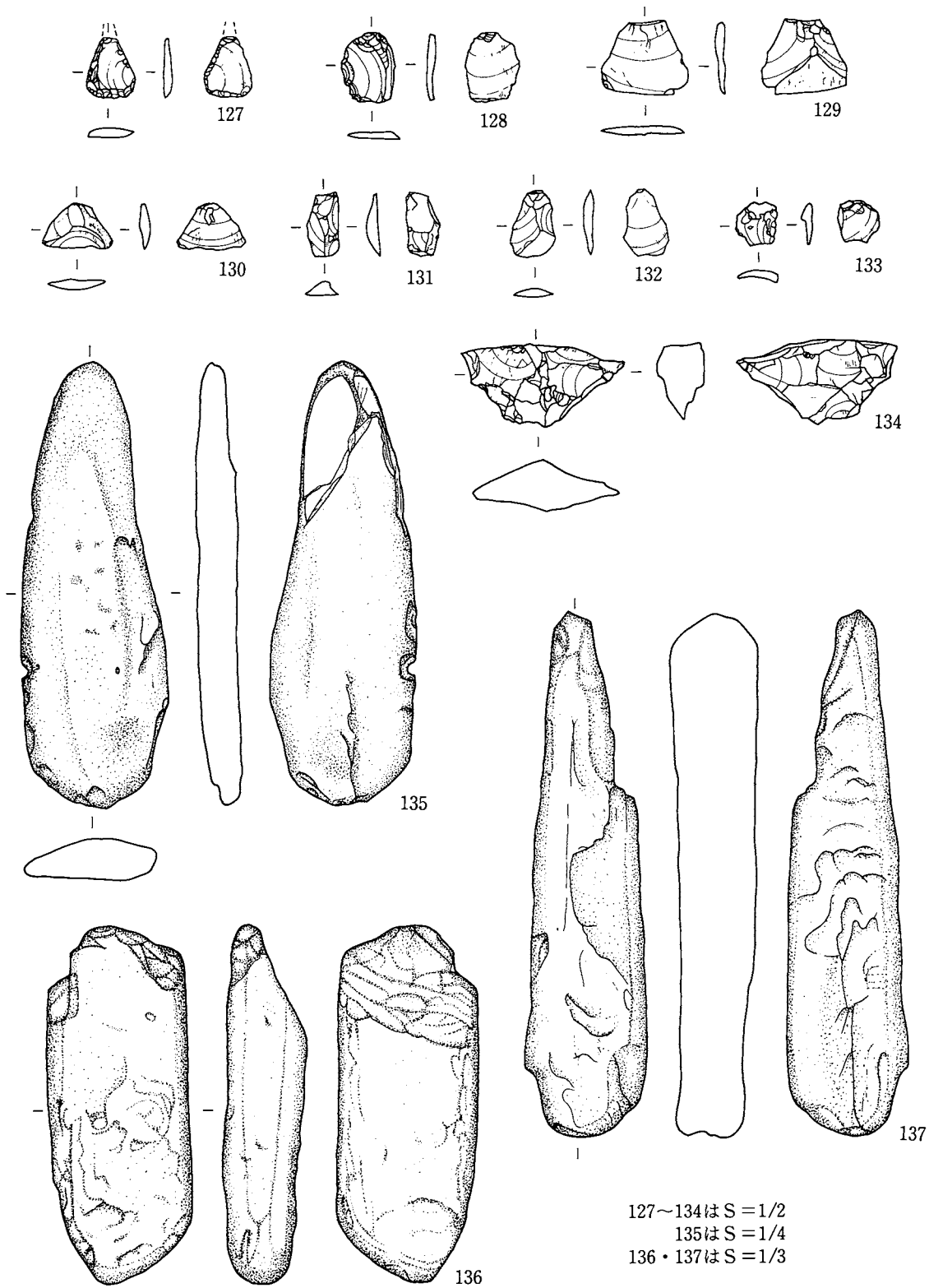


図29 縄文第8号住居跡(2)

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
142	縄文第8号住居跡	埋土下位	深鉢	体部	貝殻条痕文	ナデ	30	99
143	縄文第8号住居跡	ベルト内	深鉢	体部	貝殻腹縁文、砂粒含む	ナデ	30	99
144	縄文第8号住居跡	Q3埋土上位	深鉢	体部	単筋(?)斜行縄文、小礫含む	ナデ	30	99
145	縄文第8号住居跡	Q4埋土下位	深鉢	体部	無文、小礫、砂粒含む	ナデ	30	99
146	縄文第8号住居跡	埋土上位	深鉢	体部	無文、小礫含む、繊維?	ナデ	30	99

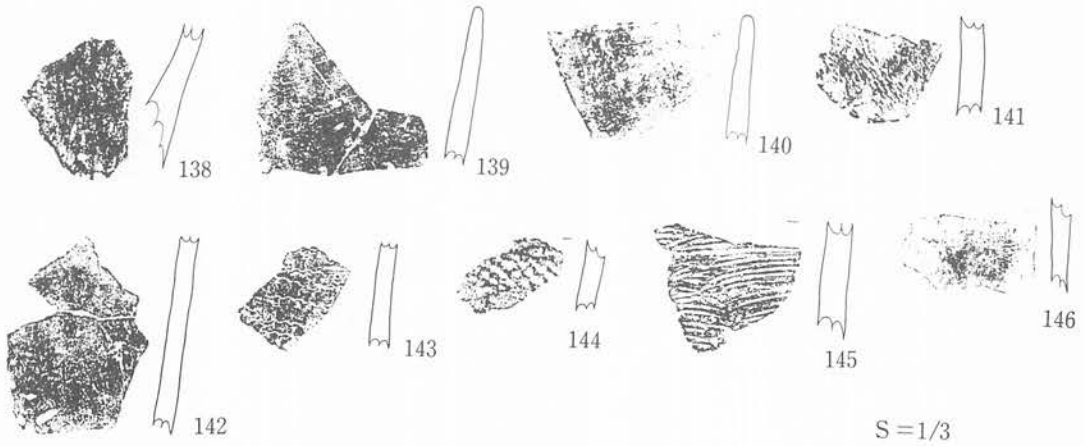


図30 縄文第8号住居跡(3)

2. 縄文時代の竪穴状遺構と出土遺物

形状や規模からは住居跡と考えられるが、炉を持たないものについて竪穴状遺構と呼称した。大形の土坑との差異は、規模や付属する施設（ピットなど）の有無によった。

縄文第1号竪穴状遺構

調査区南端部の住居跡群とともに検出された。八戸火山灰層に黒色の輪郭が見え、精査したところ炉がなかったため、竪穴状遺構とした。

遺構（図31、写真図版12）

（位置）第3号住居跡の北東約3mに位置する。

（重複）第4号住居跡と截りあうが、新旧関係は不明である。

（埋土）黒色土を主体とし、壁際に黒褐色土を含む。全体に炭化材物粒が混じる。

（平面形）円形（規模）2.9m×3.0m前後

（壁）南東壁以外は外傾して立ち上がる。壁高は20cm～22cmである。

（床面）一部北側に南部浮石層を床面とするところがあるが、それ以外は八戸火山灰層である。

（時期）縄文時代晩期

遺物（図31、写真図版100）

（土器）掲載した7点のうち152は柱穴から、それ以外は埋土から出土した。鉢と深鉢が主体である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
147	縄文第1号竪穴状	Q3埋土	鉢	ほぼ完形	突起と刻目の口縁、平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	31	100
148	縄文第1号竪穴状	Q4埋土	深鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	31	100
149	縄文第1号竪穴状	埋土	鉢	口～体部	平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	31	100
150	縄文第1号竪穴状	埋土	鉢	口縁部	平行沈線、小波状口縁	ナデ	31	100
151	縄文第1号竪穴状	Q2埋土	鉢	体部	平行沈線、突起	ミガキ	31	100
152	縄文第1号竪穴状	柱穴1	鉢	口～体部	単節斜行縄文	ナデ	31	100
153	縄文第1号竪穴状		深鉢	口縁部	コブ、平行沈線	ミガキ	31	100

第2号竪穴状遺構

調査区南端部の段丘が張り出す部分で検出された。すぐ南側は段丘崖である。

遺構（図32、写真図版13）

（位置）VF区の住居跡群からは北西方向に10m以上の距離がある。

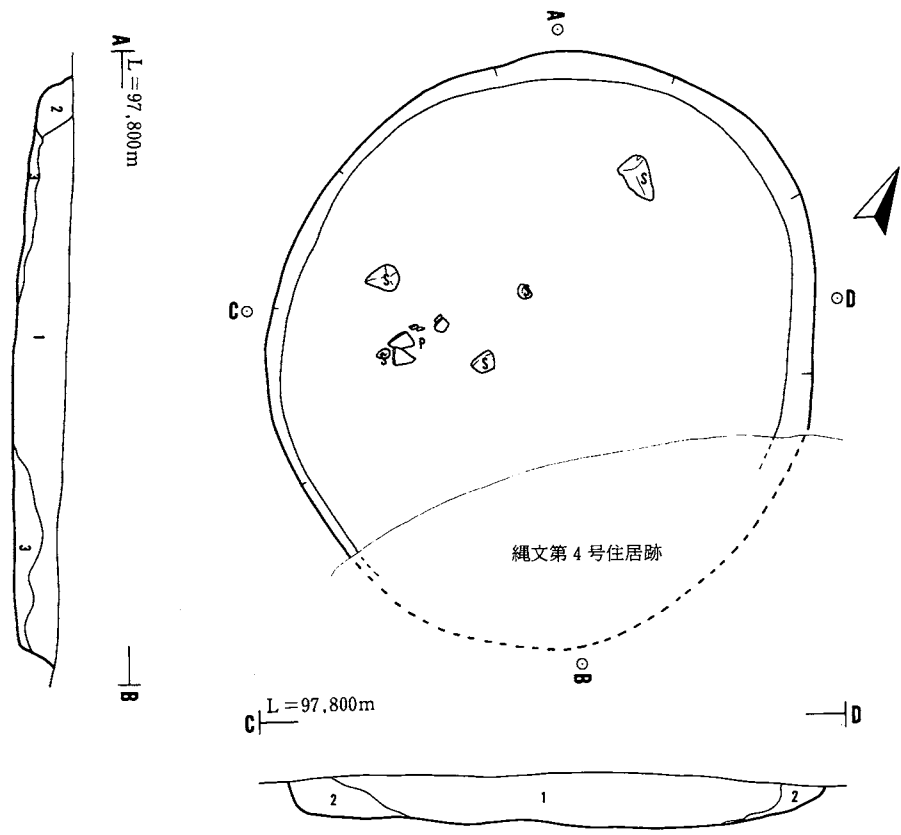
（重複）北西壁が第100号土坑に截られる。

（埋土）上位は暗褐色土と黒褐色土、中位から下位にかけては黒色土と黒褐色土が主体である。壁際は褐色土が厚く堆積する。

（平面形）隅丸方形状（規模）3.15m×3.56m

（壁）緩く段を持ちながら立ち上がる。壁高は最大で88cmを測る。

（床面）最下部には浅いピットがあり、その周辺は平坦であるが、フカフカとやわらかい。



A-B・C-D
 1. 10Y R2/1黒色土. Nbp5%、炭化材含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土. Nbp5~10%含む。
 3. 10Y R2/3黒褐色土. Nbp10%、炭化物粒含む。

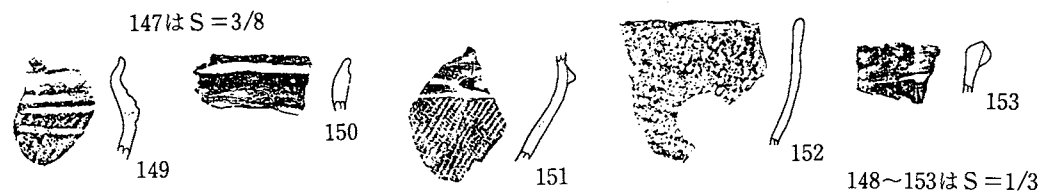
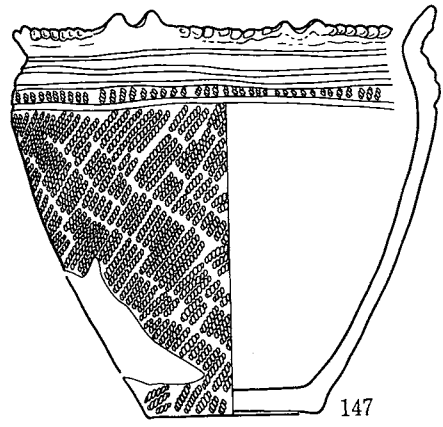
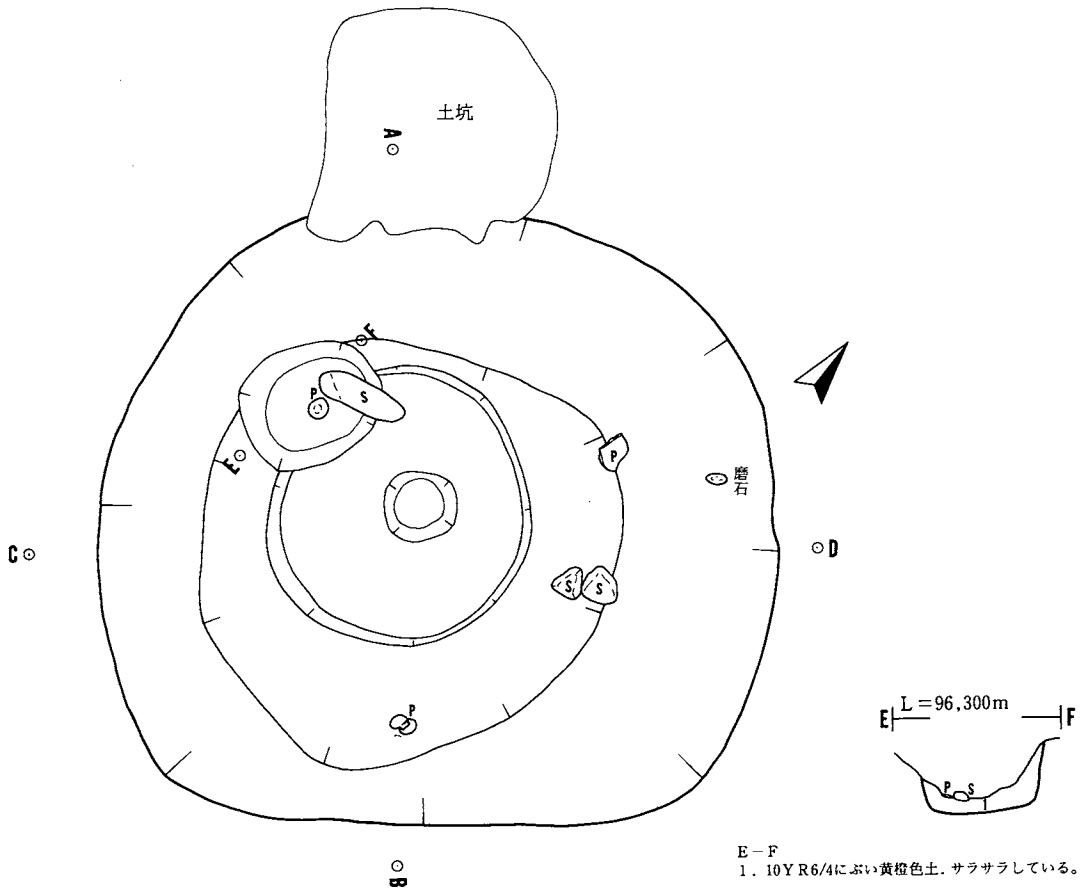
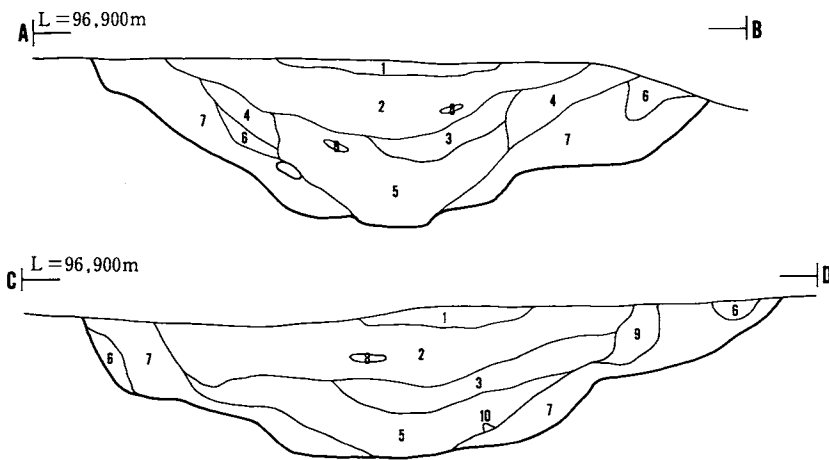


図31 縄文第1号竪穴状遺構



E-F
1. 10Y R6/4にふい黄橙色土、サラサラしている。



A-B・C-D

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 10Y R3/3暗褐色土、Nbp少量含み | 6. 10Y R4/3にふい黄褐色土、Nbpと浮石含む。 |
| 2. 10Y R2/1黒色土、Nbp7%、炭化材含む。 | 7. 10Y R4/4褐色土、炭化物流含む。 |
| 3. 10Y R2/2黒褐色土、Nbp5%含む。 | 8. 7.5Y R4/6褐色土、焼土ブロック。 |
| 4. 10Y R2/2黒褐色土、Nbp7%、炭化物粒含む。 | 9. 10Y R3/3暗褐色土、Nbp2%含む。 |
| 5. 10Y R2/ 黒色土、焼土、炭化物粒含む。 | 10. 10Y R5/4にふい黄褐色土、ブロック状。 |

図32 縄文第2号竖穴状遺構(1)

(その他) 西隅に P 1 がある。63cm×75cmの隅丸長方形状を呈し、ほぼ中央部に深さ10cm余りの小ピットを伴う。埋土からはほぼ同じ大きさの黒色と白色の礫 1 個ずつと浮石数個が出土した。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図33、写真図版100)

(石器) 154は使用痕のある剝片、155は細部加工剝片で割器的に用いたものか。156は花崗岩質の磨石で風化が進んでいる。157と158は自然石で、ともに P 1 から並んで出土したものである。157は白色を、158は黒みを帯びた色を呈し、大きさや形状もほぼ同じことから、通常の道具とは違った用途を持つと考えられる。

(土器) 18点掲載した。埋土を中心に、深鉢・浅鉢・鉢・ミニチュア・注口土器が出土している。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
159	縄文第2号竪穴状	Q 1 埋土	鉢	体～底部	雲形文(磨消縄文)、平行沈線	ミガキ	33	100
160	縄文第2号竪穴状	Q 4 埋土	深鉢	底部	単節斜行縄文、網代痕	ナデ	33	100
161	縄文第2号竪穴状	Q 2～4	深鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	33	100
162	縄文第2号竪穴状	土器 2	鉢	口～体部	全面ミガキ	ミガキ	33	100
163	縄文第2号竪穴状	土器 2	浅鉢	底部	羽状縄文	ナデ	33	100
164	縄文第2号竪穴状	Pit 1 埋土	注口土器	注口部		—	33	100
165	縄文第2号竪穴状	Q 1 埋土	注口土器	注口部		—	33	100
166	縄文第2号竪穴状		深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	33	100
167	縄文第2号竪穴状	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ナデ	33	100
168	縄文第2号竪穴状	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ナデ	33	100
169	縄文第2号竪穴状	Q 2 埋土	鉢	口縁部	隆帯、ミガキ、丹塗り?	ミガキ	33	100
170	縄文第2号竪穴状	Q 2 埋土	深鉢	口縁部	突起、ミガキ	ミガキ	33	100
171	縄文第2号竪穴状	Q 4 埋土	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	33	100
172	縄文第2号竪穴状	Q 2 埋土	鉢	体部	三叉文	ミガキ	33	100
173	縄文第2号竪穴状		小型鉢	口縁部	羽状縄文、折り返し口縁	ナデ	33	100
174	縄文第2号竪穴状	Q 3 埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ナデ	33	100
175	縄文第2号竪穴状		ミニチュア			—	—	100
176	縄文第2号竪穴状		ミニチュア		突起?	—	—	100

第3号竪穴状遺構

調査区南東端の段丘先端部に、5基の土坑と重複して検出された。当初、大型のフラスコ状土坑として精査していたが、プランが広がり、炉がないため最終的には竪穴状遺構とした。

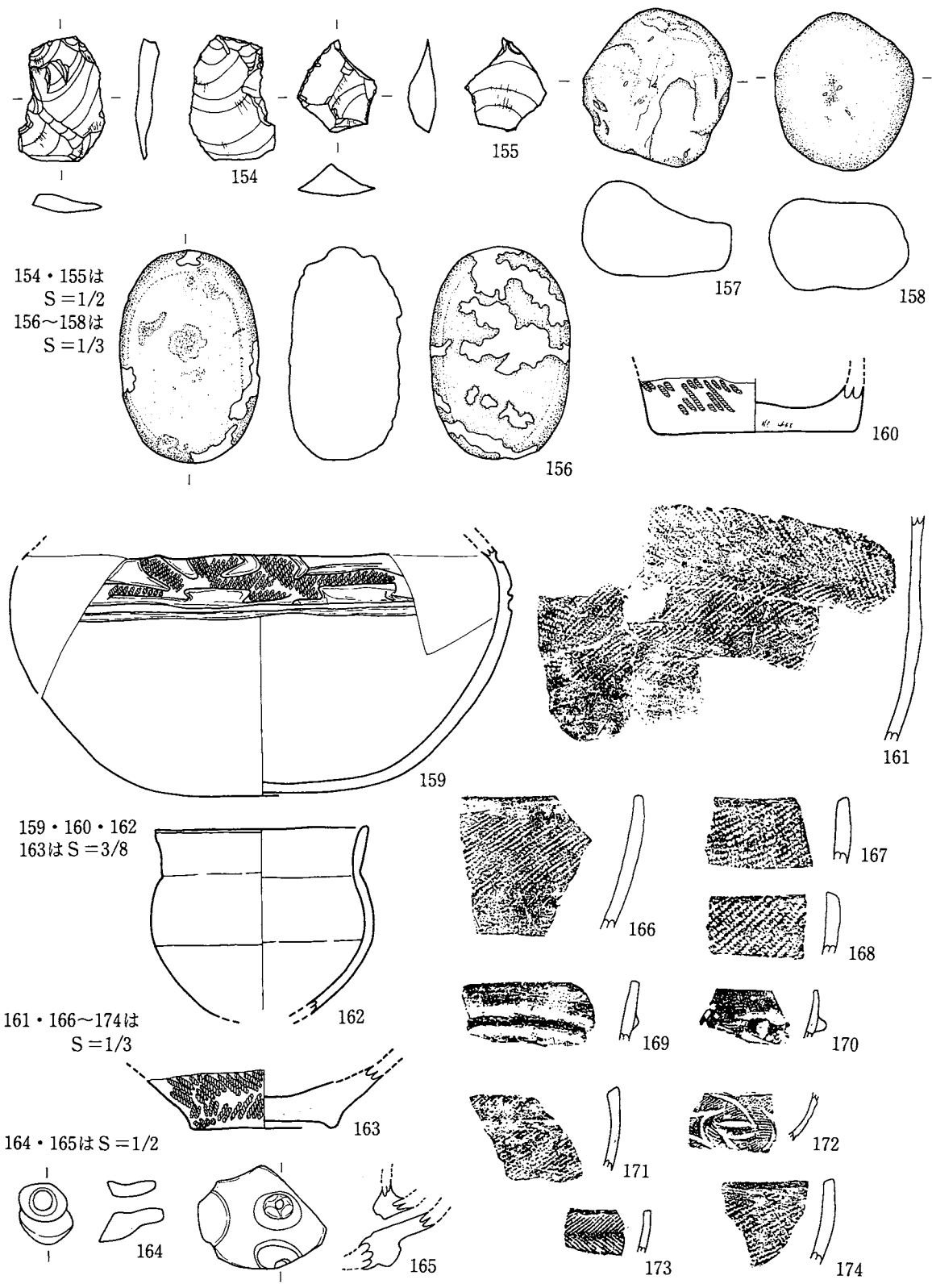
遺構 (図34、写真図版14)

(位置) 第2号竪穴状遺構とは南に28mの距離がある。

(重複) 第137号、138号、139号、140号、141号土坑と截り合う。すべて本遺構より古いと考えられるが、確実に言えるものは137号、138号、141号土坑である。

(埋土) 上位から中位は黒色土を、壁際から下位にかけては黒褐色土を主体とする。全体に南部浮石粒、まばらに中振浮石粒を含む。炭化物粒や焼土粒は、下位を中心に混入する。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.10m×4.30m



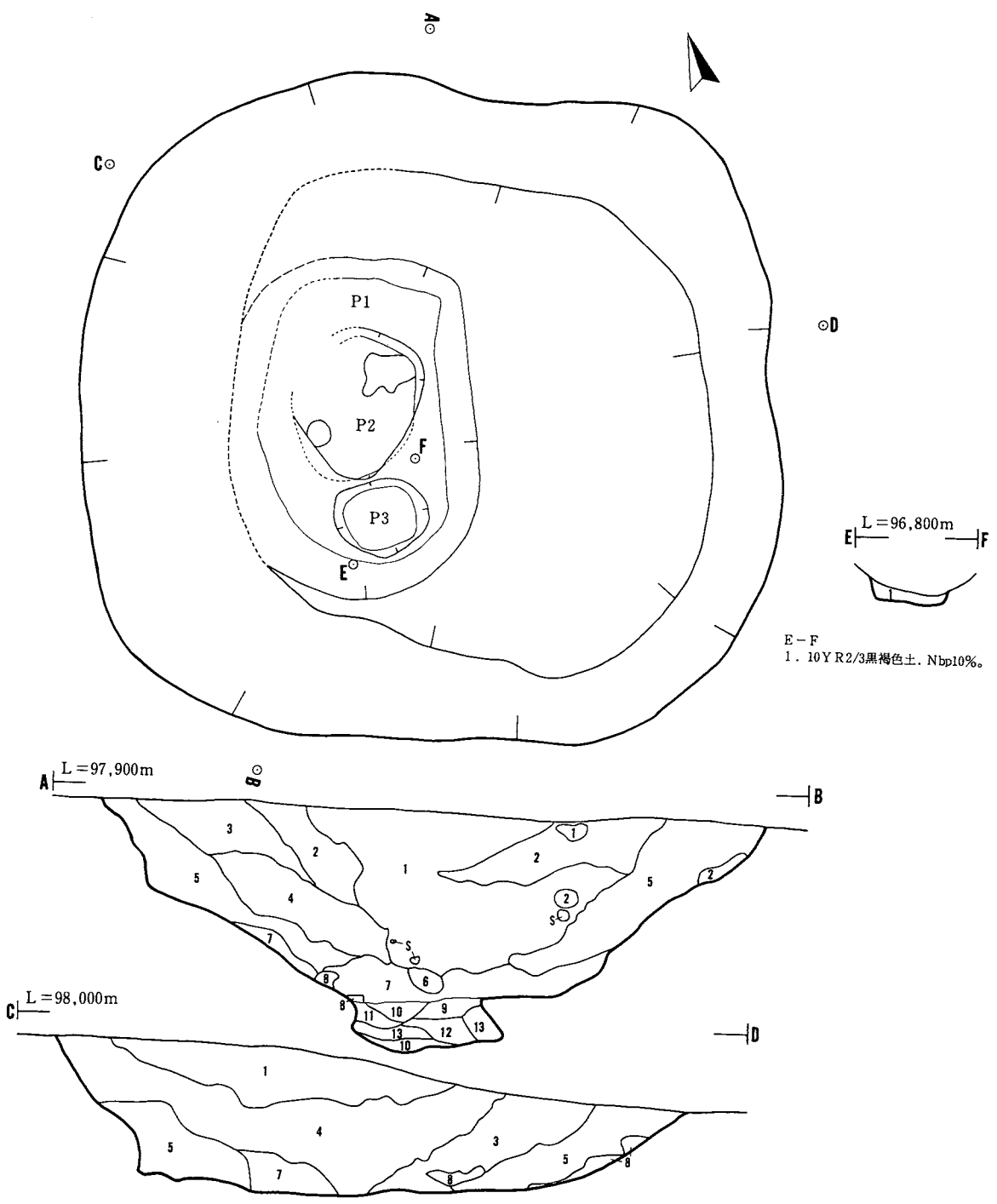
154・155は
S=1/2
156~158は
S=1/3

159・160・162
163は S=3/8

161・166~174は
S=1/3

164・165は S=1/2

図33 縄文第2号竖穴状遺構(2)



- A - B · C - D
- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 10Y R 1.7/1黒色土. Nbp20%、Chp含む。 | 7. 10Y R 2/3黒褐色土. 汚れNbp含む。 |
| 2. 10Y R 2/1黒色土. Nbp25%、Chp含む。 | 8. 10Y R 4/4褐色土. 地山崩落土。 |
| 3. 10Y R 2/1黒色土. Nbp10%、Chp含む。 | 9. 10Y R 2/3黒褐色土. 黄褐色土粒含む。 |
| 4. 10Y R 2/2黒褐色土. Nbp25%、炭化材含む。 | 10. 10Y R 2/3黒褐色土. Nbp3%含む。 |
| 5. 10Y R 2/3黒褐色土. Nbp10%、炭化物粒含む。 | 11. 10Y R 3/2黒褐色土. 炭化物粒含む。 |
| 6. 10Y R 3/2黒褐色土. 汚れNbp含む。 | 12. 10Y R 4/4褐色土. 黄褐色土粒含む。 |
| | 13. 10Y R 7/6明黄褐色土. 暗褐色土粒含む。 |

図34 縄文第3号竪穴状遺構(1)

(壁) 第2号竪穴状遺構と同様に、緩く外反ぎみに立ち上がる。壁高は105cm～120cmを測る。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、硬く締まる。わずかに波打つ感じである。

(その他) P1～P3の3基確認された。P1は本遺構の中央からわずかに西側にある長方形状のものである。規模は2.1m×1.5m、深さは23cmである。P2、P3はP1の底面に検出されたものである。P2は80cm×?の不整形で、深さは30cm。P3は50cm×60cmの円形で、深さは10cmを測る。P2は埋め戻されたものと考えられる。

(時期) 縄文時代晩期

遺物 (図35～38、写真図版101・102)

(石器) 177は横長石匙で、片面から調整された刃部は直状を呈する。178も横長の石匙であるが、ほぼ半分を欠損している。凸状の急角度の刃部を持ち、つまみは作製途中で欠いたのか一部しかない。178は凹刃の刃部を持つ搔器、179、180は使用痕のみられる剝片、181、182は細部加工剝片とした。183は搔器と思われるもの。184は両刃の磨製石斧で基部は欠損している。185は素材にあまり手を加えていない打製石斧で、自然面を多く残す。186は凹石、187と188は石製品であるが、187は石剣の欠損品と思われる。いずれも整形の際の摩擦痕が観察される。188は未製品で装飾品と思われる。偏平な楕円形の自然石の周囲を菱形になるように整形した痕跡がみられる。中心部には直径1.6mmの凹みを持つが、その裏面には加工調整はみられない。

(土器) 大量の土器が出土したが、口縁部破片を中心に36点掲載した。深鉢・鉢・台付浅鉢・壺がみられるが、いずれも埋土からの出土である。

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
189	縄文第3号竪穴状	埋土上位	台付浅鉢	ほぼ完形	三叉文、平行沈線、単節斜行縄文	ミガキ	36	101
190	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	小型鉢	ほぼ完形	突起、無節斜行縄文	ナデ	36	101
191	縄文第3号竪穴状	Q1埋土	深鉢	口～底部	羽状縄文、高台風	ミガキ	36	101
192	縄文第3号竪穴状	埋土上位	深鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	36	101
193	縄文第3号竪穴状	埋土上位	深鉢	口～体部	小波状口縁、沈線、無節斜行縄文	ミガキ	36	102
194	縄文第3号竪穴状	Q2埋土中～下位	浅鉢	口～体部	裝飾突起、三叉文、平行沈線、単節斜行縄文	ミガキ	36	102
195	縄文第3号竪穴状	埋土	浅鉢	口～体部	刻目、突起、三叉文、平行沈線、列点文、無節斜行縄文	ミガキ	36	102
196	縄文第3号竪穴状	Q1埋土中～下位	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ナデ	37	102
197	縄文第3号竪穴状	埋土	深鉢	口～体部	三叉文、平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	37	102
198	縄文第3号竪穴状	Q1埋土上位	深鉢	口～底部	小波状口縁、口縁部の一部に刺突	ミガキ	37	102
199	縄文第3号竪穴状	埋土	鉢	口～体部	波状口縁、二叉突起、平行沈線、単節斜行縄文	ミガキ	37	102
200	縄文第3号穴状	Q3埋土上位	壺	口～肩部・底部	口唇部単節斜行縄文、肩部単節斜行縄文	ミガキ	37	102
201	縄文第3号竪穴状	Q2埋土中～下位	壺	口～体部・底部	三叉文、平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	37	102
202	縄文第3号竪穴状	埋土上～下位	深鉢	口～体部	刺突によるコブ	ナデ	37	102
203	縄文第3号竪穴状	ベルト内	深鉢	口縁部	半円状連弧沈線、平行沈線、二単位突起	ミガキ	37	102
204	縄文第3号竪穴状	Q2埋土上位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	38	102
205	縄文第3号竪穴状	Q3埋土上位	深鉢	口～体部	刻目、単節斜行縄文	ナデ	38	102
206	縄文第3号竪穴状	Q1埋土中～下位	深鉢	口縁部	刻目、山形突起の口縁、無節斜行縄文、沈線	ミガキ	38	102
207	縄文第3号竪穴状	ベルト内	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	38	102
208	縄文第3号竪穴状	Q3埋土上位	深鉢	口～体部	無節斜行縄文	ナデ	38	102

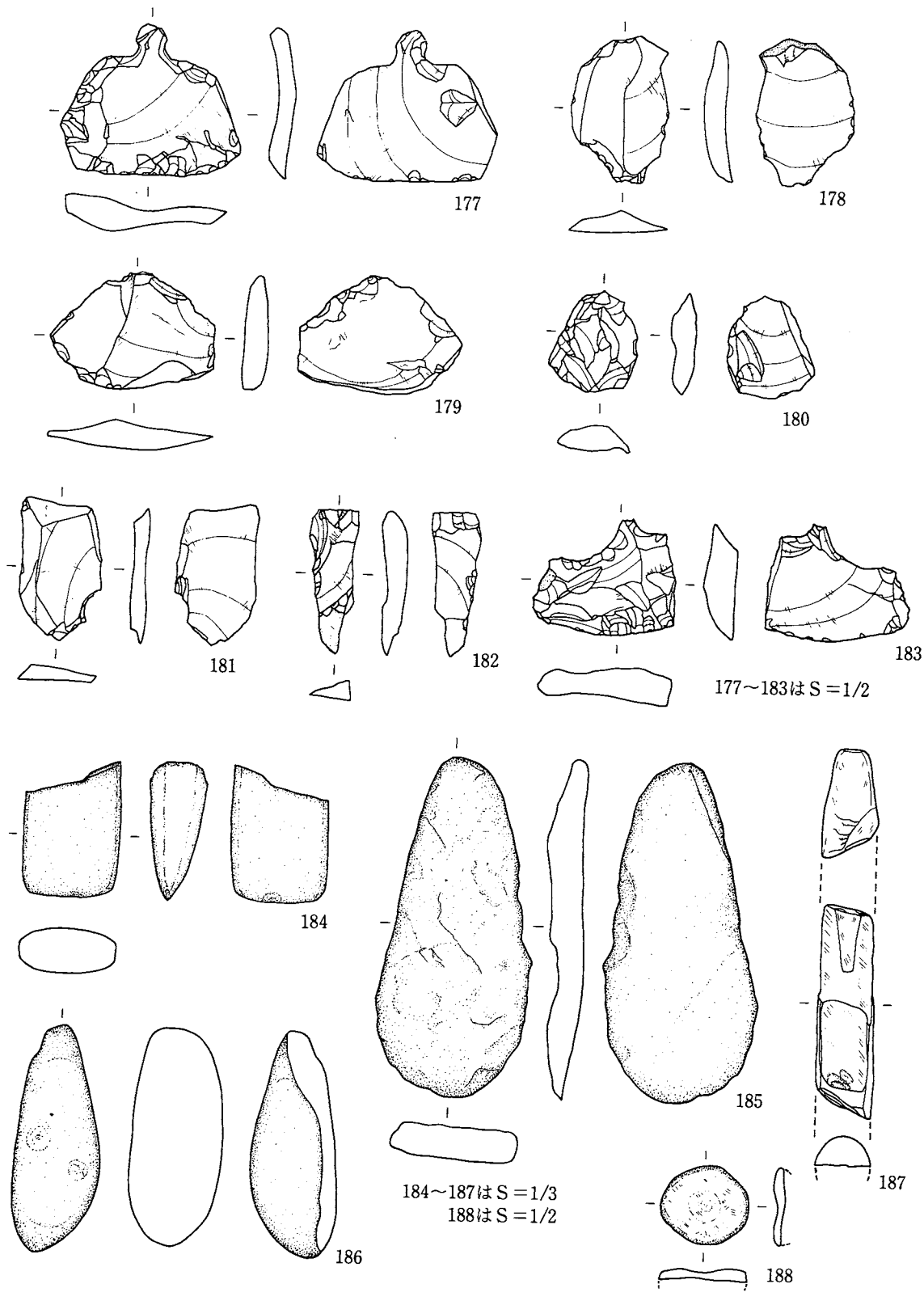


図35 縄文第3号竪穴状遺構(2)

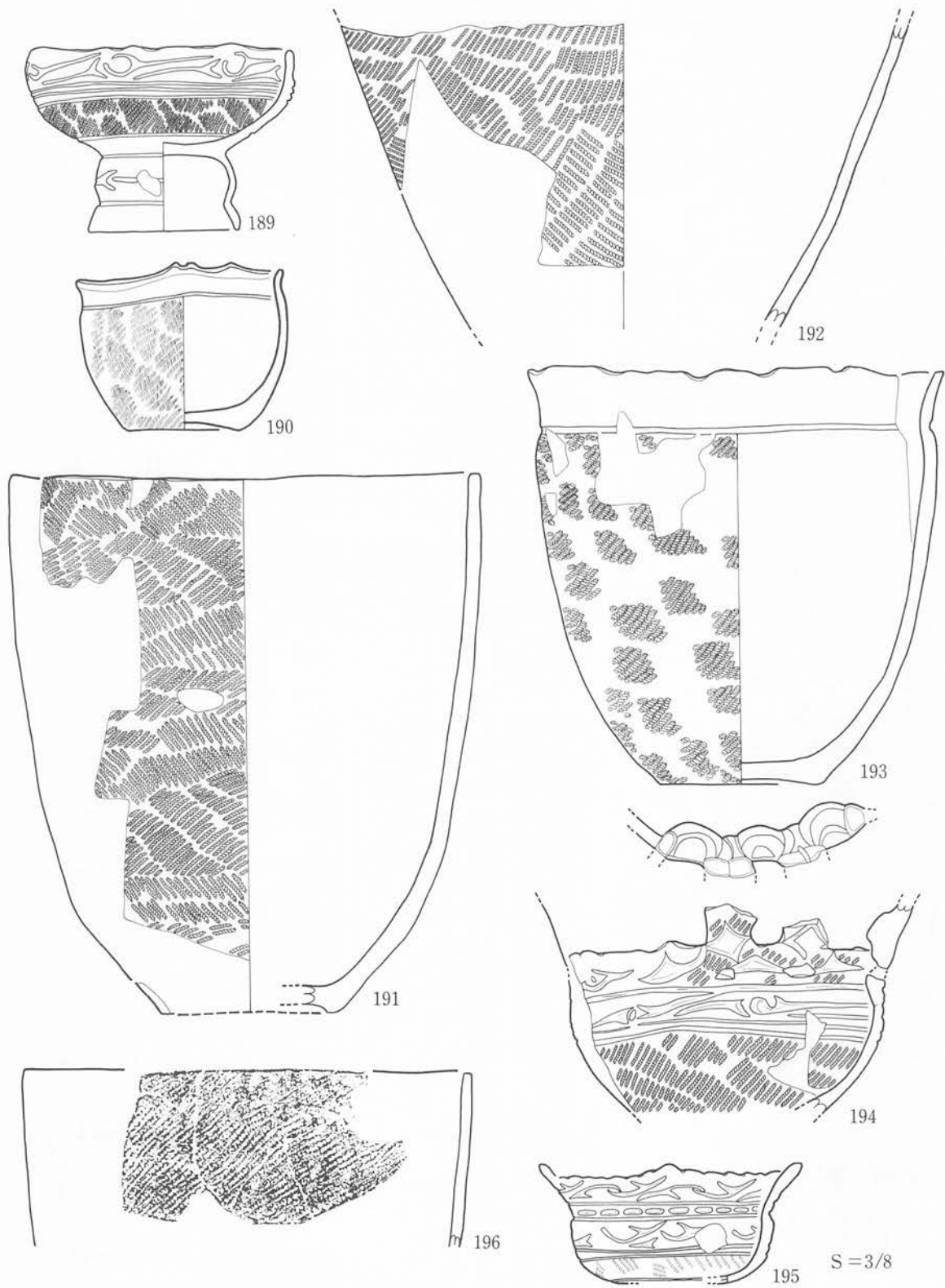
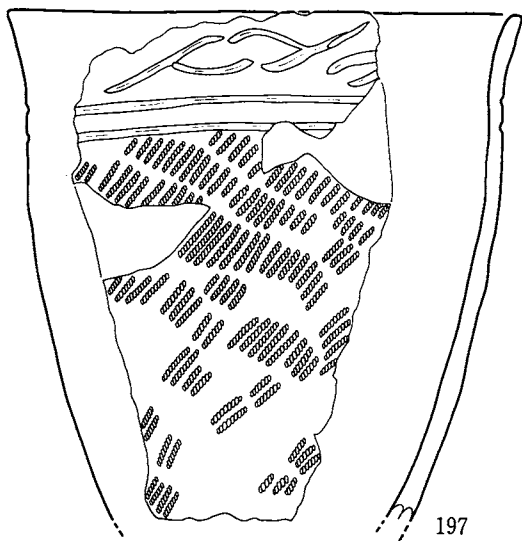
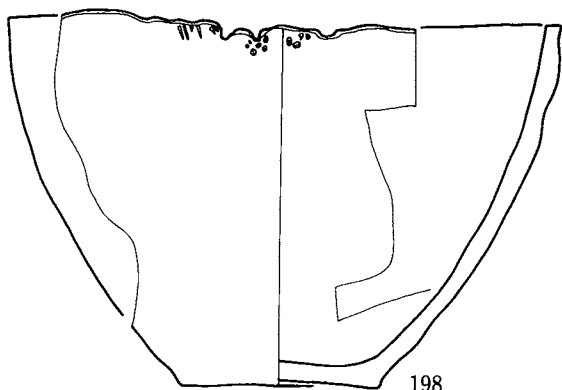


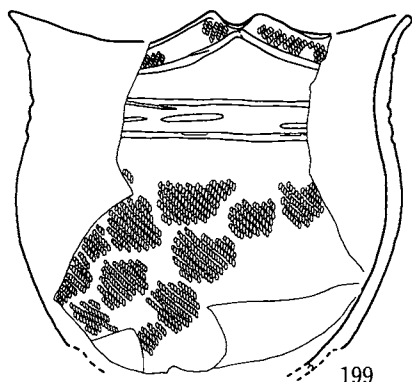
图36 绳文第3号竖穴状遺構(3)



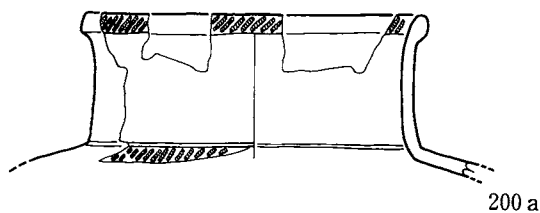
197



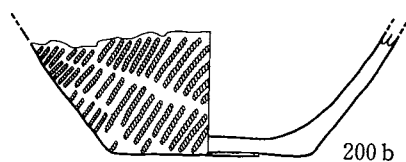
198



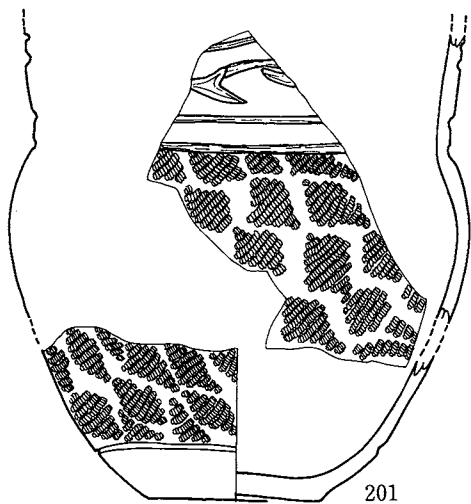
199



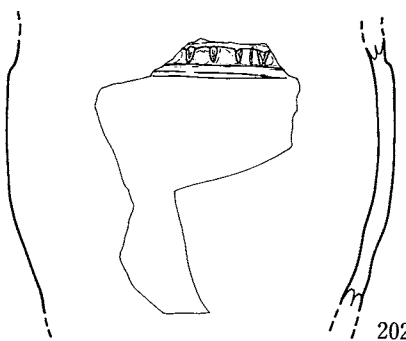
200 a



200 b



201



202



203

S=3/8

图37 绳文第3号竖穴状遗构(4)

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
209	縄文第3号竪穴状	Q 2 埋土上位	小型壺	体部	平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	38	102
210	縄文第3号竪穴状	Q 1 埋土上位	鉢	口縁部	半円状連弧沈線、平行沈線、刺突文	ミガキ	38	102
211	縄文第3号竪穴状	Q 2 埋土中～下位	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	38	102
212	縄文第3号竪穴状	Q 2 埋土中～下位	深鉢	口～体部	櫛引?	ナデ	38	102
213	縄文第3号竪穴状	Q 1 埋土中～下位	深鉢	口～体部	小波状口縁、単節斜行縄文	ミガキ	38	102
214	縄文第3号竪穴状	Q 1 埋土上位	鉢	肩～体部	ミガキ、単節斜行縄文	ナデ	38	102
215	縄文第3号竪穴状	埋土	深鉢	口～体部	小波状口縁、三叉文、平行沈線	ナデ	38	102
216	縄文第3号竪穴状	Q 2 埋土上位	深鉢	口縁部	刺突によるコブ状突起、単節斜行縄文	ミガキ	38	102
217	縄文第3号竪穴状	Q 1 埋土上位	鉢	口～体部	平行沈線、無節	ナデ	38	102
218	縄文第3号竪穴状	Q 2 埋土上位	鉢	口～体部	沈線文、コブ、単節斜行縄文	ナデ	38	102
219	縄文第3号竪穴状	Q 3 埋土上位	鉢	口～体部	平行沈線、ミガキ	ナデ	38	102
220	縄文第3号竪穴状	埋土	深鉢	口縁部	三叉文	ナデ	38	102
221	縄文第3号竪穴状	Q 1 埋土中～下位	鉢	口縁部	羊歯状文?	ナデ	38	102
222	縄文第3号竪穴状	埋土	壺	体部	沈線文	ナデ	38	102
223	縄文第3号竪穴状	Q 1 埋土上位	深鉢	体部	平行沈線、沈線文、斜行縄文	ミガキ	38	102
224	縄文第3号竪穴状	埋土	深鉢	体部	沈線文、単節斜行縄文	ミガキ	38	102

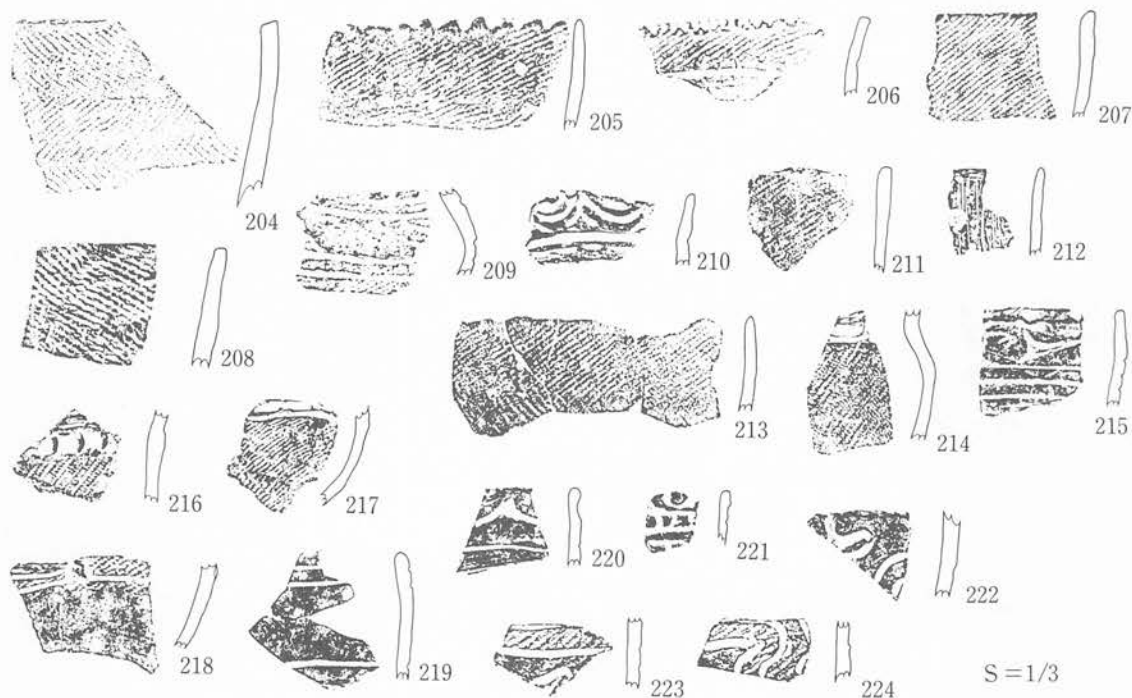
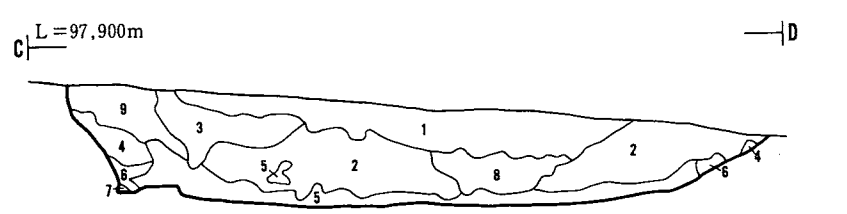
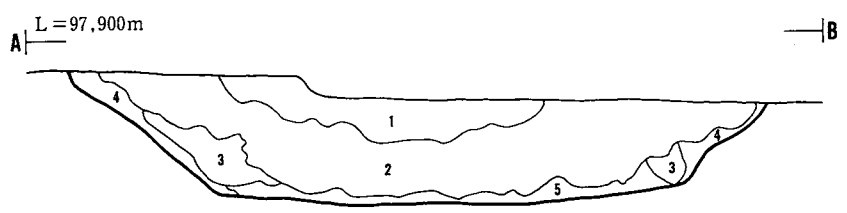
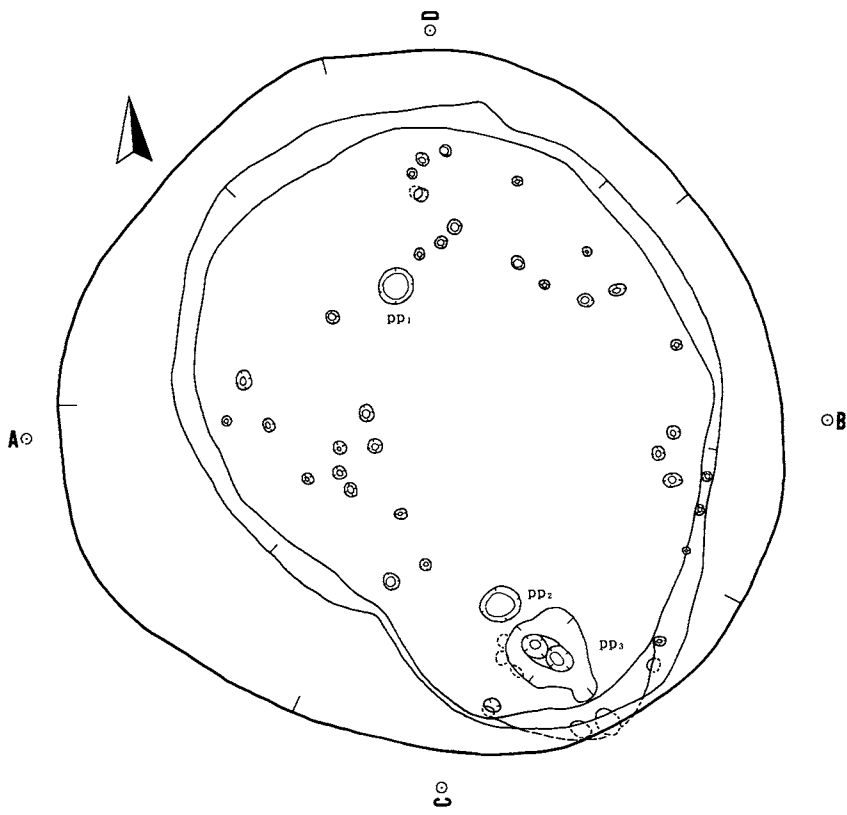


図38 縄文第3号竪穴状遺構(5)



- A - B · C - D
1. 10Y R2/1黒色土。Nbp5%、Chp含む。
 2. 10Y R3/2黒褐色土。Nbp、Chp、褐色土粒含む。
 3. 10Y R3/3暗褐色土。Nbp、地山崩落土含む。
 4. 10Y R4/4褐色土。Nbp少量含む。
 5. 10Y R3/3暗褐色土。黄褐色土含む。
 6. 10Y R6/6明黄褐色土。地山崩落土。
 7. 10Y R7/4にふい黄褐色土。崩落土？
 8. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp15%~20%含む。
 9. 10Y R3/4暗褐色土。Nbp、褐色土含む。



S = 1/3

図39 縄文第4号竖穴状遺構

第4号竪穴状遺構

V D区からV E区にかけてみられる埋没谷の西側の落ち際付近に確認された。検出プランから住居跡を予想したが、炉がみられず、出土遺物も土器片が1片だけである。

遺構（図39、写真図版15）

（位置）V D区のほぼ中央に位置する。（重複）なし

（埋土）上位は黒色土、中位は褐色土、下位は暗褐色土からなり、壁際に地山崩落土を含む。南部浮石粒、中振浮石粒は、上位から中位にかけて混入する。

（平面形）円形（規模）3.60m×3.80m

（壁）南壁は外反ぎみで、他は緩やかに外傾する。壁高は37cm～64cmである。

（床面）硬く締まっている。南側に半円状の張りだしがみられる。

（柱穴）PP1～PP3の3個確認された。PP1とPP2は支柱穴と考えられるが、PP3は不明である。

（時期）縄文時代

遺物（図39、写真図版102）

（土器）遺物は深鉢の体部破片1点のみ出土している。

（濱田）

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
225	縄文第4号竪穴状	Q2埋土	深鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	39	102

表3 縄文竪穴住居跡・竪穴状遺構出土石器一覧表

番号	分類	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
1		使用痕のある剥片	縄文第1号住	埋土Q2	4.3	3.0	1.0	13.9	赤色凝灰岩	8	89	
2	h	凹石、敲石	縄文第1号住	床面	12.0	6.7	3.2	310	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	8	89	
3	g	石斧	縄文第1号住	床面	3.9	3.0	1.0	21.1	チャート質粘板岩	8	89	
4	h	半円状偏平石器	縄文第1号住	床面	11.5	5.9	2.6	300	砂質粘板岩、北上山地、古生界	8	89	
10	a	石鏃	縄文第2号住	埋土Q1	2.2	1.5	0.5	1.4	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
11	a	石鏃	縄文第2号住	埋土Q1	3.0	1.5	0.6	2.5	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
12	a	石槍	縄文第2号住	床面土器内	4.0	2.0	1.2	10.5	チャート質粘板岩	10	90	
13		使用痕のある剥片	縄文第2号住	埋土Q1	3.5	2.1	0.6	3.3	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
14		使用痕のある剥片	縄文第2号住	埋土Q2	3.5	2.9	0.9	11.0	赤色凝灰岩	10	90	
15	f	細部加工剥片	縄文第2号住	埋土Q3	2.9	2.7	0.7	5.4	赤色凝灰岩	10	90	
16	f	細部加工剥片	縄文第2号住	掘り方埋土	3.0	4.5	1.0	14.2	粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
17	h	敲石	縄文第2号住	床面	13.0	5.4	2.8	260	砂質粘板岩、北上山地、古生界	10	90	
18	h	磨石、敲石	縄文第2号住	床面	14.7	8.3	4.8	880	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	10	90	
19	h	凹石	縄文第2号住	床面	12.8	9.9	3.4	570	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	10	90	
20	h	磨石	縄文第2号住	床面	12.3	6.9	5.6	670	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	11	91	
21	h	磨石	縄文第2号住	床面	10.6	5.6	3.7	290	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	11	91	
42	d	削器	縄文第3号住	床面	7.6	4.2	0.9	33.7	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
43		使用痕のある剥片	縄文第3号住	Q4埋土	5.1	3.9	0.7	12.2	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
44		使用痕のある剥片	縄文第3号住	Q4埋土	4.1	2.4	0.9	0.8	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
45		使用痕のある剥片	縄文第3号住	Q4埋土	3.4	2.0	0.3	1.5	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
46	f	細部加工剥片	縄文第3号住	Q4埋土	4.5	2.7	0.7	9.0	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
47	f	細部加工剥片	縄文第3号住	Q4埋土	3.9	3.1	1.2	11.9	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	

番号	分類	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
48	f	細部加工剥片	縄文第3号住	Q 4埋土	4.6	3.5	1.1	14.8	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
49	f	細部加工剥片	縄文第3号住	Q 4埋土	4.9	3.6	0.8	11.0	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	15	93	
50	h	磨石	縄文第3号住	床面	10.2	7.4	5.6	600	石英斑岩、北上山地、中生界	15	93	
51	h	磨石	縄文第3号住	Q 4埋土	12.2	5.2	3.2	30.0	凝灰岩、北上山地、中生界	15	93	
52	i	石皿(粗製)	縄文第3号住	床面	17.2	20.8	7.8	3870	凝灰岩、北上山地、中生界	16	94	
53	f	石皿(粗製)	縄文第3号住	床面	33.2	21.4	8.4	7300	流紋岩、北上山地、中生界	16	94	
56	b	石匙	縄文第4号住	床面	3.6	4.3	0.7	8.4	粘板岩、北上山地、中生界	18	95	
57	h	磨石	縄文第4号住	埋土下位	11.3	7.7	5.1	630	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
58	h	磨石	縄文第4号住	床面土器内	8.5	6.3	4.2	290	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
59	h	磨石	縄文第4号住	床面土器内	7.8	6.1	4.6	300	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
60	h	磨石	縄文第4号住	埋土下位	8.9	5.9	3.7	300	安山岩、北上山地、中生界	18	95	
61	h	磨石	縄文第4号住	埋土中~下位	6.9	6.4	6.3	290	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	18	95	
62	f	台石	縄文第4号住	床面	53.4	27.7	6.3	17000	流紋岩、北上山地、中生界	—	—	
63	i	石皿	縄文第4号住	床面直上	20.3	17.8	2.7	760	阿蘇石安山岩、岩手火山(?)第四系	18	95	
64	ø	円盤状石製品	縄文第4号住	埋土下位	3.9	3.6	0.7	12.7	粘板岩、北上山地、中生界	18	95	
99	b	石匙	縄文第5号住	床面直上	5.1	5.0	1.0	26.9	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	23	97	
100	h	磨石	縄文第5号住	床面土器内	8.9	6.7	5.0	430	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	23	97	
101	h	磨石	縄文第5号住	床面	13.6	8.5	6.2	1230	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	23	97	
102	h	磨石	縄文第5号住	床面	12.7	9.0	6.8	1170	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	23	97	
108	i	石皿	縄文第6号住	床面	15.3	16.2	3.9	1700	凝灰岩、北上山地、中生界	26	98	
109	i	石皿	縄文第6号住	床面	23.2	29.0	7.3	6500	流紋岩、北上山地、中生界	26	98	
116	c	石篋	縄文第7号住	Q 2埋土	2.8	2.7	0.9	6.7	流紋岩質極細粒凝灰岩、奥羽山地、中新統	27	98	
127	a	石鏃	縄文第8号住	埋土	1.9	1.6	0.3	1.2	チャート質凝灰質泥岩、北上山地、中生界	29	99	
128	f	細部加工剥片	縄文第8号住	ベルト内	2.2	1.8	0.3	1.4	チャート質凝灰質泥岩、北上山地、中生界	29	99	
129		剥片	縄文第8号住	埋土	2.4	2.8	0.3	2.4	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
130		剥片	縄文第8号住	埋土	1.5	2.2	0.3	0.9	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
131		剥片	縄文第8号住	埋土	2.0	1.0	0.4	0.9	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
132		剥片	縄文第8号住	ベルト内	2.1	1.9	0.3	0.8	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
133		剥片	縄文第8号住	Q 3埋土	1.3	1.3	0.3	0.6	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	29	99	
134		剥片	縄文第8号住	Q 4埋土	2.6	5.0	1.6	17.4	赤褐色凝灰岩、北上山地、中生界	29	99	
135	h	敲石	縄文第8号住	床面直上	28.5	9.3	2.7	960	硬砂岩、北上山地、中生界	29	99	
136	h	磨石	縄文第8号住	床面直上	17.4	6.9	3.6	700	粘板岩、北上山地、中生界	29	99	
137		石核	縄文第8号住	床面直上	25.3	5.8	4.2	340	チャート、北上山地、中生界	29	99	
154		使用痕のある剥片	縄文2号竪穴	Q 4埋土	4.0	2.8	0.7	7.1	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	33	100	
155	f	細部加工剥片	縄文2号竪穴	Q 2埋土	3.0	2.6	0.9	5.7	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	33	100	
156	h	磨石	縄文2号竪穴	床面	10.3	6.8	5.6	580	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	33	100	
157		自然石	縄文2号竪穴	Pit 1埋土	7.6	7.3	3.5	300	石英、北上山地、中生界	33	100	
158		自然石	縄文2号竪穴	Pit 1埋土	7.7	7.9	4.1	380	安山岩、北上山地、中生界	33	100	
177	b	石匙	縄文3号竪穴	埋土上位	4.9	5.7	1.0	27.2	チャート質凝灰質泥岩、北上山地、中生界	35	101	
178	b	石匙	縄文3号竪穴	埋土	4.8	3.2	0.7	11.2	チャート質凝灰質泥岩、北上山地、中生界	35	101	
179		使用痕のある剥片	縄文3号竪穴	埋土中~下位	3.8	5.3	0.9	20.6	粘板岩、北上山地、中生界	35	101	
180		使用痕のある剥片	縄文3号竪穴	ベルト内	3.3	2.9	0.8	8.2	チャート、北上山地、中生界	35	101	
181	f	細部加工剥片	縄文3号竪穴	埋土上位	4.4	2.7	0.5	7.1	チャート質凝灰質泥岩、北上山地、中生界	35	101	
182	f	細部加工剥片	縄文3号竪穴	埋土中~下位	4.7	1.9	0.6	3.6	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	35	101	
183	d	搔器	縄文3号竪穴	埋土	4.7	3.8	1.3	20.0	チャート質凝灰質泥岩、北上山地、中生界	35	101	
184	g	石斧	縄文3号竪穴	埋土上~中位	6.2	4.3	2.2	120	緑色凝灰岩、奥羽山地、中新統	35	101	
185	g	石斧	縄文3号竪穴	Q 2埋土	16.5	7.6	1.9	280	砂質粘板岩、北上山地、中生界	35	101	
186	h	凹石	縄文3号竪穴	Q 2埋土上位	11.0	4.3	4.5	240	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	35	101	
187	m	石剣	縄文3号竪穴	埋土	—	2.8	—	84.4	粘板岩、北上山地、古生界	35	101	
188	m	石製品(装飾品?)	縄文3号竪穴	Q 1埋土上位	3.9	4.3	0.5	16.7	玄武岩質凝灰岩、北上山地、中生界	35	101	未製品

3. 古代の竪穴住居跡と出土遺物

古代の住居跡は7棟検出されているが、すべて8世紀の奈良時代の遺構である。すべて平成4年度の調査で検出された。遺構名の付け方は縄文時代のものと同様である。

先述のように、縄文時代の遺構は調査区南側に延びる段丘の先端部に集中したが、古代の住居跡はその北西方向約20m～35mの範囲に、ほぼ一定の間隔をもって検出されている。地形的には、緩やかな斜面が終わり段丘崖まで続く平坦面にあり、検出面はII層下部～III層上部の黒色土である。

検出状況は、削平の著しい1棟を除き、十和田a降下火山灰と白頭山-苦小牧降下火山灰が、住居跡の方形の輪郭に円形に入り込んだ状態である。埋土に火山灰が混入しているため、地山よりも白っぽい黒色土が輪郭として見えた。また、検出の手がかりとして、煙出部と思われる部分に黄褐色の土粒がすべてに混入していた。

古代第1号住居跡

遺構 (図40、写真図版16)

(位置) 古代の住居跡群のなかでは北西側に位置し、古代第2号住居跡とは北東方向に6mほどの距離がある。

(埋土) 黒色土と黒褐色土を主体とし、中位の黒色土に両火山灰が含まれる。上位には、粒径3～30mmほどの角礫を多量に含む褐色土が厚さ約20cm堆積している。この褐色土が見られるのは本遺構だけであり、この土は人為的に埋め戻された可能性がある。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 3.30m×3.60m (主軸方向) N-63°-W

(壁) すべて緩やかに外反して立ち上がる。壁高は50cm～68cmである。

(床面) 南部浮石層を床面とし、わずかに波打つ。あまり締まりはない。

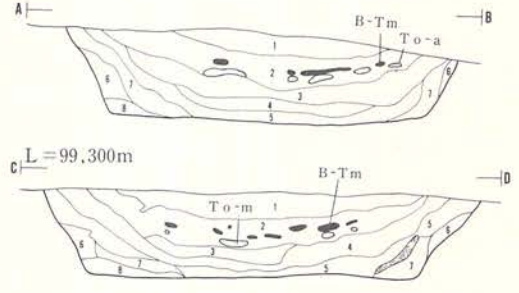
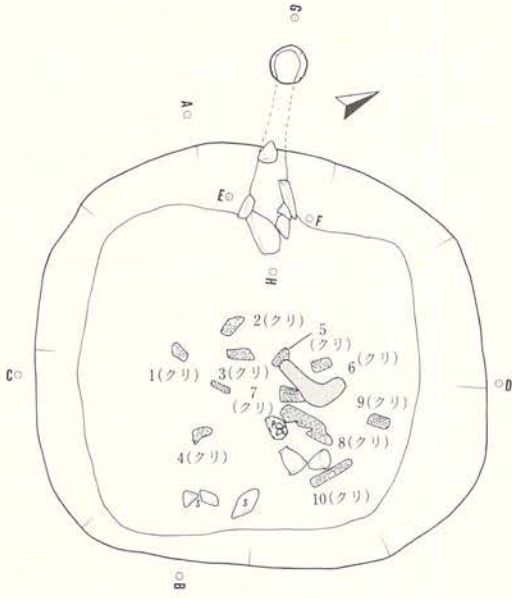
(柱穴) (土坑) とともに検出されなかった。

(炭化材) 住居跡中央部に、焼失に伴う炭化材10片と焼土が検出された。材は板材と思われるものがほとんどである。

(カマド) <位置> 北西壁中央 <主軸方向> N-63°-W

<本体> 袖部および天井部の構成礫のみ残存する。芯材の礫はいずれも偏平なもので、それを垂直に立てて袖部を構築している。天井の礫は19cm×40cmを測り、本体中央部にずり落ちている。燃焼部の焼土は認められなかった。

<煙道部、煙出部> くり貫き式の煙道を持ち、底面は約10度の角度で緩やかに下がり煙出部に至る。煙出部の底面には12cmほど掘り込まれた小ピットを伴い、そこから検出面までの深さは77cmである。各部の埋土には焼土粒を含み、煙出口付近の埋土には黄褐色土粒が多量に含まれ



- A-B・C-D
1. 10Y R4/6褐色土。角礫を多量に含む。
 2. 10Y R2/1黒色土。火山灰含む。
 3. 10Y R1.7/1黒色土。炭化材含む。
 4. 10Y R2/2黒褐色土。火山灰少量含む。
 5. 10Y R3/1黒褐色土。
 6. 10Y R2/2黒褐色土。地山崩落土。
 7. 10Y R2/1黒色土。
 8. 10Y R2/1黒色土。



- E-F・G-H
1. 10Y R2/1黒色土。黄褐色土粒含む。
 2. 10Y R6/6明黄褐色土。天井部崩落土。
 3. 7.5Y R3/4暗褐色土。淡い色調の焼土。
 4. 7.5Y R4/3褐色土。焼成を受けていないNbp。
 5. 7.5Y R2/2黒褐色土。焼土粒含む。
 6. 10Y R2/1黒色土。
 7. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土の小ブロック含む。

カマド (cm)

本	高さ	94	煙	長さ	115	煙	径	24
体	幅	92	道	幅	16-28	出	深さ	74
			部			部		

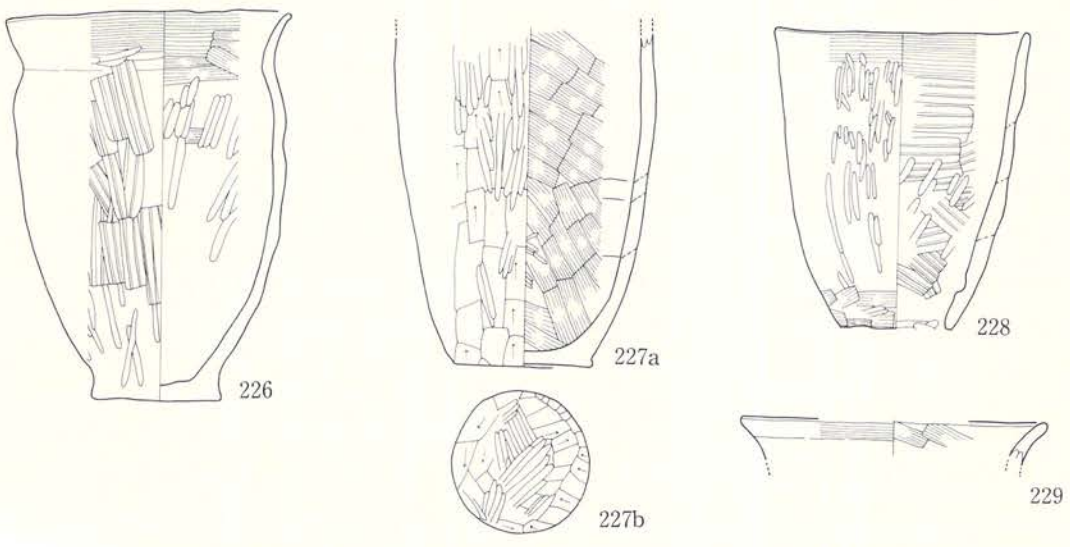


図40 古代第1号住居跡

ている。

(遺物の出土状況) 埋土、床面の遺物とも甕のみである。床面からは完形品も出土している。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図40、写真図版103)

(土器)226、227は床面から出土した甕で、227は口縁部を欠く。ともに底部外面は外側に張り出すが、226のほうが強い。228は無底式の甕で、内面下部に二個一対のくぼみを有する。木片等の支えに使用したものか。229は甕の口縁部で埋土から出土している。坏は出ていない。

古代第2号住居跡

遺構 (図41、写真図版17)

(位置) 古代の住居跡群の最も北側に位置する。古代第3号、古代第5号住居跡とはともに13mほど離れている。

(埋土) 上位と下位は黒色土を主体とし、中位に黒褐色土が入る。壁際に崩落土である黒褐色土と暗褐色土を含む。火山灰は中位の黒色土に含まれている。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 3.14m×3.30m (主軸方向) N-46°-W

(壁) 下部は直立して立ち上がり、上部は丸みを持って外傾する。壁高は最大で126cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とする。平坦で硬く締まる。

(柱穴) 東隅付近の壁際に1個検出された。その壁は柱が据えられていたためか、半月形に扶れている。柱穴は直径26cm、深さは13cmである。(土坑) 検出されていない。

(炭化材) 1片のみ出土したが焼失に伴うか不明である。

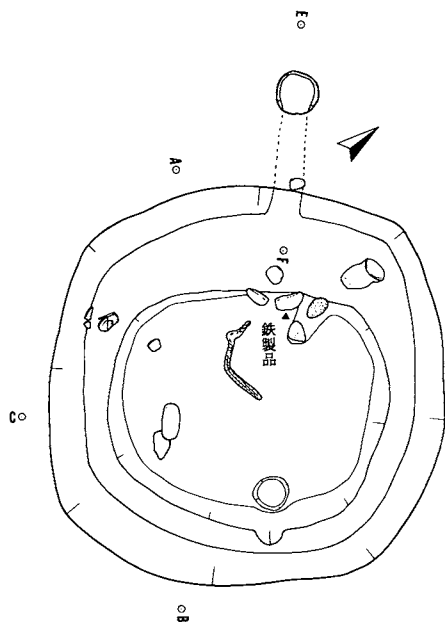
(その他) 当初は掘り込みの深さから、本遺構の下に他の遺構があることを予想していたが、精査していく段階で1棟の住居と判明した。通常の住居跡の床面をカマド部分を残し、長方形に掘り込んで、作業場などの施設として利用していたと考えられる。規模は188cm×220cmを測り、カマドからの深さはおよそ70cmである。その床面には、小規模な焼土と台石と思われる礫が見られ、何らかの作業をした痕跡と考えられる。

(カマド) <位置> 北西壁のやや北寄り <主軸方向> N-46°-W

<本体> 袖部芯材の礫3個が崩れ落ちて残り、支脚の礫は原位置のまま検出された。右袖部には張り付けたシルト質土が見られる。燃焼部の焼土は検出されなかった。

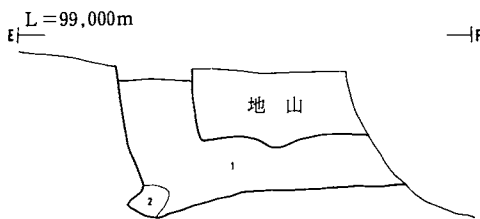
<煙道部、煙出部> くり貫き式の煙道を持つ。全長は短めで、底面は煙出部に向かって約10度の角度で緩やかに下がる。煙出部の底面には、小ピット状の掘り込みが見られる。検出面までの深さはおよそ60cmである。各埋土への焼土粒などの混入は少ない。

(遺物の出土状況) カマドの脇に完形の甕1点、埋土上部に坏、甕の破片が出ている。その他



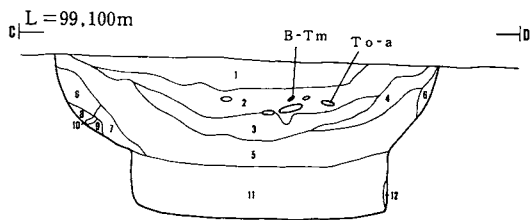
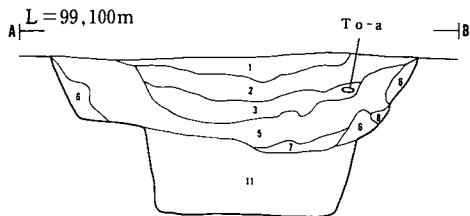
柱穴 (cm)

No.	PP1
直径	18
深か	13



E-F

- 10Y R2/1黒色土. 黄褐色土粒含む。
- 10Y 2/2黒褐色土. 炭化物粒含む。



A-B・C-D

- 10Y R2/1黒色土. 火山灰少量含む。
- 10Y R2/1黒色土. 火山灰含む。
- 10Y R1.7/1黒色土. Nbp5%含む。
- 10Y R2/2黒褐色土. Nbp3%含む。
- 10Y R2/2黒褐色土. Nbp5~10%、炭化物粒含む。
- 10Y R3/1黒褐色土. 地山崩落土。
- 10Y R3/2黒褐色土. Nbp少量含む。
- 10Y R3/4暗褐色土. 地山崩落土。
- 10Y R5/6黄褐色土。
- 10Y R1.7/1黒色土。
- 10Y R1.7/1黒色土. Nbp2%含む。
- 10Y R5/8黄褐色土. Nbp崩落ブロック。

カマド (cm)

本体	長さ	不明	煙道部	長さ	60	煙口部	径	34
	幅			幅	24 <th>深さ</th> <td>60</td>		深さ	60

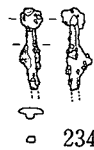
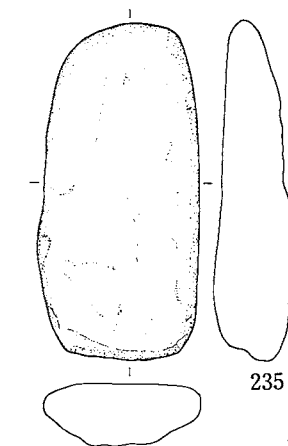
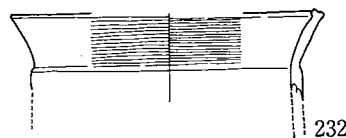
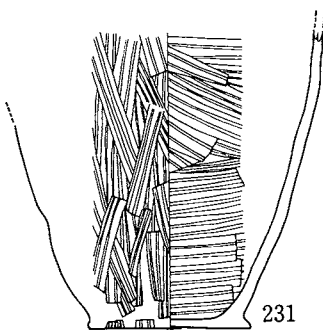
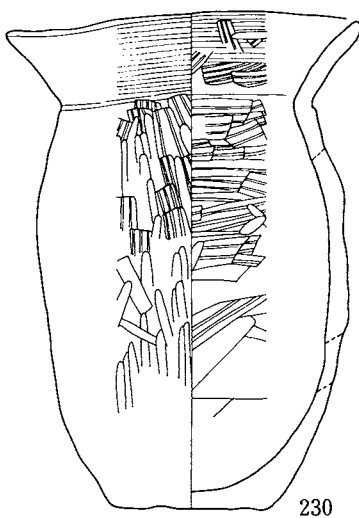


図41 古代第2号住居跡

には、角釘と思われる鉄製品がカマド付近から出土している。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図41、写真図版104)

(土器) 230～233は甕で、坏は出土していない。230は完形品でカマド付近から出土した。底部外面の張り出しはない。231は底部外面に張り出しを持ち、器面は内外面ともハケメ調整が卓越する。232は口唇部に凹状の沈線が巡り、頸部に緩い段を持つ。233は底部破片で、内外面ともヘラミガキで器面調整される。

(石器) 235は床面から出土した台石で、片面だけを使っている。その中央部には、使用による変色(焼成を受けている?)が認められる。小鍛冶に関する遺物か。

(その他) 234はカマドから出土した角釘の欠損品で、現存長3.3cmを測る。

古代第3号住居跡

遺構 (図42、写真図版18)

(位置) 古代第1号、古代第4号、古代第7号住居跡に三方向を囲まれた形で存在する。それぞれ、北西に9m、南東に7m、南西に6mほど離れている。

(埋土) 上位は黒色土、下位は黒褐色土で、壁際に崩落土を含む。火山灰は2層の黒色土内にレンズ状に堆積している。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 2.60m×3.12m (主軸方向) N-67°-W

(壁) すべて外傾する。壁高は47cm～51cmである。

(床面) 南部浮石層の上面を床面とする。あまり締まりはなく軟らかい。

(柱穴) 南隅と東隅に1個ずつ検出された。柱穴間の距離は165cmである。

(土坑) 検出されなかった。

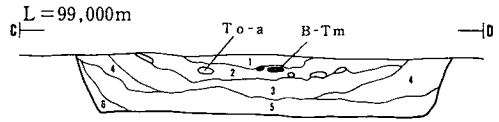
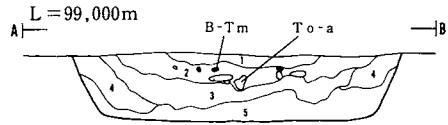
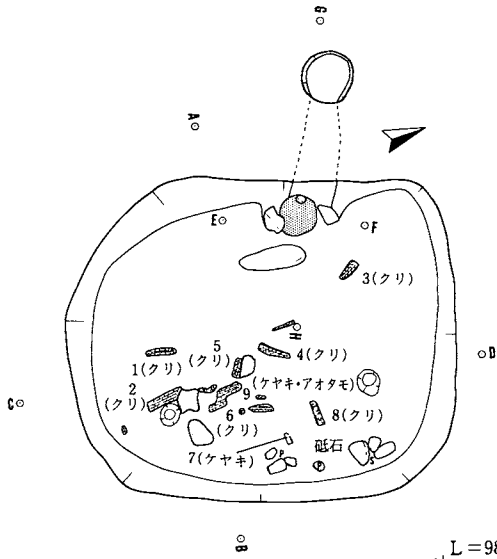
(炭化材) 住居跡中央部より東側半分に、焼失に伴う炭化材と焼土が認められる。焼土は3カ所があり、炭化材の上に形成されている。材は板状のものが多く。

(カマド) <位置> 北西壁からわずかに北寄り <主軸方向> N-67°-W

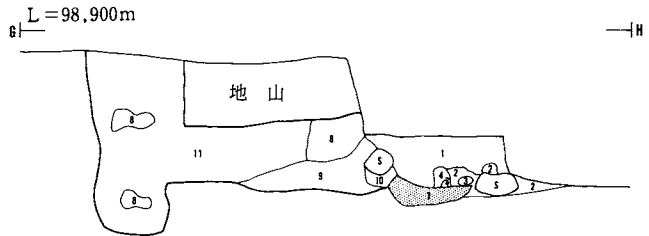
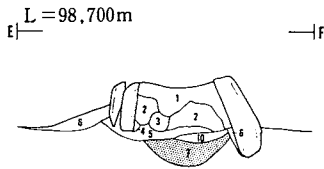
<本体> 袖部と天井部の礫、燃焼部焼土、支脚の礫が残存する。両袖には1個ずつ礫が据えられ、シルト質土が張り付けられている。焼土は直径30cmの円形に発達し、厚さは最大で10cmを測る。天井部の構成礫は、20cm×53cmの偏平なもので、焚き口部分にずり落ちている。

<煙道部、煙出部> くり貫き式の煙道で、底面は一端緩く下がった後再び上がり、煙出部の小ピットに至る。その小ピットは煙道の底面から23cmほど掘り込まれ、検出面からの深さは74cmである。煙道部入り口付近の埋土には、焼土粒や炭化物粒が含まれる。

(遺物の出土状況) 坏、甕の破片の他、カマド付近から土玉が、床面直上から砥石が出土して



- A-B-C-D
1. 10Y R2/1黒色土。火山灰少量含む。
 2. 10Y R2/1黒色土。火山灰含む。
 3. 10Y R1.7/1黒色土。火山灰少量含む。
 4. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp1%含む。
 5. 10Y R3/1黒褐色土。
 6. 10Y R2/2黒褐色土。地山崩落土。



柱穴 (cm)

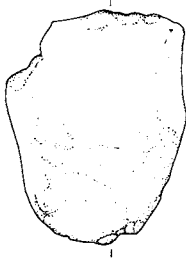
N0	DP1	DP2
直径	15	18
深さ	20	20

カマド (cm)

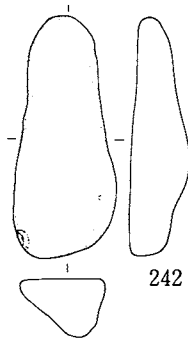
本 体	長さ	50	煙 道 部	長さ	60	煙 出 部	径	41

E-F-G-H

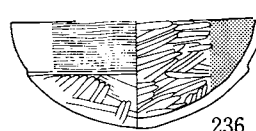
1. 10Y R2/1黒色土。黄褐色土粒含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土粒を少量含む。
3. 10Y R5/8黄褐色土。
4. 10Y R3/2黒褐色土。
5. 10Y R3/4暗褐色土。淡い色調の焼土。
6. 10Y R3/2黒褐色土。袖構築土の一部。
7. 5 Y R4/8赤褐色土。燃焼部焼土。
8. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。黒色土小ブロック、焼土粒含む。
9. 10Y R2/3黒褐色土。焼土粒、炭化材含む。
10. 7.5 Y R3/4暗褐色土。焼土塊。
11. 10Y R1.7/1黒色土。煤けている。



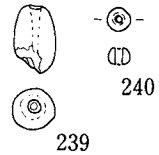
241



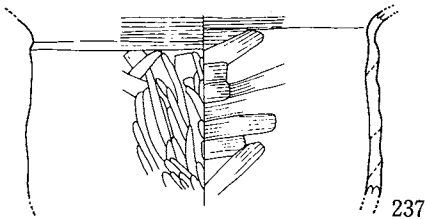
242



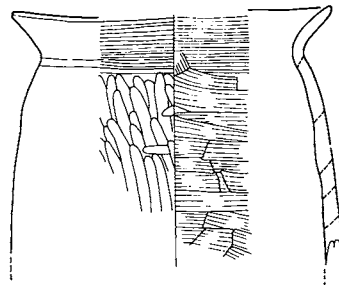
236



239



237



238

図42 古代第3号住居跡

いる。土器は埋土からの出土がほとんどである。

(時期) 8世紀中～後半

遺物(図42、写真図版105)

(土器) 236はロクロ不使用の丸底の坏で、体部外面の中央に段を持つ。口縁部は内湾ぎみに立ち上がる。237と238は甕の体部上半で、器面調整は同じだが237は口縁に、238は体部中央に最大径を持つ。

(石器) 241は大型の砥石で、4面を使用している。各使用面は凹状にくぼんでいる。242は三角形の断面を持つ自然礫の一面に擦面がみられる。砥石の可能性もある。

(その他) 239はカマドから出土した土錘で長さ2.6cmを測る。240は円形の土玉で、直径1cmほどである。

古代第4号住居跡

遺構(図43、写真図版19)

(位置) 古代の住居跡群のほぼ中心部に位置し、古代第3号住居跡とは西方向に7m離れている。

(埋土) 全体に黒色土が卓越し、下位や壁際に黒褐色土を含む。上位から中尉にかけて火山灰のブロックが点在する。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 3.80m×4.08m (主軸方向) N-72°-W

(壁) 外傾して立ち上がる。壁高は19cm～31cmである。

(床面) 南部浮石層を床面とする。平坦であり締まりはない。

(柱穴) (土坑) とともに検出されていない。

(炭化材) 焼失に伴う大量の炭化材と焼土が確認された。材は住居の中心部を除き、壁際に概ね放射状に検出された。板材と思われるものがほとんどである。焼土は3ヶ所にあり、いずれも焼成は良くない。

(カマド) <位置> 北西壁中央 <主軸方向> N-72°-W

<本体> 残存状況は良好である。袖部は両側で10個あまりの礫を芯材とし、黒色のシルト質土で被覆してつくられている。それらの礫の上には、天井部のものと思われる板状の偏平な礫が渡されている。焚き口付近にも同様の礫が1個崩落している。燃焼部の焼土は31cm×46cmの規模で、厚さは最大で8cmを測る。焼成は良好である。

<煙道部、煙出部> くり貫き式で全長130cmと長い煙道を持つ。底面はほぼ水平に煙出部に延びて立ち上がる。その底面には他で見られた小ピットはない。検出面からの深さは52cmである。埋土には全体に焼土粒を含み、煤けて青味を帯びている。

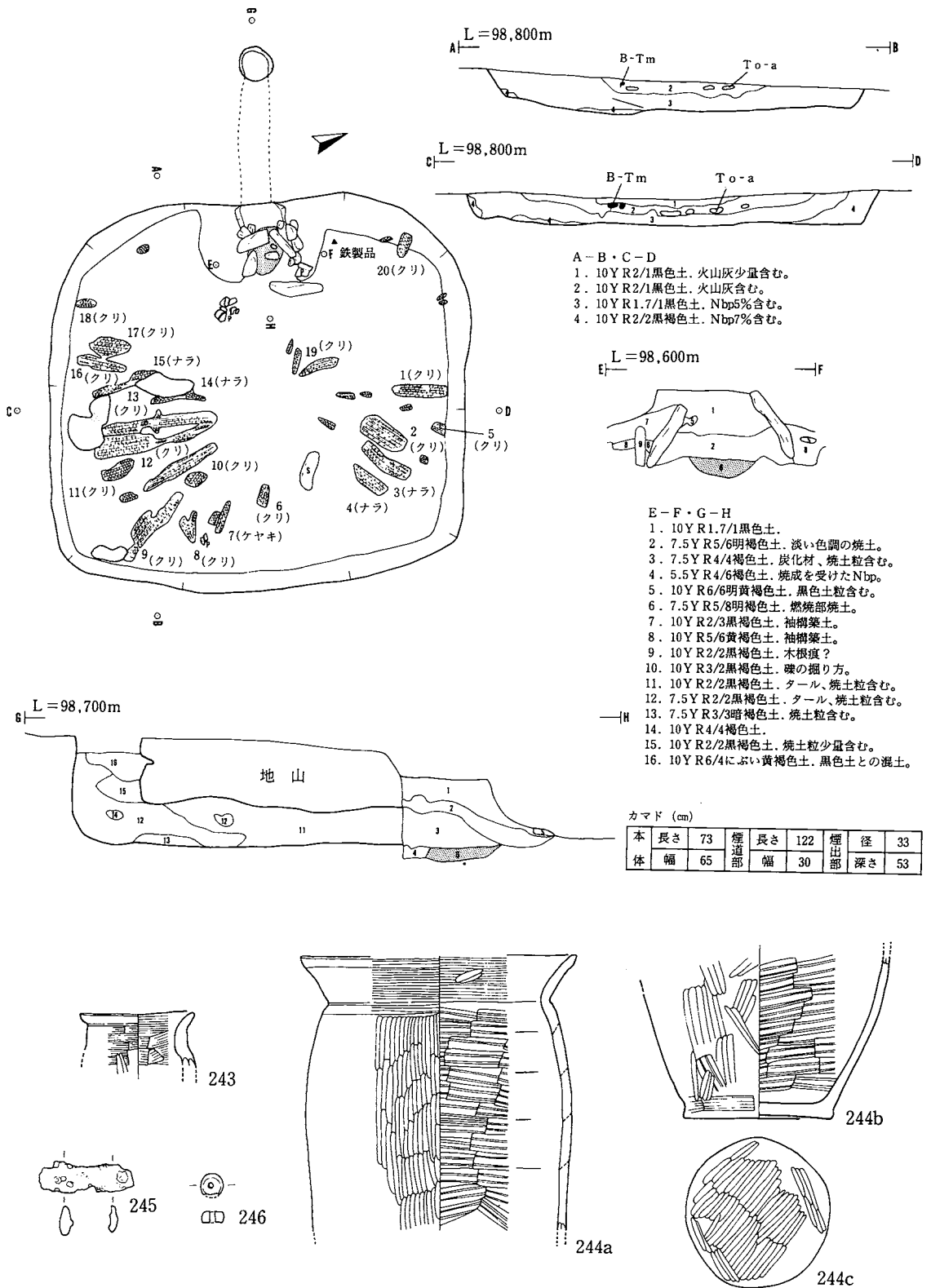


図43 古代第4号住居跡

(遺物の出土状況) 主に坏、甕が出ているが破片が多い。カマド付近に甕が多く出土した。その他には、カマド袖部で刀子と思われる鉄製品が、埋土上位から土玉1点が出土した。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図43、写真図版106)

(土器) 243は埋土上位から出土した小型甕の体部上半と思われる。特異な器形である。244は体部の一部を欠く甕で、口縁は外反して立ち上がり、口唇部でわずかに内湾する。また、頸部に篋による一条の沈線を持つ。底部外面はわずかに張り出す。

(その他) 245はカマドの袖上から出土した刀子の一部、246は直径1.1cmの偏平な黒色の土玉である。

古代第5号住居跡

遺構 (図44、写真図版20)

(位置) 古代の住居跡群のなかで最も東側に位置する。古代第2号、古代第4号住居跡とはともに12mほどの距離がある。

(埋土) 上位と中位は黒色土、下位は黒褐色土で、火山灰は上位の黒色土中に含まれている。

(平面形) 隅丸長方形 (規模) 2.88cm×3.50cm (主軸方向) N-63°-W

(壁) すべて外傾する。壁高は25cm～32cmである。

(床面) 南部浮石層を床面とし、全体に硬く締まる。凹凸がなく平坦である。

(柱穴) P P1からP P4の4個が検出された。それらは長方形に配置され、各柱穴間の距離はP P1とP P2が2.0m、P P3とP P4が2.1m、P P1とP P4が1.3m、P P2とP P3が1.2mである。

(土坑) 検出されていない。

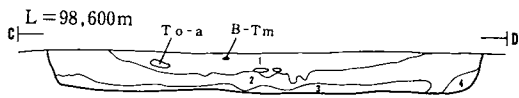
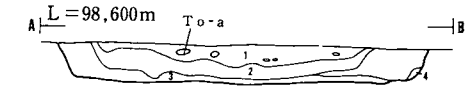
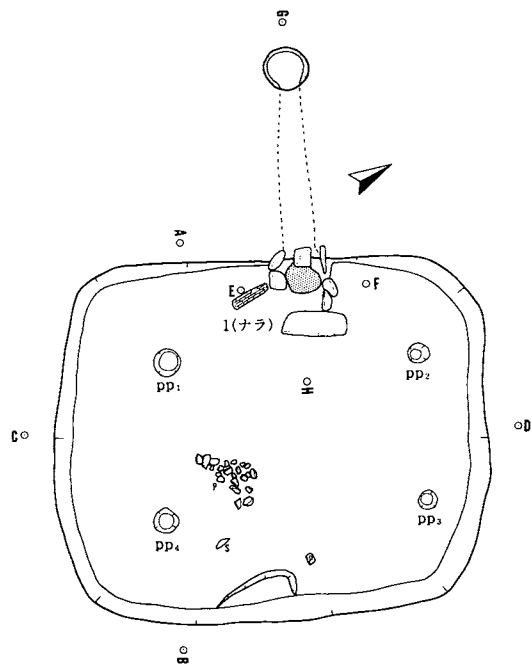
(炭化材) カマド付近に1片だけ認められたが、焼失の際のものであるかは不明である。

(カマド) <位置> 北西壁からわずかに北寄り <主軸方向> N-63°-W

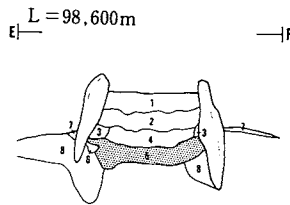
<本体> 袖部、天井部の構成礫、支脚、燃焼部焼土が残存する。袖部の礫は5個あり、うち2個は偏平なもので、地山を掘り込み埋め込まれている。天井部の礫は20cm×50cmの長方形で、焚き口手前に落ち込んでいる。焼土は24cm×30cmの楕円形を呈し、厚さは9cmほどである。

<煙道部、煙出部> 古代第4号住居跡と同様に、全長の長いくり貫き式の煙道を持つ。底面はほぼ水平に延び、煙出部の手前で深さ5cmほどのくぼみを有する。煙出部は煙道の底面から約10cm掘り込まれている。埋土には焼土粒等の混入は少ない。

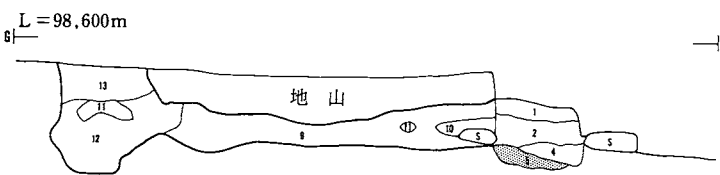
(遺物の出土状況) 住居跡中央部付近の床面に甕の破片が散乱していた。坏は見られない。埋土から土玉1点が出ている。



- A-B・C-D
1. 10Y R2/1黒色土. 火山灰含む。
 2. 10Y R2/1黒色土. 火山灰少量含む。
 3. 10Y R2/2黒褐色土。
 4. 10Y R2/2黒褐色土. 地山崩落土。



- E-F・G-H
1. 10Y R1.7/1黒色土. 火山灰含む。
 2. 10Y R2/1黒色土. 焼土の小アブロック含む。
 3. 10Y R4/4褐色土. 焼土粒含む。
 4. 10Y R3/3暗褐色土. 黄褐色土粒含む。
 5. 7.5Y R5/6明褐色土. 焼けたNbp。
 6. 10Y R2/2黒褐色土。
 7. 10Y R6/3にぶい黄褐色土. 袖構築土の一部。
 8. 10Y R2/2黒褐色土. 礫の掘り方。
 9. 10Y R3/2黒褐色土。
 10. 10Y R4/4褐色土. 天井部の崩落?
 11. 10Y R5/6黄褐色土。
 12. 10Y R2/1黒色土. 焼土粒少量含む。
 13. 10Y R6/4にぶい黄褐色土. 黒色土との混土。

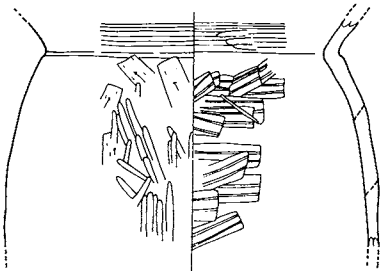
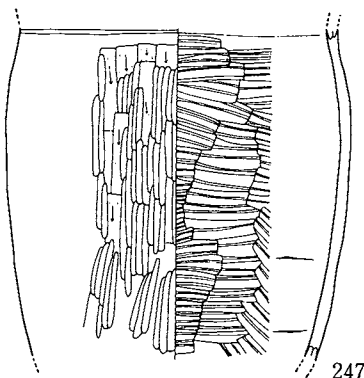


柱穴 (cm)

No.	PP ₁	PP ₂	PP ₃	PP ₄
直径	20	18	20	14
深さ	13	15	13	12

カマド (cm)

本 体	長さ	52	煙 道 部	長さ	126	煙 出 部	径	36
	幅	49		幅	17-26		深さ	46



249

248

図44 古代第5号住居跡

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図44、写真図版106)

(土器) 247、248は甕の体部でともに頸部にわずかな括れが認められる。

(その他) 249は土玉で埋土から出土した。直径1.1cm。

古代第6号住居跡

遺構 (図45、写真図版21)

(検出状況) 畑地造成の際に削平を受けている段丘先端部で、縄文時代の遺構とともに検出された。表土を10cmほど除去した段階でうっすらとした輪郭が見えたが、すでにかかなり削平されている状況であった。本遺構は第3号炉跡を載ってつくられている。

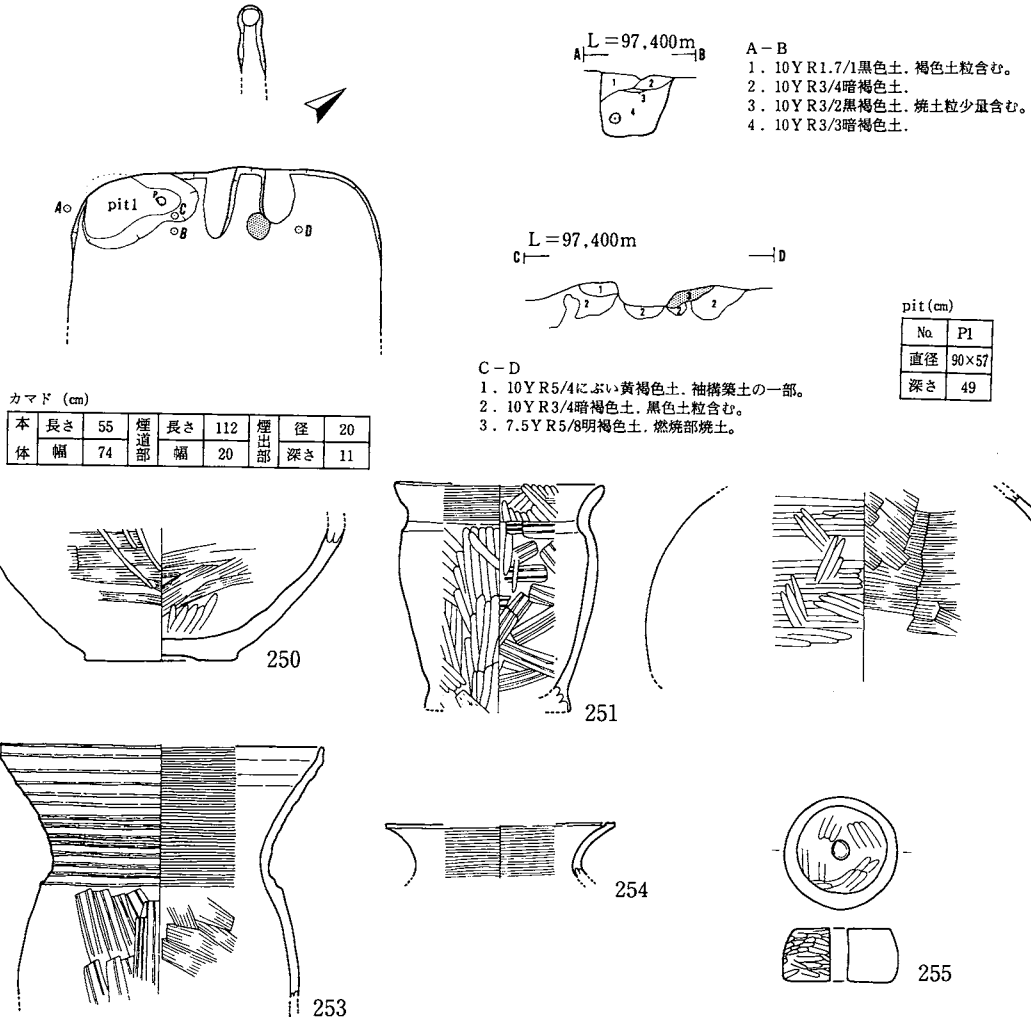


図45 古代第6号住居跡

(位置) 最寄りの古代の住居跡は第4号住居跡で、北西方向に12m離れている。

(平面計) 隅丸方形と思われる。(規模) 2.44m×? (主軸方向) N-53°-W

(埋土) (壁) ほとんど壁が立たず不明である。

(床面) 八戸火山灰層を床面とする。

(柱穴) 検出されなかった。

(土坑) カマドの左側に貯蔵穴1基が検出された。規模は55cm×90cmの楕円形状を呈し、深さは最大で59cmを測る。(炭化材) 認められない。

(カマド) <位置> 北西壁からわずかに北寄り <主軸方向> N-53°-W

<本体> 袖の一部と燃焼部の焼土のみ残存する。袖部はシルト質の黄褐色土で構築されているが、上部は削平されている。芯材の礫は見られない。焼土は直径19cm円形に形成され、厚さは5cm程度である。

<煙道部、煙出部> これも削平が著しく、そのため煙道の間が途切れている。くり貫き式か掘り込み式かは不明である。煙出部には小ピットを有していた痕跡が見られる。

(遺物の出土状況) 表土を剥いた段階で北海道系の甕の破片が出ていたが、同一個体の破片が貯蔵穴内からも出土している。その他には、同じ貯蔵穴から土製紡錘車と海水産の二枚貝の貝殻が1点出土した。

(時期) 8世紀中～後半

遺物 (図45、写真図版107)

(土器) 250～254はカマド脇のP1から出土した甕類である。251は最大径を体部中央に持つ球胴甕と思われる。底部は高台風のつくりがなされる。252は250と同様の甕の肩部である。253は外反する長い口縁部に数条の沈線を持つもので、口唇部は細く上方に引き出される。肩部は張らず緩く体部に至り、体部は縦位にハケメ調整が卓越する。焼成は非常に良好である。いわゆる擦文系と言われる土器と考えられる。251は小型甕で、底部外面は緩く張り出す。胎土には小礫を多く含む。254は口縁部破片で、口唇部上面にわずかに凹状のくぼみ(調整痕)を持つ。

(その他) 255は土製の紡錘車で全面がヘラミガキされる。これもP1の埋土から出土した。また、貝殻も同じ貯蔵穴から出ている。

古代第7号住居跡

遺構 (図46、写真図版22)

(位置) 古代の住居跡群の最西部に位置する。古代第3号住居跡が北東方向約6mにある。

(埋土) 上位と中位は黒色土、下位は黒褐色土で、火山灰は中位の黒色土に点在する。

(平面形) 隅丸方形 (規模) 4.26m×4.42m (主軸方向) N-61°-W

(壁) 直立ぎみに外傾する。壁高は34cm~38cmである。

(床面) 平坦で締まっている。

(柱穴) 東隅と北東壁中央付近に1個ずつ検出された。本遺構に伴うか不明である。

(土坑) 検出されなかった。

(炭化材) 住居の中心部を除き、壁際に沿う形で散在している。焼失の際の炭化材と思われる。材は板材が主で、中には角材も見られる。

(カマド) 〈位置〉北西壁中央〈主軸方向〉N-61°-W

〈本体〉残存状況は良好である。袖部の芯材の礫は偏平な長方形のもので、地山に半分ほど埋め込まれている。右袖は2個の礫が並べられている。天井部の礫2個も同様の形状を呈し、1個は原位置を保ったまま検出されたが、もう1個は床面に崩れ落ちている。燃焼部の焼土は、43cm×53cmの不整形で、厚さは最大で8cmである。焼成は良い。

〈煙道部、煙出部〉くり貫き式の長い煙道で、底面はほぼ水平に延びるが、煙出部手前から緩く上がる。煙出部の底面は2段になっており、深い掘り込みのほうは検出面から55cmの深さを測る。埋土は焼土粒や炭化物粒を含む黒褐色である。

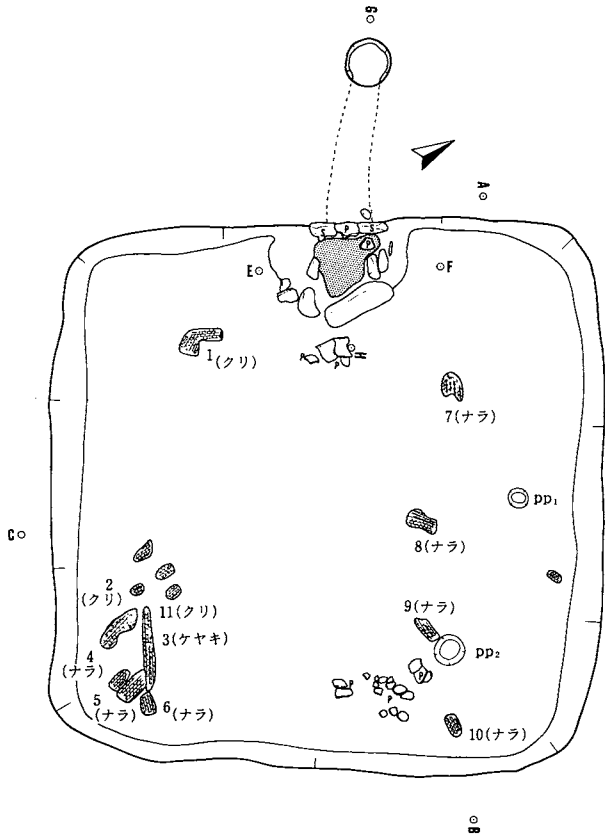
(遺物の出土状況) カマド付近からの甕の破片の出土が多い。坏は1点のみでこれもカマド近くから出ている。また、縄文時代後期の土偶と思われるものが床面から出土した。

(時期) 8世紀中~後半

遺物 (図47、写真図版108・109)

(土器) 256はロクロ不使用の平底の坏である。内湾ぎみに立ち上がる口縁部は、ヨコナデ調整される。257~262は甕で、いずれも器面調整はヘラミガキが主体である。257は完形品で、口縁部は外反し、底部との境に軽い段を持つ。底部外面はわずかに張り出す。258は外傾する開きぎみの口縁と体部の間に沈線を持つ。260は内湾する長い口縁を持つが、頸部に明瞭な段はない。261は短めの口縁部は外反し、口唇部が横に張り出す。259、262は底部外面の張り出しを持たない。256、257、261、262などは胎土に小礫を多く含む。

(その他) 263は土偶の脚部と思われるもので埋土から、264は床面から出土した縄文時代後期のものと思われる土偶の頭部である。 (濱田)

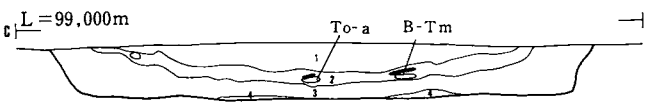
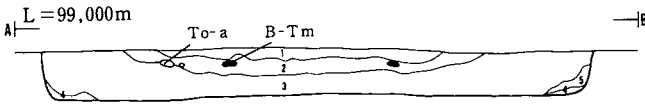


カマド (cm)

本	長さ	60	煙	長さ	110	煙	径	36
体	幅	68	道	幅	22-37	出	深	55
			部			部		

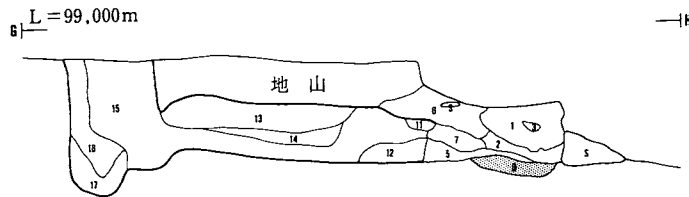
柱穴 (cm)

No.	DP1	DP2
直径	16	22
深さ	18	14

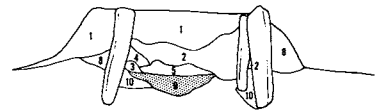


A-B・C-D

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp2%含む。
2. 10Y R2/1黒色土。火山灰含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。火山灰少量含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp少量含む。
5. 10Y R1.7/1黒色土。



L=98,800m



E-F・G-H

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp3%含む。
2. 10Y R4/4褐色土。Nbp少量含む。
3. 10Y R4/6褐色土。淡い色調の焼土。
4. 10Y R2/1黒色土。
5. 7.5Y R5/6明褐色土。淡い色調の焼土。
6. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土粒含む。
7. 10Y R4/3にぶい黄褐色土。焼土粒含む。
8. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。袖筒築土。
9. 7.5Y R5/8明褐色土。燃焼部焼土。
10. 10Y R4/4褐色土。袖筒築土。
11. 7.5Y R5/6明褐色土。焼土ブロック。
12. 10Y R3/4暗褐色土。炭化物粒、焼土粒含む。
13. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土粒、焼土粒含む。
14. 10Y R3/1黒褐色土。焼土粒含む。
15. 7.5Y R3/2黒褐色土。黄褐色土、焼土粒含む。
16. 7.5Y R5/6明褐色土。炭化物粒、焼土ブロック含む。
17. 10Y R2/1黒色土。タール、炭化材を多量に含む。

図46 古代第7号住居跡(1)

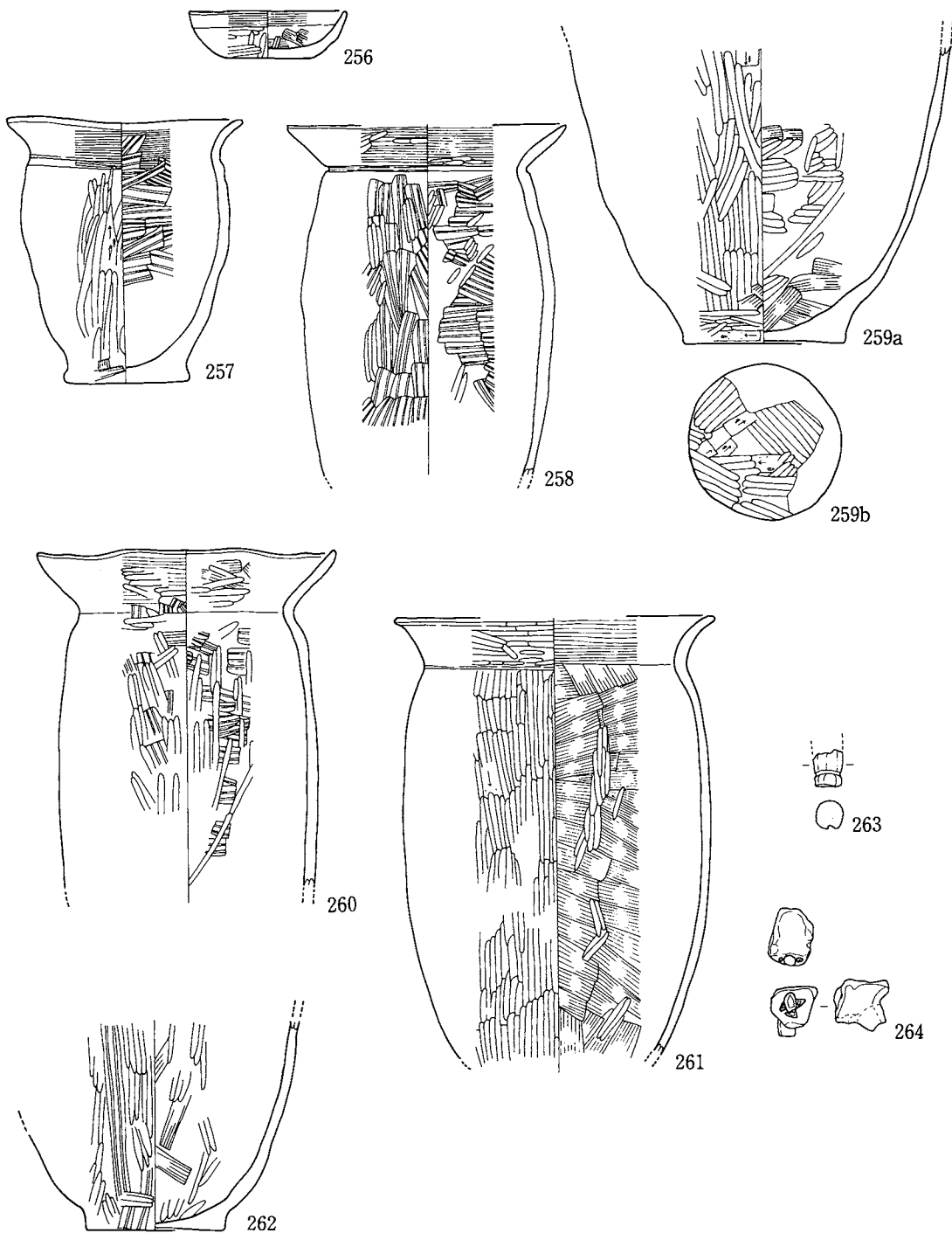


图47 古代第7号住居跡(2)

表4 古代竪穴住居跡出土遺物一覧表

< > は推定口径、() は現存高・現存長

番号	種類	出土地点	層位	器種	部位	内面調整		外面調整		法量 (cm)			備考
						口縁部	体部	口縁部	体部	口径	底径	器高	
226	土師器	古代第1号住	床面(土器1)	甕	ほぼ完形	ヘラナデ・ヨコナデ	ハケメ→ミガキ	ヘラナデ・ヨコナデ	ハケメ→ミガキ	15.3	7.0	20.7	
227	土師器	〃	床面(土器3)	甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ケズリ→ミガキ	—	7.4	(18.0)	底部ケズリ→ミガキ
228	土師器	〃	床面(土器2)	甕	ほぼ完形	ヨコナデ	ハケメ→ミガキ	ヨコナデ	ミガキ	13.8	—	15.9	無底式(径5.9cm)
229	土師器	〃	Q3埋土	甕	口縁部	ヨコナデ	—	ヘラナデ	—	<16.6>	—	(1.8)	
230	土師器	古代第2号住	床面(土器1)	甕	完形	ヨコナデ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	ヨコナデ	ハケメ→ミガキ	19.0	8.7	16.4	
231	土師器	〃	床面(土器3)	甕	体~底部	—	ハケメ	—	ハケメ	—	8.5	(15.0)	底部薄い
232	土師器	〃	G3埋土	甕	口縁部	ヨコナデ	—	ヨコナデ	—	<16.9>	—	(4.5)	
233	土師器	〃	Q3埋土	甕	底部	—	ミガキ	—	ミガキ	—	<8.7>	(3.0)	底部ミガキ
234	鉄製品	〃	カマド付近	角釘	—	長さ(3.3)cm	幅	0.8cm	厚さ	0.4cm	—	—	一部欠損
235	台石?	〃	床面	石質	凝灰岩	長さ26.9	幅	12.5	厚さ	6.4	—	—	重さ3.42kg
236	土師器	古代第3号住	床面(土器1)	坏	口~底部	ミガキ	ミガキ	ヨコナデ	ミガキ	<13.5>	—	5.8	非ロクロ、内黒、丸底
237	土師器	〃	床面(土器2)	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	—	—	(10.0)	
238	土師器	〃	床面(土器2)	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ミガキ	17.0	—	(13.8)	
239	土製品	〃	カマド	土錘	—	長さ(2.6)	幅	1.7	直径	1.7cm	—	—	
240	土製品	〃	Q2埋土	土玉	—	直径0.9~1.0	—	—	—	—	—	—	
241	砥石	〃	埋土	石質	流紋岩	長さ18.8	幅	15.0	厚さ	7.5	—	—	重さ2.08kg
242	磨石(砥石)	〃	埋土	石質	玢岩	長さ19.5	幅	4.7	厚さ	8.2	—	—	重さ0.9kg
243	土師器	古代第4号住	床面(土器1)	小型甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	7.4	—	(4.4)	
244	土師器	〃	床面(土器2)	甕	口~底部	ヨコナデ→ミガキ	ハケメ	ヨコナデ	ミガキ	<18.1>	9.9	(28.7)	底部ミガキ
245	鉄製品	〃	カマド右袖	刀子?	—	長さ(4.6)	幅	1.3	厚さ	0.5	—	—	欠損品
246	土製品	〃	Q2埋土上位	土玉	—	直径1.1	—	—	—	—	—	—	
247	土師器	古代第5号住	床面(土器1)	甕	体部	—	ハケメ	—	ケズリ→ミガキ	—	—	(17.6)	
248	土師器	〃	床面(土器1)	甕	口~体部	ヨコナデ・ミガキ	ハケメ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	—	—	(12.0)	
249	土製品	〃	Q2埋土	土玉	—	直径1.1	—	—	—	—	—	—	
250	土師器	古代第6号住	Pit1埋土	球胴甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ヘラナデ→ミガキ	—	8.3	(7.0)	底部外面高台風
251	土師器	〃	Pit1埋土	小型甕	口~底部	ヨコナデ→ミガキ	ハケメ・ミガキ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	<11.0>	<7.8>	12.3	
252	土師器	〃	Pit1埋土	球胴甕	肩部	—	ヘラナデ	—	ミガキ	—	—	(9.3)	
253	土師器	〃	検出面 Pit1内	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ	段状のナデ	ハケメ	<17.3>	—	(13.5)	北海道系
254	土師器	〃	Pit1埋土	甕	口縁部	ヨコナデ	—	ヨコナデ	—	<12.2>	—	(2.7)	
255	土製品	〃	Pit1埋土	紡錘車	—	上面径4.7	下面径	5.8	厚さ	2.9	—	—	土製、全面にミガキ
256	土師器	古代第7号住	床面(土器1)	坏	ほぼ完形	ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	ヨコナデ	ミガキ	9.7	5.4	2.9	非ロクロ、平底、底部ミガキ
257	土師器	〃	床面(土器2)	甕	ほぼ完形	ヨコナデ・ハケメ	ハケメ	ヨコナデ	ケズリ→ミガキ	14.4	7.0	16.5	
258	土師器	〃	床面(土器3)	甕	口~体部	ヨコナデ・ミガキ	ハケメ・ミガキ	ヨコナデ・ミガキ	ハケメ・ミガキ	<17.0>	—	(21.5)	
259	土師器	〃	床面(土器4)	甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ケズリ→ミガキ	—	9.4	(18.0)	底部ケズリ→ミガキ
260	土師器	〃	床面(土器4)	甕	口~体部	ヨコナデ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	ヘラナデ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	18.4	—	(20.8)	
261	土師器	〃	カマド内	甕	体~底部	—	ヘラナデ→ミガキ	—	ハケメ→ミガキ	—	8.5	(13.0)	底部ハケメが明瞭
262	土師器	〃	床面(土器4)	甕	口~体部	ヨコナデ	ヘラナデ→ミガキ	ミガキ	ケズリ→ミガキ	<19.5>	—	(27.0)	
263	土製品	〃	Q2埋土	土偶	脚部	長さ(1.5)	幅	1.3	直径	1.3	—	—	
264	土製品	〃	Q1床面	土偶	頭部	長さ(2.3)	幅	2.0	奥行	2.6	—	—	

4. 中世の竪穴住居跡と出土遺物

中世の住居跡は4棟検出された。山際の斜面上方の高位面に2棟、段丘崖に続く平坦面に2棟である。

中世第1号住居跡

調査区北東部の段丘面に位置し、中礫浮石層において1基の土坑と重複して検出された。

遺構 (図48、写真図版23)

(位置) IVC区北部に位置し、中世第2号住居跡とは23mの距離にある。

(重複) 第104号土坑に載られており、本遺構より新しいと考えられる。

(埋土) 黒色土を主体とし、多くの中礫浮石粒と角礫が含まれる。張り出し部〈出入口部〉には中礫浮石粒の流れ込みがみられる。

(平面形) 北東にやや長い長方形。北東部に幅115cm、長さ120cm張り出し部〈出入口部〉を有する。

(出入口方向) N-62°-E (規模) 3.50m×4.23m

(壁) 外傾して立ち上がる。壁高は12cm~46cmである。

(床面) 床面は崖錘層上にあるため凹凸がある。また、大小の角礫が直上に散在している。出

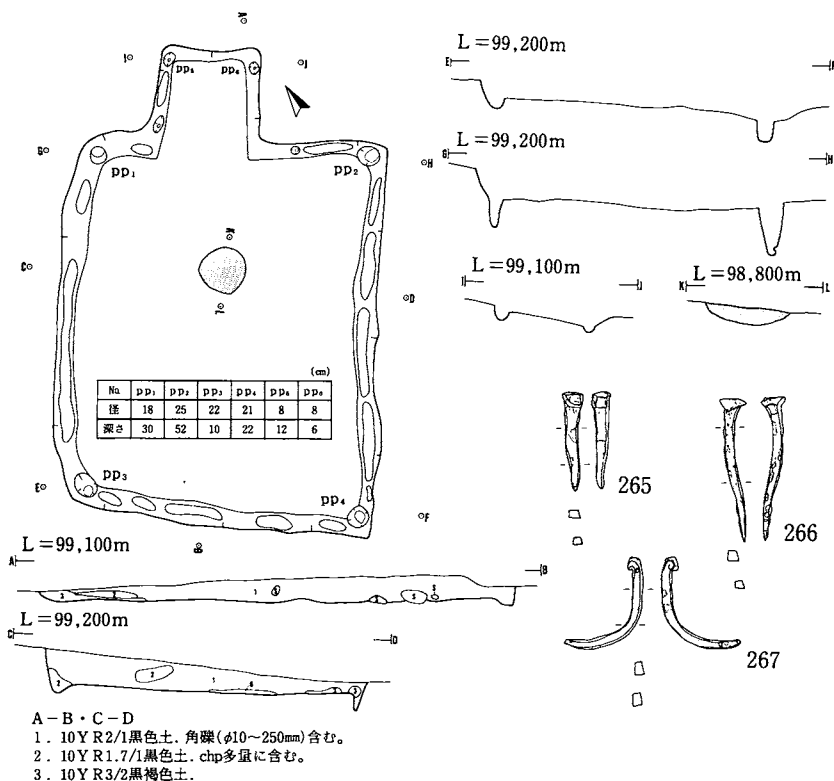


図48 中世第1号住居跡

入口部を除き壁際に周溝を持つ。

(柱穴) P P 1～P P 6の6個が確認された。P P 1～P P 4は壁際の周溝内から検出され、径は18cm～25cmを測り主柱穴と考えられる。P P 5、P P 6は径8cmで出入口部に伴うものと推定される。柱痕跡は確認できなかった。

(その他) 鉄滓3点は床面から、角釘は埋土から出土したものである。床面中央よりやや北東部に直径50cm、厚さ10cmの円形状の炭化物粒を含む焼土が確認された。

(時期) 中世後半

遺物 (図48、写真図版110)

265、266、267は埋土から出土した角釘である。いずれも頭部が折り曲げられている。265と266の長さは、それぞれ5.3cm、7.8cmである。267cmは先端が欠損し、中央部で屈曲しているが、延ばした残存長は7.6cmである。268、269、270は鉄滓であり、いずれも床面から出土した。

中世第2号住居跡

本遺構は調査区中央やや北寄りに位置している。八戸火山灰層に黒褐色土の方形の広がりをもって検出されたものである。

遺構 (図49、写真図版24)

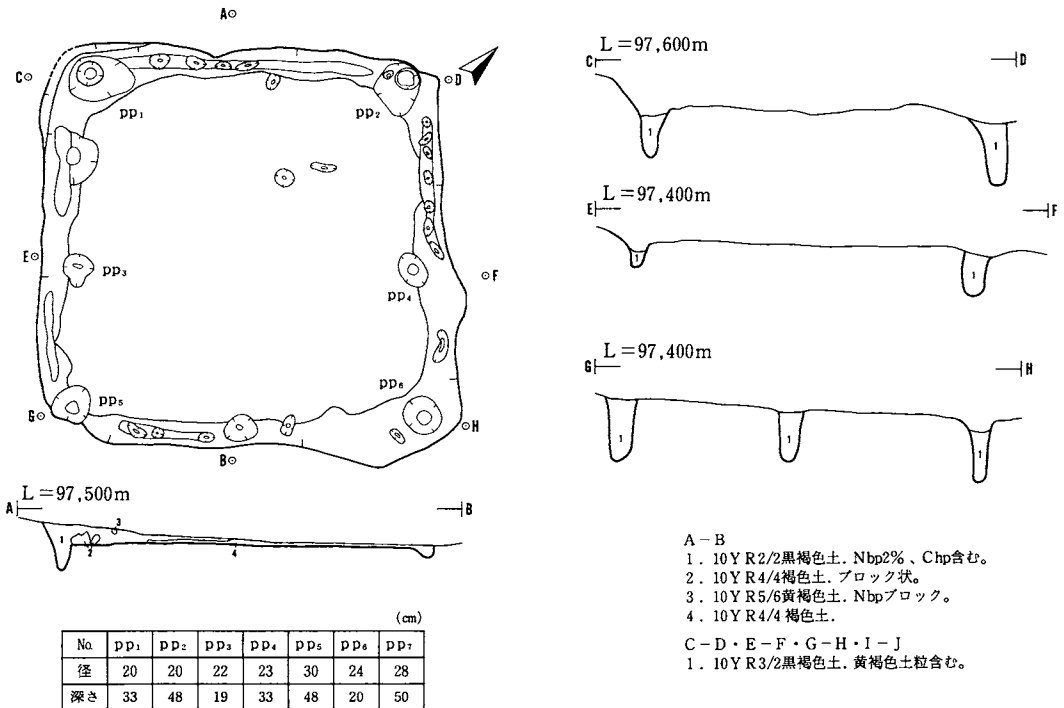


図49 中世第2号住居跡

(位置) IVC区からVC区にまたがって、そのほぼ中央に位置する。(重複)なし

(埋土) 削平が著しく残存状態はよくないが、黒褐色土を主体とし、褐色土および南部浮石粒の小ブロックが含まれる。

(平面形) ほぼ正方形を呈する。張り出し部(出入口部)に伴うと思われる柱穴を捜したが検出できなかった。(規模) 3.20m×3.30m

(壁) 削平された南東の壁は不明だが、その他は外傾して立ち上がる。壁高は残存するもので最大16cmを測る。

(床面) 硬く締まっている。八戸火山灰層に形成されているが、耕作痕と考えられる小ピットが多数みられる。周溝は出入口と考えられる南東部を除く壁際に検出された。周溝内に柱穴状の小ピットを有する。

(柱穴) PP1～PP7の7個が検出された。径は20cm～30cm、深さは19cm～50cmで、いずれも主柱穴と考えられる。柱痕跡は確認できなかった。

(時期) 中世後半

中世第3号住居跡

本遺構は調査区中央やや東寄りのVC区からVD区にかけてみられる埋没谷の東側の落ち際に位置している。八戸火山灰層に黄褐色土の方形の広がりをもって検出されたものである。

遺構(図50、写真図版25)

(位置) VD区東部に位置し、中世第4号住居跡とは3mの距離がある。(重複)なし

(埋土) におい黄褐色土、暗褐色土を主体として構成されている。出入口は黒色土が基調となる。土層はモザイク状に他の土が混入していることから、埋め戻されたものと考えられる。

(平面形) 北西にやや長い隅丸長方形を呈し、北西側に幅130cm、長さ120cm以上の張り出し部〈出入口部〉をもつ。

(出入口方向) N-70°-W (規模) 3.84m×4.72m

(壁) すべて外傾して立ち上がる。壁高は28cm～44cmである。

(床面) 八戸火山灰層を床面とし、ほぼ平坦である。周溝は張り出し部を除く壁際に15cmほどの幅をもって検出された。この周溝内には柱穴状のピットを数個有する。

(柱穴) 壁際の周溝内および中央付近からPP1～PP10の10個が検出された。PP1～PP6、PP9、PP10は径18cm～21cm、深さ48cm以上あり、主柱穴と考えられる。PP7、PP8は径16cm～18cm、深さ30cm前後で出入口部に伴うものと推定される。PP1からは径10cmの柱痕跡が確認されたが、他は不明である。

(その他) 数点の鉄滓が埋土から出土した。

(時期) 中世後半

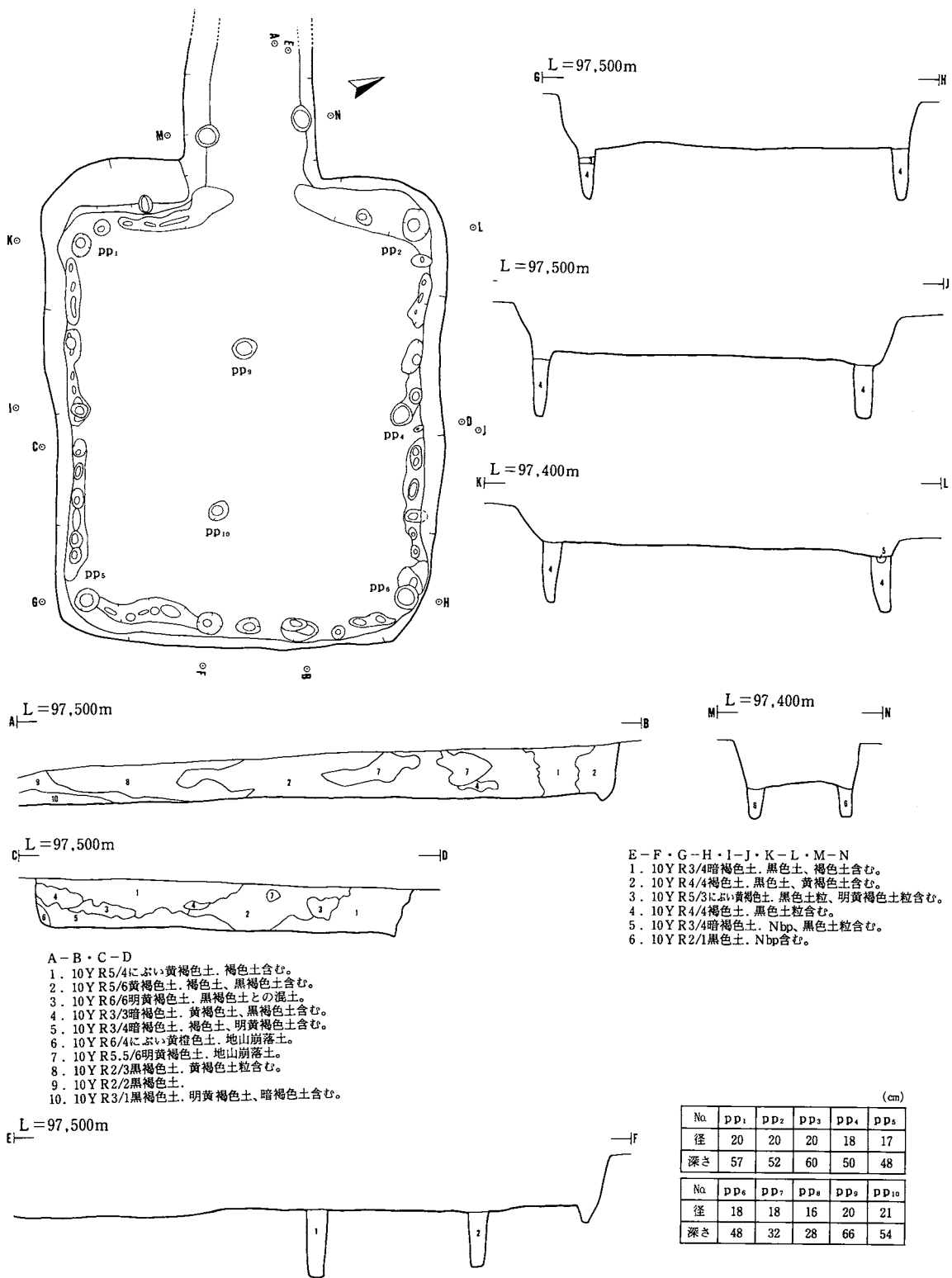


図50 中世第3号住居跡

中世第4号住居跡

本遺構は調査区中央から東寄りに位置している。八戸火山灰層に暗褐色土の不整形の広がりをもって検出されたものである。

遺構（図51、写真図版26）

（位置）VD区からIVD区にまたがって、そのほぼ中央に位置する。（重複）なし

（埋土）中央部は暗褐色土、壁際と最下部は黄褐色土を主体とする。壁際に八戸浮石粒および炭化物粒をわずかに含む。

（平面形）東西にやや長い不整の長方形である。北西部に幅150cm、長さ43cmの張り出し部〈出入口部〉を持つが明瞭とは言えない。

（出入口方向）N-70°-W（規模）4.00m×4.92m

（壁）西壁と北壁が緩やかに外傾し、その他は急傾斜で立ち上がっている。壁高は12cm～30cmである。

（床面）八戸火山灰層を床面とする。中央部の2.42m×1.98mの範囲に、貼り床と思われる硬くしまった部分が検出された。

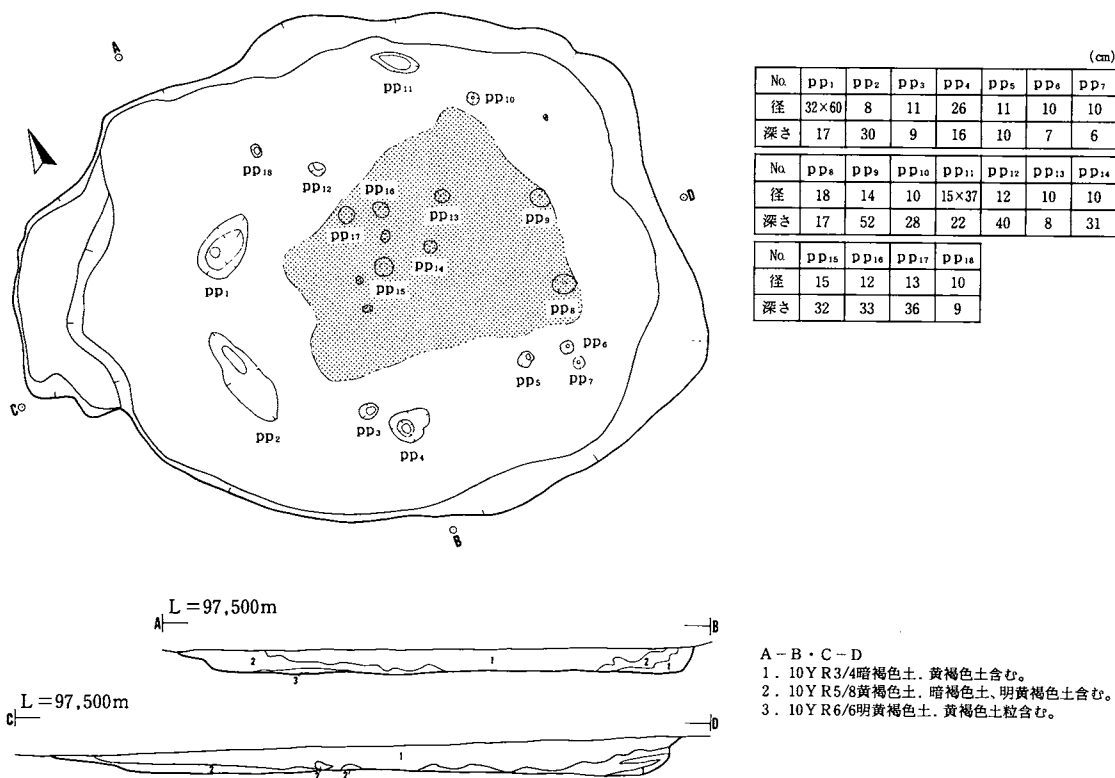


図51 中世第4号住居跡

(柱穴) P P1～P P18の18個が検出された。径 8 cm～60cmで、深さ10cm以下のものがP P3、P P5、P P6、P P7、P P13、P P18の 6 個、11cm～20cmのものがP P1、P P8の 2 個、21cm～30cmのものがP P2、P P10、P P11の 3 個、31cm以上のものがP P9、P P12、P P14、P P15、P P16、P P17の 6 個である。配置、深さともに不定のため支柱穴および柱痕跡は確認できなかった。

(その他) 陶器片 1 片が埋土から出土している。

(時期) 陶器片が近世のものとも考えられることから、本遺構は近世の可能性もある。

遺物 (写真図版110)

271は、床面から出土した陶器の皿の破片である。詳細は不明である。

(高橋)

5. 掘立柱建物跡

第1号掘立柱建物跡

遺構（図52、写真図版84）

（位置）調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居跡の北東8mに位置する。

（検出状況）検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。（規模）桁行4間（14.38m～14.7m）、梁行3間（7.95m～8.04m）。

（棟方向）N-73°-W

（柱間寸法）桁行北側間尺は西から370cm、372cm、350cm、346cm、南側間尺は西から370cm、364cm、374cm、363cm、梁行B-B'は北から275cm、260cm、265cm。G-G'F北から268cm、264cm、272cm。F-F'は北から260cm、278cm、260cm。E-E'は北から268cm、267cm、268cm。D-D'は北から274cm、259cm、262cmである。

（柱痕跡）いずれも明瞭でない。（埋土）不明（時期）出土遺物はなく時期不明である。

第2号掘立柱建物跡

遺構（図53、写真図版84）

（位置）調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居の北東8mに位置する。

（検出状況）検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。（規模）桁行6間（10.76m～10.56m）、梁行1間（3.62m～3.44m）。

（棟方向）N-19°-E

（柱間寸法）桁行西側間尺は北から196cm、166cm、179cm、180cm、170cm、188cm。東側間尺は北から178cm、161cm、189cm、186、178cm、165cm。梁行北側間尺は362cm、南側間尺は344cmである。

（柱痕跡）いずれも明瞭でない。（埋土）不明（時期）出土遺物はなく時期不明である。

第3号掘立柱建物跡

遺構（図53、写真図版84）

（位置）調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居跡の北東8mに位置する。

（検出状況）検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。（規模）桁行5間（8.42m～8.32m）、梁行1間（3.23m～3.18m）。

（棟方向）N-19°-E

（柱間寸法）桁行西側間尺は北から142cm、180cm、180cm、155cm。東側間尺は北から146cm、179cm、182cm、178cm、146。梁行北側間尺は323cm、南側間尺は318cmである。

（柱痕跡）いずれも明瞭でない。（埋土）不明（時期）埋土にビニール片が混入していることから新期の遺構と思われる。

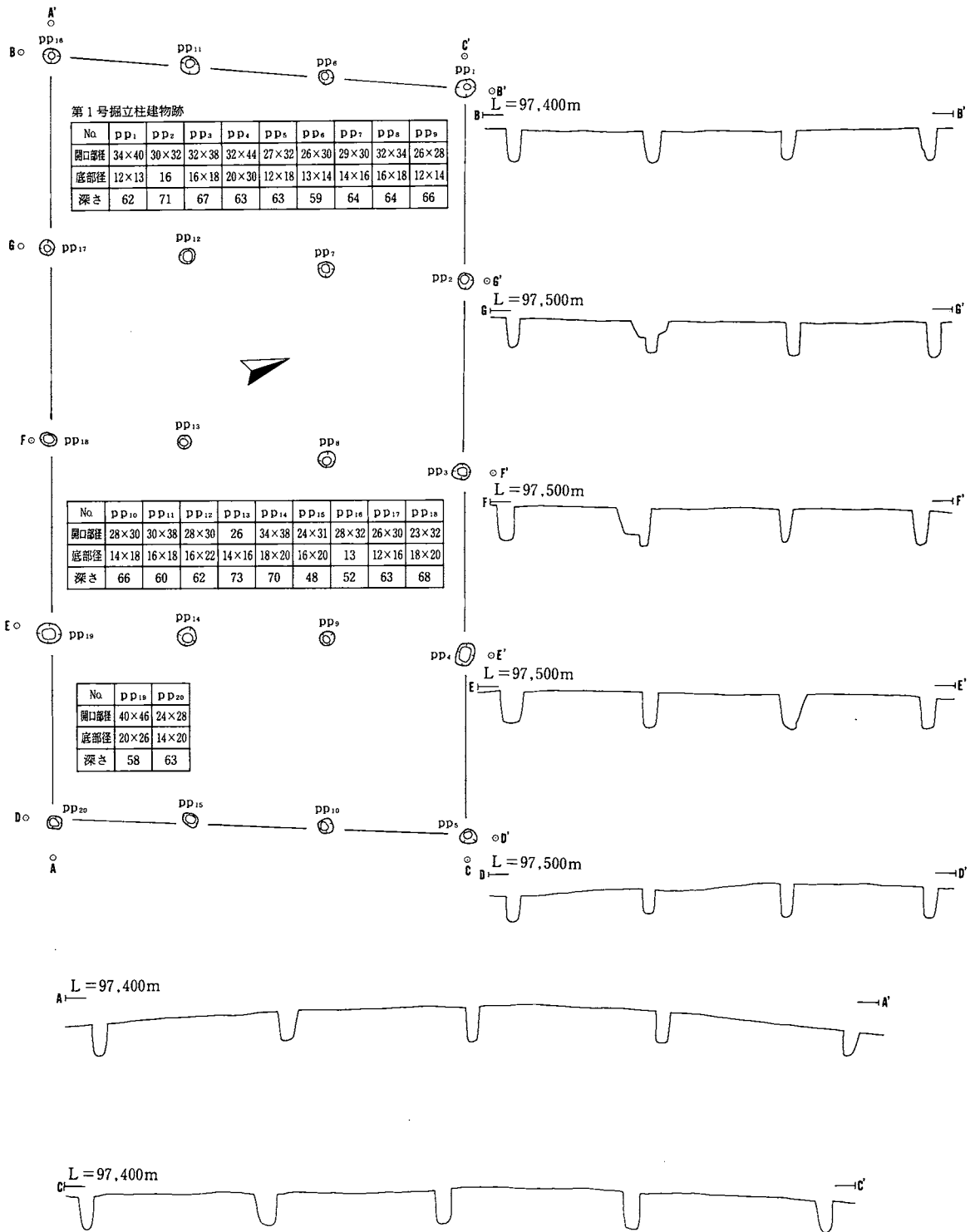


图52 第1号掘立柱建物跡

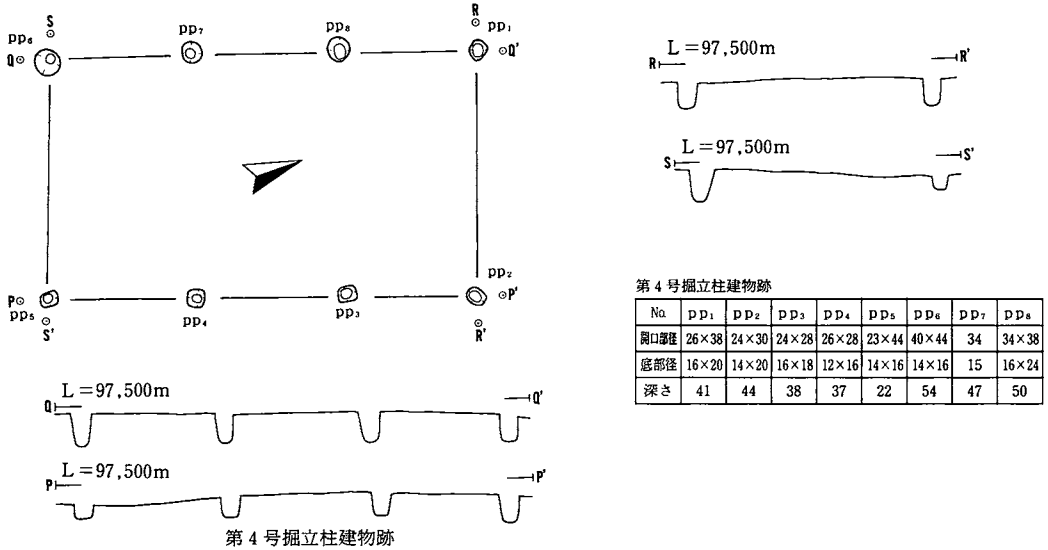
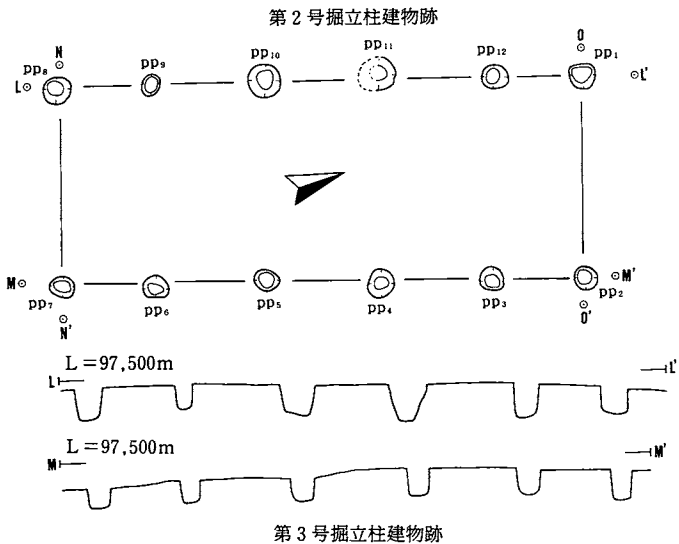
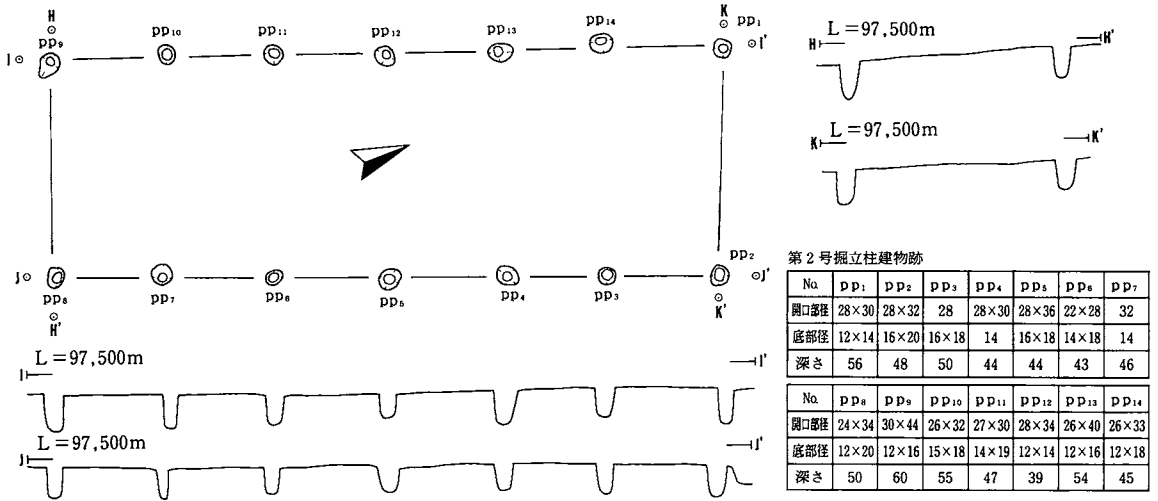


图53 第2・3・4号掘立柱建物跡

第4号掘立柱建物跡

遺構 (図53、写真図版84)

(位置) 調査区北東部のVID区にあり、第4号中世竪穴住居跡の北東8mに位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、削平が著しく表土を除去するとすぐに八戸火山灰層がみられる。(規模) 桁行3間(6.88m~6.84m)、梁行1間(3.93m~3.82m)。

(棟方向) N-19°-E

(柱間寸法) 桁行西側間尺は北から216cm、239cm、224cm。東側間尺は北から256cm、238cm、240cm。梁行北側間尺は259cm、南側間尺は278cmである。

(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 不明 (時期) 出土遺物はなく時期不明である。

第5号掘立柱建物跡

遺構 (図54、写真図版84)

(位置) 調査区南東部のVF区に位置する。

(検出状況) 検出面は基本土層のVII層であるが、本来の検出面はII層と思われる。PP4の北東側とPP8の南西側に柱穴の存在が考えられたが検出されなかった。

(規模) 桁行4間、梁行1間。(棟方向) N-51°-E

(柱間寸法) 桁行北西側間尺は北東から276cm、275cm、257cm。南東側間尺は北東から257cm、278cm、267cm。(柱痕跡) いずれも明瞭でない。(埋土) 暗褐色土が主体で南部浮石粒をわずかに含む。締まり、粘性ともない。(時期) 出土遺物はなく時期不明である。 (高橋)

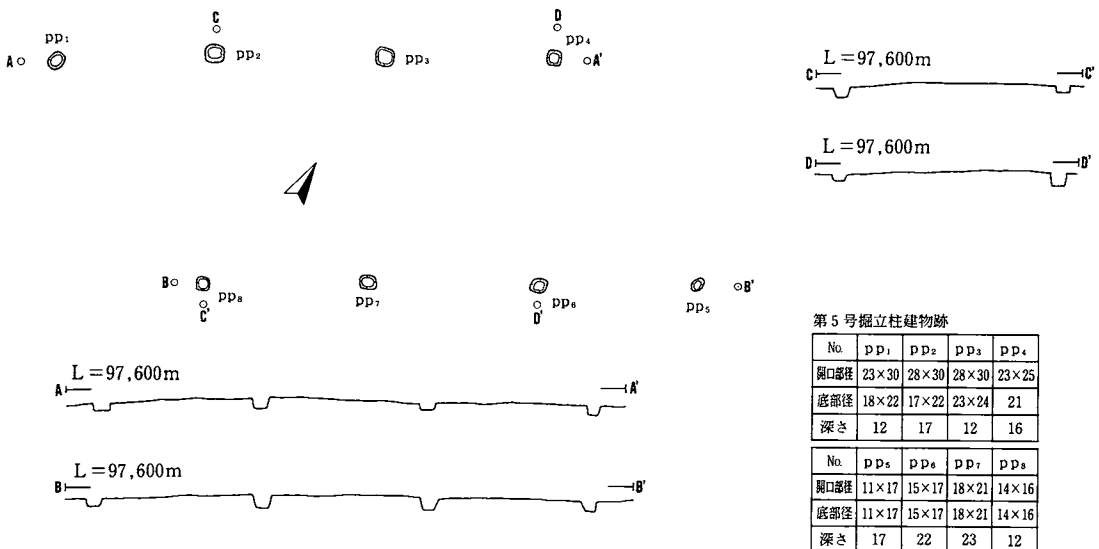


図54 第5号掘立柱建物跡

6. 土坑と出土遺物

土坑は203基検出されたが、原則として年度毎に、遺構名の若い順番に連番を付して、第1号土坑、第2号土坑... のように呼称した。形状や用途での分類は、「VI まとめ」に示している。

7. 陥し穴状遺構

検出された22基の陥し穴状遺構のうち、溝状のタイプは1基だけで、その他はすべて円形を呈するものである。後者には、数基が弧状に配列されているものもみられる。遺構名の付け方は土坑に準じている。

なお、土坑と陥し穴状遺構の規模等については、次表5（P88～113）・表7（P162～164）に観察表として示した。また、土坑内の出土遺物については、表6にまとめて掲載している。

表の体裁は、下の通りである。

<土坑観察表>

遺構名			
図版	遺構		遺構
写真図版	遺物		遺物
位置			
検出状況・重複関係			
形状	平面形		
	断面形		
規模	開口部径		
	底部径		
	深さ		
埋土			
底面			
壁			
副穴			
出土遺物			
時期			

<陥し穴状遺構観察表>

遺構名			
図版	遺構		遺構
写真図版	遺物		遺物
位置			
検出状況・重複関係			
形状	平面形		
	断面形		
規模	開口部径		
	底部径		
	深さ		
埋土			
底面			
壁			
逆茂木痕			
出土遺物			
時期			

表5 土坑観察表

遺構名		第1号土坑		第2号土坑		第3号土坑		第4号土坑	
図版	遺構 55	遺物 94	遺構 55	遺物	遺構 55	遺物	遺構 56	遺物	
写真図版	遺構 27	遺物 111	遺構 27	遺物	遺構 27	遺物	遺構 28	遺物	
位置	I F区		I F区		I F区		IIF区		
検出状況 重複関係			第2号住居跡の床面で検出。						
形状	平面形	円形	円形		不整形円形		円形		
	断面形	フラスコ状	フラスコ状		ピーカー状		皿状		
規模 (cm)	開口部径	170×178	200×208		144×160		176×180		
	底部径	226×240	248×260		98×114		156×166		
	深さ	180	75		52		14		
埋土	黒色土、黒褐色土を主体とし、上位に炭化物粒を含む。Nb-p含む。		第1号土坑と同じ		黒褐色土、暗褐色土が主体。Nb-p含む。		黒色土の単層でNb-pを少量含む。		
底面	平坦だがやわらかい		平坦		傾斜あり		ほぼ平坦		
壁	崩落部分あり		Nb-pの崩落あり		緩く外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	上位から数個体の土器		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		不明		縄文		

遺構名		第5号土坑		第6号土坑		第7号土坑		第8号土坑	
図版	遺構 56	遺物 94	遺構 56	遺物 95	遺構 56	遺物	遺構 57	遺物	
写真図版	遺構 28	遺物 111	遺構 28	遺物 112	遺構 28	遺物	遺構 29	遺物	
位置	IIG区		IIG区		IIG区		IIIF区		
検出状況 重複関係	第6号・7号土坑を截る。		第5号土坑に截られる。		第5号土坑に截られる。第6号土坑との関係は不明。				
形状	平面形	円形	不整形円形		不整形円形		円形		
	断面形	フラスコ状	皿状		皿状		皿状		
規模 (cm)	開口部径	203×216	?×280		189×?		81×83		
	底部径	220×227	?×290		176×?		62×64		
	深さ	54	14		24		28		
埋土	黒色土、黒褐色土を主体とし、褐色土、黄褐色土などを含む。		暗褐色土を主体とし、黒色土の小ブロックを含む。		暗褐色土が主体で、黒色土、黒褐色土が混じる。		黒色土に黒褐色土の小ブロック含む		
底面	平坦でやわらかい		平坦		わずかに傾斜する。		平坦		
壁	外反ぎみに立ち上がる		直立ぎみ		緩く立ち上がる。		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	土器数片		土器数片		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		不明		

遺構名		第9号土坑		第10号土坑		第11号土坑		第12号土坑	
図版	遺構 57	遺物		遺構 57	遺物	遺構 57	遺物	遺構 57	遺物
写真図版	遺構 29	遺物		遺構 29	遺物	遺構 29	遺物	遺構 30	遺物
位置	III F 区		III F 区		III F 区		III F 区		
検出状況 重複関係			(木根の可能性あり)						
形状	平面形	円形		楕円形状		円形		円形	
	断面形	皿状		皿状		フラスコ状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	116×120		131×147		167×187		134×136	
	底部径	47×52		36×48		161×169		102×104	
	深さ	28		50		86		43	
埋土	黒色土の単層。黒褐色土が混入する。		黒褐色土、暗褐色土、褐色土からなる。		黒色土主体で、下部はNb-pの崩落が著しい。		黒色土、黒褐色土、褐色土、黄褐色土からなる埋め戻されたもの。		
底面	平坦		ほぼ平坦		平坦		平坦		
壁	緩く外傾する		波立ちながら外傾				外反ぎみに立ち上がる		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		縄文		縄文		

遺構名		第13号土坑		第14号土坑		第15号土坑		第16号土坑	
図版	遺構 58	遺物		遺構 58	遺物	遺構 58	遺物 95	遺構 59	遺物 95
写真図版	遺構 30	遺物		遺構 31	遺物	遺構 31	遺物 112	遺構 31	遺物 112
位置	III G 区		I F 区		I F 区		I F 区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		楕円形		円形		円形	
	断面形	皿状		フラスコ状		フラスコ状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	82×84		123×160		231×251		274×327	
	底部径	56×63		158×177		200×217		223×234	
	深さ	12		84		127		94	
埋土	黒色土の単層で、黒褐色土が混じる。		黒色土、黒褐色土主体。Nb-p含む。		上部は黒褐色土、中部は褐色土、下部は黒色土が主体。Nb-pを含む。		黒色土、黒褐色土主体。Nb-p含む。焼土ブロック、Ch-p含む。主に砂質シルトで構成。		
底面	やや丸味をもつ		平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		
壁	外傾						外反と外傾		
副穴	なし		なし		なし		有 深さ 8.4cm		
出土遺物	なし		なし		完形の深鉢、半円状偏平打製石器		土器数片、石鏃		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第17号土坑		第18号土坑		第19号土坑		第20号土坑	
図版	遺構 59	遺物		遺構 60	遺物	遺構 60	遺物	遺構 60	遺物 95
写真図版	遺構 31	遺物		遺構 32	遺物	遺構 32	遺物	遺構 32	遺物 112
位置	I F区		I F区		II E区		II E区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ状		ピーカー状		皿状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	135×138		110×122		159×164		147×167	
	底部径	153×170		74×89		145×147		131×143	
	深さ	101		55		40		101	
埋土	黒色土と黒褐色土が主体。 Ch-p、Nb-p含む。		褐色土主体。Nb-p含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土主体。Nb-p含む。最下部にNb-pを含まない粘土質シルト有り。		
底面	平坦		やや傾斜		ほぼ平面		平坦		
壁	なし		外傾		外傾		外傾		
副穴			なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		土器片		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第21号土坑		第22号土坑		第23号土坑		第24号土坑	
図版	遺構 60	遺物		遺構 61	遺物 95	遺構 61	遺物	遺構 61	遺物
写真図版	遺構 32	遺物		遺構 33	遺物 112	遺構 33	遺物	遺構 33	遺物
位置	II E区		II E区		II F区		II F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ピーカー状		逆台形状		フラスコ状		四状	
規模 (cm)	開口部径	156×158		125×143		186×192		117×120	
	底部径	157×165		107×116		177×178		110×114	
	深さ	80		48		51		20	
埋土	黒色土主体。Nb-p含む。ほとんどが粘土質シルトで最下部はNb-pの含まない粘土質シルト。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。Nb-p、褐色土粒、ロームブロック含む。		黒色土の単層。Nb-p含む。		
底面	平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		平坦		
壁	直立ぎみ		外傾				ほぼ直立		
副穴	有	深さ	22.2cm	なし		なし		なし	
出土遺物	なし		土器片		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第25号土坑		第26号土坑		第27号土坑		第28号土坑				
図版	遺構 61	遺物		遺構 62	遺物	遺構 62	遺物 95	遺構 62	遺物			
写真図版	遺構 33	遺物		遺構 34	遺物	遺構 34	遺物 112	遺構 34	遺物			
位置	III D 区			III D 区			III E 区					
検出状況 重複関係												
形状	平面形	円形			円形			楕円形状				
	断面形	皿状			ピーカー状			皿状				
規模 (cm)	開口部径	106×108			153×155			176×184				
	底部径	97×103			148×152			169×174				
	深さ	21			38			20				
埋土	黒色土主体。Nb-p含む。			黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p含む。			黒色土の単層。			黒色土のみからなる。 Nb-p、炭化物粒ともに微量含む。		
底面	やや傾斜			平坦			平坦			傾斜		
壁	外傾			直立			直立			外傾		
副穴	なし			なし			なし			なし		
出土遺物	なし			なし			土器片			なし		
時期	縄文			縄文			縄文			縄文		

遺構名		第29号土坑		第30号土坑		第31号土坑		第32号土坑				
図版	遺構 62	遺物		遺構 63	遺物	遺構 63	遺物	遺構 63	遺物			
写真図版	遺構 34	遺物		遺構 35	遺物	遺構 35	遺物	遺構 35	遺物			
位置	IV E 区			IV E 区			IV E 区					
検出状況 重複関係												
形状	平面形	円形			円形			円形				
	断面形	皿状			逆台形状			逆台形状				
規模 (cm)	開口部径	115×126			130×135			136×142				
	底部径	104×110			112×115			120×127				
	深さ	28			51			58				
埋土	黒褐色土主体。 Nb-p含む。			黒色土主体。中央部に粘土質シルト混じる。 Nb-p、ch-p含む。			黒色土主体。 Nb-pの小ブロック、粘土質シルト含む。			黒褐色土主体。 Nb-p、ch-p含む。褐色土小ブロック含む。		
底面	平坦			平坦			ほぼ平面			ほぼ平坦		
壁	外傾			外傾			外傾			ほぼ直立		
副穴	なし			なし			なし			なし		
出土遺物	なし			なし			なし			なし		
時期	縄文			縄文			縄文			縄文		

遺構名		第33号土坑		第34号土坑		第35号土坑		第36号土坑	
図版	遺構 63	遺物		遺構 63	遺物 95	遺構 63	遺物	遺構 64	遺物 95
写真図版	遺構 35	遺物		遺構 36	遺物 112	遺構 36	遺物	遺構 36	遺物 112
位置	IV F区		IV F区		IV F区		IV F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	皿状		フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	64×71		176×192		160×?		132×135	
	底部径	39×49		149×160		116×?		156×176	
	深さ	16		95		62		40	
埋土	黒色土の単層。		黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p、褐色土粒、炭化材含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土と褐色土が主体。 Nb-p、Ch-p、微量の炭化物粒、褐色土粒を含む。		
底面	平坦		ほぼ平坦		やや傾斜		平坦		
壁	外傾				やや外傾				
副穴	なし		有 深さ 33.7cm		なし		なし		
出土遺物	なし		土器数片		なし		軽石製浮子、完形の深鉢、土器数片		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第37号土坑		第38号土坑		第39号土坑		第40号土坑	
図版	遺構 64	遺物		遺構 64	遺物	遺構 64	遺物	遺構 64	遺物 95
写真図版	遺構 37	遺物		遺構 37	遺物	遺構 37	遺物	遺構 37	遺物 112
位置	IV F区		IV F		IV F区		IV F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ		皿状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	107×114		92×96		97×105		159×162	
	底部径	138×138		74×84		85×88		164×171	
	深さ	50		16		38		20	
埋土	黒色土主体。少量のch-pとNb-p含む。		黒色褐色土の単層。Nb-p、ch-p含む。		黒色土が主体。Nb-p、褐色土の小ブロック含む。		黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p、Ch-p、微量の炭化物粒、褐色土粒を含む。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁			外傾		外傾				
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		完形の鉢		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第41号土坑		第42号土坑		第43号土坑		第44号土坑	
図版	遺構 65	遺物		遺構 65	遺物	遺構 65	遺物	遺構 65	遺物
写真図版	遺構 38	遺物		遺構 38	遺物	遺構 38	遺物	遺構 38	遺物
位置	IV F区		IV F区		IV F区		V F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		ビーカー状		皿状		フラスコ	
規模 (cm)	開口部径	177×180		167×168		135×140		123×126	
	底部径	164×166		152×153		124×137		131×142	
	深さ	85		74		34		38	
埋土	中央部に黒色土、下部に砂質シルト含む。側面に黒褐色の砂質シルト、Ch-p含む。Nb-p含む。		黒色土が主体。砂質シルト、Nb-p含む。		黒褐色土が主体。Nb-p、炭化物、黄褐色土の小ブロック含む。		黒褐色土と褐色土が主体。Nb-p、炭化物、地山崩落土含む。		
底面	ほぼ平坦		傾斜		平坦		波打つ		
壁	外反して外傾		直立		直立				
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第45号土坑		第46号土坑		第47号土坑		第48号土坑	
図版	遺構 65	遺物		遺構 66	遺物	遺構 66	遺物	遺構 66	遺物
写真図版	遺構 39	遺物		遺構 39	遺物	遺構 39	遺物	遺構 39	遺物
位置	V F区		V E区		V E区		V E区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	皿状		ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	114×118		139×145		196×198		136×141	
	底部径	22×68		136×136		176×183		106×115	
	深さ	52		83		96		80	
埋土	黒色土単層。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。Nb-p含む。		
底面	丸みのある凹型		平坦		ほぼ平坦		平坦		
壁	外傾		直立		直立さみ		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第49号土坑		第50号土坑		第51号土坑		第52号土坑	
図版	遺構 66	遺物 96	遺構 67	遺物 96	遺構 67	遺物 96	遺構 67	遺物 96	
写真図版	遺構 40	遺物 113	遺構 40	遺物 113	遺構 40	遺物 113	遺構 40	遺物 113	
位置	V.E区		V.E区		V.E区		V.E区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	
	断面形	逆台形状	逆台形状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	
規模 (cm)	開口部径	163×169	138×153	257×?	257×?	257×?	228×?	228×?	
	底部径	146×160	121×126	131×?	131×?	131×?	106×122	106×122	
	深さ	60	65	106	106	106	113	113	
埋土	黒褐色土主体。 Nb-p含む。		黒褐色土単層。 Nb-p、礫、炭化物粒含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p、褐色土、黒色土の各 ブロック、Ch-p含む		
底面	傾斜		ほぼ平面だが丸みがある		傾斜		やや波打つ		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	土器片		土器数片		土器数片		土器数片		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第53号土坑		第54号土坑		第55号土坑		第56号土坑	
図版	遺構 67	遺物	遺構 68	遺物	遺構 68	遺物 96	遺構 68	遺物 96	
写真図版	遺構 41	遺物	遺構 41	遺物 113	遺構 41	遺物 113	遺構 41	遺物 113	
位置	V.E区		V.E区		V.E区		V.E区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	円形	
	断面形	ビーカー状	ビーカー状	皿状	皿状	皿状	皿状	皿状	
規模 (cm)	開口部径	138×156	148×157	144×162	144×162	144×162	162×195	162×195	
	底部径	113×121	133×144	118×124	118×124	118×124	96×109	96×109	
	深さ	85	57	58	58	58	44	44	
埋土	黒色土主体。砂質シルトが多い。 Nb-p含む。		黒色土主体。 Nb-p、黄褐色土粒含む。		黒褐色土主体。 炭化材、Nb-p含む。		黒褐色土の単層。 Nb-p、Ch-p含む。		
底面	平坦		やや傾斜		傾斜有り		ほぼ平坦だが丸みを帯びている		
壁	ほぼ直立		やや外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		有 深さ 21.2cm		なし		なし		
出土遺物	なし		石錘		土器数片、凹石		土器片 石鏃		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第57号土坑		第58号土坑		第59号土坑		第60号土坑	
図版	遺構 68	遺物 96	遺構 69	遺物	遺構 69	遺物 96	遺構 69	遺物 96	
写真図版	遺構 42	遺物 113	遺構 42	遺物	遺構 42	遺物 113	遺構 42	遺物 113	
位置	V E区		V E区		V E区		V E区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		長方形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	124×129		114×237		124×165		153×156	
	底部径	106×110		83×183		105×122		136×144	
	深さ	35		86		54		48	
埋土	黒色土主体。 Nb-p、炭化物粒含む。		黒褐色土主体。 褐色土、黒色土の極小ブ ックを全体に含む。		黒色土、黒褐色土主体。 炭化材、土器片、Ch-p、黄 褐色土粒含む。		黒色土主体。Nb-p含む。		
底面	ほぼ平坦		平坦		平坦		ほぼ平坦		
壁	直立して外傾		直立		外傾		ほぼ直立		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	土器片		なし		土器数片		土器数片		
時期	縄文		不明		縄文		縄文		

遺構名		第61号土坑		第62号土坑		第63号土坑		第64号土坑	
図版	遺構 69	遺物	遺構 70	遺物	遺構 70	遺物 96	遺構 70	遺物	
写真図版	遺構 43	遺物	遺構 43	遺物	遺構 43	遺物 113	遺構 43	遺物	
位置	V E区		V E区		V E区		V E区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		皿状		フラスコ状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	115×136		142×144		162×166		?×108	
	底部径	104×106		116×120		174×179		?×83	
	深さ	79		44		28		12	
埋土	黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p含む。		黒褐色土主体。 Nb-p、Ch-p、黄褐色粒含 む。		黒色土が主体。Nb-p含む。		黒褐色土、暗褐色主体で Nb-p含む。		
底面	平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		
壁	直立		外傾				外傾		
副穴	有	深さ 41.8cm	なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		土器数片		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第65号土坑		第66号土坑		第67号土坑		第68号土坑	
図版	遺構 70	遺物 96	遺構 70	遺物 96	遺構 71	遺物	遺構 71	遺物	
写真図版	遺構 44	遺物 113	遺構 44	遺物 114	遺構 44	遺物	遺構 44	遺物	
位置	VE区		VE区		VF区		VD区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		長方形	
	断面形	ビーカー状		皿状		皿状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	120×129		182×184		134×140		86×141	
	底部径	124×133		130×138		109×110		68×121	
	深さ	25		62		20		32	
埋土	上部は黄褐色土、下部は黒褐色土。Nb-p含む。		黒色土が主体。Nb-p含む。		黒褐色土の単層。Nb-p含む。		黒褐色土のみ。Nb-p含む。		
底面	傾斜		平坦		やや傾斜		ほぼ平面		
壁	直立		外反		なし		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	土器片		土器数片、石斧		縄文		なし		
時期	縄文		縄文						

遺構名		第69号坑		第70号土坑		第71号土坑		第72号土坑	
図版	遺構 71	遺物	遺構 71	遺物 96	遺構 72	遺物	遺構 72	遺物	
写真図版	遺構 45	遺物	遺構 45	遺物 114	遺構 45	遺物	遺構 45	遺物	
位置	VF区		VF区		VF区		VF区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		ビーカー状		皿状		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	116×128		142×154		70×82		58×?	
	底部径	111×115		139×145		46×47		52×?	
	深さ	46		77		18		41	
埋土	黒色土と黒褐色土で構成される。Nb-p含む。		黒色土、黒褐色土主体。砂質シルト多くNb-p含む。		黒褐色土の単層。		黒褐色土と暗褐色土で構成される。Nb-p微量含む。		
底面	ほぼ平坦		凹型		平坦		凹型		
壁	ほぼ直立		外反		外傾		やや外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		土器片		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第73号土坑		第74号土坑		第75号土坑		第76号土坑	
図版	遺構 72	遺物		遺構 72	遺物 97	遺構 72	遺物	遺構 73	遺物 97
写真図版	遺構 46	遺物		遺構 46	遺物 114	遺構 46	遺物	遺構 46	遺物 114
位置	VF区		VF区		VF区		VF区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		楕円形状		円形	
	断面形	フラスコ状		フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	75×79		139×155		66×?		123×126	
	底部径	106×120		178×184		80×61		150×154	
	深さ	68		128		43		58	
埋土	黄褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土、にふい黄褐色、 にふい黄橙色土が主体。 Nb-p、炭化物粒含む。		にふい黄褐色土主体。ロー ムシルト、炭化材含む。		黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p含む。		
底面	平坦		平坦		凹型		平坦		
壁					外傾				
副穴	なし		なし		有 深さ 28cm		なし		
出土遺物	なし		土器数片		なし		土器片、磨石		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第77号土坑		第78号土坑		第79号土坑		第80号土坑	
図版	遺構 73	遺物 97	遺構 73	遺物 97	遺構 73	遺物	遺構 74	遺物 97	
写真図版	遺構 47	遺物 114	遺構 47	遺物 114	遺構 47	遺物	遺構 47	遺物 114	
位置	VF区		VF区		VF区		VF区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	皿状		皿状		フラスコ状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	145×163		130×151		162×164		164×173	
	底部径	143×158		121×133		169×173		162×164	
	深さ	16		30		82		44	
埋土	黒褐色土が主体。Nb-p含む。		黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p含む。		上部は黒褐色土、下部は褐 色土が主体。Nb-p含む。		黒色土が主体。全体的に Nb-p含む。		
底面	平坦		平坦		ほぼ平坦		平坦		
壁	外傾		直立				直立		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	土器片		土器片		なし		土器片		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第81号土坑		第82号土坑		第83号土坑		第84号土坑	
図版	遺構 74	遺物		遺構 74	遺物 97	遺構 74	遺物 97	遺構 74	遺物
写真図版	遺構 48	遺物		遺構 48	遺物 114	遺構 48	遺物 114	遺構 48	遺物
位置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ状		皿状		ピーカー状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	117×123		100×105		103×110		110×110	
	底部径	125×138		88×96		87×97		102×104	
	深さ	61		15		40		6	
埋土	上部黒褐色土、下部褐色土主体。 Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		暗褐色土の単層。Nb-p含む。		
底面	やや傾斜		平坦		やや傾斜		ほぼ平坦		
壁			外傾		やや外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		土器片		土器片		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第85号土坑		第86号土坑		第87号土坑		第88号土坑	
図版	遺構 74	遺物		遺構 75	遺物 97	遺構 75	遺物 97	遺構 75	遺物
写真図版	遺構 49	遺物		遺構 49	遺物 114	遺構 49	遺物 114	遺構 49	遺物
位置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	128×138		161×183					
	底部径	173×176		?×194		110×118		114×121	
	深さ	44		67		76		7	
埋土	黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土、暗褐色土主体。 Nb-p、炭化物粒含む。		黄褐色土主体。Nb-p含む。		不明		
底面	やや傾斜		傾斜		ほぼ平坦				
壁					崩落して波打つ		ほぼ平坦		
副穴	なし		なし		なし				
出土遺物			小型鉢、土器数片		小型鉢、土器数片		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第89号土坑		第90号土坑		第91号土坑		第92号土坑	
図版	遺構 75	遺物 97	遺構 75	遺物 97	遺構 75	遺物	遺構 76	遺物 97	
写真図版	遺構 49	遺物 114	遺構 50	遺物 114	遺構 50	遺物 114	遺構 50	遺物	
位置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ状		皿状		フラスコ状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	107×118		118×133		124×125		104×111	
	底部径	115×123		116×118		139×151		116×123	
	深さ	32		26		48		32	
埋土	黒色土、黒褐色土主体。 Nb-p含む。		上部は黒色土主体、下部は Nb-pと黒褐色土の混土。全 体的にNb-p含む。		上部は黒褐色土、下部は黄 褐色土が主体。全体的に Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。 副穴内には明黄褐色土が堆 積。		
底面	ほぼ平面		ほぼ平坦		平坦		やや波打つ		
壁			ほぼ直立						
副穴	なし		なし		なし		有	深さ 30cm	
出土遺物	完形の壺、土器数片		土器数片		土器片		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第93号土坑		第94号土坑		第95号土坑		第96号土坑	
図版	遺構 76	遺物	遺構 76	遺物 97	遺構 76	遺物 97	遺構 76	遺物	
写真図版	遺構 50	遺物	遺構 51	遺物 114	遺構 51	遺物 115	遺構 51	遺物	
位置	V F区		V F区		V F区		V F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	フラスコ状		皿状		フラスコ状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	100×102		92×105		116×126		141×146	
	底部径	124×131		86×94		138×140		142×143	
	深さ	25		10		28		13	
埋土	黒色土が主体。Nb-p含む		黒褐色土主体。 Nb-p微量含む。		黒褐色土、暗褐色土が主体。 白っぽいNb-p含む。		黒褐色土主体。 下部に黒褐色土とNb-pの 混土含む。		
底面	ほぼ平坦		平坦		やや波打つ		ほぼ平坦		
壁			外傾				ほぼ直立		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		土器片		土器数片、磨石		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第97号土杭		第98号土杭		第99号土杭		第100号土杭	
図版	遺構 76	遺物		遺構 77	遺物 98	遺構 77	遺物 98	遺構 77	遺物 98
写真図版	遺構 51	遺物		遺構 52	遺物 115	遺構 52	遺物 115	遺構 52	遺物 115
位置	VF区		VF区		VF区		VF区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		不整形	
	断面形	皿状		フラスコ状		フラスコ状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	110×?		137×152		150×150		142×151	
	底部径	91×?		146×164		158×173		108×138	
	深さ	12		96		128		39	
埋土	Nb-pと黒褐色土の混土。		黒褐色土主体。 炭化物粒、Nb-p、土器片含む。		黒褐色と明黄褐色土が主体。 最下部にはにぶい黄橙色土。 Nb-p、炭化物粒含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		
底面	ほぼ平坦		平坦		やや傾斜		ほぼ平坦		
壁	外傾						やや直立		
副穴	なし		なし		なし		有 深さ 23.9cm、32.5cm		
出土遺物	なし		土器数片		土器数片、石鏃		土器数片、石匙		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第101号土杭		第102号土杭		第103号土杭		第104号土杭	
図版	遺構 77	遺物		遺構 78	遺物	遺構 78	遺物	遺構 78	遺物
写真図版	遺構 52	遺物		遺構 53	遺物	遺構 53	遺物	遺構 53	遺物
位置	IVC区		IVC区		IVC区		IVC区		
検出状況 重複関係					第104号土杭と重複しているが新旧は不明。		第103号土杭、中世第1号住居跡と重複。新旧不明。		
形状	平面形	楕円形		円形		長方形状		長方形状	
	断面形	皿状		皿状		皿状		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	83×112		φ84		73×116		110×?	
	底部径	40×60		φ38		49×90		87×?	
	深さ	64		24		29		24	
埋土	黒色土主体。米粒大の角礫含む。		黒色土主体。米粒大の角礫含む。		黒色土主体。 Ch-p及びφ5～25mmほどの角礫を含む。		黒色土主体。 Ch-p及びφ5～25mmほどの角礫を含む。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外反		
副穴	なし				なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	中世以降		中世以降		中世以降		中世以降		

遺構名		第105号土坑		第106号土坑		第107号土坑		第108号土坑	
図版	遺構	78	遺物	78	遺物	78	遺物	78	遺物
写真図版	遺構	53	遺物	54	遺物	54	遺物	54	遺物
位置	IVC区		IVC区		IVC区		IVC区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形状		円形状		楕円形状		円形状	
	断面形	皿状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	φ105		φ93		91×114		φ96	
	底部径	φ86		φ59		73×87		φ62	
	深さ	14		16		8		6	
埋土	黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第109号土坑		第110号土坑		第111号土坑		第112号土坑	
図版	遺構	78	遺物	78	遺物	78	遺物	79	遺物
写真図版	遺構	54	遺物	55	遺物	55	遺物	55	遺物
位置	IVC区		IVC区		IVC区		IVC区		
検出状況 重複関係			新时期坑に載られる。検出面に焼土あり。						
形状	平面形	長方形状		長方形状		長方形状		円形状	
	断面形	皿状		逆台形状		逆台形状		皿形状	
規模 (cm)	開口部径	93×164		82×141		82×216		φ82	
	底部径	81×143		64×101		68×180		φ62	
	深さ	6		19		30		20	
埋土	黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-pを多く含む。		Nb-pをわずかに含む黒色土主体。Nb-pの崩落土有り。		黒褐色土主体。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第113号土坑		第114号土坑		第115号土坑		第116号土坑	
図版	遺構 79	遺物		遺構 79	遺物	遺構 79	遺物	遺構 79	遺物
写真図版	遺構 55	遺物		遺構 56	遺物	遺構 56	遺物	遺構 56	遺物
位置	IVD区		IVD区		IVD区		VB区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形状		円形状		円形		長方形	
	断面形	ビーカー状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	φ116		φ114		φ141		87×182	
	底部径	φ100		φ98		φ98		69×160	
	深さ	54		24		56		13	
埋土	黒色土主体。 Nb-p及びCh-p含む。		黒色土主体。 Nb-p及びCh-pを全体に含む。		黒色土主体とし、下部に黒褐色土を含む。		角礫(φ5~20mm)、Ch-pをわずかに含む黒色土の単層。		
底面	平坦		平坦		平坦		凹凸をもつ		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		不明		

遺構名		第117号土坑		第118号土坑		第119号土坑		第120号土坑	
図版	遺構 79	遺物		遺構 79	遺物	遺構 79	遺物	遺構 79	遺物
写真図版	遺構 56	遺物		遺構 57	遺物	遺構 57	遺物	遺構 57	遺物
位置	VB区		VB区		VB区		VB区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	長方形		長方形		長方形		長方形	
	断面形	逆台形状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	80×169		118×181		82×144		78×189	
	底部径	62×152		107×167		77×135		70×184	
	深さ	29		22		12		5	
埋土	角礫(φ5~20mm)、Ch-pをわずかに含む黒色土単層。		褐色土ブロックを多量に、Nb-pをまばらに含む黒褐色土主体。(埋め戻し)		Nb-p及び角礫(φ5~10mm)をまばらに含む黒色土単層。		黒褐色土を主体とし、黄橙色・褐色土の小ブロック、Nb-pが混じる。炭化材片含む。		
底面	平坦		平坦		凹凸のある傾斜		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし				
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第121号土坑		第122号土坑		第123号土坑		第124号土坑	
図版	遺構 80	遺物		遺構 80	遺物	遺構 80	遺物	遺構 80	遺物
写真図版	遺構 57	遺物		遺構 58	遺物	遺構 58	遺物	遺構 58	遺物
位置	V B区		V C区		V C区		V C区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		長方形状		長方形状		長方形状	
	断面形	ビーカー状		皿形状		皿形状		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	φ125		78×129		102×149		94×132	
	底部径	φ94		65×81		88×142		72×100	
	深さ	159		11		11		21	
埋土	上位は褐色土、下部はにぶい黄褐色土。Nb-p Ha-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p及び褐色土小ブロック含む。		黒褐色土主体。Nb-p及び褐色土小ブロック含む。		黒褐色土主体。Nb-p及び大きな礫を含む。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	直立		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第125号土坑		第126号土坑		第127号土坑		第128号土坑	
図版	遺構 80	遺物		遺構 80	遺物	遺構 80	遺物	遺構 81	遺物
写真図版	遺構 58	遺物		遺構 59	遺物	遺構 59	遺物	遺構 59	遺物
位置	V C区		V C区		V C区		V C区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	長方形		長方形状		長方形状		長方形	
	断面形	皿状		逆台形状		逆台形状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	88×155		110×256		91×182		88×152	
	底部径	72×139		82×221		66×162		73×140	
	深さ	7		40		33		35	
埋土	黒褐色土を主体とし、黄褐色土、褐色土小ブロック、Nb-pが混じる。炭化材片含む。		黒褐色土主体。Nb-p含む。		黒褐色土主体。Nb-p及び褐色土小ブロック含む。		黒褐色土を主体とし、黄褐色土・褐色土小ブロック、Nb-pが混じる。炭化材片含む。(埋め戻し)		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		直立		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第129号土坑		第130号土坑		第131号土坑		第132号土坑	
図版	遺構 81	遺物		遺構 81	遺物	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物
写真図版	遺構 59	遺物		遺構 60	遺物	遺構 60	遺物	遺構 60	遺物
位置	V C区		V C区		V C区		V C区		
検出状況 重複関係			第132号土坑と重複しているが新旧は不明。		第130号土坑と重複しているが新旧は不明。		Nb-p層で検出。		
形状	平面形	長方形		長方形		長方形		長方形状	
	断面形	皿状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	84×102		81×?		80×?		78×110	
	底部径	58×82		72×?		66×?		60×91	
	深さ	21		23		15		12	
埋土	黒褐色土主体。 褐色土の小ブロック、Nb-p含む。		黒褐色土主体。 褐色土の小ブロック含む。		黒褐色土主体。 褐色土の小ブロック含む。		黒色土主体。 Nb-p及びCh-pを全体に含む。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第133号土坑		第134号土坑		第135号土坑		第136号土坑	
図版	遺構 81	遺物		遺構 81	遺物	遺構 81	遺物	遺構 81	遺物
写真図版	遺構 60	遺物		遺構 60	遺物	遺構 61	遺物	遺構 61	遺物
位置	V C区		V C区		V C区		V C区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	長方形		不整形		長方形		楕円形	
	断面形	皿状		皿状		逆台形状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	76×125		φ134		94×128		112×126	
	底部径	67×99		φ112		78×111		90×118	
	深さ	18		34		20		40	
埋土	黒色土、褐色土、黒褐色土主体。明黄褐色土を含み、上位に炭化物粒が混じる。		黒褐色土主体 Ha-P、黒色土粒をまばらに含む。		黒色土を主体とし、褐色土極小ブロック、黒色土粒、Nb-pをまばらに含む。		黒褐色土を主体とし、下部に褐色土がブロック状に混じる。Nb-p、Ch-pを含む。		
底面	平坦		平坦		ゆるかなに傾斜		平坦		
壁	ほぼ直立		外傾		外傾		強く外傾		
副穴									
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明		不明		不明		

遺構名		第137号土坑		第138号土坑		第139号土坑		第140号土坑	
図版	遺構	82	遺物	82	遺物	98	遺構	82	遺物
写真図版	遺構	61	遺物	61	遺物	115	遺構	62	遺物
位置	VD区		VD区		VD区		VD区		
検出状況 重複関係	第3号竪穴状遺構に截られる。		第3号竪穴状遺構に截られる。		第3号竪穴状遺構に截られる。		第138号土坑に截られる。		
形状	平面形	円形		不整形円形		円形		楕円形	
	断面形	フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	φ123		127×182		φ95		23×?	
	底部径	φ95		195×241		φ111		75×?	
	深さ	63		100		(39) ()は残存高		(49) ()は残存高	
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-p、Ch-pを含む。		黒色土、黒褐色土を主体とし、上位に炭化物粒をまばらに含む。		下部は黒褐色土主体で、Nb-p、褐色土粒を含む。人為的に埋め戻されている。		不明		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外反		外反		内傾		内傾		
副穴			有り 深さ 24cm						
出土遺物	なし		土器片、凹石(敲石)		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第141号土坑		第142号土坑		第143号土坑		第144号土坑	
図版	遺構	82	遺物	98	遺構	83	遺物	遺構	83
写真図版	遺構	62	遺物	115	遺構	62	遺物	遺構	63
位置	VD区		VD区		VD区		VD区		
検出状況 重複関係	第3号竪穴状遺構に截られる。						Nb-p層で検出。		
形状	平面形	円形		楕円形状		楕円形状		長方形	
	断面形	フラスコ状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	φ82		116×120		99×119		φ103	
	底部径	φ117		67×80		78×86		φ93	
	深さ	(58) ()は残存高		16		37		25	
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-p、Ch-pを全体に含み、褐色土粒が混じる。		黒色土主体。Nb-p含む。		黒色土主体。モザイク状に汚れたNb-pが入る。		Nb-p及びCh-pをまばらに含む黒色土主体。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	内傾		外傾		外傾		外傾		
副穴					なし		なし		
出土遺物	土器数片		なし		なし		なし		
時期	縄文		不明		不明		不明		

遺構名		第145号土坑		第146号土坑		第147号土坑		第148号土坑	
図版	遺構 83	遺物		遺構 83	遺物	遺構 83	遺物	遺構 83	遺物
写真図版	遺構 63	遺物		遺構 63	遺物	遺構 63	遺物	遺構 64	遺物
位置	VD区		VD区		v D区		VD区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		長方形状	
	断面形	皿状		フラスコ状		ピーカー状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	φ144		φ153		φ146		74×113	
	底部径	φ125		φ185		φ143		63×86	
	深さ	27		60		70		26	
埋土	黒色土主体。 Nb-p、Ch-p含む。		黒色土、黒褐色土、暗褐色土が主体。Nb-p含む。		黒褐色土、黄褐色土、褐色土が主体。 Nb-p、Ch-pを含む。		Nb-pを含む黒褐色土の単層。		
底面	平坦		平坦		ゆるやかに傾斜		ほぼ直立		
壁	外傾		内傾		ほぼ直立		なし		
副穴			なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		不明		
時期	縄文		縄文		縄文				

遺構名		第149号土坑		第150号土坑		第151号土坑		第152号土坑	
図版	遺構 84	遺物		遺構 84	遺物	遺構 84	遺物	遺構 84	遺物
写真図版	遺構 64	遺物		遺構 64	遺物	遺構 64	遺物	遺構 65	遺物
位置	VD区		VD区		VD区		VD区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	不整円形		円形		長方形状		円形状	
	断面形	ピーカー状		フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	φ191		φ148		59×68		φ139	
	底部径	φ180		φ160		47×52		φ148	
	深さ	47		51		8		77	
埋土	にぶい黄褐色土、黒褐色土、黒色土主体。Nb-p、Ch-p含む。		黒褐色土主体。Nb-pを含む。暗褐色土中に炭化材粒が混じる。		Nb-pを含む黒色土の単層。		黒褐色土を主体としてNb-pを含む。上位に炭化物粒が混じる。		
底面	ほぼ平坦		平坦		平坦		ほぼ平坦		
壁	内傾		外反		外傾		外反		
副穴			なし				なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		不明		縄文		

遺構名		第153号土坑		第154号土坑		第155号土坑		第156号土坑	
図版	遺構 84	遺物 98	遺構 85	遺物	遺構 85	遺物	遺構 85	遺物	
写真図版	遺構 65	遺物 115	遺構 65	遺物	遺構 65	遺物	遺構 66	遺物	
位置	VD区		VD区		VD区		VD区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		長方形	
	断面形	深ビーカー状		逆台形状		深ビーカー状		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	φ187		φ142		φ156		78×130	
	底部径	φ76		φ79		φ92		64×110	
	深さ	271		290		314		16	
埋土	上位から中位にかけて黒色土主体で、中位には炭化材が含まれる。下位はふい黄橙色土。		黒色土を主体とし、Nb-p Ch-p、褐色土小ブロックを含む。		黒色土を主体とし上位にNb-p、中位から下位にかけて褐色土粒を含む。		暗褐色土を主体とし褐色土ブロック及び炭化物、焼土粒を含む。		
底面	ほぼ平坦		平坦		ほぼ平坦		ほぼ平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	有り	深さ 10cm			なし				
出土遺物	土器片、鉄滓、フイゴの羽口など		なし		なし		鉄滓、鉄製品破片?		
時期	中世以降		中世以降		中世以降		不明		

遺構名		第157号土坑		第158号土坑		第159号土坑		第160号土坑	
図版	遺構 85	遺物 98	遺構 85	遺物	遺構 86	遺物 98	遺構 86	遺物	
写真図版	遺構 66	遺物 115	遺構 66	遺物	遺構 66	遺物 116	遺構 67	遺物	
位置	VE区		VE区		VE区		VE区		
検出状況 重複関係			Nb-p層直上						
形状	平面形	円形		楕円形状		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	134×150		108×128		116×126		134×138	
	底部径	126×128		82×104		110×111		117×124	
	深さ	67		22		26		36	
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-pの崩落ブロックを下部を含む。		黒色土の単層でNb-p、Ch-pをまばらに含む。		黒色土の単層でNb-p、Ch-pをまばらに含む。		黒褐色土を主体とし、下部に暗褐色土を含む。Nb-pを全体にまばらに含む。		
底面	平坦で焼土塊4カ所あり		平坦		平坦		平坦		
壁	直立ぎみに外傾		外傾		外傾		直立ぎみに外傾		
副穴	有(10個)	深さ 5~19cm					なし		
出土遺物	土器数片		なし		土器片		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第161号土坑		第162号土坑		第163号土坑		第164号土坑	
図版	遺構 86	遺物 98	遺構 86	遺物 98	遺構 86	遺物	遺構 87	遺物	
写真図版	遺構 67	遺物 116	遺構 67	遺物 116	遺構 67	遺物	遺構 68	遺物	
位置	V E 区		V E 区		V E 区		V E 区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		フラスコ状		フラスコ状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	φ170		170×188		155×168		φ75	
	底部径	φ153		168×174		175×177		φ57	
	深さ	66		92		80		26	
埋土	黒色土～黒褐色土を主体とし、壁際にNb-pの崩落を含む。		Nb-p 5～30%含む黒色土・黒褐色土が主体。Nb-pの崩落ブロック含む。		Nb-p 3～10%含む黒色土を主体とし、下部は崩落したNb-pと暗褐色土となる。		Nb-p 5%含む黒色土、崩落したNb-pからなる。		
底面	平坦		平坦		ほぼ平坦		平坦		
壁	わずかに外反		外反。崩落あり。		外反		直立ぎみに外傾		
副穴			有(3個) 深さ 5～7cm						
出土遺物	土器片、細部加工剝片		土器片		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第165号土坑		第166号土坑		第167号土坑		第168号土坑	
図版	遺構 87	遺物 98	遺構 87	遺物 98	遺構 87	遺物 98	遺構 87	遺物	
写真図版	遺構 68	遺物 116	遺構 68	遺物 116	遺構 68	遺物 116	遺構 69	遺物	
位置	V E 区		V F 区		V I C 区		V I D 区		
検出状況 重複関係	第3号壁穴状遺構に截られる。		南部浮石層上面以上で検出されるべき遺構である。検出面を下げ過ぎている。						
形状	平面形	円形		円形		円形		長方形	
	断面形	フラスコ状		フラスコ状		フラスコ状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	173×?		73×78		φ122		82×139	
	底部径	186×?		144×146		φ144		67×128	
	深さ	108		(60) ()は残存高		(24) ()は残存高		12	
埋土	Nb-pを含む黒色土主体で、壁際はNb-pの崩落ブロック、下部は黒褐色土、褐色土を含む。		Nb-p15～30%含む黒褐色土と明黄褐色の崩落土からなる。		Nb-p、Ch-pを含む黒色土単層。		黄褐色土を主体として黒色土粒、明黄褐色土小ブロック、Nb-pを含む。		
底面	わずかに傾斜する		緩やかに傾斜する。		内傾		平坦		
壁	内傾		内傾		ゆるやかな傾斜		外傾		
副穴	有(7個) 深さ 4～15cm				なし		なし		
出土遺物	土器片		土器片		晩期の土器		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		不明		

遺構名		第169号土坑		第170号土坑		第171号土坑		第172号土坑	
図版	遺構 87	遺物		遺構 88	遺物	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物
写真図版	遺構 69	遺物		遺構 69	遺物	遺構 69	遺物	遺構 70	遺物
位置	VID区		VID区		VID区		VID区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	長方形		長方形		長方形		長方形	
	断面形	皿状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	89×148		85×151		106×144		110×184	
	底部径	82×136		73×140		92×137		92×158	
	深さ	26		16		12		12	
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-pが混じる。炭化物粒わずかに含む。		上位は黒色土、下位は黒褐色土が主体で、褐色土粒及びNb-pを含む。		黒褐色土を主体とし、Nb-p及び黒色土ブロックを含む。		Nb-p、暗褐色の土粒をわずかに含む黒褐色土の単層。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		外傾		外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	不明		不明				不明		

遺構名		第173号土坑		第174号土坑		第175号土坑		第176号土坑	
図版	遺構 88	遺物		遺構 88	遺物	遺構 88	遺物	遺構 88	遺物 99
写真図版	遺構 70	遺物		遺構 70	遺物	遺構 70	遺物	遺構 71	遺物 116
位置	VID区		VID区		VID区		VID区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		長方形		円形		円形	
	断面形	皿状		皿状		ピーカー状		ピーカー状	
規模 (cm)	開口部径	φ114		78×101		φ133		φ140	
	底部径	φ100		62×94		φ142		φ155	
	深さ	28		9		44		46	
埋土	黒褐色土を主体とし、Nb-p、Ch-pをまばらに含む。		黒褐色土を主体としてNb-p、褐色土粒及び炭化材を含む。		上位は暗褐色土、中位は褐色土、下位は黒色土が主体で、Nb-pを含む。		黒褐色土及び黒色土を主体としNb-p、Ch-pを含む。		
底面	平坦		ほぼ平坦		ゆるやかに傾斜		平坦		
壁	外傾		外傾		ほぼ直立		ほぼ直立		
副穴	なし				なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		土器片		
時期	縄文		不明		縄文		縄文		

遺構名		第177号土坑		第178号土坑		第179号土坑		第180号土坑	
図版	遺構 89	遺物		遺構 89	遺物 99	遺構 89	遺物	遺構 89	遺物
写真図版	遺構 71	遺物		遺構 71	遺物 116	遺構 71	遺物	遺構 72	遺物
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区		
検出状況 重複関係					第182号土坑と載り合うが 新旧は不明。		第179号土坑と載り合うが 新旧は不明。		
形状	平面形	円形		不整形		楕円形状		楕円形?	
	断面形	ビーカー状		皿状		皿状		皿状	
規模 (cm)	開口部径	φ158		φ198		121×177		?×82	
	底部径	φ140		φ212		91×162		?×55	
	深さ	50		18		37		13	
埋土	黒褐色土を主体として Nb-p、Ch-pを含む。		黒色土を主体としCh-p及 びNb-pを含む。		Nb-p 5～30%含む黒褐色 土、暗褐色土、黒色土の混 土。人為的に埋め戻されて いる。		Nb-p 5%含む黒褐色土で、 土器片含む		
底面	平坦		ゆるやかに傾斜		波打つ		丸みをもつ		
壁	外傾		外傾		外傾		緩やかに外傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		土器数片		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文?		縄文		

遺構名		第181号土坑		第182号土坑		第183号土坑		第184号土坑	
図版	遺構 89	遺物		遺構 90	遺物 99	遺構 90	遺物	遺構 90	遺物
写真図版	遺構 72	遺物		遺構 72	遺物 116	遺構 72	遺物	遺構 73	遺物
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区		
検出状況 重複関係					八戸火山灰層上面で検出さ れたが、もっと上位で見え た可能性が高い。		八戸火山灰層上面		
形状	平面形	ほぼ長方形		円形		円形		円形	
	断面形	皿状		ビーカー状		フラスコ状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	77×110		φ176		φ100		φ100	
	底部径	69×99		φ170		φ125		φ126	
	深さ	29		44		44		38	
埋土	Nb-p、Ch-p及び炭化物粒を 含む黒褐色土の単層。		黒色土を主体として、Nb-p、 Ch-pを含む。		Nb-p25%～30%含む褐色 土、明黄褐色土を主体とし、 黒褐色土を下部に含む。硬 く締まる。		Nb-p30%含む褐色土に崩 落したNb-pのブロックを 含む。		
底面	平坦		平坦		平坦		平坦		
壁	外傾		外傾		内傾		内傾		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		土器片		なし		なし		
時期	不明		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第185号土杭		第186号土杭		第187号土杭		第188号土杭	
図版	遺構 90	遺物		遺構 91	遺物	遺構 91	遺物	遺構 91	遺物
写真図版	遺構 73	遺物		遺構 73	遺物	遺構 73	遺物	遺構 74	遺物
位置	VIE区		IVE区		VIE区		VIE区		
検出状況 重複関係	八戸火山灰層上面		八戸火山灰層上面		八戸火山灰層上面		八戸火山灰層上面		
形状	平面形	円形		円形		楕円形状		円形	
	断面形	フラスコ状		フラスコ状		皿状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	φ108		72×84		100×111		φ95	
	底部径	145×160		88×92		82×102		112×120	
	深さ	65		32		28		36	
埋土	Nb-p15~20%含む、暗褐色~褐色土が主体で、下部に黄褐色土のブロックを含む。		Nb-p20~30%含む暗褐色土と黄褐色土が主体で、下部は褐色土となる。		Nb-p30%含む暗褐色土の単層で、Nb-p崩落ブロック含む。		Nb-p30%含む暗褐色土の単層。		
底面	ほぼ平坦		平坦		傾斜わずかにあり		波打つ		
壁	内彎して外傾		内彎		外傾		内傾し外反		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

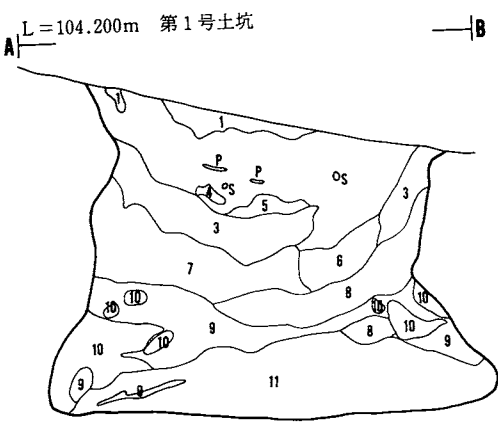
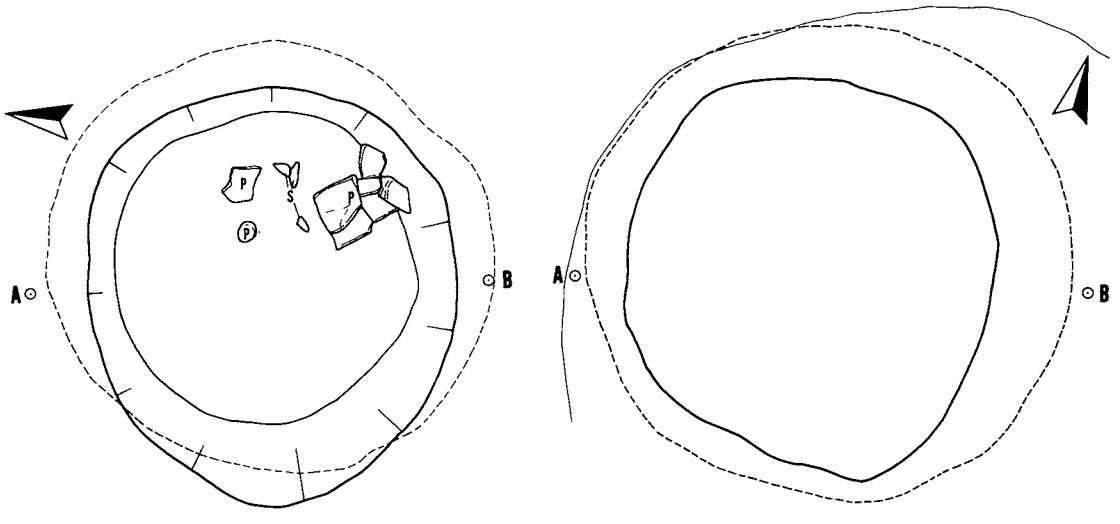
遺構名		第189号土杭		第190号土杭		第191号土杭		第192号土杭	
図版	遺構 91	遺物		遺構 91	遺物	遺構 91	遺物	遺構 91	遺物 99
写真図版	遺構 74	遺物		遺構 74	遺物	遺構 74	遺物	遺構 75	遺物 116
位置	VIE区		VIE区		VIE区		VIE区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	皿状		ピーカー状		フラスコ状		フラスコ状	
規模 (cm)	開口部径	114×122		104×108		φ106		136×144	
	底部径	φ100		86×92		112×120		160×164	
	深さ	22		68		45		75	
埋土	Nb-p15~30%含む暗褐色土、褐色土からなり、Nb-pの崩落ブロック含む。		まばらにNb-pを含む黒褐色土、多量に含む黒褐色土主体。暗褐色土、崩落したNb-p含む。		黒褐色土と黒色土を主体とし、Nb-p、Ch-pをともに含む。		上部はNb-p10~50%含む黒褐色土、中~下部はNb-p、Ch-pを含む黒色土、暗褐色土が主体。		
底面	平坦だがわずかに傾斜あり		わずかに凹凸あり		平坦		平坦		
壁	外傾		外反ぎみ		直立ぎみに外反		直立ぎみに外反		
副穴	なし		なし		なし		なし		
出土遺物	なし		なし		なし		土器片		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第193号土坑		第194号土坑		第195号土坑		第196号土坑				
図版	遺構 92	遺物		遺構 92	遺物	遺構 92	遺物	遺構 92	遺物 99			
写真図版	遺構 75	遺物		遺構 75	遺物	遺構 75	遺物	遺構 76	遺物 116			
位置	VIE区			VIE区			VIE区					
検出状況 重複関係							新期土坑に載られる。					
形状	平面形	楕円形状			円形			円形				
	断面形	フラスコ状			フラスコ状			皿状				
規模 (cm)	開口部径	123×140			90×96			104×110				
	底部径	144×158			126×132			83×86				
	深さ	74			61			35				
埋土	上部は褐色土、中～下部はNb-pを20～50%含む黒褐色土、褐色土。崩落したNb-pを含む。			Nb-p 7～30%含む黒褐色土と暗褐色土が主体。			Nb-p 3～10%含む黒色土、黒褐色土、暗褐色土からなる。			Nb-p 7～20%、Ch-pを全体に含む黒色土と黒褐色土を主体とする。崩落したNb-p含む。		
底面	わずかに凹凸あり			ほぼ平坦			平坦			平坦		
壁	内彎して外反			内傾			外傾			外反		
副穴	有 (2個)	深さ	10cm									
出土遺物	なし			なし			なし			土器数片、凹石		
時期	縄文			縄文			縄文			縄文		

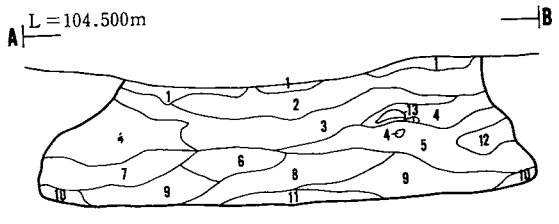
遺構名		第197号土坑		第198号土坑		第199号土坑		第200号土坑				
図版	遺構 92	遺物 99		遺構 93	遺物 99	遺構 93	遺物	遺構 93	遺物			
写真図版	遺構 76	遺物		遺構 76	遺物 116	遺構 76	遺物	遺構 77	遺物			
位置	VIE区			VIE区			VIE区					
検出状況 重複関係							(木痕の可能性あり)					
形状	平面形	不整形円形			円形			円形				
	断面形	フラスコ状と思われるが、崩落が著しい。			皿状			ピーカー状				
規模 (cm)	開口部径	174×238			163×185			φ93				
	底部径	130×182			φ143			46×58				
	深さ	100			40			57				
埋土	上部はNb-pを含む黒褐色土、中～下部はNb-p、Ch-pを含む黒色土と黒褐色土からなる。			Nb-pを含む黒褐色土、暗褐色土からなる。			Nb-p 5～20%含む黒褐色土、暗褐色土からなる。			Nb-p、Ch-pを含む黒褐色土の単層。		
底面	壁際に丸みあり			平坦			波打つ			ほぼ平坦		
壁	外傾と外反			外傾			外傾			緩やかに外傾		
副穴	有	深さ	12cm									
出土遺物	土器片			土器数片			なし			なし		
時期	縄文			縄文			不明			縄文		

遺構名		第201号土坑		第202号土坑		第203号土坑			
図版	遺構 93	遺物		遺構 93	遺物	遺構 93	遺物	遺構	遺物
写真図版	遺構 77	遺物		遺構 77	遺物	遺構 77	遺物	遺構	遺物
位置	IV F区		IV F区		V F区				
検出状況 重複関係									
形状	平面形	方形		方形		方形			
	断面形	皿状		皿状		皿状			
規模 (cm)	開口部径	172×193		171×182		176×196			
	底部径	162×183		154×168		152×168			
	深さ	40		13		12			
埋土	黒色土と黒褐色土が主体。 Nb-p、灰白色火山灰を少量含む。		黒色土主体。 炭化物粒、灰白色火山灰を少量含む。		黒色土の単層。 炭化物粒、灰白色火山灰を少量含む。				
底面	平坦		やや傾斜		やや波打つ				
壁	直立		外傾		外傾				
副穴	有	深さ	13cm	なし		なし			
出土遺物	なし		なし		なし				
時期	古代		古代		古代				

(高橋・濱田・田中)

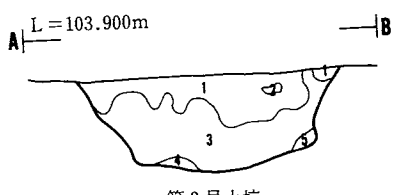
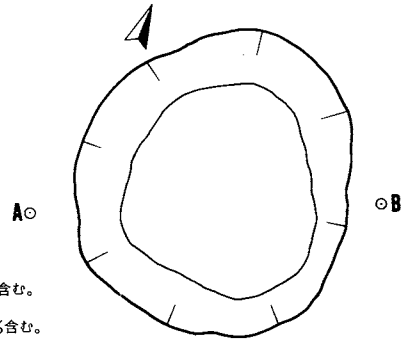


- 第1号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土。炭化物粒、Nbp3%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土。炭化物粒、Nbp5%含む。
 3. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp5%含む。
 4. 10Y R4/4褐色土。黒色土含む。
 5. 10Y R2/3黒褐色土。
 6. 7.5Y R2/1黒色土。
 7. 7.5Y R2/2黒褐色土。Nbp1%含む。
 8. 7.5Y R2/1黒色土。Nbp15~20%含む。
 9. 10Y R5/6黄褐色土。黒色土を帯状に含む。
 10. 10Y R4/6褐色土。
 11. 7.5Y R2/2黒褐色土。地山崩落土含む。



第2号土坑

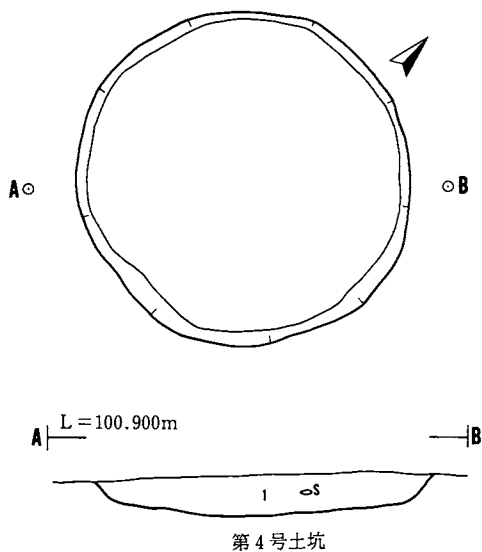
- 第3号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp5%含む。
 2. 10Y R3/2黒褐色土。
 3. 10Y R3/3暗褐色土。Nbp40%含む。
 4. 10Y R4/6褐色土。Nbp含む。
 5. 10Y R4/4褐色土。地山崩落土。



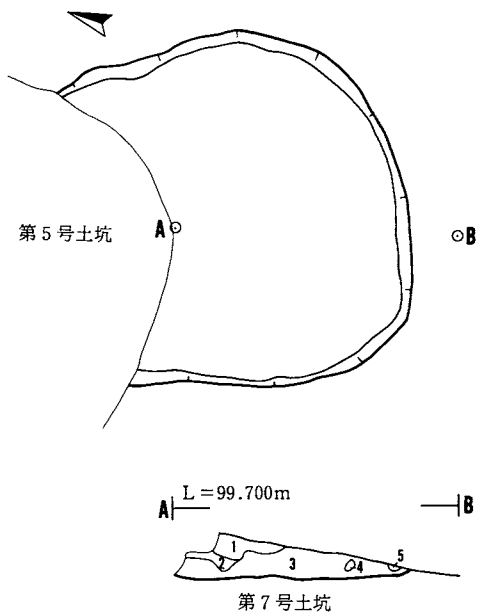
第3号土坑

- 第2号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp15%含む。
 3. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp30%含む。
 4. 10Y R5/6黄褐色土。褐色土のブロック含むNbp層。
 5. 10Y R1.7/1黒色土。Nbpと黒褐色土含む。
 6. 10Y R1.7/1黒色土。細砂含む。
 7. 10Y R2/1黒色土。Nbp3%含む。
 8. 10Y R2/1黒色土。におい黄褐色土と細砂を含む。
 9. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp10%含む。
 10. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp3%含む。
 11. 10Y R2/1黒色土。Nbp7%含む。
 12. 10Y R5/6黄褐色土。Nbpのブロック。

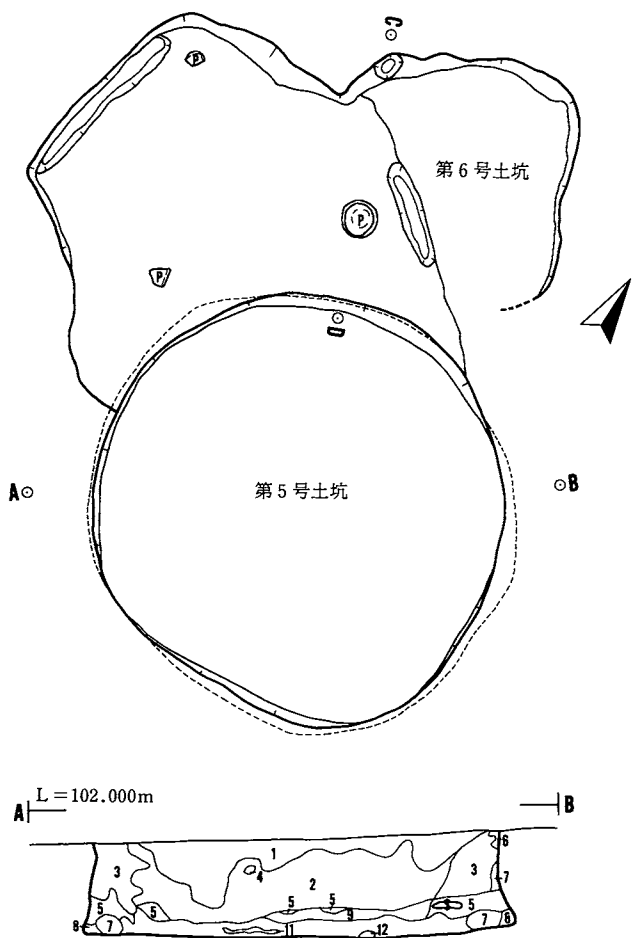
図55 土坑(1)



第4号土坑
1. 10Y R1.7/1黒色土. Nbp7%含む。



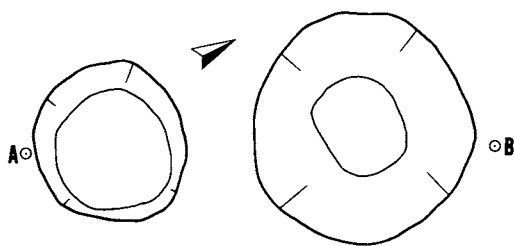
第7号土坑
1. 7.5Y R2/1黒色土. Nbp2%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土. Nbpまばら。
3. 10Y R3/4暗褐色土. Nbp3%含む。
4. 10Y R4/4褐色土。
5. 10Y R2/3黒褐色土。



第5号土坑
1. 10Y R2/1黒色土. Nbp3%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土. Nbp2%。土器片を含む。
3. 10Y R2/3黒褐色土。
4. 10Y R5/4にぶい黄褐色土. ロームブロック
5. 10Y R4/4褐色土. 黒色土. 暗褐色土の混土。
6. 10Y R5/8黄褐色土. 地山崩落土。
7. 10Y R6/4にぶい黄褐色土. 地山崩落土。
8. 10Y R3/2黒褐色土. やわらかい。
9. 10Y R2/2黒褐色土. Nbp1%含む。
10. 10Y R2/1黒色土. 炭化物粒を微量含む。
11. 10Y R3/3暗褐色土. 明黄褐色土含む。
12. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。

第6号土坑
1. 10Y R3/3暗褐色土。
2. 10Y R4/4褐色土. Nbpまばら。
3. 10Y R2/2黒褐色土。
4. 10Y R2/1黒色土。

図56 土坑(2)



L = 101.900m

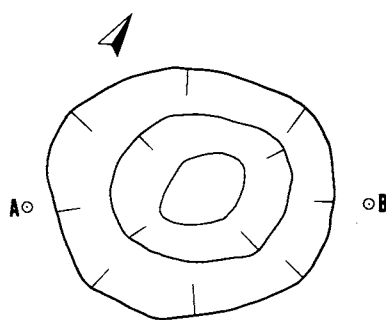


第8号土坑

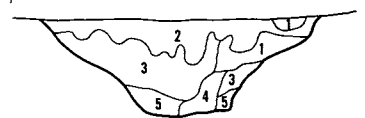
第9号土坑

第8号・9号土坑

1. 10Y R2/1黒色土。Nbpまばら。
2. 10Y R2/2黒褐色土。砂質土。
3. 10Y R2/3黒褐色土。地山崩落土。
4. 10Y R1.7/1黒色土。小礫を含む。



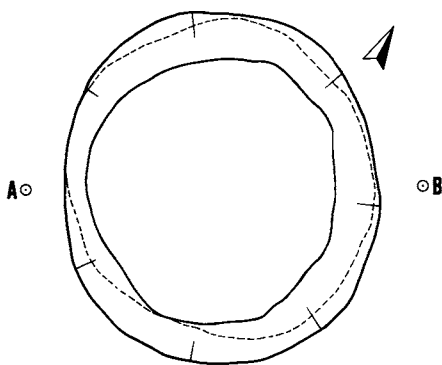
L = 100.100m



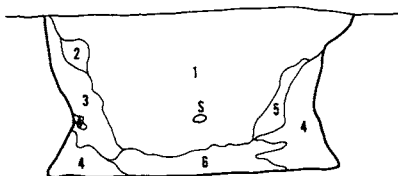
第10号土坑

第10号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土。Nbp50%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp30%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土。Nbp50%含む。
4. 10Y R4/6褐色土。暗褐色土含む。
5. 10Y R2/3黒褐色土。Nbp10%含む。



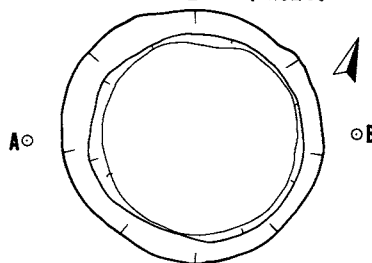
L = 99.300m



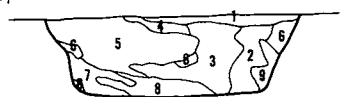
第11号土坑

第11号土坑

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp5%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp1%含む。
3. 10Y R2/1黒色土。Nbp3%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土。埋没したNbp層。
5. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp50% (汚れ) 含む。
6. 10Y R2/1黒色土。Nbp1%含む。



L = 98.900m

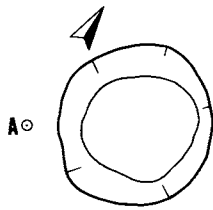


第12号土坑

第12号土坑

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp1%含む。
2. 10Y R1.7/1黒色土。黄褐色土含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。黄褐色土、黄褐色土と黒色土の混土。
4. 10Y R2/3黒褐色土。Nbp1%含む。
5. 10Y R2/1黒色土。Nbp5%含む。
6. 10Y R4/4褐色土。地山崩落土。
7. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp50%含む。
8. 10Y R4/4褐色土。Nbp10%、黒色土を含む。
9. 10Y R5/6黄褐色土。地山崩落土で黒色土を含む。

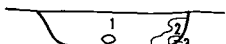
図57 土坑(3)



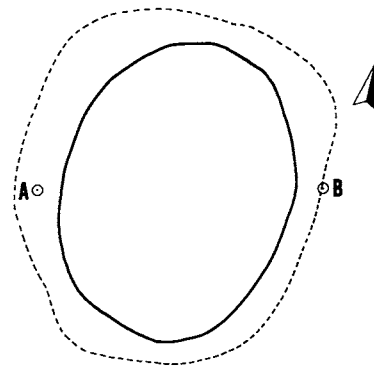
第14号土坑

1. 10Y R3/4暗褐色土. シルト. 暗褐色土の小ブロック含む。
2. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 2~3%含む。
3. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp 5%含む。
4. 10Y R4/6褐色土. ローム. 地山崩落土。
5. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. 粒径の小さいNbpを小ブロック含む。
6. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落Nbpブロック。
7. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp 5%含む。

L=98.800m



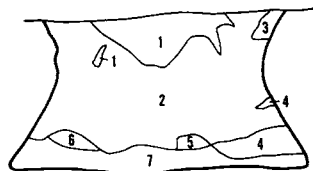
第13号土坑



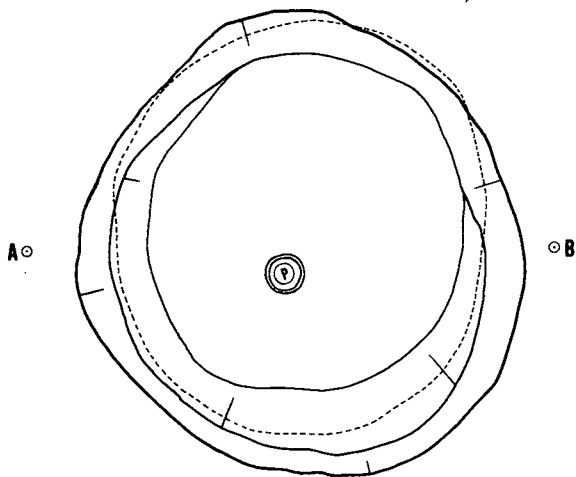
第13号土坑

1. 10Y R2/1黒色土. Nbp 5%含む砂質土。
2. 10Y R2/3黒褐色土. Nbpまばら。
3. 10Y R2/2黒褐色土. やわらかい。

L=108.600m



第14号土坑

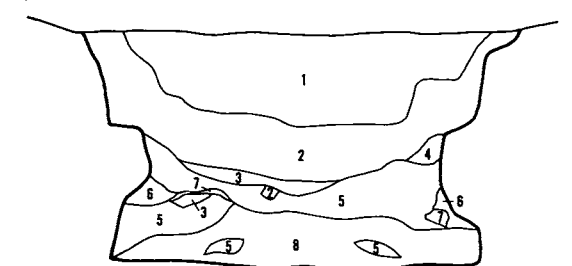


第15号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土. 砂質シルト. Nbp10%含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土. 砂質シルト. Nbp20~30%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土. Nbpとシルト. 黒褐色土との混土。
4. 10Y R4/6褐色土. 粘土質シルト. Nbp微量含むフカフカ。
5. 10Y R4/6褐色土. ローム. Nbp 3%。黒色土の小ブロック含む。
6. 2.5Y 6/4にぶい黄色土. 砂. 地山崩落土。
7. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. 褐色土粒含む。
8. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. 褐色土をしま状に含む. Nbp微量。
9. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. 土器の掘り方埋土? Nbp含む。

L=107.300m

L=107.000m



第15号土坑

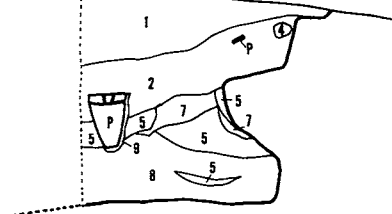
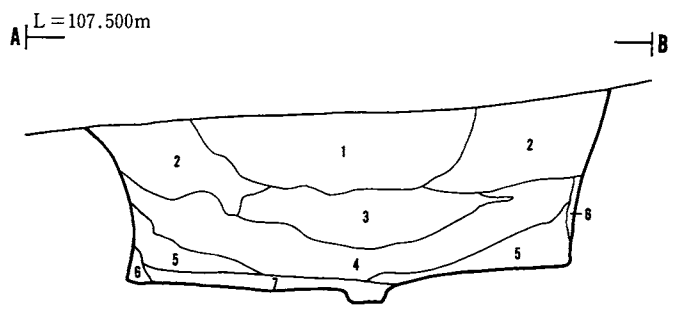
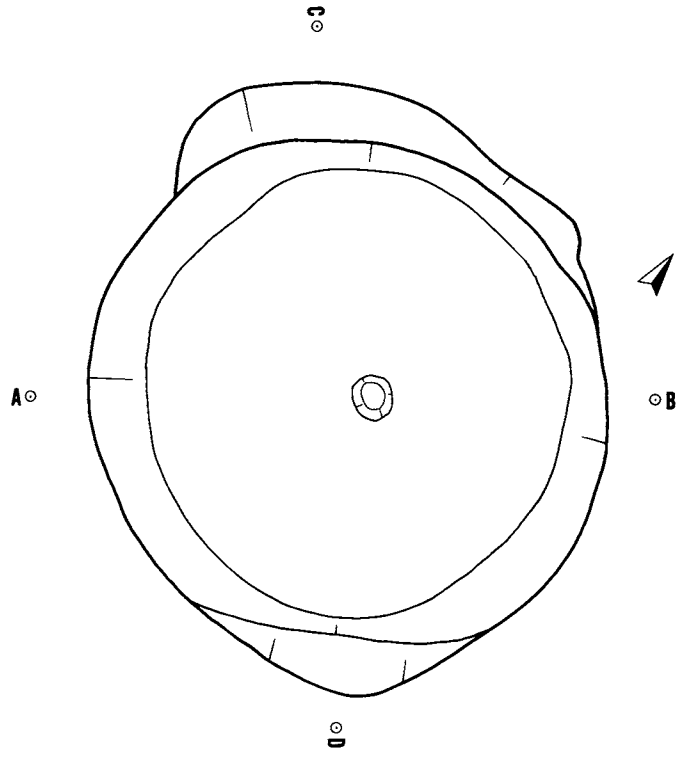
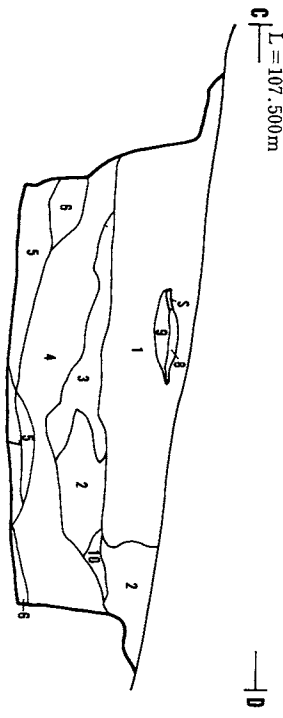
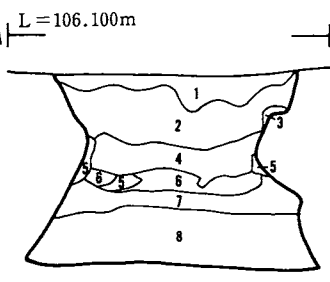
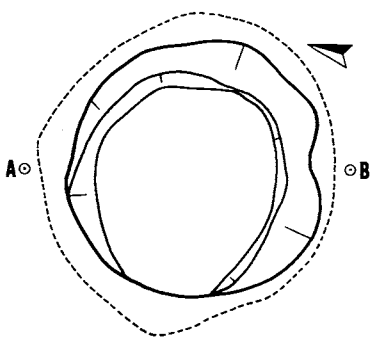


図58 土坑(4)



第16号土坑

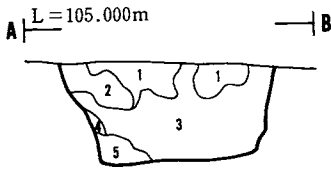
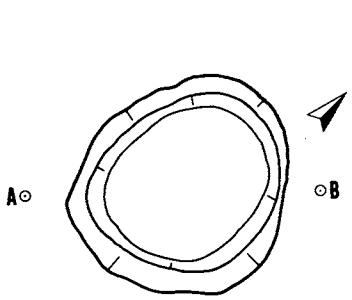
- 第16号土坑
1. 10Y R3/2黒褐色土。砂質シルト。Nbp10%含む。部分的に焼土ブロック含む。
 2. 10Y R2/3黒褐色土。砂質シルト。Nbp20~30%含む。
 3. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。Nbp5%。褐色土の小ブロック含む。
 4. 10Y R1.7/1黒色土。砂質シルト。Nbp3%。アワズナ感じる褐色土粒含む。
 5. 10Y R4/4褐色土。ローム。地山崩落土。層の境にNbp混入。
 6. 10Y R5/6黄褐色土。砂質ローム。地山崩落土。
 7. 10L R2/1黒色土。砂質シルト。Nbp微量含む。
 8. 10Y R4/4褐色土。砂質シルト。焼土粒含む。
 9. 7.5Y R5/6明褐色土。砂質シルト。焼成不良の焼土ブロック。
 10. 10Y R3/3暗褐色土。砂質シルト。Nbp40%含む。



第17号土坑

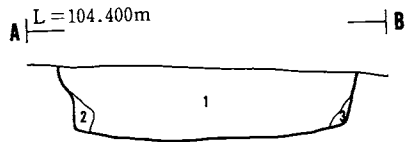
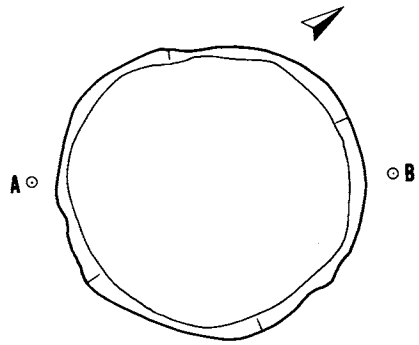
- 第17号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp極微量。
 2. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。Nbp10%。アワズナ感じる。
 3. 10Y R4/4褐色土。シルト。地山崩落土。
 4. 10Y R3/2黒褐色土。砂質粘土。汚れた20~30%。褐色土ブロック含む。
 5. 10Y R3/3暗褐色土。砂質シルト。褐色土含む。
 6. 10Y R5/6黄褐色土。ローム。汚れたNbpを黒色土との混土。
 7. 10Y R2/1黒色土。砂質粘土。Nbp5%。砂を感じる。
 8. 10Y R2/2黒褐色土。砂質シルト。Nbpは微量。

図59 土坑(5)



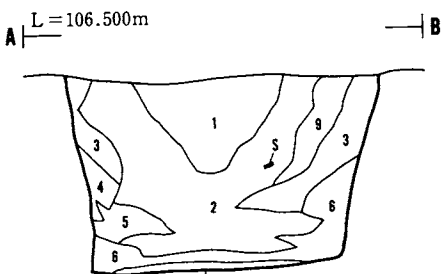
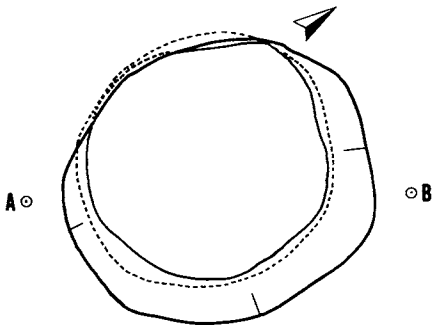
第18号土坑

- 第18号土坑
1. 10 Y R 3/4 暗褐色土. シルト. Nbp 3 ~ 5 % 含む.
 2. 10 Y R 5/6 黄褐色土. シルト. Nbp 5 ~ 7 % 含む.
 3. 10 Y R 4/4 褐色土. シルト. Nbp 7 % 含む.
 4. 10 Y R 5/6 黄褐色土. Nbp. 地山崩落土.
 5. 10 Y R 3/3 暗褐色土. ローム. Nbp 微量含む (1 % 位)



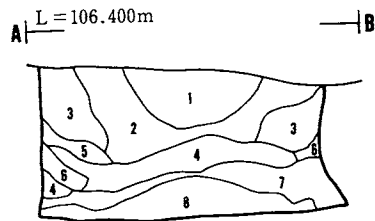
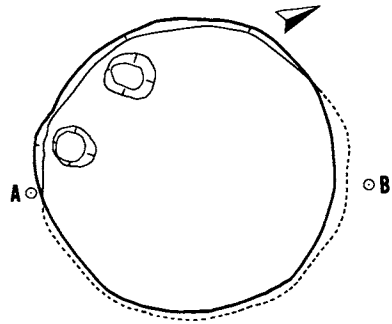
第19号土坑

- 第19号土坑
1. 10 Y R 2/1 黒色土. 砂質シルト. Nbp 2 % 含む.
 2. 10 Y R 5/6 黄褐色土. Nbp. 黒色土をまばらに含む.



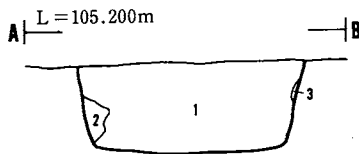
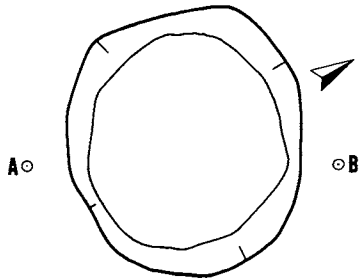
第20号土坑

- 第20号・21号土坑
1. 10 Y R 2/1 黒色土. シルト. 多の大きい(3~15mm大) Nbp 10% 含む.
 2. 7.5 Y R 2/1 黒色土. 砂質シルト. Nbp は微量. 砂を感じる.
 3. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp 含む.
 4. 10 Y R 1.7/1 黒色土. 粘土質シルト. Nbp 微量. 褐色土まばらに含む.
 5. 10 Y R 2/3 黒褐色土. 粘土質シルト. Nbp 微量.
 6. 10 Y R 5/6 黄褐色土. Nbp. 崩落した Nbp で黒色土含む.
 7. 10 Y R 3/3. 暗褐色土. ローム. 粘性の強いローム. 汚れ Nbp が混じる部分あり.
 8. 10 Y R 1.7/1 黒色土. 粘土質シルト. Nbp 含まず.
 9. 10 Y R 2/1 黒色土. 粘土質シルト. Nbp 微量含む.



第21号土坑

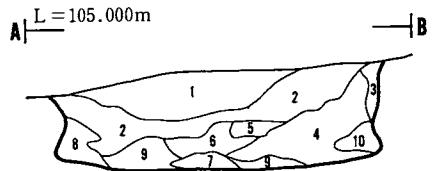
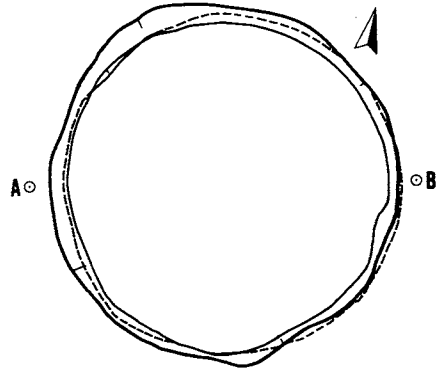
図60 土坑(6)



第22号土坑

第22号土坑

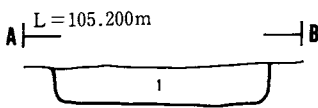
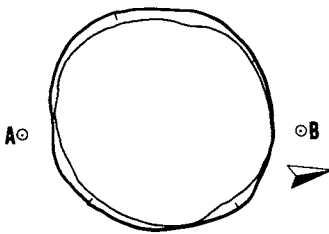
1. 10Y R1.7/1黒色土、砂質シルト、Nbp 5%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp 30%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、崩落したNbp。



第23号土坑

第23号土坑

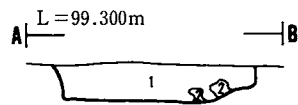
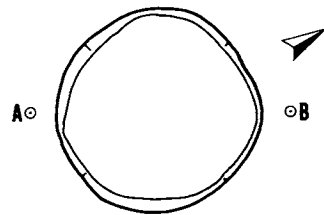
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp 5%含む。
2. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp 3%含む
3. 10Y R4/6褐色土、ローム、地山崩落土(Nbp含む)
4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp 3%、褐色土粒含む。
5. 10Y R4/4褐色土、ローム、ロームブロック。
6. 10Y R2/3黒褐色土、ローム、Nbp微量含む。
7. 10Y R4暗褐色土、ローム、地山崩落土。
8. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、崩落したNbp。
9. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp 3%含む。
10. 10Y R4/4褐色土、ローム、Nbp 10%小ブロック状に含む。



第24号土坑

第24号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp 2%含む。

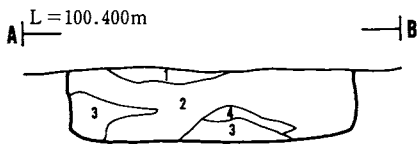
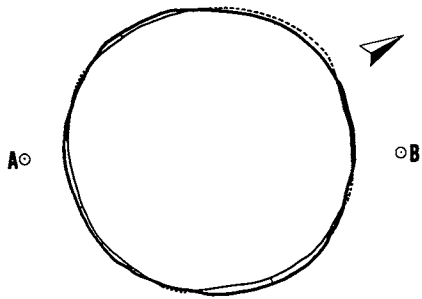


第25号土坑

第25号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp 5~10%含む。
2. 10Y R5/4にぶい黄褐色土、砂質土、Nbpわずかに含む。

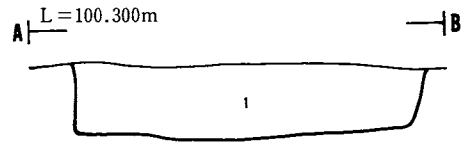
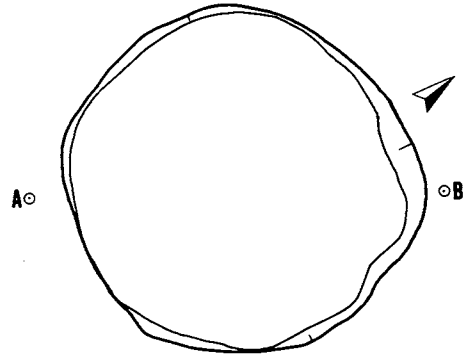
図61 土坑(7)



第26号土坑

第26号土坑

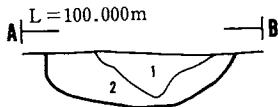
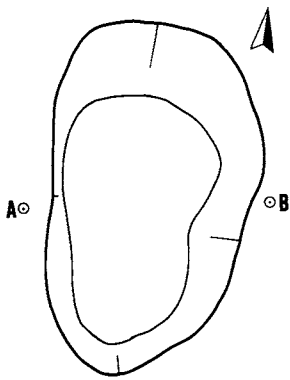
1. 10Y R1.7/1黒色土。砂質シルト。Nbp微量。
2. Y R2/1黒色土。シルト。Nbp20~30%含む。
3. 10Y R3/1黒褐色土。シルト。Nbp1%含む。
4. 10Y R3/1黒褐色土。シルト。Nbp20%含む。



第27号土坑

第27号土坑

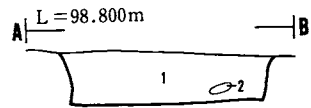
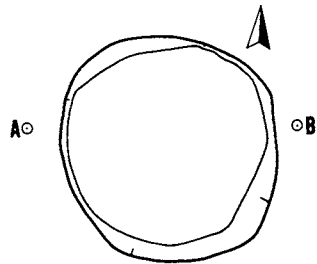
1. 10Y R1.7/1黒色土。砂質シルト。Nbp5%含む。



第28号土坑

第28号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Nbp2%。炭化物粒をわずかに含む。
2. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nbp3%含む。

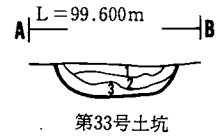
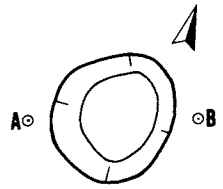
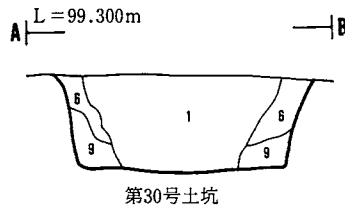
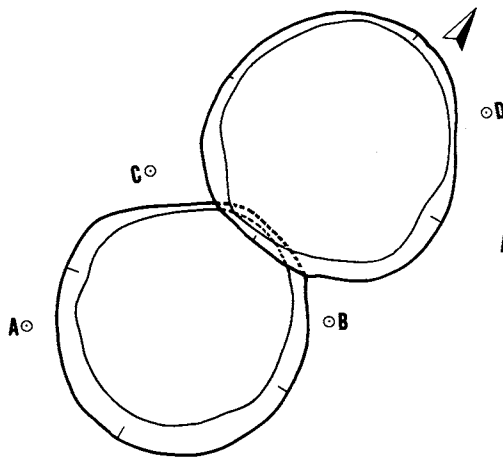


第29号土坑

第29号土坑

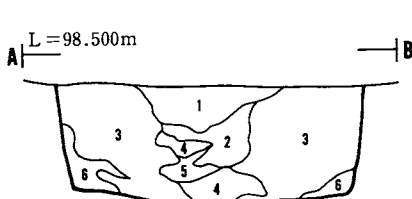
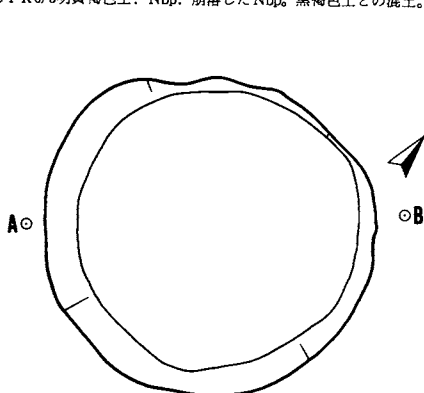
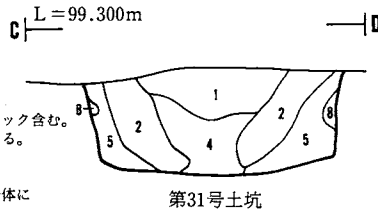
1. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp3%含む。
2. 10Y R2/1黒色土。シルト。木根？

図62 土坑(8)

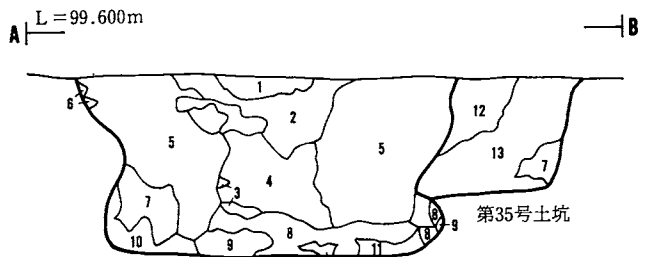
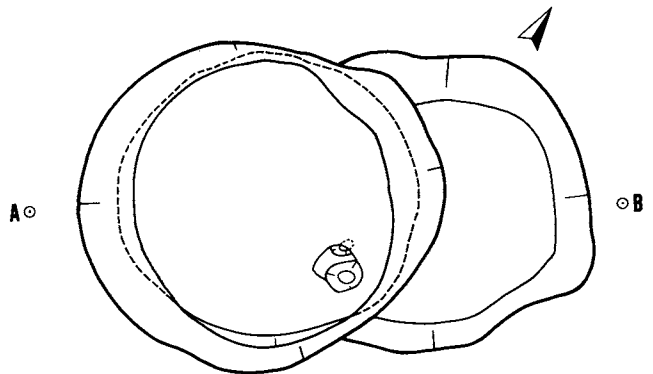


第30号・31号土坑

1. 10 Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp50%以上含む。
2. 10 Y R2/1黒色土、シルト、Nbp5~10%含む。
3. 10 Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10~20%含む。
4. 10 Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp20~30%含む。
5. 10 Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp5%。崩落したNbpの小ブロック含む。
6. 10 Y R1.7/1. 黒色土、粘土質シルト、Nbp3%含む。アワズナ感じる。
7. 10 Y R1.7/1黒色土、シルト、木根痕。
8. 10 Y R2/3. 黒褐色土、ローム、地山崩落土。
9. 10 Y R2/2. 黒褐色土、砂質シルト、Nbp10~20%含。アワズナを全体に感じる。
10. 10 Y R6/5明黄褐色土、Nbp。崩落したNbp。黒褐色土との混土。



第32号土坑



第34号土坑

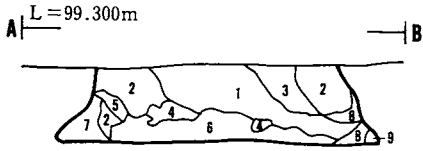
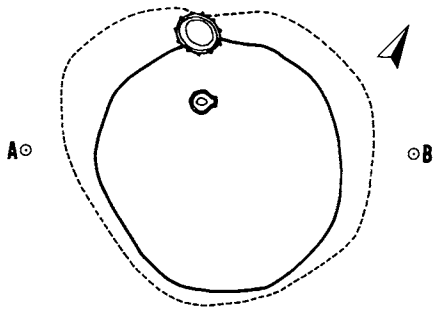
第32号土坑

1. 10 Y R3/3暗褐色土、シルト+Nbp、Nbp30~40%。褐色土少ブロック含む。まだら。
2. 10 Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10%。褐色土少ブロック含む。まだら。
3. 10 Y R2/1黒色土、シルト、Nbp20%含む。アワズナ感じる。
4. 10 Y R4/4褐色土、ローム、黒色土含む。
5. 10 Y R3/4暗褐色土、ローム、Nbpわずかに含む。
6. 10 Y R5/6黄褐色土、Nbp。黒色土との互層。崩落したNbp。

第34号・35号土坑

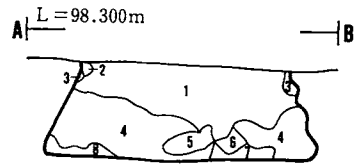
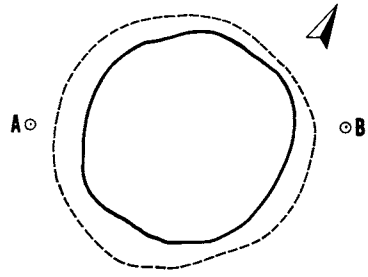
1. 10 Y R2/1黒色土、シルト、炭化材を下部に含む。Nbp2%~30%含む。
2. 10 Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp2~3%含む。褐色土の小ブロック含む。
3. 10 Y R5/6黄褐色土、シルト、暗褐色土粒含む。
4. 10 Y R2/3黒褐色土、シルト、Nbp5%含む。褐色土粒含む。
5. 10 Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp5~10%含む。
6. 10 Y R5/6黄褐色土、Nbp。崩落したNbp。
7. 10 Y R5/6黄褐色土、Nbp。帯状に黒色土を含むNbp。
8. 10 Y R2/3黒褐色土、シルト、Nbp2%含む。褐色土粒わずかに含む。
9. 10 Y R5/6黄褐色土、シルトローム、地山崩落土。
10. 10 Y R5/8黄褐色土、シルトローム、地山崩落土。
11. 10 Y R3/3暗褐色土、砂質シルト、褐色土少ブロック含む。
12. 10 Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Nbp1%含む。
13. 10 Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp5~10%含む。

図63 土坑(9)



第36号土坑

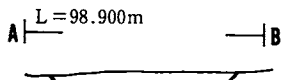
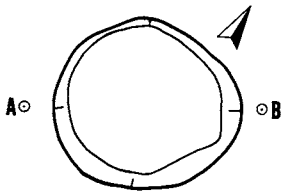
1. 10 Y R 1/2黒色土。シルト。Nbp 2%。全体にアワズナを含む。微量の炭化物粒を含む。
2. 10 Y R 2/1黒色土。粘土質シルト。Nbp 10~20%。微量の炭化物粒を含む
3. 10 Y R 2/3黒褐色土。シルト。Nbp 5%。
4. 10 Y R 2/2黒褐色土。シルト。褐色土粒をわずかに含む。
5. 10 Y R 3/2黒褐色土。シルト。Nbp 1%。
6. 10 Y R 4/4褐色土。粘土質シルト。Nbp 1%。黒褐色土の小ブロックを含む。
7. 10 Y R 3/4暗褐色土。粘土シルト。褐色土を含む。
8. 10 Y R 4/3暗褐色土。粘土シルト。地山崩落土。
9. 10 Y R 3/3暗褐色土。シルト。Nbpを含む小ブロック。



第37号土坑

第37号土坑

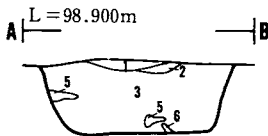
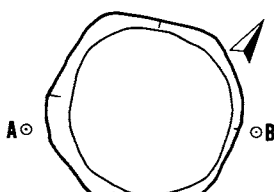
1. 10 Y R 2/1黒色土。砂質シルト。Nbp 5~10%含む。
2. 10 Y R 3/3暗褐色土。シルト質粘土。Nbp少量含むブロック。
3. 10 Y R 5/6黄褐色土。2層とNbpの混土。
4. 10 Y R 1.7/1黒色土。シルト質粘土。Nbp 5~15%。少量のアワズナ含む。
5. 10 Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp(汚れ)20%含む。
6. 10 Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp少量含む。
7. 10 Y R 3/3暗褐色土。シルト。Nbp少量含む。
8. 10 Y R 2/3黒褐色土。シルト。崩落したNbpと4層の混土。



第38号土坑

第38号土坑

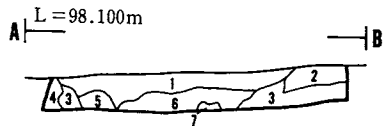
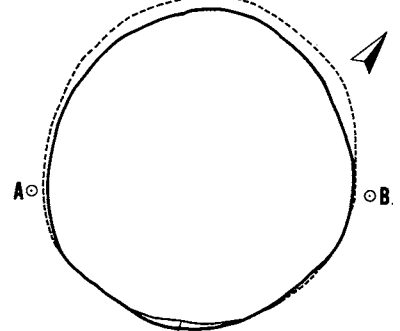
1. 10 Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp 10~15% (φ 2~5mm) アワズナを全体に含む。



第39号土坑

第39号土坑

1. 10 Y R 2/1黒色土。シルト。Nbp微量。
2. 10 Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp微量。
3. 10 Y R 2/1黒色土。シルト。Nbp 2% (φ 2~7mm大) 褐色土の小ブロック含む。
4. 10 Y R 3/2黒褐色土。シルト。Nbp微量。
5. 10 Y R 3/3暗褐色土。粘土質シルト。地山崩落土の小ブロック。
6. 10 Y R 4/4褐色土。粘土。地山崩落土の小ブロック。

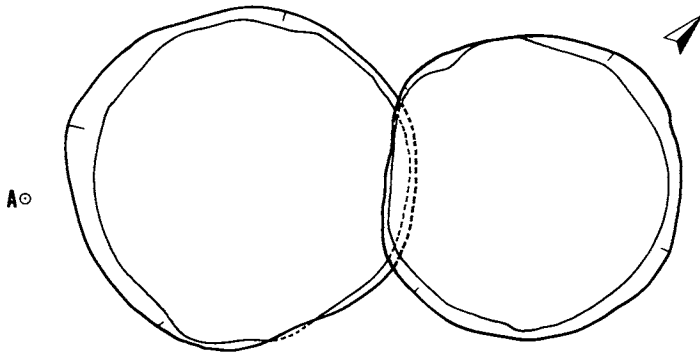


第40号土坑

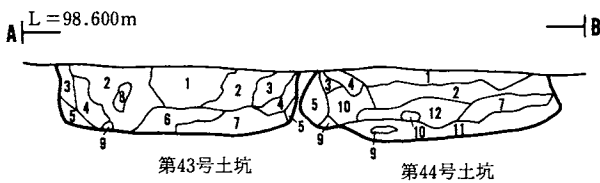
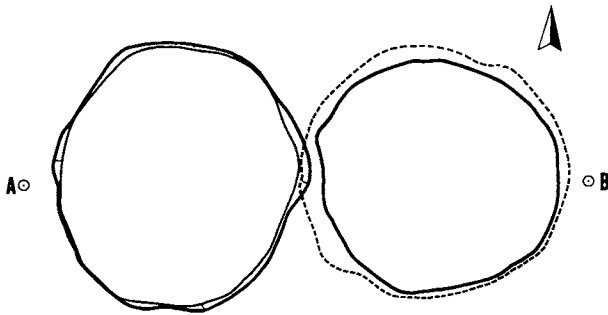
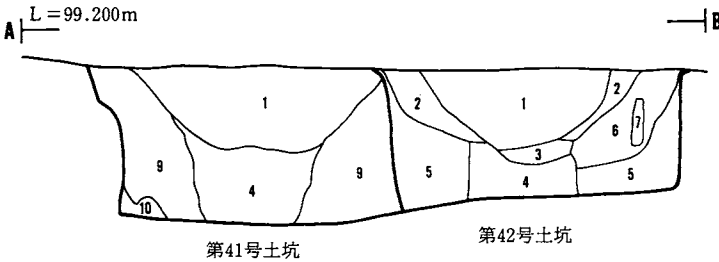
第40号土坑

1. 第39号土坑の「1」に同じ
2. 10 Y R 5/6黄褐色Nbp。汚れNbp。
3. 第39号土坑「2」に同じ
4. 10 Y R 2/2黒褐色。粘土質シルト。Nbp 1%。
5. 10 Y R 3/3暗褐色。粘土質シルト。黒色土を含む。
6. 第39号土坑「4」に同じ
7. 第39号土坑「6」に同じ

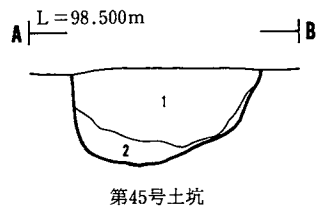
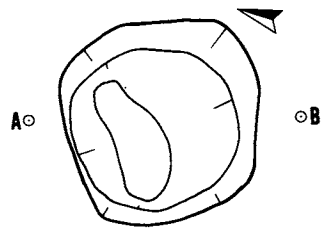
図64 土坑(10)



- 第41号・42号土坑
1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp50%以上含む。
 2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp 5~10%含む。
 3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp 10~20%含む。
 4. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp 20~30%含む。
 5. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp 5%。崩落したNbpの小ブロック含む。
 6. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Nbp 3%含む。アワズを感じる。
 7. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、木根痕。
 8. 10Y R2/3黒褐色土、ローム、地山崩落土。
 9. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、Nbp 10~20%含む。アワズを全体に感じる。
 10. 10Y R6/5明黄褐色土、Nbp、崩落したNbp、黒褐色土との混土。

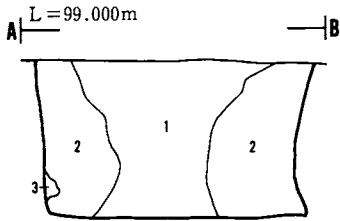
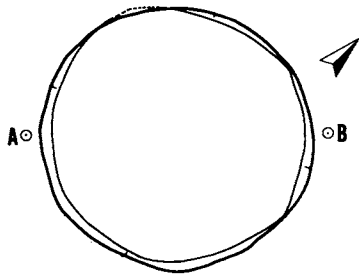


- 第43号・44号土坑
1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Nbp 5%、炭化物含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp 5~7%。
 3. 10Y R3/2暗褐色土、シルト、Nbp 15~20%。
 4. 7.5Y R5/8明黄褐色土、Nbpシルト、Nbp 50%と3層(暗褐色)の混土。
 5. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、地山(八戸火山灰層)とNbpの混土。
 6. 10Y R4/4褐色土、シルト、Nbp 10%。黄褐色土の小ブロック含む。
 7. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp 20~30%。
 8. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、暗褐色土を含む。
- 地山崩落土、黄褐色土、シルト・ローム、地山崩落土。
10. 10Y R1.7/1 黒色土、シルト、Nbp ~20%。
 11. 10Y R4/6、褐色土、シルト・ローム、地山崩落土(八戸火山灰)。Nbp 10~15%。
 12. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp 50%以上。



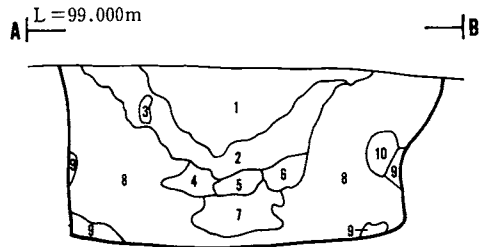
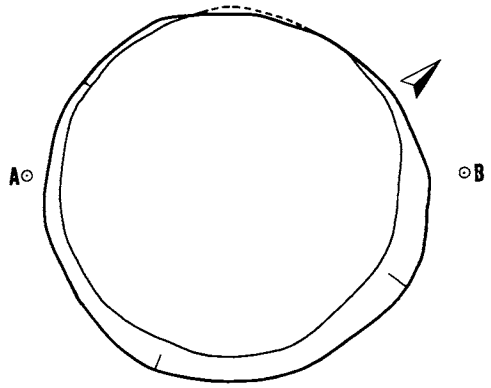
- 第45号土坑
1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp 1%含む
 2. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp 10%含む。

図65 土坑(11)



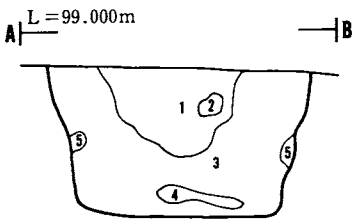
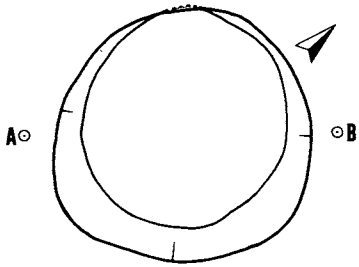
第46号土坑

- 第46号土坑
 1. 10Y R2/3黒褐色土. 砂質シルト. Nbp 50%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 7%含む。
 3. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbp.



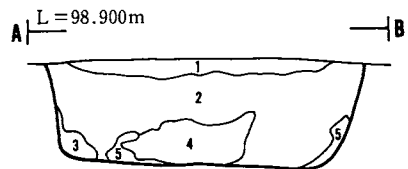
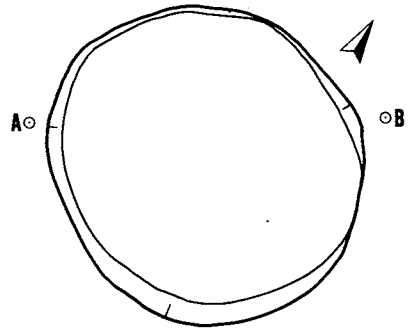
第47号土坑

- 第47号土坑
 1. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp 25%含む。
 2. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp 20%含む。
 3. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp 5%含む。
 4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. 木炭含む. Nbp 3%含む。
 5. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 2%含む。
 6. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 7%含む。
 7. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp 25%含む。
 8. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 15%含む。
 9. 10Y R5/6黄褐色土. シルト. Nbp 崩落土。
 10. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 20%含む。



第48号土坑

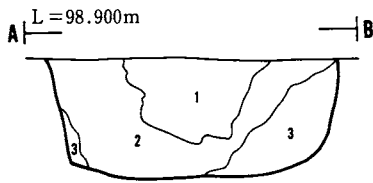
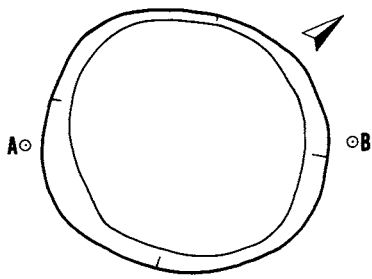
- 第48号土坑
 1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 15%含む。
 2. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp 20%含む。
 3. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 7%含む。
 4. 10Y R3/4暗褐色土. シルト. Nbp 50%含む崩落土。
 5. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp 10%含む。



第49号土坑

- 第49号土坑
 1. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp 15%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 20%含む。
 3. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp 30%含む。
 4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 10%含む。
 5. 10Y R5/6黄褐色土. シルト. Nbpの崩落土。

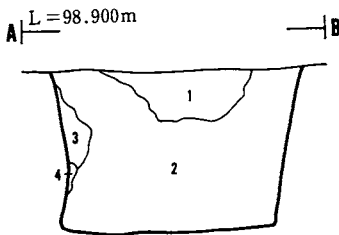
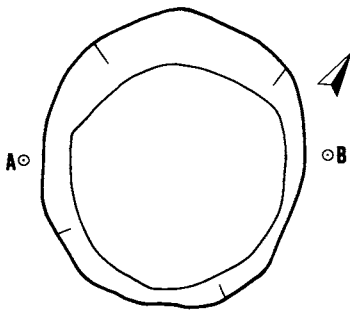
図66 土坑(12)



第50号土坑

第50号土坑

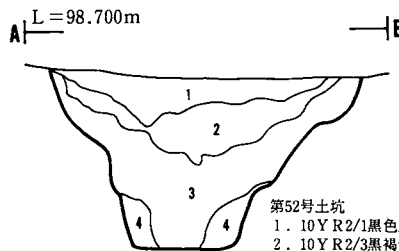
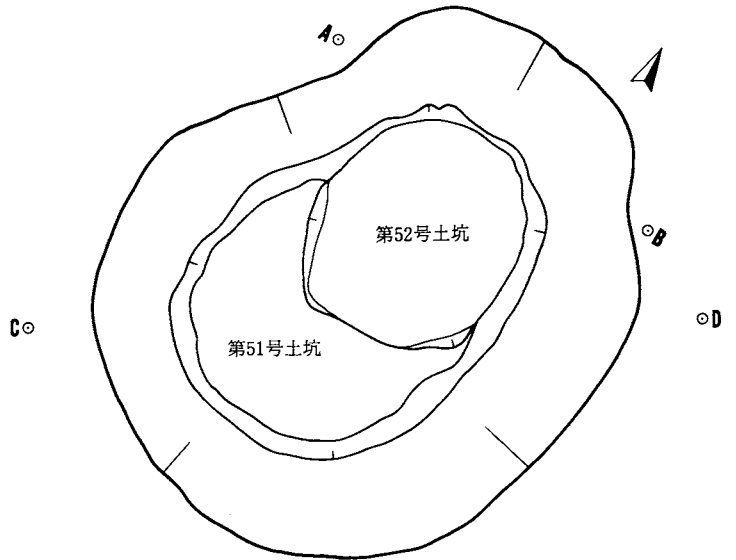
1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 25%含む.
2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 7%. 線、炭化物含む.
3. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 5%含む.



第53号土坑

第53号土坑

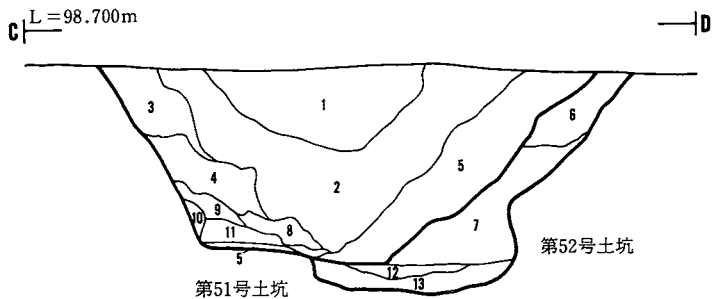
1. 10Y R1.7/1黒色土. Nbp 2%含む.
2. 10Y R2/1黒色土. 砂質シルト. Nbp 20%全体に含む.
3. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 微量.
4. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbpブロック.



第52号土坑

第52号土坑

1. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 20%含む.
2. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbpのブロック. 褐色土ブロック. 黒色土ブロック含む.
3. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. Nbp 5%. アワズナ含む.
4. 10Y R2/2黒褐色土. 粘土質シルト. Nbp 2%含む. 崩落土.

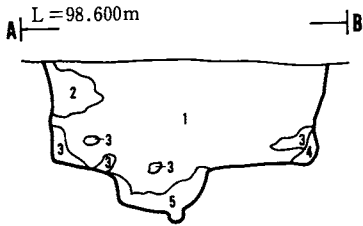
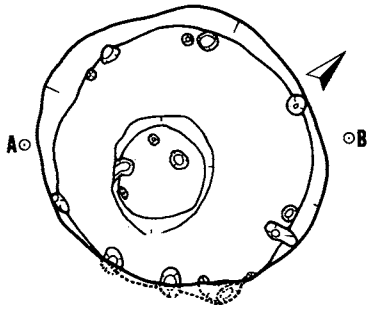


第51号土坑

第51号土坑

1. 10Y R1.4/1黒色土. シルト. Nbp を 3%含む.
2. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp を 5%含む.
3. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp を 3%含む.
4. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp を 2%含む.
5. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp を 7%含む.
6. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp を 3%含む.
7. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp を 5%含む.
8. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. Nbp を 1%含む.
9. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp を 1%含む.
10. 10Y R5/6黄褐色土. シルト. 崩落土.
11. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp を 3%含む.

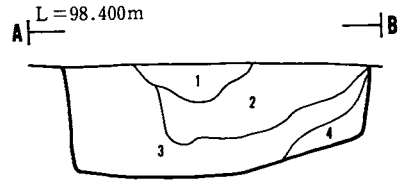
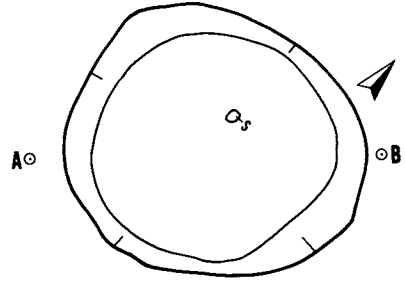
図67 土坑(13)



第54号土坑

第54号土坑

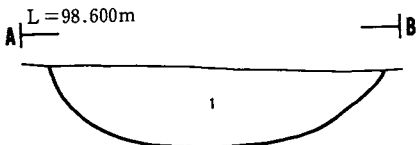
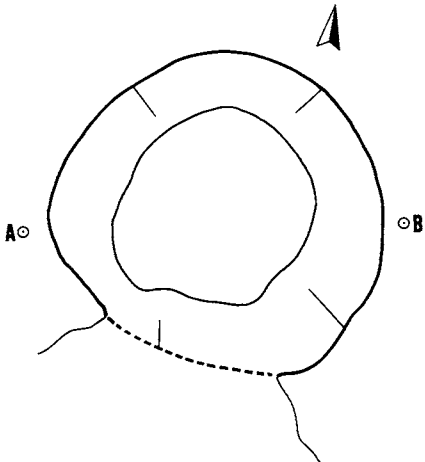
1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Nbp 3～5%含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp 7～10%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 微量に含む。モザイク状。
4. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。地山崩落土との混土。
5. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。黄褐色土粒を含む。



第55号土坑

第55号土坑

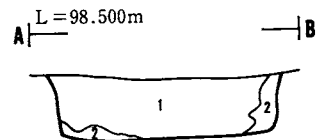
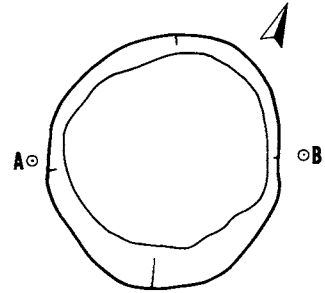
1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 7%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 15%含む。炭化物含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 70%含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 5%含む。



第56号土坑

第56号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土。砂質シルト。Nbp 30%含む。アワズナ感じる。

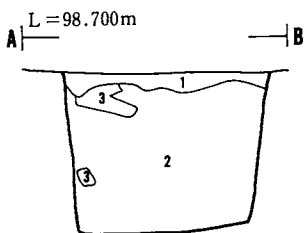
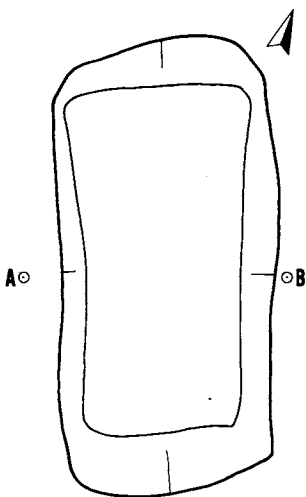


第57号土坑

第57号土坑

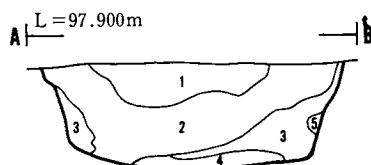
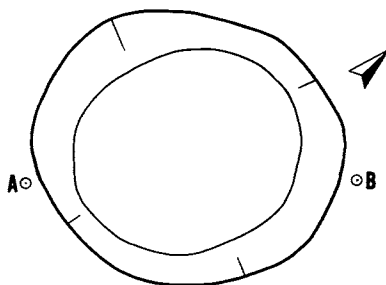
1. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nbp 20～30%含む。炭化物粒含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土。砂質シルト。Nbp 5%含む。1層との混土。

図68 土坑(14)



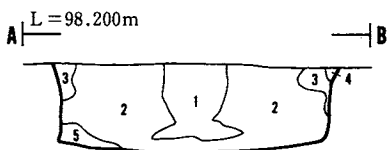
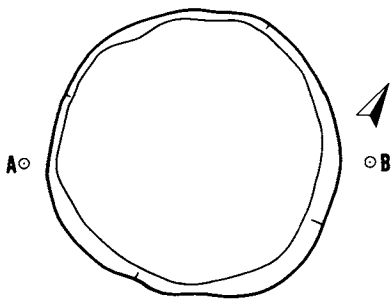
第58号土坑

- 第58号土坑
1. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp 10%含む.
 2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. 褐色土、黒色土の極小ブロックを全体に含む.
 3. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 微量.



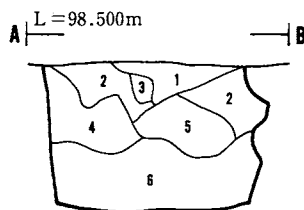
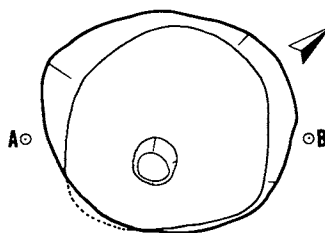
第59号土坑

- 第59号土坑
1. 10Y R2/1黒色土. 砂質シルト. Nbp 20~30%. 炭化材、土器片含む。アズナを感じる。
 2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 20%. アズナ含む。
 3. 10Y R3/1黒褐色土. シルト. Nbp 20%。
 4. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 10%。
 5. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. 黄褐色土粒含む。



第60号土坑

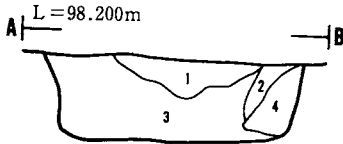
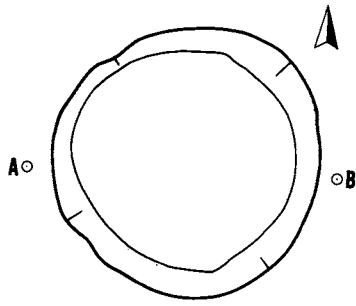
- 第60号土坑
1. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 10%. 下部に暗褐色土含む。
 2. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. Nbp 3~5%含む。
 3. 10Y R3/2黒褐色土. 粘土質シルト. Nbp 30% (崩落土) 含む。



第61号土坑

- 第61号土坑
1. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp 15%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 20%含む。
 3. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp 45%含む。ブロック 地山崩落土。
 4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 15%含む。
 5. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 25%含む。
 6. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 10%含む。

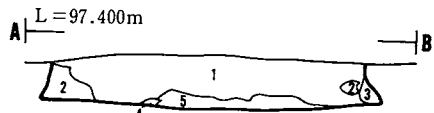
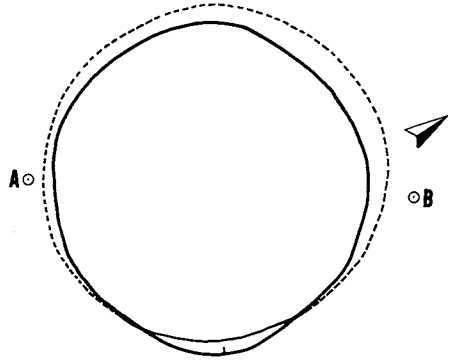
図69 土坑(15)



第62号土坑

第62号土坑

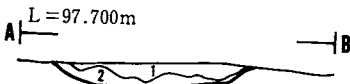
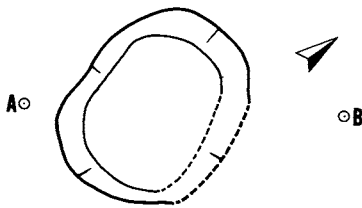
1. 10 Y R 2/1 黒色土. 砂質シルト. Nbp. アワズナともに微量含む。
2. 10 Y R 2/2 黒褐色土. 砂質シルト. Nbp 2% 含む。
3. 10 Y R 2/2 黒褐色土. 砂質シルト. Nbp 20~30%. アワズナ微量含む。
4. 10 Y R 2/3 黒褐色土. シルト質土. Nbp 30%. 黄褐色土粒含む。



第63号土坑

第63号土坑

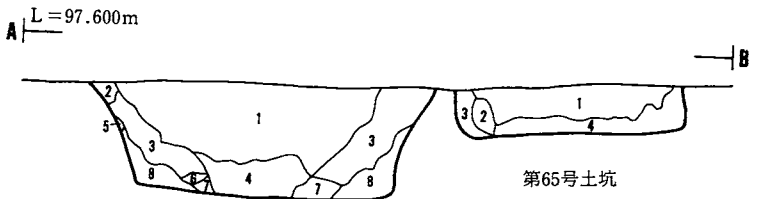
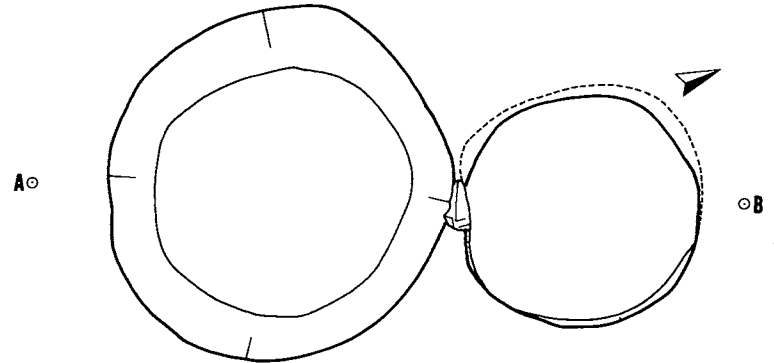
1. 10 Y R 2/1 黒色土. シルト. Nbp を 3% 含む。
2. 10 Y R 2/1 黒色土. シルト. Nbp を 1% 含む。
3. 10 Y R 3/3 暗褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。
4. 10 Y R 4/6 褐色土. シルト。
5. 10 Y R 3/3 暗褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。



第64号土坑

第64号土坑

1. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。
2. 10 Y R 3/4 暗褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。



第66号土坑

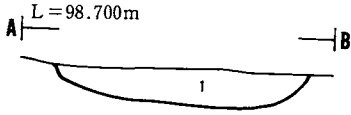
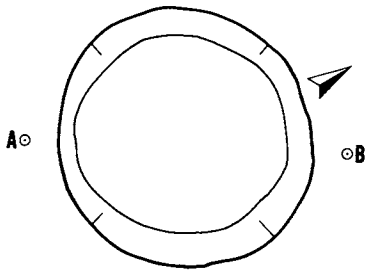
第66号土坑

1. 10 Y R 2/1 黒色土. シルト. Nbp を 7% 含む。
2. 10 Y R 4/4 褐色土. シルト. Nbp を 2% 含む。
3. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp を 5% 含む。
4. 10 Y R 2/1 黒色土. シルト. Nbp を 5% 含む。
5. 10 Y R 4/6 褐色土. シルト。
6. 10 Y R 3/4 暗褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。
7. 10 Y R 2/3 黒褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。
8. 10 Y R 4/6 褐色土. シルト. Nbp を 2% 含む。

第65号土坑

1. 10 Y R 5/6 黄褐色土. シルト. Nbp を 3% 含む。
2. 10 Y R 4/4 褐色土. シルト. Nbp を 2% 含む。
3. 10 Y R 3/3 暗褐色土. シルト. Nbp を 2% 含む。
4. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp を 5% 含む。

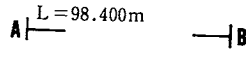
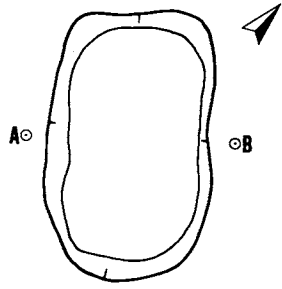
図70 土坑(16)



第67号土坑

第67号土坑

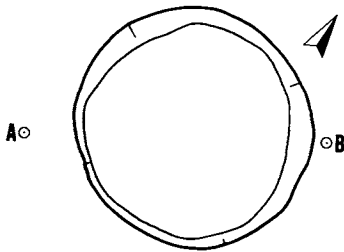
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10~20%含む。



第68号土坑

第68号土坑

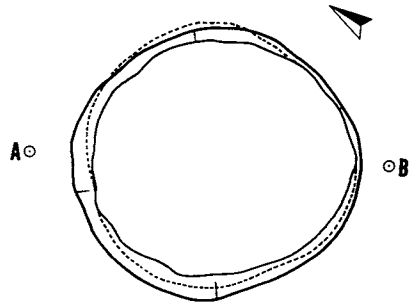
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp1%含む。
 2. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、崩落したNbpとの混土。
 3. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp3%含む。



第69号土坑

第69号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp20%含む。
 2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp10%含む。
 3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト+Nbp、Nbp50%以上含む。
 4. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp1%含む

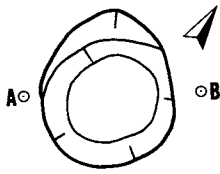


第70号土坑

第70号土坑

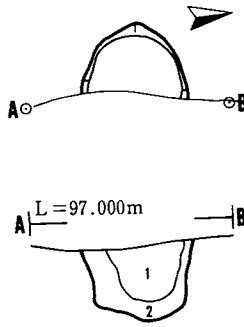
1. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp1%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、Nbp3%含む。
 3. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp4%含む。
 4. 10Y R7/8黄橙色土、砂質シルト、暗褐色土を含む(多量)。
 5. 10Y R4/6褐色土、砂質シルト、Nbp10%含む。
 6. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、Nbp15%含む。
 7. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp7%含む。

図71 土坑(17)



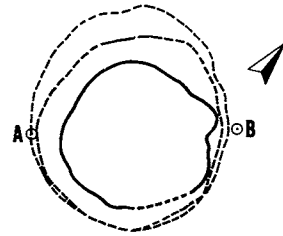
第71号土坑

- 第71号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土. Nbpを5%含む。

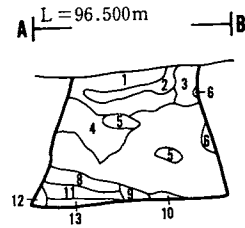


第72号土坑

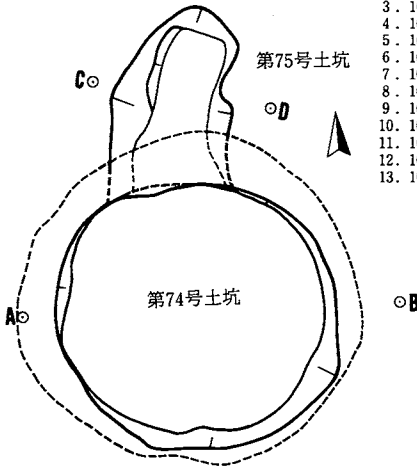
- 第72号土坑
1. 10Y R3/2黒褐色土. シルト.
2. 10Y R3/3暗褐色土. シルト.



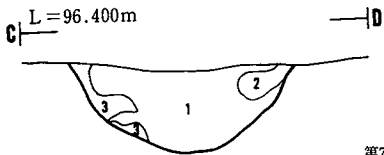
第73号土坑



- 第73号土坑
1. 10Y R5/4シルト. Nbp 1%含む。
2. 10Y R7/4シルト。
3. 10Y R3/4シルト. 柱穴？
4. 10Y R5/6シルト. Nbp 1%含む。
5. 10Y R7/3砂質シルト。
6. 10Y R6/6シルト. 地山崩落土。
7. 10Y R5/6シルト. Nbp 2%含む。
8. 10Y R4/3シルト。
9. 10Y R7/3砂質シルト。
10. 10Y R5/4シルト。
11. 10Y R5/6シルト。
12. 10Y R7/3砂質シルト。
13. 10Y R4/4シルト。

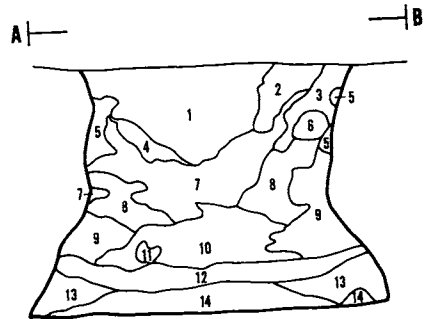


第74号土坑



第75号土坑

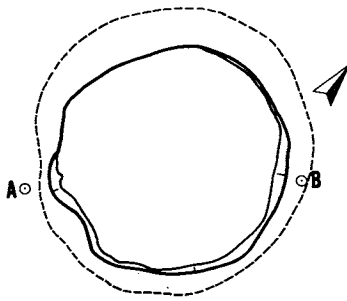
- 第75号土坑
1. 10Y R5/4にぶい黄褐色土. ロームシルト. 炭化材含む。
2. 10Y R6/6明黄褐色土. 砂質シルト. 地山崩落土？
3. 10Y R7/6明黄褐色土. 砂質シルト。



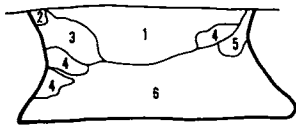
第74号土坑

- 第74号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土. 粘土質シルト. Nbp. 炭化材をまばらに含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土. シルト. Nbp 5%. 炭化物粒をわずかに含む。
3. 10Y R4/4暗褐色土. 粒土質シルト. Nbp微量. にぶい黄褐色土と黒色土との混土。
4. 10Y R4/3にぶい黄褐色土. シルト. Nbp微量. にぶい黄褐色土を含む。
5. 10Y R6/6明黄褐色土. ローム. 地山崩落土。
6. 10Y R3/3暗褐色土. 粘土質シルト. Nbpと黒色土との混土ブロック。
7. 10Y R4/3にぶい黄褐色土. 粘土質シルト. にぶい黄褐色土. 明黄褐色土(崩落土)の混土. モザイク状。
8. 10Y R6/8明黄褐色土. ローム. 地山崩落土. Nbp微量。
9. 10Y R7/4にぶい黄褐色土. 砂質ローム. 地山崩落土で明黄褐色土を含む。
10. 10Y R5/3にぶい黄褐色土. 砂質シルト. 明黄褐色土. にぶい黄褐色土を含む。
11. 10Y R8/3浅黄褐色土. 砂質ローム. サラサラブロック状。
12. 10Y R2/1黒色土. 砂質粘土. 層状の黒色土でかたくしまる。
13. 10Y R5/2灰黄褐色土. 砂質シルト. 浅黄褐色土とモザイク状を呈する。
14. 10Y R7/3にぶい黄褐色土. 砂質ローム. しま状に灰黄褐色土を含む。

图72 土坑(18)



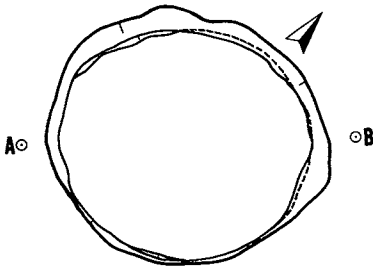
L = 97.400m



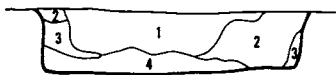
第76号土坑

第76号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 3%含む。
2. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp 5%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 5%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp.
5. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 7%含む。
6. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. Nbp 2%含む。

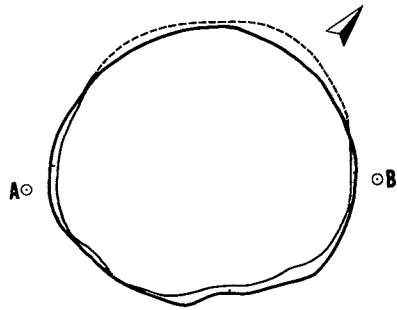


L = 97.500m

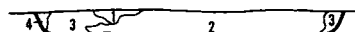


第78号土坑

1. 10Y R2/1黒褐色土. シルト. Nbpを3%含む。
2. 10Y R2/1黒褐色土. シルト. Nbpを5%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp(地山崩落土)。
4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbpを3%含む。



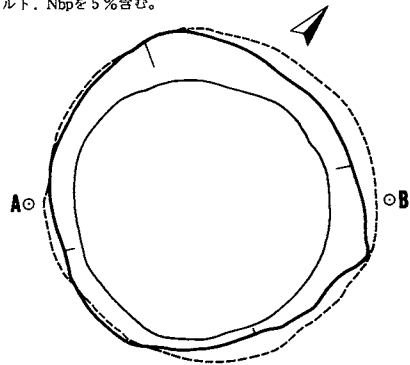
L = 97.500m



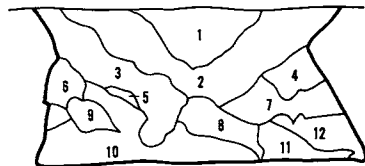
第77号土坑

第77号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbpを2%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbpを2%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbpを5%含む。
4. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbpを5%含む。



L = 97.300m

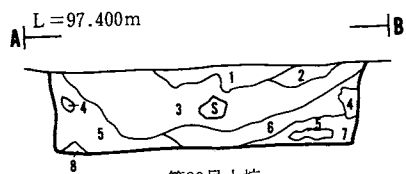
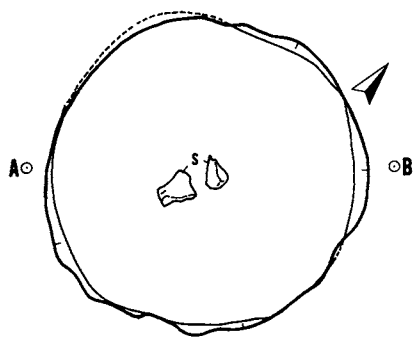


第79号土坑

第79号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp2%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp3%含む。
3. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp3%含む。
4. 10Y R3/6黄褐色土. Nbp.
5. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp7%含む。
6. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp10%含む。
7. 10Y R3/4暗褐色土. シルト. Nbp10%含む。
8. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp2%含む。
9. 10Y R3/4暗褐色土. シルト. Nbp3%含む。
10. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp3%含む。
11. 10Y R3/3暗褐色土. Nbp30%含む。
12. 10Y R4/6褐色土. シルト. 地山崩落土。

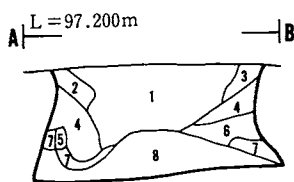
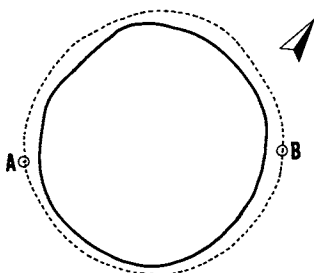
図73 土坑(19)



第80号土坑

第80号土坑

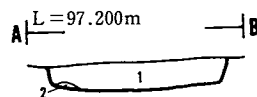
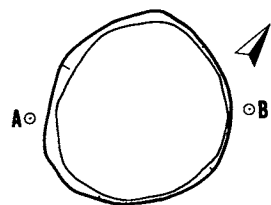
1. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbpを2%含む。
2. 10 Y R 3/1黒褐色土. シルト. Nbpを5%含む。
3. 10 Y R 2/1黒褐色土. シルト. Nbpを3%含む。
4. 10 Y R 3/4暗褐色土. シルト. Nbpを1%含む。
5. 10 Y R 6/8明黄褐色土. Nbp.
6. 10 Y R 2/1黒褐色土. シルト. Nbpを25%含む。
7. 10 Y R 2/1黒褐色土. シルト. Nbpを5%含む。
8. 10 Y R 3/4暗褐色土. シルト. Nbpを5%含む。



第81号土坑

第81号土坑

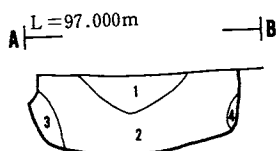
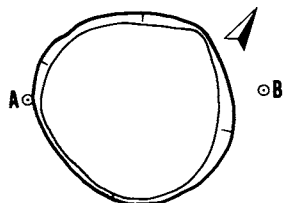
1. 10 Y R 2/3黒褐色土. シルト. Nbpを3%含む。
2. 10 Y R 2/3黒褐色土. シルト. Nbpを7~10%含む。
3. 10 Y R 2/2黒褐色土. シルト. Nbpを3%含む。
4. 10 Y R 6/8明黄褐色土. 地山崩落土。
5. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbpを1%含む。
6. 10 Y R 2/3黒褐色土. シルト. Nbpを5%含む。
7. 10 Y R 3/4暗褐色土. シルト. Nbpを3%含む。
8. 10 Y R 4/4褐色土. シルト。



第82号土坑

第82号土坑

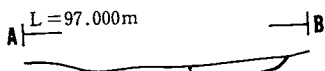
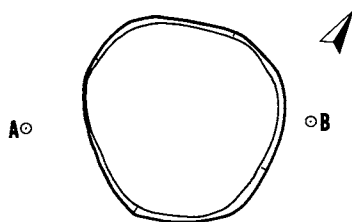
1. 10 Y R 2/3黒褐色土. シルト. Nbp 3%含む。
2. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbp 2%含む。



第83号土坑

第83号土坑

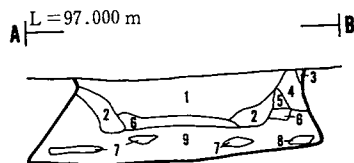
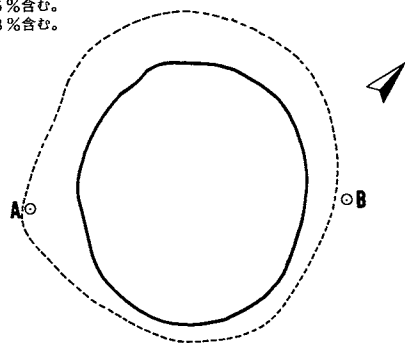
1. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbp 3%含む。
2. 10 Y R 2/2黒褐色土. シルト. Nbp 3%含む。
3. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbp 2%含む。
4. 10 Y R 4/4褐色土. シルト. 地山崩落土。



第84号土坑

第84号土坑

1. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbp10%含む。

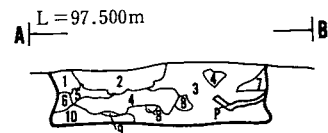
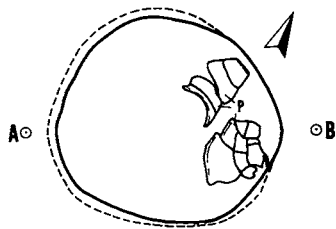
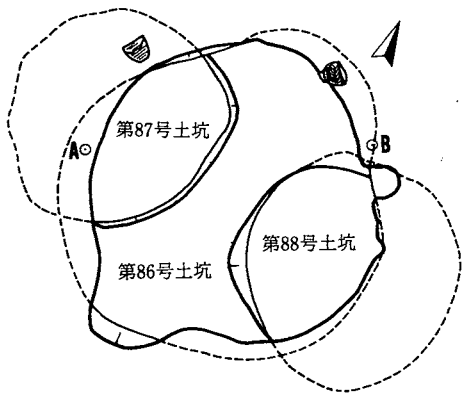


第85号土坑

第85号土坑

1. 10 Y R 2/3黒褐色土. シルト. Nbp3~5%含む。
2. 10 Y R 3/3暗褐色土. シルト. Nbp 3%含む。
3. 10 Y R 5/8黄褐色土. シルト. Nbp3~5%含む。
4. 10 Y R 4/4褐色土. シルト. Nbp3~5%含む。
- 5-9は不明

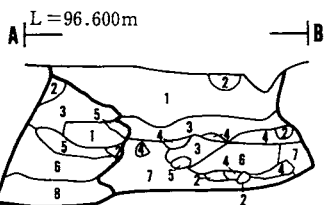
図74 土坑(20)



第89号土坑

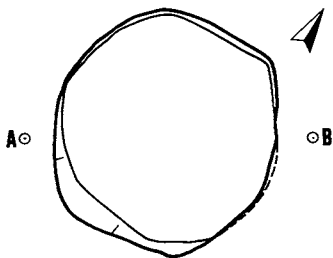
第89号土坑

1. 10Y R 4/6褐色土。ローム、地山崩落土。
2. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp 3%含む。
3. 10Y R 2/3黒褐色土。シルト。Nbp 3%含む。
4. 10Y R 2/1黒色土。シルト。Nbp 2%含む。
5. 10Y R 4/6褐色土。シルト。Nbp 7~10%含む。
6. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp 7~10%含む。
7. 10Y R 6/8明黄褐色土。Nbp(崩落)。
8. 10Y R 4/4褐色土。シルト。Nbp 1%含む。
9. 10Y R 3/3暗褐色土。シルト。
10. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp 2%含む。



第86号・87号・88号土坑

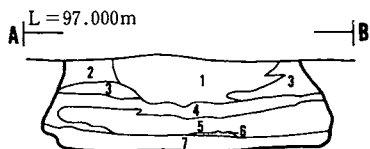
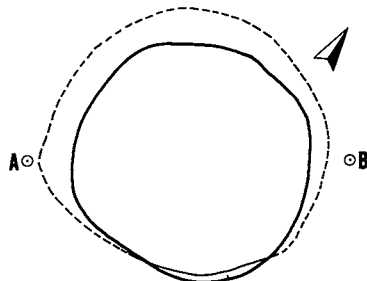
1. 10Y R 3/3黒褐色土。シルト。Nbp 20%。炭化物含む。
2. 10Y R 6/6明黄褐色土。シルト。地山崩落土。
3. 10Y R 3/3暗褐色土。シルト。木痕含む。
4. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp 2%含む。
5. 10Y R 6/6明黄褐色土。シルト。
6. 10Y R 5/6黄褐色土。シルト。
7. 10Y R 2/3暗褐色土。シルト。Nbp 10%炭化物含む。
8. 10Y R 5/8黄褐色土。シルト。Nbp 3%含む。



第90号土坑

第90号土坑

1. 10Y R 2/1黒褐色土。シルト。Nbp 3%含む。サラサラ。
2. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp 5~10%含む。
3. 10Y R 4/4褐色土。ローム。地山崩落土。
4. 10Y R 3/2黒褐色土。シルト。Nbp 5~10%含む。
5. 10Y R 3/4暗褐色土。シルト。地山崩落土(Nbp 数%含む)。
6. 10Y R 5/6黄褐色土。Nbp。黒褐色土との混土。Nbp 50%以上。
7. 10Y R 5/8黄褐色土。Nbp。Nbp 崩落アロック。

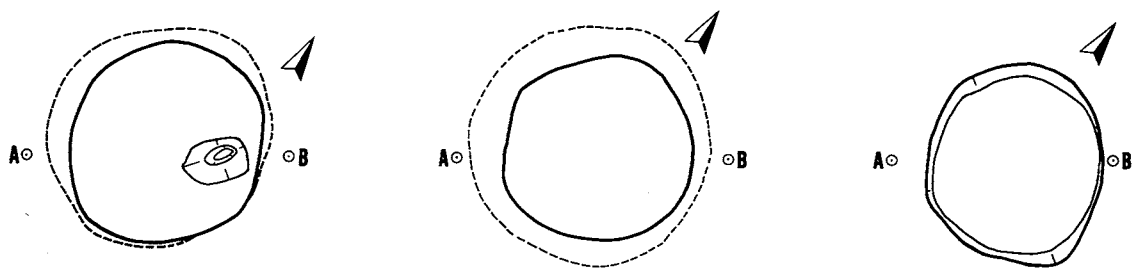


第91号土坑

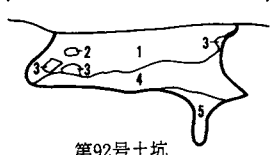
第91号土坑

1. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp を 5%含む。
2. 10Y R 3/4暗褐色土。シルト。Nbp を 50%含む。汚れNbp。
3. 10Y R 6/8明黄褐色土。Nbp。
4. 10Y R 2/1黒褐色土。シルト。Nbp を 3%含む。
5. 10Y R 3/4暗褐色土。シルト。Nbp を 2%含む。
6. 10Y R 2/2黒褐色土。シルト。Nbp を 1%含む。
7. 10Y R 5/6黄褐色土。シルト。Nbp を 1%含む。

図75 土坑(21)



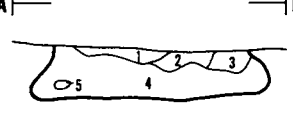
L=97.100m



第92号土坑

- 第92号土坑
1. 10 Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbpを5%含む。
 2. 10 Y R6/8明黄褐色土。Nbp。
 3. 10 Y R5/6黄褐色土。シルト。
 4. 10 Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbpを3%含む。
 5. 10 Y R7/6明黄褐色土。シルト。

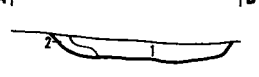
L=97.100m



第93号土坑

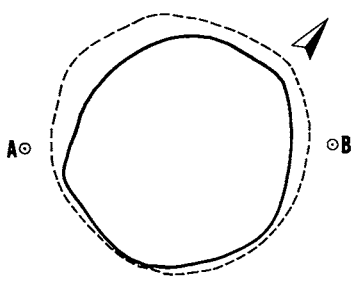
- 第93号土坑
1. 10 Y R5/6黄褐色土。シルト。Nbp2%含む。
 2. 10 Y R3/3暗褐色土。シルト。Nbp2%含む。
 3. 10 Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp30%含む。
 4. 10 Y R2/1黒褐色土。シルト。Nbp3%含む。
 5. 10 Y R6/6明黄褐色土。シルト。

L=97.000m



第94号土坑

- 第94号土坑
1. 10 Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp5~10%。
 2. 10 Y R4/6褐色土。シルトローム。地山崩落土。

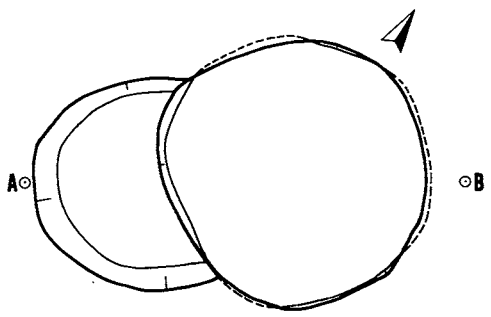


L=97.400m

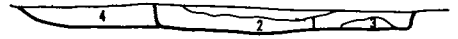


第95号土坑

- 第95号土坑
1. 10 Y R3/3暗褐色土。シルト。Nbp(白っぽい3%含む)
 2. 10 Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp2%含む。
 3. 10 Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp2%。崩落したNbpブロック。
 4. 10 Y R5/8黄褐色土。Nbp崩落ブロック。



L=97.000m

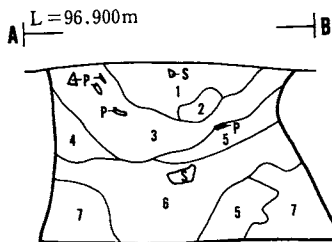
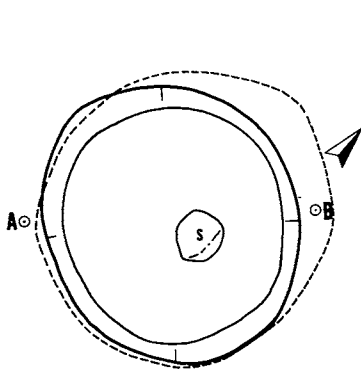


第97号土坑

第96号土坑

- 第96号土坑
1. 10 Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp3%含む。炭化物含む。
 2. 10 Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp5~10%含む。
 3. 10 Y R5/6黄褐色土。Nbp。黒褐色土との混土。Nbp50%以上
- 第97号土坑
4. 10 Y R5/6黄褐色土。Nbp黒褐色土との混土。Nbp50%以上。

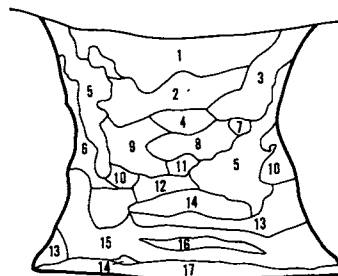
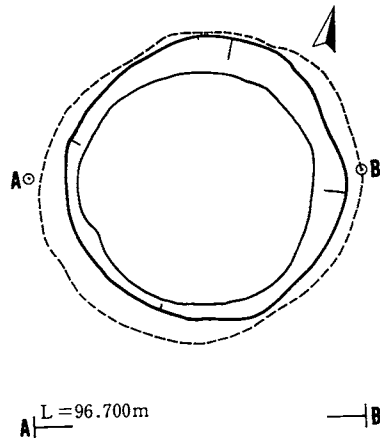
図76 土坑(22)



第98号土坑

第98号土坑

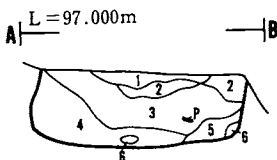
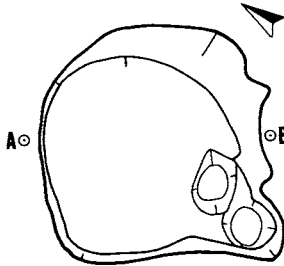
1. 10 Y R 2/1 黒褐色土. シルト. Nbpわずかに含む。
2. 10 Y R 3/2 黒褐色土. シルト. 炭化物粒含む。
3. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp2~5% (粒径小). 土器片を多く含む。
4. 10 Y R 4/4 褐色土. シルティローム. 地山崩落土. Nbpわずかに含む。
5. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. 汚れNbpとの混土. Nbp50%含む。
6. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. 崩落土の4層との混土. Nbp微量。
7. 10 Y R 5/8 黄褐色土. シルティローム. 地山崩落土. 部分的に汚れNbp含む. 層下部に黒色土をしま状に含む。



第99号土坑

第99号土坑

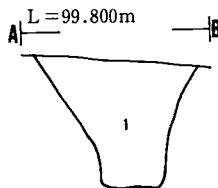
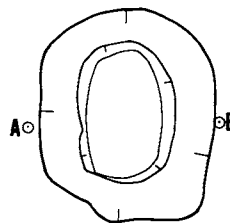
1. 10 Y R 3/2 黒褐色土. Nbp7%含む。
2. 10 Y R 3/3 暗褐色土. Nbp10%含む。
3. 10 Y R 3/4 暗褐色土. Nbp15%含む。
4. 10 Y R 3/3 暗褐色土. Nbp15%含む。
5. 10 Y R 6/6 明黄褐色土. Nbp5%含む. 地山崩落土含む。
6. 10 Y R 6/8 明黄褐色土. 地山崩落土。
7. 10 Y R 8/1 褐色土. Nbp5%含む. 炭化物含む。
8. 10 Y R 3/2 黒褐色土. Nbp10%含む。
9. 10 Y R 5/6 黄褐色土. Nbp5%含む。
10. 10 Y R 5/8 暗褐色土. Nbp10%含む. 崩落土。
11. 10 Y R 3/3 暗褐色土. Nbp5%含む。
12. 10 Y R 3/4 暗褐色土. Nbp30%含む。
13. 10 Y R 5/6 黄褐色土. Nbp15%含む. 炭化物微量含む。
14. 10 Y R 6/6 明黄褐色土. Nbp10%含む。
15. 10 Y R 7/6 明黄褐色土. Nbp20%含む。
16. 10 Y R 2/1 黒褐色土. Nbp15%含む。
17. 10 Y R 6/4 におい黄褐色土. 暗褐色土のブロックを含む. サラサラ。



第100号土坑

第100号土坑

1. 10 Y R 3/2 黒褐色土. シルト. Nbp微量。
2. 10 Y R 2/3 黒褐色土. シルト. Nbp7%含む。
3. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp10%含む. 土器片まじっている。
4. 10 Y R 3/2 黒褐色土. シルト. Nbp40%含む。
5. 10 Y R 2/2 黒褐色土. シルト. Nbp50%含む。
6. 10 Y R 7/6 明黄褐色土. シルト. 地山崩落土。



第101号土坑

第101号土坑

1. 10 Y R 1.7/1 黒色土. シルト. 3mm~米粒大の角レキを含む。

図77 土坑(23)

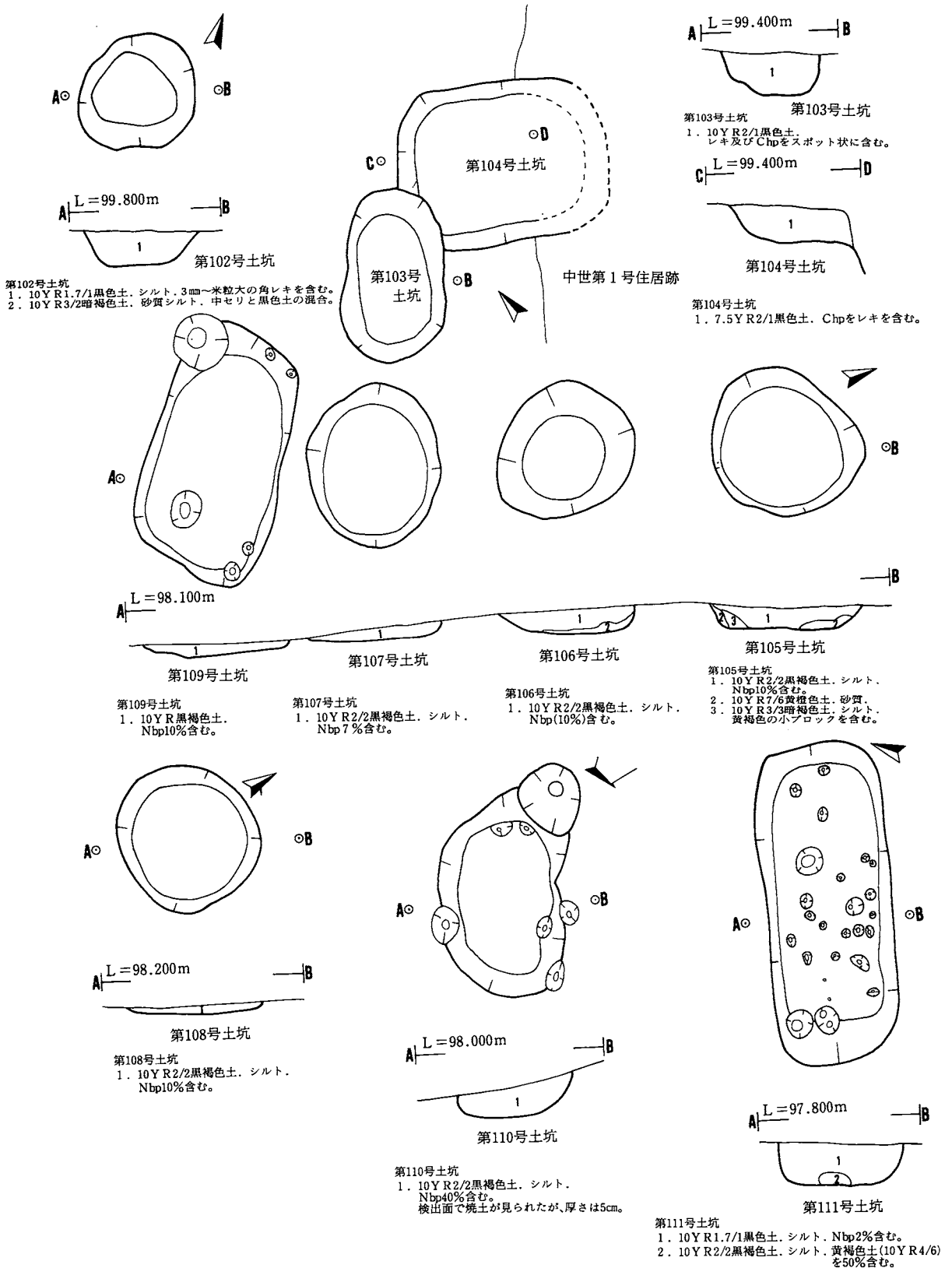
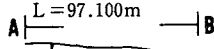
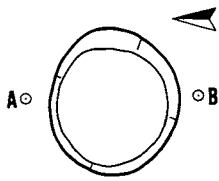


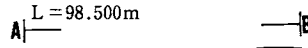
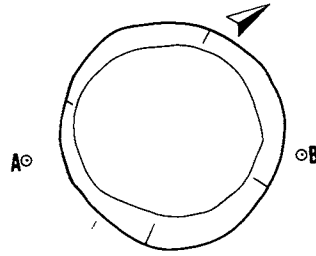
図78 土坑(24)



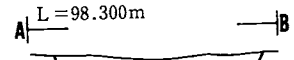
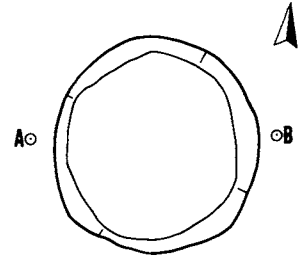
第112号土坑

第112号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、中セリをまばらに含む。



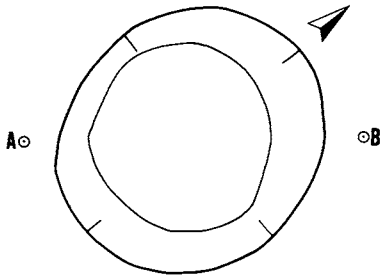
第113号土坑



第114号土坑

第114号土坑

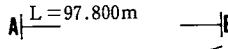
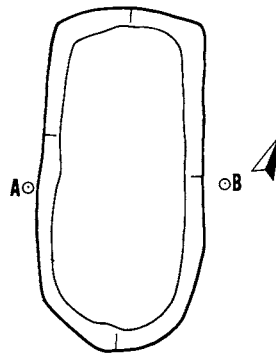
1. 10Y R黒色土、砂質シルト、Nbp3%、Chp全体に含む。



第115号土坑

第115号土坑

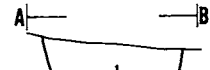
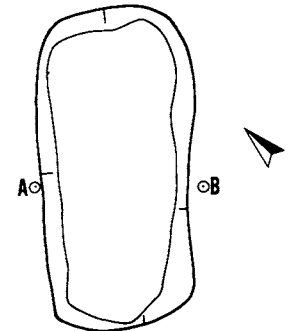
1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp5%、Chp全体に含む。
2. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp10%、Chp1層より多く含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10~15%含む。



第116号土坑

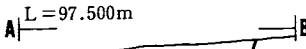
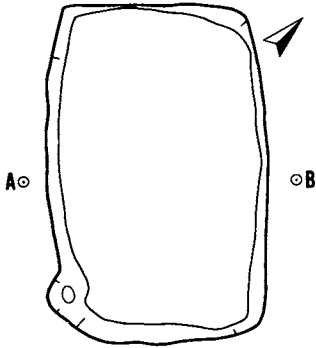
第116号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbpと角礫(φ5~10mm)をまばらに含む。



第117号土坑

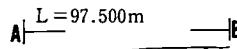
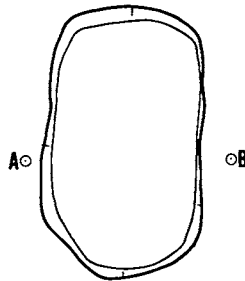
1. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbpと角礫(φ5~10mm)をまばらに含む。



第118号土坑

第118号土坑

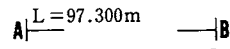
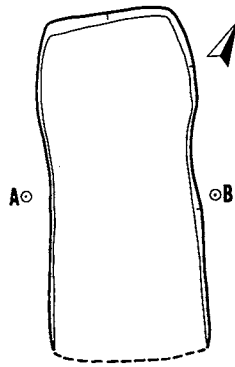
1. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、褐色土ブロックを多量に含む。Nbpまばら、埋め戻されている。



第119号土坑

第119号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、角礫(φ5~20mm)、Chpをわずかに含む。土器片上位から出土。

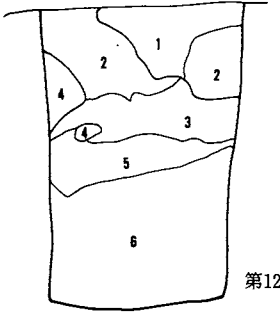
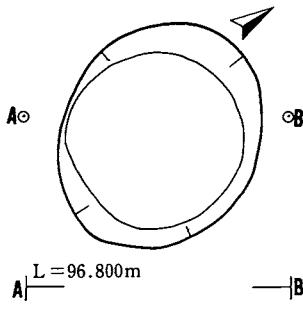


第120号土坑

第120号土坑

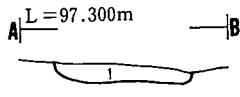
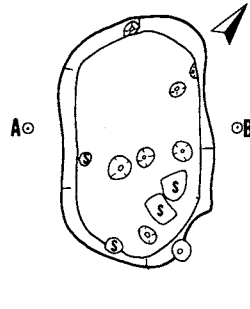
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、赤い黄褐色土ブロック、褐色土小ブロックを含む。炭化材料片をわずかに含む。Nbpまばら、埋め戻されている。

図79 土坑(25)



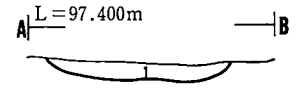
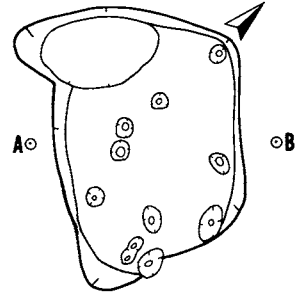
第121号土坑

- 第121号土坑
1. 10Y R4/4褐色土、シルト、Nbp、HApをわずかに含む。明黄褐色土ブロックをわずかに含む。
 2. 10Y R4/6褐色土、粘土質シルト、Nbp、HAp3%炭化物を含む。
 3. 10Y R4/3にぶい黄褐色土、砂質シルト、Nbp、HAp3%含む。
 4. 10Y R7/4にぶい黄褐色土、粘土質シルト、HAp3~5%含む。地山崩落土。
 5. 10Y R5/4にぶい黄褐色土、砂質粘土、砂を感じる。地山崩落土含む。
 6. 10Y R6/4にぶい黄褐色土、粘土質シルト、砂を含む。



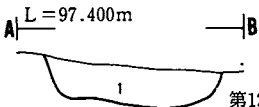
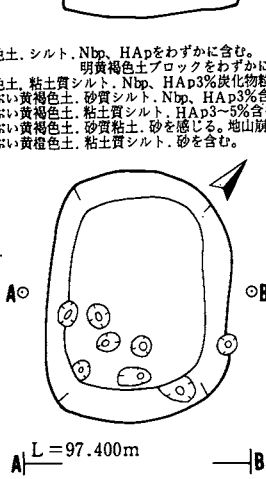
第122号土坑

- 第122号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10%及び褐色土小ブロック含む。



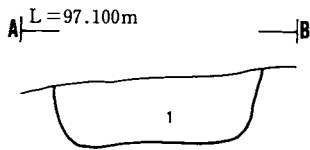
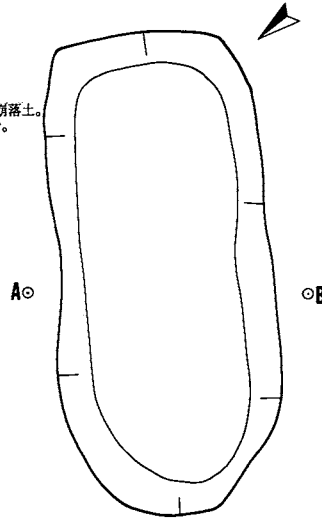
第123号土坑

- 第123号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10%及び褐色土小ブロックを含む。



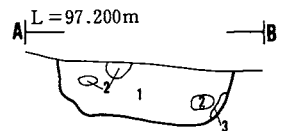
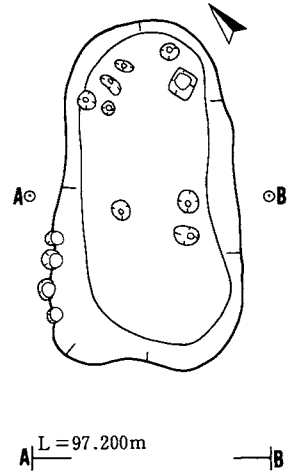
第124号土坑

- 第124号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp7%含む。大きなレキが入り込んでいる。



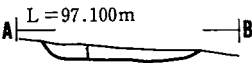
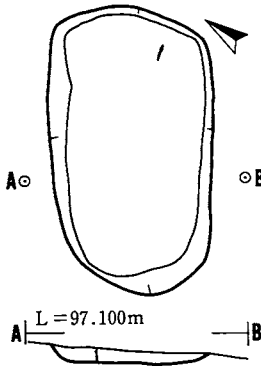
第126号土坑

- 第126号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10%含む。



第127号土坑

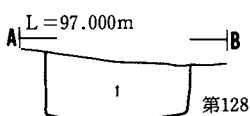
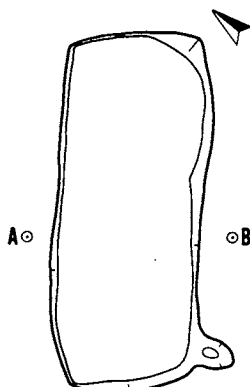
- 第127号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp5%含む。及び褐色の小ブロック。
 2. 10Y R4/4褐色土、シルト、Nbp5%含む。
 3. 10Y R5/4にぶい黄褐色土、シルト、褐色土の小ブロック。



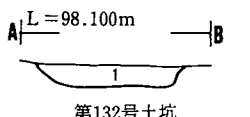
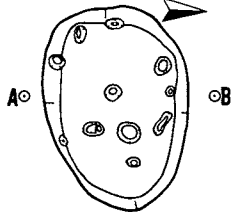
第125号土坑

- 第125号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、にぶい黄褐色土ブロック、褐色土小ブロックを含む。炭化材片をわずかに含む。Nbpまばら。埋め戻されている。

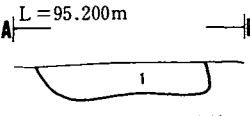
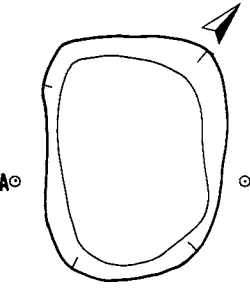
図80 土坑(26)



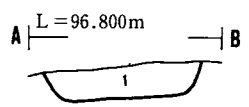
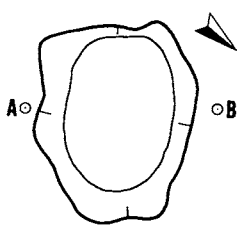
第128号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、
にふい黄褐色土ブロック、褐色土小ブロックを含む。
炭化材片をわずかに含む。Nbpまばら。埋め戻されている。



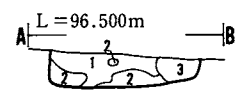
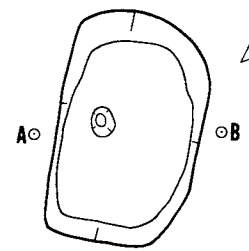
第132号土坑
1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト。
Nbp5-7%、chp全体に含む。



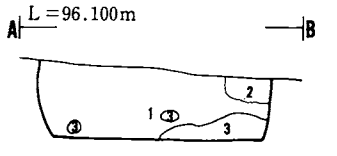
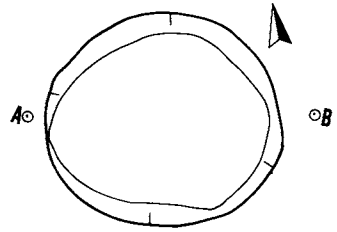
第135号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト。
褐色土の極小Nbp、黒色土粒、Nbpをまばらに含む。



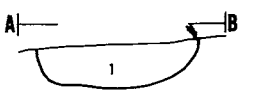
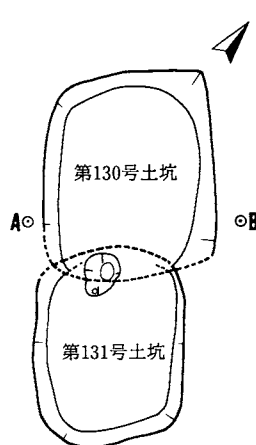
第129号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、褐色土の小ブロックが入る。
Nbp3%含む。



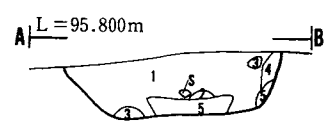
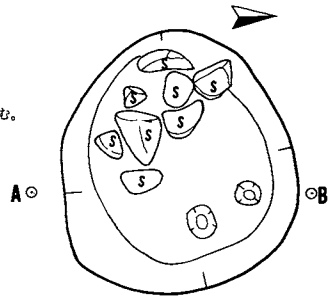
第133号土坑
1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、明黄褐色土粒、炭化物粒を全体に含む。
2. 10Y R褐色土、シルト質粘土、明黄褐色土粒をモザイク状に含む。
3. 10Y R3/2黒褐色土、粘土、明黄褐色土粒をまばらに含む。



第136号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト
Nbp10%含む。Chpを全体に含む。
2. 10Y R3/3暗褐色土、粘土質シルト。
Nbp15%含む。Chpわずかに含む。
3. 10Y R4/4褐色土、粘土質シルト。
Nbpまばらに含む。



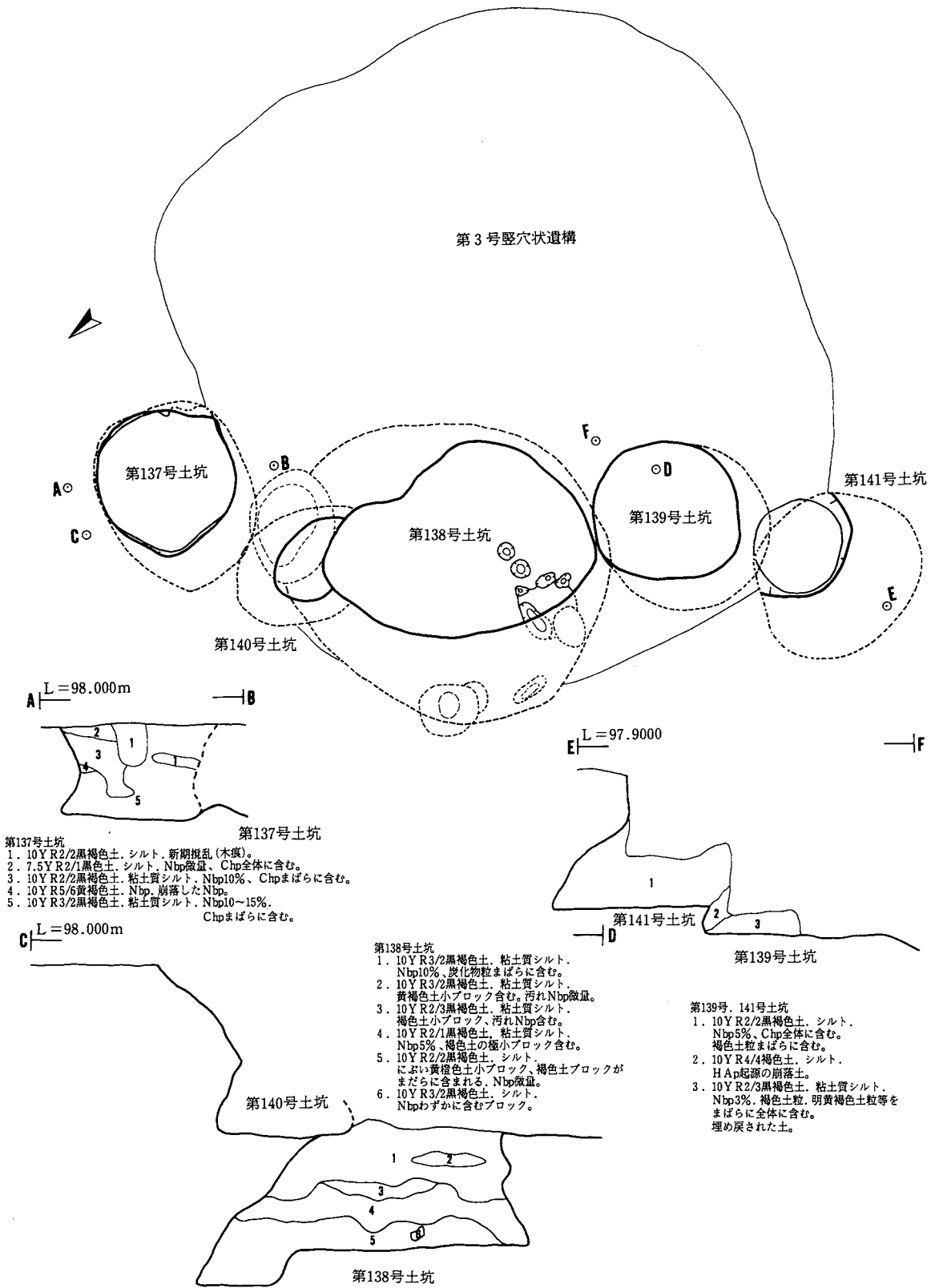
第130号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、
褐色土入る。



第134号土坑
1. 10Y R3/2黒褐色土、シルト
黄褐色土の極小ブロック、黒色土粒を含む。
H Apまばらに含む。
2. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、
粒子大。サラサラ
ブロック状。
3. 10Y R6/3にふい黄褐色土、シルト。
4. 10Y R5/4にふい黄褐色土、シルト。
H Apまばらに含む。
5. 10Y R4/3にふい黄褐色土、シルト。
黒色土粒わずかに含む。

図81 土坑(27)

第3号竪穴状遺構



- 第137号土坑
- 10 Y R 2/2 黒褐色土、シルト、新期攪乱(木痕)。
 - 7.5 Y R 2/1 黒色土、シルト、Nbp微量、Chp全体に含む。
 - 10 Y R 2/2 黒褐色土、粘土質シルト、Nbp10%、Chpまばらに含む。
 - 10 Y R 5/6 黄褐色土、Nbp、崩落したNbp。
 - 10 Y R 3/2 黒褐色土、粘土質シルト、Nbp10~15%、Chpまばらに含む。

C | L=98.000m

第137号土坑

- 第138号土坑
- 10 Y R 3/2 黒褐色土、粘土質シルト、Nbp10%、炭化物粒まばらに含む。
 - 10 Y R 3/2 黒褐色土、粘土質シルト、黄褐色土小ブロック含む、汚れNbp微量。
 - 10 Y R 2/3 黒褐色土、粘土質シルト、褐色土小ブロック、汚れNbp含む。
 - 10 Y R 2/1 黒褐色土、粘土質シルト、Nbp5%、褐色土の極小ブロック含む。
 - 10 Y R 2/2 黒褐色土、シルト、黄褐色土小ブロック、褐色土ブロックがまばらに含まれる、Nbp微量。
 - 10 Y R 3/2 黒褐色土、シルト、Nbpわずかに含むブロック。

第140号土坑

第138号土坑

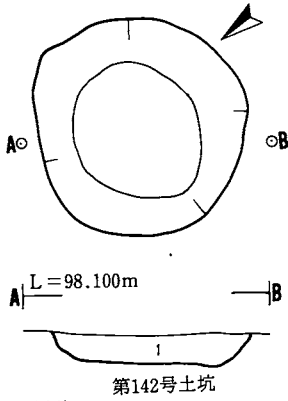
E | L=97.9000

第141号土坑

第139号土坑

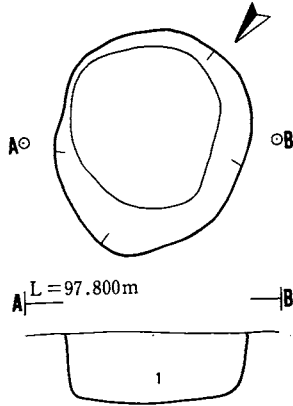
- 第139号、141号土坑
- 10 Y R 2/2 黒褐色土、シルト、Nbp5%、Chp全体に含む、褐色土粒まばらに含む。
 - 10 Y R 4/4 褐色土、シルト、H Ap起源の崩落土。
 - 10 Y R 2/3 黒褐色土、粘土質シルト、Nbp3%、褐色土粒、明黄褐色土粒等をまばらに全体に含む、埋め戻された土。

図82 土坑(28)



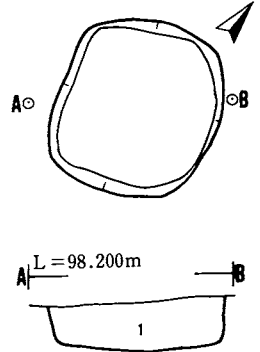
第142号土坑

第142号土坑
1. 10Y R2/1黒褐色土. シルト. Nbp5~10%含む。



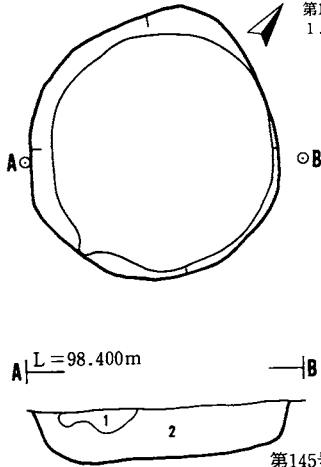
第143号土坑

第143号土坑
1. 10Y R2/1黒褐色土. シルト.
Nbp(汚れた感じ)40~50%含む。



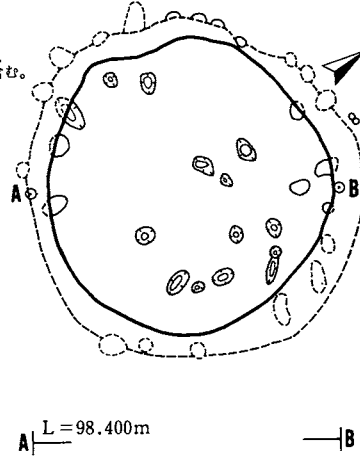
第144号土坑

第144号土坑
1. 10Y R2/1黒褐色土. シルト. Nbp3%. Chpまばらに含む。



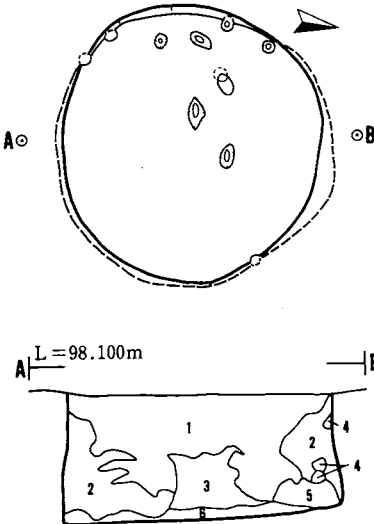
第145号土坑

第145号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp3%. Chp全体に含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp30%. Chp全体に含む。



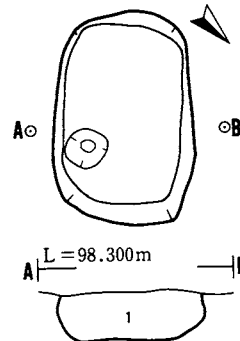
第146号土坑

第146号土坑
1. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp3%含む褐色土ブロック。
2. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp5%炭化物粒まばらに含む。
3. 10Y R4/6褐色土. ローム. Nbp5~10%. 黒色土小ブロック含む。
4. 10Y R2/1黒褐色土. 砂質シルト. Nbp20%. Chpを全体に含む。
5. 10Y R6/8明黄褐色土. Nbp. 崩落Nbpで4層が混入。
6. 10Y R3/4暗褐色土. ローム. Nbp5%含むロームブロック。
7. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbpわずかに含む。
8. 10Y R2/3暗褐色土. 粘土質シルト. Nbp3%含む。
9. 10Y R4/4暗褐色土. ローム. 汚れたNbpわずかに含む。
10. 10Y R3/4暗褐色土. ローム. 地山崩落土(Black Band起源)。



第147号土坑

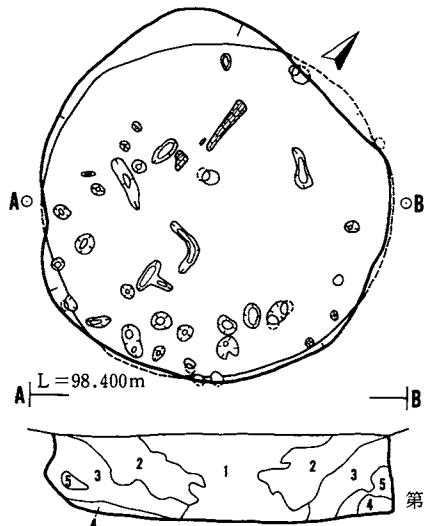
第147号土坑
1. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. 汚れNbp20%. Chp全体に含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土. ローム. 崩落したNbpをまばらに含む。
3. 10Y R4/5褐色土. ローム. Nbpわずかに含む。
4. 10Y R4/6褐色土. ローム. ローム崩落ブロック。
5. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. 褐色土ブロック含む。
6. 10Y R4/4褐色土. シルト. 黒褐色土粒含む。



第148号土坑

第148号土坑
1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト.
汚れたNbp10%. 褐色土の小ブロック含む。

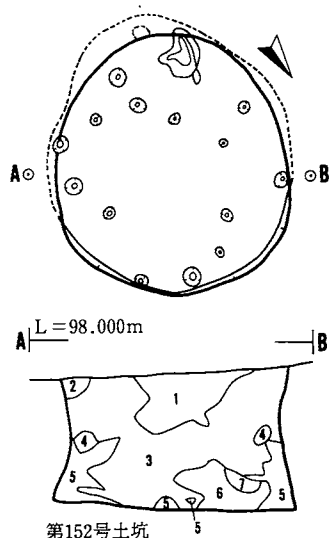
図83 土坑(29)



第149号土坑

第149号土坑

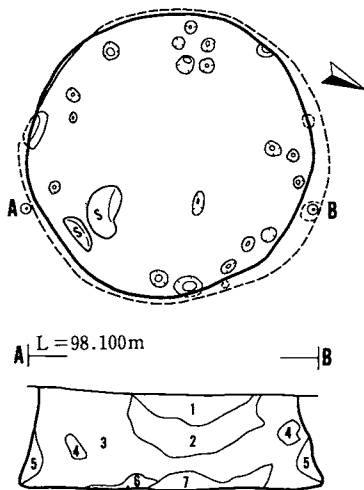
1. 10 Y R 4/3 黄褐色土。シルト。汚れたNbp10%。炭化材片をわずかに含む。
2. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。Nbp7~10%。Chp全体に多く含む。
3. 10 Y R 2/1 黒褐色土。シルト。Nbp20%含む。Chp全体を含む。
4. 10 Y R 3/3 暗褐色土。シルト。Nbp5%。褐色土ブロック含む。
5. 10 Y R 6/8 明黄褐色土。Nbp。崩落したNbp。



第152号土坑

第152号土坑

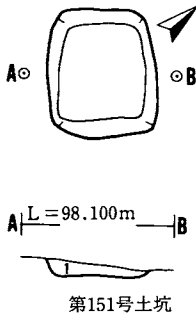
1. 10 Y R 2/3 黒褐色土。シルト。Nbp7%及び炭化材を含む。上部に黄褐色土かぶる。
2. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。Nbpをわずかに含む。木葉を含む。
3. 10 Y R 2/3 黒褐色土。シルト。Nbpを15%含む。
4. 10 Y R 7/8 黄褐色土。シルト。Nbpのブロック。
5. 10 Y R 4/6 褐色土。シルト。Nbpを15%含む。
6. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。Nbpを5%。褐色土小ブロックをわずかに含む。
7. 10 Y R 4/6 褐色土。シルト。Nbp含む。



第150号土坑

第150号土坑

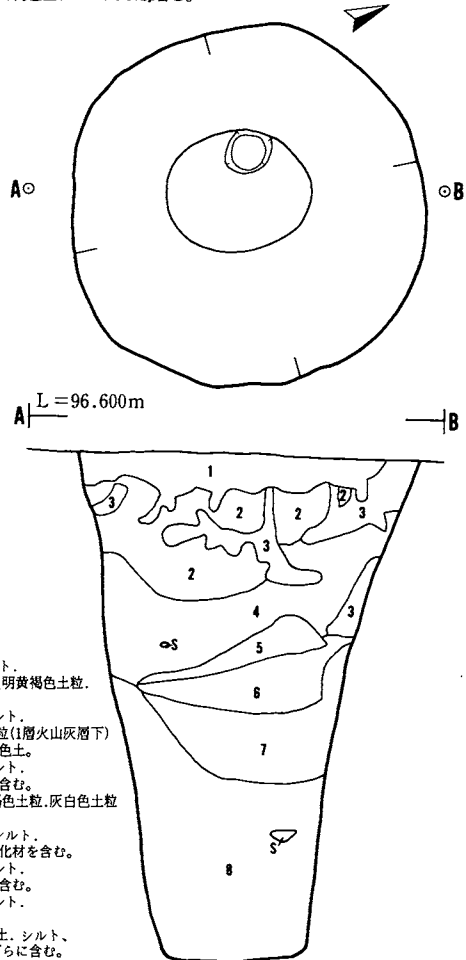
1. 10 Y R 3/2 黒褐色土。シルト。Nbp5%含む。
2. 10 Y R 3/3 暗褐色土。シルト。Nbp7%及び炭化材を含む。
3. 10 Y R 2/3 黒褐色土。シルト。Nbp10%含む。
4. 10 Y R 8/4 浅黄褐色土。砂質。Nbpのブロック。
5. 10 Y R 5/8 黄褐色土。シルト。Nbp15%含む。
6. 10 Y R 3/4 暗褐色土。シルト。Nbpをわずかに含む。
7. 10 Y R 3/3 暗褐色土。シルト。Nbpをわずかに含む。



第151号土坑

第151号土坑

1. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。Nbp5%含む(埋土中ビニール片含む)。

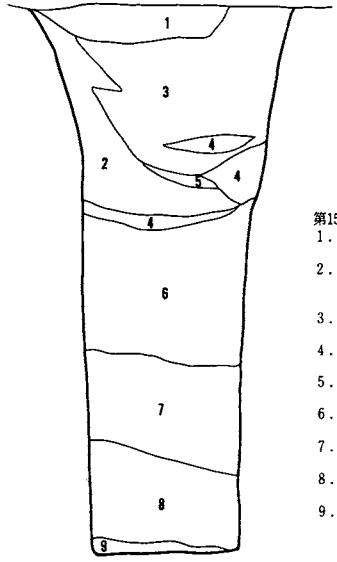
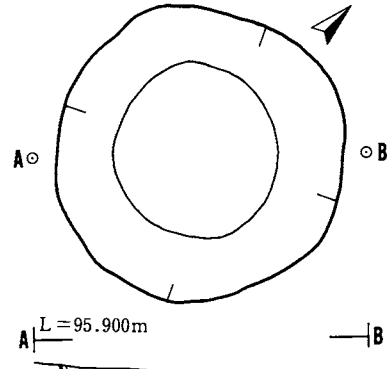
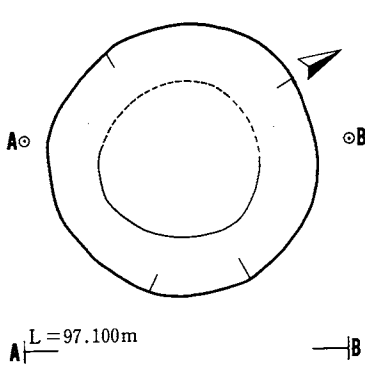


第153号土坑

第153号土坑

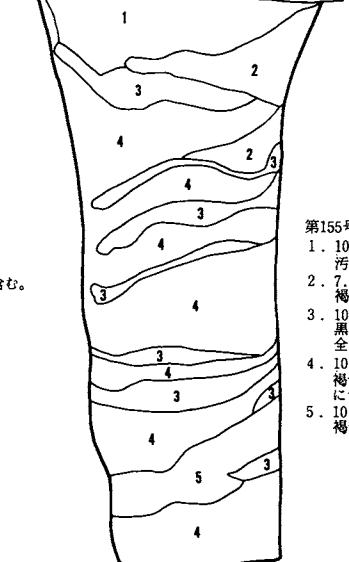
1. 7.5 Y R 2/1 黒色土。シルト。黄褐色土粒、暗褐色土粒、明黄褐色土粒。浮石粒を全体に含む。
2. 10 Y R 5/1 褐灰色土。シルト。1層の混入物に灰白色土粒(1層火山灰層下)を含む。白味のある黒褐色土。
3. 10 Y R 1.7/1 黒色土。シルト。灰白色土粒、褐色土粒を含む。
4. 10 Y R 3/2 黒褐色土粒、褐色土粒、灰白色土粒をし状に含む。
5. 10 Y R 5/2 灰黄褐色土。シルト。褐色土極小ブロック、炭化材を含む。
6. 10 Y R 3/1 黒褐色土。シルト。灰白色土粒、褐色土粒を含む。
7. 10 Y R 1.7/1 黒色土。シルト。褐色土粒を含む。
8. 10 Y R 7/4 黄褐色土。シルト。黒褐色土粒を全体にまばらに含む。

図84 土坑(30)



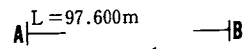
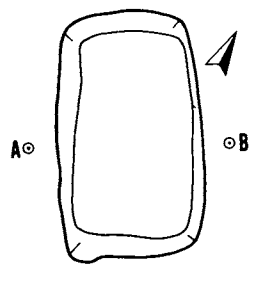
- 第154号土坑
- 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp、Chpともにまばらに含まれる。
 - 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp40% (汚れ)、褐色土小ブロック含む。chpまばら。
 - 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp3~5%、Chpまばらを含む。
 - 10Y R2/2黒褐色土、シルト、暗褐色土粒を塊状に含む。
 - 10Y R2/2黒褐色土、シルト、褐色土小ブロック含む。
 - 7.5Y R1.7/1黒褐色土、シルト、Nbp細粒を3%含む。
 - 10Y R1/2黒色土、シルト、褐色土粒をしま状に含む。
 - 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、褐色土粒をわずかに含む。
 - 10Y R3/4暗褐色土、粘土質シルト、混入物なし。

第154号土坑



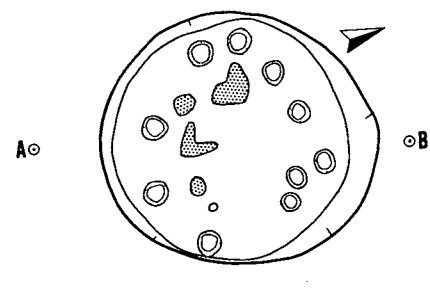
- 第155号土坑
- 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、汚れNbp、褐色土粒をまばらに含む。
 - 7.5Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、褐色土粒まばらに含む。
 - 10Y R3/3暗褐色土、粘土質シルト、黒色土粒及び小ブロックを全体的に含む。
 - 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、褐色土粒の小ブロックをまばらに含む。
 - 10Y R3/1黒褐色土、粘土質シルト、褐色土粒まばらに含む。

第155号土坑



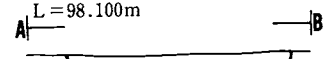
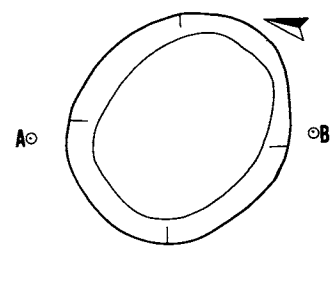
第156号土坑

- 第156号土坑
- 10Y R3/2黒褐色土、砂質シルト、トレンチマーの耕作痕。
 - 10Y R3/4暗褐色土、シルト、褐色土の小ブロック、黒色土粒が混入する。焼土粒、炭化物粒含む鉄滓が出土する。
 - 10Y R4/6褐色土、粘土質シルト、地山崩落土。
 - 10Y R4/6褐色土、シルト、しまりなくフカフカ。炭化物粒含む。
 - 10Y R5/6黄褐色土、粘土質シルト、炭化物粒含む。炭滓出土する。
 - 10Y R5/8黄褐色土、地山崩落土ブロック。



第157号土坑

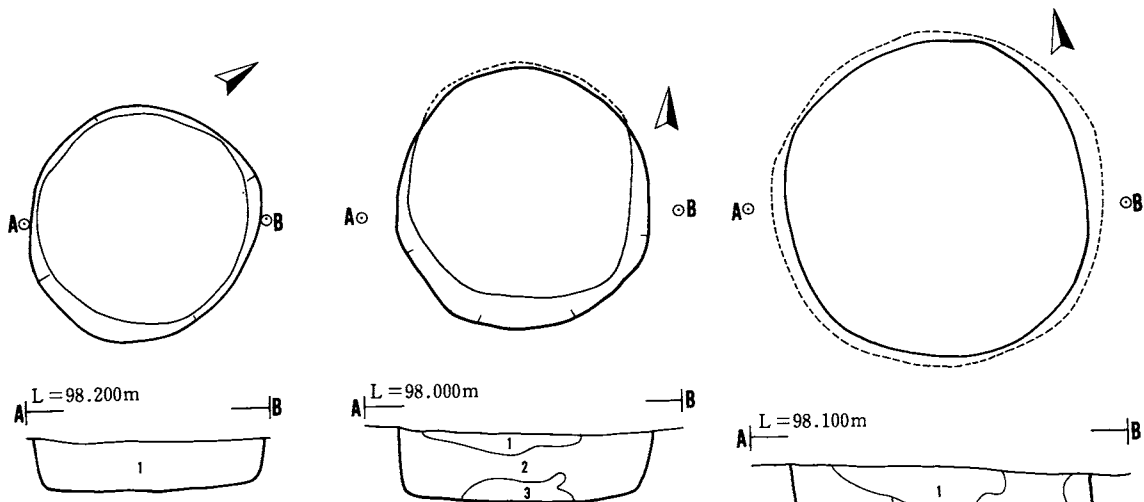
- 第157号土坑
- 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Nbp30%含む。
 - 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp7%含む。
 - 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp10%含む。
 - 10Y R6/8暗褐色土、砂質、Nbp(細かいNbpの層)しめりけがある。
 - 10Y R7/8黄褐色土、砂質、Nbp(カベ下部に相当)含む。



第158号土坑

- 第158号土坑
- 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp15~20%、Chp全体にまばらに含む。

図85 土坑(31)



第159号土坑

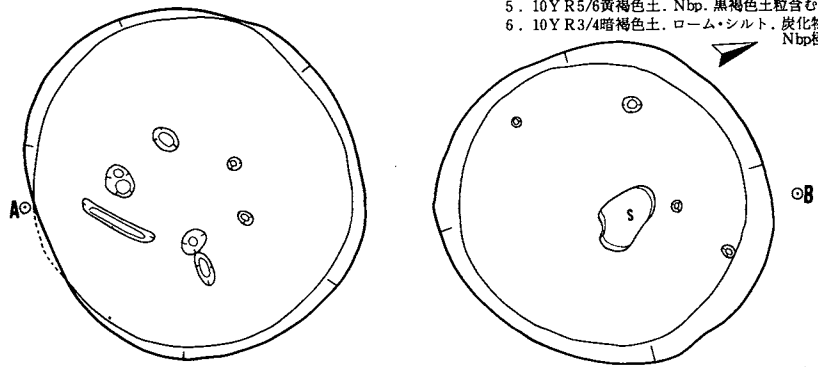
- 第159号土坑
 1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp10~15%、Chpを全体に含む。

第160号土坑

- 第160号土坑
 1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Nbpを3%含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbpを5%含む。
 3. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Nbpを3%含む。

第163号土坑

- 第163号土坑
 1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp5~10%、炭化物粒わずかに含む。
 2. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp5%含む。
 3. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp3%、褐色土粒、Chp全体に含む。
 4. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp10%、chpわずかに含む。
 5. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、黒褐色土粒含む。地山崩落土。
 6. 10Y R3/4暗褐色土、ローム・シルト、炭化物粒まばらに含む。Nbp極微量含む。



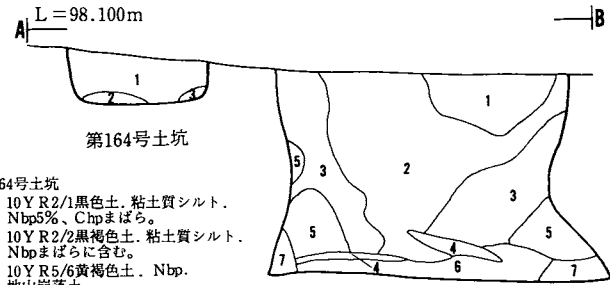
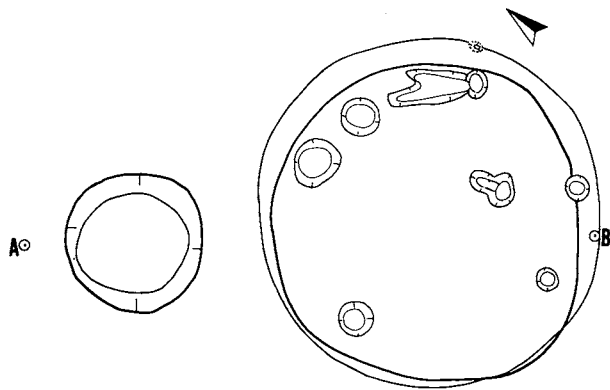
第162号土坑

- 第162号土坑
 1. 10Y R3/3暗褐色土、シルト、Nbp25~30%、Chpまばらに含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp3%、Chpを全体に含む。
 3. 7.5Y R3/1黒色土、シルト、Nbp5~10%、Chpを全体に多く含む。
 4. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp30%、Chpまばらに含む。
 5. 10Y R6/8明黄褐色土、Nbp、崩落したNbp。
 6. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、褐色土ブロック含む。Nbp10%、Chp10%まばらに含む。
 7. 10Y R1.7/1黒色土、粘土質シルト、Nbpわずかに含む。
 8. 10Y R4/6褐色土、シルト、地山崩落土、黒褐色土粒含む。

第161号土坑

- 第161号土坑
 1. 10Y R2/3黒褐色土、シルト、Nbp25~30%、Chpをまばらに含む。暗褐色土の小ブロック含む。
 2. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbpわずかに含む。
 3. 10Y R2/1黒褐色土、シルト、Nbp15~20%、Chpを全体に含む。
 4. 10Y R6/8暗褐色土、Nbp、崩落したNbp。
 5. 10Y R4/6褐色土、Nbp地山崩落土、Nbpわずかに含む。

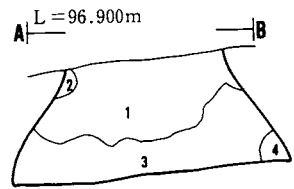
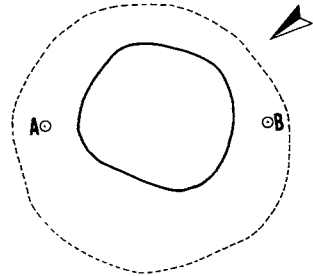
図86 土坑(32)



第164号土坑

第164号土坑

1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp5%、Chpまばら。
2. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、Nbpまばらに含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、地山崩落土。

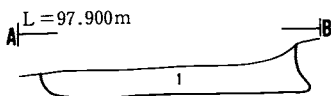
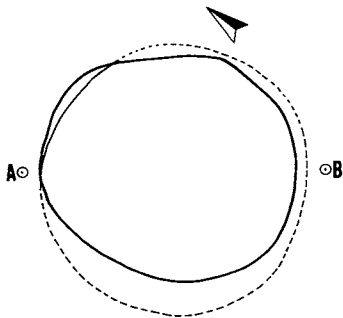


第166号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、Nbp25~30%、Chpを全体に含む。褐色土の崩落土含む。
2. 10Y R4/4褐色土、ローム・シルト、地山崩落土。
3. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp15~20%、Chpを全体に含む。褐色土粒、黄褐色土粒をわずかに含む。
4. 10Y R6/6明黄褐色土、シルト、地山崩落土。

第165号土坑

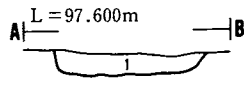
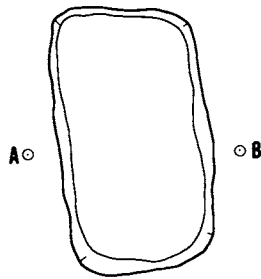
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp5~10%、Chp全体に含む。
2. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp3%、全体にChp含む。
3. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp10%、Chpわずかに含む。
4. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp5%含む。
5. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp黒褐色土粒含む、地山崩落土。
6. 7.5Y R2/2黒褐色土、ローム、褐色土小ブロック含む、Nbp微量。
7. 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土、崩落したNbp、黒色土含む。



第167号

第167号土坑

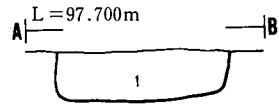
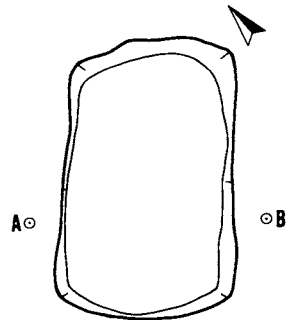
1. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp1~3%、Chpを全体に含む。遺物を含む。



第168号土坑

第168号土坑

1. 10Y R5/6黄褐色土、シルト、Nbp10%含む。明黄褐色の小ブロック含む。



第169号土坑

第169号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp30~40%含む。人為的に埋め戻されている。炭化物粒をわずかに含む。

図87 土坑(33)

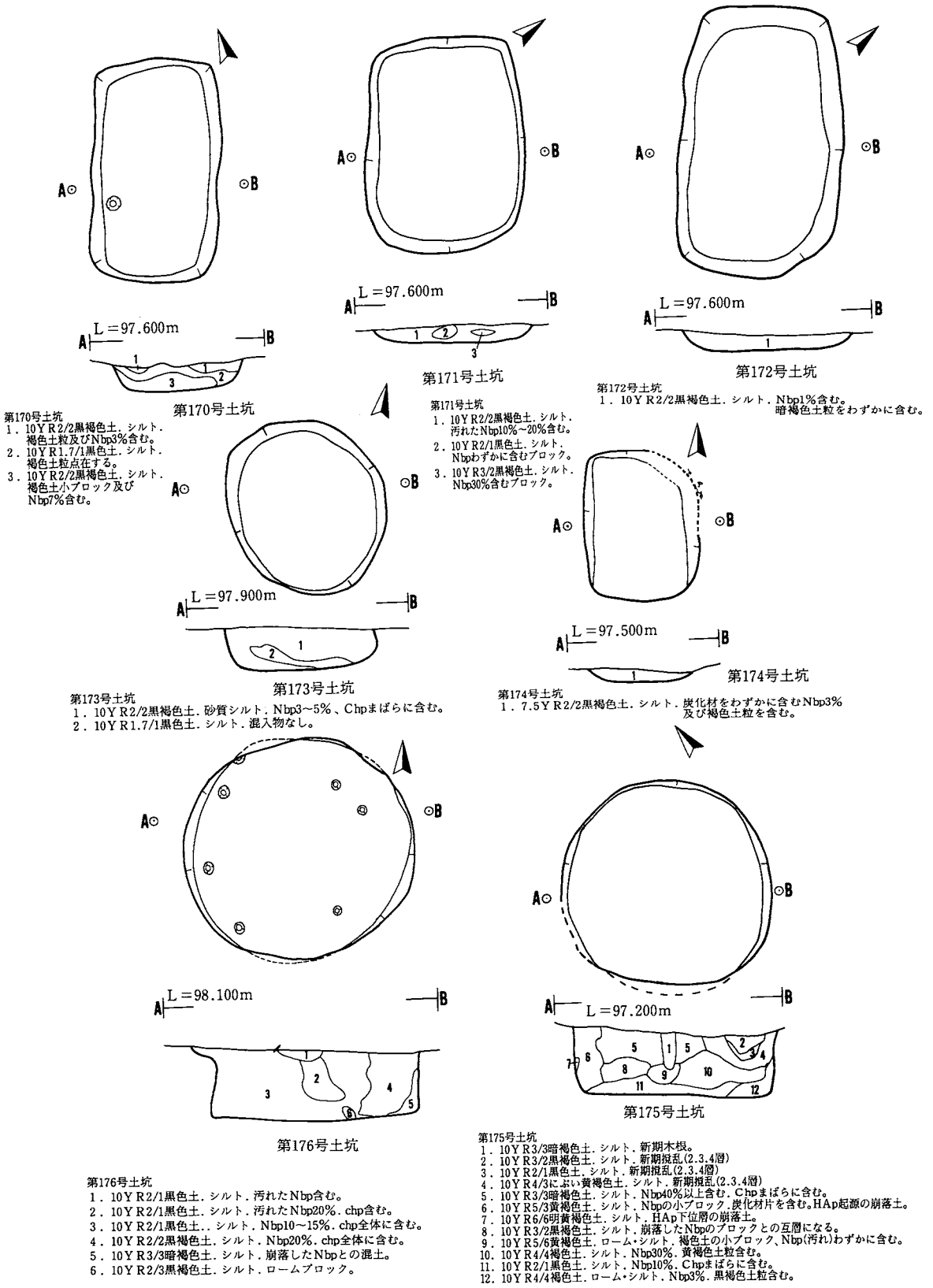
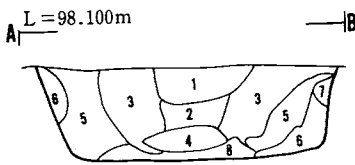
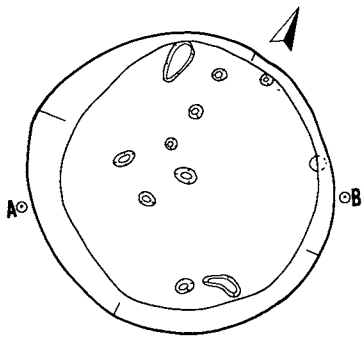


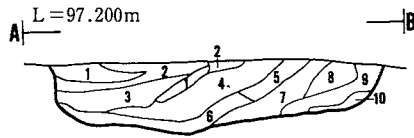
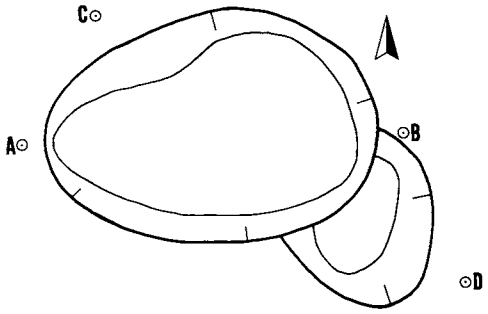
図88 土坑 (34)



第177号土坑

第177号土坑

1. 10 Y R2/1黒色土. シルト. Nbp(汚れ)20%. Chp全体に含む。
2. 10 Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp10%. Chp全体に含む。
3. 10 Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp10~15%. Chp全体に多く含む。
4. 7.5 Y R1.7/1黒色土. シルト. Nbp(汚れ)のブロック含む。
5. 10 Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp15%. Chp全体に含む。
6. 10 Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp20%. Chpまばらに含む。
7. 10 Y R6/6明黄褐色土. シルト. 崩落したNbp。
8. 10 Y R2/1黒色土. シルト. 黒褐色土の小ブロック. Nbp5%含む。



179号土坑



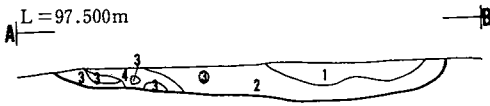
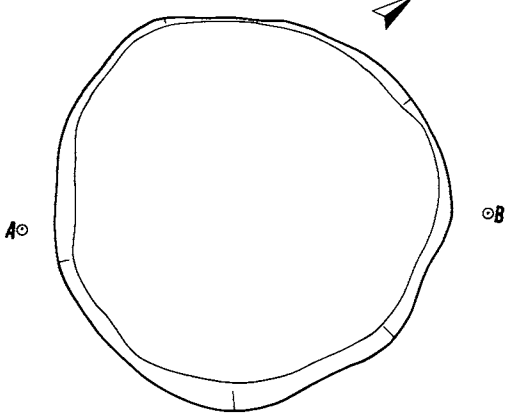
第180号土坑

第179号土坑

1. Nbpと砂質シルトの混合。
2. 10 Y R 黒褐色土. シルト. Nbp10~30%含む。上層にいくほどたたくしまっている。
3. 10 Y R3/4暗褐色土. 砂質シルト. Nbp20~30%含む。
4. 10 Y R2/2黒色土. シルト. Nbp10%. 褐色土がしま状に含まれる。
5. 10 Y R3/4暗褐色土. シルト. Nbp7%含む。
6. 10 Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp7%含む。
7. 10 Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp5%含む。
8. 10 Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp5%含む。
9. 10 Y R2/1黒色土. シルト. Nbp5%含む。
10. Nbp. 地山崩落土。

第180号土坑

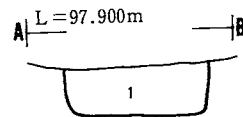
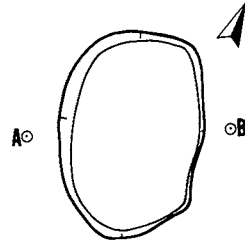
1. 10 Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp5~10%. 土器片含む。



第178号土坑

第178号土坑

1. 7.5 Y R2/1黒色土. シルト. 中礫 (Chp). 南部浮石 (Nbp) を3%含む。
2. 10 Y R2/1黒色土. シルト. 中礫 (Chp). 南部浮石 (Nbp) を7%含む。
3. 10 Y R2/2黒褐色土. 砂質シルト. 中礫 (Chp). 南部浮石 (Nbp) を5%含む。
4. 10 Y R2/1黒色土. シルト. Chp. Nbpを10%含む。

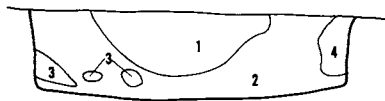
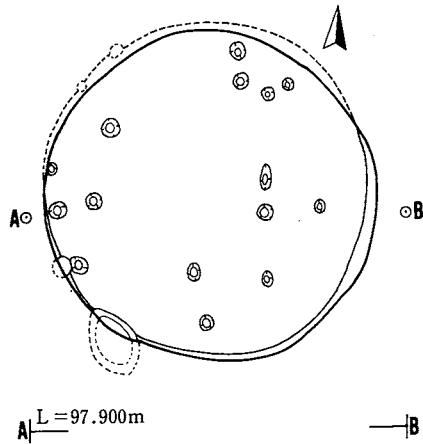


第181号土坑

第18号土坑

1. 10 Y R2/2黒褐色土. 砂質シルト. Nbp10~15%. Chpを全体に含む。炭化物粒をまばらに含む。

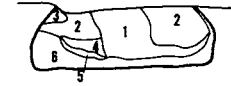
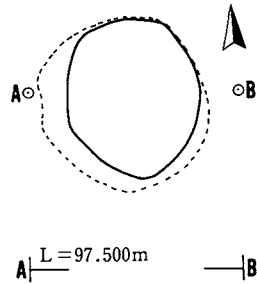
図89 土坑(35)



第182号土坑

1. 10 Y R 1.7/1 黒色土。シルト。Nbp 30~40%。Chp 全体を含む。
2. 10 Y R 2/1 黒色土。シルト。Nbp 10~15%。Chp 全体に多く含む。
3. 10 Y R 3/3 暗褐色土。シルト。崩落した Nbp 20% 含む。
4. 10 Y R 2/2 黒褐色土。シルト。崩落した Nbp 20% 含む。

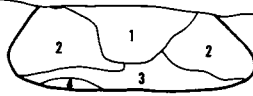
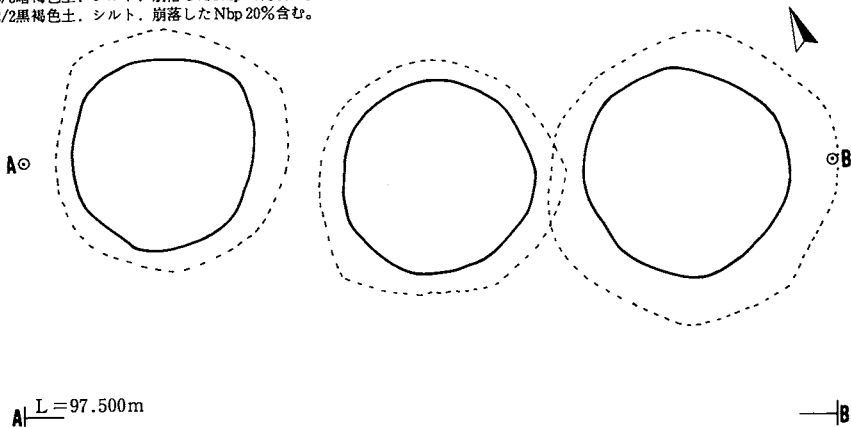
第182号土坑



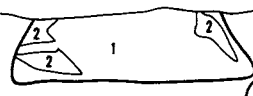
第186号土坑

第186号土坑

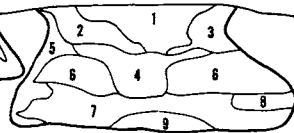
1. 10 Y R 3/4 暗褐色土。粘性シルト。Nbp 30%。褐色土ブロックを上部に含む。
2. 10 Y R 5/4 黄褐色土。Nbp。暗褐色土を全体を含む。
3. 10 Y R 3/3 暗褐色土。粘性シルト。Nbp をわずかに含む。(掘りすぎ?)
4. 10 Y R 2/3 黒褐色土。粘性シルト。Nbp 20% 含む。
5. 10 Y R 5/6 黄褐色土。Nbp。10 Y R 3/4 の砂を全体を含む。
6. 10 Y R 4/6 褐色土。粘性シルト。Nbp。Hap をわずかに含む。



第183号土坑



第184号土坑



第185号土坑

第183号土坑

1. 10 Y R 4/4 褐色土。粘性シルト。Nbp 30% 含む。
2. 10 Y R 6/6 明黄褐。Nbp。Nbp に暗褐色砂質シルトを全体を含む。
3. 10 Y R 4/6 褐色土。粘性シルト。Nbp 25% 含む。
4. 10 Y R 2/3 黒褐色土。シルト。Nbp 40% 含む。

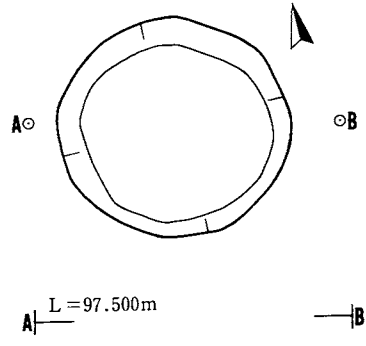
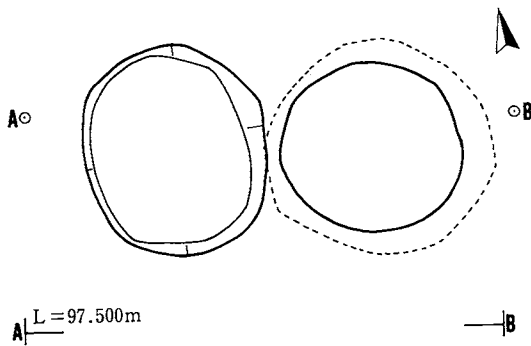
第184号土坑

1. 10 Y R 4/6 褐色土。粘性シルト。Nbp 30% 含む。褐色土を上部に含む。
2. 10 Y R 6/6 明黄褐色土。Nbp。崩落した Nbp 1mm 程の砂を全体を含む。

第185号土坑

1. 10 Y R 3/4 暗褐色土。粘性シルト。Nbp 15% 含む。上部に褐色土をブロック状に含む。
2. 10 Y R 3/3 暗褐色土。粘性シルト。Nbp 15% 含む。
3. 10 Y R 4/4 褐色土。粘性シルト。Nbp 20% 含む。崩落と考えられる Nbp のブロックを含む。
4. 10 Y R 3/2 黒褐色土。粘性シルト。Nbp 20% 含む。下方ほど Nbp 粒が大きくなる。
5. 10 Y R 3/4 暗褐色土。粘性シルト。Nbp 10~15% 含む。
6. 10 Y R 5/6 褐色土。Nbp。Nbp に 1mm 程の砂をまばらに含む。
7. 10 Y R 6/8 褐色土。Nbp。Nbp に 1mm 程の砂を全体に含む。
8. 10 Y R 4/6 黄褐色土。シルト。Nbp 5% 含む。(地山崩落土?)
9. 10 Y R 4/6 黄褐色土。粘性シルト。Nbp 7% 含む。

図90 土坑(36)



第187号土坑

1. 10Y R3/4暗褐色土、粘性シルト、Nbp30%。褐色土ブロックを全含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp。暗褐色土(シルト)を全体に全含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp。Nbpの崩落土。

第187号土坑

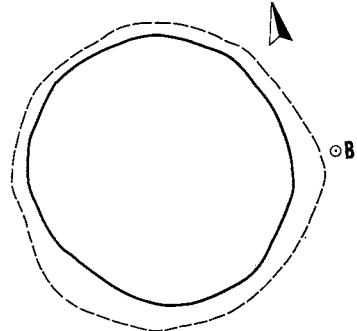
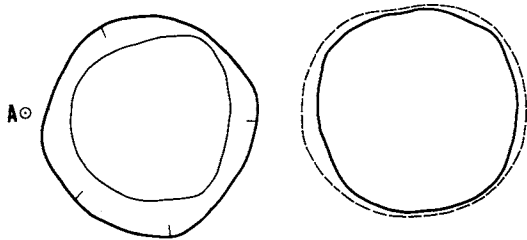
第188号土坑

第188号土坑

1. 第187号土坑の「1」と同じ。
2. 10Y R4/6褐色土、粘性シルト、Nbp3%含む(八戸火山灰層)

第189号土坑

1. 10Y R3/4暗褐色土、粘性シルト、Nbp15%。褐色土ブロック含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp。Nbpに暗褐色土シルトを全体に全含む。
3. 10Y R3/2。黒褐色土、シルト。Nbpを5%含む。
4. 10Y R4/4褐色土、粘性シルト。Nbpを5%含む。
5. 10Y R4/6褐色土粘性シルト。Nbp30%含む。



第190号土坑

1. 10Y R2/3黒褐色土、粘土質シルト、Nbp7%、Cbpまばらに含む。
2. 10Y R4/4褐色土、シルト。Nbp含むブロック。
3. 10Y R3/3暗褐色土、ローム・シルト、Nbp5%含む。
4. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp。黒褐色土を含み崩落したNbp。
5. 10Y R3/2黒褐色土、ローム・シルト、Nbp40%以上含みかたくなる。

第190号土坑

第191号土坑

第191号土坑

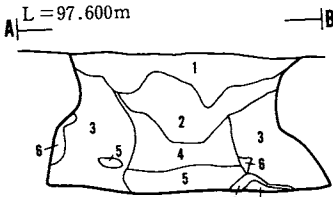
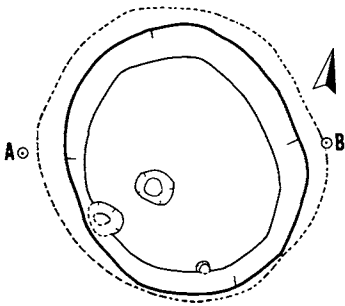
1. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp7~10%、Cbp全体に含む。
2. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、Nbp10%、Cbpまばらに含む。
3. 10Y R2/1黒色土、砂質シルト、Nbp7%、Cbp全体に含む。
4. 10Y R4/4褐色土、ローム・シルト、Nbpわずかに含む。

第192号土坑

第192号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土、シルト、汚れたNbp50%以上含む。
2. 10Y R3/2。黒褐色土、シルト、汚れたNbp10%含む。
3. 10Y R2/1黒色土、シルト、Nbp3%、Cbp全体に含む。
4. 10Y R4/4褐色土、シルト、黒褐色土含む。
5. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp10%、Cbp全体に含む。褐色土粒まばらに含む。
6. 10Y R3/4暗褐色土、ローム・シルト、地山崩落土。
7. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp。崩落したNbpブロック。黒褐色土含む。
8. 10Y R2/1黒色土、シルト、崩落したNbp・Cbpを全体に含み、褐色の崩落土含む。
9. 10Y R3/4暗褐色土、砂質シルト、Nbp微量・Cbpを全体に含む。
10. 10Y R4/3暗褐色土、シルト、Nbpわずかに含む。
11. 10Y R4/4褐色土、ローム・シルト、地山崩落土(HAp起源)
12. 10Y R3.5/4にぶい赤褐色~暗褐色土、シルト、崩落したNbp・黒褐色土含む。

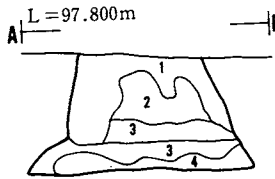
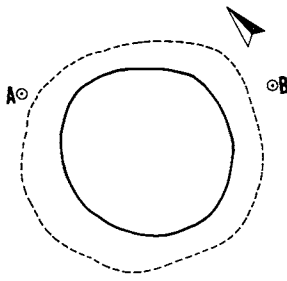
図91 土坑(37)



第193号土坑

1. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp 10%. かたくほる.
 2. 10Y R3/4褐色土. シルト. Nbp 20~25%含み. かたくほる.
 3. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbp. 暗褐色土全体にまばらに含む.
 4. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp 50%を占めるがしまりは弱い.
 5. 10Y R4/4褐色土. ローム・シルト. Nbp ブロック状にNbp含む部分有り.
 6. 10Y R4/4褐色土. ローム・シルト. Nbp 7%. ブロック状にNbp含む部分有り.
 7. 10Y R3/4暗褐色土. ローム・シルト.
- Black Band 起源の崩落土.

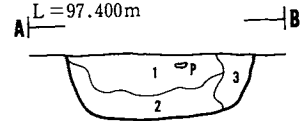
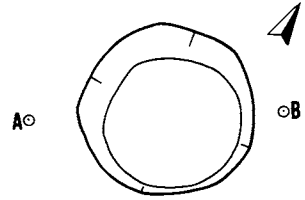
第193号土坑



第194号土坑

1. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 7%. 10Y R3/4(シルト)のブロック含む.
2. 10Y R3/4暗褐色. 粘性シルト. Nbp 25%. 黒褐色土をまばらに含む.
3. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp 30%含む.
4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 7%含む.

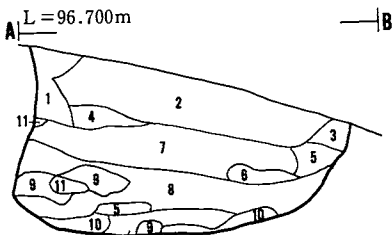
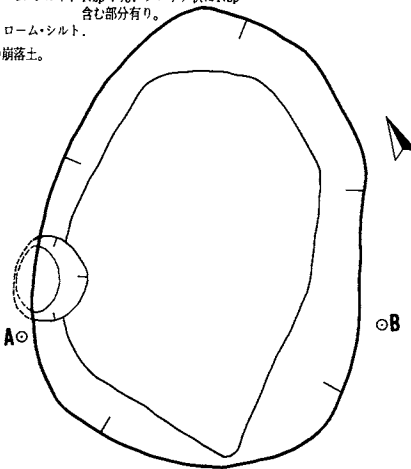
第194号土坑



第195号土坑

第195号土坑

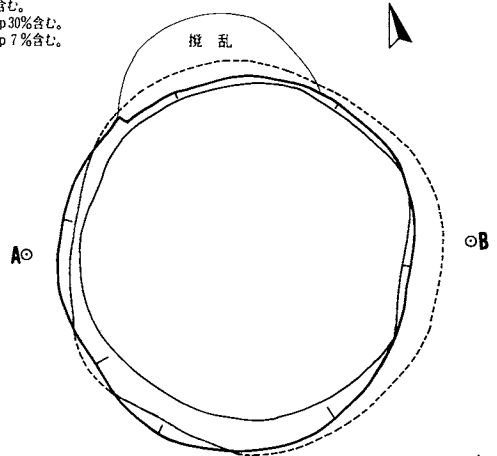
1. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp 3%含む.
2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 3%含む.
3. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp 3%含む.



第197号土坑

第197号土坑

1. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbp. 黒褐色土含む.
2. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 7~10%. Chp全体に含む.
3. 10Y R3/3暗褐色土. シルト. Nbp 微量. 黄褐色土粒まばらに含む.
4. 10Y R2/3暗褐色土. シルト. Nbp 15%. Chpまばらに含む.
5. 10Y R2/3黒褐色土. シルト. Nbp. Chpまばらに含む.
6. 10Y R3/0黒褐色土. シルト. Nbp 40%. Chpまばらに含む.
7. 10Y R5/2黒褐色土. シルト. Nbp 30%. 褐色土ブロック. 黒褐色土の混土. Chpまばらに含む.
8. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp 3~5%. Chp全体に含む. 黄褐色土粒含む.
9. 10Y R5/6黄褐色土. ローム・シルト. 地山崩落土(HAp 起源)
10. 10Y R7/6明黄褐色土. シルト. HAp 下位の崩落土.
11. 10Y R3/4暗褐色. ローム. Black Band 起源の崩落土.

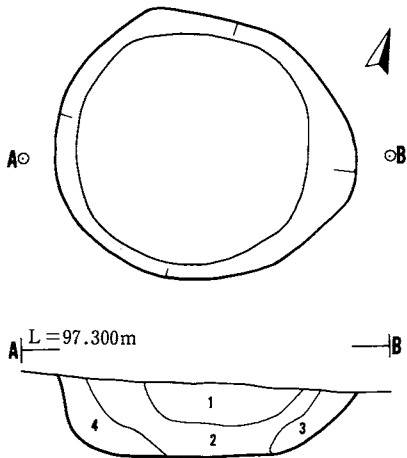


第196号土坑

第196号土坑

1. 10Y R3/3暗褐色土. ローム・シルト. ロームブロック. 汚れたNbp 含む.
2. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 5~7%. Chp全体にまばらに含む.
3. 10Y R3/2黒褐色土. ローム・シルト. Nbp 5%. Chpまばらに含むローム.
4. 10Y R1.85/1黒色土. シルト. Nbp 1%. Chp全体に含む.
5. 7.5Y R2/1黒色土. 砂質シルト. Nbp 10%. Chp全体に含む.
6. 10Y R5/6. 黄褐色土. Nbp. 黒色土を含む崩落したNbp ブロック.
7. 7.5Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 1%. Chpは全体に多量に含む.
8. 7.5Y R3/1黒褐色土. ローム・シルト. Nbp 15~20%. Chp全体に含む.
9. 7.5Y R2/1黒褐色土. ローム・シルト. Nbp 10~15%. Chpまばらに含む.
10. 10Y R2/1黒色土. ローム・シルト. Nbp 25%. Chpまばらに含む.
11. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbp と黒色土の混土.
12. 7.5Y R3/2黒褐色土. シルト. HAp 起源の崩落土とNbpの混土.
13. 7.5Y R3/2黒褐色土. ローム・シルト. Nbp 30%. Chpまばらに含む.

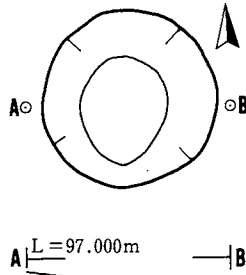
図92 土坑(38)



第198号土坑

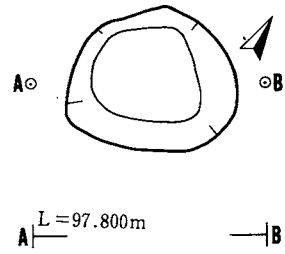
1. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbpを10%含む。(上層に多く分布する)
2. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nbpを3%含む。
3. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbpを10%含む。(下層に多く分布する)
4. 10Y R3/2暗褐色土。シルト。Nbpを20%含む。(底部に多く分布する)

第198号土坑



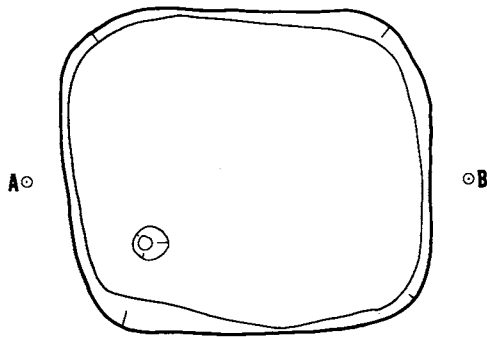
第199号土坑

1. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp 5%含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。Hbp 20%含む。
3. 10Y R3/3黒褐色土。シルト。Nbp 15%含む。
4. Nbpの崩落? Nbpのブロックが含まれ崩落か?



第200号土坑

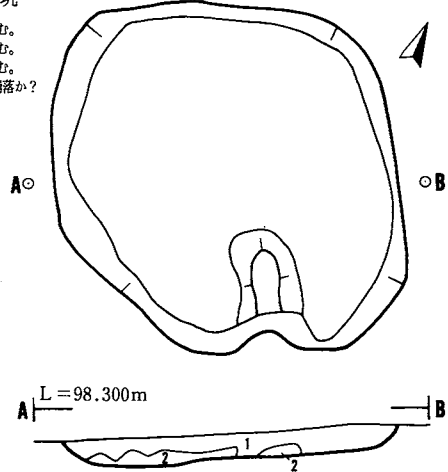
1. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 1%、Chpを全体に含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp 50%以上含む。



第201号土坑

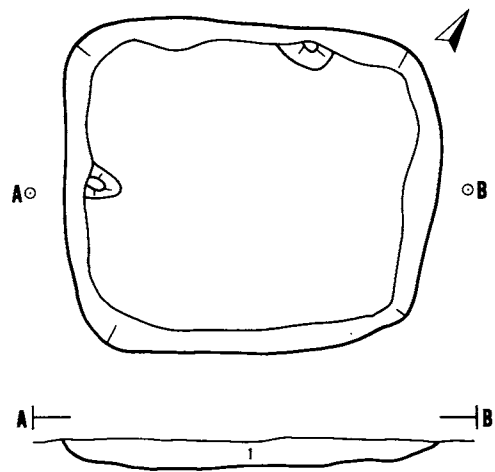
第201号土坑

1. 10Y R3/3暗褐色土。シルト。Nbp 1%含む。
2. 10Y R4/4褐色土。シルト。
3. 10Y R3/1。黒褐色土。シルト。
4. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp 2%含む。
5. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nbp 3%含む。
6. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 5%含む。
7. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp 30~50%含む。
8. 10Y R3/4暗褐色土。シルト。Nbp 10%含む。
9. 10Y R4R4/6褐色土。シルト。地山崩落土。
10. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp 10%含む。
11. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nbp 1%含む。
12. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 1%含む。
13. 10Y R4/4褐色土。シルト。



第202号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Nbpを3%含む。炭化物及び白頭山火山灰(?)を少量含む。
2. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbpを40~50%含む。



第203号土坑

第203号土坑

1. 10Y R1.7/1黒色土。シルト。Nbpを3%含む。炭化物及び白頭山火山灰(?)を少量含む。

図93 土坑(39)



図94 土坑内出土遺物(1)



図95 土坑内出土遺物(2)

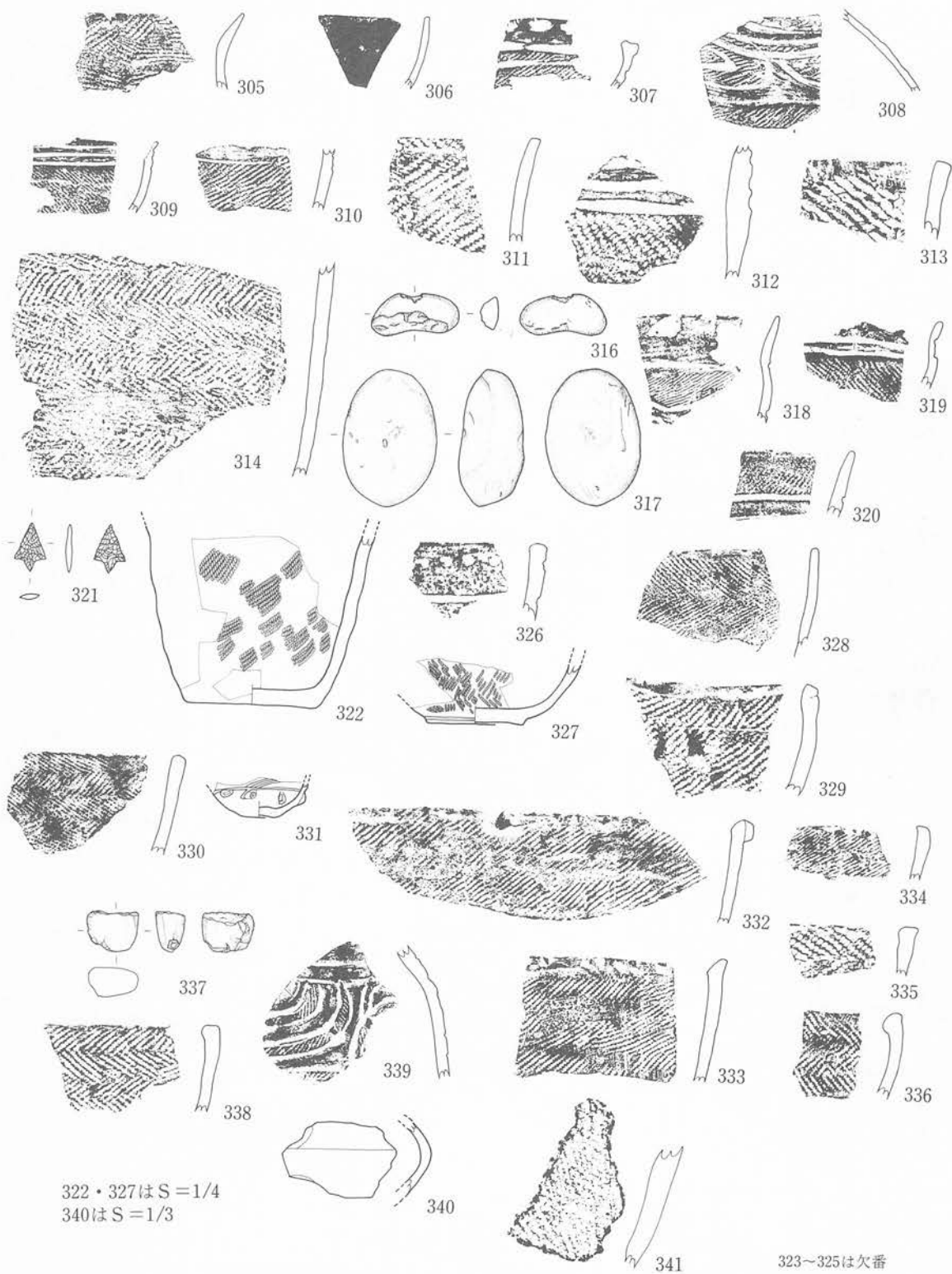


図96 土坑内出土遺物(3)

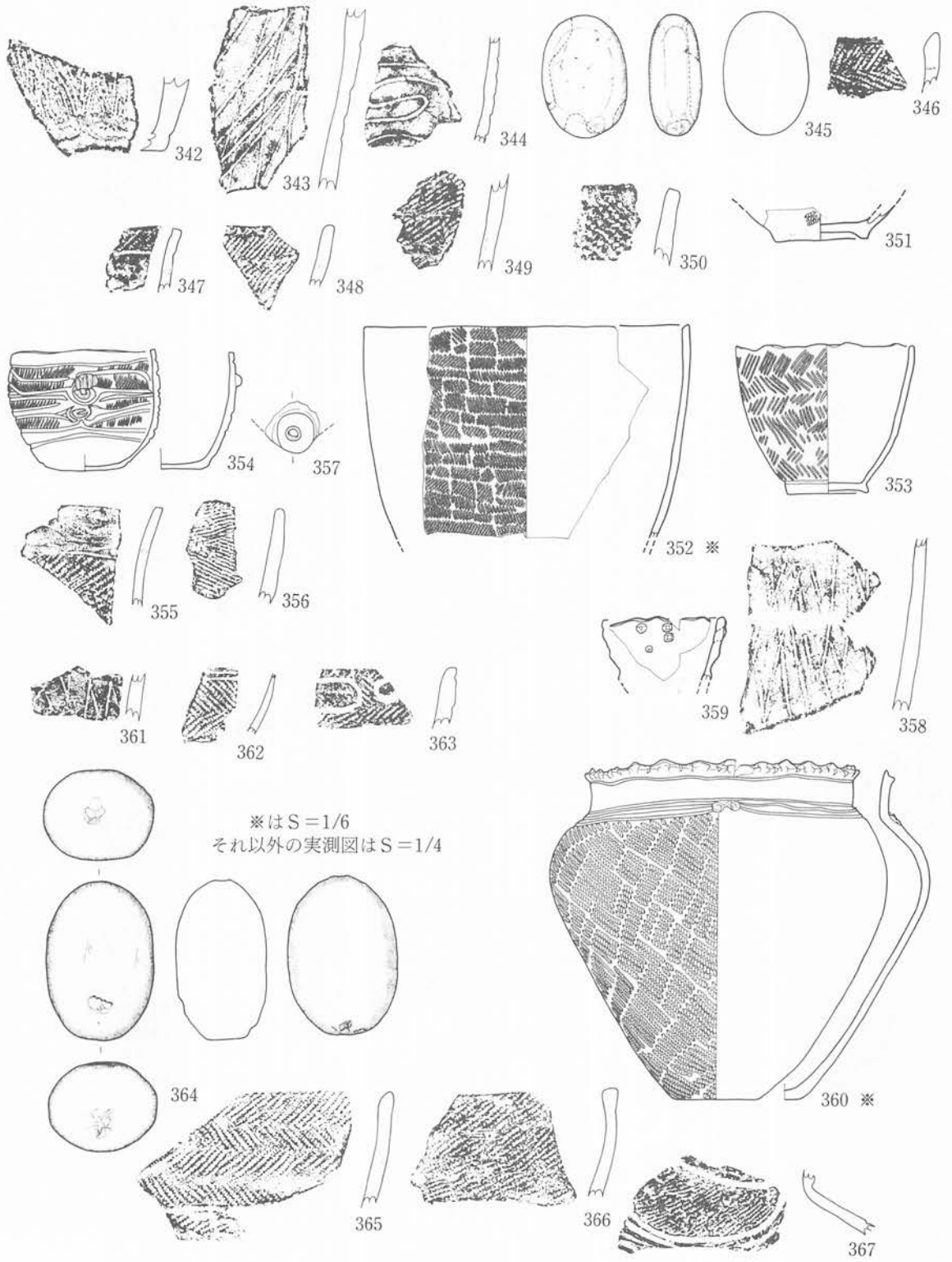


図97 土坑内出土遺物(4)



图98 土坑内出土遗物(5)

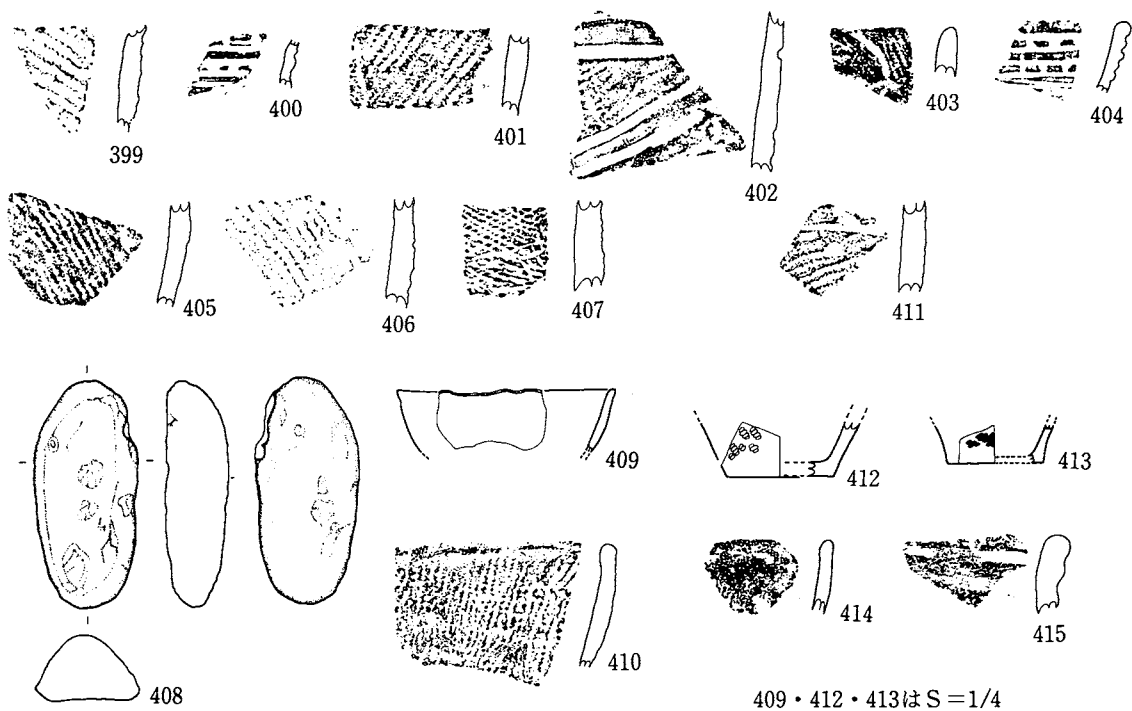


図99 土坑内出土遺物(6)

表6 土坑内出土遺物一覧表

<石 器>

番号	分類	器 種	出土地点	層 位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石 質	図版	写真	備 考
287	h	半円状扁平石器	第15号土坑	Q 2埋土	14.0	8.5	2.7	550	凝灰岩、北上山地、中生界	95	112	
292	a	石鏃	第16号土坑	Q 4埋土	5.6	1.3	0.9	4.6	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	95	112	
303	m	軽石製浮子	第36号土坑	埋土	5.7	2.7	1.0	5.2	軽石	95	112	
316	j	石鏃	第54号土坑	埋土下位	3.1	6.4	1.4	35.7	凝灰岩、北上山地、中生界	96	113	
317	h	凹石	第55号土坑	埋土下位	9.9	7.0	4.0	410	凝灰岩、北上山地、中生界	96	113	
321	a	石鏃	第56号土坑	埋土上位	2.4	1.6	0.3	0.6	チャート、北上山地、中生界	96	113	
337	g	石斧	第66号土坑	埋土下位	3.0	3.7	2.2	33.8	蛇紋岩、北上山地、古生界	96	114	
345	h	磨石、敲石	第76号土坑	埋土中位	8.9	6.2	3.8	320	安山岩、北上山地、中生界	97	114	
364	h	磨石、敲石	第95号土坑	埋土	12.8	7.8	6.6	920	安山岩、北上山地、中生界	97	115	
373	a	石鏃	第99号土坑	埋土上位	2.9	1.3	0.4	0.8	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	98	115	
380	b	石匙	第100号土坑	埋土中～下位	3.0	7.3	0.6	10.8	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	98	115	
384	h	凹石、敲石	第138号土坑	埋土中～下位	11.0	6.8	5.1	660	硬砂岩、北上山地、中生界	98	115	
393	f	細部加工剥片	第161号土坑	埋土中～下位	3.9	2.9	1.4	15.2	チャート、北上山地、中生界	98	116	
408	h	凹石	第196号土坑	埋土	13.4	6.3	3.8	420	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	99	116	

<土 器>

番号	出土地点	層 位	器 種	部 位	文 様 ほか	内面	図版	写真
272	第1号土坑	埋土	深鉢	口～体部	二又突起、撚紐圧痕文、複節斜行縄文	ミガキ	94	111
273	第1号土坑	埋土	深鉢	体～底部	単節斜行縄文、綾絡文、底部ミガキ	ミガキ	94	111
274	第1号土坑	埋土	深鉢	完形	撚紐圧痕隆帯、山形口縁、四単位突起、単節斜行縄文、綾絡文	ミガキ	94	111
275	第1号土坑	埋土	深鉢	ほぼ完形	撚紐圧痕隆帯(突起)、撚紐圧痕、複節斜行縄文	ミガキ	94	111
276	第1号土坑	埋土	深鉢	口～体部	二又突起、撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕、爪形刺突文、単節斜行縄文	ミガキ	94	111
277	第1号土坑	埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕、爪形圧痕文	ナデ	94	111
278	第1号土坑	埋土	深鉢?	体部	単節斜行縄文、沈線文	ミガキ	94	111
279	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	口縁部内面肥厚、無文	ナデ	94	111
280	第5号土坑	埋土	壺	体部	羽状縄文	ミガキ	94	111
281	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕、爪形刺突文	ミガキ	94	111
282	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	弁状突起、撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕	ナデ	94	111
283	第5号土坑	埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕	ナデ	94	111
284	第5号土坑	埋土	深鉢	体部	羽状縄文(縦位)	ミガキ	94	111
285	第5号土坑	埋土	深鉢	体部	結節羽状縄文(片側無節)	ミガキ	94	111
286	第6号土坑	埋土	深鉢	体～底部	結節羽状縄文、底部付近ミガキ、小礫を多量に含む	ナデ	95	112
288	第15号土坑	埋土上～中位	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕、爪形刺突文、突起、単節斜行縄文、綾絡文	ミガキ	95	112
289	第15号土坑	埋土中位	深鉢	ほぼ完形	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕、ボグン貼付文、複節斜行縄文	ミガキ	95	112
290	第15号土坑	埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕	ミガキ	95	112
291	第15号土坑	Q 1埋土上～中位	深鉢	口縁部	平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	95	112
293	第16号土坑	Q 3埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯(突起)、撚紐圧痕、単節斜行縄文、綾絡文	ミガキ	95	112
294	第16号土坑	Q 2埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕隆帯、撚紐圧痕	ミガキ	95	112
295	第16号土坑	Q 2埋土	深鉢	口縁部	弁状・橋状突起(撚紐圧痕隆帯)	ミガキ	95	112
296	第20号土坑	埋土	深鉢	口縁部	撚紐圧痕	ミガキ	95	112
297	第22号土坑	埋土上位	深鉢	体部	木目状捺糸文	ミガキ	95	112
298	第27号土坑	埋土下位	深鉢	体部	単節斜行縄文	ミガキ	95	112
299	第34号土坑	埋土上位	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	95	112
300	第36号土坑	埋土下位	鉢	口～体部	平行沈線区画、無節斜行縄文、つまみ出しのコブ	ミガキ	95	112
301	第36号土坑	埋土	鉢	ほぼ完形	無文、あげ底、ミガキ	ミガキ	95	112
302	第36号土坑	埋土中～下位	深鉢	口～体部	無節斜行縄文	ミガキ	95	112

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
304	第40号土坑	埋土上位	鉢	口～体部	口縁部ミガキ、羽状縄文	ミガキ	95	112
305	第49号土坑	埋土上位	深鉢	口縁部	単節縄文	ミガキ	96	113
306	第50号土坑	埋土上～下位	小型鉢	口～体部	ミガキ、無文	ミガキ	96	113
307	第50号土坑	埋土上～下位	鉢	口縁部	単節斜行縄文、平行沈線、口唇部に爪形状の凹み	ミガキ	96	113
308	第50号土坑	埋土上～下位	壺	肩部	磨消縄文、雲形文?	ミガキ	96	113
309	第51号土坑	埋土中～下位	鉢	口～体部	平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	96	113
310	第51号土坑	埋土中～下位	鉢	体部	平行沈線、単節斜行縄文	ミガキ	96	113
311	第52号土坑	埋土上位	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	96	113
312	第52号土坑	埋土上～中位	深鉢	体部	平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	96	113
313	第52号土坑	埋土上～中位	深鉢	口縁部	無節斜行縄文	ナデ	96	113
314	第52号土坑	埋土上～中位	深鉢	体部	羽状縄文	ナデ	96	113
315	第52号土坑	埋土上～中位	ミニチュア		無文	—	—	113
318	第55号土坑	埋土	鉢	口縁部	無節、沈線	ナデ	96	113
319	第55号土坑	埋土	鉢	口～体部	山形突起、沈線、単節斜行縄文	ナデ	96	113
320	第55号土坑	埋土	鉢	口縁部	無節、沈線	ミガキ	96	113
322	第56号土坑	埋土	深鉢	体～底部	単節斜行縄文	ナデ	96	113
326	第57号土坑	埋土	深鉢	口縁部	竹管刺突文、沈線	ミガキ	96	113
327	第59号土坑	埋土中～下位	鉢	体～底部	結節羽状縄文、底部との境に沈線	ミガキ	96	113
328	第59号土坑	埋土中～下位	鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	96	113
329	第59号土坑	埋土中～下位	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	96	113
330	第60号土坑	埋土上位	深鉢	口縁部	羽状縄文	ミガキ	96	113
331	第60号土坑	埋土上位	小型鉢	体～底部	口縁部・体部にコブ全周	ナデ	96	113
332	第63号土坑	埋土	深鉢	口～体部	コブ、単節斜行縄文	ミガキ	96	113
333	第63号土坑	埋土	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	96	113
334	第63号土坑	埋土	鉢	口縁部	無節斜行縄文	ミガキ	96	113
335	第63号土坑	埋土	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	96	113
336	第65号土坑	埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文、口唇部内面肥厚	ナデ	96	113
338	第66号土坑	埋土	深鉢	口縁部	羽状縄文、口唇部内面肥厚	ミガキ	96	114
339	第66号土坑	埋土	壺	肩部	磨消縄文、連弧文(コブ付)?	ミガキ	96	114
340	第66号土坑	埋土	浅鉢	体部	ミガキ、無文	ナデ	96	114
341	第70号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行縄文、小礫、植物繊維合心	ナデ	96	114
342	第74号土坑	埋土最下部	深鉢	体部	木目状燃糸文	ナデ	97	114
343	第74号土坑		深鉢	体部	網目状の櫛描き?	ナデ	97	114
344	第74号土坑		鉢	体部	沈線文	ナデ	97	114
346	第76号土坑		深鉢	口縁部	羽状縄文、口唇部内面肥厚	ミガキ	97	114
347	第77号土坑	埋土	鉢	口縁部	単節斜行縄文、沈線文	ミガキ	97	114
348	第78号土坑	埋土	鉢	口縁部	単節斜行縄文	ナデ	97	114
349	第80号土坑	埋土中～下位	深鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	97	114
350	第82号土坑		深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	97	114
351	第83号土坑	埋土	鉢	底部	単節斜行縄文、高台風	ミガキ	97	114
352	第86号土坑	埋土	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	97	114
353	第86号土坑	底面	小型鉢	ほぼ完形	小波状口縁、羽状縄文、高台風	ミガキ	97	114
354	第87号土坑	底面	小型鉢	完形	磨消縄文、三叉文?、コブ	ナデ	97	114
355	第87号土坑	埋土	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	97	114
356	第87号土坑	埋土	深鉢	口～体部	無節縄文	ナデ	97	114
357	第87号土坑	埋土	注口土器	注口部	ミガキ、アスファルトで補修?	—	97	114
358	第89号土坑	埋土	深鉢	体部	網目状櫛描き?	ナデ	97	114
359	第89号土坑	埋土	小型鉢	口～体部	コブ状の突起、手づくね	ナデ	97	114
360	第89号土坑	埋土	壺	ほぼ完形	口縁部突起、平行沈線、単節斜行縄文、小波状口縁	ミガキ	97	114

323～325 は欠番

番号	出土地点	層位	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
361	第90号土坑	埋土	鉢	体部	網目状襷描き?	ナデ	97	114
362	第92号土坑	埋土	鉢	体部	平行沈線、羽状細文	ミガキ	97	114
363	第94号土坑	埋土	深鉢	口縁部	沈線文、単節斜行細文	ミガキ	97	114
365	第95号土坑	埋土	深鉢	口~体部	羽状細文	ミガキ	97	115
366	第95号土坑	埋土	深鉢	口~体部	単節斜行細文、口唇部内面肥厚	ミガキ	97	115
367	第95号土坑	埋土	壺	肩部	単節斜行細文、平行沈線(半円状)	ナデ	97	115
368	第98号土坑	埋土	深鉢	口縁部	単節斜行細文、平行沈線、口唇部内面やや肥厚	ナデ	98	115
369	第98号土坑	埋土	鉢	口縁部	山形突起、平行沈線	ミガキ	98	115
370	第98号土坑	埋土上~中位	深鉢	口~体部	羽状細文?、輪積み痕	ナデ	98	115
371	第98号土坑	埋土上~中位	深鉢	口縁部	羽状細文	ミガキ	98	115
372	第98号土坑	埋土上~中位	壺	肩部	沈線文	ミガキ	98	115
374	第99号土坑	埋土中位	鉢	口~体部	小波状口縁、単節斜行細文	ミガキ	98	115
375	第99号土坑	埋土中位	鉢	口~体部	沈線区画、磨消細文、コブ	ミガキ	98	115
376	第99号土坑	埋土中位	深鉢	口縁部	羽状細文	ミガキ	98	115
377	第99号土坑	埋土中位	深鉢	体部	平行沈線	ナデ	98	115
378	第99号土坑	埋土中位	鉢	底部	無文	ミガキ	98	115
379	第99号土坑	埋土上~中位	深鉢	口~体部	羽状細文	ミガキ	98	115
381	第100号土坑	埋土中~下位	深鉢	底部	砂粒含む	ナデ	98	115
382	第100号土坑	埋土中~下位	深鉢	口縁部	羽状細文、口唇部内面肥厚	ミガキ	98	115
383	第100号土坑	埋土中~下位	鉢	口縁部	平行沈線、コブ	ミガキ	98	115
385	第138号土坑	埋土中~下位	鉢	口縁部	波状口縁、平行沈線	ナデ	98	115
386	第141号土坑	埋土下位	深鉢	体部	無節	ミガキ	98	115
387	第141号土坑	埋土下位	深鉢	体部	無節?	ナデ	98	115
388	第153号土坑	埋土上~中位	深鉢	体部	複節斜行細文	ミガキ	98	115
389	第157号土坑	埋土	深鉢	体部	無節	ナデ	98	115
390	第157号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行細文	ミガキ	98	115
391	第157号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行細文	ミガキ	98	115
392	第159号土坑	埋土上位	鉢	体部	無文	ナデ	98	116
394	第161号土坑	埋土中~下位	深鉢	体部	沈線区画	ナデ	98	116
395	第162号土坑	埋土	鉢	体部	羽状細文	ミガキ	98	116
396	第165号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行細文	ナデ	98	116
397	第166号土坑	埋土	深鉢	口~体部	単節斜行細文、小礫を多量に含む	ナデ	98	116
398	第167号土坑	埋土	鉢	口~体部	雲形文、磨消細文、平行沈線、列点、突起	ミガキ	98	116
399	第176号土坑	埋土中~下位	深鉢	体部	単節斜行細文	ナデ	99	116
400	第178号土坑	埋土	鉢	口縁部	平行沈線、刺突文	ミガキ	99	116
401	第178号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行細文	ナデ	99	116
402	第178号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行細文、沈線文	ミガキ	99	116
403	第178号土坑	埋土	深鉢	体部	単節斜行細文、沈線文	ナデ	99	116
404	第178号土坑	埋土	鉢	口縁部	刻目、平行沈線、列点	ミガキ	99	116
405	第182号土坑	埋土中~下位	深鉢	体部	単節斜行細文、砂粒を多く含む	ナデ	99	116
406	第192号土坑	埋土上位	深鉢	体部	単節斜行細文、小礫多量に含む	ナデ	99	116
407	第192号土坑	埋土上位	深鉢	体部	綾絡文、単節斜行細文(交差する)	ナデ	99	116
409	第196号土坑	埋土	鉢	口~体部	無文	ナデ	99	116
410	第196号土坑	埋土	鉢	口~体部	単節斜行細文	ナデ	99	116
411	第197号土坑	埋土	深鉢	体部	沈線区画、単節斜行細文、小礫含む	ミガキ	99	116
412	第198号土坑	埋土	深鉢	底部	単節斜行細文	ナデ	99	116
413	第198号土坑	埋土	深鉢	底部	単節斜行細文	ナデ	99	116
414	第198号土坑	埋土	深鉢	口縁部	無文	ナデ	99	116
415	第198号土坑	埋土	深鉢	口縁部	波状口縁?、沈線文	ナデ	99	116

表 7 陥し穴状遺構観察表

遺構名		第1号陥し穴状遺構		第2号陥し穴状遺構		第3号陥し穴状遺構		第4号陥し穴状遺構			
図版	遺構	100	遺物	遺構	100	遺物	遺構	100	遺物		
写真図版	遺構	78	遺物	遺構	78	遺物	遺構	78	遺物		
位置	I F区			III F区			I F区		I F区		
検出状況 重複関係	新期のゴミ穴に一部削平されている。						炭窯に截られる。				
形状	平面形	円形			円形			溝状		円形	
	断面形	逆台形状			ビーカー状			Y字形		逆台形状	
規模 (cm)	開口部径	164×178			132×134			114×?		172×182	
	底部径	93×110			94×106			14~17×360		100×124	
	深さ	120			112			120		96	
埋土	黒色土、黒褐色土主体。崩落したNb-pブロック含む。			黒色土、黒褐色土を主体とし、暗褐色土を含む。			黒色土、黒褐色土を主体とし、崩落したNb-pブロック、地山崩落土を含む。		黒褐色土、黒色土主体。部分的に褐色土含む。		
底面	平坦			やや凹凸あり			ほぼ平坦		平坦		
壁	外反			外傾			外反、崩落あり		直立して外傾		
逆茂木痕	有(1個)	深さ	32cm	有(3個)			無		無		
出土遺物	なし			なし			なし		なし		
時期	縄文			縄文			縄文		縄文		

遺構名		第5号陥し穴状遺構		第6号陥し穴状遺構		第7号陥し穴状遺構		第8号陥し穴状遺構				
図版	遺構	101	遺物	遺構	101	遺物	遺構	101	遺物			
写真図版	遺構	79	遺物	遺構	79	遺物	遺構	79	遺物			
位置	I F区			I F区			I F区		I F区			
検出状況 重複関係												
形状	平面形	長楕円形			不整円形			円形		円形		
	断面形	ビーカー状			ビーカー状			ビーカー状		ビーカー状		
規模 (cm)	開口部径	130×151			153×165			127×140		102×104		
	底部径	72×94			82×90			84×86		78×79		
	深さ	91			138			136		89		
埋土	黒色土を主体とし、壁際に黄褐色土を含む。			上位は黒色土、下位は黒色土の混入するNb-p主体。			上位は黒色土、黒褐色土、下位は黒色土の混入するNb-p主体。		黒色土、黒褐色土を主体とし、崩落したNb-p、暗褐色土を含む。			
底面	平坦			平坦			平坦		ほぼ平坦			
壁	直立し内彎			直立して外傾			直立して外反		外反			
逆茂木痕	無			無			有(1個)	深さ	10cm程度	有(2個)	深さ	ともに10cm程度
出土遺物	なし			なし			なし		なし			
時期	縄文			縄文			縄文		縄文			

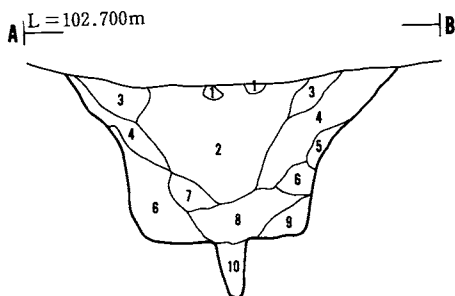
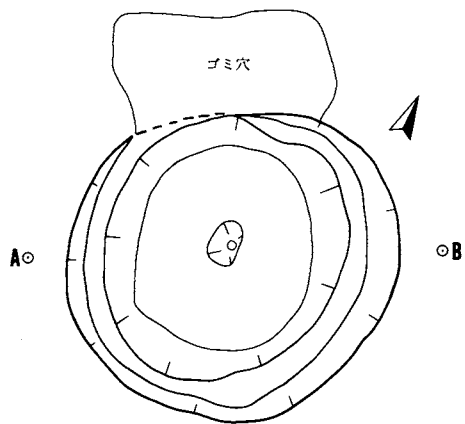
遺構名		第9号陥し穴状遺構		第10号陥し穴状遺構		第11号陥し穴状遺構		第12号陥し穴状遺構	
図版	遺構102	遺物		遺構102	遺物	遺構102	遺物	遺構103	遺物
写真図版	遺構80	遺物		遺構80	遺物	遺構80	遺物	遺構80	遺物
位置	I F区		I F区		II F区		II F区		
検出状況 重複関係									
形状	平面形	円形		円形		円形		円形	
	断面形	ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状	
規模 (cm)	開口部径	114×119		129×130		131×133		138×143	
	底部径	75×76		85×96		86×88		69×78	
	深さ	103		99		112		109	
埋土	上位は黒色土、下位は黒色土、崩落したNb-pが主体で、壁際に暗褐色土が入る。		上位は黒色土、下位は崩落したNb-pが占める。		黒色土と崩落したNb-pからなる。		上位から中位にかけて黒色土、下位は黒褐色土主体。		
底面	やや凹凸がある。		平坦		凹凸あり		平坦		
壁	外傾		外反		外傾		外反ぎみ		
逆茂木痕	有(1個)	深さ	8 cm	有(1個)	有(1個)	深さ	8 cm	無	
出土遺物	土器片		なし		なし		なし		
時期	縄文		縄文		縄文		縄文		

遺構名		第13号陥し穴状遺構		第14号陥し穴状遺構		第15号陥し穴状遺構		第16号陥し穴状遺構		
図版	遺構103	遺物		遺構103	遺物	遺構103	遺物	遺構104	遺物	
写真図版	遺構81	遺物		遺構81	遺物	遺構81	遺物	遺構81	遺物	
位置	II F区		III D区		III D区		III D区			
検出状況 重複関係										
形状	平面形	円形		円形		円形		円形		
	断面形	浅ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状		ビーカー状		
規模 (cm)	開口部径	163×170		144×146		128×129		131×140		
	底部径	107×120		82×93		73×75		58×64		
	深さ	84		89		90		95		
埋土	上位は黒色土、下位は崩落したNb-pと黒色土の互層が主体。		黒色土、黒褐色土主体。褐色の崩落土を含む。		上位は黒色土、中位は黒褐色土、下位は崩落したNb-p主体。		全体に黒色土主体で、下位ではNb-p、暗褐色土との互層になる。			
底面	平坦		ほぼ平坦		平坦		ほぼ平坦			
壁	外反		外傾		外反ぎみ		直立して外傾			
逆茂木痕	無	有(1個)	深さ	28cm	有(3個)	深さ	7～9 cm	有(2本)	深さ	10cm
出土遺物	なし		なし		なし		なし			
時期	縄文		縄文		縄文		縄文			

遺構名		第17号陥し穴状遺構		第18号陥し穴状遺構		第19号陥し穴状遺構		第20号陥し穴状遺構		
図版	遺構 104	遺物		遺構 104	遺物	遺構 104	遺物	遺構 105	遺物	
写真図版	遺構 82	遺物		遺構 82	遺物	遺構 82	遺物	遺構 82	遺物	
位置	III D区			III E区			III E区			
検出状況 重複関係										
形状	平面形	円形			円形			円形		
	断面形	ビーカー状			ビーカー状			ビーカー状		
規模 (cm)	開口部径	145×146			132×139			145×153		
	底部径	82×85			72×77			94×100		
	深さ	95			108			126		
埋土	上位は黒色土、黒褐色土、下位は崩落したNb-p、暗褐色土主体。			上位から中位は黒色土、下位は黄褐色土、崩落したNb-p主体。			黒色土と黒褐色土主体。壁際に地山崩落土含む。			
底面	ほぼ平坦			ほぼ平坦			若干傾斜する			
壁	外反			外反			直立して外傾			
逆茂木痕	有(2個)	深さ	4 cmと10cm	有(2個)	深さ	7 cmと8 cm	有(2個)	深さ	14cmと17cm	
出土遺物	なし			なし			なし			
時期	縄文			縄文			縄文			

遺構名		第21号陥し穴状遺構		第22号陥し穴状遺構						
図版	遺構 105	遺物		遺構 105	遺物	遺構	遺物	遺構	遺物	
写真図版	遺構 83	遺物		遺構 83	遺物	遺構	遺物	遺構	遺物	
位置	III E区			III F区						
検出状況 重複関係										
形状	平面形	円形			円形					
	断面形	ビーカー状			ビーカー状					
規模 (cm)	開口部径	150×161			123×124					
	底部径	73×77			74×80					
	深さ	122			110					
埋土	黒色土、黒褐色土を主体とし、下位は崩落したNb-pを多量に含む。			上位から中位は黒色土、下位は崩落したNb-pで、壁際に崩落土を含む。						
底面	波打つ			平坦						
壁	直立して外反			直立して外反						
逆茂木痕	有(2個)	深さ	14cmと20cm	有(2個)	深さ	ともに5 cm				
出土遺物	なし			なし						
時期	縄文			縄文						

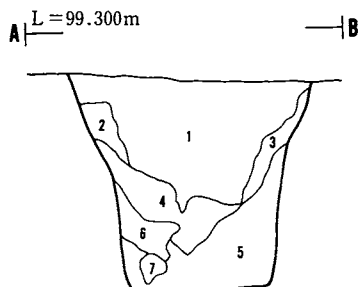
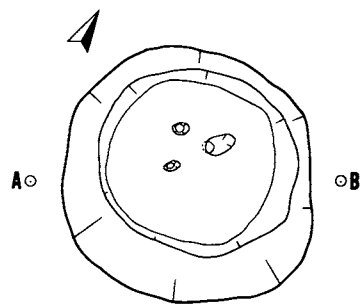
(高橋・濱田・田中)



第1号陥し穴状遺構

第1号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土。ブロック状。
2. 10Y R1.7/1 黒色土。Nbp 20~30%含む。
3. 7.5Y R2/2黒褐色土。Nbp 3%含む。
4. 10Y R2/3黒褐色土。Nbp 10%含む。
5. 7.5Y R3/4暗褐色土。地山崩落土。
6. 10Y R5/6黄褐色土。帯状に黒褐色土含む。
7. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp 40%含む。
8. 10Y R2/1黒色土。Nbp 50%含む。
9. 10Y R3/3 暗褐色土。地山崩落土とNbpの混土。
10. 10Y R4/4褐色土。浅黄橙色土含む。



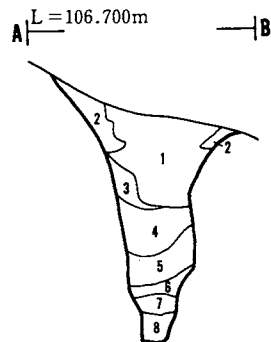
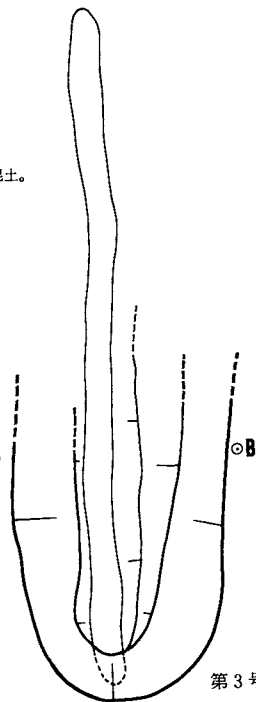
第2号陥し穴状遺構

第2号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土。Nbp 5%含む。
2. 10Y R2/1黒色土。Nbp 10%含む。
3. 10Y R1.7/1黒色土。Nbp 7%含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp 70% (汚れ) 含む。
5. 10Y R3/3暗褐色土。粗砂含む。
6. 10Y R2/2黒褐色土。Nbp 5%含む。
7. 10Y R3/4暗褐色土。地山崩落土。

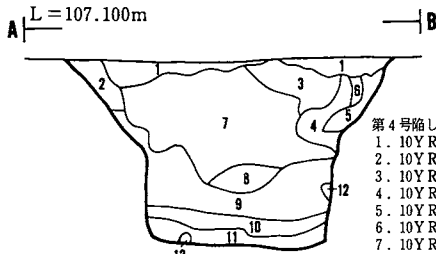
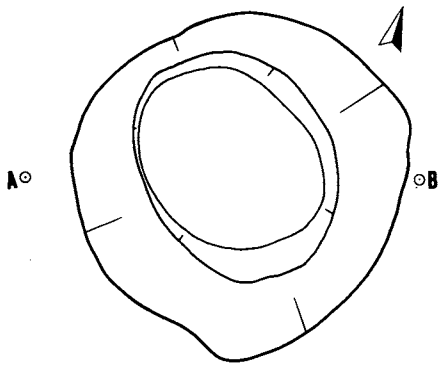
第3号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nbp 2%~3%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。Nbp 5%。黒色土の混土。
3. 10Y R5/6黄褐色土。Nbp。崩落したNbp。
4. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。汚れたNbp 20%。黒色土。褐色土の混土。
5. 10Y R2/1黒色土。砂質シルト。水気多い。Nbp 微量含む。
6. 10Y R4/4褐色土。ローム。地山崩落土。
7. 10Y R1.7/1黒色土。粘土質シルト。汚れたNbp 微量含む。砂を感じる。
8. 10Y R5/6黄褐色土。砂質粘土。黒色土ブロック含む。



第3号陥し穴状遺構

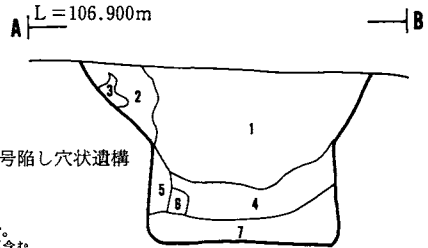
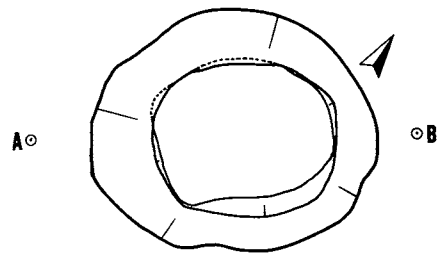
図100 陥し穴状遺構(1)



第4号陥し穴状遺構

第4号陥し穴状遺構

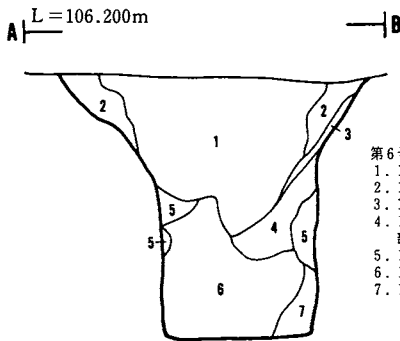
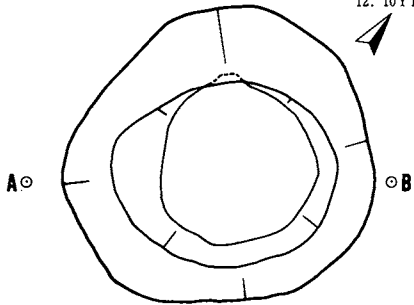
1. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp 2%含む。
2. 10Y R3/2黒褐色土。シルト。Nbp 10~20%含む。
3. 10Y R2/3黒褐色土。粘土質シルト。Nbp 2%含む。
4. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。暗褐色土ブロック含む。
5. 10Y R4/4褐色土。粘土質シルト。暗褐色土粒含む。
6. 10Y R4/6褐色土。ローム。地山崩落土のブロック。
7. 10Y R1.7/1黒色土。砂質シルト。Nbp 20~30%含む。
8. 10Y R1.7/1黒色土。粘土質シルト。Nbp 30~40%含む。
9. 10Y R2/3黒褐色土。シルト。Nbp 50%以上。黒色土との混土。
10. 10Y R4/4褐色土。Nbp。暗褐色土との混土。Nbp 50%以上含む。
11. 10Y R2/2黒褐色土。粘土質シルト。粒径の小さいNbp 50%以上含む。
12. 10Y R5/6黄褐色土。ローム。地山崩落のブロック。



第5号陥し穴状遺構

第5号陥し穴状遺構

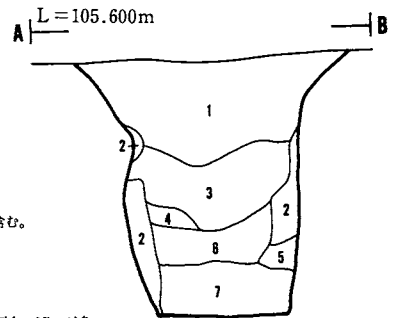
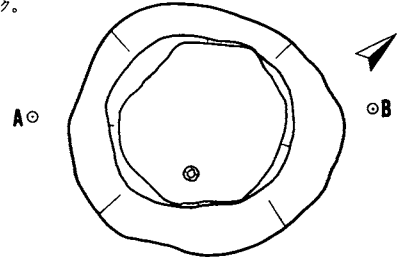
1. 10Y R1.7/1黒色土。粘土質シルト。Nbp 30%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土。粘土質シルト。Nbp 20%含む。
3. 10Y R4/3にぶい黄褐色土。粘土質シルト。Nbp 5%含む。地山崩落土。
4. 10Y R5/6黄褐色土。Nbp。黒色土との混土。崩落したNbp。
5. 10Y R3/4暗褐色土。ローム。Nbp微量含む。
6. 10Y R2/2黒褐色土。シルト。暗褐色土の小ブロック含む。
7. 10Y R1.7/1黒色土シルト。Nbp 10%含む。



第6号陥し穴状遺構

第6号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土。粘土質シルト。Nbp 30%含む。
2. 10Y R2/1黒色土。シルト。Nbp 20%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土。Nbp。崩落したNbp。
4. 10Y R2/1と10Y R5/6黄褐Nbpの混土で、部分的に崩落土含む。
5. 10Y R5/4黄褐色土。ローム。地山崩落土。
6. 10Y R5/6黄褐色土。Nbp。黒色土との混土で割合にNbpが多い。
7. 10Y R5/4にぶい黄褐色土。砂質ローム。砂を強く感じる。

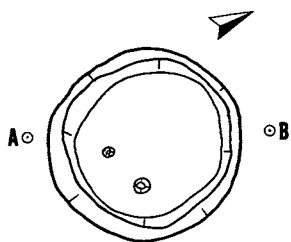


第7号陥し穴状遺構

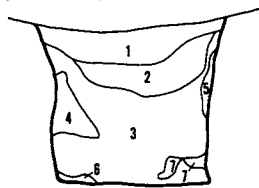
第7号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土。粘土質シルト。Nbp 30%以上含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土。ローム。地山崩落土。
3. 10Y R2/2黒褐色土と10Y R5/6黄褐Nbpの互層。
4. 10Y R3/4暗褐色土。ローム。崩落したNbp(径小さい)含む崩落土。
5. 10Y R4/4暗褐色土。砂。粗砂のブロック。
6. 10Y R5/6黄褐色土。Nbp。汚れ少ない崩落Nbp。
7. 10Y R2/1黒色土と10Y R5/6黄褐色Nbpの互層。割合は黒色土が多い。

図101 陥し穴状遺構(2)



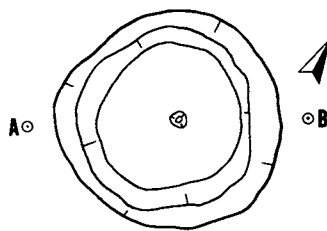
L=104.400m



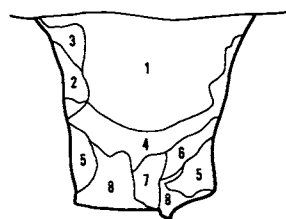
第8号陥し穴状遺構

第8号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 3%含む.
2. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 地山崩落土.
3. 10Y R3/2黒褐色土. シルト. Nbp 20~25%含む
4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp 10%含む.
5. 10Y R3/4暗褐色土. ローム. 地山崩落土.
6. 10Y R4/4暗褐色土. シルト.
7. 10Y R2/1黒褐色土.



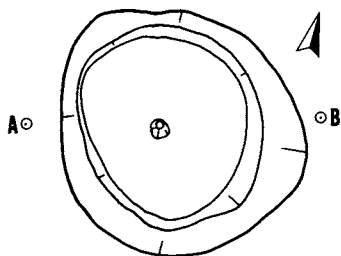
L=104.100m



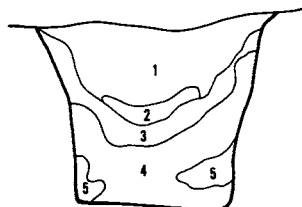
第9号陥し穴状遺構

第9号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp 10%含む.
2. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 黒褐色土との混土.
3. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp 20%含む.
4. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 黒色土わずかに含む.
5. 10Y R3/3暗褐色土. ローム. 地山崩落土.
6. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 粒径の小さいNbpブロック.
7. 10Y R2/1黒色土. シルト. Nbp 20%含む.
8. 10Y R1.7/1黒色土. シルト. 粒径の小さいNbp 50%以上含む.



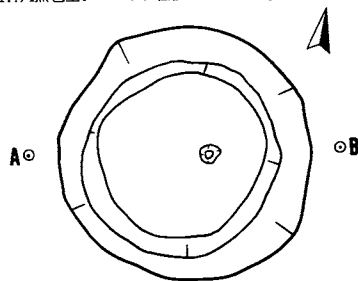
L=104.200m



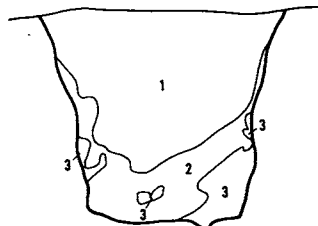
第10号陥し穴状遺構

第10号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp 10%含む.
2. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 黒褐色土との混土.
3. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp 20%含む.
4. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 黒色土をわずかに含む.



L=104.300m

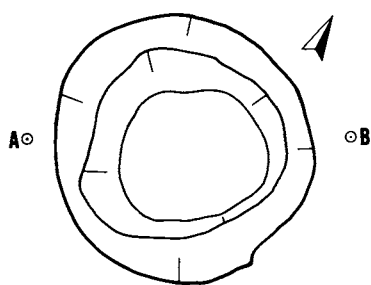


第11号陥し穴状遺構

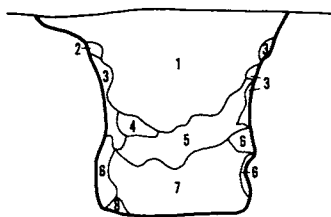
第11号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp 30%含む.
2. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 黒褐色土との混土.
3. 10Y R3/3暗褐色土. ローム. 地山崩落土.

図102 陥し穴状遺構(3)



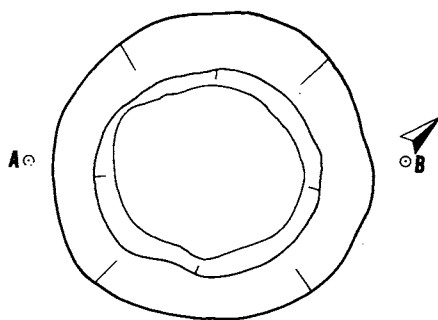
A | L = 105.000m | B



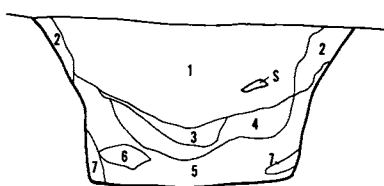
第12号陥し穴状遺構

第12号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp、30~40%含む。褐色土小ブロック部分的に含む。
2. 10Y R3/4暗褐色土、シルト、Nbp含むブロック。
3. 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土。
4. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、黒褐色土との混土。
5. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp20%含む。
6. 10Y R6/6明黄褐色土、砂、地山崩落土。
7. 10Y R2/2黒褐色土、砂質シルト、黄褐色土しま状のブロック、Nbp50%含む混土。
8. 10Y R7/3にぶい黄橙色土、ローム、地山崩落土。



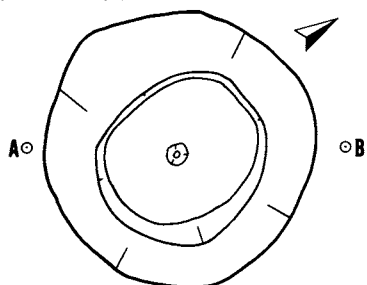
A | L = 102.100m | B



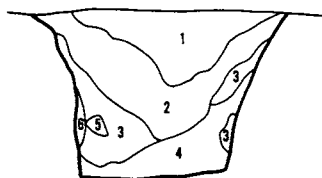
第13号陥し穴状遺構

第13号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp50%含む。
2. 10Y R2/2黒褐色土、粘土質シルト、Nbp30%含む。
3. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、黒褐色土との混土。汚れNbp。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp30%含む。
5. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、しま状に黒褐色土含む、汚れNbp。
6. 10Y R3/3暗褐色土、ローム、ロームブロック。
7. 10Y R3/4暗褐色土、ローム、地山崩落土。



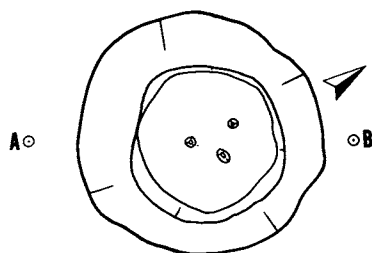
A | L = 101,800m | B



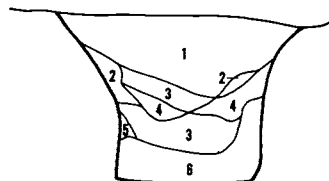
第14号陥し穴状遺構

第14号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土、シルト、Nbp5%含む。
2. 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Nbp30%以上含む。
3. 10Y R2/3黒褐色土、シルト・Nbp、Nbp50%以上含む。
4. 10Y R1/2黒色土、シルト・Nbp、Nbp30%含む。
5. 10Y R3/2黒褐色土、ローム、ロームブロック。
6. 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土。



A | L = 100.700m | B

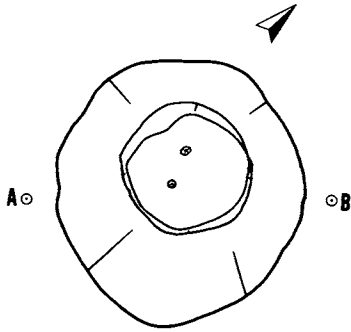


第15号陥し穴状遺構

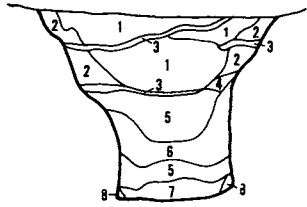
第15号陥し穴状遺構

1. 7.5Y R2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp20%~30%含む。
2. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、崩落したNbp。
3. 10Y R3/1黒褐色土、シルト、Nbp50%以上含む。
4. 10Y R2/2黒褐色土、シルト、Nbp20%含む。
5. 10Y R4/4褐色土、ローム、地山崩落土。
6. 10Y R5/6黄褐色土、Nbp、黒色土などの混入物の少ないNbp、褐色土の崩落土含む。

図103 陥し穴状遺構(4)



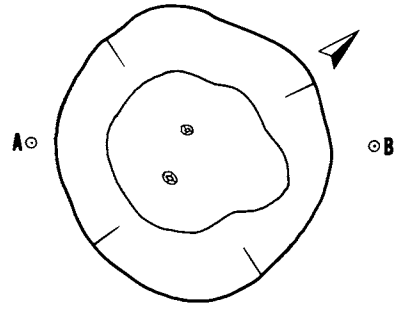
L = 100.800m



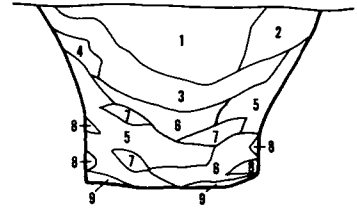
第16号陥し穴状遺構

第16号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 1.7/1黒色土、粘土質シルト、Nbp3%含む。
2. 10 Y R 2/3黒褐色土、Nbp10%含む。
3. 10 Y R 6/4にぶい黄褐色土、砂、下から噴き上がった砂層のすじ。
4. 10 Y R 5/4にぶい黄褐色土、砂+Nbp、3層のすじとNbpの混土。
5. 10 Y R 2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp30~40%含む。
6. 10 Y R 5/6黄褐色土、Nbp、崩落したNbp、黒褐色土に混入する。
7. 10 Y R 暗褐色土、粘土質シルト、Nbp30%含む。
8. 10 Y R 暗褐色土、ローム、地山崩落土。



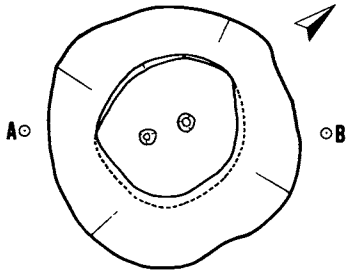
L = 101.100m



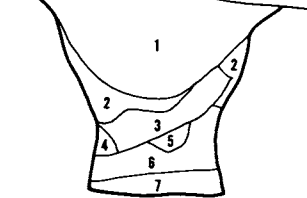
第17号陥し穴状遺構

第17号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp20%含む。
2. 10 Y R 3/1黒褐色土、粘土質シルト、Nbp10%含む。
3. 7.5 Y R 3/5黒褐色土、粘土質シルト、Nbp20%含む。
4. 10 Y R 4/4褐色土、砂質シルト、Nbp含み、かたい。
5. 10 Y R 5/6黄褐色土、Nbp、崩落したNbp。
6. 10 Y R 3/1黒褐色土、粘土質シルト、粒径の大きい(φ10mm)Nbp含む。
7. 2.5 Y R 2/1黒色土、粘土質シルト、ブロック、灰色がかっている。
8. 10 Y R 4/3にぶい黄褐色土、地山崩落土。
9. 10 Y R 3/3暗褐色土、地山崩落土。



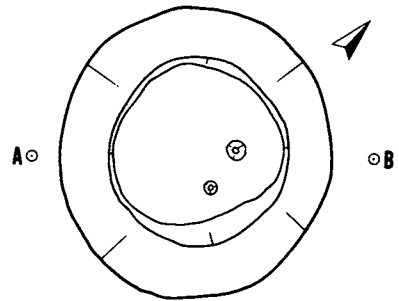
L = 100.700m



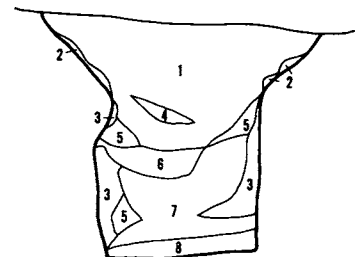
第18号陥し穴状遺構

第18号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp3~5%含む。
2. 10 Y R 5/6黄褐色土、Nbp、地山崩落土。
3. 10 Y R 2/1黒色土、シルト、Nbp2~3%含む。
4. 10 Y R 4/6褐色土、シルト、地山崩落土。
5. 10 Y R 2/1黒色土、シルト、Nbp5~7%含む。
6. 10 Y R 5/6黄褐色土、Nbp、汚れNbp(黒色土15~20%含む)。
7. 10 Y R 5/8黄褐色土、砂質シルト。



L = 100.700m

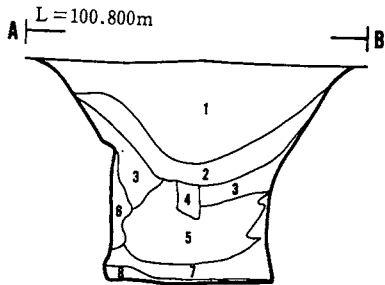
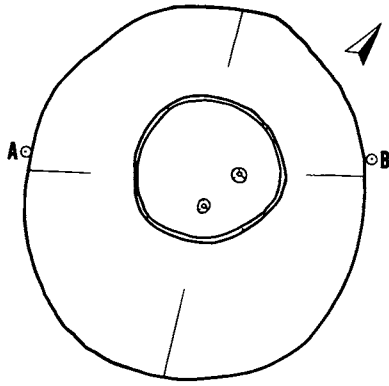


第19号陥し穴状遺構

第19号陥し穴状遺構

1. 10 Y R 2/1黒色土、粘土質シルト、Nbp20%含む。汚れNbpをブロックで含む。
2. 10 Y R 4/3にぶい黄褐色土、シルト+Nbp、崩落したNbp含む(20%)。
3. 10 Y R 3/4暗褐色土、ローム、地山崩落土。
4. 10 Y R 3/1黒褐色土、シルト+Nbp、粒径の小さいNbp30%含む。
5. 10 Y R 2/2黒褐色土、シルト+Nbp、粒径の小さいNbp20%含む。
6. 10 Y R 5/6黄褐色土、Nbp崩落したNbp。
7. 10 Y R 2/3黒褐色土、シルト、Nbp30%含む。
8. 10 Y R 4/4褐色土、シルト、黒色土ごましお状に含む。

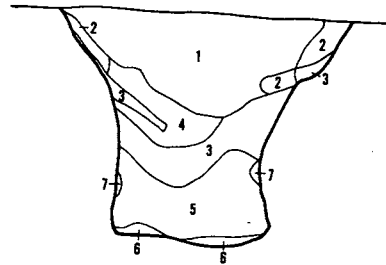
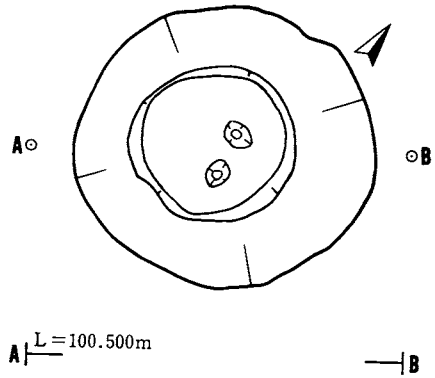
図104 陥し穴状遺構(5)



第20号陥し穴状遺構

1. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. 噴射現象(にぶい黄褐色土) 含む. Nbp3%含む.
2. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp7%含む.
3. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 地山崩落土.
4. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 汚れNbp(黒色土微量含む).
5. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 汚れNbp(黒色土15~20%含む).
6. 10Y R5/6黄褐色土. 粘土質シルト. 地山崩落土.
7. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 汚れNbp(黒色土3~5%含む).
8. 10Y R5/6黄褐色土. 粘土質シルト. 地山崩落土.

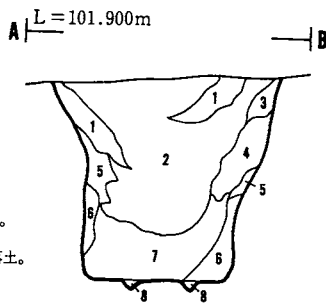
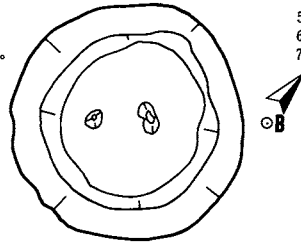
第21号陥し穴状遺構



第21号陥し穴状遺構

第21号陥し穴状遺構

1. 10Y R1.7/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp20~30%含む.
2. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp20%含む.
3. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbp.
4. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. 粒径の大きい(φ10mm大) Nbp20%含む.
5. 10Y R3/2黒褐色土. シルト+Nbp. Nbp40%以上含む混土.
6. 10Y R3/4暗褐色土. シルト. しまりなくNbp微量含む.
7. 10Y R3/3暗褐色土. ローム. 地山崩落土(ロームブロック).



第22号陥し穴状遺構

1. 10Y R3/2黒褐色土. 粘土質シルト. Nbp1%. φ5~10mmの小礫含む.
2. 10Y R2/1黒色土. 粘土質シルト. Nbp5%. φ5~15mm大の小礫含む.
3. 10Y R2/2黒褐色土. シルト. Nbp1%含む.
4. 10Y R4/4褐色土. シルト. Nbp30%. 黒褐色土ブロック含む地山崩落土.
5. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 崩落したNbp.
6. 10Y R3/4暗褐色土. ローム. 地山崩落土.
7. 10Y R5/6黄褐色土. Nbp. 黒褐色土を全体に含む. 崩落したNbp層.
8. 10Y R2/1黒色土. シルト.

第22号陥し穴状遺構

図105 陥し穴状遺構(6)

8. 炉跡と出土遺物

炉跡は6基検出された。いずれも数個の礫を伴う石囲炉であるが、焼成が不良で焼土の形成がみられないものもある。時期はすべて縄文時代である。

第1号炉跡

遺構（図106、写真図版84）

（位置）V E区の平坦面 （検出面）V層上面で数個の礫と焼土を確認。

（形状）円形の石囲炉と思われるが、一部の構成礫ははずれてまわりに散在している。

（規模）現存値で42×60cmを測る。焼土は18×28cmで不整形で、厚さは10cmほどである。

（遺物）なし （その他）周辺に柱穴等は見られない。

第2号炉跡

遺構（図106、写真図版84）

（位置）V E区の平坦面にあり、第1号炉跡とは南に37mほどの距離がある。

（検出面）IV層～V層上面で礫と焼土を確認。

（形状）石囲炉で一部礫が抜き取られている。

（規模）直径76cm位と思われ、焼土は20cmの正形状を呈する。焼土の厚さは20cmで、焼成は良好である。

（遺物）周囲から土器片一片が出ている。（その他）構成礫の抜き取り痕が見られる。

第3号炉跡

遺構（図106、写真図版85）

（位置）V E区東側の削平の著しい部分にあり、一部破壊されている。

（検出面）八戸火山灰層で古代第6号住居跡とともに検出された。

（形状）石囲炉であるが、検出作業の際に礫を動かしてしまっている。

（規模）43cmほどの径を持つものと思われ、焼土は一辺18cmの正形状を呈する。最大厚は3cmと薄い。焼成は良くない。（その他）古代の住居跡に載られる。

遺物（図106、写真図版85）

416は炉の構成礫であるが、2面に擦面をもつ台石である。器面は非常に滑らかで、砥石の可能性もある。

第4号炉跡

遺構（図106、写真図版85）

（位置）V E区の第4号住居跡の埋土中位で、第5号炉跡とともに確認された。住居跡の精査の段階で検出されたが、その時点で炉跡に伴う柱穴等の確認をしなかったため、炉跡として処理するが、住居跡があった可能性が高い。

(検出面) 第4号住居跡埋土3~4層(形状)石囲炉で一部構成礫を失っている。

(規模) 現存する部分から70cmほどの規模と考えられる。焼土は27cm×37cmの不整形で、厚さは最大6cmを測る。(その他) なし。

遺物(図107、写真図版110)

417は使用痕のみられる剥片、418は凹石で炉の構成礫として出土した。土器では、鉢の体部が出土している。

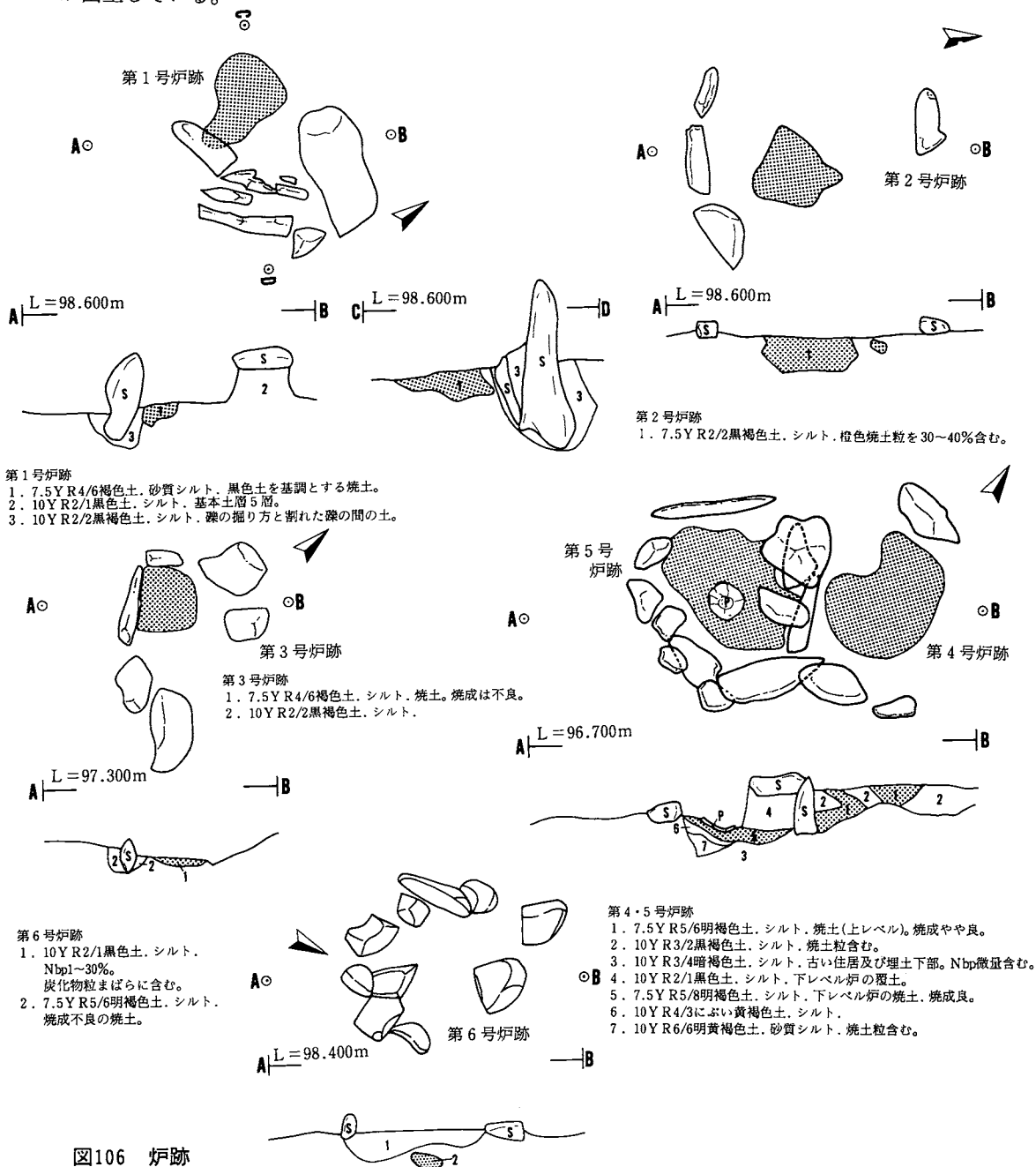


図106 炉跡

第5号炉跡

遺構 (図106、写真図版85)

(位置) 第4号炉跡に同じ。 (検出面) 第4号炉跡より数cmレベルが下がる。

(規模) 直径62cmの円形を呈する。焼成の良好な焼土は、32cm×42cmの不整形で、厚さは4cmである。(その他) なし。

遺物 (図107、写真図版110)

鉢の体部と口縁部破片が出土している。

第6号炉跡

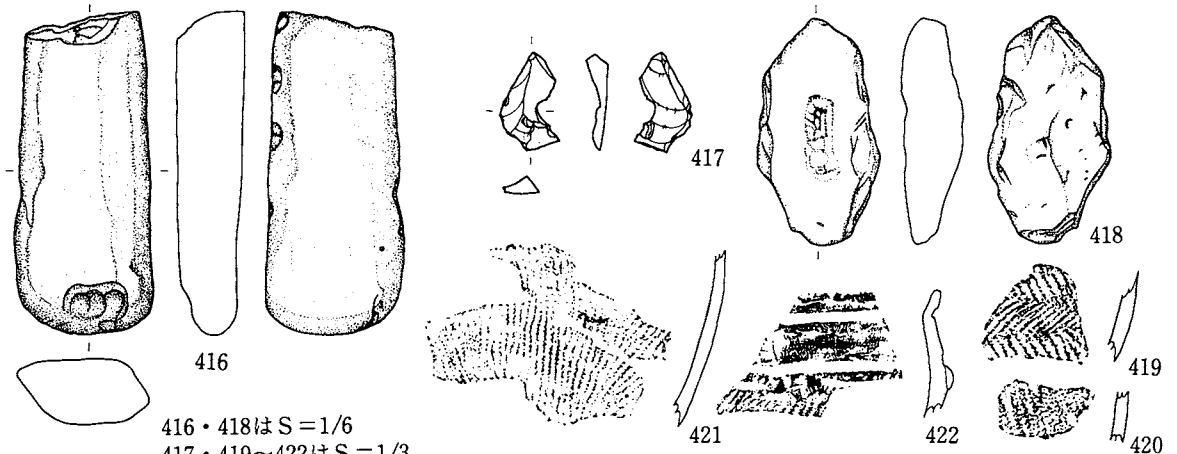
遺構 (図106、写真図版85)

(位置) VE区の平坦面 (検出面) V層上面で構成礫と炉に伴う台石を確認。

(規模) 直径55cmほどの石囲炉と思われるが、焼土は焼成の良くないものがわずかに見られる程度である。(遺物) なし

(その他) 周辺に柱穴等は確認されなかった。

(濱田)



416・418はS=1/6
417・419~422はS=1/3

図107 炉跡出土遺物

表8 炉跡出土遺物一覧表

<石 器>												
番号	分類	器 種	出土地点	層 位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石 質	図版	写真	備 考
416	i	台石	第3号炉跡	炉の構成石	26.1	10.5	5.2	2590	凝灰岩、北上山地、中生界	107	110	
417		使用痕のある剥片	第4号炉跡	焼土内	3.9	2.1	0.9	4.3	チャート質粘板岩、北上山地、中生界	107	110	
418	h	凹石	第4号炉跡	炉の構成石	13.6	7.4	3.5	380	凝灰岩、北上山地、中生界	107	110	

<土 器>										
番号	出土地点	層 位	器 種	部位	文 様 ほか	内面	図版	写真		
419	第4号炉跡	焼土内	鉢	体部	羽状縄文	ナデ	107	110		
420	第4号炉跡		鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	107	110		
421	第5号炉跡		鉢	体部	単節斜行縄文	ナデ	107	110		
422	第5号炉跡		鉢	口縁部	沈線、コブ、単節斜行縄文	ミガキ	107	110		

9. 焼土遺構

焼土遺構は10基検出された。そのうち縄文時代に属するものは4基、中世以降のものは3基、時期不明のものは3基である。詳細は表9で示したとおりである。(高橋)

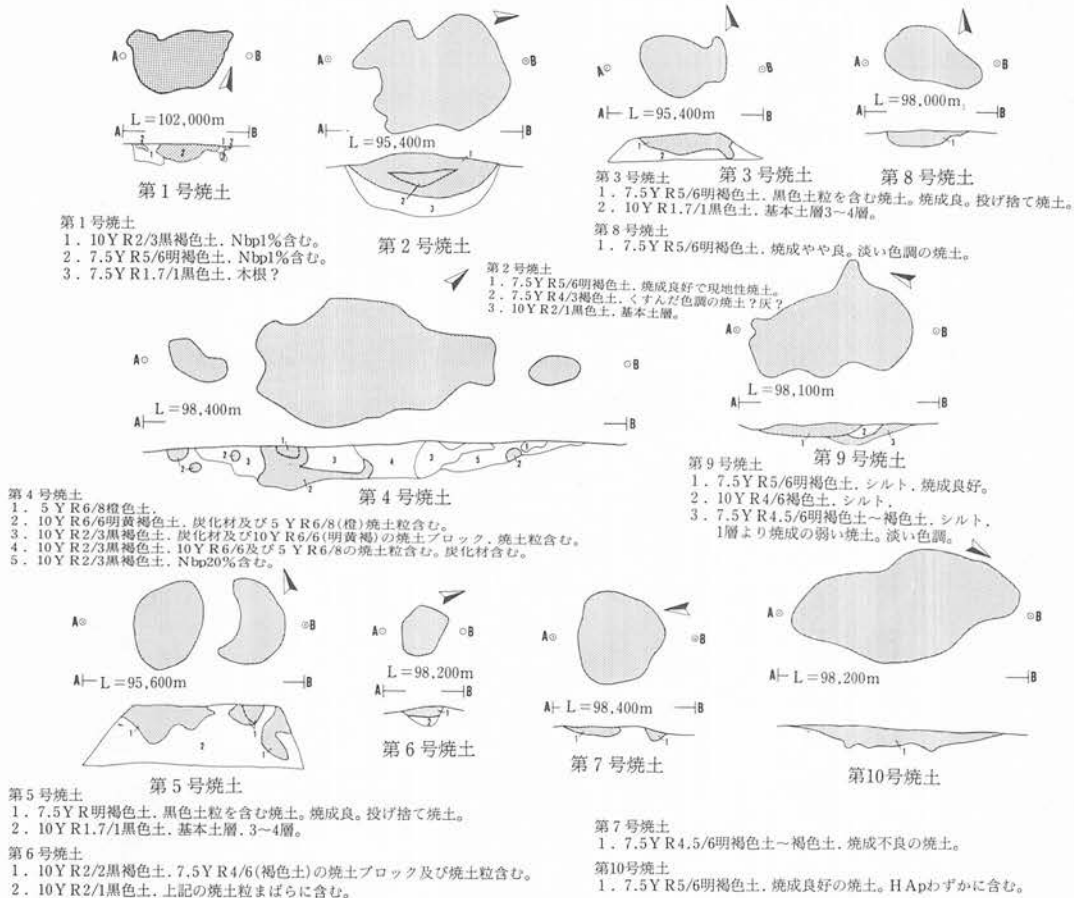


図108 焼土遺構

表9 焼土遺構観察表

遺構名	第1号焼土遺構	第2号焼土遺構	第3号焼土遺構	第4号焼土遺構	第5号焼土遺構
位置	調査区南西部のI F区	調査区北東部のV C区	調査区北東部のV C区	調査区北東部のV D区	調査区北東部のV D区
検出面	第V層	第II層	第II層	第V層	第II層
形状・規模	不整形・53cm×86cm 厚さ 最大16cm	不整形・62cm×64cm 厚さ 最大20cm	不整形・29cm×39cm 厚さ 最大19cm	不整形・56cm×186cm 厚さ 最大20cm	不整形・30cm×42cm 厚さ 最大17cm
状況	根による攪乱がみられるが、焼成の良好な現地性焼土である。	焼土内に灰(?)が含まれる。焼成の良好な現地性焼土である。	黒色土を含む。焼成の良好な異地性焼土である。鉄滓が出土した。	炭化物粒を含む。焼成不良の廃棄された異地性焼土である。	黒色土を含む。焼成の良好な異地性焼土である。
時期	不明	中世以降	中世以降	不明	中世以降
遺構名	第6号焼土遺構	第7号焼土遺構	第8号焼土遺構	第9号焼土遺構	第10号焼土遺構
位置	調査区中央部よりやや南のV E区	調査区南部のV F区	調査区南部のV F区	調査区南部のV F区	調査区南部のV F区
検出面	第V層	第VII層	第VII層	第VII層	第VII層
形状・規模	不整形円形・20cm×25cm 厚さ 最大9cm	不整形円形・39cm×42cm 厚さ 最大4cm	不整形・24cm×46cm 厚さ 最大6cm	不整形・36cm×74cm 厚さ 最大10cm	不整形・50cm×104cm 厚さ 最大10cm
状況	焼成不良の異地性焼土である。	焼成不良の現地性焼土である。	焼成のやや良い現地性焼土である。	焼成の良好な現地性焼土である。	八戸浮石粒をわずかに含む焼成の良好な現地性焼土である。
時期	不明	縄文時代早期	縄文時代早期	縄文時代早期	縄文時代早期

V 遺構外の出土遺物

1. 石器類 (図109～127、写真図版117～133)

遺物外の石器・石製品の総数は、1000以上に及ぶ。石器は500点余り、石製品は60点余りを登録し、最終的にはあわせて182点を掲載した。

器種別にまとめたが、各器種内での分類についてはそれぞれの項目で示している。

a. 石鏃 (17点)

第I群 無茎鏃…茎がないもの

1類 平基……基部が平らなもの (423、424、425、426)

2類 凹基……基部に抉入を有しそれが深いもの (428、430)

〃 浅いもの (427、429、431)

3類 円基……基部が円みを帯びるもの (432、433)

第II群 有茎鏃…茎があるもの

1類 身部が長いもの (434、435)

*すべて凸基有茎鏃のため
身部の長さで分類した。

2類 身部が短いもの (436、437、438、439)

b. 石匙 (4点)

第I群 横長石匙…刃部が横となるもの (440)

第II群 縦長石匙…刃部が縦となるもの (441、442、443)

c. 石筥 (5点) <石器自体の形状により細分>

第I群 刃部に向けて側縁が開くもの

1類 直線的に開くもの (444、445)

2類 全体に丸みを持って開くもの (446、447)

第II群 楕円形に近い形状のもの (448)

d. 搔器・削器 (12点) <刃部の形状により細分>

第I群 刃部が凹状のもの (449、450、451、452、453)

第II群 刃部が凸状のもの (454、455、456、457、458)

第III群 刃部が直状のもの (459、460)

e. 楔形石器 (2点) ……両極剝離痕が認められる四角形の石器 (461、462)

f. 細部加工剝片 (2点) …剝片の一部にわずかな調整加工を有するもの (463、464)

g. 石斧 (13点)

第I群 打製石斧 (465、466、467)

第II群 磨製石斧 (468、469、470、471、472、473、474、475、476、477)

h. 磨石・凹石・敲石・半円状偏平石器（49点）…これらすべてを一括して扱い、複数の使用痕を有するものはそれぞれの組み合わせで細分した

第I群 磨石…摩擦痕を有する礫石器（478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496）

第II群 凹石…擦り凹められた痕跡を持つ礫石器（497、498、499、500、501、502、503、504、505、506）

第III群 敲石…敲打に使用された痕跡を持つ礫石器（507、508、509、510）

第IV群 磨石+敲石（511、512、513）

第V群 凹石+敲石（514、515）

第VI群 半円状偏平石器…半円状から楕円形状の自然礫の側辺部に摩擦痕、敲打痕を有する石器で、整形のために剝離調整を加えているものも見られる。

1類 敲打の痕跡を持つ（516、517）

2類 摩擦の痕跡を持つ（518、519、520、521、522、523、524）

3類 2類の特徴+敲石（525）

4類 半円の面に使用痕を持つ（526）

i. 石皿・台石（2点）…自然石の中央部が凹んでいる皿状の礫石器（527、528）

j. 石錘（8点）………二個一対の抉入を有する礫石器

第I群 小型のもの（529、530、531、532、533）

第II群 大型のもの（534、535）

第III群 その他（536）

k. 砥石（4点）

第I群 手持ちの砥石（537、538）

第II群 置き砥石（539）

第III群 有溝砥石（540）

l. 円盤状石製品（63点）〈直径により細分〉（VI まとめ4. 参照）

第I群 直径が3.0cm以下（541、542）

第II群 3.1～4.0cm（543～563）

第III群 4.1～5.0cm（564～594）

第IV群 5.1～6.0cm（595～599）

第V群 6.1～7.0cm（600～602）

第VI群 7.1cm以上（603）

m. その他の石製品（604）…小型磨製石斧の欠損品か？

（濱田）

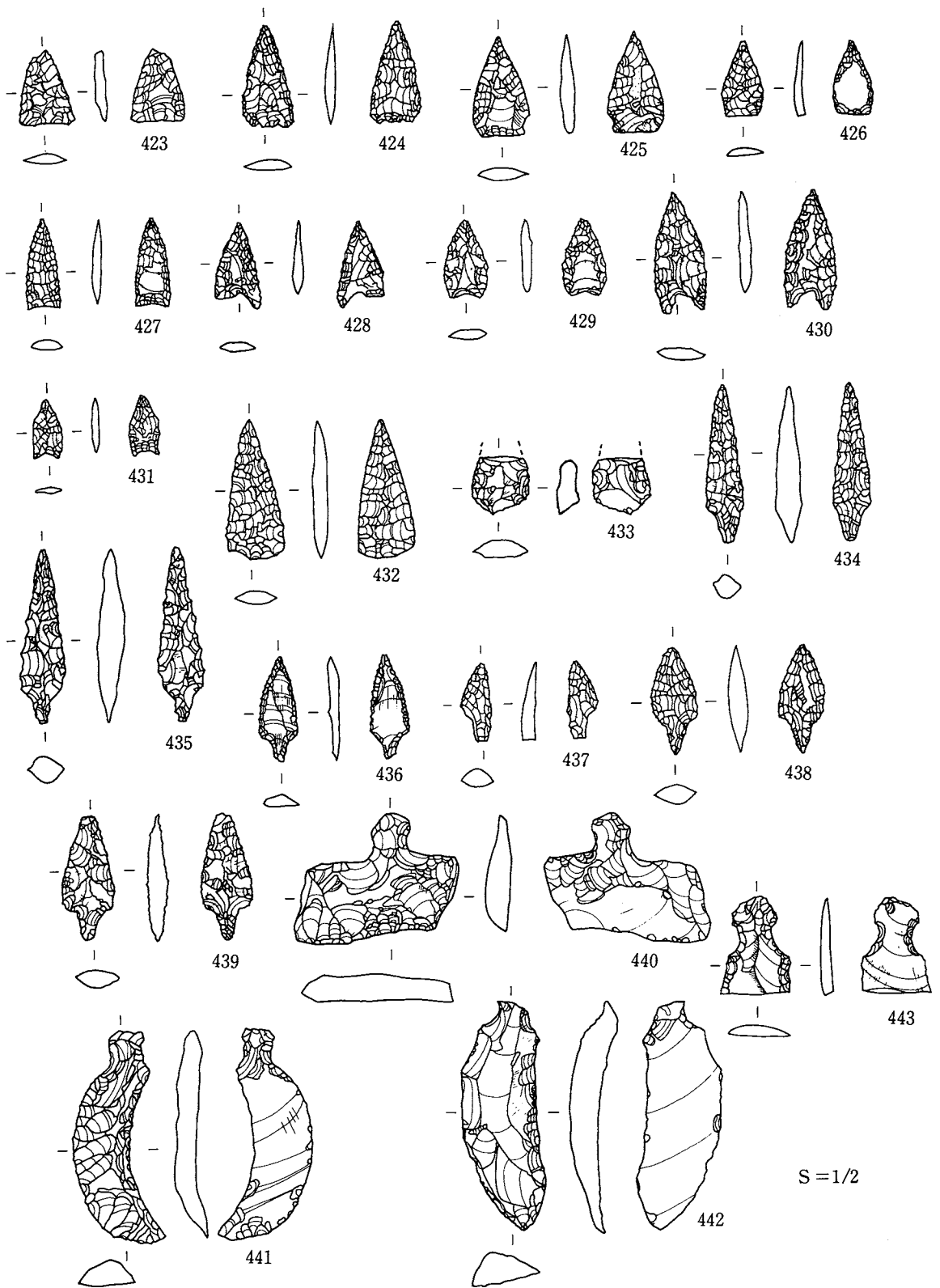


图109 遺構外出土石器類(1)

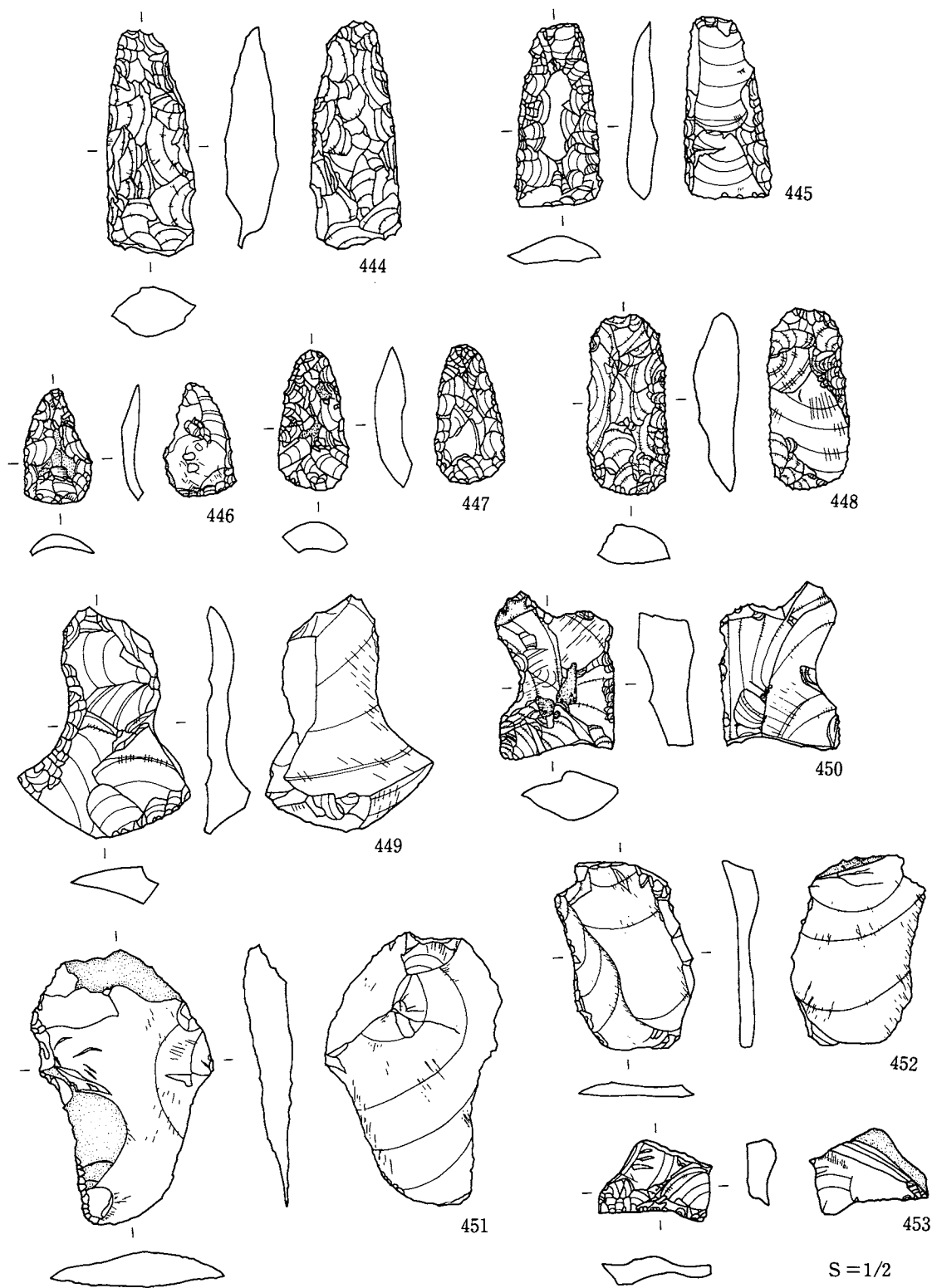


图110 遺構外出土石器類(2)

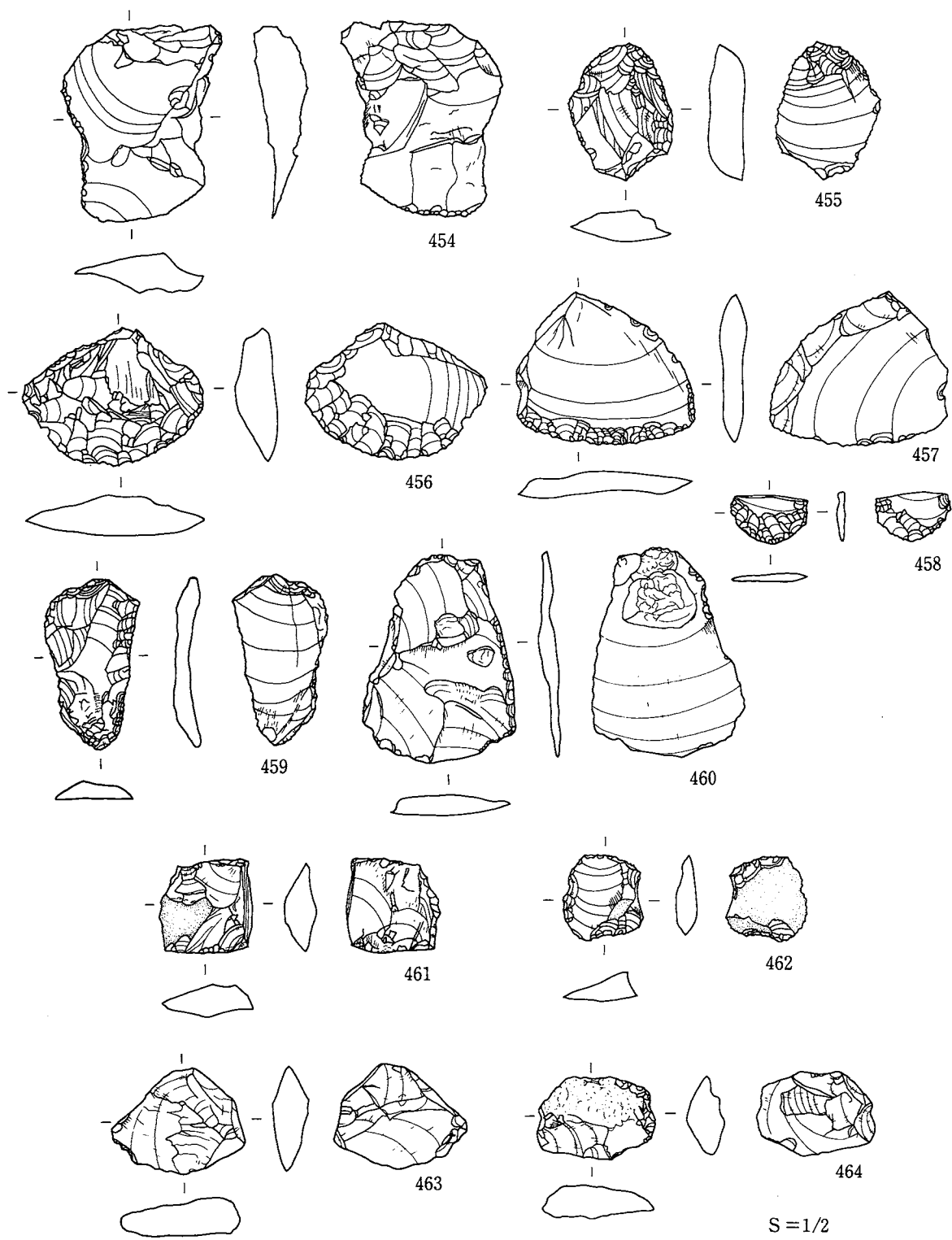


图111 遺構外出土石器類(3)



图112 遺構外出土石器類(4)

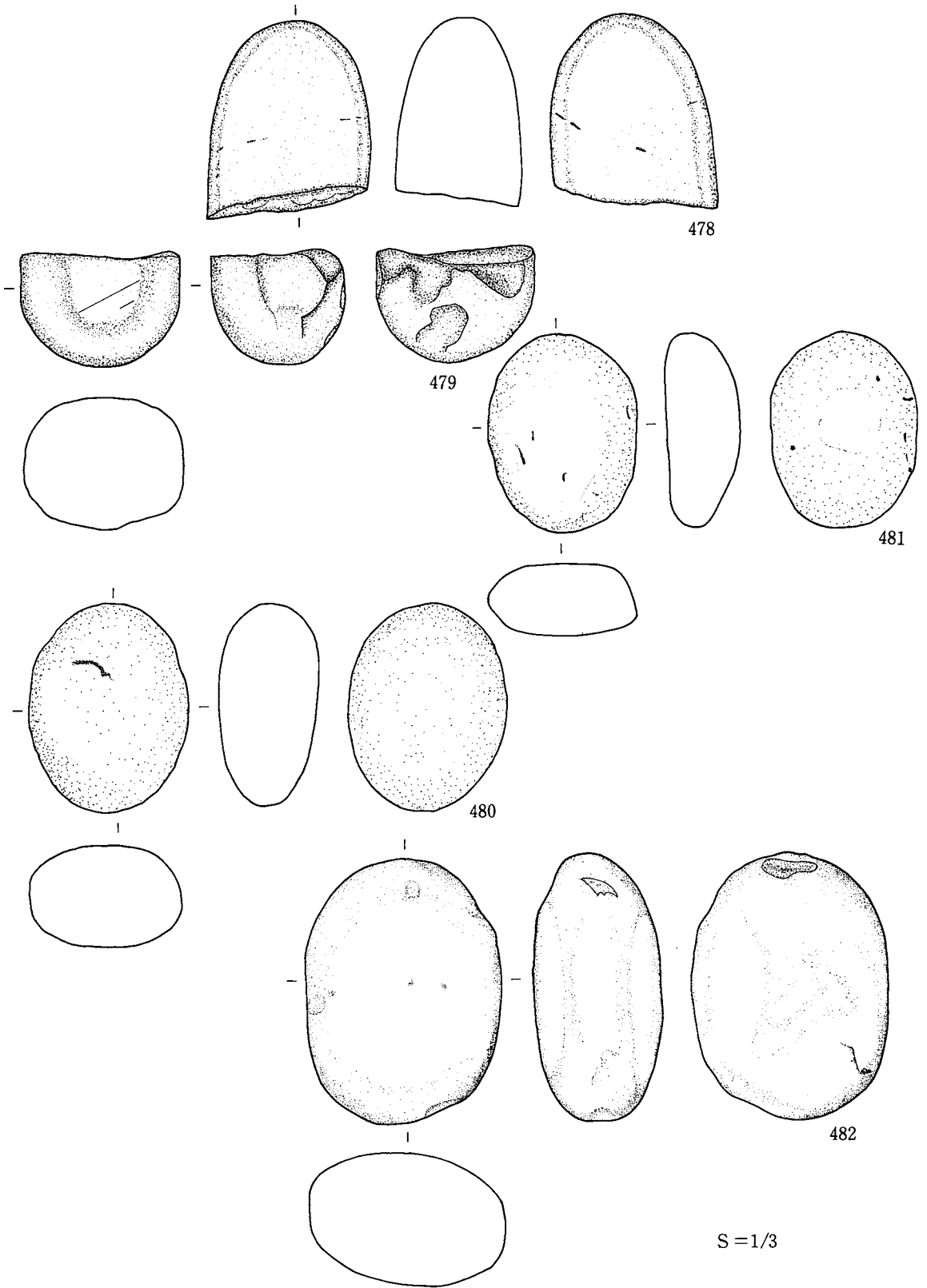


图113 遺構外出土石器類(5)

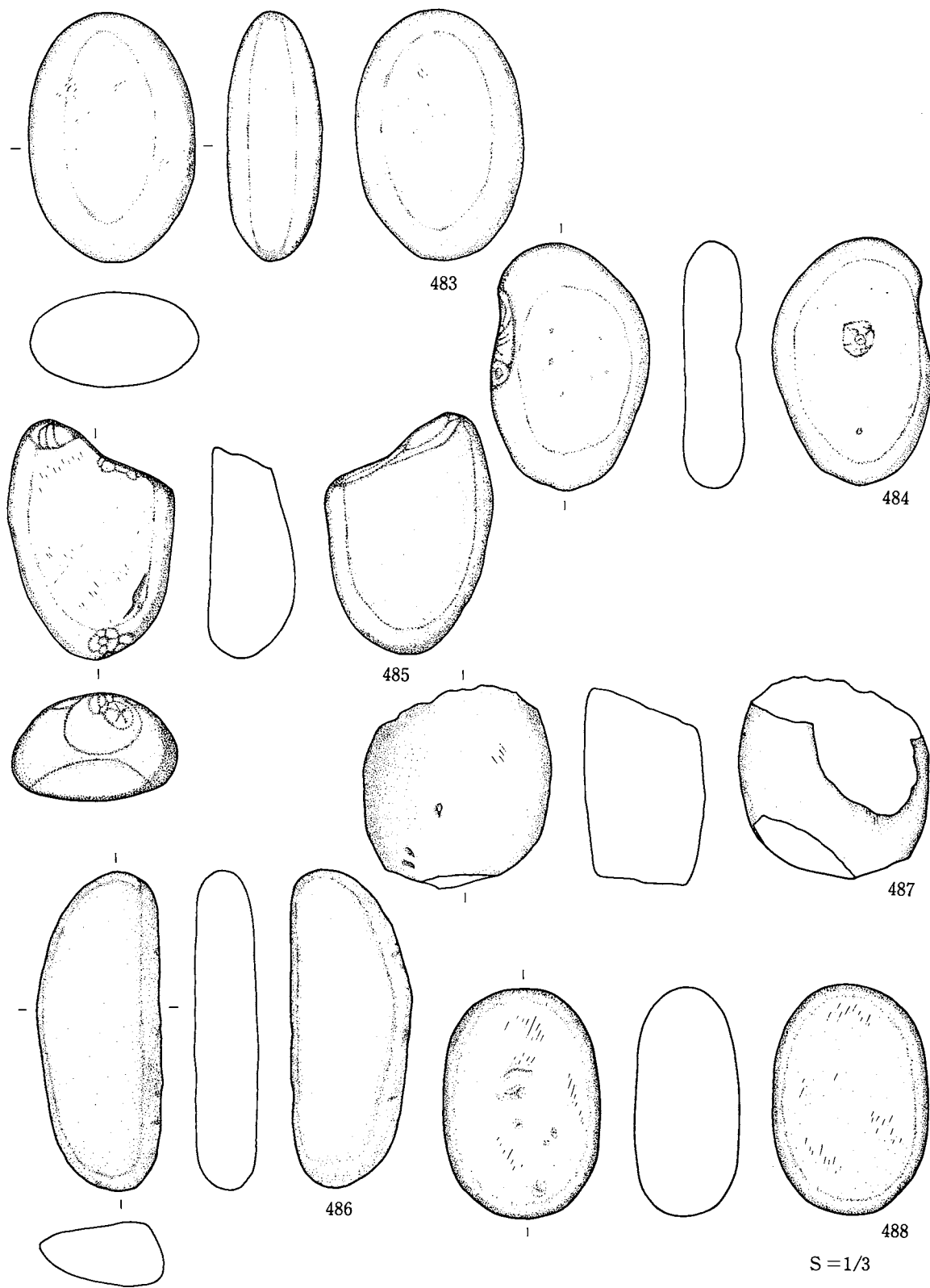


图114 遺構外出土石器類(6)

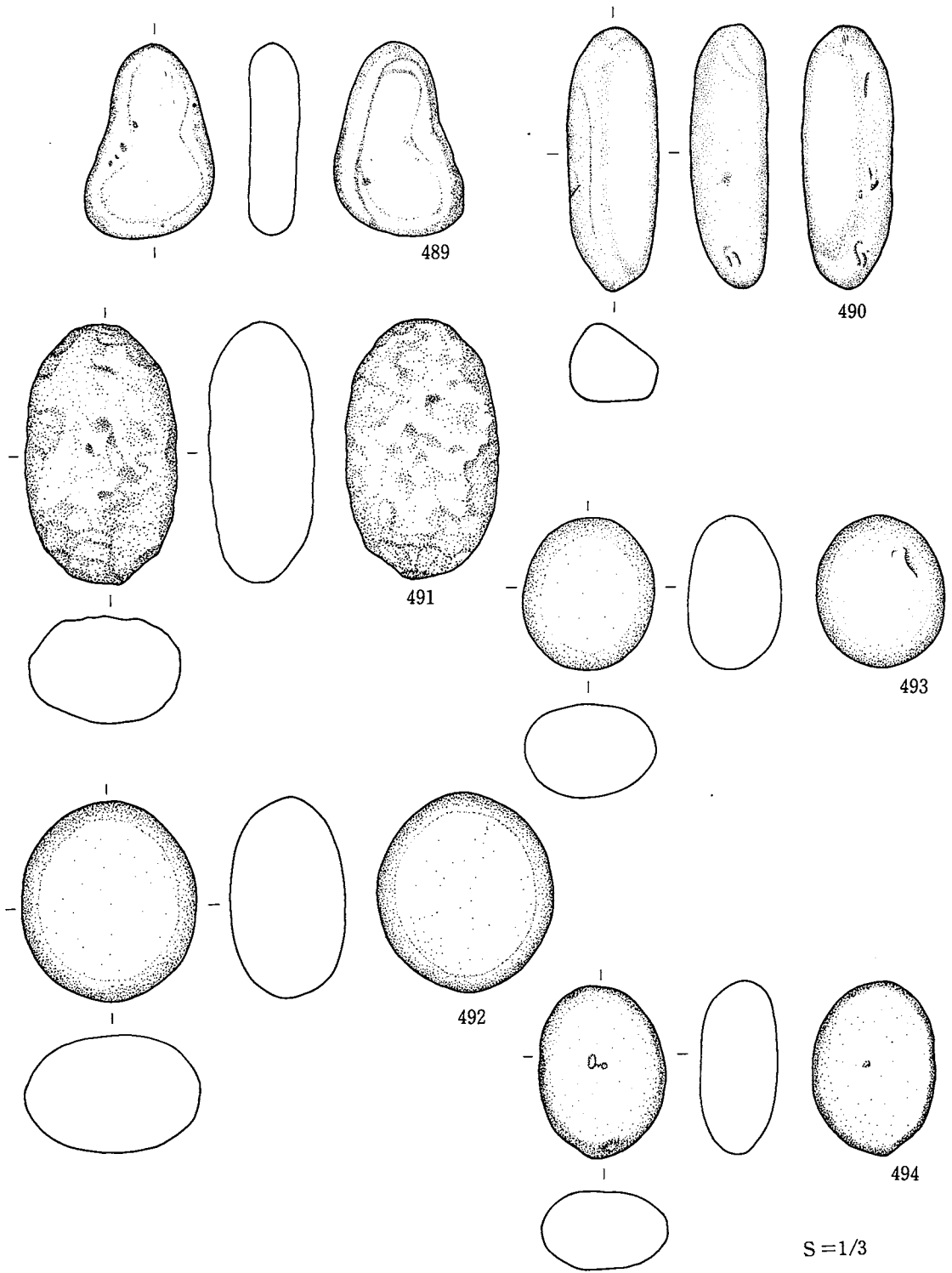


图115 遺構外出土石器類(7)

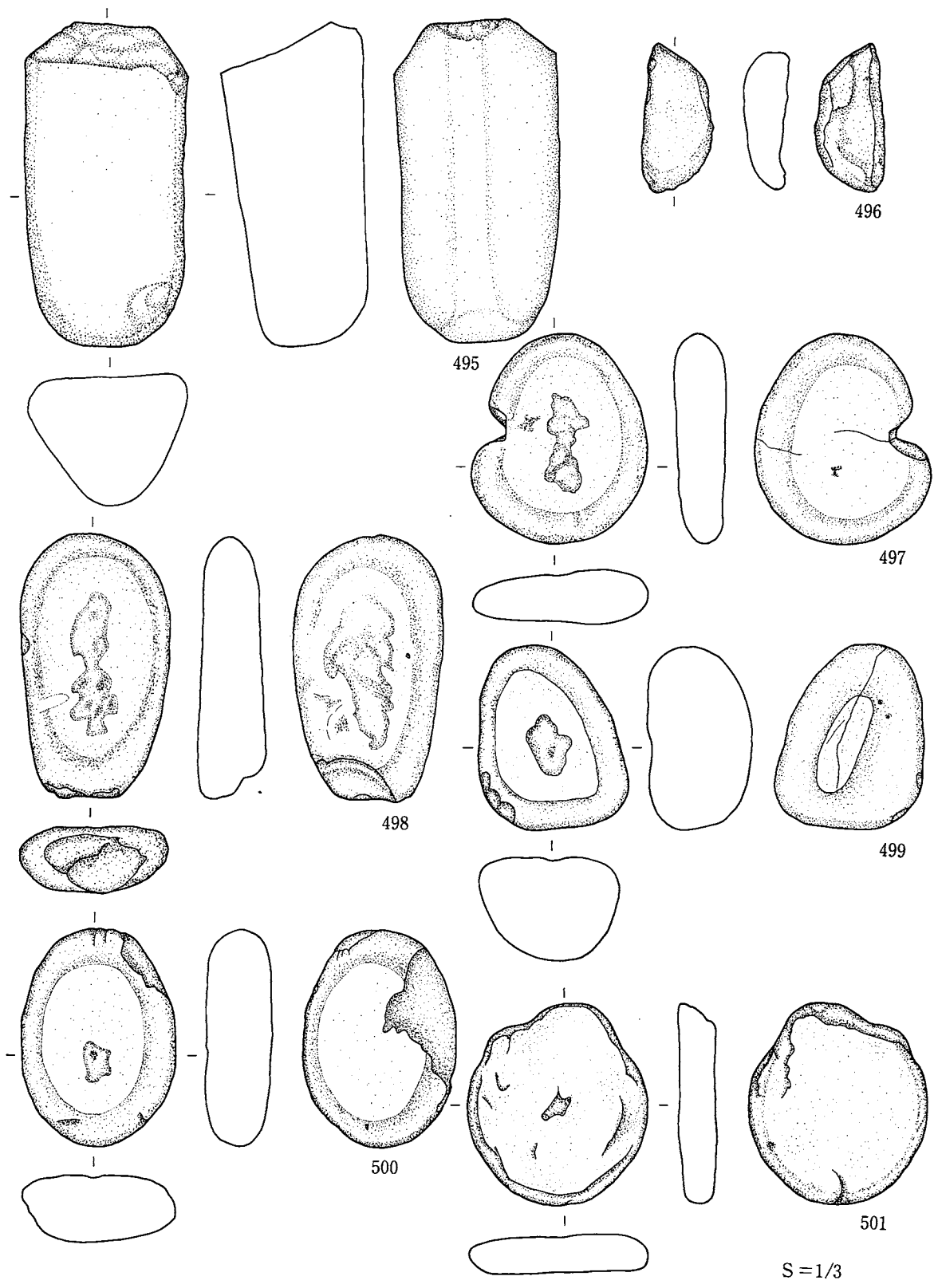
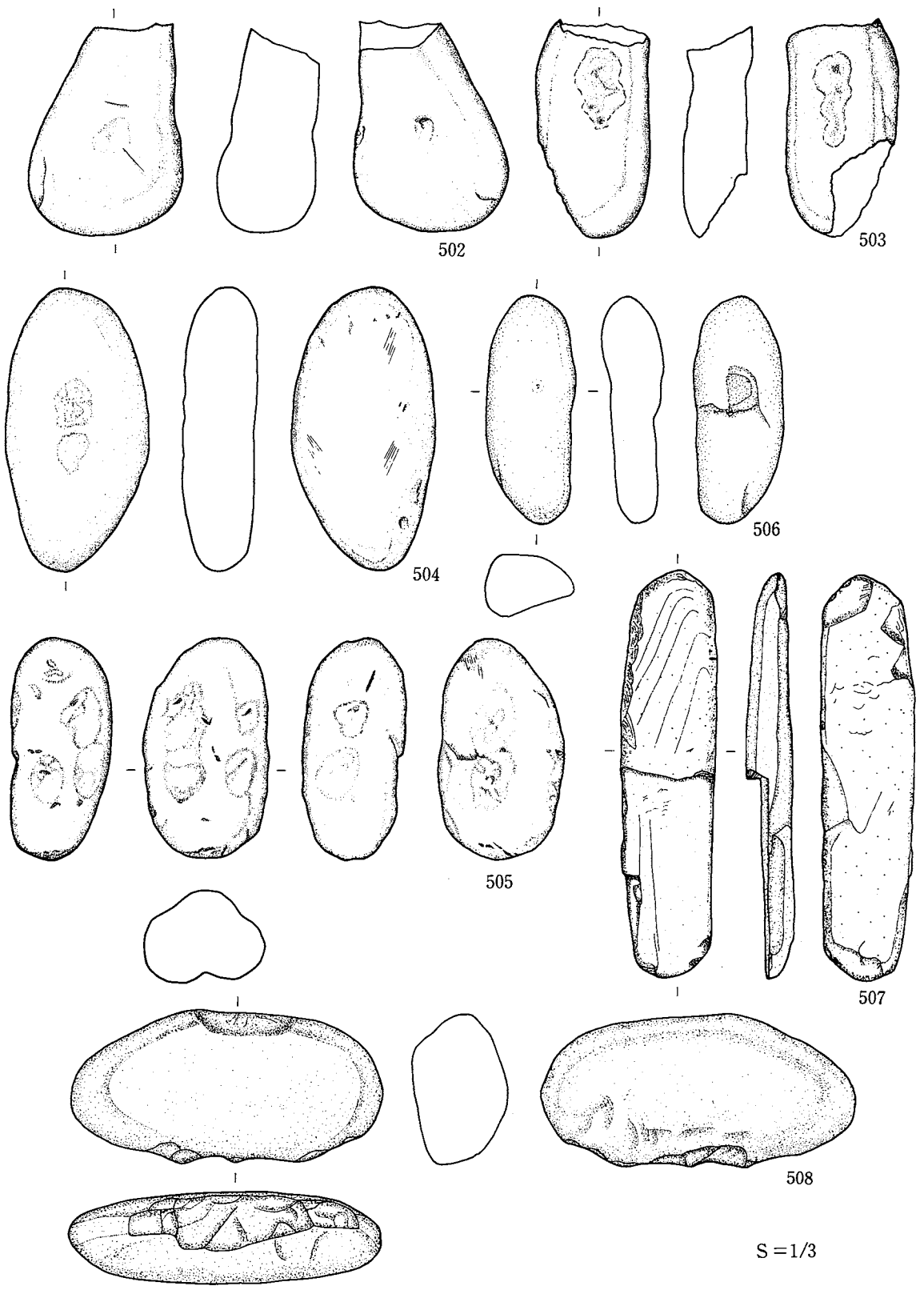


图116 遺構外出土石器類(8)



S = 1/3

图117 遺構外出土石器類(9)

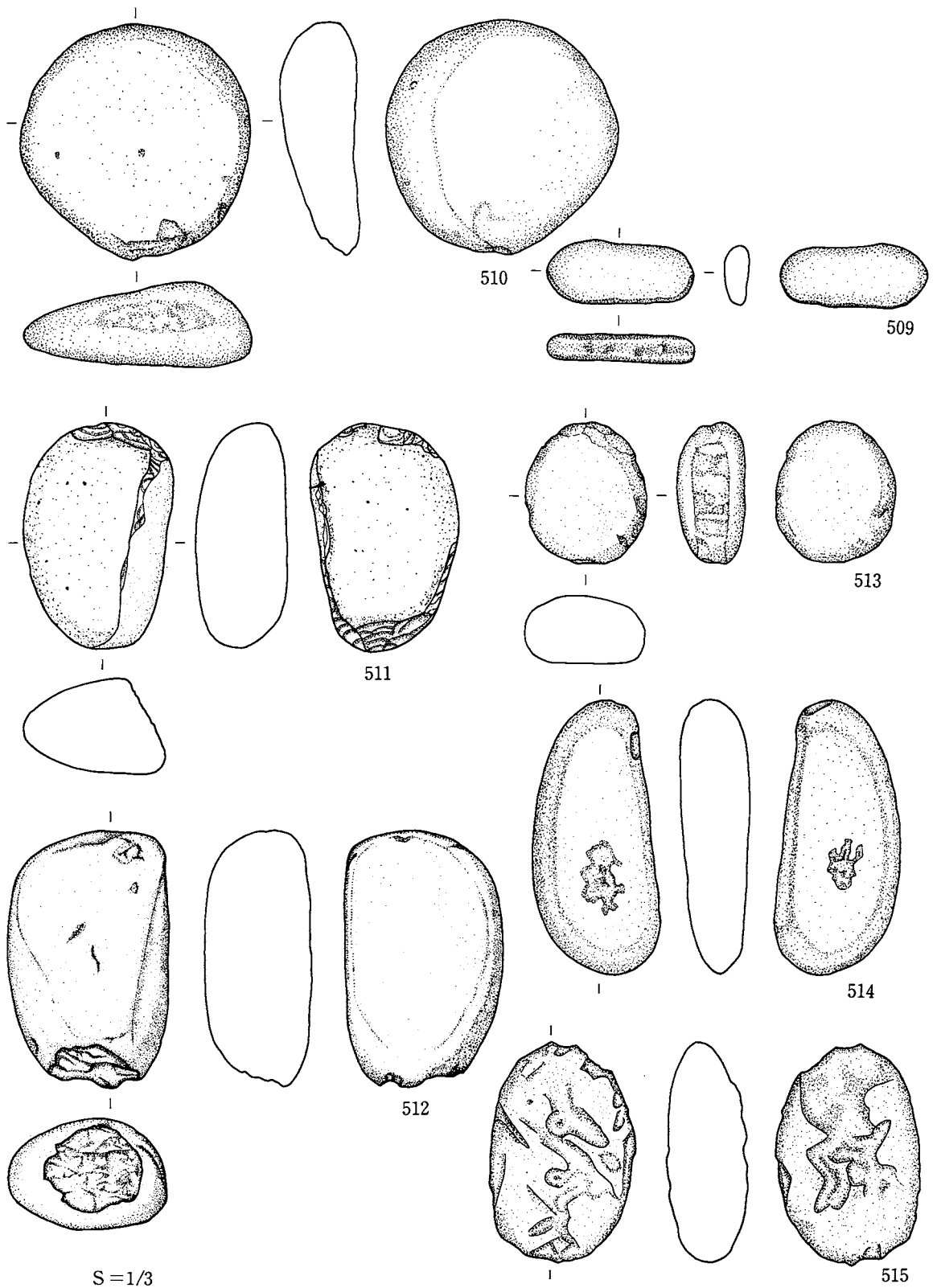


图118 遺構外出土石器類(10)

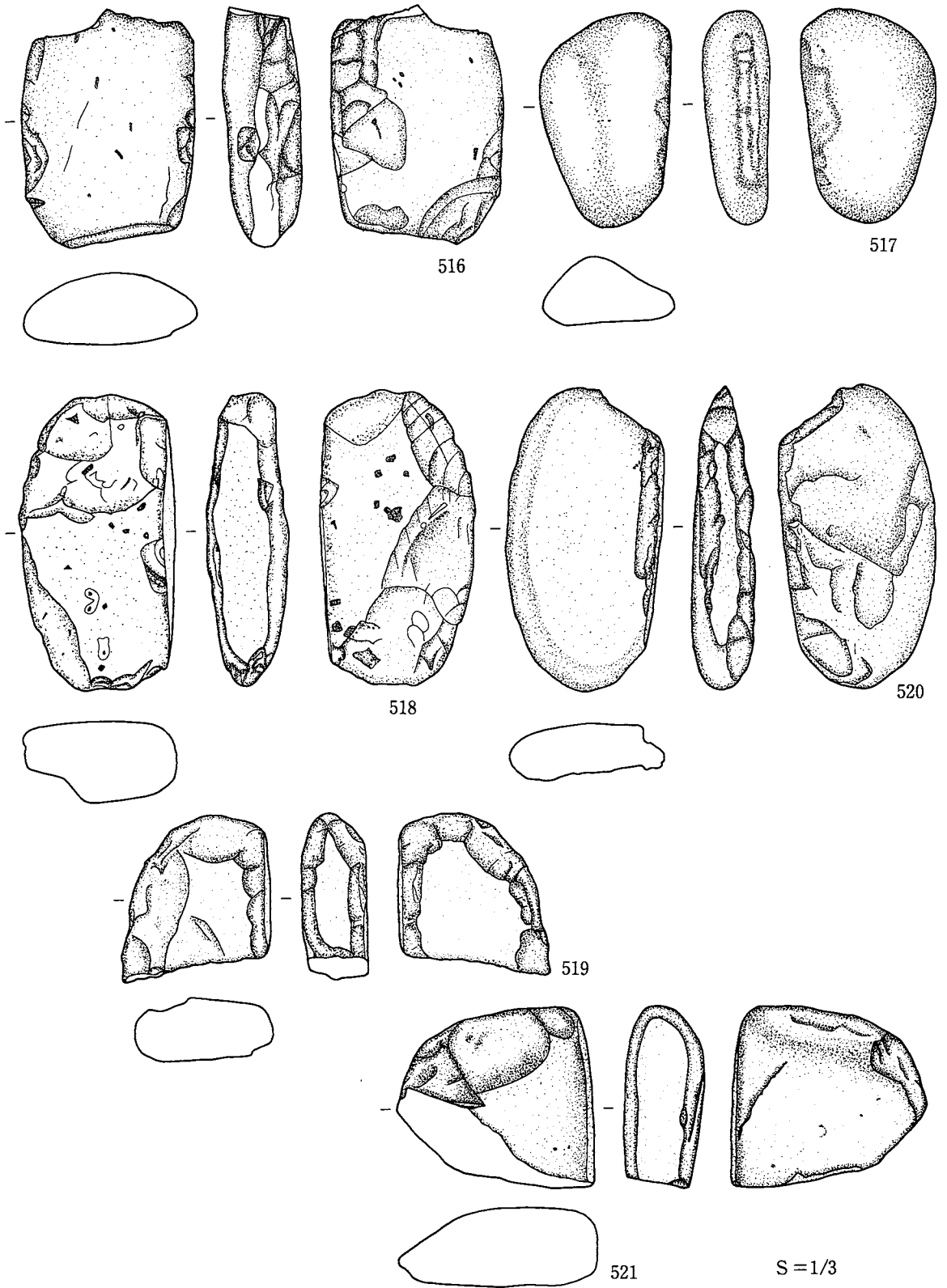


图119 遺構外出土石器類(11)

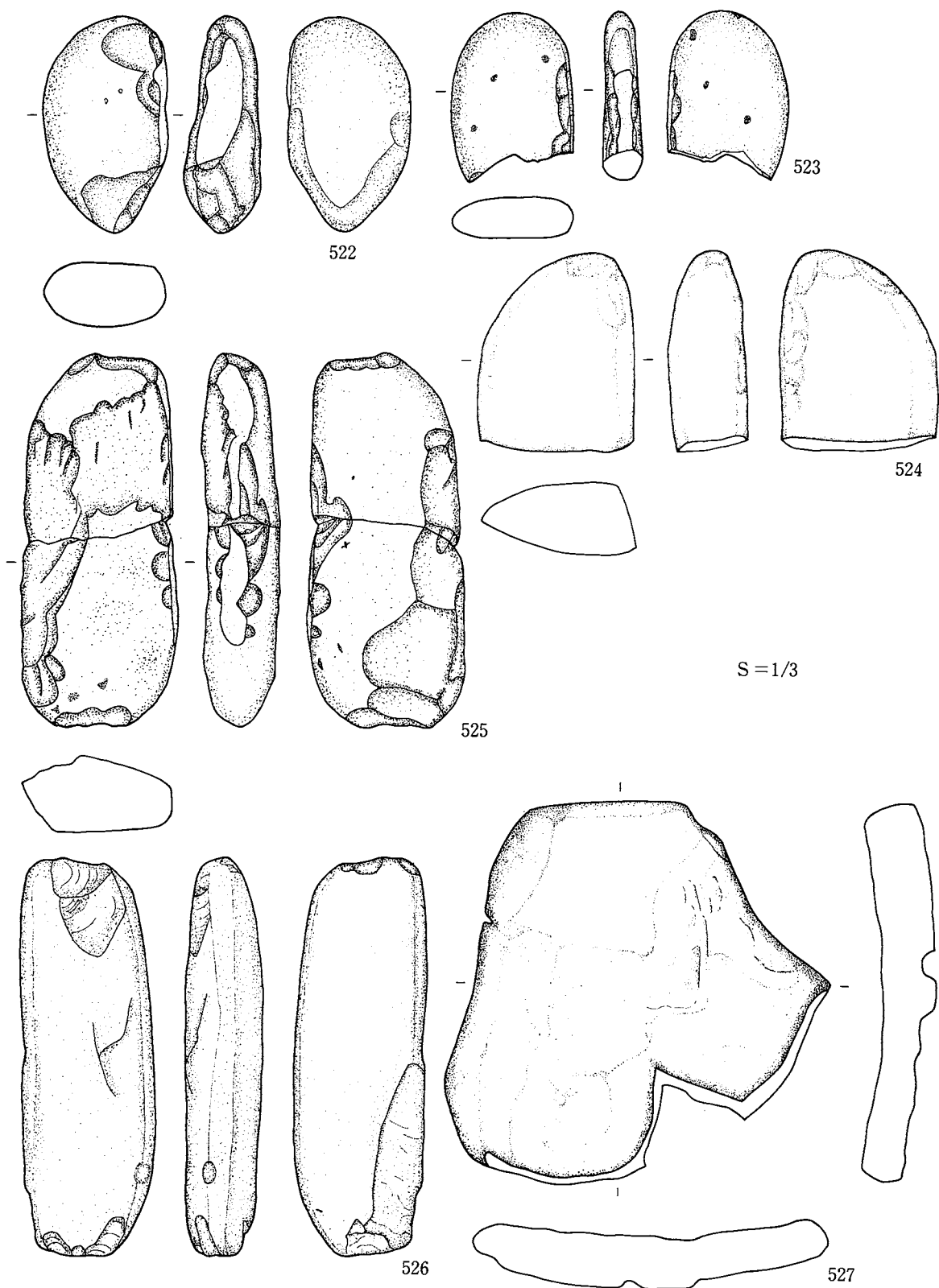


图120 遺構外出土石器類(12)

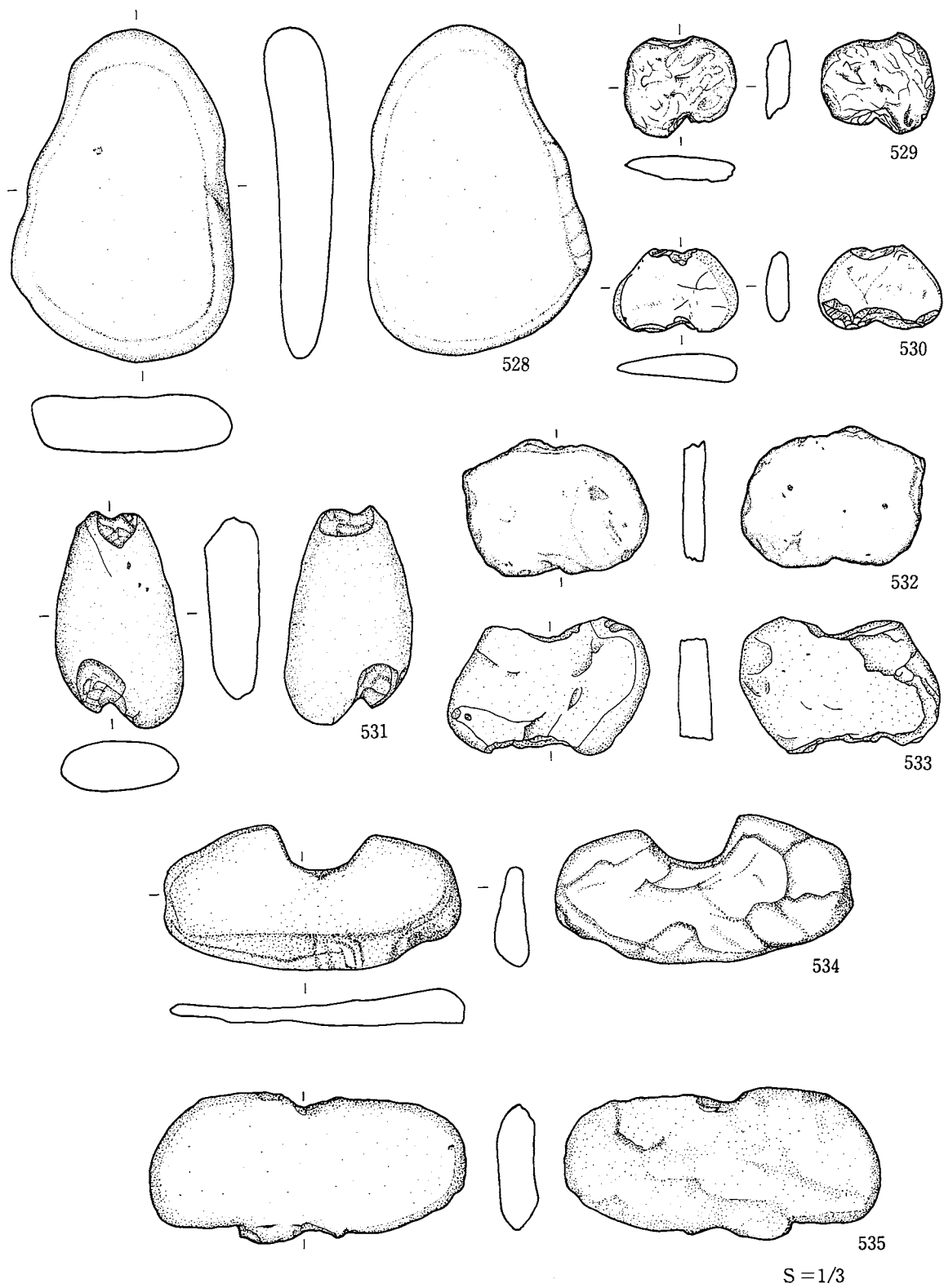


图121 遺構外出土石器類(13)

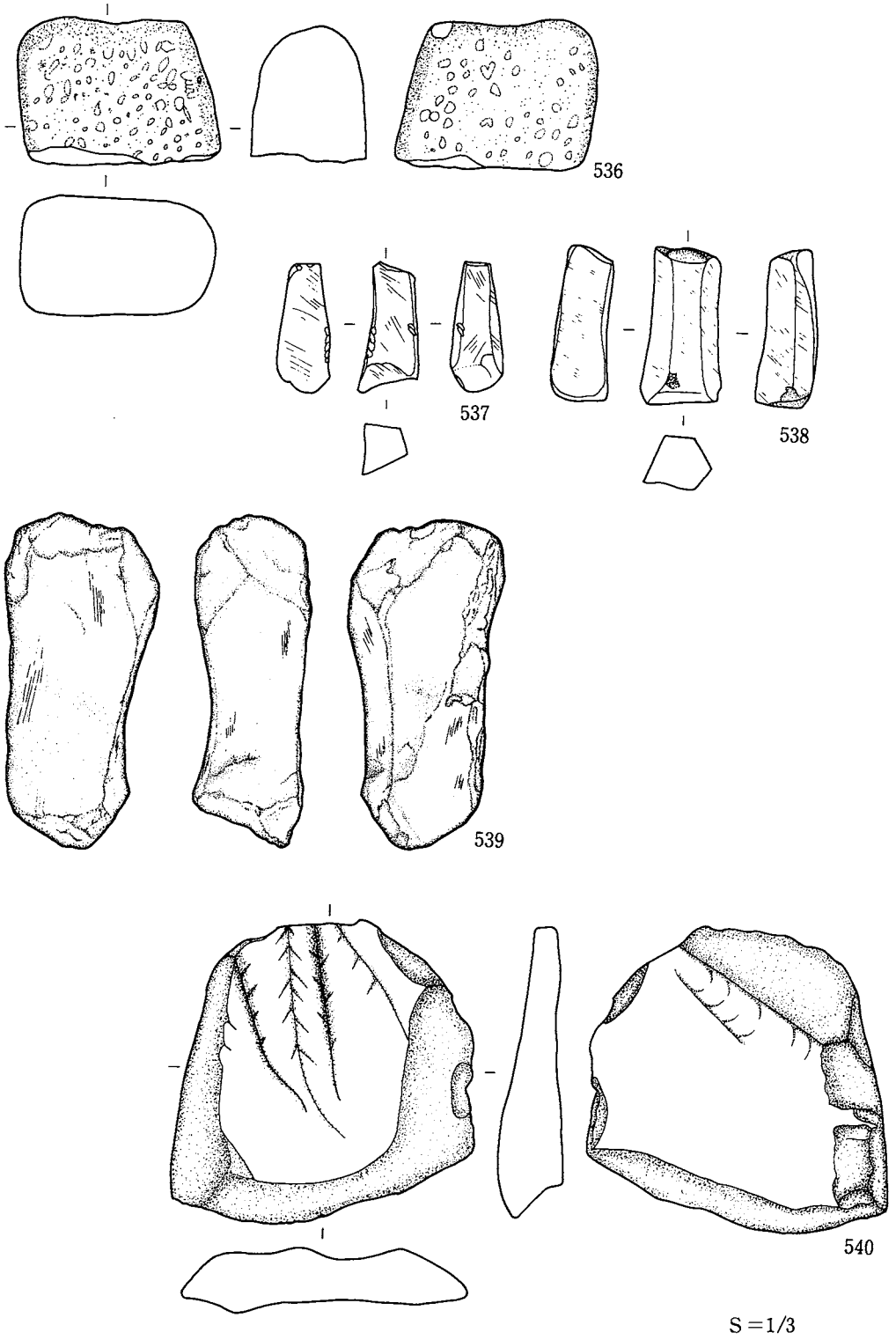


图122 遗构外出土石器类(14)

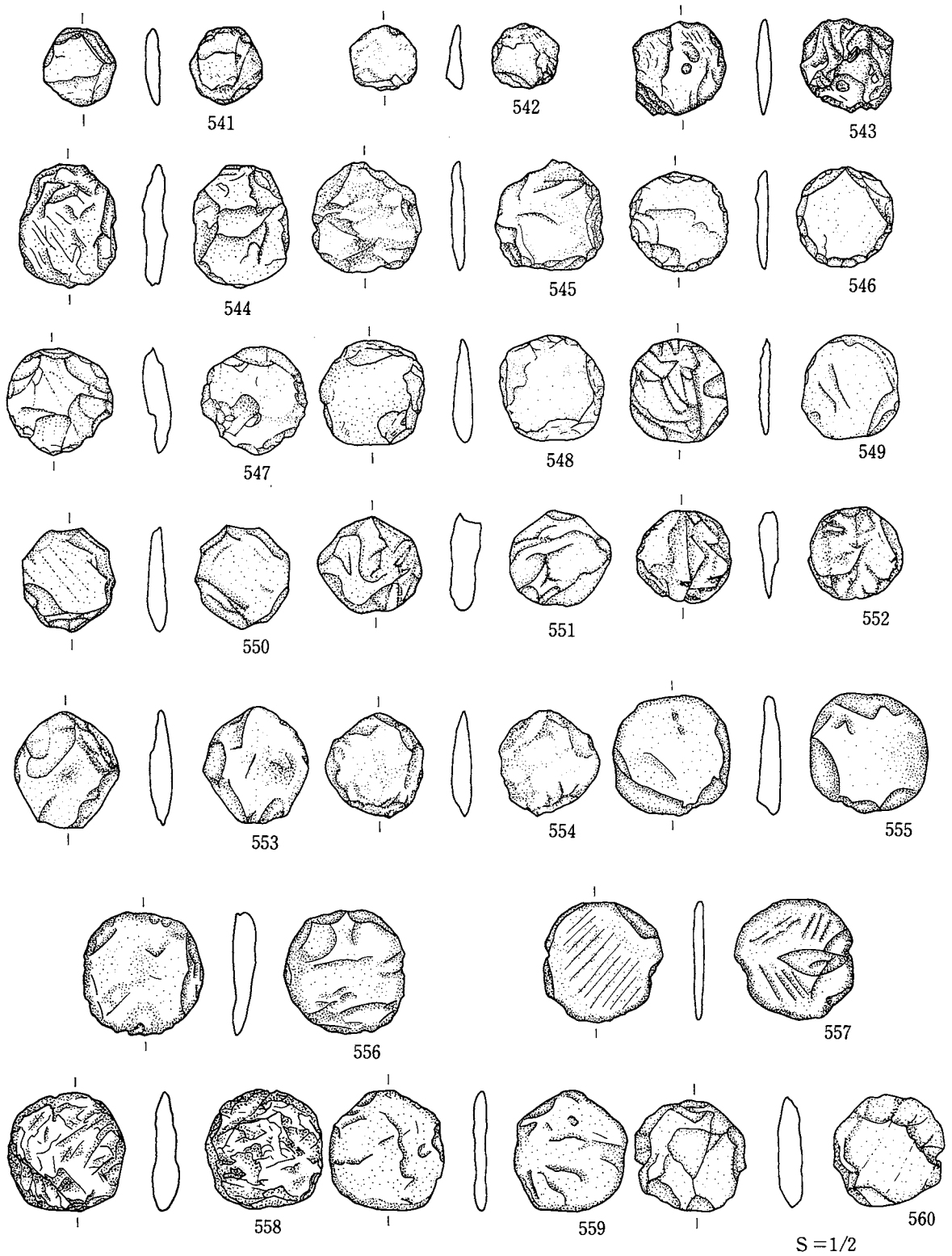


图123 遺構外出土石器類(15)

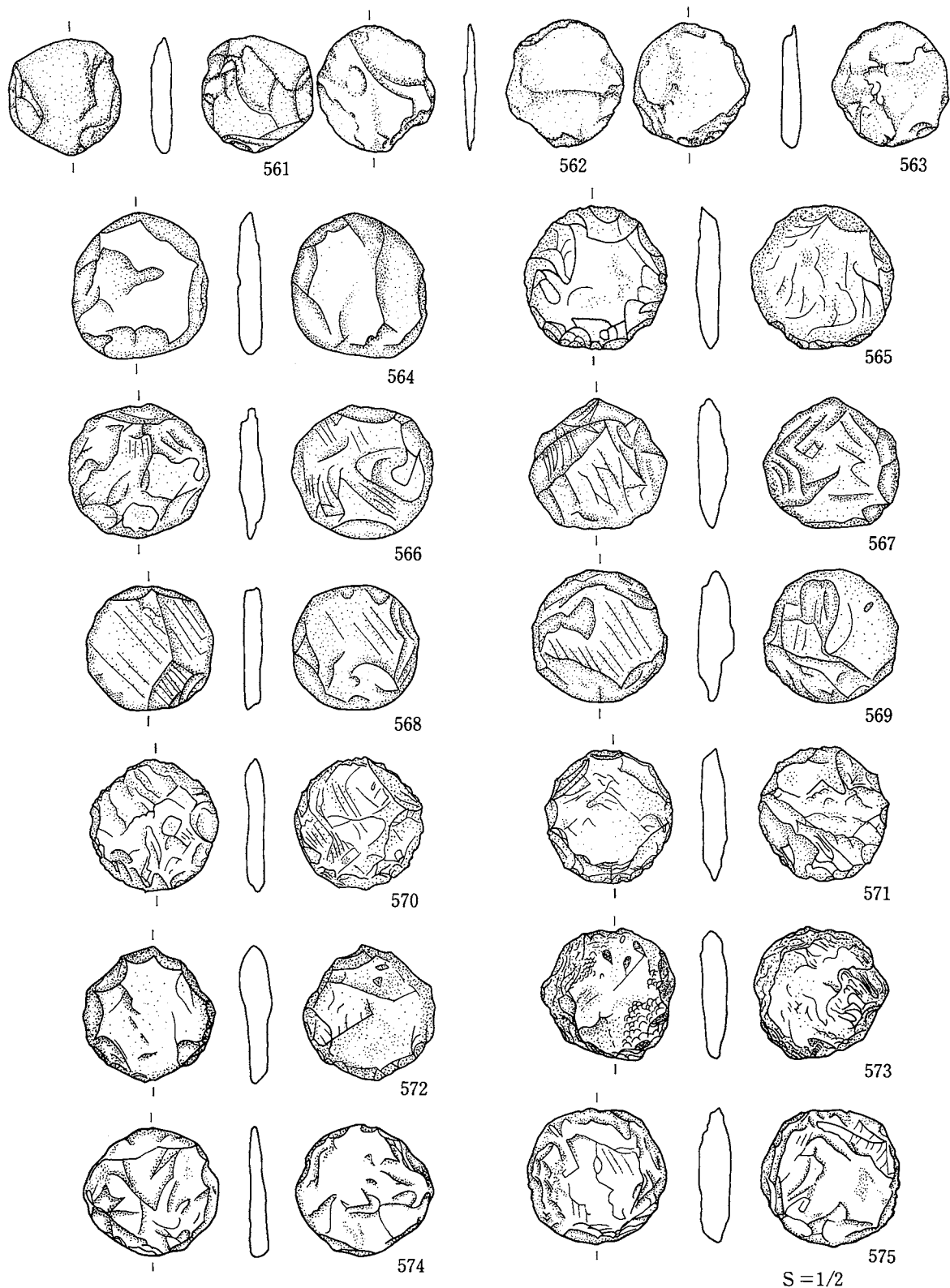
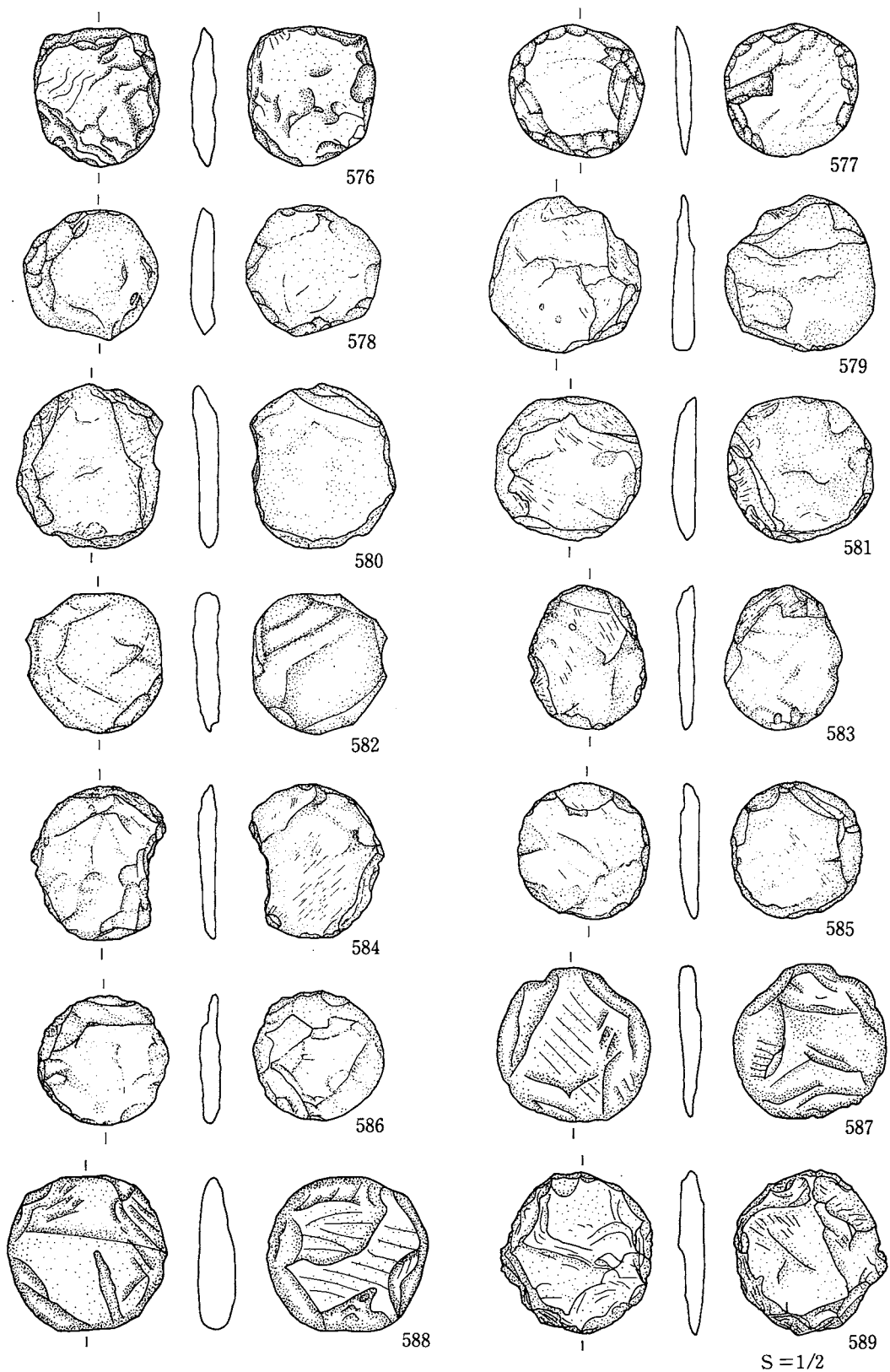


图124 遺構外出土石器類(16)



S = 1/2

图125 遺構外出土石器類(17)

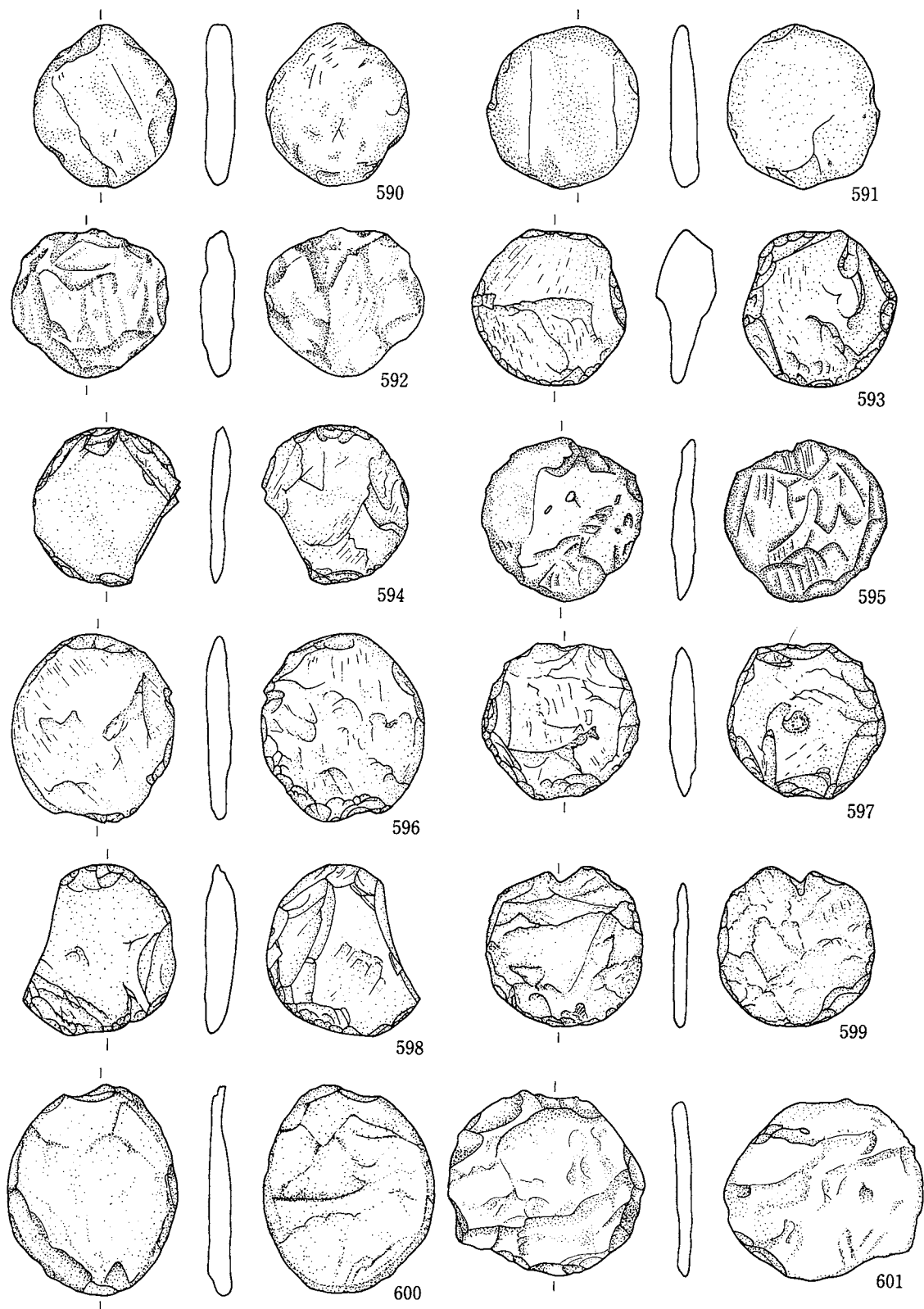


图126 遺構外出土石器類(18)

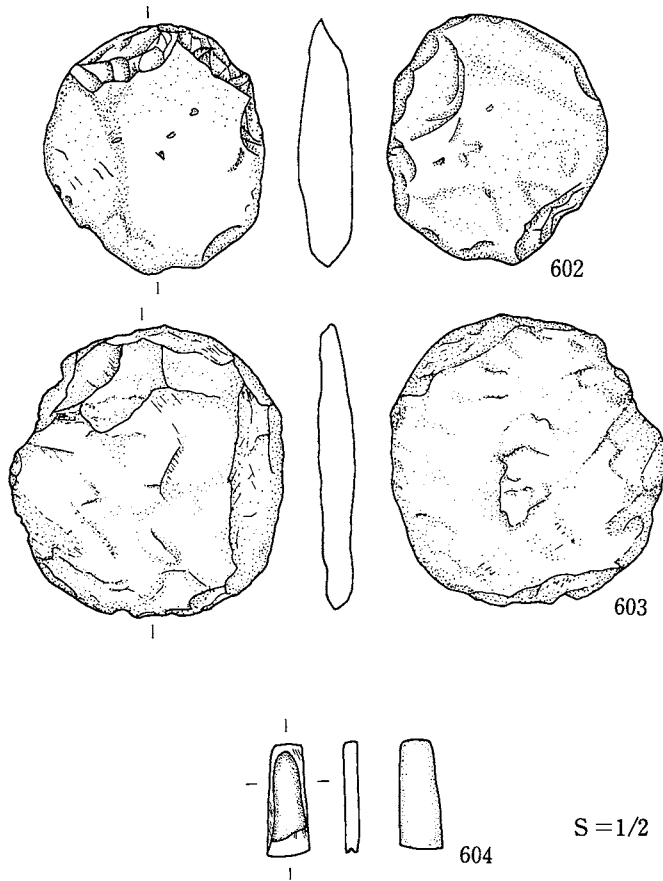


図127 遺構外出土石器類(19)

表10 遺構外出土石器類一覽表

番号	記号	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
423	a I 1	石鏃	III F区		2.4	1.8	0.3	1.17	流紋岩質細粒凝灰岩、奥羽山地、新第三系中新統	109	117	
424	a I 1	石鏃	IV E区		3.2	1.7	0.3	1.73	流紋岩質極細粒凝灰岩、奥羽山地、中新統	109	117	
425	a I 1	石鏃	V C区		3.3	1.8	0.5	2.18	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
426	a I 1	石鏃	V D区落込	III層	2.5	1.4	0.3	1.10	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
427	a I 2	石鏃	IV E区		2.9	1.1	0.3	0.86	粘板岩、北上山地、中生界	109	117	
428	a I 2	石鏃	IV E区		2.3	2.8	0.2	1.01	チャート、北上山地、中生界	109	117	
429	a I 2	石鏃	IV D区		2.4	1.4	0.3	1.12	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	109	117	
430	a I 2	石鏃	IV D区		3.6	1.7	0.4	2.49	粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
431	a I 2	石鏃	V D区落込	IV層	2.0	0.9	0.2	0.46	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
432	a I 3	石鏃	III F区		4.5	1.8	0.6	3.49	粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
433	a I 3	石鏃	V E区		1.85	1.85	0.7	2.35	流紋岩質極細粒凝灰岩、奥羽山地、中新統	109	117	
434	a II 1	石鏃	I F区		5.2	1.2	0.8	3.98	珪質泥岩、磐石西部、新第三系中新統	109	117	
435	a II 1	石鏃	II F区		5.7	1.5	0.9	3.95	流紋岩質極細粒凝灰岩、奥羽山地、中新統	109	117	
436	a II 2	石鏃	I F区		3.4	1.3	0.4	1.30	赤色凝灰岩	109	117	
437	a II 2	石鏃	II F区		2.6	1.0	1.1	0.95	チャート、北上山地、古生界	109	117	
438	a II 2	石鏃	III F区		3.5	1.5	0.6	2.61	粘板岩、北上山地、中生界	109	117	
439	a II 2	石鏃	V D区落込	IV層	4.1	1.7	0.7	4.05	暗赤色凝灰岩、北上山地、古生界	109	117	
440	b I	石匙	V C区	IV層	4.2	5.4	0.9	14.76	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
441	b II	石匙	I F区		6.9	2.5	0.8	13.61	珪質泥岩、磐石西部、新第三系中新統	109	117	

番号	記号	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
442	b II	石匙	V D区落込	IV層	7.5	2.8	0.9	20.2	チャート質粘板岩、北上山地、古生界	109	117	
443	b II	石匙	V D区落込	IV層	3.2	2.3	0.4	2.97	粘板岩、北上山地、古生界	110	118	
444	c I 1	石筥	VE区		7.0	2.8	1.6	25.57	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	110	118	
445	c I 1	石筥	VE区	IV~V層	5.7	2.6	0.9	17.24	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	110	118	
446	c I 2	石筥	IF区		3.7	2.2	0.4	4.16	赤色凝灰岩	110	118	
447	c I 2	石筥	VI E区	I層	4.4	2.2	1.0	10.40	チャート、北上山地、古生界	110	118	
448	c II	石筥	IF区		5.7	2.6	1.2	20.20	硬質泥岩、磐石西部、新第三系中新統	110	118	
449	d II	撻器・削器	II F区		7.4	5.4	1.5	36.09	珪質泥岩、磐石西部、新第三系中新統	110	118	
450	d I	撻器・削器	II F区		5.4	3.7	2.7	30.18	チャート質粘板岩	110	118	
451	d I	撻器・削器	V F区		8.7	5.7	1.4	52.09	凝灰質粘板岩	110	118	
452	d I	撻器・削器	VE区		5.9	3.8	0.8	19.11	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	110	118	
453	d I	撻器・削器	IV E区		2.7	3.7	0.9	6.93	流紋岩質極細粒凝灰岩、奥羽山地、中新統	110	118	
454	d II	撻器・削器	VE区		6.35	5.2	1.5	40.81	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	111	119	
455	d II	撻器・削器	IV E区		4.5	3.4	1.2	17.53	珪質泥岩、奥羽山地、中新統	111	1119	
456	d II	撻器・削器	VE区		4.5	5.9	1.3	33.97	チャート質粘板岩、北上山地、古生界	111	119	
457	d II	撻器・削器	VI E区	I層	4.9	5.8	0.8	23.68	凝灰質粘板岩、北上山地、古生界	111	119	
458	d II	撻器・削器	V D区	III~IV層	1.5	2.5	0.2	1.38	粘板岩、北上山地、古生界	111	119	
459	d III	撻器・削器	IV E区		5.5	3.0	0.6	11.27	硬質泥岩、奥羽山地、中新統	111	119	
460	d III	撻器・削器	VE区	VII層	6.7	4.9	0.6	18.26	チャート質粘板岩、北上山地、古生界	111	119	
461	e	楔形石品 (ピエースキース)	IF区		3.9	3.4	1.1	11.10	赤色凝灰岩	111	119	
462	e	楔形石品 (ピエースキース)	IF区		2.7	2.6	0.7	6.55	赤色凝灰岩、北上山地、古生界	111	119	
463	f	細部加工剥片	VI D区	I層	3.4	4.3	1.2	16.86	暗赤色凝灰岩、北上山地、古生界	111	119	
464	f	細部加工剥片	V D区	III~IV層	2.7	3.7	1.2	13.72	暗赤色凝灰岩、北上山地、古生界	111	119	
465	g I	石斧(打製)	IF区		8.5	4.3	1.0	43.43	粘板岩、北上山地、古生界	112	120	
466	g I	石斧(打製)	VE区		16.1	5.3	1.2	190	凝灰岩、北上山地、中生界	112	120	
467	g I	石斧(打製)	IV E区		15.8	6.4	2.0	240	粘板岩、北上山地、中生界	112	120	
468	g II	石斧(磨製)	III F区		8.2	4.3	1.6	100	緑色凝灰岩	112	120	
469	g II	石斧(磨製)	IF区		6.0	4.5	3.1	140	輝石安山岩、北上山地、中生界	112	120	
470	g II	石斧(磨製)	IF区		4.9	4.5	2.8	110	輝石安山岩、北上山地、中生界	112	120	
471	g II	石斧(磨製)	IF区		4.1	4.2	1.9	47.35	輝石安山岩、北上山地、中生界	112	120	
472	g II	石斧(磨石)	VE区		6.1	4.5	2.8	130	緑色凝灰岩、奥羽山地、中新統	112	120	
473	g II	石斧(磨製)	F区		9.2	4.5	2.1	130	緑色凝灰岩、奥羽山地、中新統	112	120	
474	g II	石斧(磨製)	IV E区		8.0	4.0	2.1	113	緑色凝灰岩、奥羽山地、中新統	112	120	
475	g II	石斧(磨製)	VE区	III~IV層	5.0	4.9	2.0	84.36	濃緑色凝灰岩、北上山地、古生界	112	120	
476	g II	石斧(磨製)	区		3.9	3.5	1.2	35.20	濃緑色砂質凝灰岩、北上山地、古生界	112	120	
477	g II	石斧(磨製)	V D区落込	I層	4.6	3.1	1.1	33.41	濃緑色砂質凝灰岩、北上山地、古生界	112	120	
478	h I	磨石	IF区		9.3	8.1	6.2	680	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	113	121	
479	h I	磨石	II F区		5.0	7.9	6.4	430	硬砂岩、北上山地、古生界	113	121	
480	h I	磨石	II F区		10.3	8.0	4.9	560	硬砂岩、北上山地、古生界	113	121	
481	h I	磨石	IF区		9.7	7.3	3.6	380	硬砂岩、北上山地、古生界	113	121	
482	h I	磨石	IV E区		13.0	9.7	6.1	1180	石英斑岩、北上山地、古生界	113	121	
483	h I	磨石	VE区		12.0	8.2	4.7	670	凝灰質砂岩、北上山地	114	121	
484	h I	磨石	IV F区		12.0	8.0	3.0	450	石英斑岩、北上山地、中生界	114	121	
485	h I	磨石	VE区		11.6	8.2	4.3	540	凝灰岩、北上山地、中生界	114	121	
486	h I	磨石	VE区		15.5	6.2	3.1	470	凝灰質砂岩、北上山地、中生界	114	121	
487	h I	磨石	VE区		9.0	9.3	4.9	720	安山岩、北上山地、中生界	114	121	
488	h I	磨石	IV E区		11.2	17.8	5.2	740	花崗閃緑岩、北上山地、中生界	114	121	
489	h I	磨石	IV D区		8.8	5.4	2.3	200	安山岩、北上山地、中生界	115	122	
490	h I	磨石	VE区		12.1	4.2	3.4	250	凝灰岩、北上山地、中生界	115	122	
491	h I	磨石	V D区落込	I層	11.9	7.1	4.9	640	花崗閃緑岩、二戸、中生界	115	122	
492	h I	磨石	V D区落込	I層	9.2	8.2	5.4	600	輝石安山岩、北上山地、中生界	115	122	
493	h I	磨石	V C区落込		7.1	6.0	4.4	270	輝石安山岩、北上山地、中生界	115	122	
494	h I	磨石	VE区		8.0	5.7	3.7	270	輝石安山岩、北上山地、中生界	115	122	
495	h I	磨石	II F区		16.0	8.0	7.2	1310	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	116	122	
496	h I	磨石	VE区	VII層	6.7	3.4	2.1	90	花崗閃緑岩、二戸、中生界	116	122	

番号	記号	器種	出土地点	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
497	h II	凹石	I F区		10.3	8.7	2.6	330	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	116	122	
498	h II	凹石	I F区		13.3	7.3	3.3	500	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	116	122	
499	h II	凹石	I F区		9.2	7.4	5.1	490	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	116	122	
500	h II	凹石	I F区		10.8	7.5	3.3	400	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	116	122	
501	h II	凹石	II F区		10.5	8.8	1.9	260	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	116	122	
502	h II	凹石	VE区		10.0	7.7	4.7	500	凝灰岩、北上山地、中生界	117	123	
503	h II	凹石	VE区		10.8	5.7	3.4	300	凝灰岩、北上山地、中生界	117	123	
504	h II	凹石	IVE区		13.9	7.1	3.8	510	凝灰岩、北上山地、中生界	117	123	
505	h II	凹石	IVE区		10.7	5.2	4.0	420	凝灰岩、北上山地、中生界	117	123	
506	h II	凹石	IVE区	I層	11.2	4.4	3.0	210	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	117	123	
507	h III	敲石	I F区		27.0	6.2	2.6	610	粘板岩、北上山地、古生界	117	123	
508	h III	敲石	II F区		7.2	15.4	4.7	750	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	117	123	
509	h III	敲石	VI E区	VII層	3.1	7.2	1.2	51.03	流紋岩、北上山地、中生界	118	123	
510	h III	敲石	VI E区	V層	11.5	10.4	3.8	630	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	118	123	
511	h IV	磨石、敲石	I F区		11.0	7.4	4.6	510	硬砂岩、北上山地、古生界	118	124	
512	h IV	磨石、敲石	VE区		12.4	7.9	5.3	740	凝灰岩、北上山地、中生界	118	124	
513	h IV	磨石、敲石	VD区落込	II層	6.9	5.9	3.3	200	凝灰質硬砂岩、北上山地、古中生界	118	124	
514	h V	凹石、敲石	I F区		13.4	6.2	3.4	410	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	118	124	
515	h V	凹石、敲石	I F区		11.0	7.0	3.8	420	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	118	124	
516	h VI 1	半円状偏平石器	II F区		11.7	8.5	3.4	500	輝石玢岩、北上山地、中生界	119	124	
517	h VI 1	半円状偏平石器	VD区落込	V層	10.4	6.4	3.2	300	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	119	124	
518	h VI 2	半円状偏平石器	I F区		14.2	7.7	4.0	680	輝石玢岩、北上山地、中生界	119	124	
519	h VI 2	半円状偏平石器	I F区		8.1	7.2	3.1	270	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	119	124	
520	h VI 2	半円状偏平石器	I F区		14.6	7.7	3.0	440	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	119	125	
521	h VI 2	半円状偏平石器	II F区		9.9	9.6	3.8	460	硬砂岩、北上山地、古生界	119	125	
522	h VI 2	半円状偏平石器	I F区		10.5	6.2	3.2	320	粘板岩、北上山地、古生界	120	125	
523	h VI 2	半円状偏平石器	I F区		8.0	5.8	1.9	160	綠色凝灰岩	120	125	
524	h VI 2	半円状偏平石器	IVE区		9.7	7.8	3.5	470	閃綠岩、北上山地、中生界	120	125	
525	h VI 3	半円状偏平石器	I F区		18.1	7.5	3.7	880	硬砂岩、北上山地、古生界	120	125	
526	h VI 4	半円状偏平石器	I F区		19.5	5.5	3.9	770	凝灰岩、北上山地、古生界	120	126	
527	i	石皿、台石	IVE区		25.2	25.0	4.8	3240	石英斑岩、北上山地、中生界	120	126	
528	i	石皿、台石	IVE区		21.4	14.5	4.4	1810	凝灰岩、北上山地、中生界	121	126	
529	j I	石錘	II F区		4.9	5.4	1.1	46.26	粘板岩、北上山地、古生界	121	126	
530	j I	石錘	II F区		4.1	6.1	1.3	42.49	硬質泥岩、礫石西部新第三系中新統	121	126	
531	j I	石錘	II F区		10.5	6.2	2.4	240	硬砂岩、北上山地、古生界	121	126	
532	j I	石錘	IV D区		6.7	9.0	1.2	125	粘板岩、北上山地、中生界	121	126	
533	j I	石錘	VE区		4.5	6.5	1.0	48	粘板岩、北上山地、中生界	121	126	
534	j II	石錘	VD区		14.5	7.2	1.7	210	凝灰質硬砂岩、北上山地、中生界	121	126	
535	j II	石錘	VD区落	I層	7.4	15.4	1.9	350	輝石安山岩、北上山地、中生界	121	126	
536	j III	石錘	I F区		6.6	9.2	5.3	640	花崗閃綠岩、北上山地、中生界	122	127	
537	k I	砥石	VE区	表採	5.7	2.4	2.2	33.18	流紋岩、北上山地、中生界	122	127	
538	k I	砥石	VD区落	I層	5.9	3.7	2.4	91.82	黒雲母片岩、北上山地、古生界	122	127	
539	k II	砥石	VE区		19.8	9.5	7.1	1470	流紋岩、北上山地、中生界	122	127	
540	k III	有溝砥石	IV F区		13.6	13.7	2.9	720	凝灰質硬砂岩、北上山地、古生界	122	127	

番号	記号	器種	出土地点	層位	直径 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考
541	ℓ I	円盤状石製品	VC区	V層	2.5	0.5	3.2	粘板岩、北上山地、古生界	123	128	
542	ℓ I	円盤状石製品	VD区	I層	2.1	0.6	2.1	粘板岩、北上山地、中生界	123	128	
543	ℓ II	円盤状石製品	I F区		3.3	0.4	5.1	粘板岩、北上山地、古生界	123	128	
544	ℓ II	円盤状石製品	表採区		3.7	0.8	10.9	粘板岩、北上山地、中生界	123	128	
545	ℓ II	円盤状石製品	IVE区		3.6	0.4	9.1	粘板岩、北上山地、中生界	123	128	
546	ℓ II	円盤状石製品	I F区		3.3	0.4	6.2	粘板岩、北上山地、中生界	123	128	
547	ℓ II	円盤状石製品	I F区		3.5	0.9	11.3	凝灰質粘板岩	123	128	
548	ℓ II	円盤状石製品	?区		3.4	0.6	10.4	粘板岩、北上山地、古生界	123	128	
549	ℓ II	円盤状石製品	VC区		3.4	0.3	5.3	粘板岩、北上山地、古生界	123	128	

番号	記号	器種	出土地点	層位	直径 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	図版	写真	備考	
550	ℓ II	円盤状石製品	VE区	V層	3.3	0.6	7.7	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
551	ℓ II	円盤状石製品	VD区	I層	3.3	0.7	8.4	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
552	ℓ II	円盤状石製品	VD区	II層	3.1	0.6	6.9	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
553	ℓ II	円盤状石製品	VE区	I層	3.8	0.7	11.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
554	ℓ II	円盤状石製品	VD区	I層	3.5	0.6	7.4	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
555	ℓ II	円盤状石製品	II F区		3.9	0.8	13.1	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
556	ℓ II	円盤状石製品	I F区		4.0	0.8	14.2	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
557	ℓ II	円盤状石製品	III F区		3.9	0.4	6.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
558	ℓ II	円盤状石製品	IV F区		3.7	0.8	14.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
559	ℓ II	円盤状石製品	VE区		4.0	0.5	11.3	粘板岩、北上山地、古生界	123	128		
560	ℓ II	円盤状石製品	VE区	I層	3.8	0.7	6.5	粘板岩、北上山地、古生界	123	129		
561	ℓ II	円盤状石製品	VD区	IV層	3.8	0.6	11.7	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
562	ℓ II	円盤状石製品	VE区	V層	4.0	0.4	6.8	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
563	ℓ II	円盤状石製品	VD区	II層	4.0	0.6	13.9	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
564	ℓ III	円盤状石製品	I F区		4.6	0.8	23.3	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
565	ℓ III	円盤状石製品	I F区		4.6	0.9	24.7	赤色凝灰岩	124	129		
566	ℓ III	円盤状石製品	II F区		4.3	0.9	21.3	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
567	ℓ III	円盤状石製品	III F区		4.4	0.9	21.7	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
568	ℓ III	円盤状石製品	I F区		4.1	0.7	15.6	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
569	ℓ III	円盤状石製品	I F区		4.3	0.7	25.8	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
570	ℓ III	円盤状石製品	I F区		4.3	0.5	17.2	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
571	ℓ III	円盤状石製品	II F区		4.3	0.7	18.9	粘板岩、北上山地、古生界	124	129		
572	ℓ III	円盤状石製品	II F区		4.4	1.1	24.0	硬砂岩、北上山地、古生界	124	130		
573	ℓ III	円盤状石製品	II G区		4.4	0.8	21.8	粘板岩、北上山地、古生界	124	130		
574	ℓ III	円盤状石製品	表採		4.3	0.7	19.9	粘板岩、北上山地、中生界	124	130		
575	ℓ III	円盤状石製品	VF区		4.4	1.0	25.3	粘板岩、北上山地、中生界	124	130		
576	ℓ III	円盤状石製品	VF区		4.3	0.8	20.1	粘板岩、北上山地、中生界	125	130		
577	ℓ III	円盤状石製品	II F区		4.2	0.5	12.1	粘板岩、北上山地、中生界	125	130		
578	ℓ III	円盤状石製品	VE区		4.1	0.7	16.9	粘板岩、北上山地、中生界	125	130		
579	ℓ III	円盤状石製品	VD区	I層	4.9	0.6	20.1	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
580	ℓ III	円盤状石製品	VD区	I層	5.0	0.7	23.1	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
581	ℓ III	円盤状石製品	VC区落		4.6	0.7	20.4	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
582	ℓ III	円盤状石製品	?区	表採	4.4	0.6	14.8	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
583	ℓ III	円盤状石製品	VD区	II層	4.5	0.5	12.5	粘板岩、北上山地、古生界	125	130		
584	ℓ III	円盤状石製品	?区		4.8	0.6	12.7	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
585	ℓ III	円盤状石製品	VD区落	II層	4.2	0.6	15.1	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
586	ℓ III	円盤状石製品	VD区	V層	4.1	0.6	12.7	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
587	ℓ III	円盤状石製品	I F区		4.8	0.7	18.6	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
588	ℓ III	円盤状石製品	II F区		4.9	1.2	43.3	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
589	ℓ III	円盤状石製品	I F区		5.0	0.8	25.3	粘板岩、北上山地、古生界	125	131		
590	ℓ III	円盤状石製品	III F区		4.9	0.9	30.1	粘板岩、北上山地、古生界	126	131		
591	ℓ III	円盤状石製品	II F区		4.9	0.9	29.7	粘板岩、北上山地、古生界	126	131		
592	ℓ III	円盤状石製品	III F区		4.9	1.1	30.7	粘板岩、北上山地、中生界	126	131		
593	ℓ III	円盤状石製品	VD区落	I層	5.0	1.9	44.7	粘板岩、北上山地、古生界	126	131		
594	ℓ III	円盤状石製品	VE区	I層	4.9	0.6	20.2	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
595	ℓ IV	円盤状石製品	I F区		5.2	0.8	25.5	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
596	ℓ IV	円盤状石製品	VD区落	I層	5.8	0.8	42.1	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
597	ℓ IV	円盤状石製品	VC区		5.1	0.9	28.2	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
598	ℓ IV	円盤状石製品	VD区	I層	5.7	1.0	35.2	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
599	ℓ IV	円盤状石製品	VD区	IV~V層	5.1	0.4	15.8	粘板岩、北上山地、古生界	126	132		
600	ℓ V	円盤状石製品	IVE区		6.2	0.8	39.6	粘板岩、北上山地、中生界	126	132		
601	ℓ V	円盤状石製品	VF区		6.2	0.5	40.0	粘板岩、北上山地、中生界	126	132		
602	ℓ V	円盤状石製品	VF区		6.2	1.4	67.4	粘板岩、北上山地、中生界	127	132		
603	ℓ VI	円盤状石製品	VD区	II層	7.6	0.9	66.8	粘板岩、北上山地、古生界	127	133		
604	m	石斧の模造品?	II F区		2.9	1.1	0.3	2.3	粘板岩、北上山地、中生界	127	133	

2. 縄文・弥生時代の土器類 (図128～136、写真図版134～139)

(1) 土器

遺構外から出土した土器・土製品類は、大コンテナ (41×31×30cm) で10箱ほどである。数回にわたる選別により、小破片や欠損の著しいものを割愛し、全部で146点掲載することにした。遺物は、縄文時代は早期から晩期にわたり、その他には縄文時代晩期末葉から弥生時代初頭のもものが1点ある。

分類・記述にあたり、縄文時代早期の土器を第I群として、以下前期-第II群、中期-第III群、後期-第IV群、晩期-第V群の分類区分を設けた。さらに分類の困難な後・晩期の粗製土器はVI群、晩期末から弥生時代の土器はVII群とした。また、各群の中で細分類しているが、第I群と第VI群以外は従来の土器編年に当てはめる形をとった。

図版の縮尺は、拓本はすべて $\frac{1}{3}$ 、実測図は個々に示している。

第I群土器 (早期)

1類-押型文型土器群

- a. 押型文のみ施文されているもの (605～608)
- b. 数条の沈線と縄文が施文されているもの (609～612)
- c. 縄文のみが施文されているもの (613～616)

2類-貝殻・沈線文系土器群

- a. 貝殻復縁文が施文されているもの (617～619)
- b. 貝殻条痕文が施文されているもの (620～627)
- c. 貝殻条痕文と縄文が施文されているもの (628、629)

第II群土器 (前期)

- 1類-早稲田5類に相当するもの (630)
- 2類-円筒下層a式に相当するもの (631)
- 3類-円筒下層b₁式に相当するもの (632～635)
- 4類-円筒下層b₂式に相当するもの (636、637)
- 5類-円筒下層d₁式に相当するもの (638～647)
- 6類-円筒下層d₂式に相当するもの (648～651)

第III群土器 (中期)

- 1類-円筒上層a₁式に相当するもの (652～663)

2 類—円筒上層 a₂ 式に相当するもの (664~675)

3 類—円筒上層 b 式に相当するもの (676~685)

第IV群土器 (後期)

1 類—十腰内 I 式に相当するもの (686~694)

2 類—十腰内 II 及び III 式に相当するもの (695)

3 類—十腰内 IV 式に相当するもの (696)

4 類—十腰内 V 式に相当するもの (697~700)

5 類—所属不明のもの (701)

第V群土器 (晩期)

1 類—大洞 B 式に相当するもの (702、703)

2 類—大洞 C₁ 式に相当するもの (704)

3 類—大洞 C₂ 式に相当するもの (705~708)

4 類—大洞 A 式に相当するもの (709~712)

第VI群土器 (後期もしくは晩期に属すると思われる粗製土器)

1 類—後期の可能性が高いもの

a. 折り返し口縁をもつもの (713、714)

b. 口縁部に化粧土が見られるもの (715)

c. 体部に網目状擦糸文が施文されているもの (716、717)

d. 口縁部が縄文と沈線からなるもの (718~720)

e. 体部に無節斜行縄文が施文されているもの (721~724)

2 類—晩期の可能性が高いもの (725~728)

3 類—後期と晩期のどちらに属するか不明のもの

a. 羽状縄文が施文されているもの (729~735)

b. 単節の縄文が施文され、口唇部が外側に張り出すもの (736~741)

c. 単節の縄文が施文され、口唇部が外側に張り出していないもの (742、743)

第VII群土器 (晩期末から弥生時代初頭)

大洞 A' 式から砂沢式に相当するもの (744)

(2) 土製品

土製品では745、746、747のミニチュア土器、751の土偶が出土している。

746のミニチュアについては、その焼成の状態などから古代の遺物の可能性もある。これは、2個1対の焼成前の小孔がみられる。751は縄文時代中期の板状土偶で、頭部を欠く。

3. 古代の土器 (図136、写真図版139)

遺構外から出土した土師器は、坏2点・甕1点と極端に少ない。748、749の坏は、いずれも体部中央からやや下方に軽い段を持ち、内外面ともよくヘラミガキされている。内面は黒色処理が施されている。750は甕の底部破片で、底部外面に靨痕と思われるものが付着している。

4. その他 (図なし、写真図版140)

先述以外の遺構外出土遺物としては、大コンテナ3箱におよぶ鉄滓、キセル3点、古銭12枚がある。

鉄滓のなかには碗型のものも見られるが、前述のとおり鍛冶関係の遺構は検出されなかった。

古銭では、寛永通寶(初鑄1636年)7枚のほか、永楽通寶(明銭-初鑄1408年)3枚、元祐通寶(北宗銭-初鑄1086~1093年)2枚が出土した。(濱田)

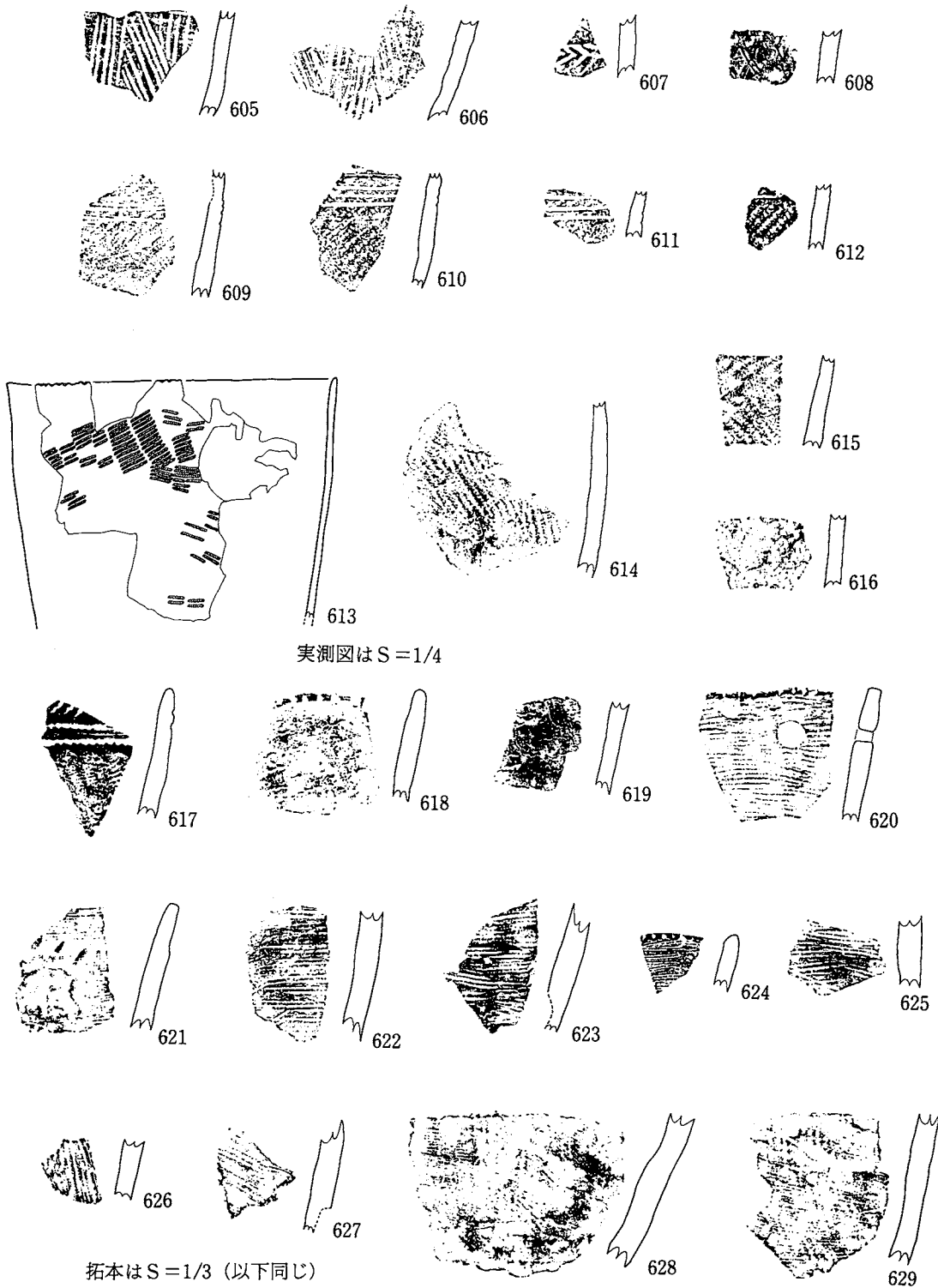


図128 遺構外出土土器類(1)〔I群〕

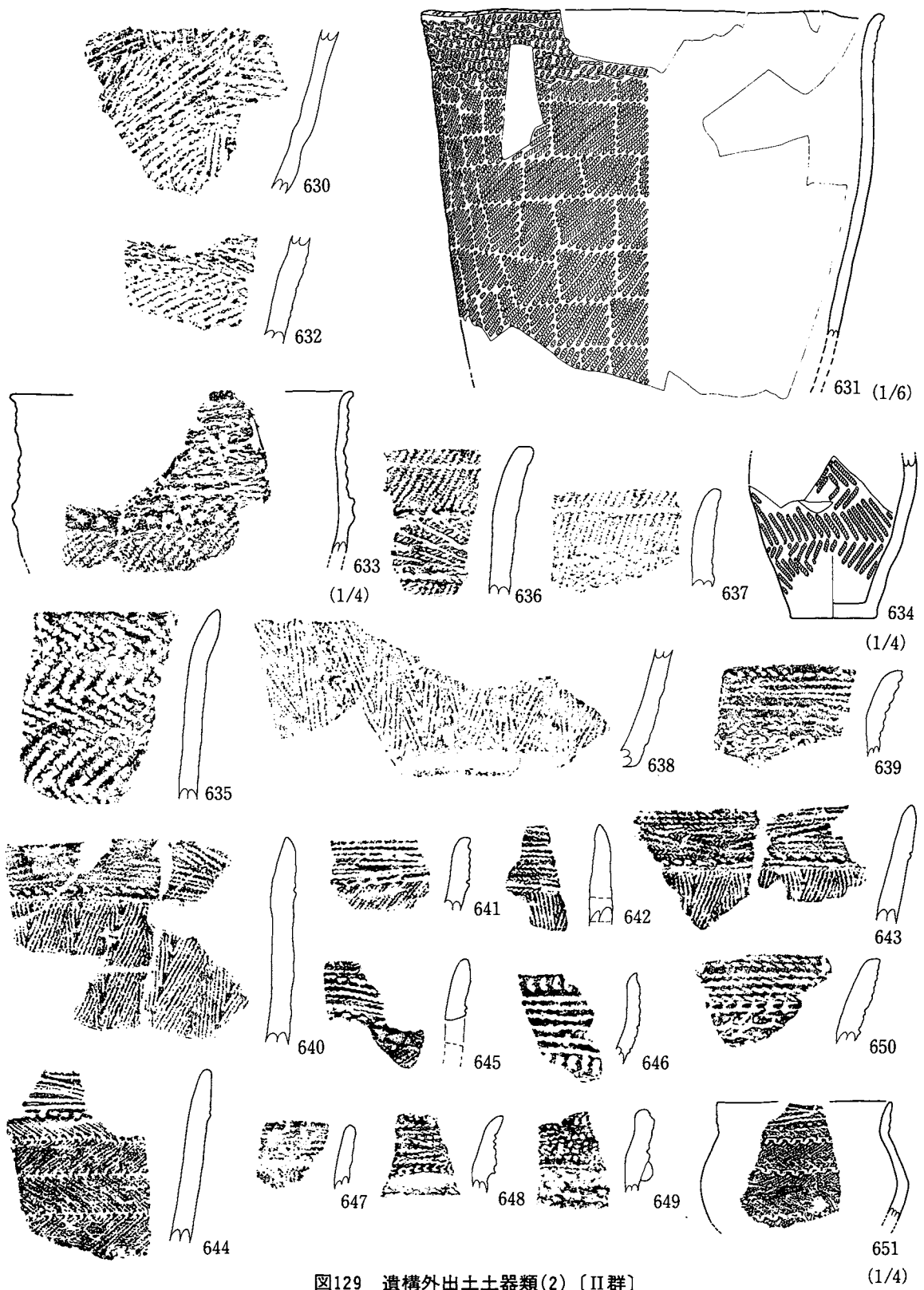


图129 遺構外出土器類(2)〔II群〕

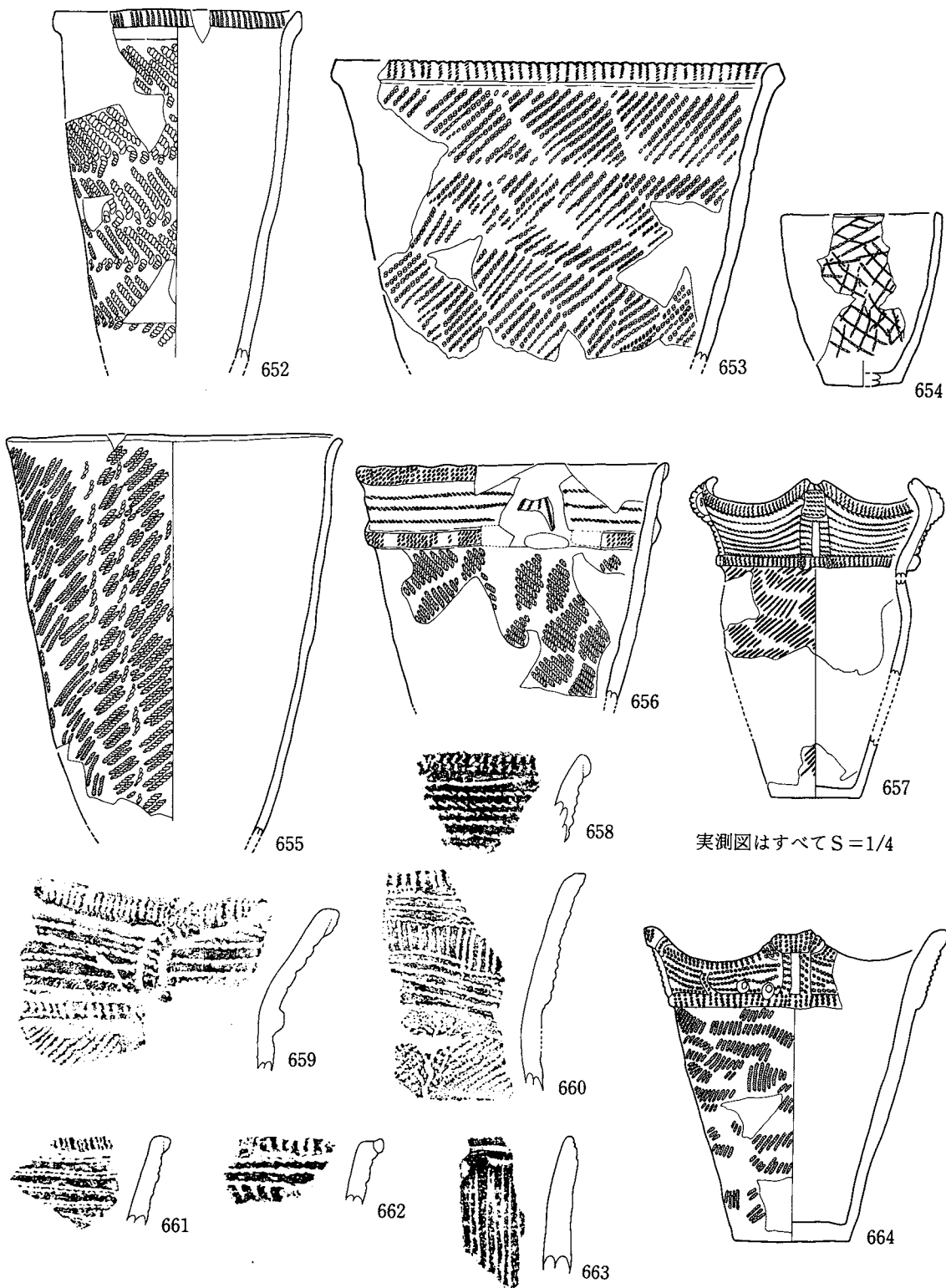


図130 遺構外出土土器類(3)〔Ⅲ群①〕



图131 遺構外出土土器類(4)〔Ⅲ群②〕

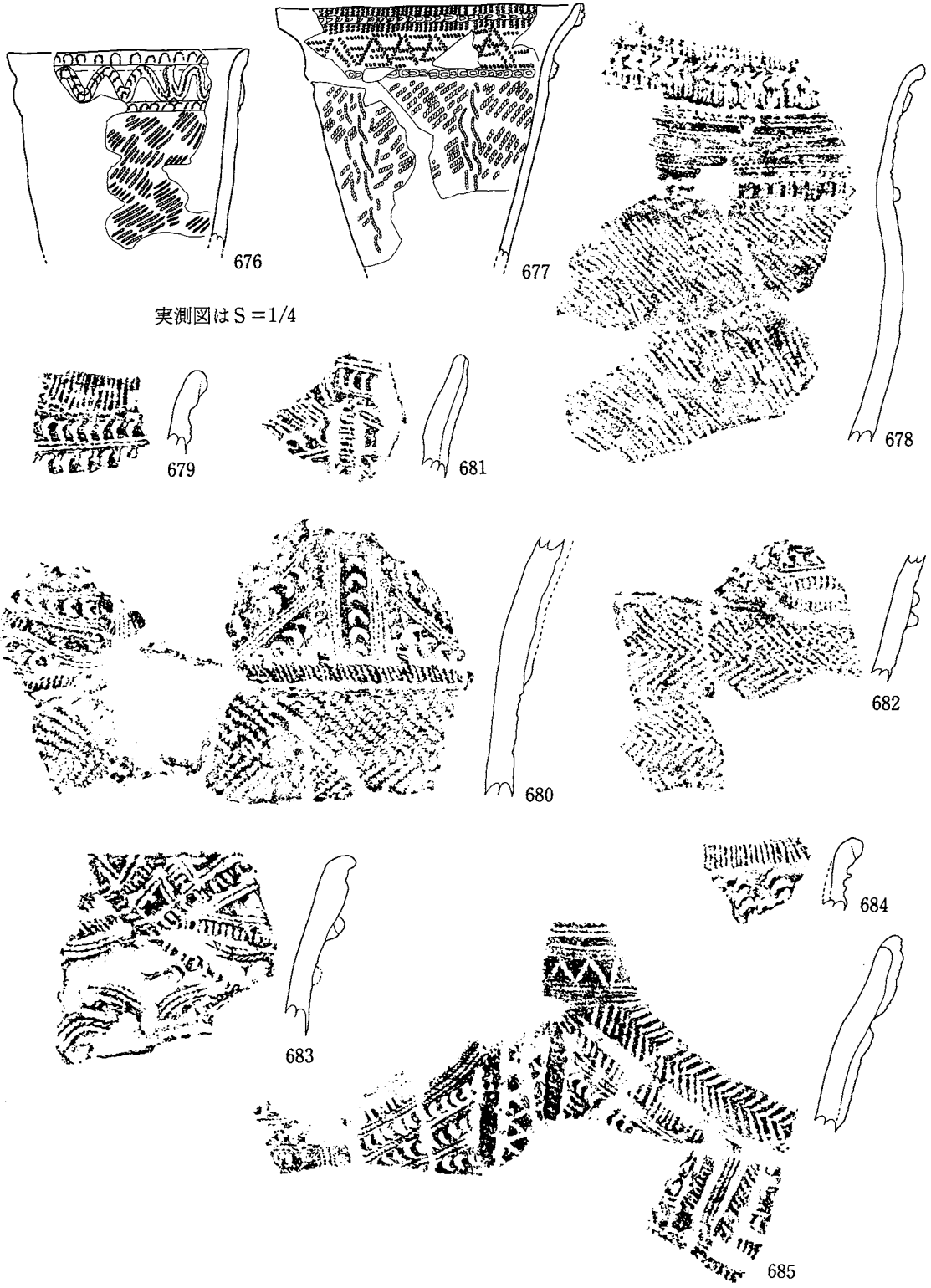
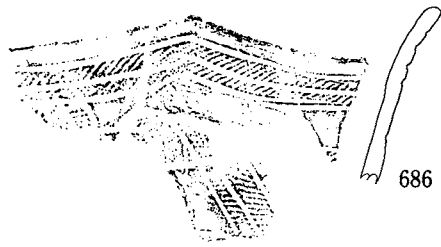
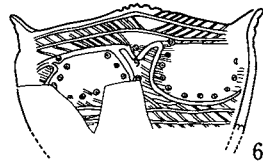


図132 遺構外出土器類(5)〔Ⅲ群③〕



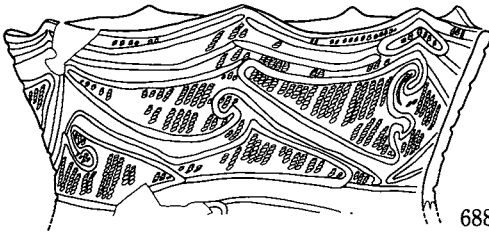
686



687



689



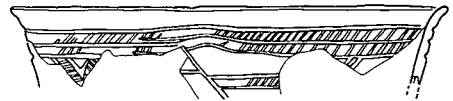
688



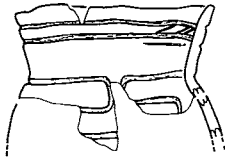
690



691



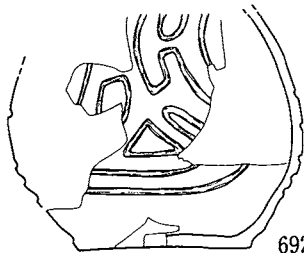
694



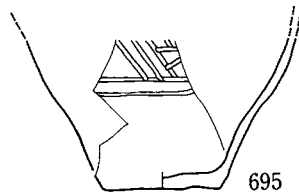
693



696



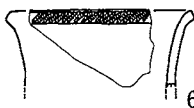
692



695



697



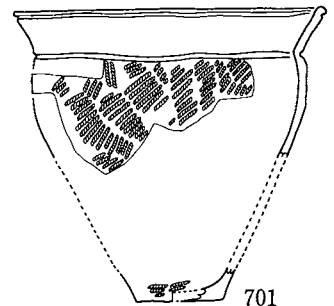
698



699



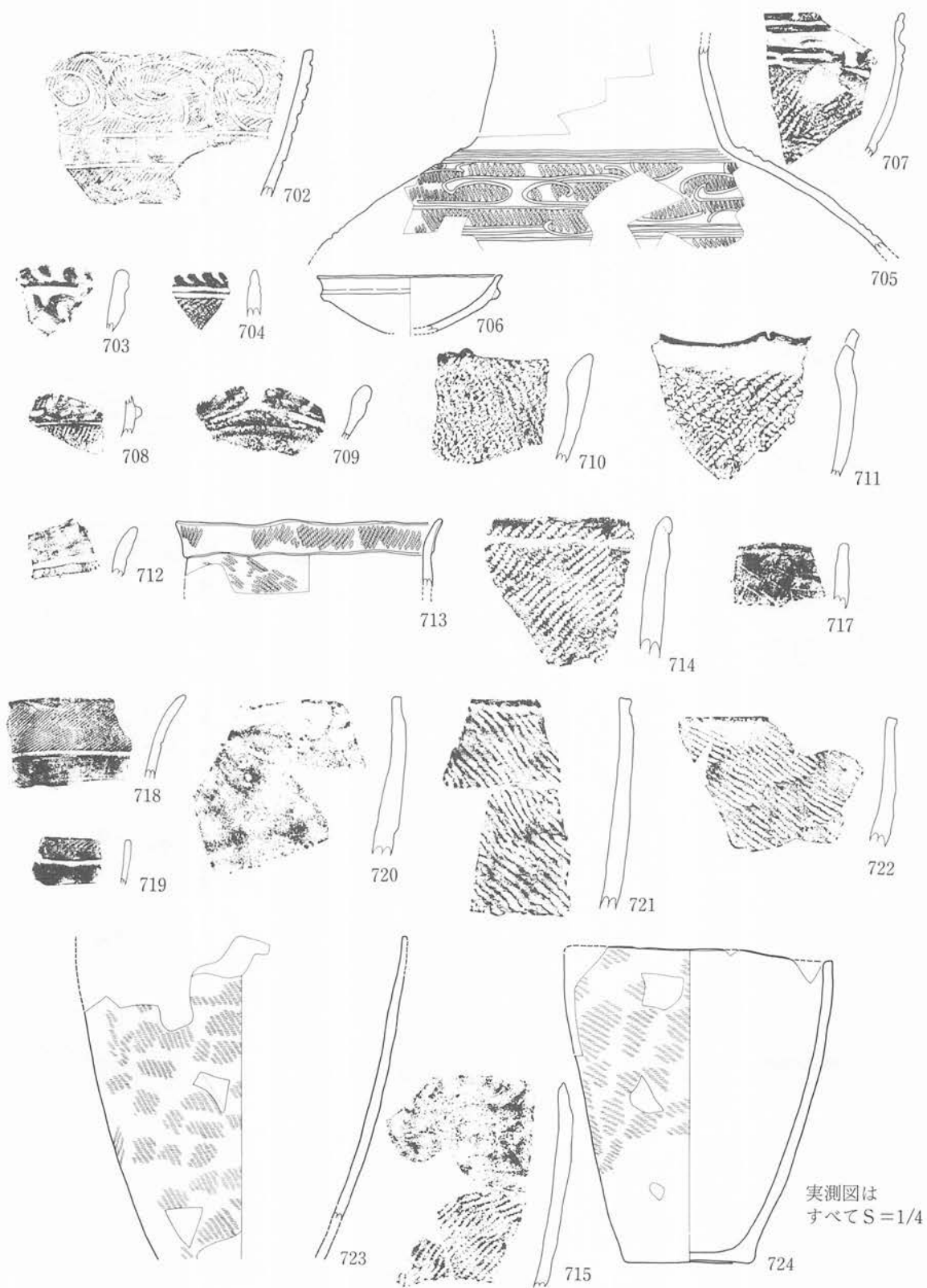
700



701

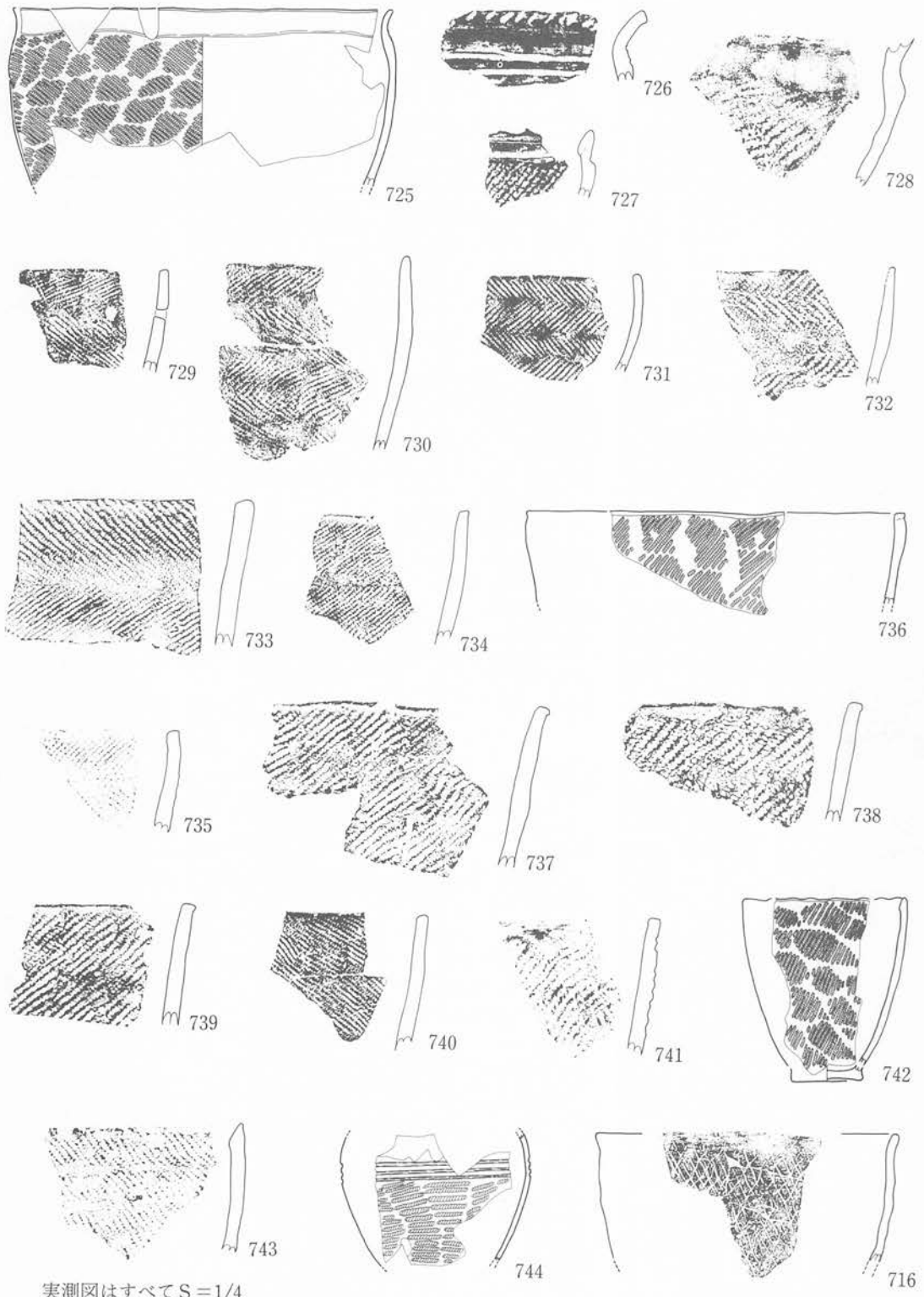
実測図はすべてS=1/4

図133 遺構外出土土器類(6)〔IV群〕



実測図は
すべて S=1/4

图134 遺構外出土土器類(7)〔V群・VI群①〕



実測図はすべて S=1/4

図135 遺構外出土土器類(8) [VI群②・VII群]

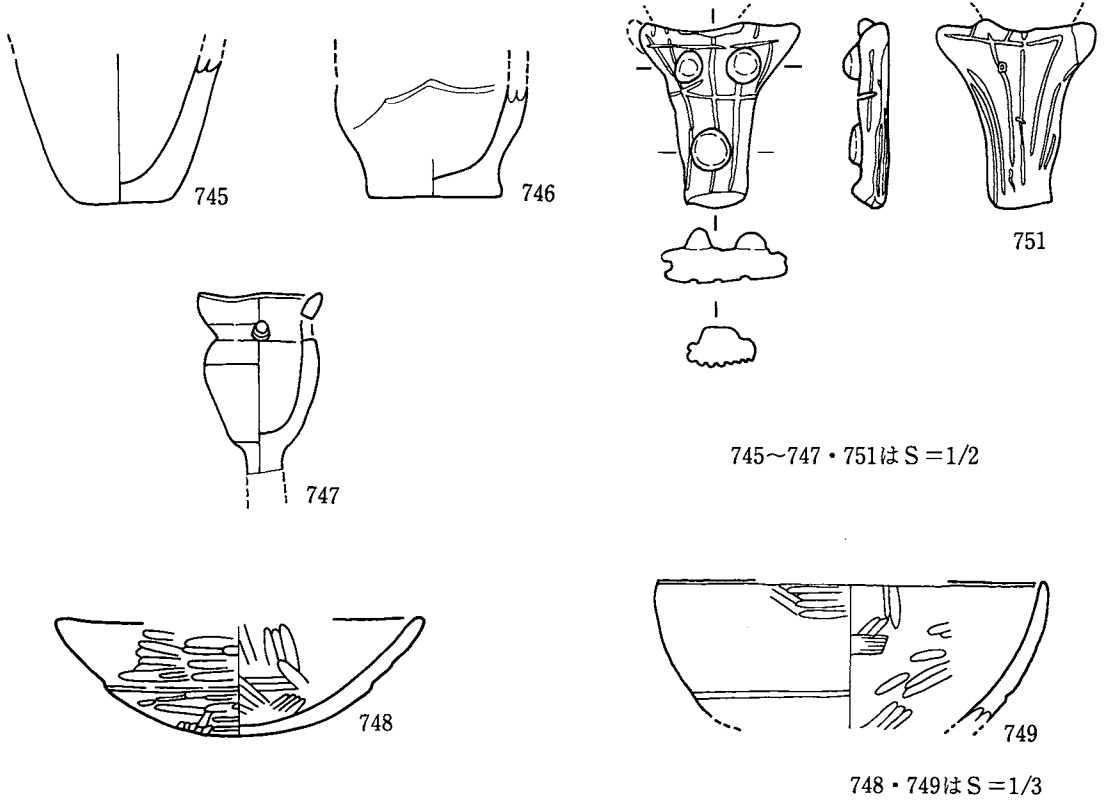


図136 遺構外出土土器類(9) [ミニチュア土器・土偶・土師器]

表11 遺構外出土土器類一覧表

番号	出土地点	分類	器種	部位	文 様 ほ か	内 面	図版	写真
605	VE区	I 1 a	深鉢	体部	押型文(重層山形状)、砂粒を含む	ミガキ	128	134
606	VE区	I 1 a	深鉢	体部	押型文(重層山形状)、繊維混入	ナデ	128	134
607	VE区	I 1 a	深鉢	体部	押型文(X字状)	ナデ	128	134
608	VID区	I 1 a	深鉢	体部	押型文(重層山形状)	ナデ	128	134
609	VID区	I 1 b	深鉢	体部	数条の沈線、単節斜行縄文	ナデ	128	134
610	VE区	I 1 b	深鉢	体部	3条の沈線、単節斜行縄文	ナデ	128	134
611	VID区	I 1 b	深鉢	体部	単節斜行縄文を施文後に3条の沈線	ナデ	128	134
612	VE区	I 1 b	深鉢	体部	単節斜行縄文、沈線	ナデ	128	134
613	VID区	I 1 c	深鉢	口~体部	口唇部刻目、単節斜行縄文、小礫含む	ナデ	128	134
614	VE区	I 1 c	深鉢	体部	単節斜行条文	ナデ	128	134
615	VE区	I 1 c	深鉢	体部	羽状縄文?	ナデ	128	134
616	VE区	I 1 c	深鉢	体部	羽状縄文?	ナデ	128	134
617	VF区	I 2 a	深鉢	口~体部	貝殻腹縁文、貝殻条痕文、小礫を含む	ナデ	128	134
618	VD区	I 2 a	深鉢	口~体部	口唇部に上部から痕目、貝殻腹縁文、胎土緻密	ナデ	128	134
619	VID区	I 2 a	深鉢	体部	貝殻腹縁文、焼成良好、胎土緻密	ナデ	128	134
620	VD区	I 2 b	深鉢	口~体部	口唇部刻目、貝殻条痕文、補修孔	ナデ	128	134
621	VID区	I 2 b	深鉢	口~体部	貝殻条痕文、爪形文、一部斜行縄文、焼成良好	ミガキ	128	134
622	VID区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条痕文	ナデ	128	134
623	VD区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条痕文、焼成良好	ナデ	128	134
624	VE区	I 2 b	深鉢	口縁部	口唇部に上部から刻目(爪形か?)、貝殻条痕文	ミガキ	128	134
625	VID区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条痕文、繊維混入	ナデ	128	134
626	VID区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条痕文	ナデ	128	134
627	VID区	I 2 b	深鉢	体部	貝殻条痕文	ナデ	128	134
628	VID区	I 2 c	深鉢	体部	貝殻条痕?、一部単節斜行縄文	ナデ	128	134
629	VID区	I 2 c	深鉢	体部	貝殻条痕?、一部単節斜行縄文	ナデ	128	134
630	VE区	II 1	深鉢	体部	無節縄文、植物繊維多量に含む	ナデ	129	134
631	IVE区	II 2	大型深鉢	口~体部	口縁部横位綾絡文、単節斜行縄文(口唇部上面まで施文)	ミガキ	129	134
632	II F区	II 3	深鉢	体部	横位綾絡文、結節羽状縄文	ミガキ	129	134
633	?区	II 3	深鉢	口~体部	撚紐圧痕、竹管刺突の付く隆帯、単節斜行縄文、繊維含む	ナデ	129	134
634	VE区	II 3	深鉢	体~底部	結節羽状縄文	ナデ	129	134
635	VE区	II 3	深鉢	口~体部	羽状縄文	ミガキ	129	135
636	IVE区	II 4	深鉢	口縁部	単節斜行縄文、撚圧痕紐	ミガキ	129	135
637	VE区	II 4	深鉢	口~体部	単節斜行縄文、撚紐圧痕、横位綾絡文	ミガキ	129	135
638	II F区	II 5	深鉢	体部下半	木目状撚糸文、綾絡文	ナデ	129	135
639	II F区	II 5	深鉢	口縁部	口唇部列点、撚紐圧痕、綾絡文	ミガキ	129	135
640	IVE区	II 5	深鉢	口~体部	撚紐圧痕、列点状刺突、木目状撚糸文	ミガキ	129	135
641	IVD区	II 5	深鉢	口縁部	撚紐圧痕、刺突文、異状斜行縄文?	ミガキ	129	135
642	IV F区	II 5	深鉢	口縁部	撚紐圧痕、木目状撚糸文、焼成前の穿孔	ミガキ	129	135
643	IVE区	II 5	深鉢	口縁部	撚紐圧痕、列点状刺突、木目状撚糸文	ミガキ	129	135
644	IVE区	II 5	深鉢	口~体部	撚紐圧痕、列点状刺突、結節羽状縄文	ミガキ?	129	135
645	IVE区	II 5	深鉢	口縁部	撚紐圧痕、列点状刺突、焼成前の穿孔	ミガキ	129	135
646	IVE区	II 5	鉢	口~体部	爪形刺突文、撚紐圧痕	ミガキ	129	135
647	VD区	II 5	深鉢	口縁部	撚紐圧痕、列点状刺突	ミガキ	129	135
648	I F区	II 6	深鉢	口縁部	口唇部と隆帯に爪形刺突、列点文、撚紐圧痕	ミガキ	129	135
649	II F区	II 6	深鉢	口縁部	口唇部爪形刺突、列点文、撚紐圧痕、隆帯	ミガキ	129	135
650	II F区	II 6	深鉢	口縁部	撚紐圧痕、竹管(?)刺突、綾絡文、	ミガキ	129	135
651	IVE区	II 6	鉢	口~体部	撚紐圧痕、刺突文、羽状縄文、横位綾絡文	ミガキ	129	135
652	I F区	III 1	深鉢	口~体部	絡条体圧痕隆帯、結節羽状縄文	ミガキ	130	135
653	I F区	III 1	深鉢	口~体部	撚紐圧痕隆帯、複節斜行縄文	ミガキ	130	135

番号	出土地点	分類	器種	部位	文様ほか	内面	図版	写真
654	I F区	III 1	小型深鉢	口～底部	網目状燃糸文	ミガキ	130	135
655	VE区	III 1	深鉢	口～体部	単節斜行縄文、縦位綾織文	ナデ	130	135
656	I F区	III 1	深鉢	口～体部	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、単節斜行縄文、	ミガキ	130	135
657	I F区	III 1	深鉢	口～底部	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、単節斜行縄文、橋状把手、弁状突起	ナデ	130	135
658	I F区	III 1	深鉢	口縁部	折り返し口縁、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、	ミガキ	130	135
659	II F区	III 1	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、無節斜行縄文	ミガキ	130	135
660	II F区	III 1	深鉢	口～体部	燃紐圧痕、綾格文、単節斜行縄文	ミガキ	130	135
661	II F区	III 1	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、平行燃紐圧痕	ミガキ	130	135
662	I F区	III 1	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕	ミガキ	130	135
663	I F区	III 1	深鉢	口～体部	櫛状工具(?)による縦位の条線	ナデ	130	135
664	I F区	III 2	深鉢	口～底部	補修孔、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、単節斜行縄文	ミガキ	130	136
665	I F区	III 2	深鉢	口～底部	折り返し口縁、燃紐圧痕隆帯、山形隆帯、複節斜行縄文	ナデ	131	136
666	I F区	III 2	深鉢	口縁部	波状口縁、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、単節斜行縄文、小突起	ミガキ	131	136
667	I F区	III 2	深鉢	口～体部	二又弁状突起、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、複節斜行縄文	ミガキ	131	136
668	I F区	III 2	深鉢	口～体部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、ボタン状(環状)隆帯、	ミガキ	131	136
669	I F区	III 2	深鉢	口縁部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、橋状把手、渦巻状燃紐圧痕、	ミガキ	131	136
670	I F区	III 2	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、山形燃紐圧痕、複節斜行縄文	ミガキ	131	136
671	I F区	III 2	深鉢	体部	網目状燃紐圧痕、燃紐圧痕隆帯、単節斜行縄文	ミガキ	131	136
672	II F区	III 2	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、網目状燃紐圧痕	ミガキ	131	136
673	I F区	III 2	深鉢	口～底部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、渦巻状燃紐圧痕隆帯、複節斜行縄文	ミガキ	131	136
674	I F区	III 2	深鉢	口～体部	二又突起、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕	ミガキ	131	136
675	VD区	III 2	深鉢	口～体部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、ボタン状の燃紐圧痕貼付、羽状縄文	ミガキ	131	136
676	I F区	III 3	深鉢	口～体部	折り返し口縁、燃紐圧痕山形隆帯、〇記号状燃紐圧痕、単節斜行縄文	ナデ	132	136
677	I F区	III 3	深鉢	口～体部	燃紐圧痕隆帯、竹管刺突、燃紐圧痕、単節斜行縄文、綾格文	ミガキ	132	136
678	I F区	III 3	深鉢	口～体部	燃紐(平行)圧痕隆帯、燃紐圧痕、複節斜行縄文	ミガキ	132	136
679	I F区	III 3	深鉢	口縁部	燃紐圧痕、爪形圧痕	ミガキ	132	136
680	I F区	III 3	深鉢	体部	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、爪形圧痕、結節羽状縄文	ミガキ	132	136
681	I F区	III 3	深鉢	口縁部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、爪形圧痕	ミガキ	132	136
682	I F区	III 3	深鉢	体部上半	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、爪形圧痕、結節羽状縄文	ミガキ	132	136
683	II F区	III 3	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、弁状突起	ミガキ	132	136
684	II F区	III 3	深鉢	口縁部	燃紐圧痕隆帯、爪形圧痕	ミガキ	132	136
685	I F区	III 3	深鉢	口～体部	弁状突起、燃紐圧痕隆帯、燃紐圧痕、爪形圧痕	ミガキ	132	136
686	I F区	IV 1	浅鉢	体部上半	平行沈線、斜行縄文	ナデ	133	137
687	IVE区	IV 1	鉢	口～体部	波状口縁の頂部に刻目、磨消縄文、平行沈線、沈線区画、竹管刺突	ミガキ	133	137
688	VF区	IV 1	深鉢	口縁部	山形口縁、磨消縄文、平行沈線、沈線による波状入組文	ミガキ	133	137
689	IV F区	IV 1	鉢	口～体部	無節斜行縄文、沈線文	ミガキ	133	137
690	I F区	IV 1	鉢	口縁部	波状口縁、沈線区画、無節斜行縄文、磨消	ミガキ	133	137
691	VI E区	IV 1	深鉢	口～体部	波状口縁、沈線区画、単節斜行縄文	ナデ	133	137
692	IVE区	IV 1	壺	口縁部	口縁部に2条の沈線、入組沈線、赤褐色	ミガキ	133	137
693	IVE区	IV 1	壺	肩部	沈線文	ナデ	133	137
694	IV F区	IV 1	深鉢	口縁部	磨消縄文、平行沈線、沈線区画	ミガキ	133	137
695	IV F区	IV 2	深鉢	体～底部	沈線文	ナデ	133	137
696	VE区	IV 3	壺	頸部	磨消縄文、平行沈線、刺突のある突起	ナデ	133	137
697	VF区	IV 4	深鉢	口～体部	コブ、平行沈線、磨消縄文	ミガキ	133	137
698	VE区	IV 4	壺	口縁部	単節斜行縄文、ミガキ	ミガキ	133	137
699	VF区	IV 4	鉢	体部	単節斜行縄文、コブ、沈線区画	ミガキ	133	137
700	VE区	IV 4	鉢	体部	磨消縄文、単節斜行縄文、微隆帯、コブ	ミガキ	133	137
701	I F区	IV 5	深鉢	口～体部	口唇部と頸部に沈線、単節斜行縄文	ミガキ	133	137
702	VI E区	V 1	深鉢	口～体部	小波状口縁、単節斜行縄文、入組三又文(弧線文)、平行沈線、羽状縄文	ミガキ	134	137
703	VI E区	V 1	鉢?	口縁部	羊歯状文	ミガキ	134	137

番号	出土地点	分類	器種	部位	文 様 ほか	内 面	図版	写真
704	V F区	V 2	鉢	口縁部	刻目、平行沈線、単節斜行縄文、口唇部内面に沈線	ミガキ	134	137
705	IV E区	V 3	壺	肩部	平行沈線、磨消縄文、雲形文	ナデ	134	137
706	IV E区	V 3	浅鉢	底部欠損	無文、突起あり、砂粒を含む	ナデ	134	137
707	V F区	V 3	鉢	口～体部	平行沈線、突起、単節斜行縄文	ミガキ	134	137
708	V F区	V 3	浅鉢	体部	突起、沈線、単節斜行縄文	ミガキ	134	137
709	IV E区	V 4	鉢	口縁部	波状口縁、二又突起、沈線文、砂粒多量	ナデ	134	137
710	V F区	V 4	深鉢	口～体部	波状口縁、刻目突起、単節斜行縄文、口唇部内面肥厚、輪積痕	ミガキ	134	137
711	VE区	V 4	鉢	口～体部	波状口縁、刻目突起、単節斜行縄文	ナデ/ミガキ	134	137
712	VD区	V 4	深鉢	口縁部	波状口縁、刻目突起、沈線	ナデ	134	137
713	IV E区	VI 1 a	深鉢	口～体部	折り返し口縁、単節斜行縄文	ナデ	134	138
714	I F区	VI 1 a	深鉢	口～体部	折り返し口縁、単節斜行縄文	ナデ	134	138
715	VD区	VI 1 b	深鉢	体部	単節斜行縄文、化粧土	ミガキ	134	138
716	VE区	VI 1 c	鉢	口～体部	網目状捺糸文	ミガキ	135	138
717	VI E区	VI 1 c	深鉢	口縁部	網目状捺糸文	ミガキ	134	138
718	VI E区	VI 1 d	鉢	口縁部	単節斜行縄文、沈線	ミガキ	134	138
719	VE区	VI 1 d	小型鉢	口縁部	斜行縄文、磨消	ミガキ	134	138
720	VE区	VI 1 d	深鉢	口～体部	無文	ミガキ	134	138
721	IV E区	VI 1 e	深鉢	口～体部	無節斜行縄文	ミガキ	134	138
722	VE区	VI 1 e	深鉢	口～体部	無節斜行縄文	ミガキ	134	138
723	VE区	VI 1 e	深鉢	口～体部	無節斜行縄文	ナデ	134	138
724	VE区	VI 1 e	深鉢	口～底部	無節斜行縄文	ナデ	134	138
725	IV E区	VI 2	浅鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	135	138
726	IV E区	VI 2	鉢	口縁部	口唇部刻目、平行沈線	ナデ	135	138
727	VE区	VI 2	浅鉢	口縁部	口唇部に指頭押圧、単節斜行縄文	ナデ	135	138
728	VI E区	VI 2	鉢	口～体部	斜行縄文、口唇部内面肥厚	ナデ	135	138
729	IV E区	VI 3 a	鉢	口～体部	羽状縄文、補修孔	ナデ	135	138
730	IV E区	VI 3 a	鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138
731	IV E区	VI 3 a	小型鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138
732	V F区	VI 3 a	鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138
733	VE区	VI 3 a	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138
734	VE区	VI 3 a	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138
735	VD区	VI 3 a	深鉢	口～体部	羽状縄文	ミガキ	135	138
736	IV E区	VI 3 b	深鉢	口縁部	単節斜行縄文	ミガキ	135	138
737	IV E区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	135	138
738	IV E区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ナデ	135	138
739	IV E区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	135	138
740	VE区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	135	138
741	VE区	VI 3 b	深鉢	口～体部	単節斜行縄文	ミガキ	135	138
742	IV E区	VI 3 c	鉢	口～底部	単節斜行縄文、底部ミガキ	ミガキ	135	138
743	V F区	VI 3 c	深鉢	口～体部	単節斜行縄文、口唇部内面に段状の沈線	ミガキ	135	138
744	VD区	VII	鉢	口～体部	平行沈線、単節斜行縄文	ナデ	135	138
745	IV F区		ミニチュア	体部	無文	ナデ	136	139
746	IV E区		ミニチュア	体～底部	斜行縄文?	?	136	139
747	II F区		土製品?	底部欠損	2個1対の焼成前の小孔(古代?)	ナデ	136	139
748	V F区	土師器	坏	口～底部	内外面ヘラミガキ調整、外面に段状の沈線	内黒	136	139
749	VI D区	土師器	坏	口～体部	内外面ヘラミガキ調整、体部下半に段	内黒	136	139
750	IV E区	土師器	壘	底部	内外面ヘラミガキ調整、底部に粉痕?	---	---	139
751	IV E区	土偶	板状	体部	頭部欠損、長さ4.2 幅3.5 厚さ0.8(cm)	---	---	139

VI ま と め

1. 竪穴住居跡

(1) 縄文時代

縄文時代の竪穴住居跡は8棟検出された。各住居跡の規模等については、表12にまとめているので参照していただきたい。

時期毎の内訳は、早期前半1棟、中期初頭2棟、中期末葉1棟、晩期初頭～中葉4棟と考えられる。早期の1棟を除き、いずれも段丘の先端部に位置しており、現在の地形から考えて、河川による段丘面の侵食がなければ本来はもっと数多くの住居跡が存在していたと思われる。

調査の結果、前期・後期を除く各期の住居群が検出され、縄文時代の全体を通じて、この水吉地区が人々の生活の場となっていたことが確認された。また、同時期に青森県埋蔵文化財調査センターによって調査が行われた青森県南郷村畑内遺跡では、本遺跡では見られなかった前期および晩期末葉の住居跡が検出されており、時期によって人々は何らかの理由で、川の対岸に移動して集落を形成していたと考えられる。

8棟のうち特徴のあるものは、晩期の大形住居である第4号住居跡、?記号状の石囲炉をもつ第5号住居跡、大木10式期に属する第3号住居跡、早期の貝殻文系土器を出土した第8号住居跡などが挙げられよう。

(2) 古代

古代の住居跡は7棟検出され、いずれも奈良時代8世紀中葉～後半に属する。これらも表12に一覧表としてまとめている。

住居跡の平面形は、隅丸の方形か長方形を呈し、第7号住居跡以外は規模もほぼ同程度である。カマドの位置はすべて北西壁にあり、また削平の著しい第6号住居跡を除く6棟が、カマドの袖部・天井部に板状の粘板岩を用いているなど、類似している点が多い。各住居跡間の距離もほぼ一定しており、出土した土師器の内容からも6棟が同時存在していた可能性が高い。残る第6号住居跡については、上記の6棟と明らかに違う点として、カマド脇の貯蔵穴が挙げられる。その中からは擦文系といわれる甕の破片、土製紡錘車、海水産の貝殻が出土した。このことを簡単に時期差とすることは問題であるが、出土遺物などから、もしあったとしてもごくわずかなものと考えたい。

また第2号住居跡では、作業場と思われる長方形の掘り込みが認められた。最大の壁高は126cmを測り、南側壁際の中央に柱穴が1個検出された。掘り込みとその柱穴は、何らかの関係があるものと思われるが詳細は不明である。掘り込みの床面からは、焼成を受けた台石と刀子の一部が出土しており、鍛冶に関する作業場の可能性があろう。(濱田)

表12 竪穴住居跡一覧表

住居跡名	平面形	規模(m)	壁高(cm)	柱穴(個)	炉(基)	施設	時期	備考		
縄文1号住	隅丸長方形状	4.0×4.8	8~58	19	地床炉2	周溝1	縄文時代中期初頭	建て替え拡張・炭化材片		
2号	隅丸長方形	3.7×4.5	10~44	25	地床炉2	土坑1 (土器埋設)	縄文時代中期初頭	炭化材片		
3号	ほぼ円形	4.6×4.8	30~38	4	複式炉1	小土坑1	縄文時代中期末葉	炭化材片		
4号	楕円形	6.0×7.0(?)	90~100	10	石囲炉1	無	縄文時代晩期	建て替え縮小か?		
5号	円形	3.12×3.18	10~20	9	特殊石囲炉1	出入口の 柱穴2	縄文時代晩期	?記号状の石囲炉		
6号	隅丸長方形(?)	3.26×(?)	18~22	3	土器埋設炉1	無	縄文時代晩期?	炭化材片		
7号	楕円形状	3.2×3.0(?)	13~15	0	石囲炉1	無	縄文時代晩期			
8号	長楕円形	3.7×2.8	42~56	51(壁柱穴)	地床炉1	無	縄文時代早期前半	炭化聚果類(クルミ)		
住居跡名	平面形	規模(m)	壁高(cm)	柱穴(個)	カマドの位置	火山灰	主な遺物	焼失	時期	付属施設
古代1号住	隅丸長方形	3.3×3.6	50~68	無	北西壁中央	十和田a 白頭山	甕・甑(無底式)	○	8世紀 中~後半	無
2号	隅丸方形	3.14×3.2	48~126	有(1)	北西壁やや北寄り	十和田a 白頭山	坏・甕・釘	(?)	8世紀 中~後半	作業場(?)
3号	隅丸長方形	2.6×3.12	47~51	有(2)	北西壁やや北寄り	十和田a 白頭山	坏・甕・土玉・ 砥石・土錘	○	8世紀 中~後半	無
4号	隅丸方形	3.8×4.08	19~31	無	北西壁中央	十和田a 白頭山	坏・甕・刀子・ 土玉	○	8世紀 中~後半	無
5号	隅丸長方形	2.88×3.5	25~32	有(4)	北西壁やや北寄り	十和田a 白頭山	甕・土玉	(?)	8世紀 中~後半	無
6号	隅丸方形(?)	2.4×(?)	削平されほとんどのない	無	北西壁やや北寄り	削平のため 不明	北海道系甕・土 製紡錘車・貝類	(?)	8世紀 中~後半	貯蔵穴1
7号	隅丸方形	4.26×4.42	34~38	住居に伴うか不明	北西壁中央	十和田a 白頭山	坏・甕・土偶	○	8世紀 中~後半	無

(3) 中世

本遺跡において4棟の中世竪穴住居跡が検出されたが、方形を基調とするタイプと不整形を呈するタイプのものに分けられる。

〈方形タイプ〉

平面形が長方形及び方形を呈する住居跡は3棟検出された。そのうち2棟は調査区北西の緩斜面に、1棟は調査区中央埋没谷東側の落ち際に位置する。いずれの住居跡も壁際に周溝が検出されたが、出入口と考えられる張り出しを持つものは3棟である。

規模は短軸3.20m～3.84m、長軸3.30m～4.72mの範囲にあり、そのうち最小の規模である第2号住居跡は張り出しをもたない。

検出された柱穴は少ないもので6個、多いもので10個を数える。ほとんどが四隅と壁際に配されるが、第3号住居跡には床面中央部に2個の柱穴が検出された。深さは、ばらつきが多いが40cm以上のものが多い。

炉は検出されなかったが、第1号住居跡の床面に焼土が形成されていた。

遺物は少量であるが、2棟から鉄滓・角釘が出土している。そのうち鉄滓3点は床面からの出土である。

〈不整形タイプ〉

平面形が東西に長い不整形の住居跡が1棟検出された。周溝は検出されなかったが、張り出しを有し、床面とは段をもって検出面まで立ち上がっている。

規模は4.00m×4.92mであり検出された中世の竪穴住居跡の中で最大である。柱穴は18個を数えるが、深さはほとんどが40cm以下で他の住居跡より浅い。遺物は陶器片が1片埋土から出土している。

本遺跡の竪穴住居跡は、張り出しを有し、炉を持たないことから、中世以降の住居跡と推定される。そのうち2棟から鉄滓が出土し、付近に鍛冶に関する遺構が存在するものと思われたが検出されなかった。不整形の住居跡は、形状、規模とも他の住居跡とは異なり、唯一陶器片が出土していることから、構築時期が近世まで下る可能性もある。(高橋)

2. 土坑

本遺跡から検出された土坑の総数は203基で、調査区の雪谷川に張り出した段丘の縁及び北側の緩斜面に集中する。土坑の多くが耕作地造成にともない、上部を削平されており単純に平面形、開口部径や深さを比較することはできない。そこで、形状については底部平面及び断面形から、規模については底部径から分類した。

各タイプ毎に規模(底部径、長辺)をみると次の表13のようになる。

表13 土坑分類表

群	形状	規模					合計
		～50	51～100	101～150	151～200	201～	
I	円形 ビーカー状	0	5	22	12	0	39
	円形 フラスコ状	0	4	19	25	6	54
	円形 皿状	3	17	23	5	3	51
II	方形	0	0	0	3	0	3
III	長方形	0	14	13	8	1	36
IV	井戸状土坑	0	3	0	0	0	3
V	その他の土坑	2	12	3	0	0	17
合計		5	55	80	53	10	203

※ 規模の単位はcm

I群の土坑は平面形が円形の土坑であり、出土遺物と埋土から縄文時代の貯蔵穴に類する土坑であろう。これらは検出された総土坑数のうち144基を数え、およそ71%を占める。I群土坑をさらに断面形で分類すると、ビーカー状、フラスコ状、皿状に分けられる。ビーカー状皿状土坑の規模は、底部形101cm～150cmが最も多く、フラスコ状土坑は151cm～200cmのものが多い。皿状の土坑は、開口部がかなり削平され浅くなっている。したがって、フラスコ状にあるいはビーカー状土坑となる可能性が含まれる。

II群の土坑は平面形が方形の土坑であり、底部の短辺、長辺が160cm～180cmとほぼ同じ規模である。遺物は出土していないが、これらの土坑と付近の古代住居跡の埋土に白頭山火山灰が混入していることから同時期の遺構と考えられ、奈良時代の土坑と推定される。

III群の土坑は平面形が長方形の土坑である。埋土はほとんどが黒色土、黒褐色土を主体とし南部浮石粒、褐色ブロックを含む単層である。共伴する遺物もなく時期を特定できないが、墓塚の可能性もある。形状が類似するものとして、久慈市源道遺跡の12基の土坑が挙げられる。

IV群の土坑は平面形が円形で深いことから井戸状土坑とした。これらの土坑は、いずれも底部径80cm前後、深さ3m前後と規模はほぼ同じである。3基とも埋没谷の最深部をねらって掘り込まれている。埋土から鉄滓、韃の羽口が出土しており、古代以降に構築されたものと考えられるが、これらが有力な時期特定の資料とならないため中世以降の可能性もある。

V群の土坑は出土遺物もなく、時期を特定する資料もないことから、その他の土坑とし時期は不明とした。

土坑群の配置をみると、雪谷川に張り出した段丘の縁にI群土坑及びII群土坑が集中し、住居跡に近接して構築されている。また、調査区北側の緩斜面にはIII群土坑が配置され、墓域であった可能性がある。(高橋)

3. 陥し穴状遺構

検出された陥し穴状遺構は、22基である。平面形で円形タイプの陥し穴状遺構21基、溝状タイプの陥し穴状遺構1基の2形態で分類される。

(1) 円形タイプ

①形状

平面形は開口部に崩落があるものの、ほぼ円形で底部もほぼ円形を呈する。断面形は細長いピーカーを基調とする。

②規模

開口部長径の平均値は約147cmである。最も小さいもので104cm、最も大きいので198cmあり、その規模にばらつきがみられる。これは開口部の崩落によるものと考えられる。

底部径は最小64cm、最大124cmでその平均値は約89cmになる。

検出面からの深さは最も深いもので138cm、それに次ぐものが136cmであり、その平均値は107cmである。

③埋土

埋土は、黒色土～黒褐色土を主体とし、下部に崩落したと考えられる南部浮石粒が入る。上位はレンズ状に堆積し、自然堆積の様相を呈する。

④出土遺物

1基から縄文時代の深鉢体部と思われる土器片が出土した。

⑤副穴

21基中16基に副穴を確認している。副穴を底部のほぼ中央に1つつものが4基、底部中央より壁際に1つつものの2基、2つの副穴をもつもの8基、3つの副穴をもつもの2基に分類される。副穴を複数もつもの及び壁際に1つつものは副穴が中央に傾く。

⑥占地・配列

調査区西南区の山際に位置している。弧状を呈し、標高105mと102mの2本の等高線に概ね沿う形に配列されている。

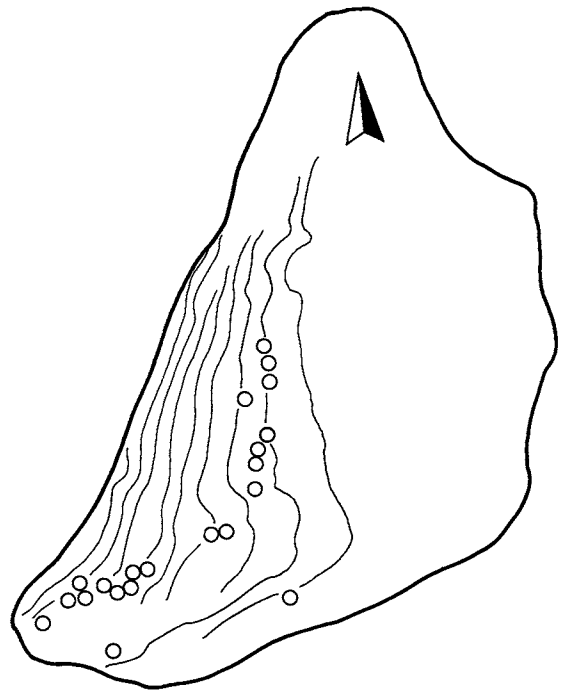


図137 円形陥し穴状遺構配列図

⑦時期

遺物が出土したのは1基のみである。埋土から縄文時代のものと思われる土器片が出土したが、時期を決定する資料とはならない。しかし、埋土の状況から縄文時代のいずれかの時期になるものと考えられる。

(2) 溝状タイプ

平面形は削平されているが、開口部、底部ともに溝状を基調とし、断面形はY字形を呈する。削平のため開口部は不明であるが、底部径は14~17cm×360cm、深さ120cmである。埋土は、円形タイプと同様の堆積状況となっている。出土遺物、副穴はない。調査区西南端に位置しているが、地形的にみて調査区外に同タイプの遺構が続くとは考えにくい。出土遺物はないが、埋土の状況から縄文時代に構築されたものと思われる。(高橋)

4. 出土遺物

(1) 縄文時代の土器・石器

土器は、早期前半から晩期末葉にかけての各期のものが出土している。中でも出土量の多いものは、III群1類・2類の円筒上層a・b式、IV群1類の十腰内I式、V群の大洞式が挙げられる。その他少量ではあるが、I群(早期)の押型文・貝殻文、II群の円筒下層式、IV群2類の瘤付土器などがみられる。

石器は遺構外からの出土が多いが、住居跡内からは磨石や石匙、石皿などが出ているものもある。器種別では、石鏃、石匙、石篋、搔器・削器類、磨石・敲石類、石錘などが比較的多く、その他にわずかに砥石類がある。調査面積から言えば、石器は全体に少ないようである。

(2) 縄文時代の土製品・石製品

土製品は板状土偶1点が遺構外から、古代の第7号住居跡から出土した後期の土偶頭部と脚部が各1点ずつあるだけである。

石製品は、石刀類の一部、穿孔のある軽石製浮子、石斧の模造品(ミニチュア)などのほかに、総数で63点出土した円盤状石製品がある。この円盤状石製品は、県内でも出土例が少なく、用途不明の石製品とされている。田老町の小掘内I遺跡や陸前高田市の寺前I・II遺跡などで出土しているようである。

本遺跡から出土したものは、石質はそのほとんどが粘板岩であるが、大きさ(直径)に

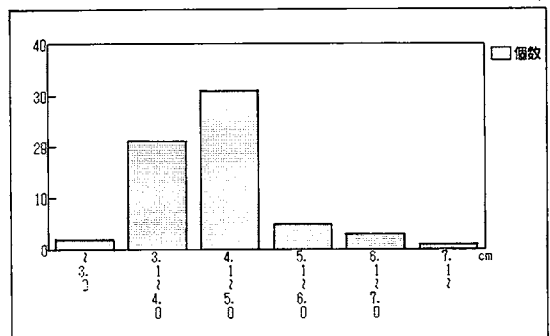


図138 円盤状石製品規模別柱状図

ばらつきがみられたため、63点を最大径によって分類してみたのが図138である。直径の平均値は4.35cm、最大で6.2cm、最小で3.1cmとなっている。直径3.0cmから5.0cmのものが平均的な大きさであり、それより小さいものも大きいものもごくわずかである。このことから用途について触れることは不可能であるが、ほとんどが遺跡外から出ていることや調査区のほぼ全域にみられることから、屋外での使用が考えられる。

(3) 古代の遺物

土師器は、遺構内を中心に坏・甕・甗が出土しているが、中でも坏は総数で4点と極端に少ない。出土した土師器のすべてがロクロ不使用のものであり、これまでの二戸地方の編年〔関(1981)・高橋(1982)・相原(1983)〕を参考にすれば、8世紀中ごろから後半に相当しよう。

また、第7号住居跡から出土した北海道系の甕は、北との交流を示すものとして重要と思われる。数条の段をもつ幅の広い口縁部は、外反ぎみに立ち上がり頸部は強く窄む。これと似た器形の甕は、青森県鱒ヶ沢町や尾上町李平下安原遺跡などで出土している。北の影響を受けている遺物であることは確かであるが、津軽平野を含む本州日本海側との関連も考えられる。

土師器以外の遺物には、土製品では紡錘車1点・土玉3点・土錘1点、鉄製品では刀子1点・角釘1点、石製品では砥石1点がいずれも住居内から出土している。また、縄文時代後期のものと思われる土偶が第7号住居跡の床面から出土した。運び込まれたものであろう。

(4) 中世以降の遺物

中世の遺物としては、住居跡から角釘などの鉄製品、遺跡外から多量の鉄滓が出土し、その時代の鍛冶に関係する施設が存在が考えられたが、本調査では確認できなかった。その他には、埋没谷から北宋銭の元祐通宝、遺構外から近世の寛永通宝など古銭類が出土した。

なお、本遺跡から20基ほどの近世墓が検出され、しっかりした人骨とともに簪・紅皿・キセル・壺などが出土したが、すべて地主に引き取っていただいた。

5. 水吉VI遺跡の集落の変遷

本遺跡から検出された各時代の遺構の状況を大まかに図139に示した。同じ段丘面にありながら、その時代・時期毎に利用される場所が変化している様子が観察される。その理由の1つとして、調査区のほぼ中央にある埋没谷が挙げられる。この埋没谷は、南部浮石層を底面とするもので、その埋土の状況から、谷が埋まりきるまではかなりの期間(少なくとも近世まで)を要したことがわかった。おそらく縄文時代には深い谷であったろうし、10世紀ごろまでにはその深さの半分ほど堆積が進むが、緩やかな窪地になっていたと考えられる。このことから、縄文時代から古代までの集落は、谷によって土地が分断されていたため、これより東側にはこれらの時代の遺構がみられないものと考えられる。

3カ年にわたる発掘調査の結果、この軽米町水吉地区は、断続的ながら人々の生活の場となっていたことが明らかになった。また近世の墓塚群や掘立柱建物跡もみられ、現在に至るまで何らかの人間の生活の痕跡が認められた。隣合う青森県南郷村畑内遺跡での調査成果との比較など再考すべき点は数多くあるが、これでまとめとしたい。(濱田)

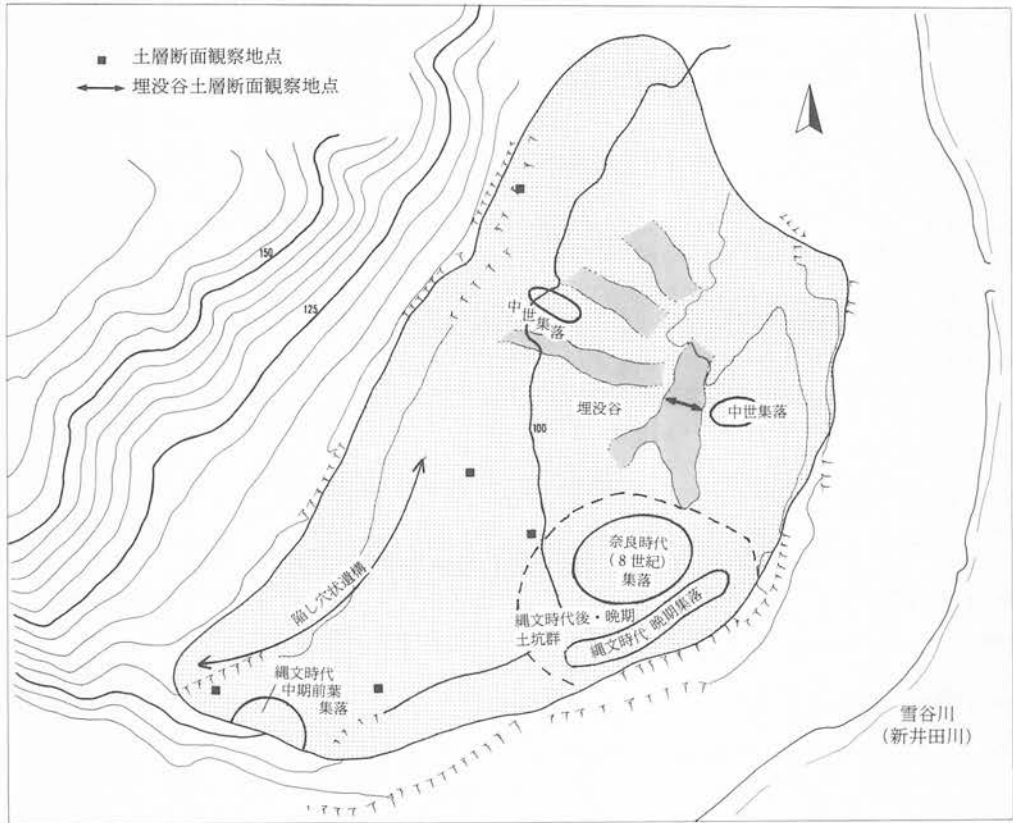


図139 水吉VI遺跡集落変遷図

引用・参考文献

- 宇部則保： (1989) 「青森県における7・8世紀の土師器
—馬淵川下流域を中心として—」 北海道考古学第25号
- 江坂輝弥： (1970) 『石神遺跡』 ニュー・サイエンス社
- 遠藤勝博ほか： (1982) 『田代遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第41集
- 大原一則： (1983) 『小堀内I遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第52集
- 小田野哲憲ほか： (1992) 『本郷遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第164集
- 金子昭彦： (1994) 『新山権現社遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第188集
- 工藤利幸ほか： (1986) 『馬場野II遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第99集
- 熊谷・小田野・高橋： (1982) 『岩手の土器』 岩手県立博物館
- 近藤宗光： (1985) 『駒板遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第98集
- 斎藤邦雄： (1991) 『間館I遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第156集
- 酒井宗孝： (1986) 『沼久保遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書109集
- 佐々木嘉直： (1983) 『吠屋敷III遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第48集
- 鈴木克彦ほか： (1975) 『中の平遺跡発掘調査報告書』 青森県教育委員会
- 鈴木克彦： (1982) 「円筒土器に後続する土器の編年」 考古風土記第7号
- 鈴木隆英： (1985) 『曲田I遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第87集
- 高橋与右エ門： (1985) 『水神遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第96集
- 高橋与右エ門： (1983) 『上里遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第55集
- 田鎖寿夫： (1985) 『大日向II遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第100集
- 種市 進： (1983) 『道地III遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第64集
- 浜田 宏ほか： (1992) 『鼻館跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第171集
- 平井 進： (1989) 『寺前I・II遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第139集
- 藤沼邦彦： (1989) 「亀ヶ岡式土器様式」『縄文土器大観4』 講談社
- 藤村敏男： (1993) 『丸木橋遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第189集
- 三浦謙一： (1987) 『飛鳥台地I遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第120集
- 三浦謙一： (1988) 『平沢I遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第125集
- 三浦圭介ほか： (1985) 『売場遺跡発掘調査報告書』 青森県埋蔵文化財調査報告書第93集
- 光井文行： (1990) 「岩手県にみられる古代の北海道系土器について
—頸部に段をもつ甕形土器を中心に—」 岩埋文紀要X
- 三宅徹也： (1989) 「円筒土器下・上層様式」『縄文土器大観1』 講談社
- 三宅徹也： (1988) 『李平下安原遺跡発掘調査報告書』 青森県埋蔵文化財発掘調査報告書第111集
- 宮塚義人： (1983) 「小平町高砂遺跡の調査」 月刊考古学ジャーナルNo.213
- 村上達夫： (1983) 『吠屋敷II遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第47集
- 村越 潔： (1974) 『円筒土器文化』 雄山閣
- 村越 潔ほか： (1968) 岩木山—岩木山麓古代遺跡発掘調査報告書— 岩木山刊行会
- 渡辺洋一： (1984) 『平船III遺跡発掘調査報告書』 岩埋文報告書第76集

付編 2 大渡II遺跡他の古環境と植物利用

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

本報告は、岩手県下の各遺跡において行った自然科学調査成果について記したものである。水吉VI遺跡、泉屋遺跡、志羅山遺跡、上米内遺跡、松屋敷遺跡、大渡II遺跡については種実同定を行なっている。大渡II遺跡については、土壌試料を水洗選別することによって種実遺体を検出し同定を行ったが、他の遺跡では発掘時に検出されたものを対象とした。また、柏山館跡については花粉分析を、江川鉄山跡については放射性炭素年代測定をそれぞれ行う。以下に各遺跡ごとにそれぞれの成果について記す。なお、放射性炭素年代測定結果は、後日報告する予定である。

I. 水吉VI遺跡

1. 目的

水吉VI遺跡は、八戸自動車道軽米インターチェンジの北北東約5.5km付近に位置し、雪谷川左岸の河岸段丘上に立地している。遺跡の標高は、98~103mで、ほぼ南北方向に緩やかに傾斜している。河岸段丘と比高差は約15mで、現況は山林と畑である。

今回対象とするのは、縄文時代晩期初頭のものともみられる竪穴状遺構ならびに縄文時代早期とされる竪穴住居からそれぞれ検出された種実遺体である。これらの種類を知り、当時の植物利用について検討する。

2. 試料

試料は、縄文第3号竪穴状遺構ならびに縄文第8号竪穴住居跡から検出された種実遺体2点である。

3. 分析方法

双眼実体顕微鏡下でその形態的特徴から種類を同定した。

4. 結果・考察

結果を表1に示す。以下に形態的特徴について記す。

表1 種実遺体同定結果

試料名	同定結果
MY VI-93 0727縄文3号竪Q3埋土	モモ (破片が10個)
MY VI-93 0701縄文8号住Q4埋土	オニグルミ (破片多数)、ミズキ (1)

・オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana* (Maxim) Kitamura

クルミ科クルミ属

核の破片が検出された。黒色で大きさは1 cm程度。内果皮は厚く堅い。表面は荒いしわ状となり、裏面には子葉が入るくぼみがある。

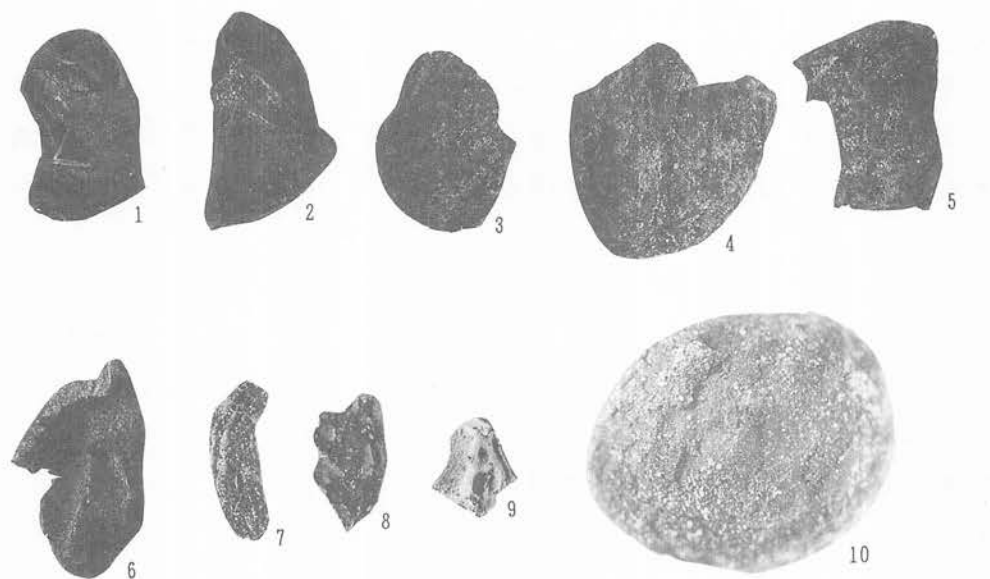
・モモ *Prunus persica* Batsch バラ科サクラ属

核（内果皮）の破片が検出された。褐灰色で大きさは1 cm程度。縫合線付近の部位が残存している。

今回検出された種実は、いずれも古くから食用にされてきた種類である。

オニグルミは生食可能なことから古くから食用として利用されていたとみられ、各地で多くの検出例が知られている。オニグルミは、本州の山野では沢沿いなどにごく普通に見られる種類であることから、平易に入手しやすく、利用しやすかったものと推測される。

モモは渡来した植物といわれ、古くは縄文時代前期に検出例が知られているが（長崎県伊木力遺跡；粉川，1988）、検出例・個体数が増加するのは弥生時代以降である。モモは古くから人々に利用され、花の観賞や果実や種子を食用にすることから、今回検出されたモモも当時食用などに利用されていたと考えられる。



1-6. オニグルミ (試料番号;MY VI-930701縄文8号住Q4埋土)

7-9. モモ (試料番号;MY VI-930727縄文3号堅Q3埋土)

10. ミズキ (試料番号;MY VI-930701縄文8号住Q4埋土)

1cm
(1-9)

1mm
(10)

図版1 水吉VI遺跡 種実遺体

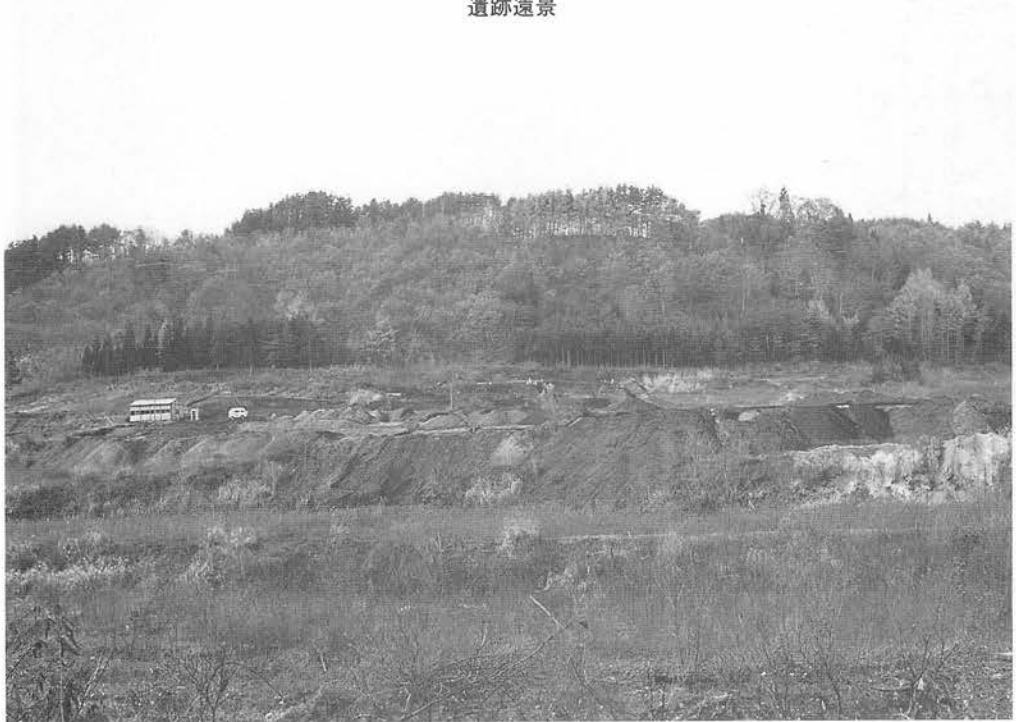
写 真 图 版



写真図版 1 遺跡全景



遺跡遠景

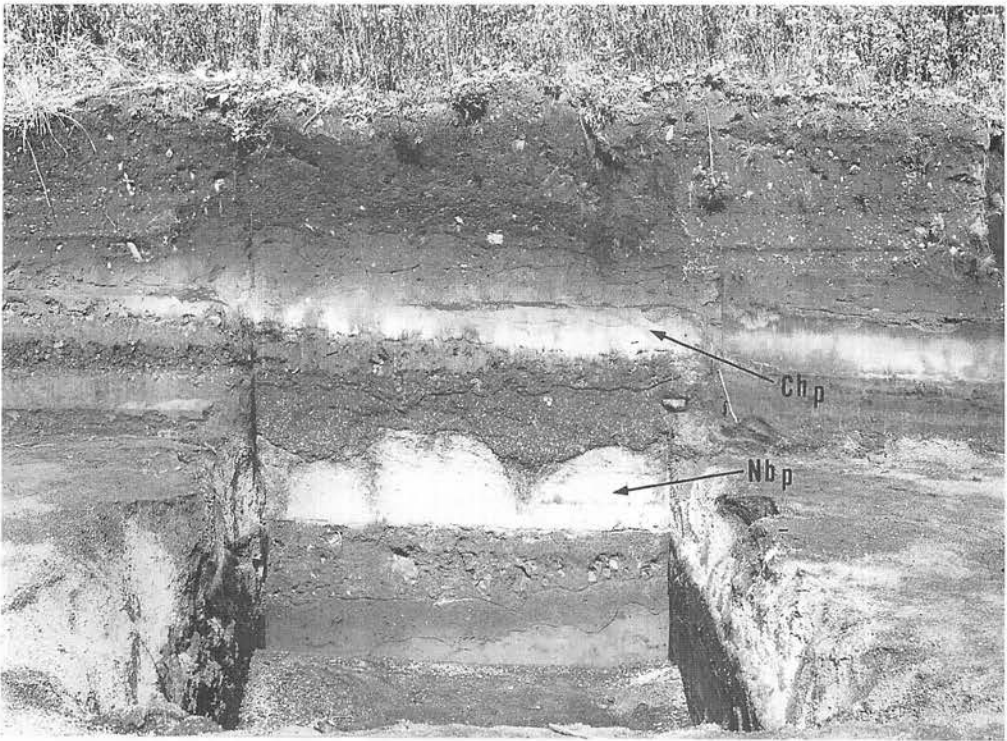


遺跡の立地

写真図版2 遺跡遠景・立地状況

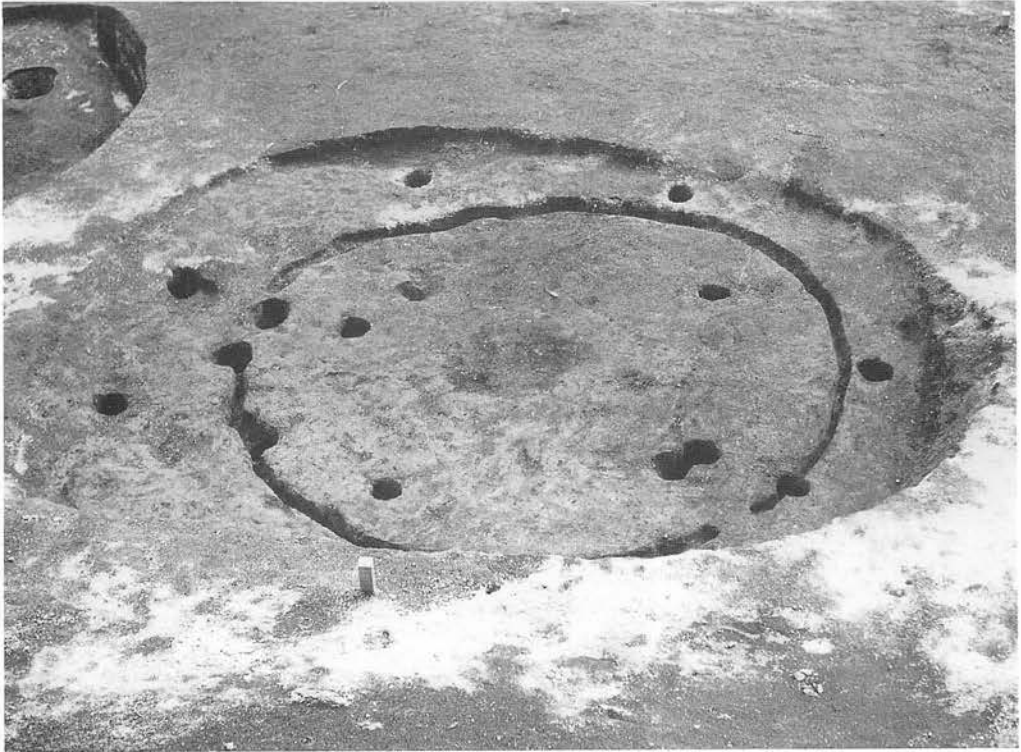


IV D区基本層序

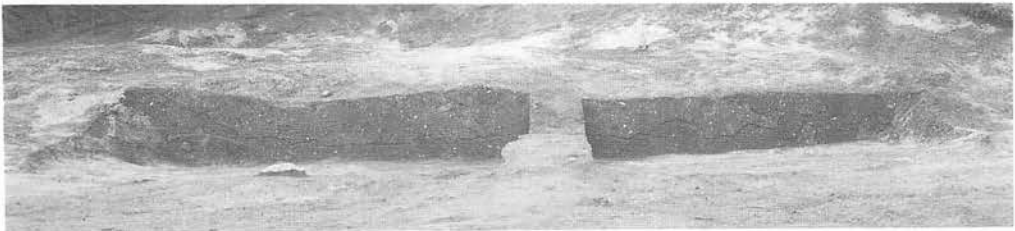


IV B区基本層序

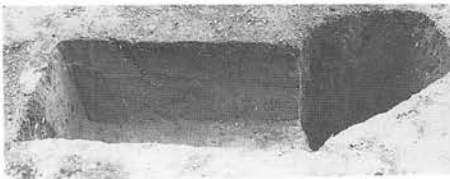
写真図版 3 基本土層



全景



埋土



地床炉 1 断面

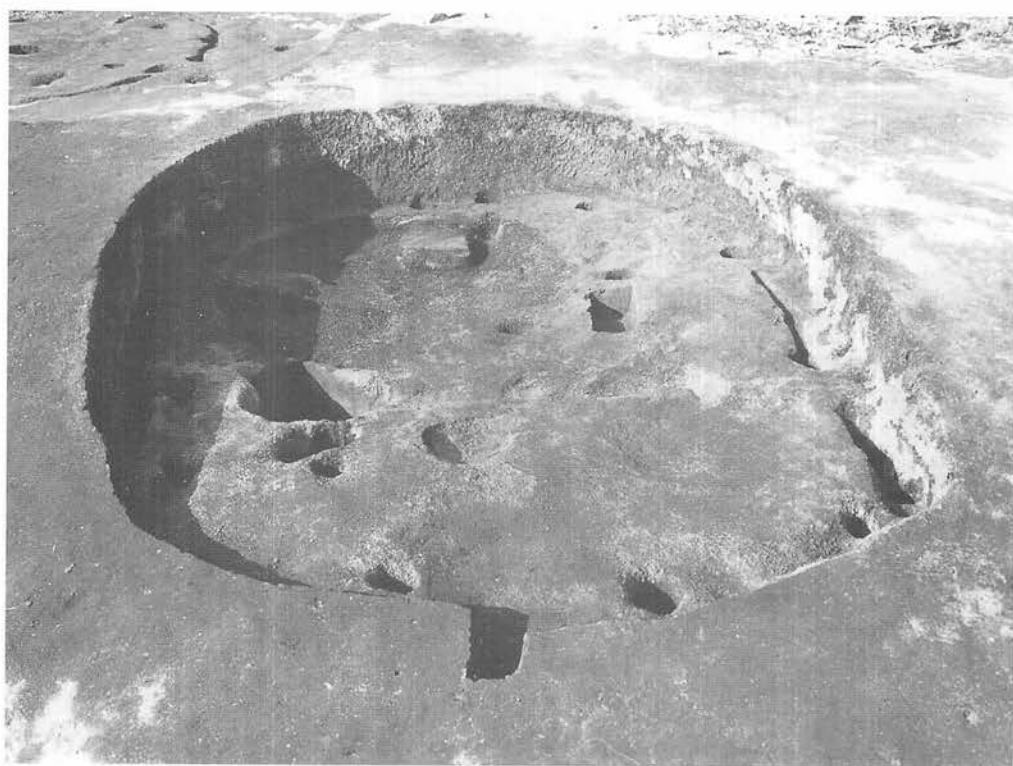


地床炉 2 断面



遺物・炭化材出土状況

写真図版 4 縄文第 1 号住居跡



全景



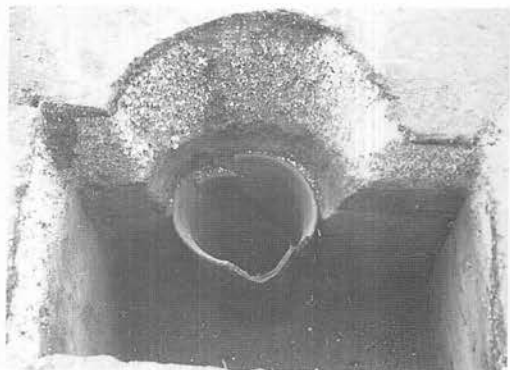
埋土



地床炉断面



遺物出土状況



P 1 内の埋設土器

写真図版 5 縄文第 2 号住居跡



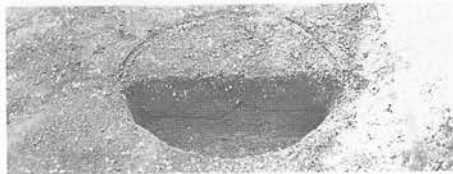
全景



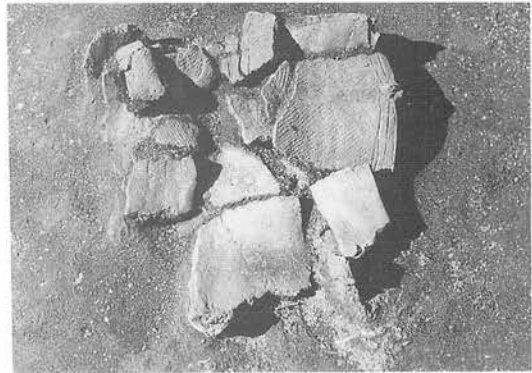
埋土



複式炉断面



柱穴埋土

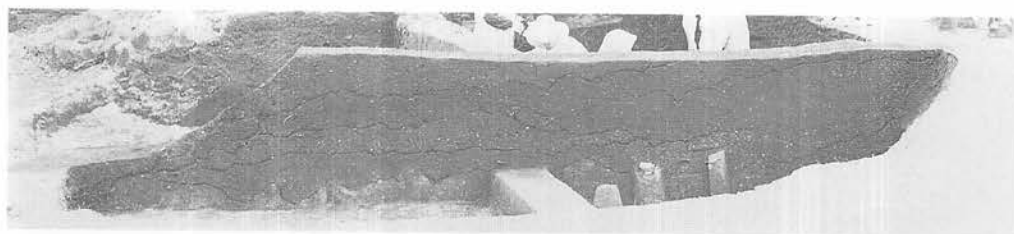


遺物出土状況

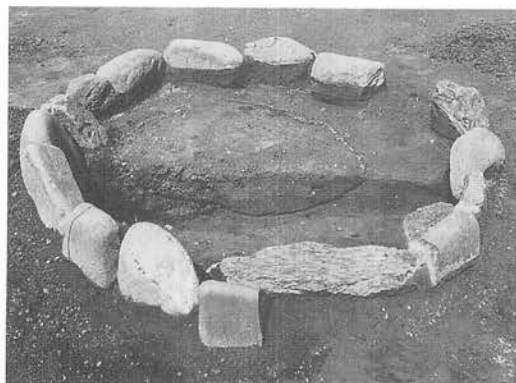
写真図版 6 縄文第 3 号住居跡



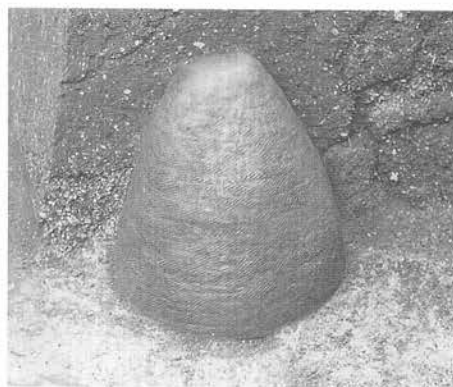
全景



埋土

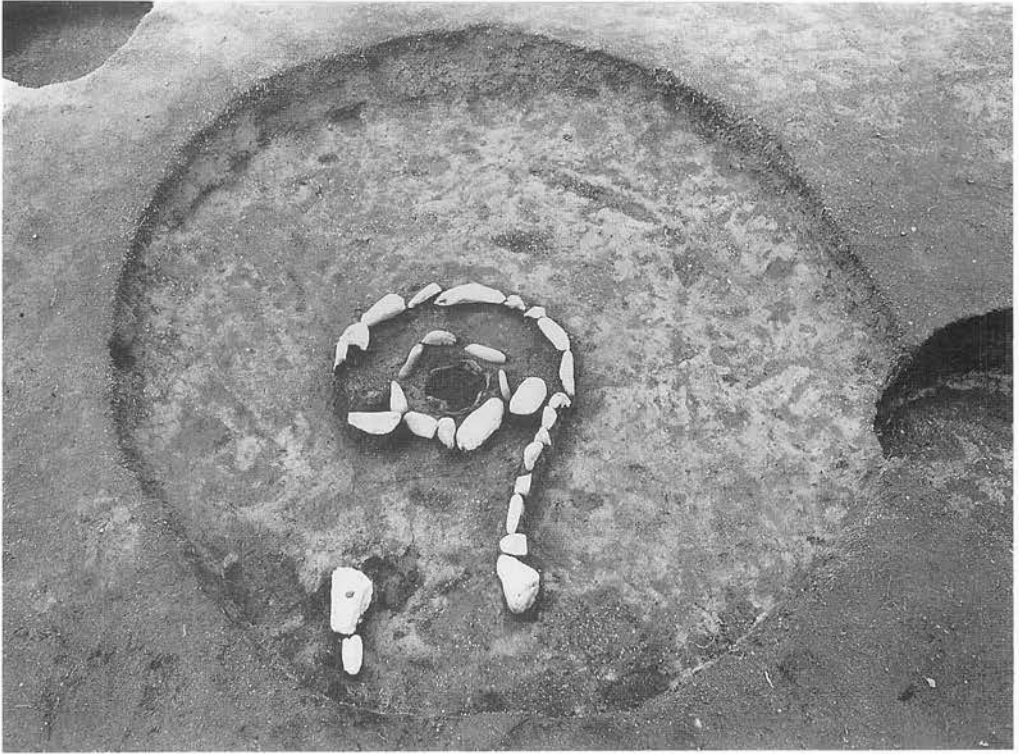


石圈炉断面

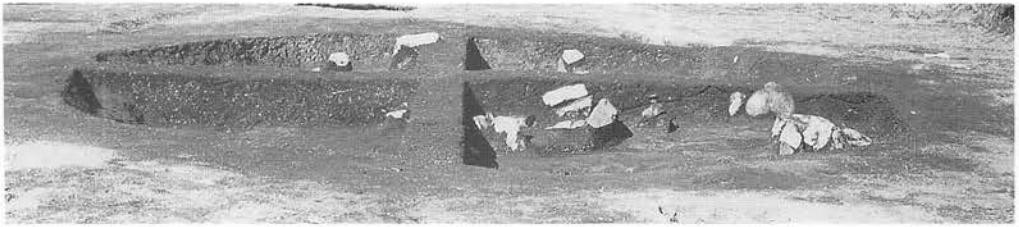


遺物出土状況

写真図版7 縄文第4号住居跡



全景



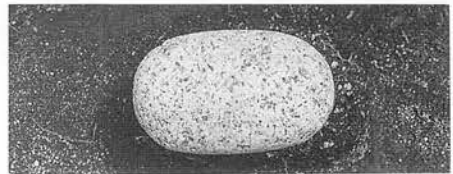
埋土



石囲土器埋設炉



出土遺物 1



出土遺物 2



全景



埋土



土器埋設炉



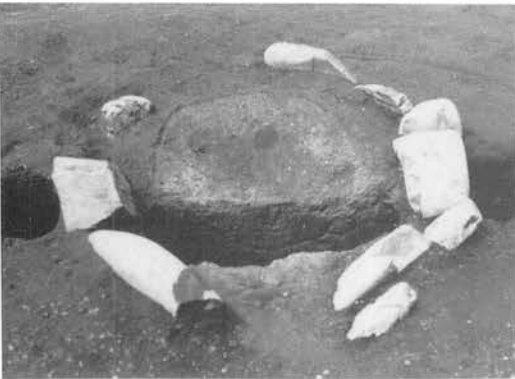
土器埋設炉断面



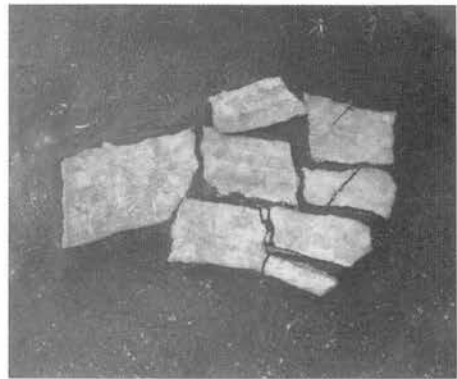
全景



埋土

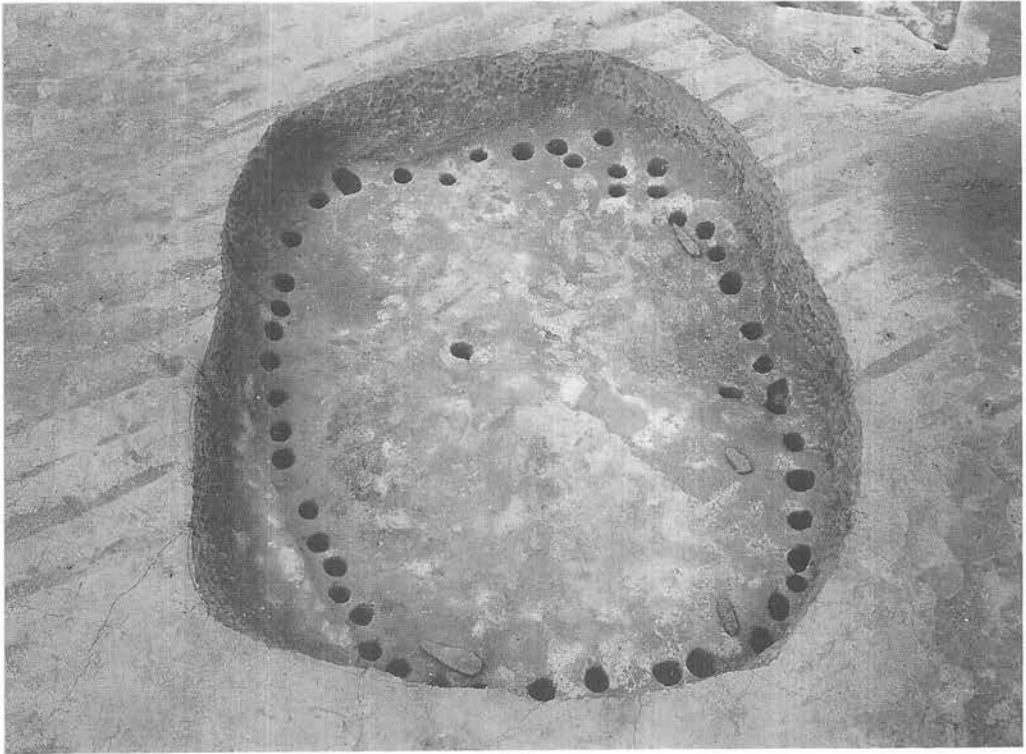


石囲炉断面



遺物出土状況

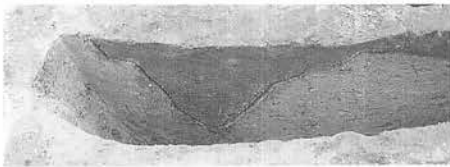
写真図版10 縄文第7号住居跡



全景



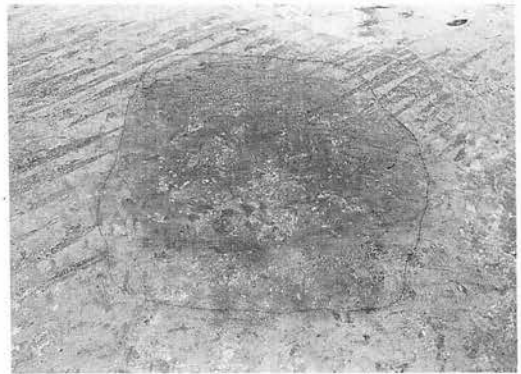
埋土



地床炉断面



遺物出土状況

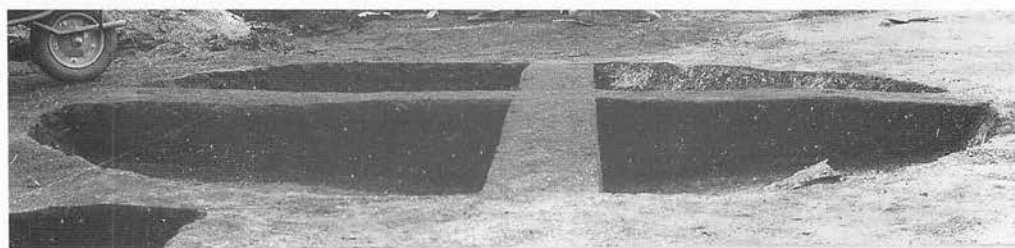


検出状況

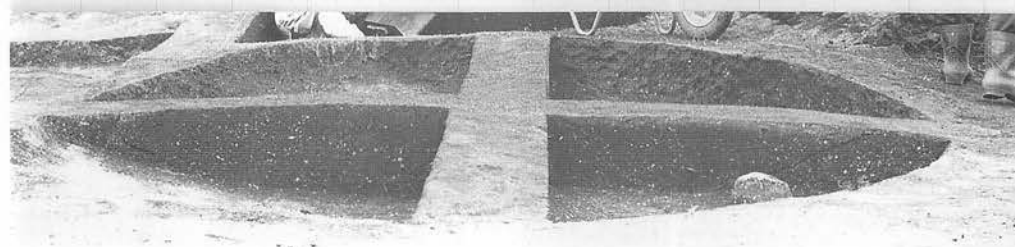
写真図版11 縄文第8号住居跡



全景



埋土

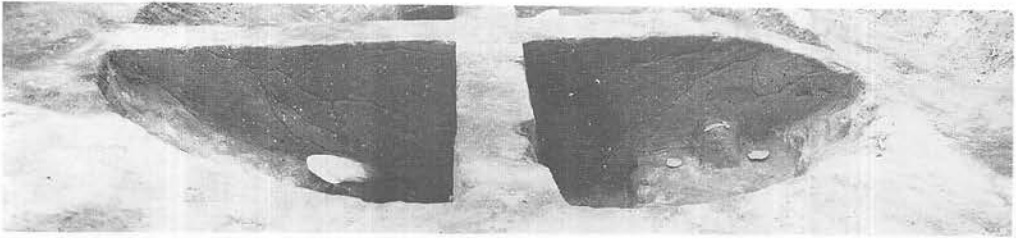


埋土

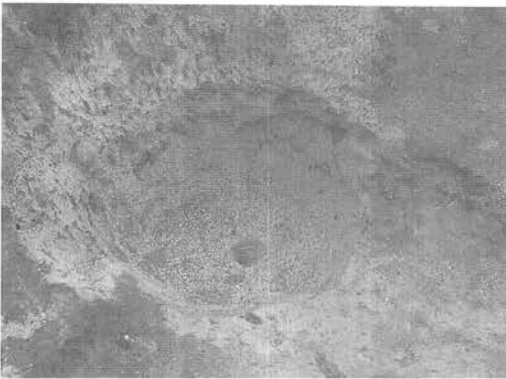
写真図版12 縄文第1号竖穴状遺構



全景



埋土



P 1 全景



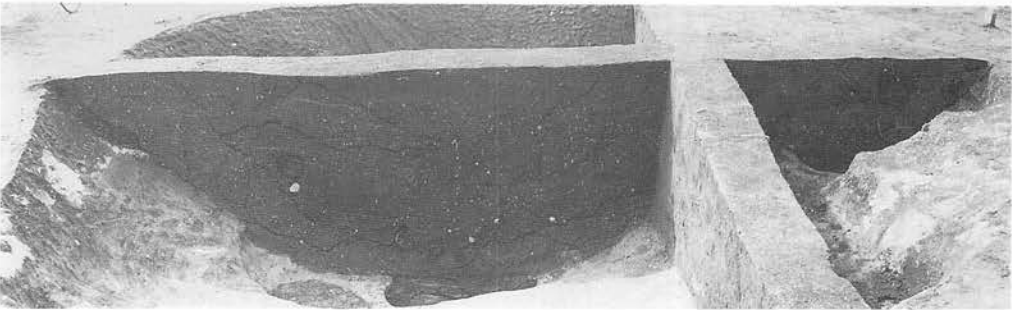
P 1 埋土



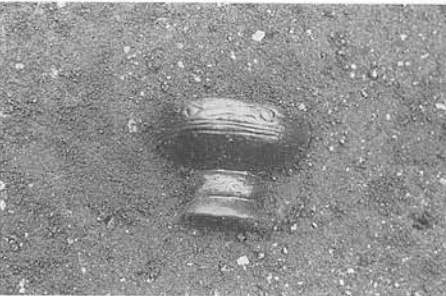
出土遺物



全景



埋土

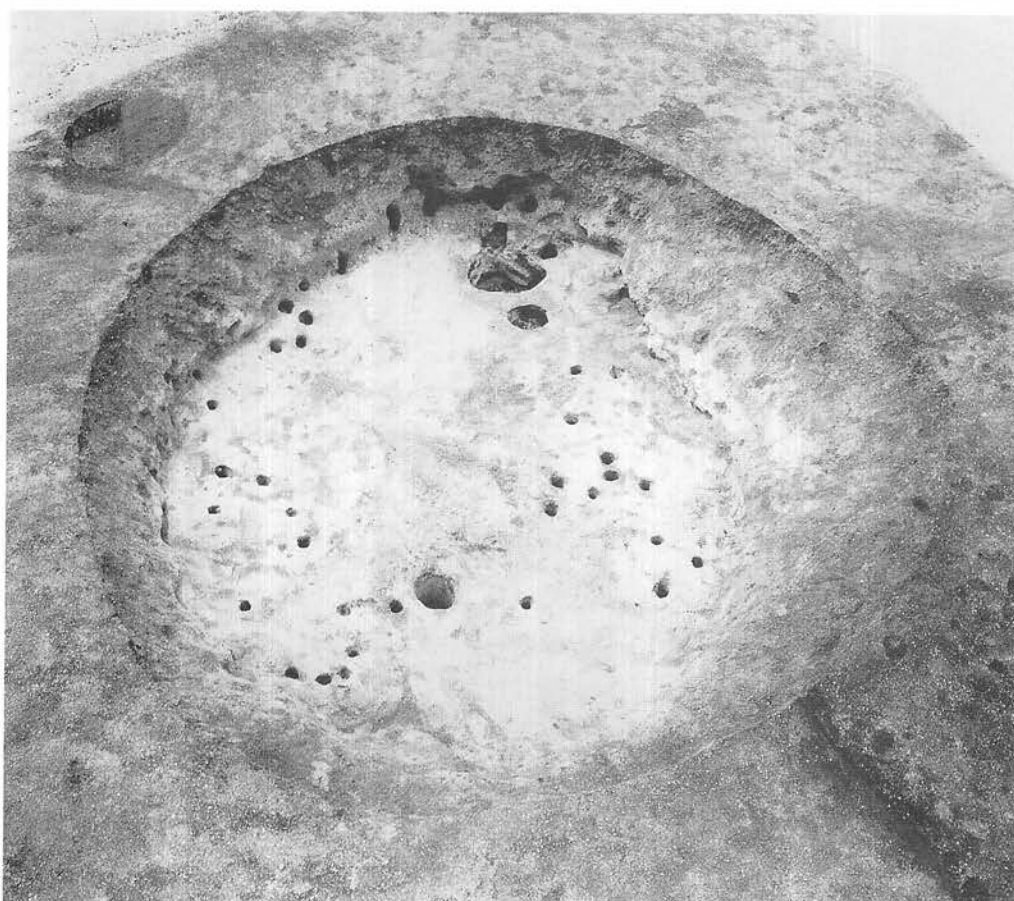


遺物出土状況



P 3 全景

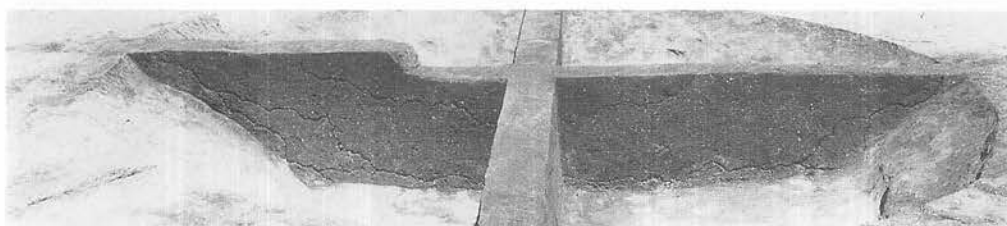
写真図版14 縄文第3号竖穴状遺構



全景

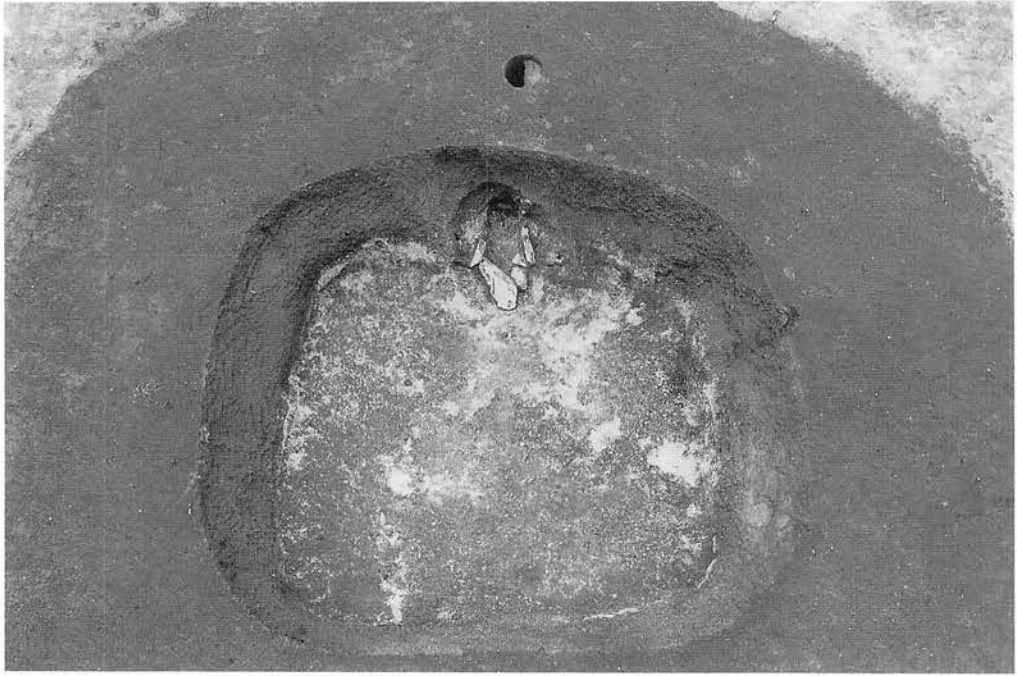


埋土

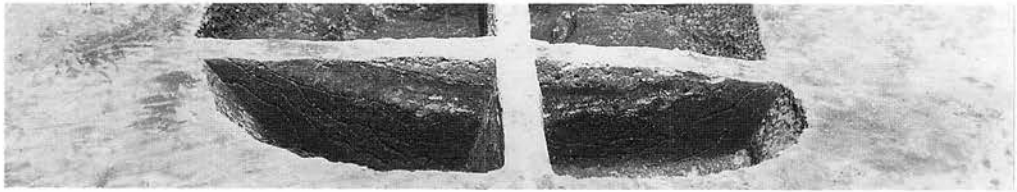


埋土

写真図版15 縄文第4号竖穴状遺構



全景



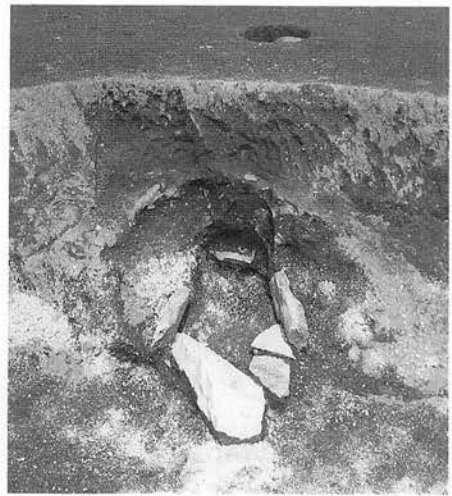
埋土



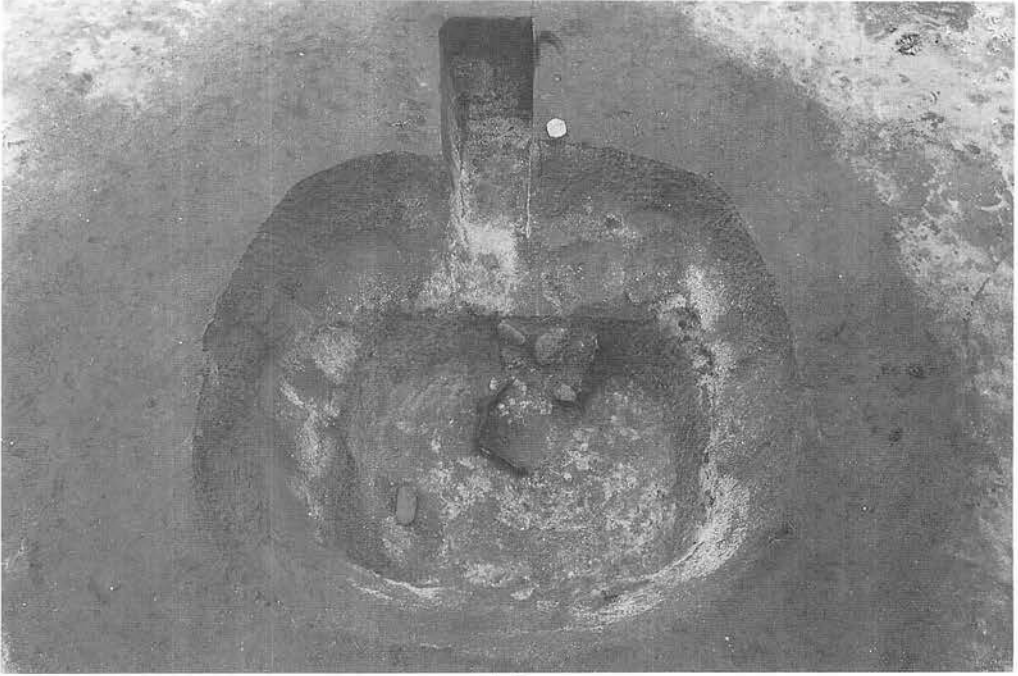
煙道部断面



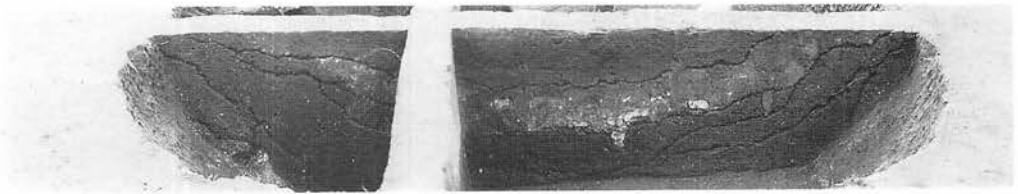
遺物出土状況



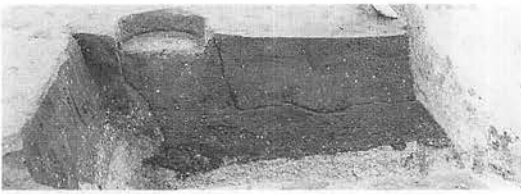
カマド全景



全景



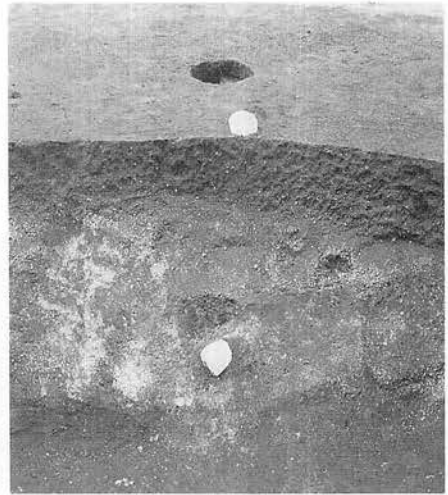
埋土



煙道部断面



遺物出土状況



カマド全景

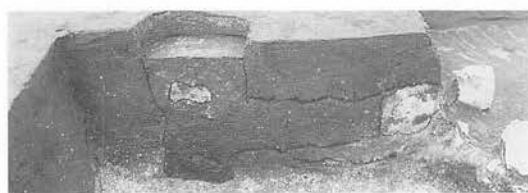
写真図版17 古代第2号住居跡



全景



埋土



煙道部断面

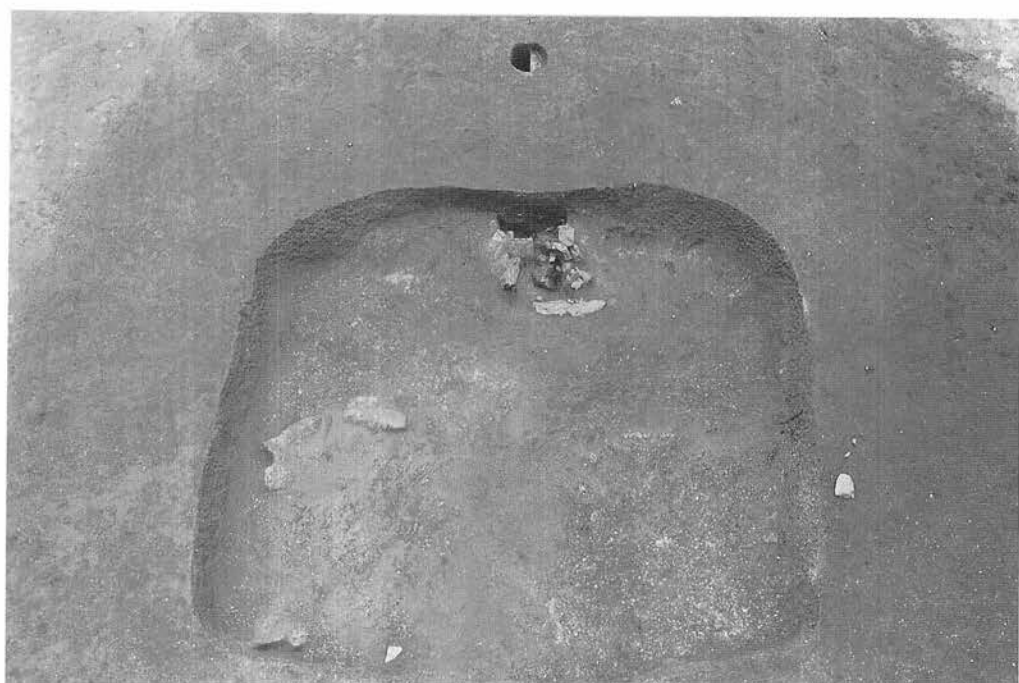


カマド断面



カマド全景

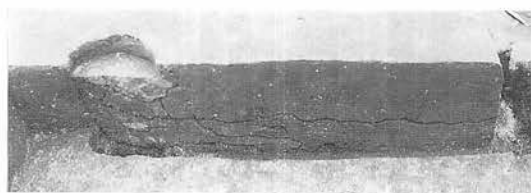
写真図版18 古代第3号住居跡



全景



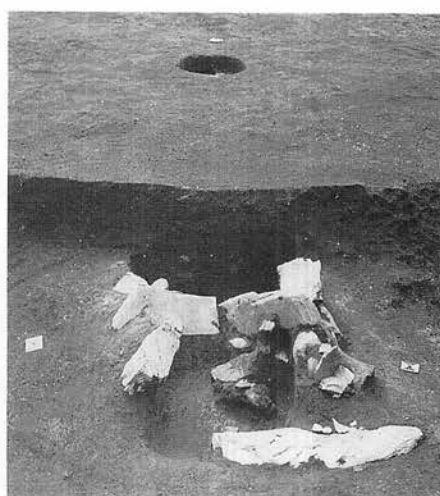
埋土



煙道部断面



カマド断面



カマド全景

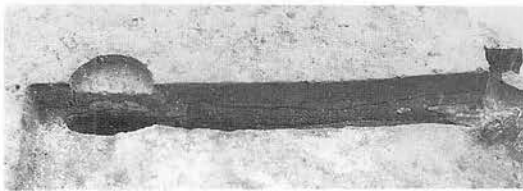
写真図版19 古代第4号住居跡



全景



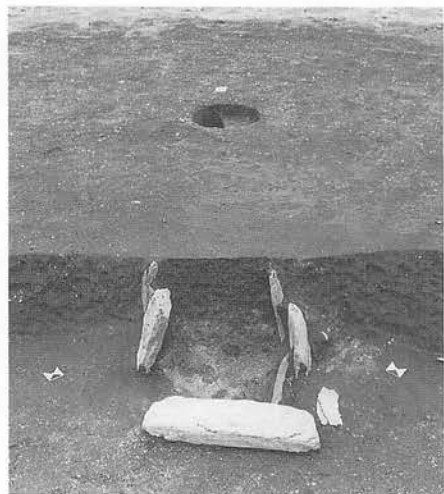
埋土



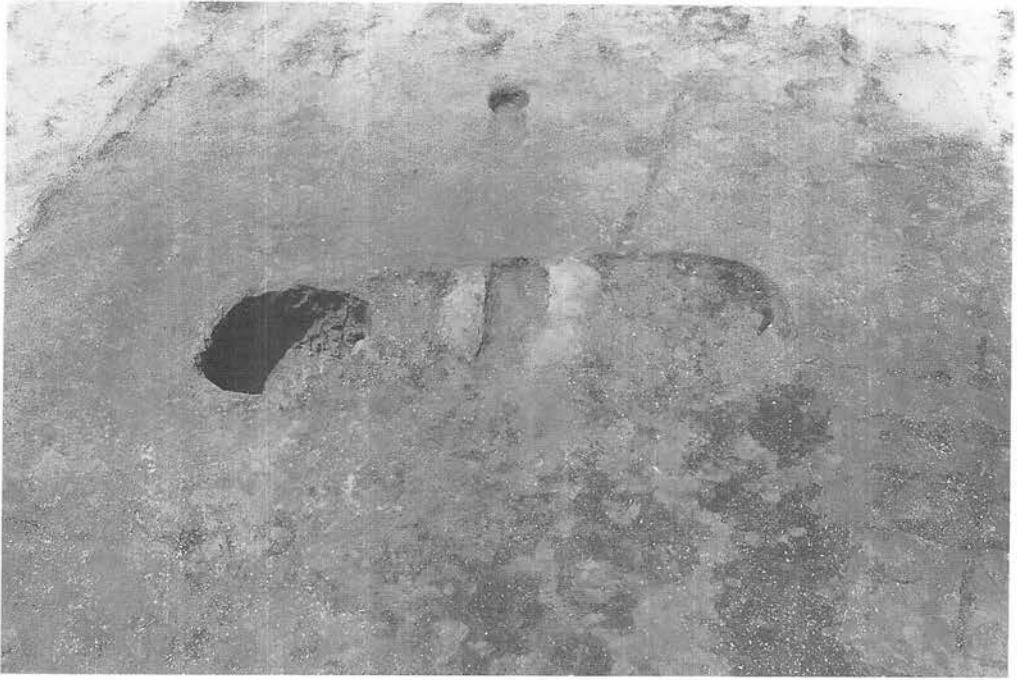
煙道部断面



カマド断面



カマド全景



全景



検出状況



P 1 断面



カマド截ち割り

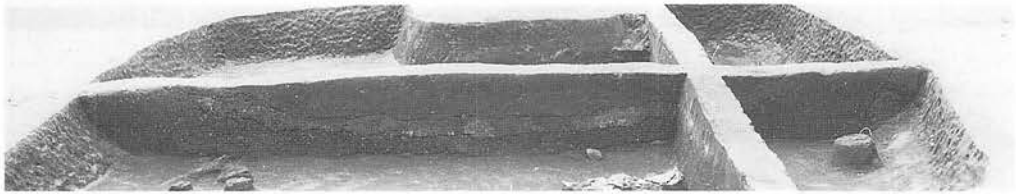


P 1 全景

写真図版21 古代第6号住居跡



全景



埋土



煙道部断面



カマド截ち割り



カマド本体部

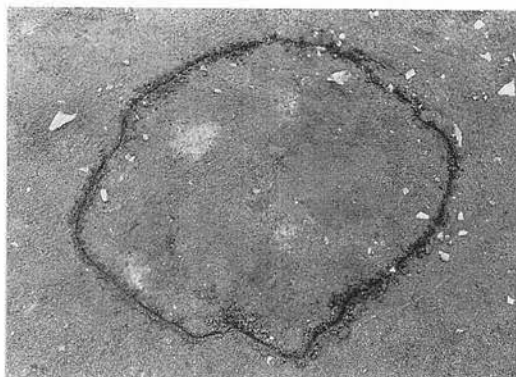
写真図版22 古代第7号住居跡



全景



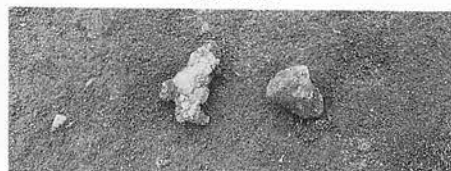
埋土



焼土検出状況

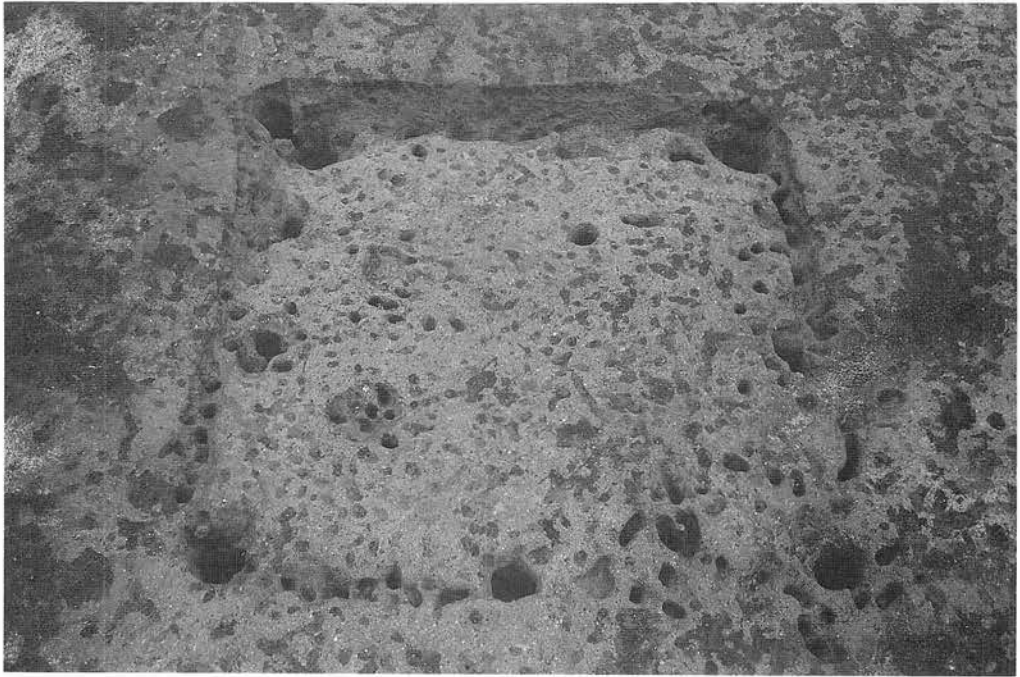


焼土断面

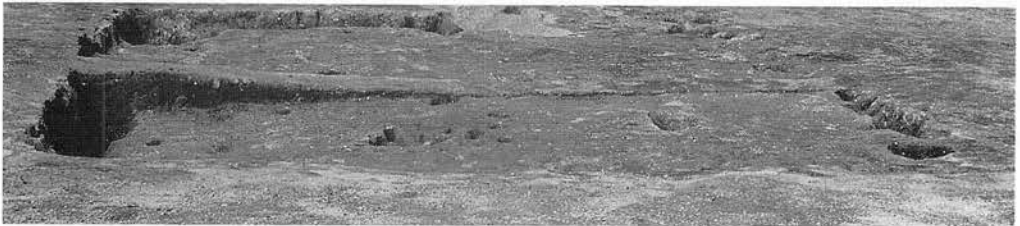


遺物出土状況

写真図版23 中世第1号住居跡



全景

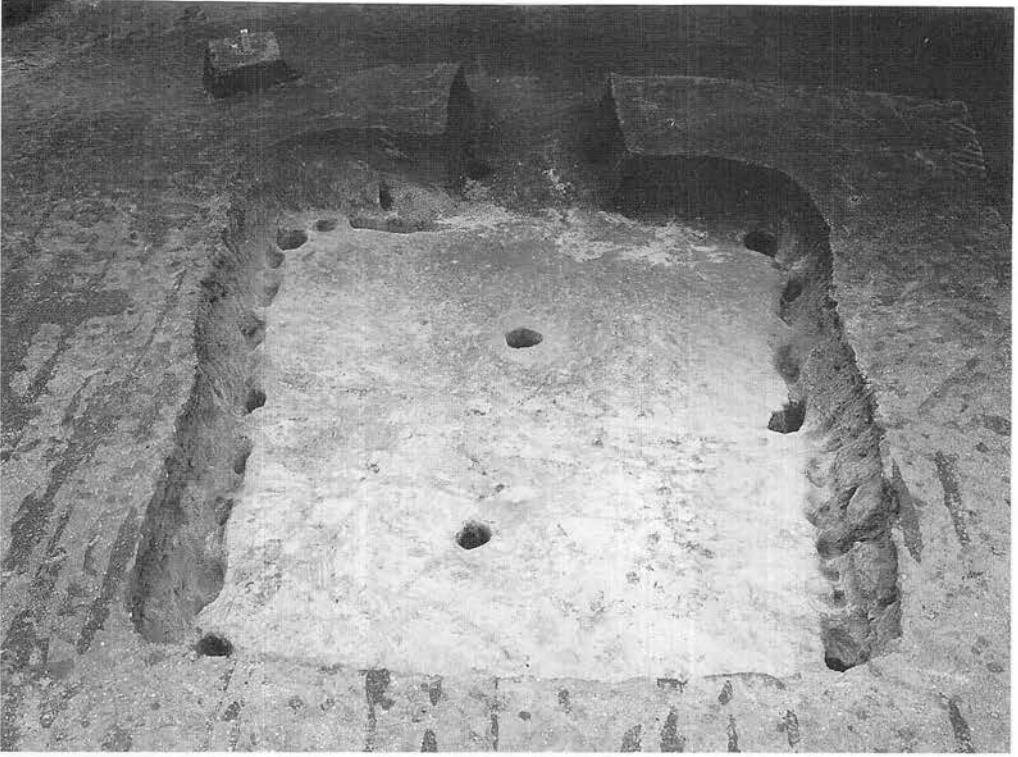


埋土



作業風景

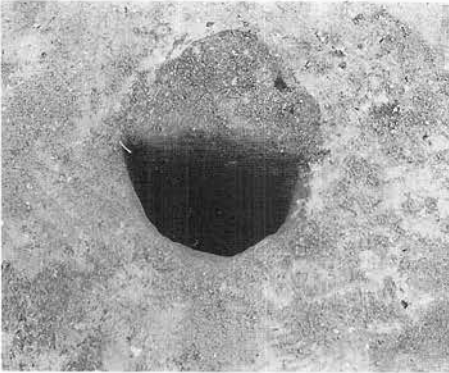
写真図版24 中世第2号住居跡



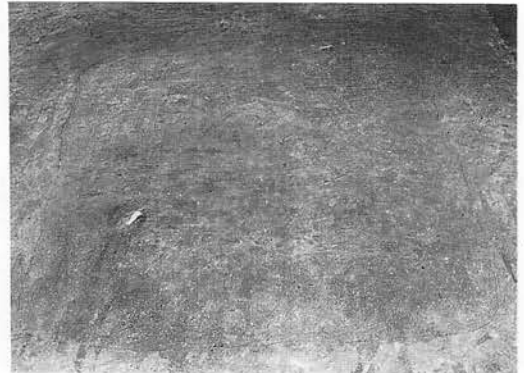
全景



埋土



柱穴断面



検出状況

写真図版25 中世第3号住居跡



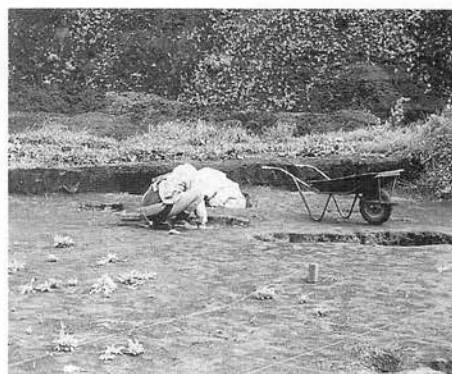
全景



埋土



検出状況



作業風景

写真図版26 中世第4号住居跡



第1号土坑



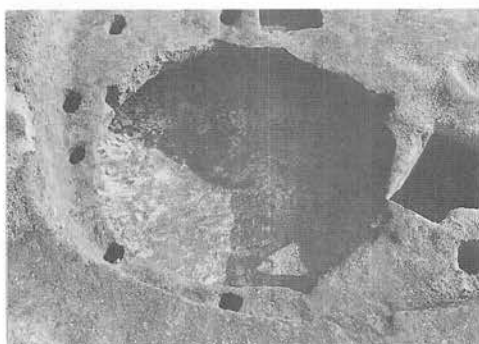
第1号土坑精查状况



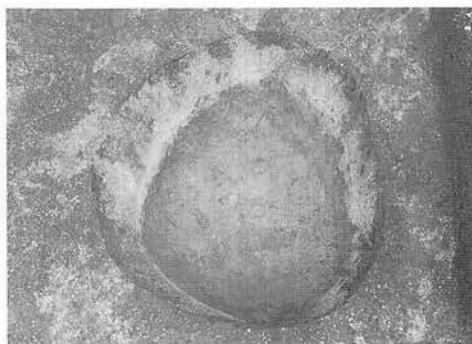
断面



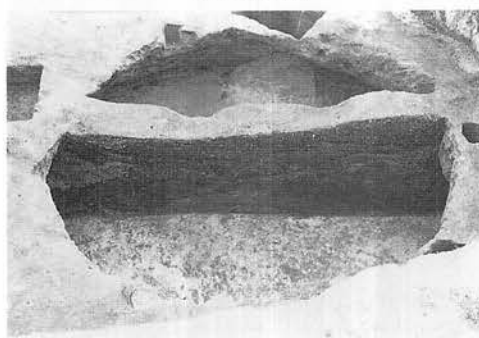
出土遗物



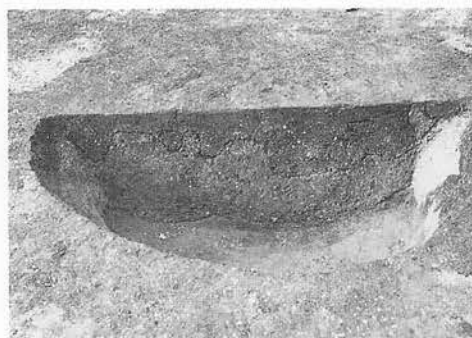
第2号土坑



第3号土坑



断面



断面

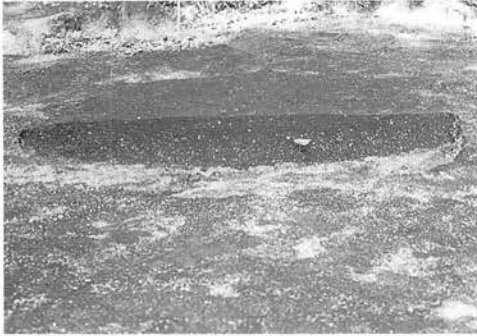
写真图版27 土坑(1)



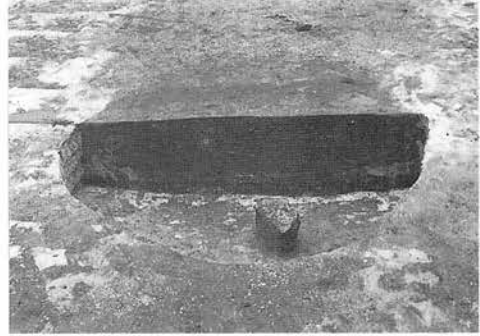
第 4 号土坑



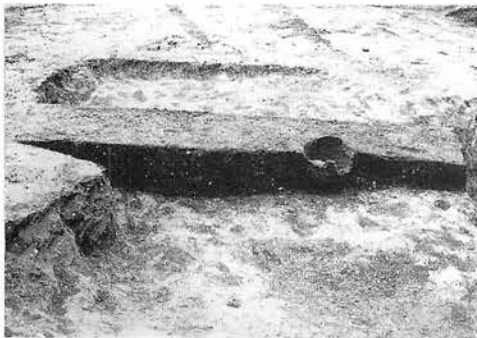
第 5 号土坑



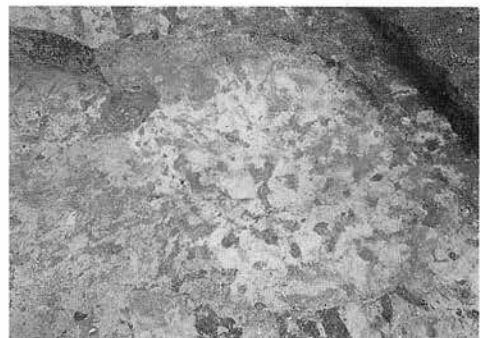
断面



断面



第 6 号土坑



第 7 号土坑



断面



断面



第8・9号土坑



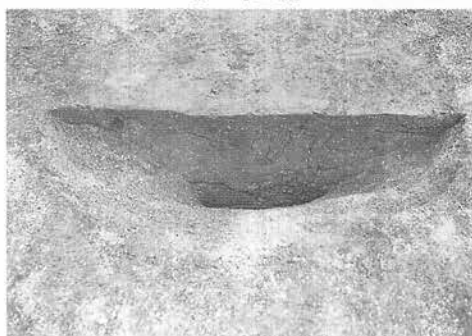
第8号土坑断面



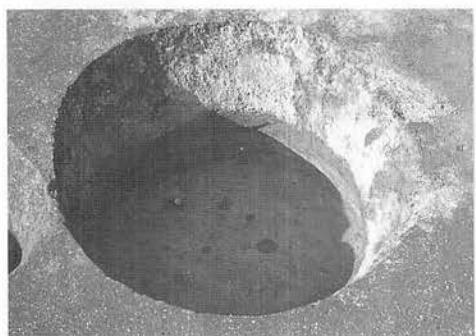
第9号土坑断面



第10号土坑



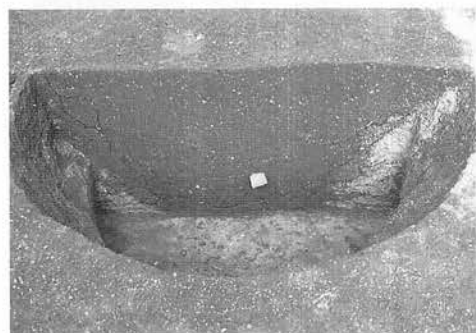
断面



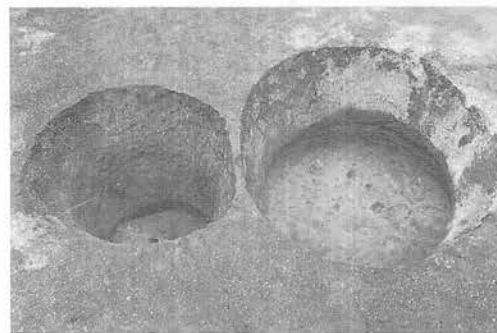
第11号土坑



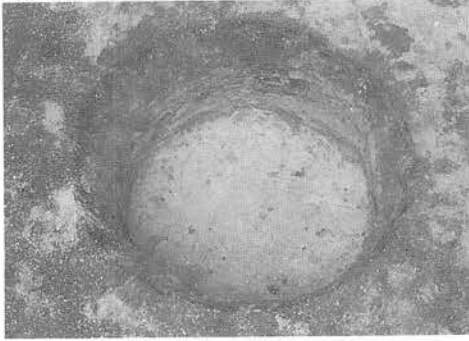
第2号陥し穴状遺構と第11号土坑の検出状況



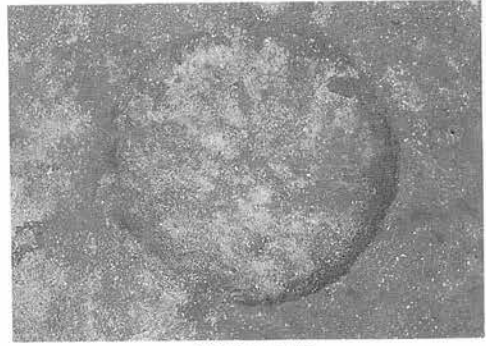
断面



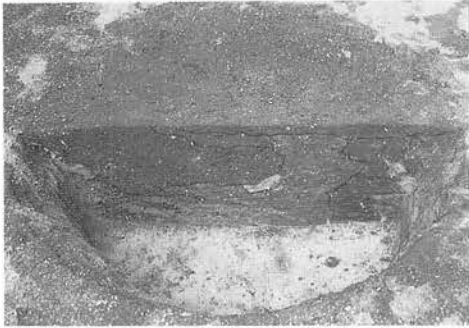
同上平面



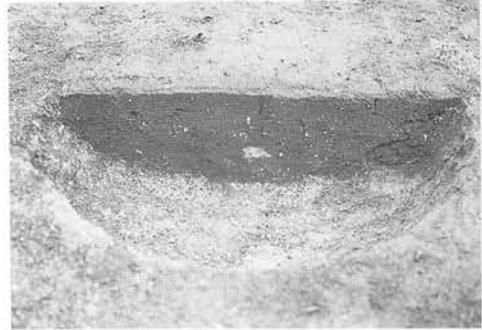
第12号土坑



第13号土坑



断面



断面

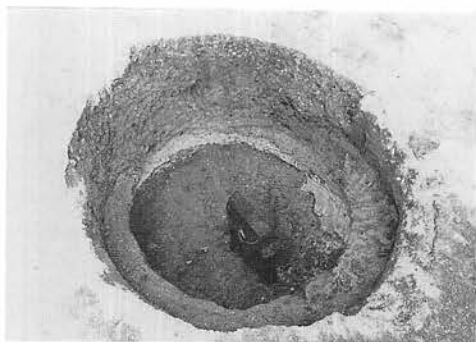


土坑群と住居跡群

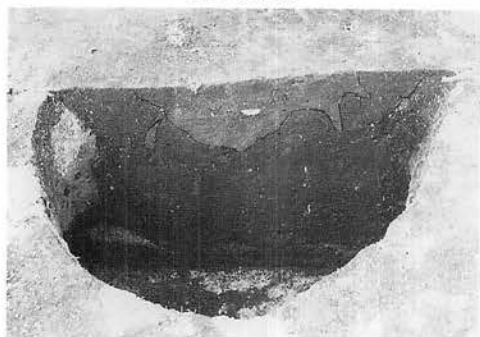
写真図版30 土坑(4)



第14号土坑



第15号土坑



断面



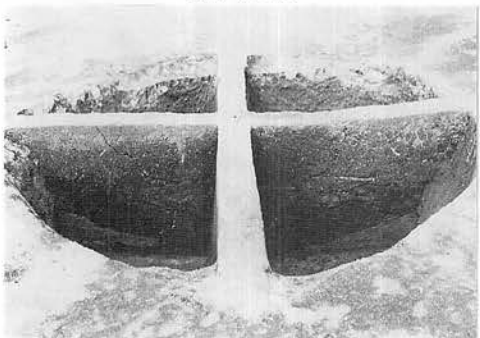
断面



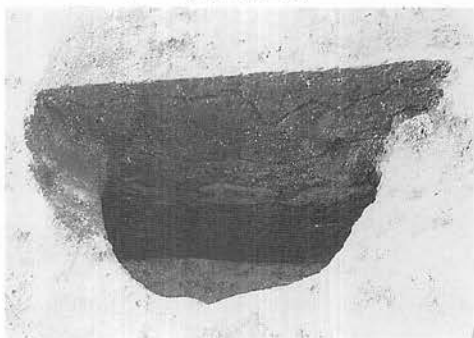
第16号土坑



第17号土坑



断面



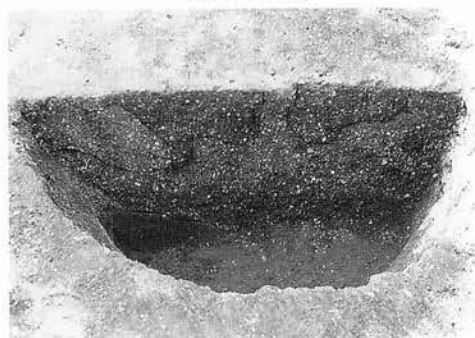
断面



第18号土坑



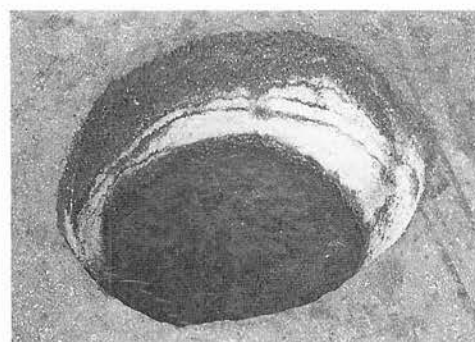
第19号土坑



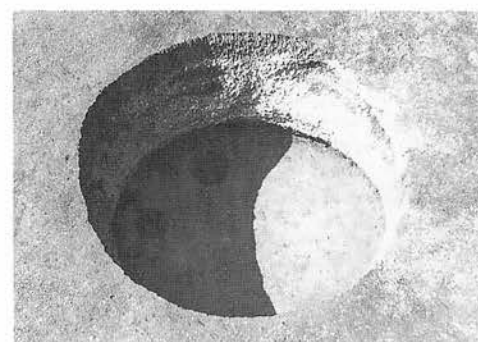
断面



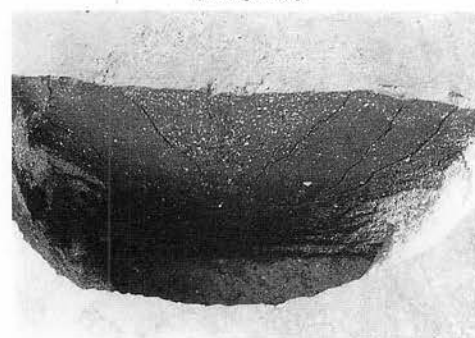
断面



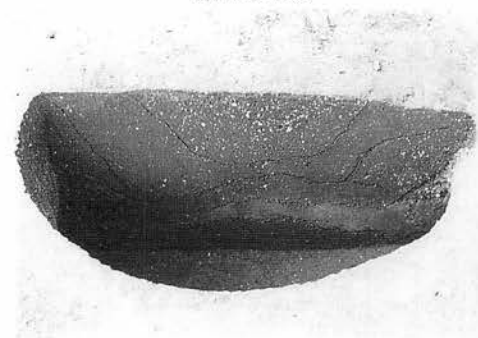
第20号土坑



第21号土坑



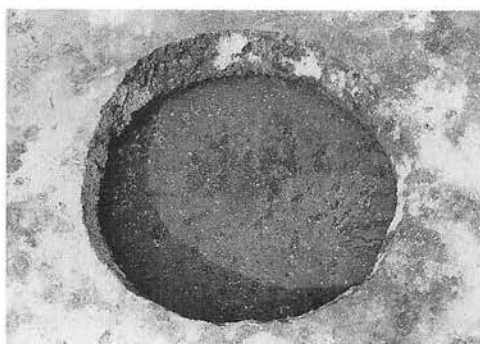
断面



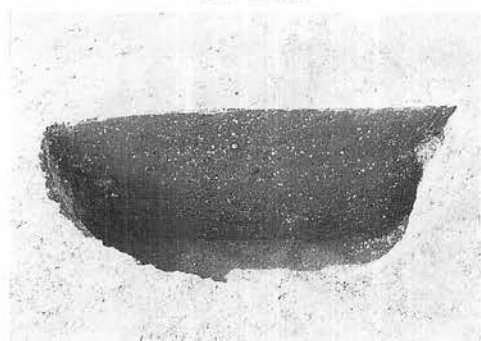
断面



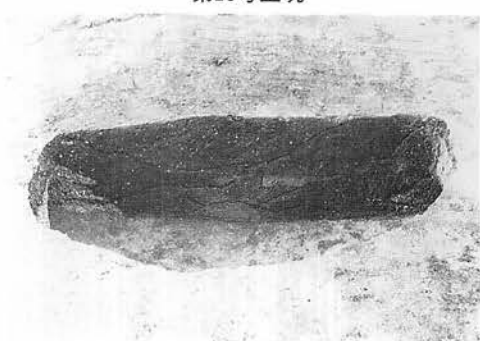
第22号土坑



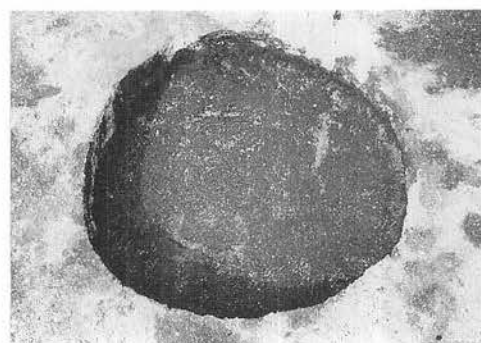
第23号土坑



断面



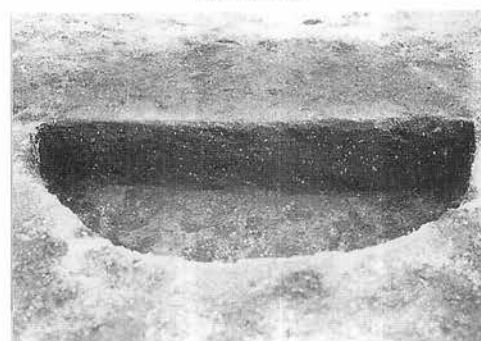
断面



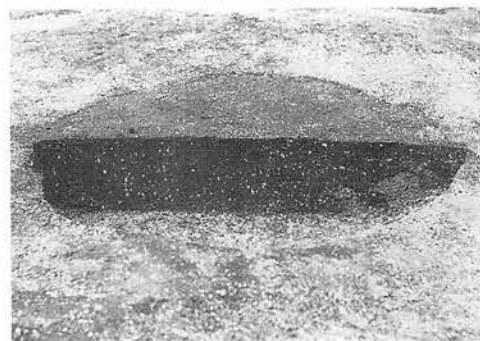
第24号土坑



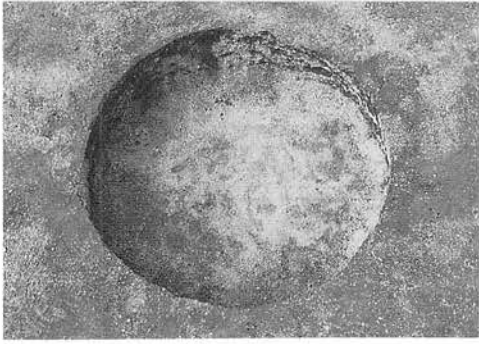
第25号土坑



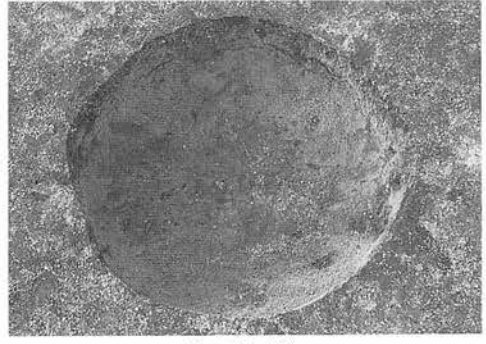
断面



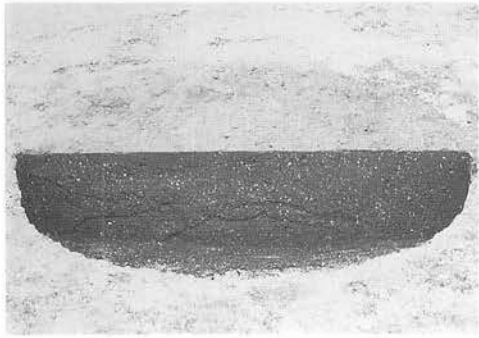
断面



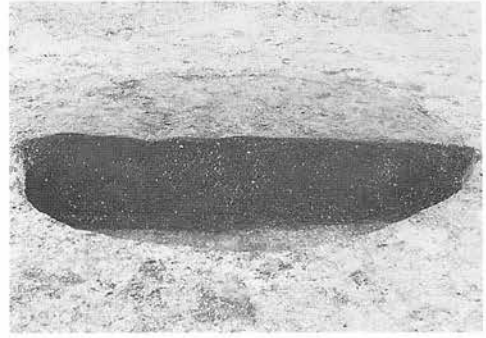
第26号土坑



第27号土坑



断面



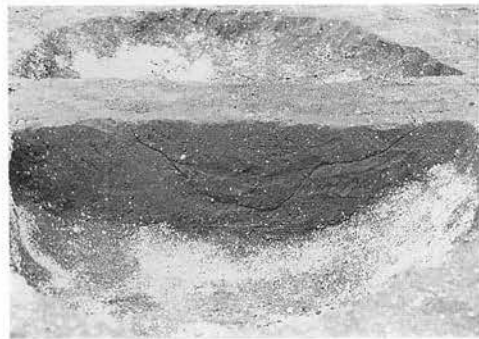
断面



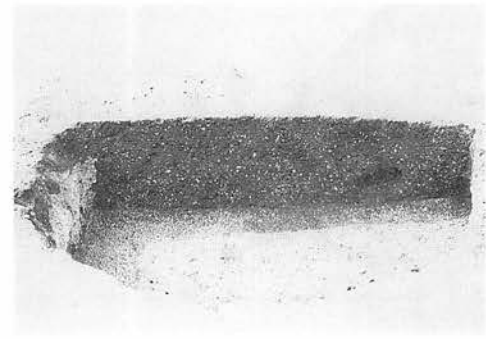
第28号土坑



第29号土坑



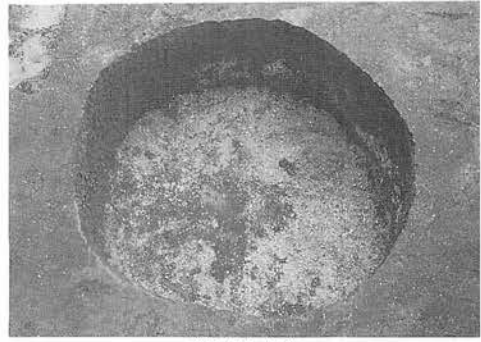
断面



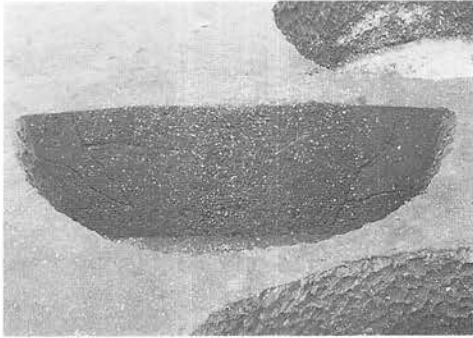
断面



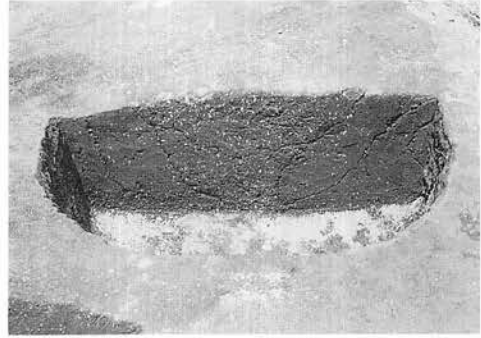
第30号土坑



第31号土坑



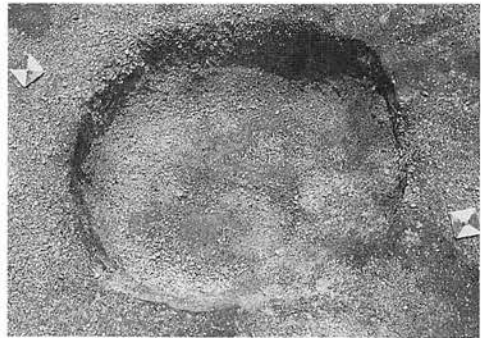
断面



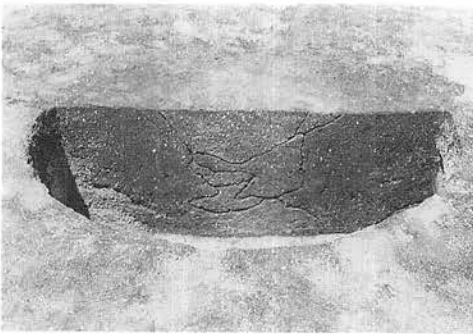
断面



第32号土坑



第33号土坑



断面



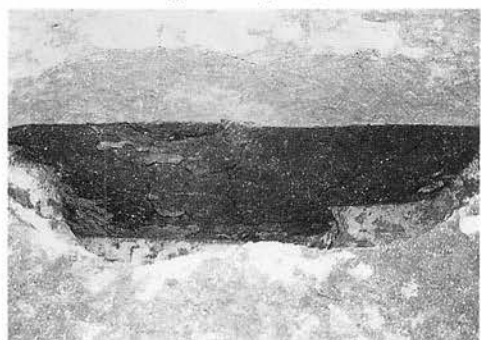
断面



第34・35号土坑



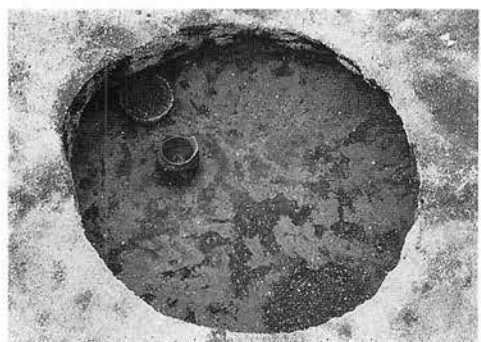
第34号土坑



断面



第35号土坑



第36号土坑



第36号土坑出土遺物



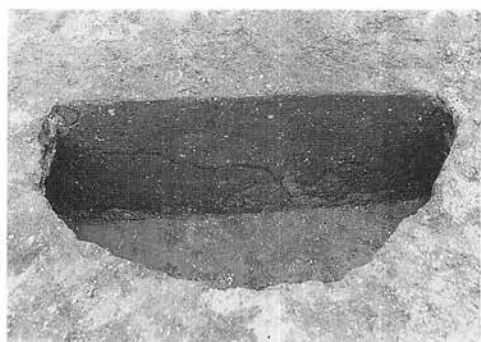
断面



第37号土坑



第38号土坑



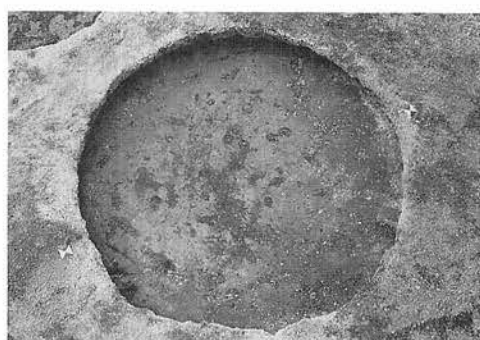
断面



断面



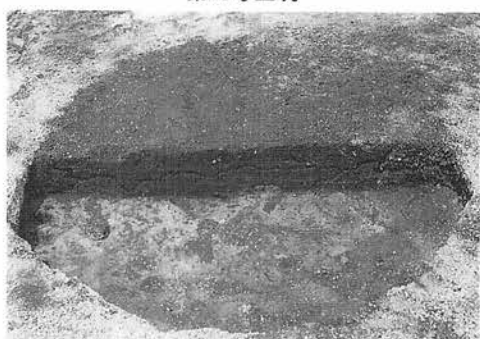
第39号土坑



第40号土坑



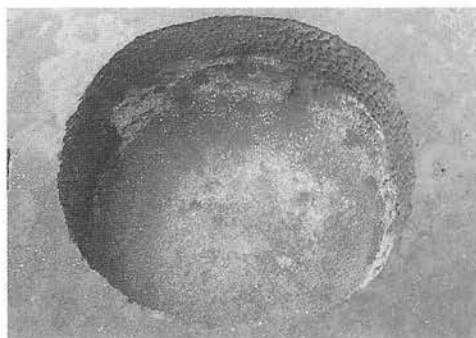
断面



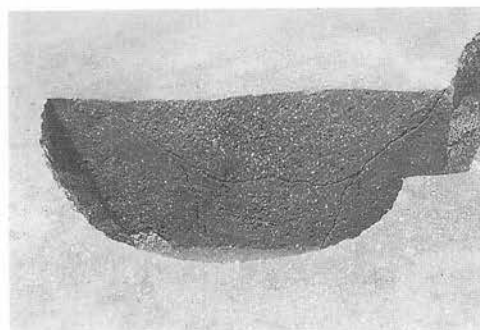
断面



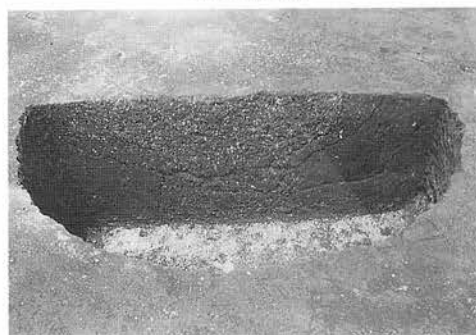
第41号土坑



第42号土坑



断面



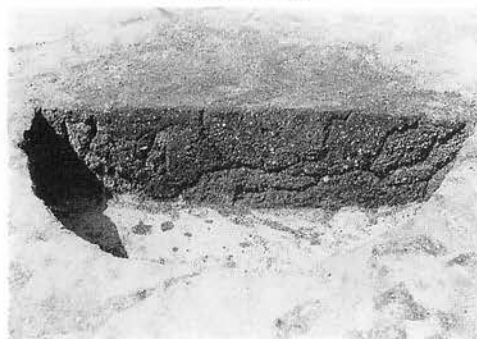
断面



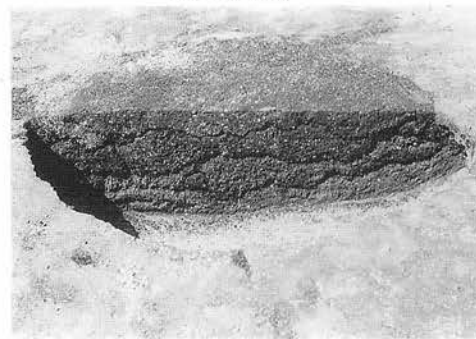
第43号土坑



第44号土坑



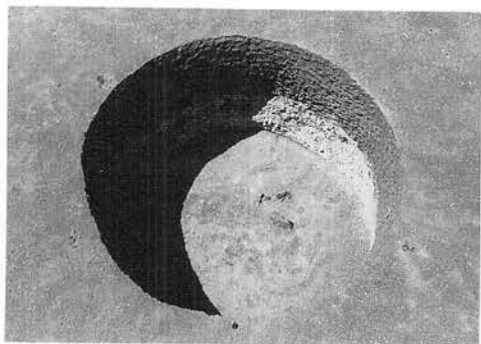
断面



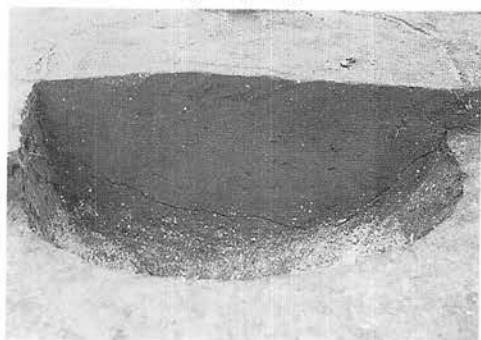
断面



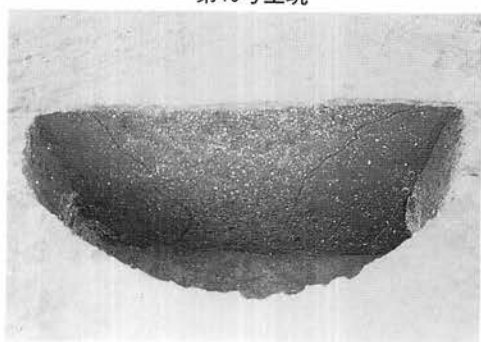
第45号土坑



第46号土坑



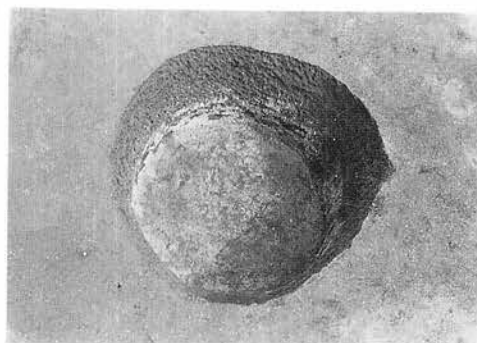
断面



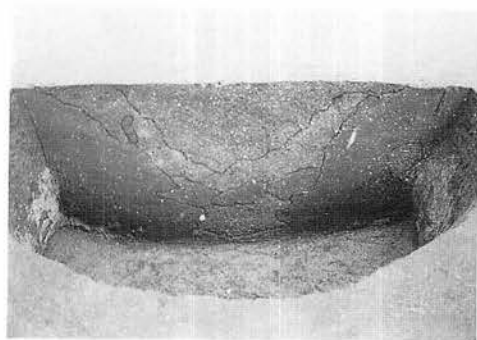
断面



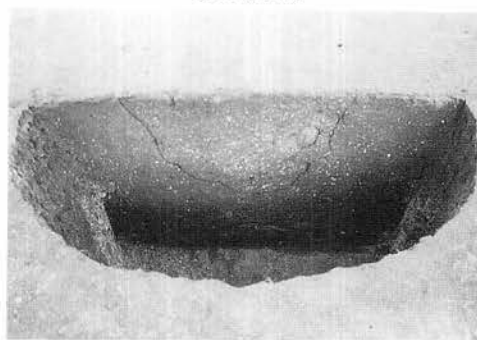
第47号土坑



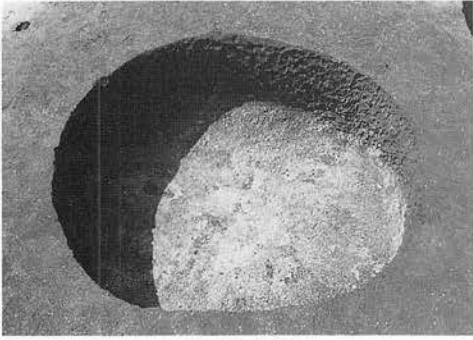
第48号土坑



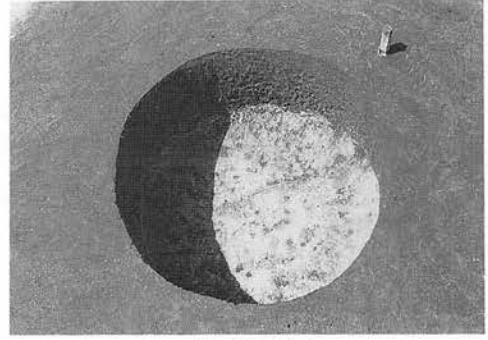
断面



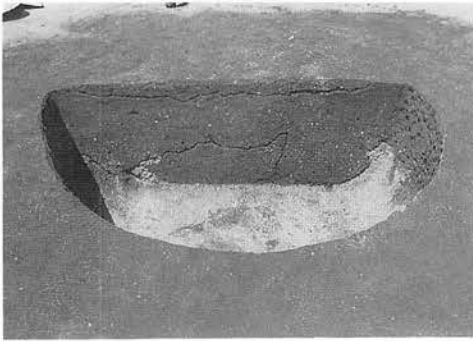
断面



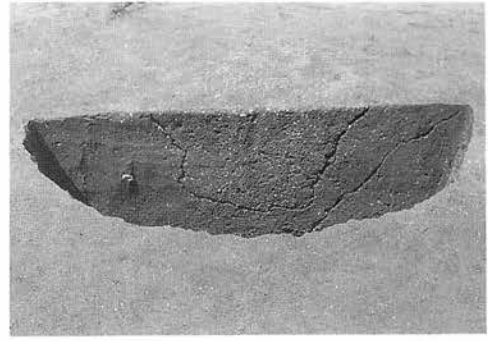
第49号土坑



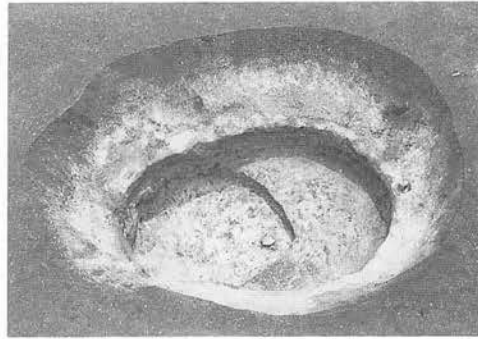
第50号土坑



断面



断面



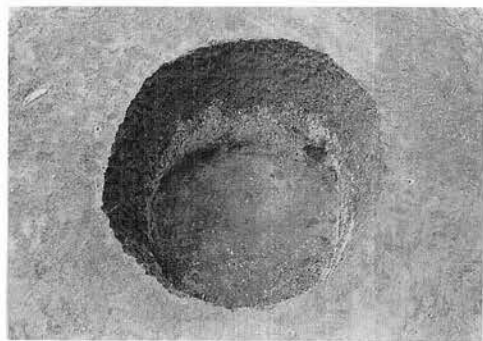
第51・52号土坑



第51号土坑断面



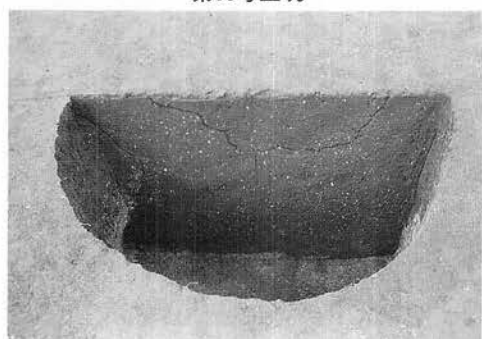
第52号土坑断面



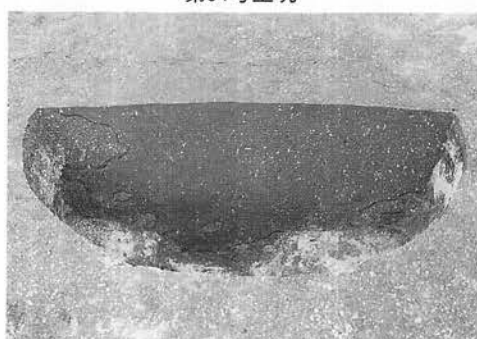
第53号土坑



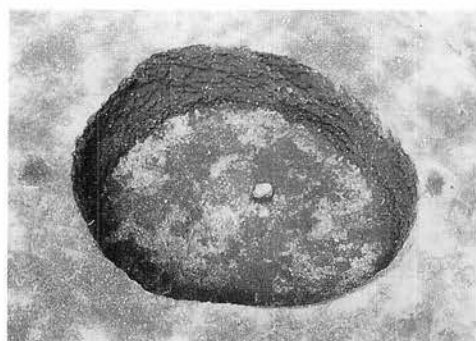
第54号土坑



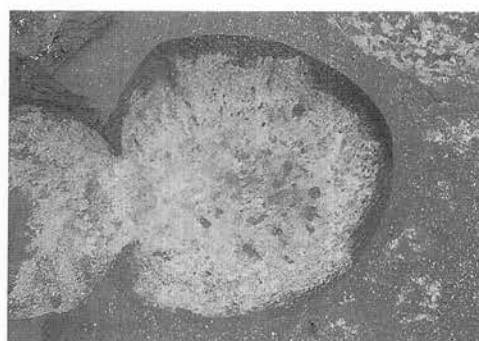
断面



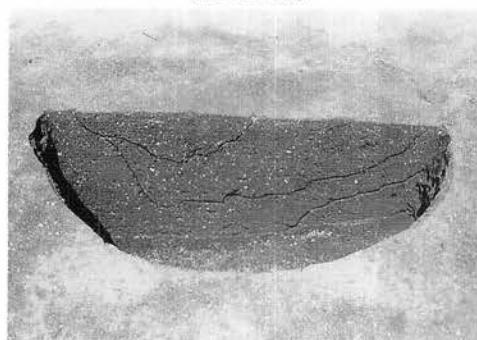
断面



第55号土坑



第56号土坑



断面



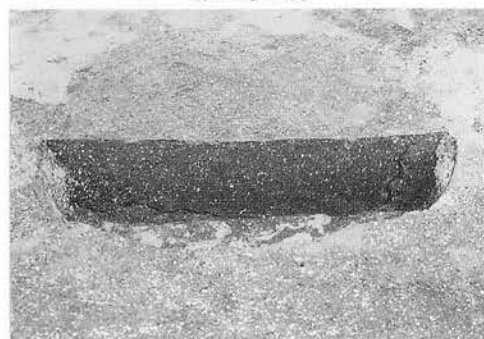
断面



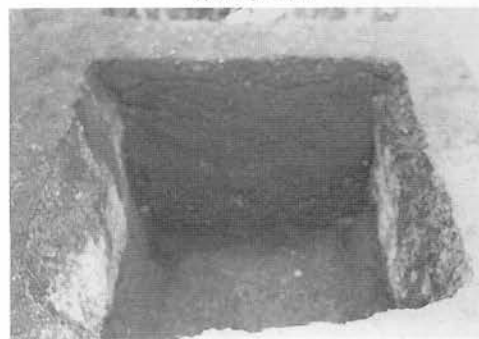
第57号土坑



第58号土坑



断面



断面



第59号土坑



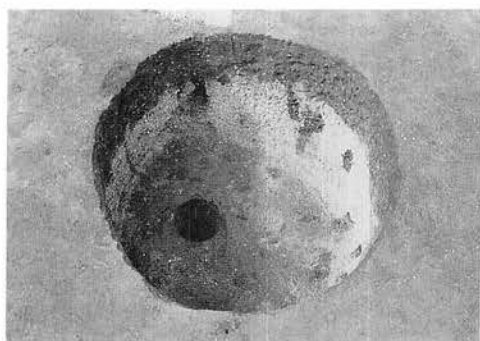
第60号土坑



断面



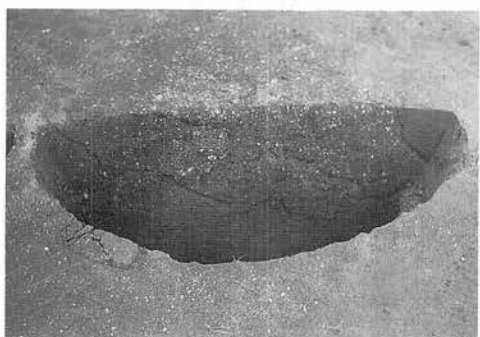
断面



第61号土坑



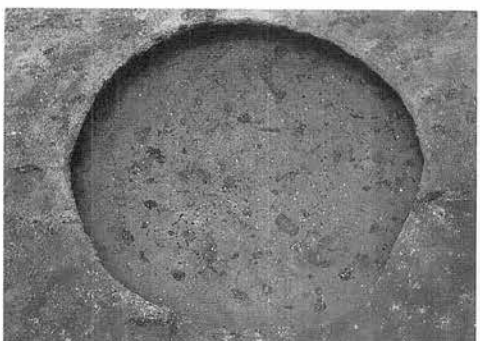
第62号土坑



断面



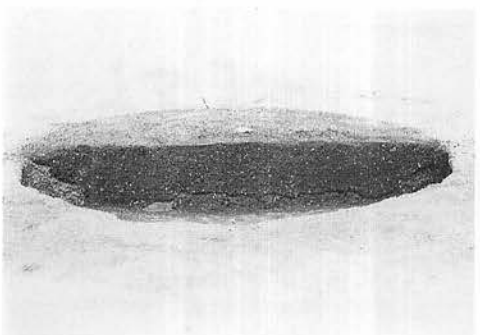
断面



第63号土坑



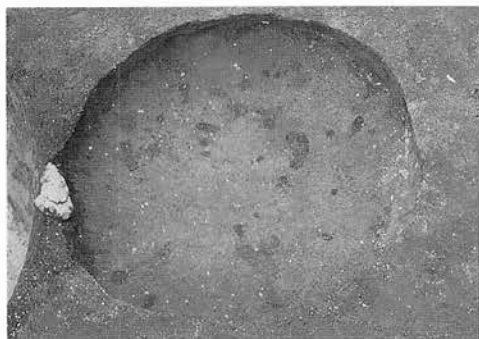
第64号土坑



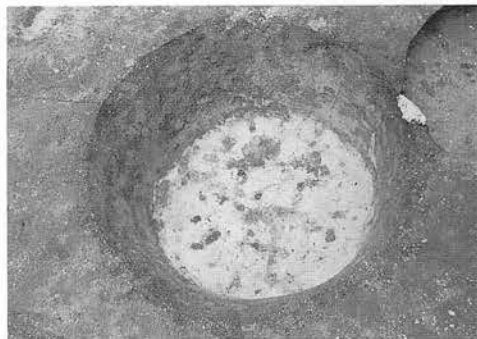
断面



断面



第65号土坑



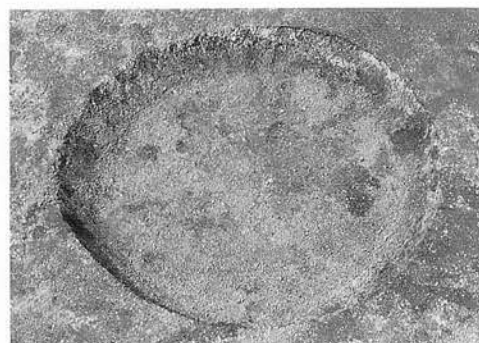
第66号土坑



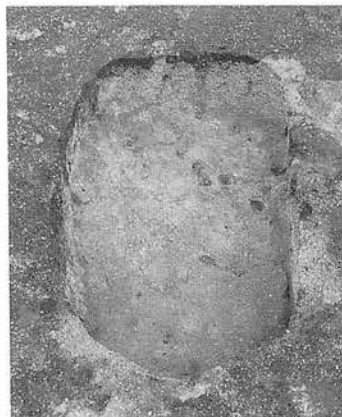
断面



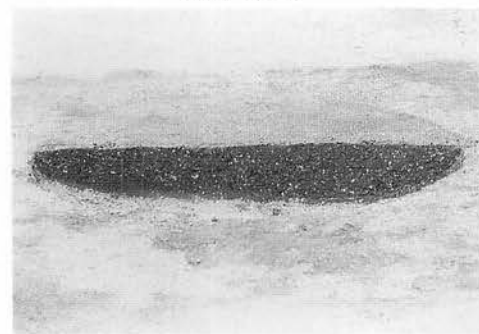
断面



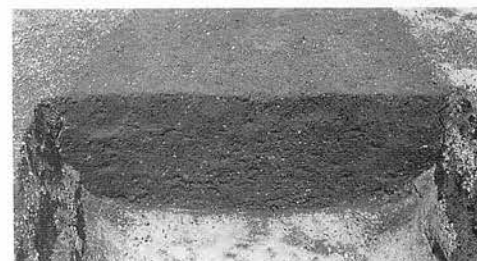
第67号土坑



第68号土坑



断面



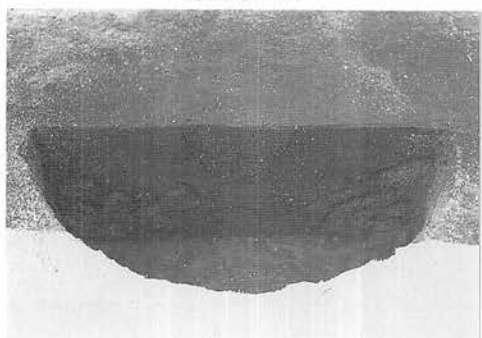
断面



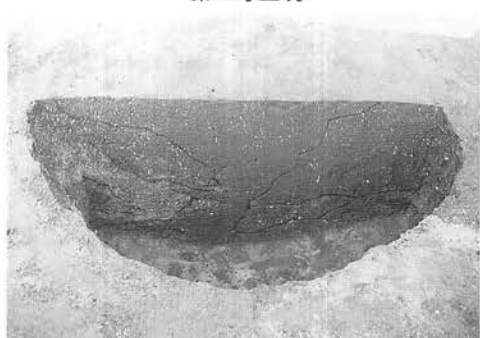
第69号土坑



第70号土坑



断面



断面



第71号土坑



第72号土坑



断面



断面



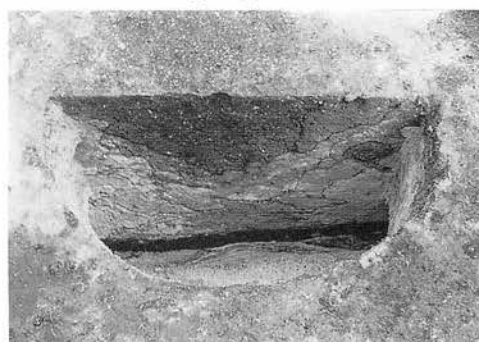
第73号土坑



第74号土坑



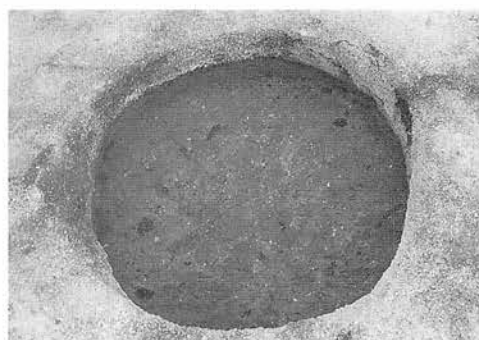
断面



断面



第75号土坑



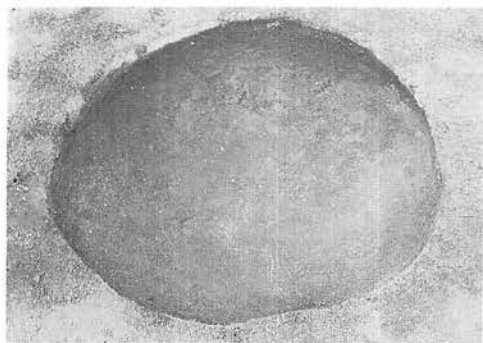
第76号土坑



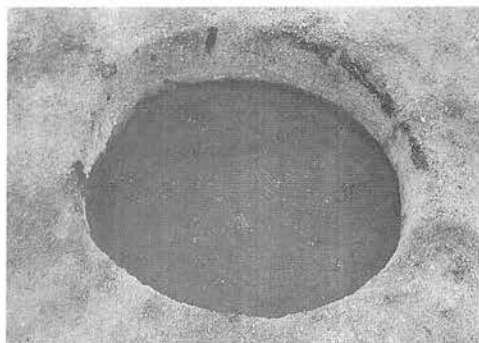
断面



断面



第77号土坑



第78号土坑



断面



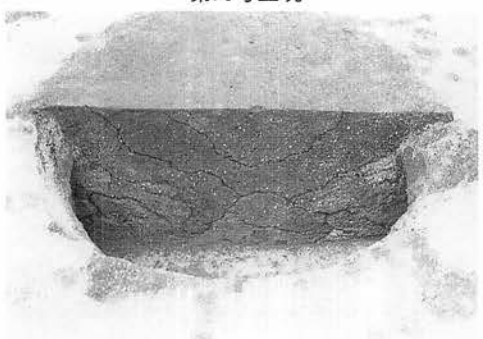
断面



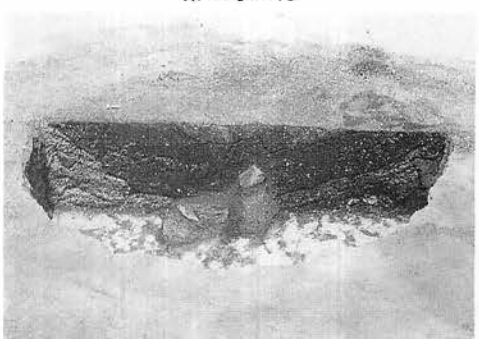
第79号土坑



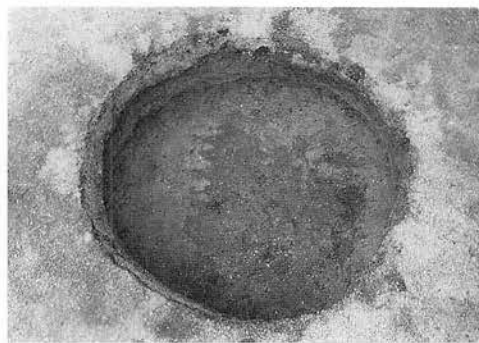
第80号土坑



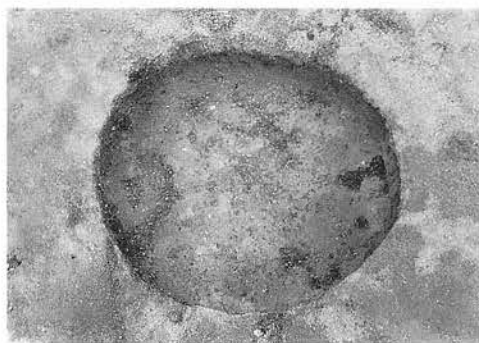
断面



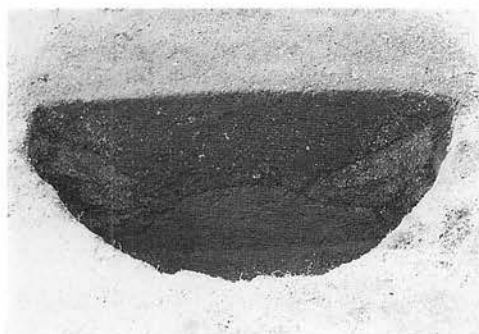
断面



第81号土坑



第82号土坑



断面



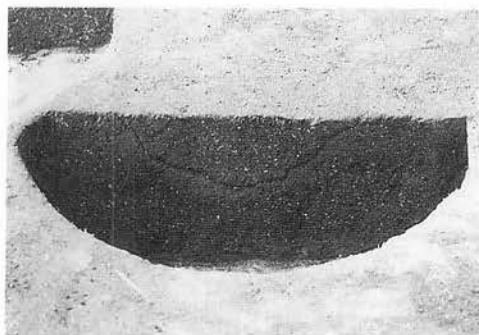
断面



第83号土坑



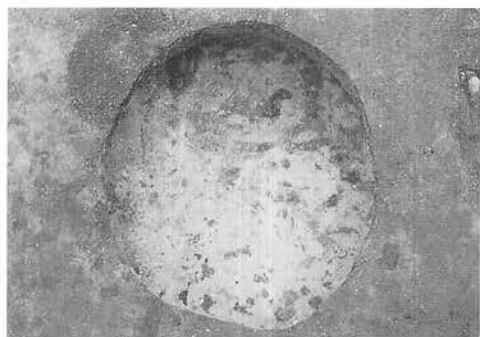
第84号土坑



断面



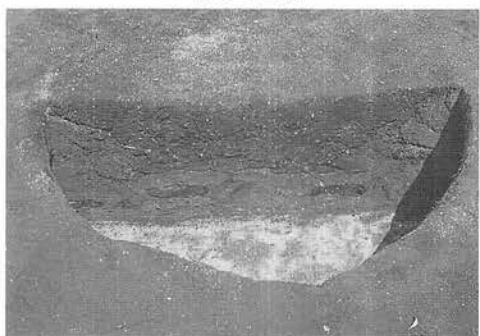
断面



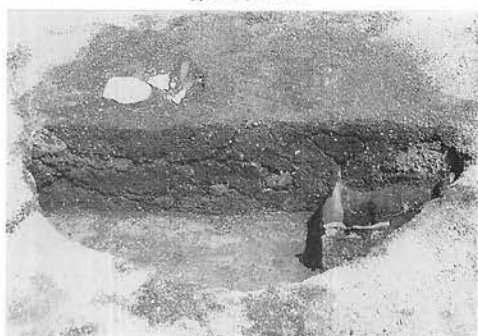
第85号土坑



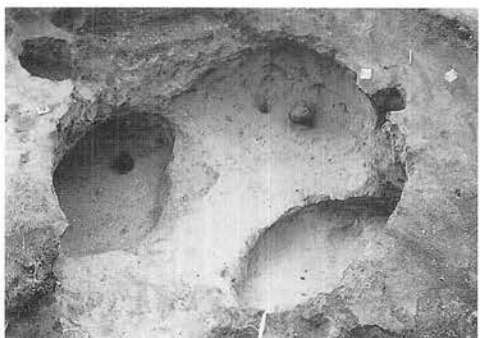
第89号土坑



断面



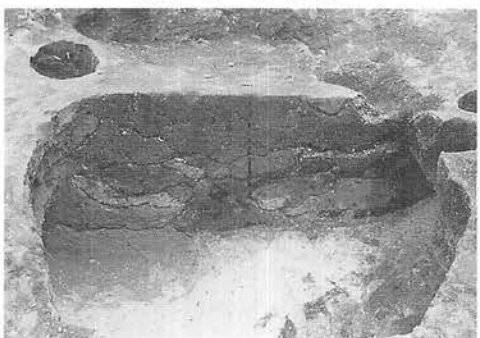
断面



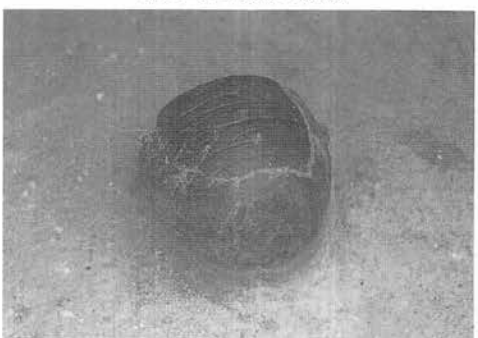
第86·87·88号土坑



第86号土坑出土遗物



第86号土坑断面



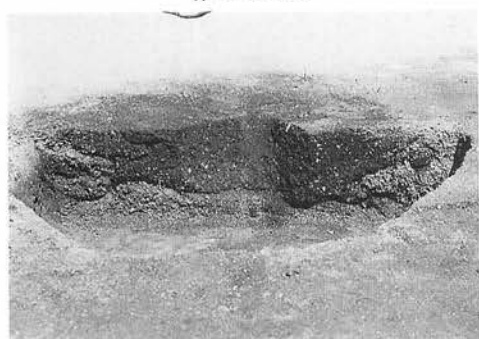
第87号土坑出土遗物



第90号土坑



第91号土坑



断面



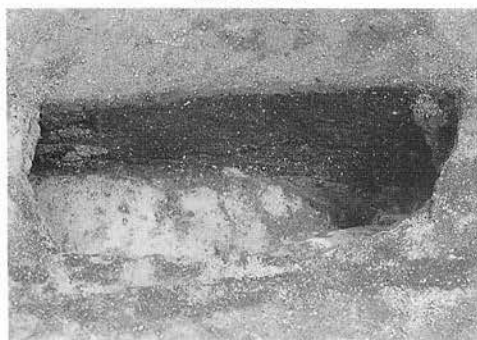
断面



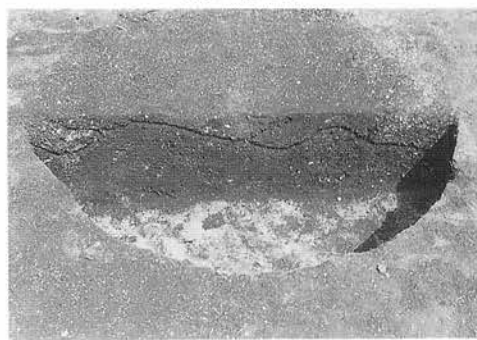
第92号土坑



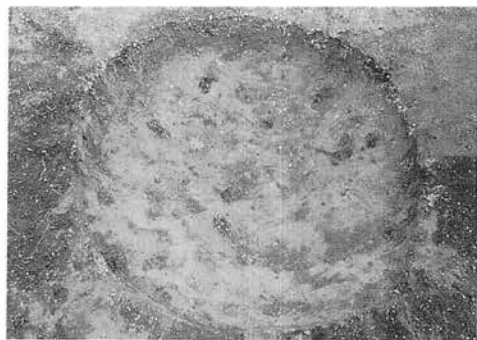
第93号土坑



断面



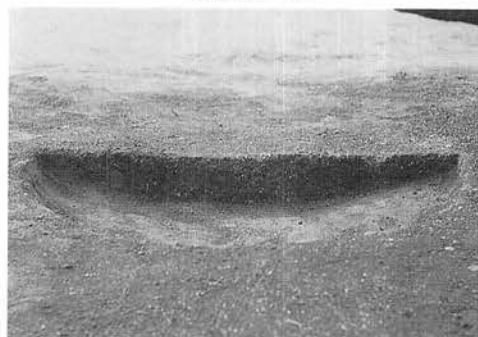
断面



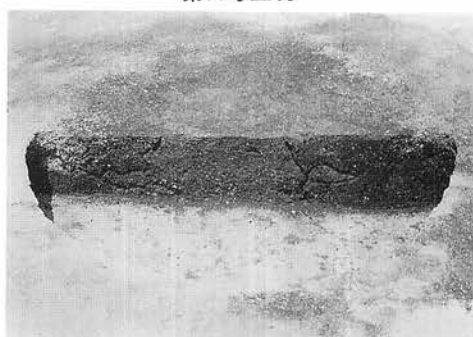
第94号土坑



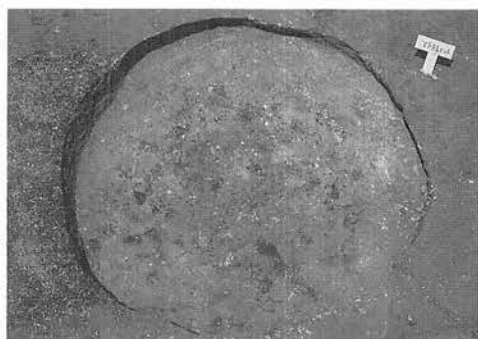
第95号土坑



断面



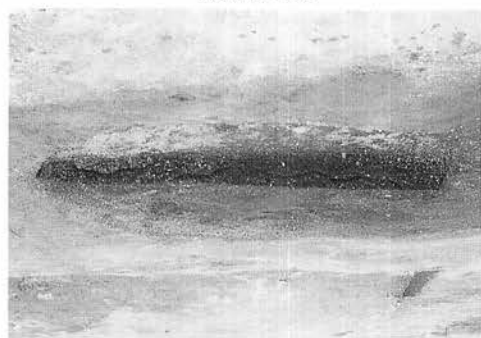
断面



第96号土坑



第97号土坑



断面



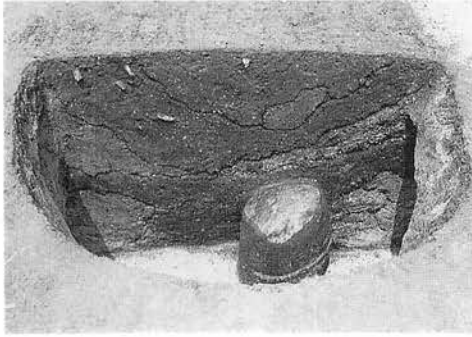
断面



第98号土坑



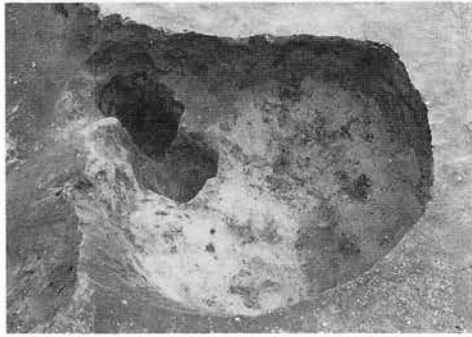
第99号土坑



断面



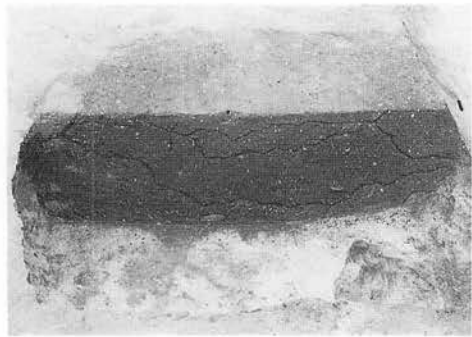
断面



第100号土坑



第101号土坑



断面



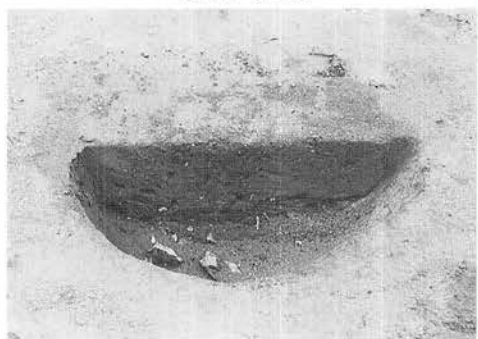
断面



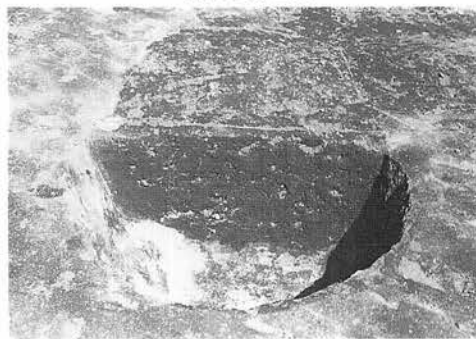
第102号土坑



第103号土坑



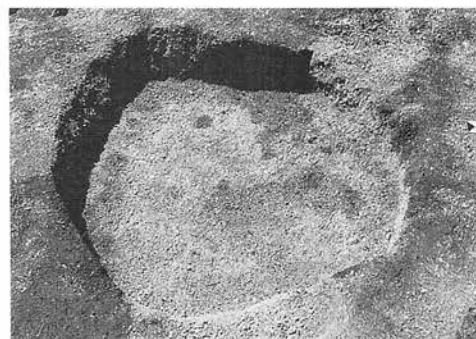
断面



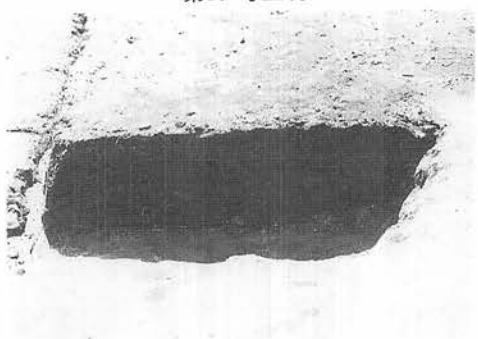
断面



第104号土坑



第105号土坑



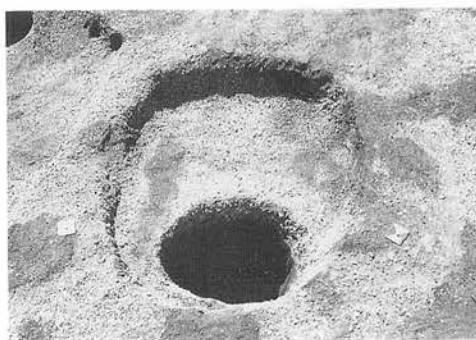
断面



断面



第106号土坑



第107号土坑



断面



断面



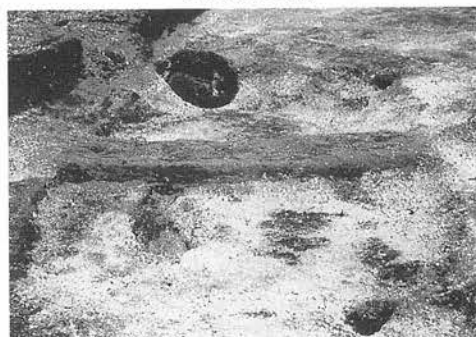
第108号土坑



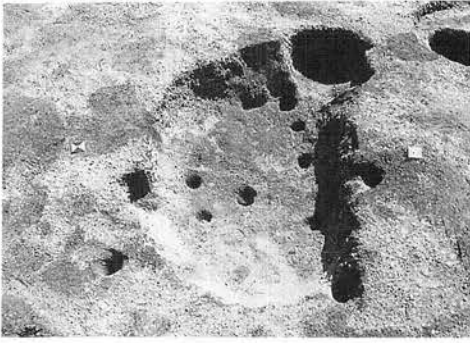
第109号土坑



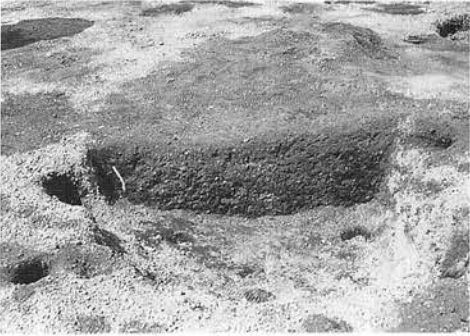
断面



断面



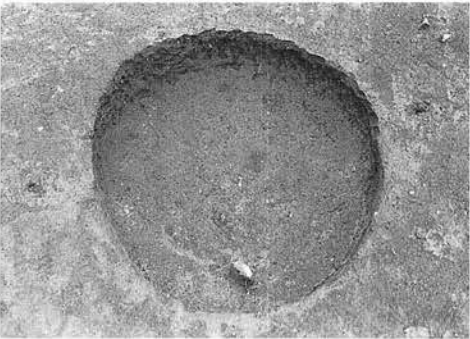
第110号土坑



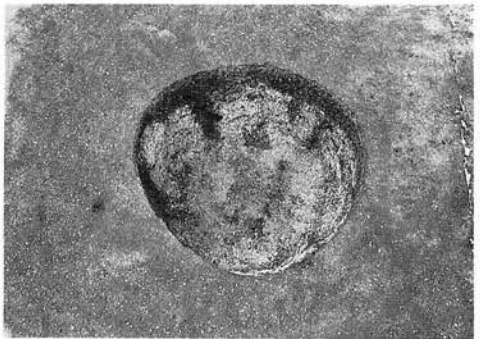
断面



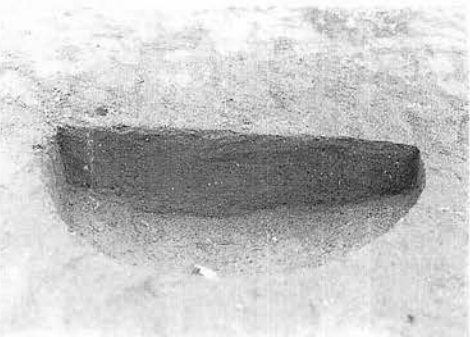
第111号土坑断面



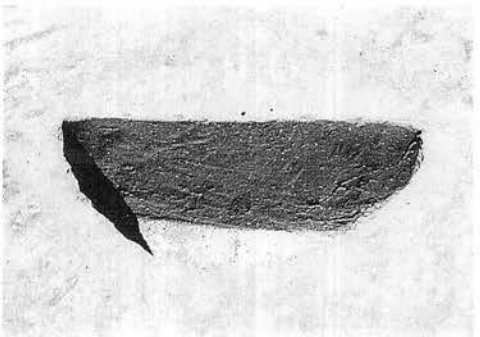
第112号土坑



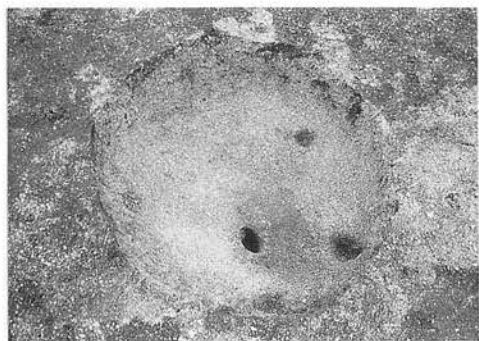
第113号土坑



断面



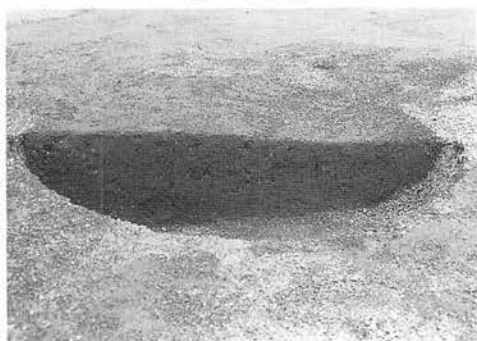
断面



第114号土坑



第115号土坑



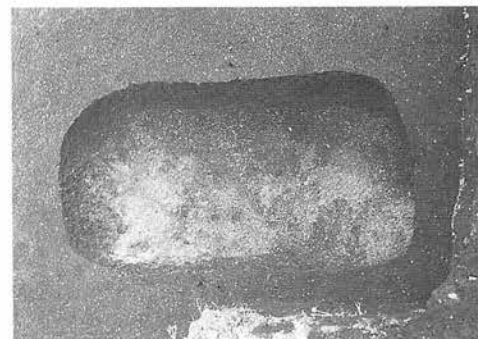
断面



断面



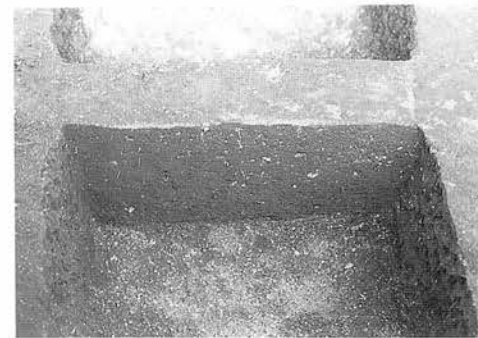
第116号土坑



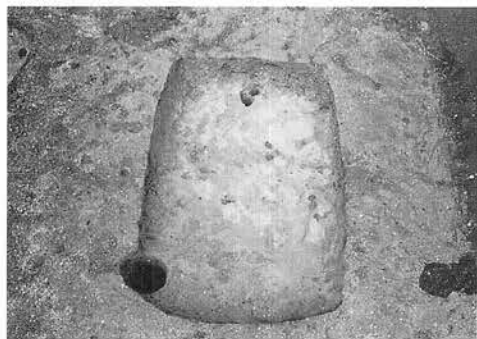
第117号土坑



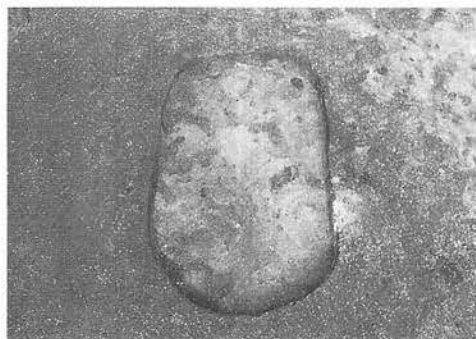
断面



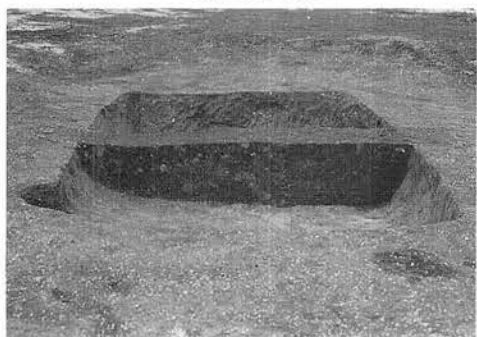
断面



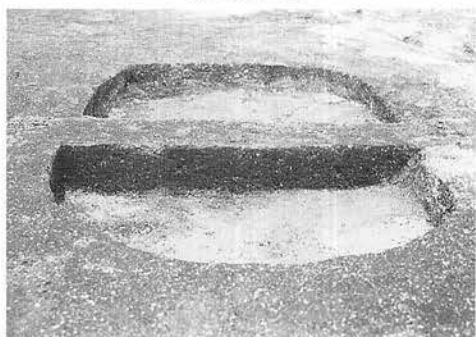
第118号土坑



第119号土坑



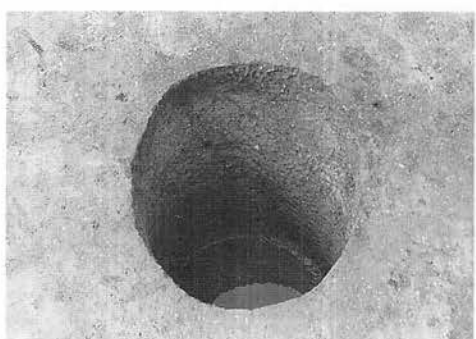
断面



断面



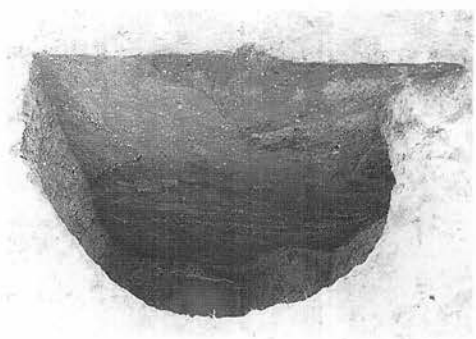
第120号土坑



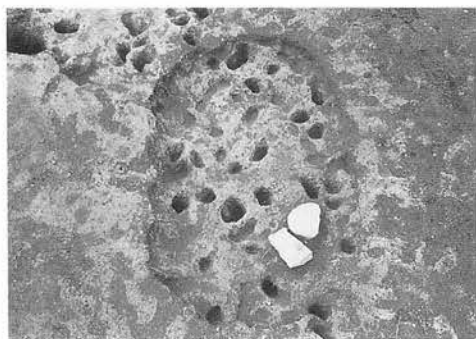
第121号土坑



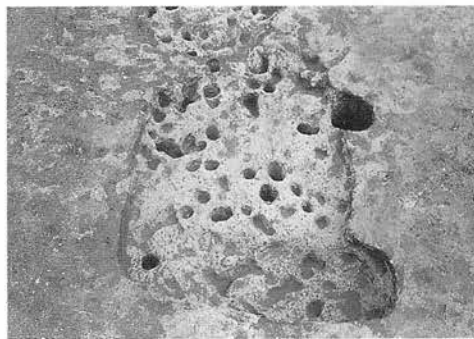
断面



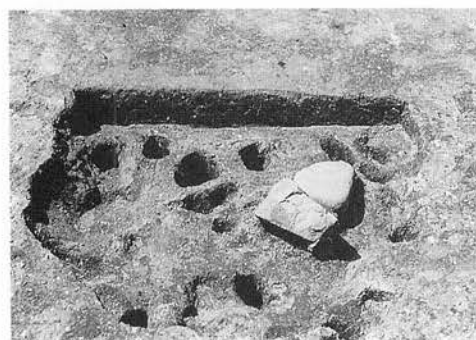
断面



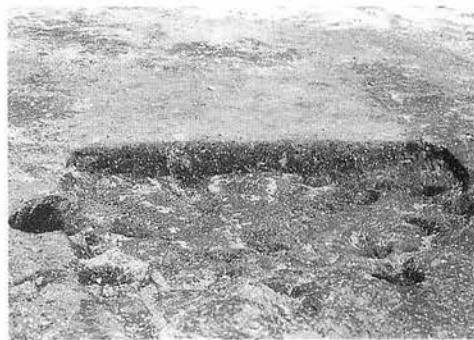
第122号土坑



第123号土坑



断面



断面



第124号土坑



第125号土坑



断面



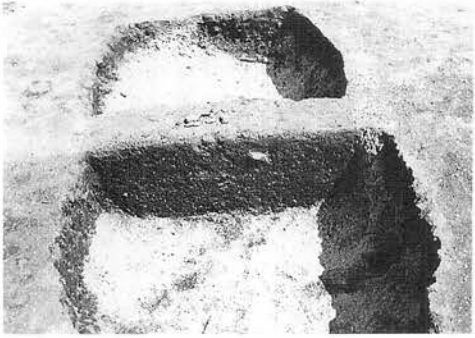
断面



第126号土坑



第127号土坑



断面



断面



第128号土坑



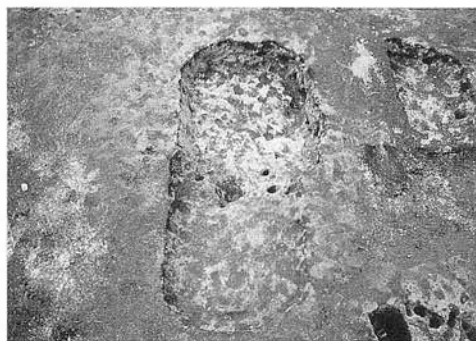
第129号土坑



断面



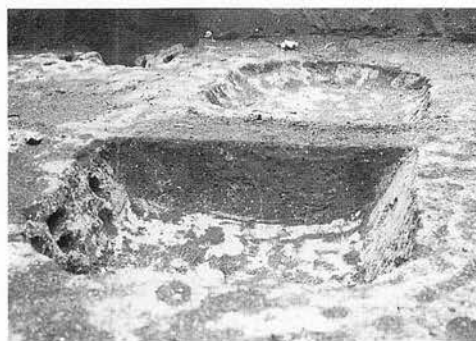
断面



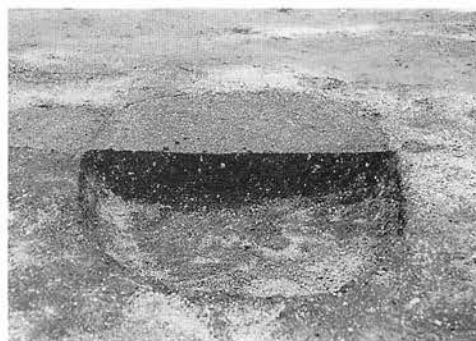
第130号土坑(上) 第131号土坑(下)



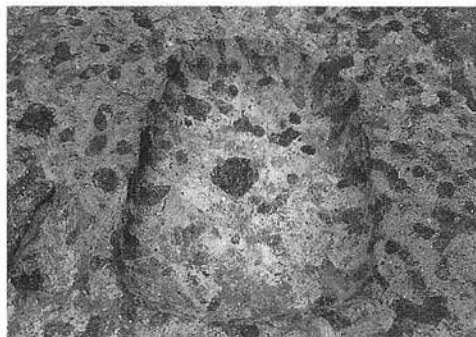
第132号土坑



断面



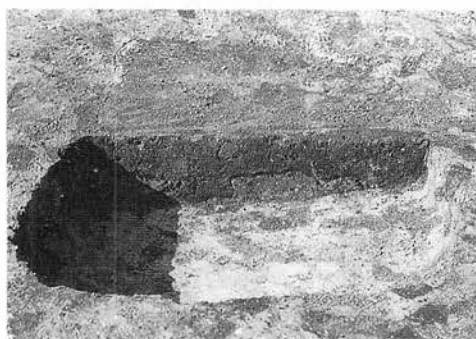
断面



第133号土坑



第134号土坑



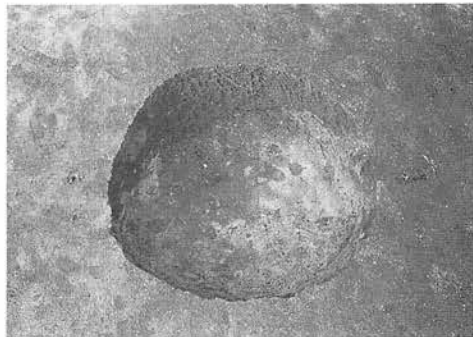
断面



断面



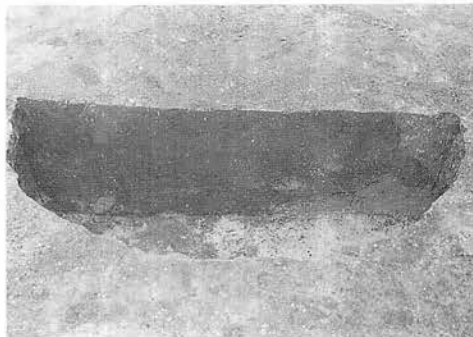
第135号土坑



第136号土坑



断面



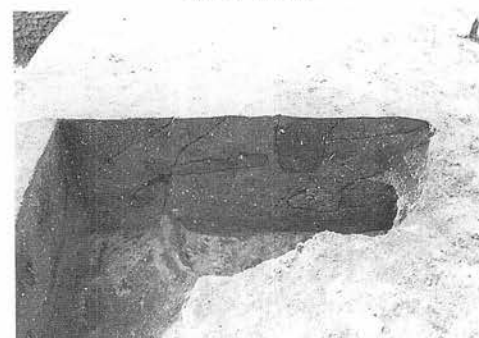
断面



第137号土坑



第138号土坑



断面



断面



第139号土坑断面



第141号土坑



第140号土坑



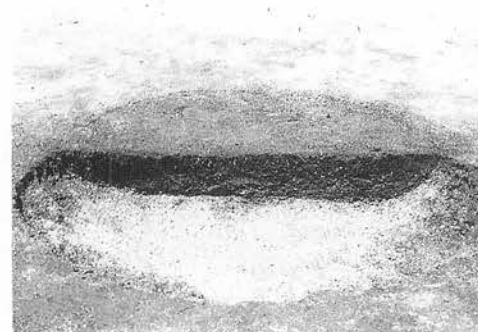
断面



第142号土坑



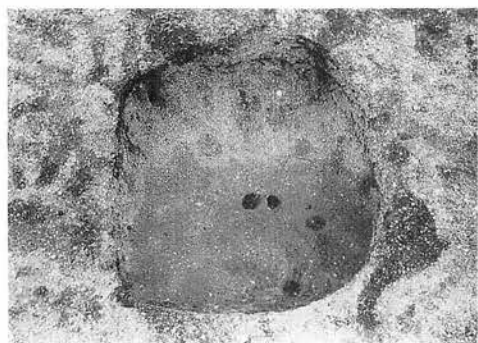
第143号土坑



断面



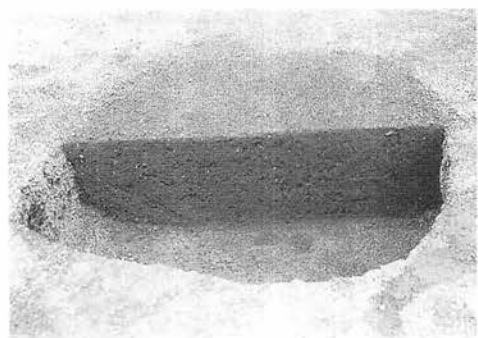
断面



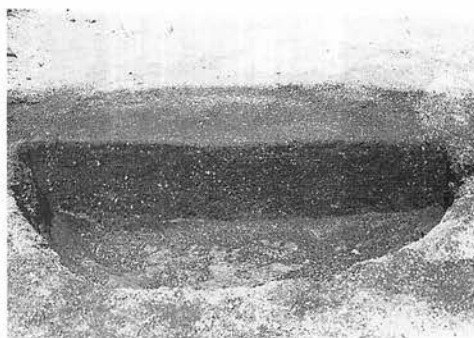
第144号土坑



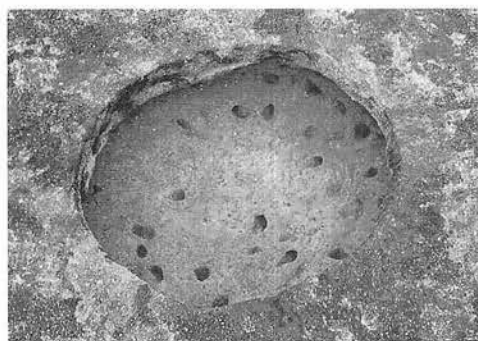
第145号土坑



断面



断面



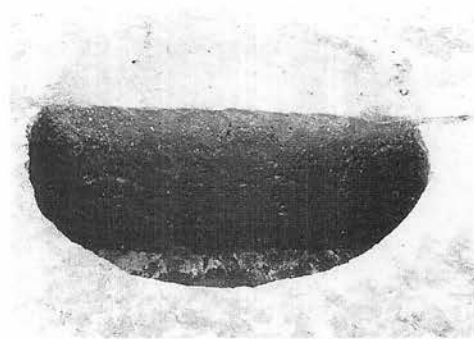
第146号土坑



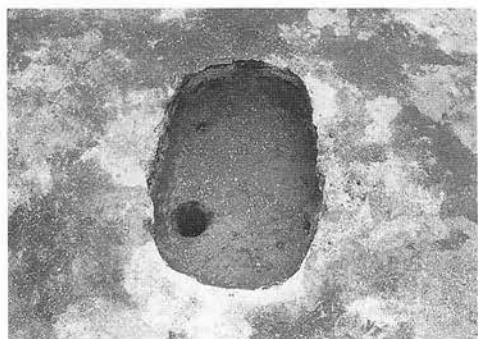
第147号土坑



断面



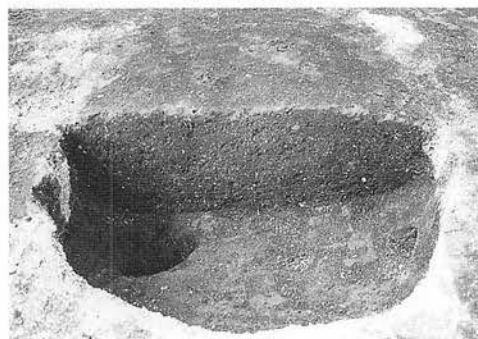
断面



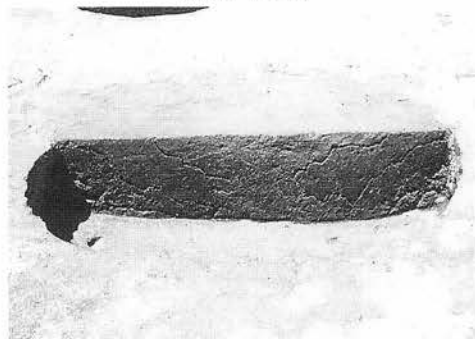
第148号土坑



第149号土坑



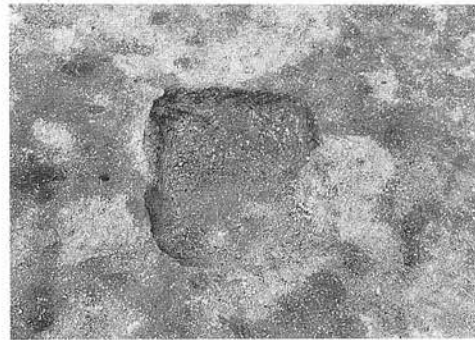
断面



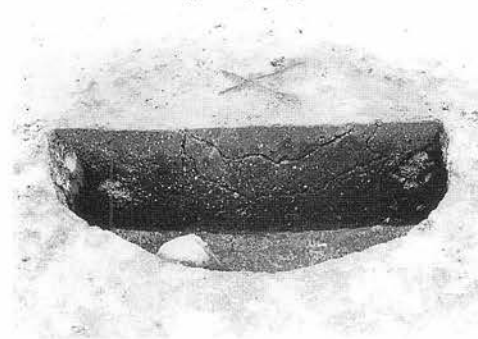
断面



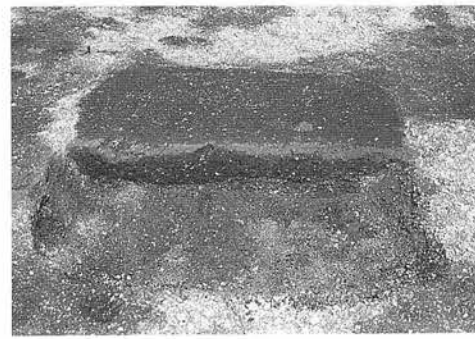
第150号土坑



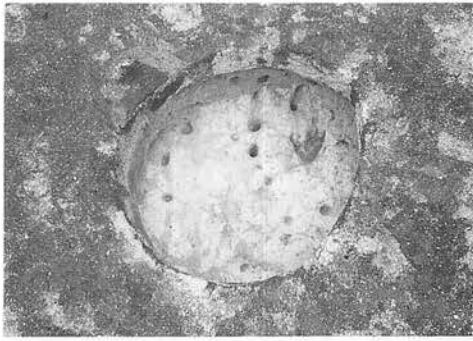
第151号土坑



断面



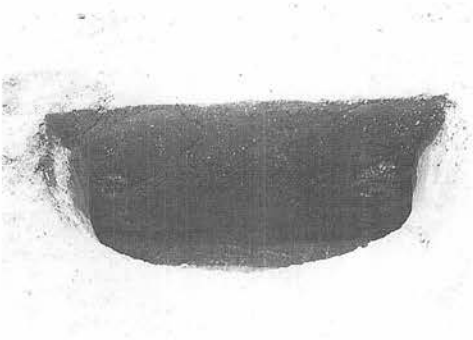
断面



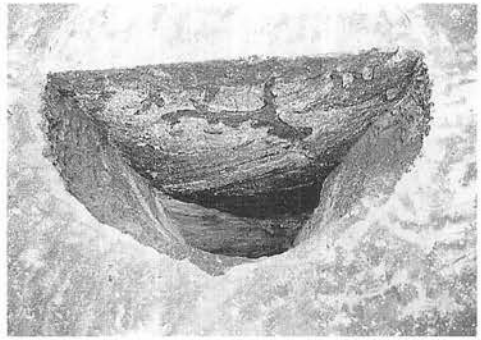
第152号土坑



第153号土坑



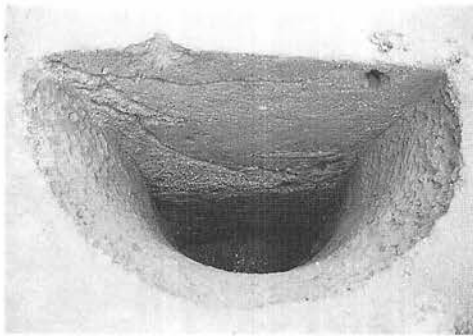
断面



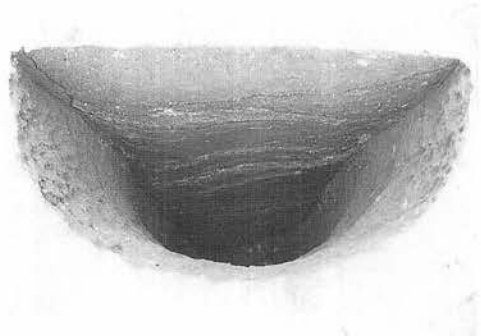
断面



第155号土坑



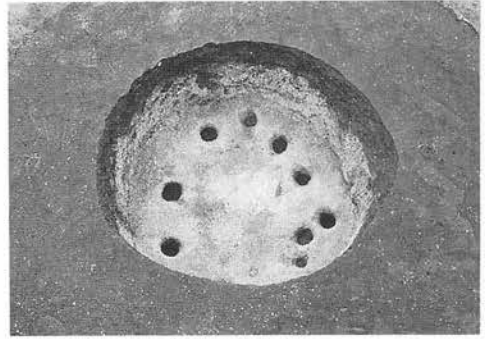
第154号土坑断面



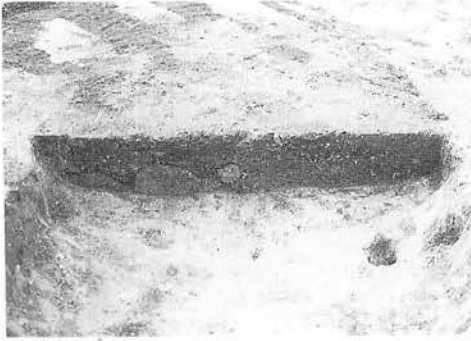
断面



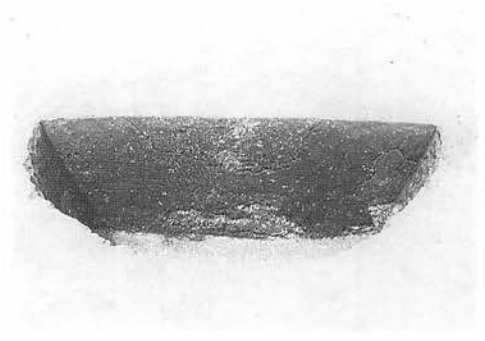
第156号土坑



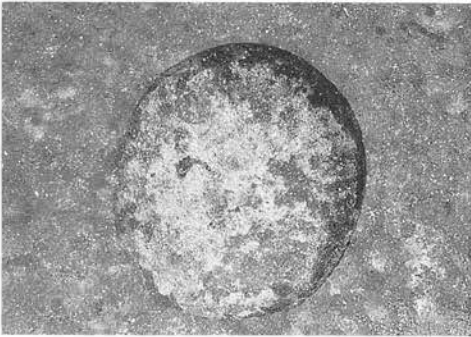
第157号土坑



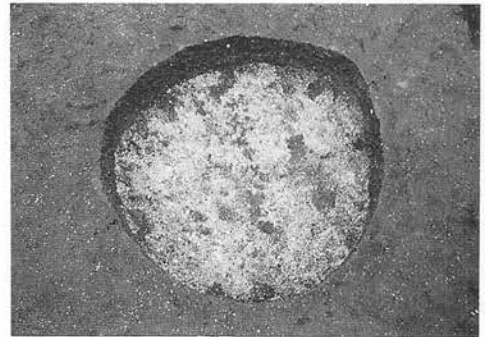
断面



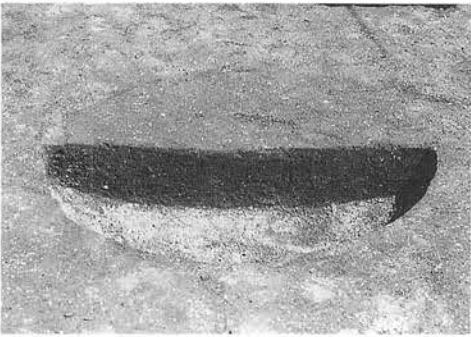
断面



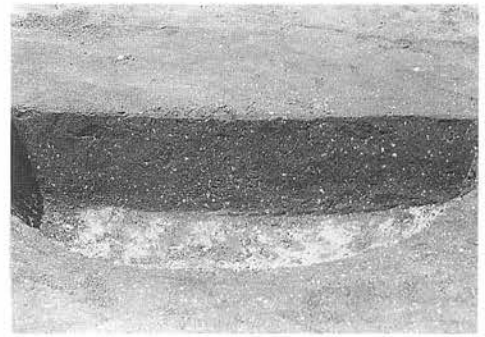
第158号土坑



第159号土坑



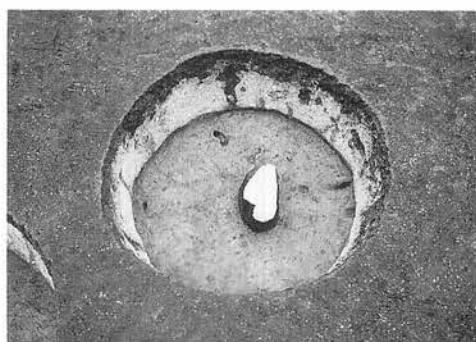
断面



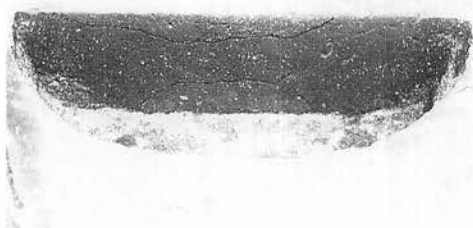
断面



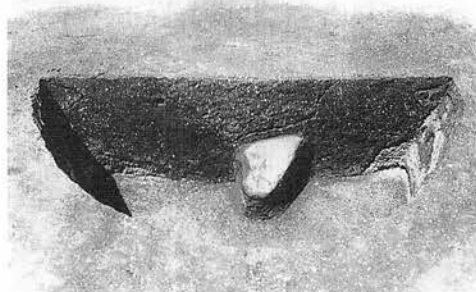
第160号土坑



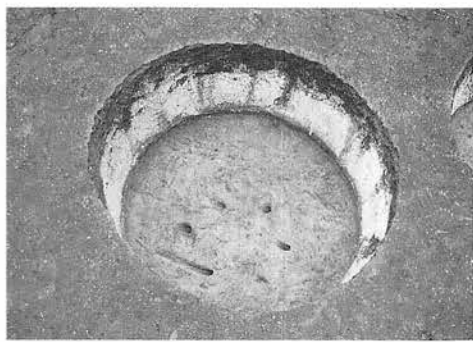
第161号土坑



断面



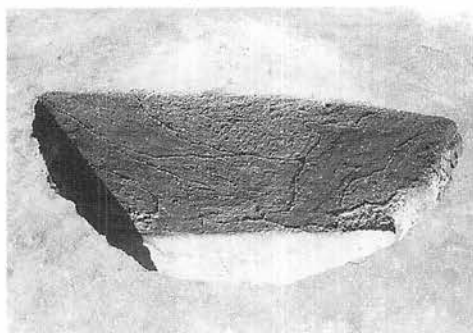
断面



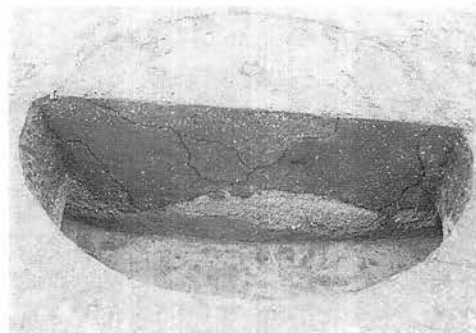
第162号土坑



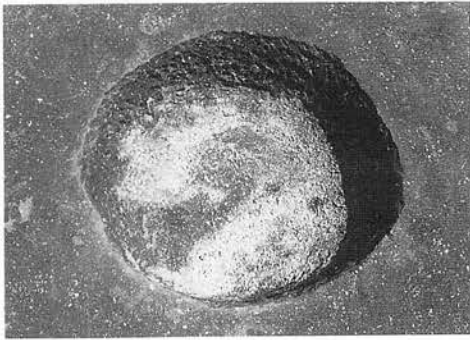
第163号土坑



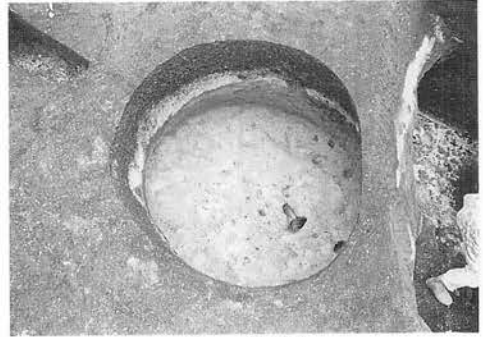
断面



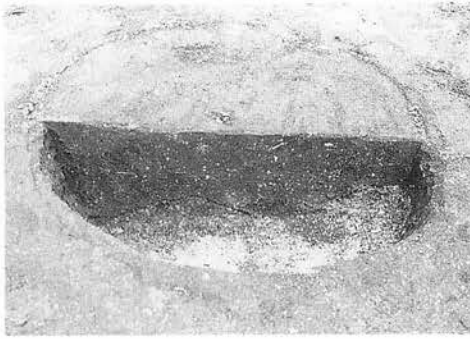
断面



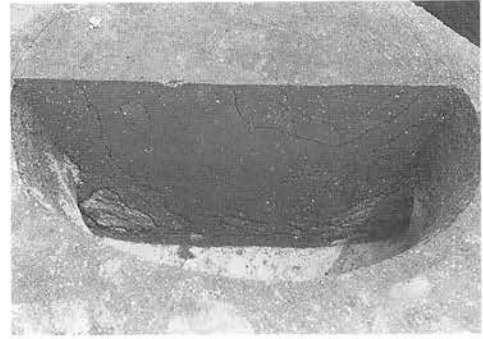
第164号土坑



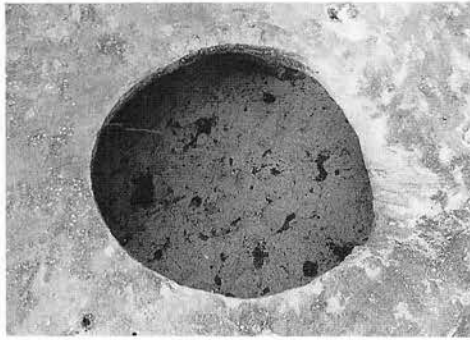
第165号土坑



断面



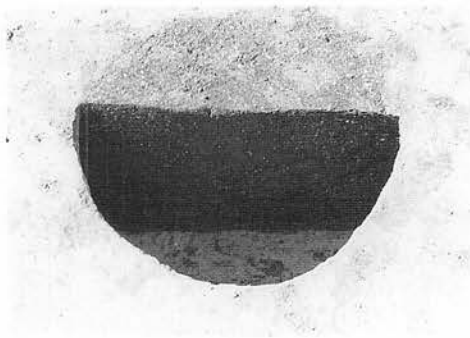
断面



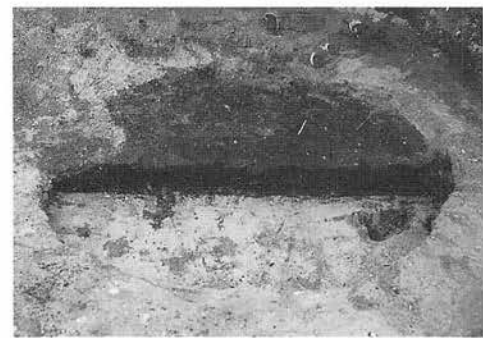
第166号土坑



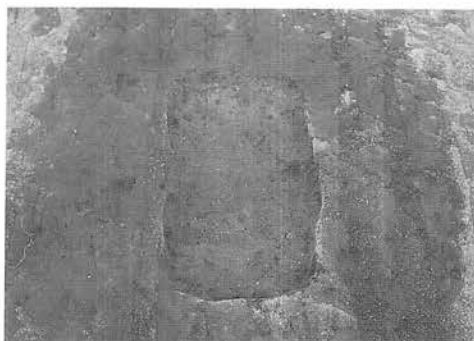
第167号土坑



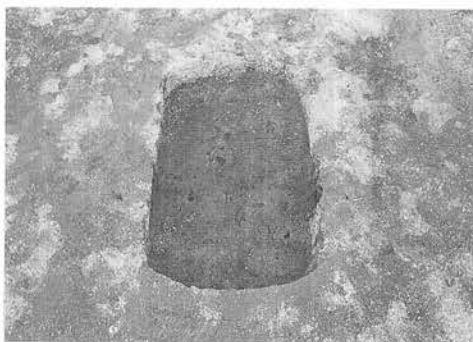
断面



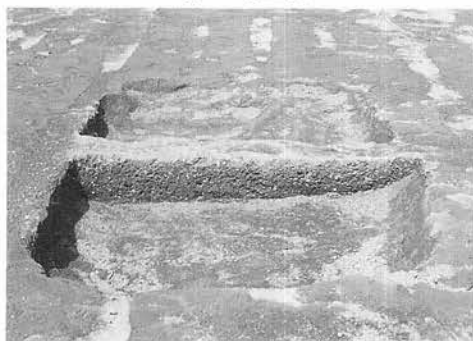
断面



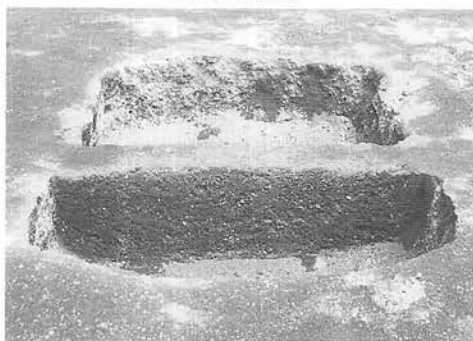
第168号土坑



第169号土坑



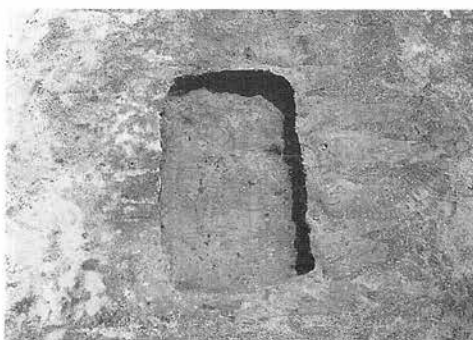
断面



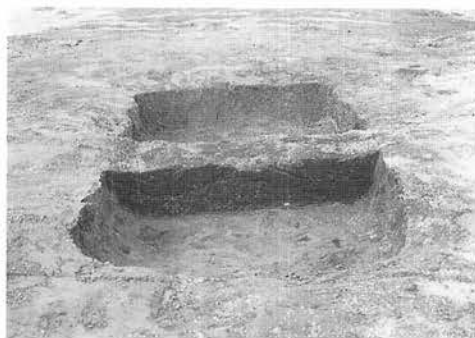
断面



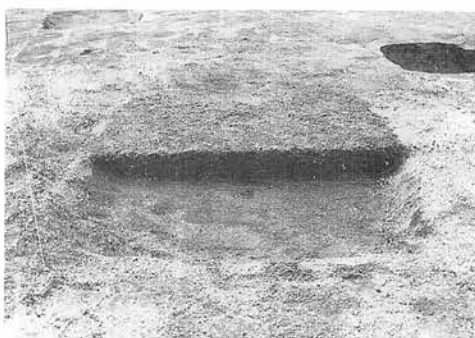
第170号土坑



第171号土坑



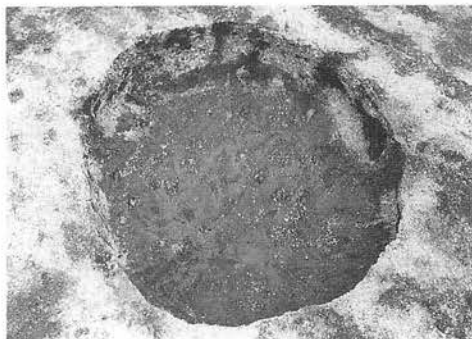
断面



断面



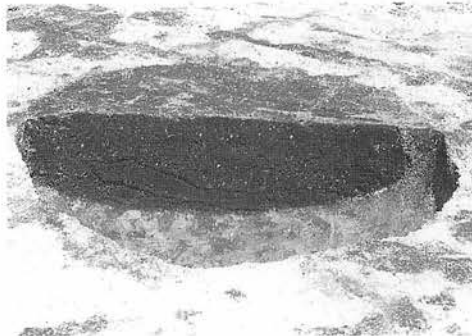
第172号土坑



第173号土坑



断面



断面



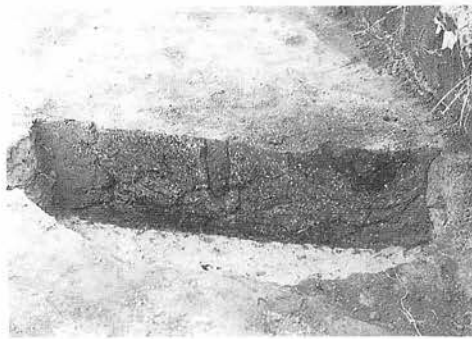
第174号土坑



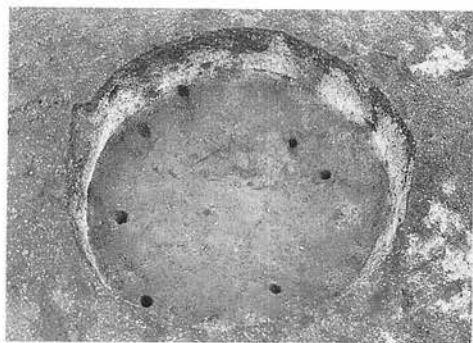
第175号土坑



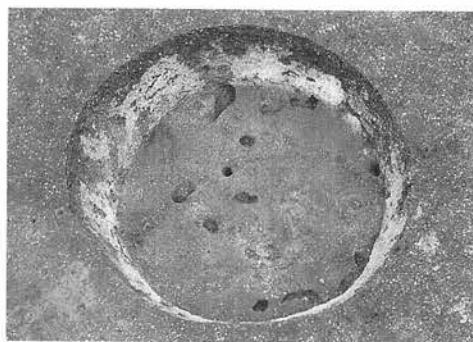
断面



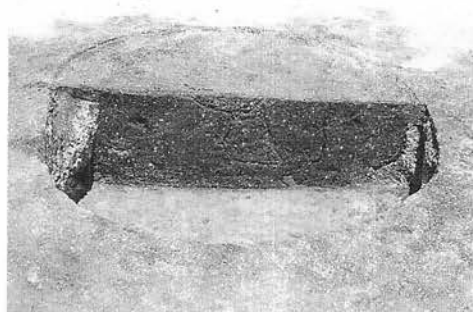
断面



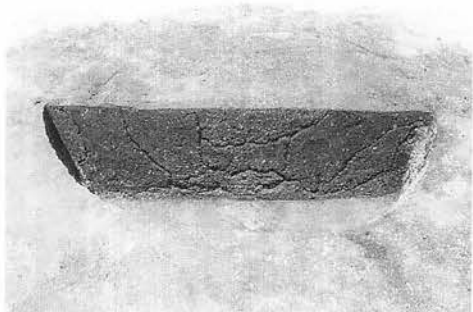
第176号土坑



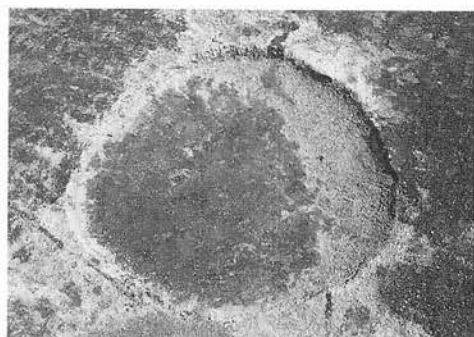
第177号土坑



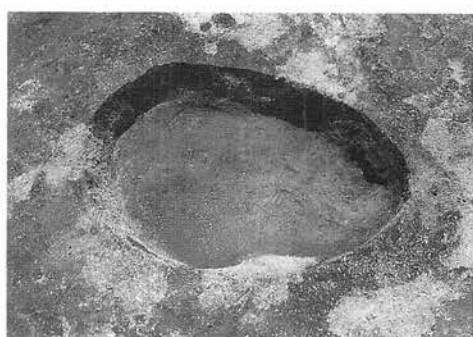
断面



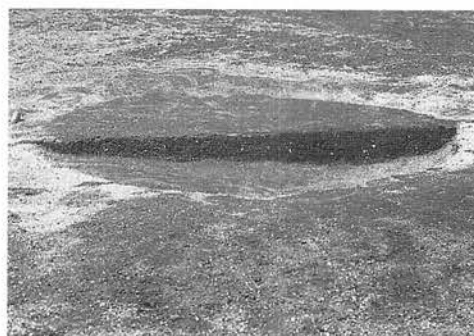
断面



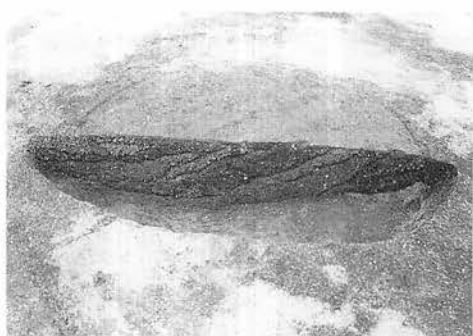
第178号土坑



第179号土坑



断面



断面



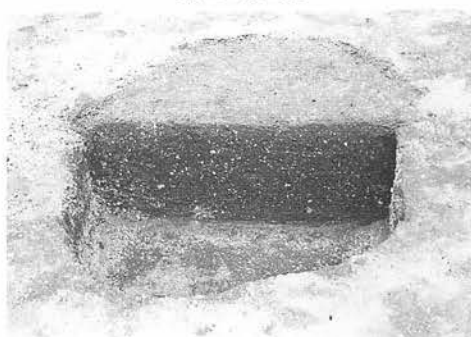
第180号土坑



第181号土坑



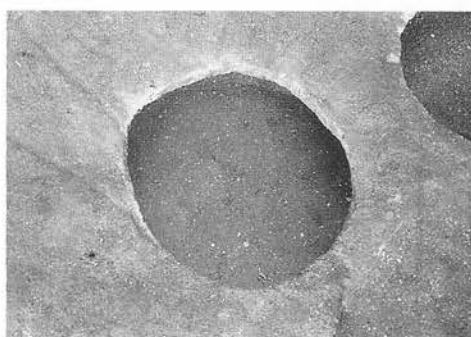
断面



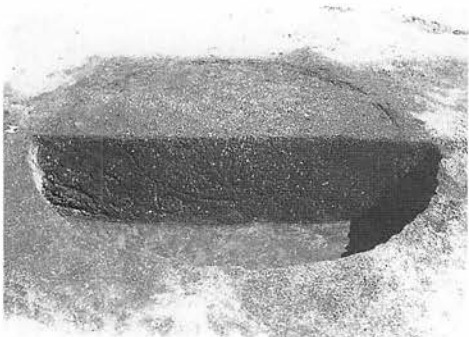
断面



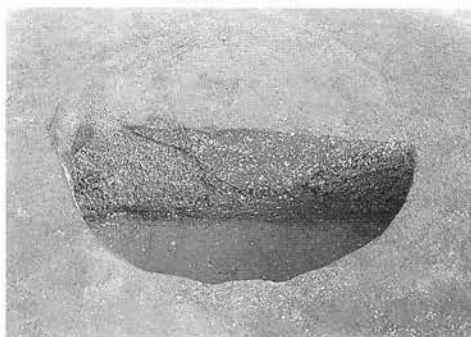
第182号土坑



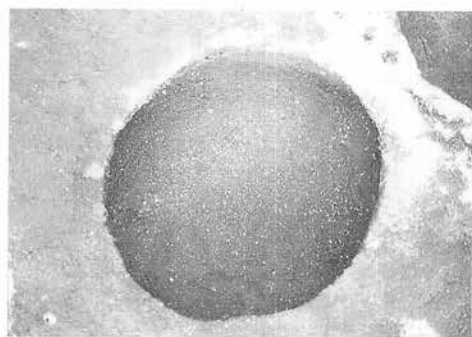
第183号土坑



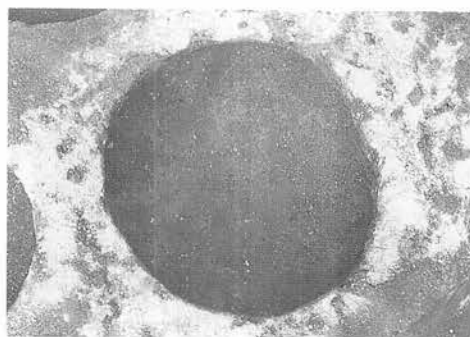
断面



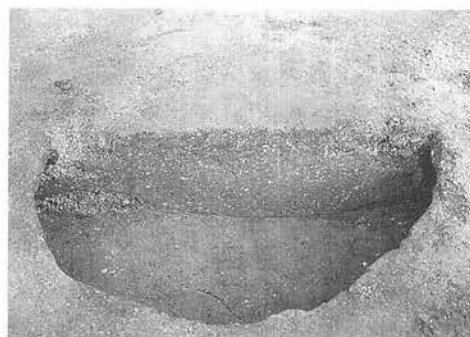
断面



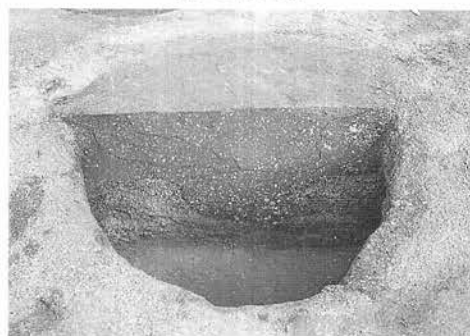
第184号土坑



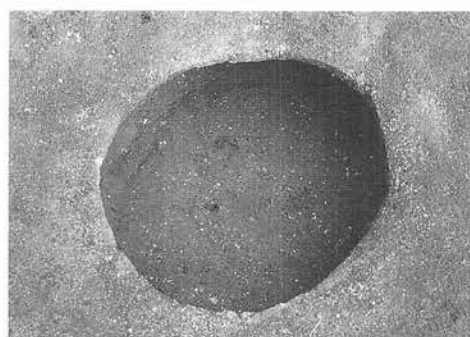
第185号土坑



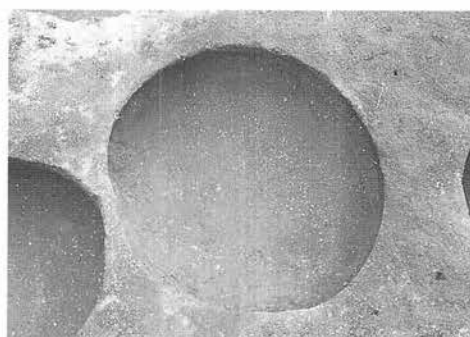
断面



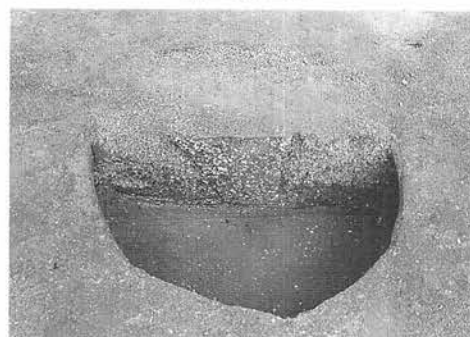
断面



第186号土坑



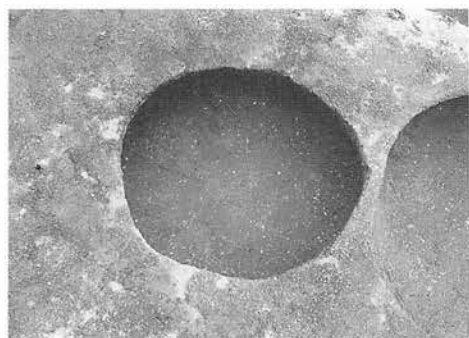
第187号土坑



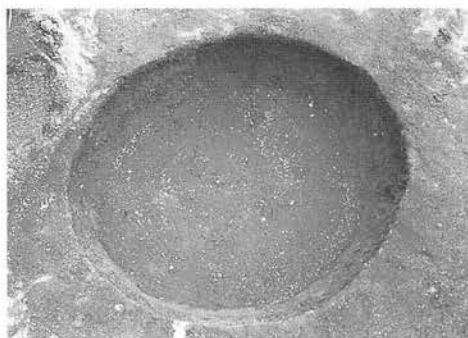
断面



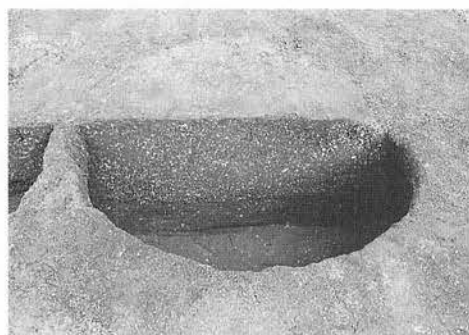
断面



第188号土坑



第189号土坑



断面



断面



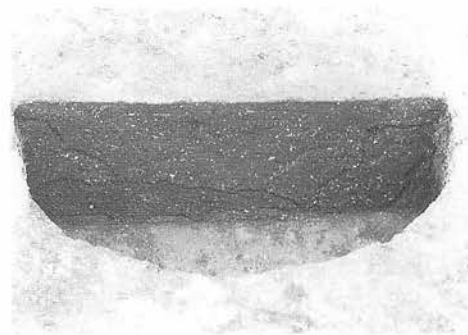
第190号土坑



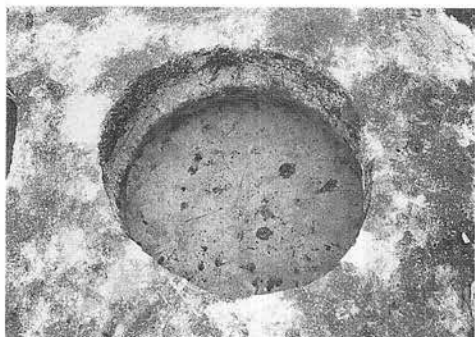
第191号土坑



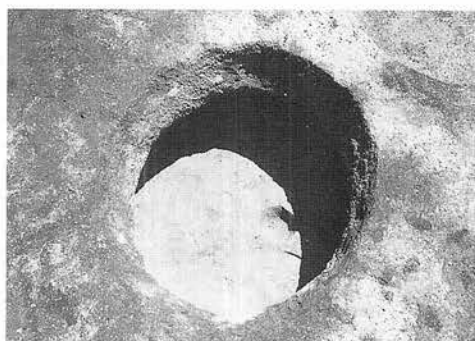
断面



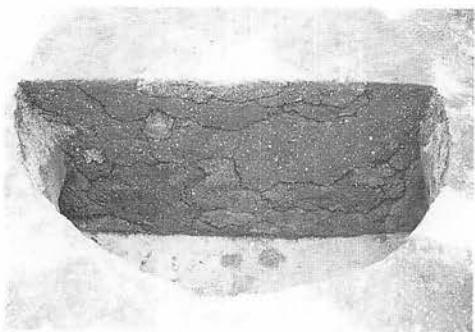
断面



第192号土坑



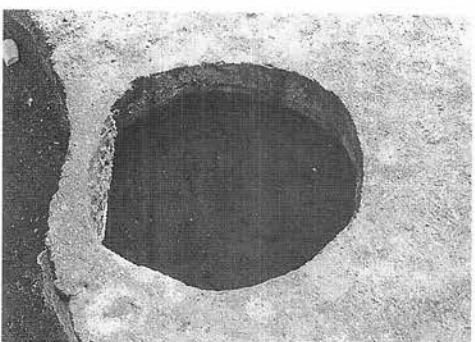
第193号土坑



断面



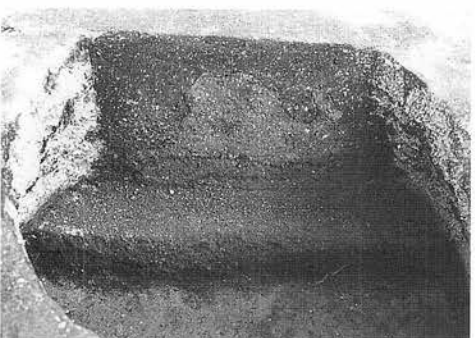
断面



第194号土坑



第195号土坑



断面



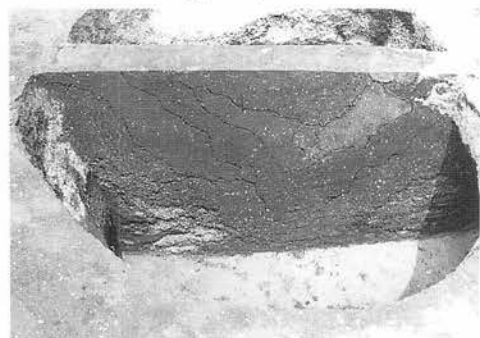
断面



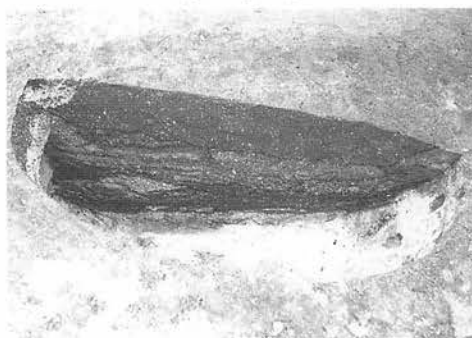
第196号土坑



第197号土坑



断面



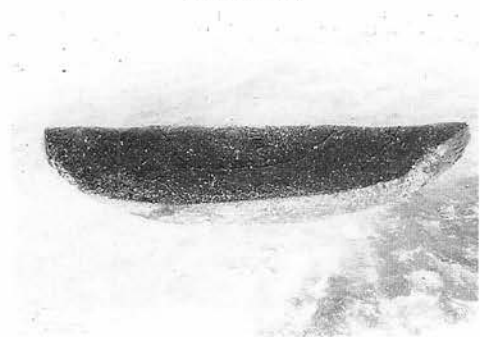
断面



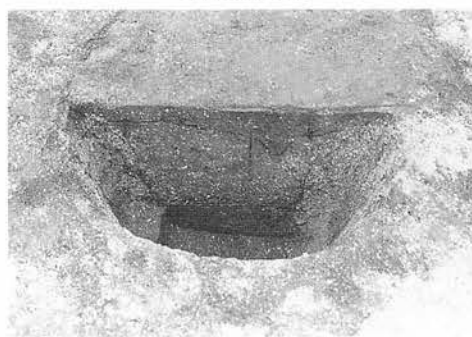
第198号土坑



第199号土坑

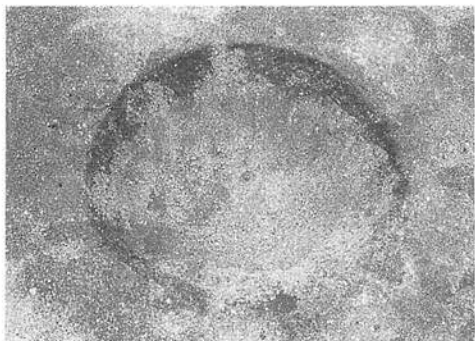


断面

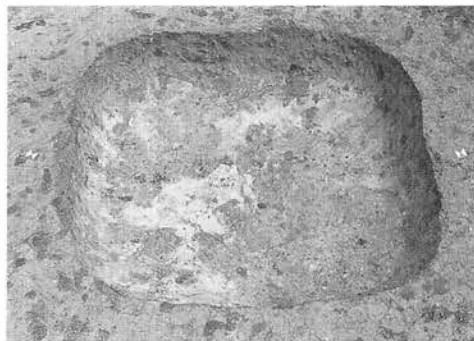


断面

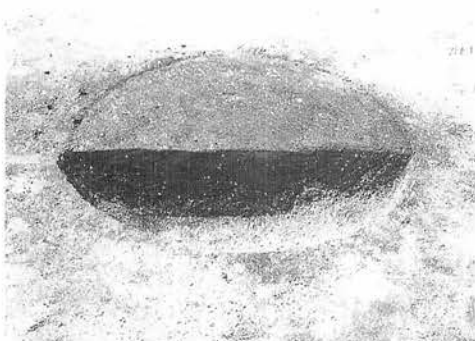
写真图版76 土坑(50)



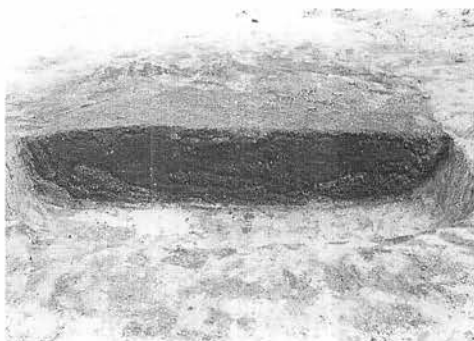
第200号土坑



第201号土坑



断面



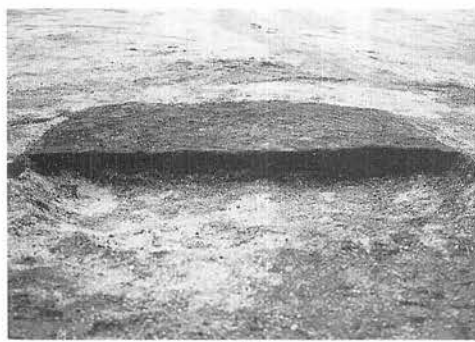
断面



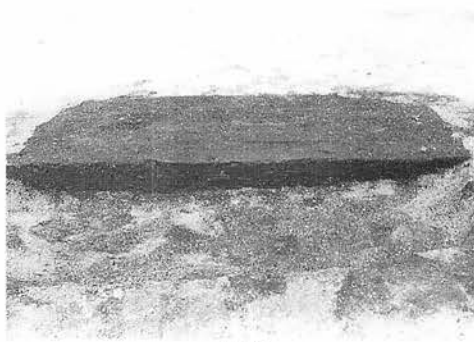
第202号土坑



第203号土坑



断面



断面



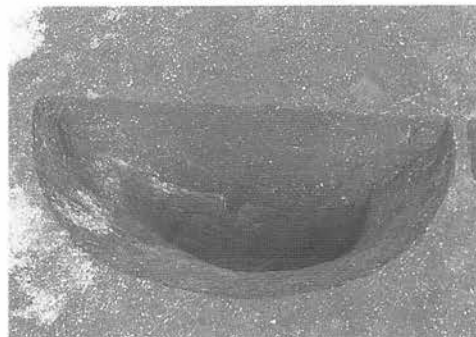
第1号陥し穴状遺構



第2号陥し穴状遺構



断面



断面



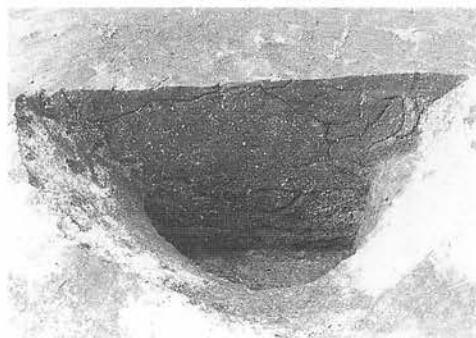
第3号陥し穴状遺構



第4号陥し穴状遺構

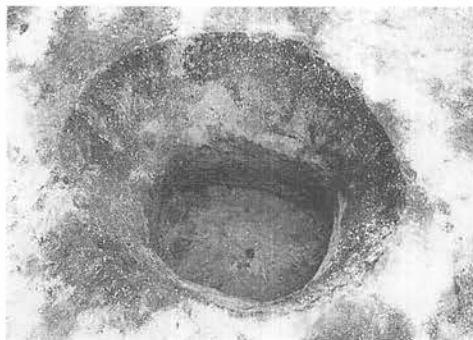


断面



断面

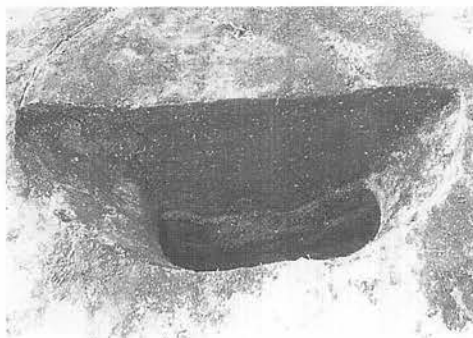
写真図版78 陥し穴状遺構(1)



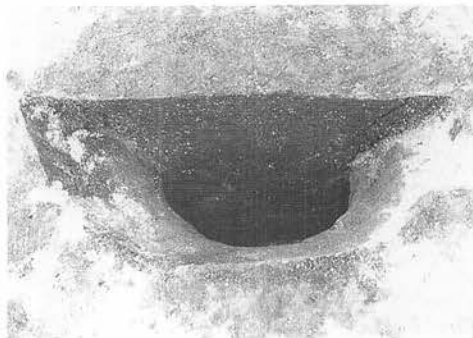
第5号陥し穴状遺構



第6号陥し穴状遺構



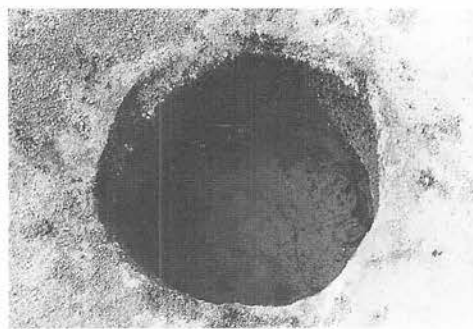
断面



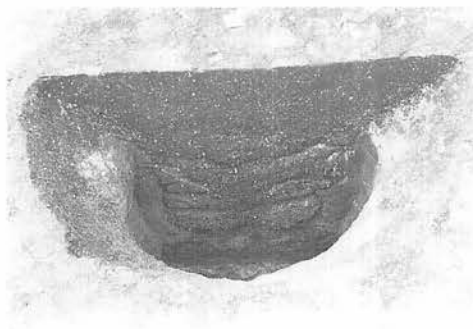
断面



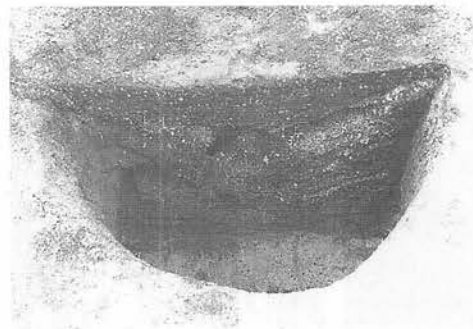
第7号陥し穴状遺構



第8号陥し穴状遺構



断面



断面

写真図版79 陥し穴状遺構(2)



第9号陥し穴状遺構



第10号陥し穴状遺構



断面



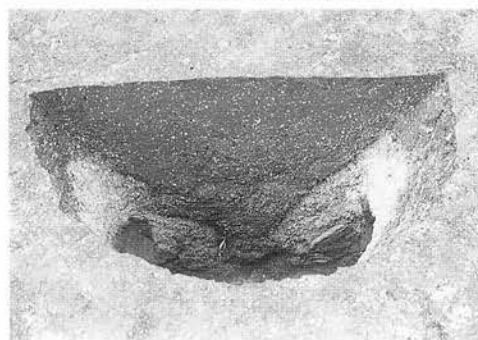
断面



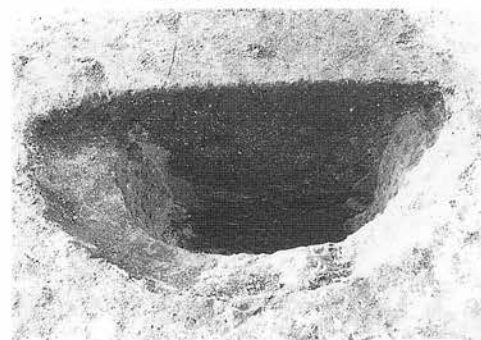
第11号陥し穴状遺構



第12号陥し穴状遺構



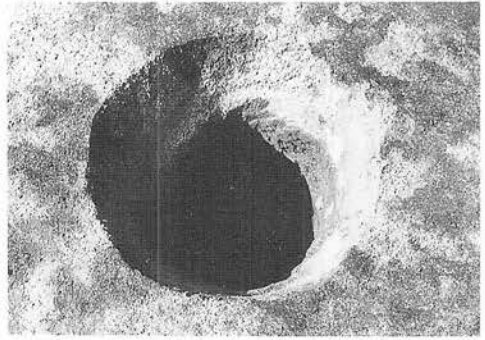
断面



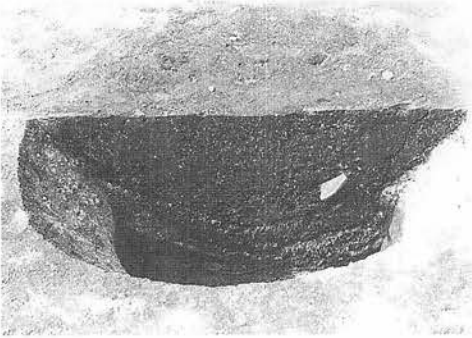
断面



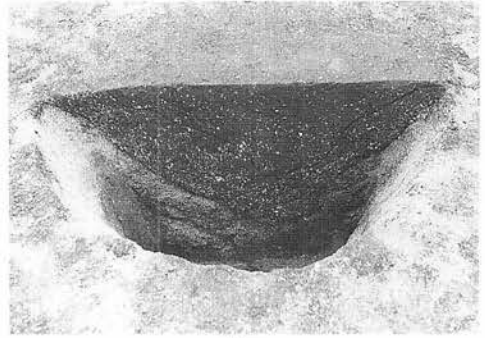
第13号陥し穴状遺構



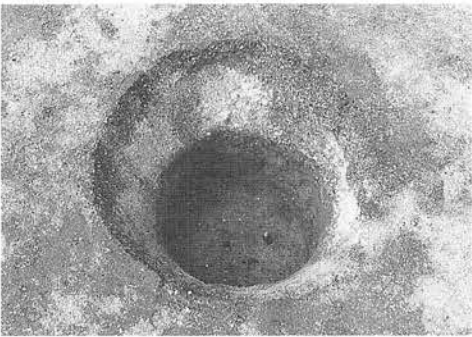
第14号陥し穴状遺構



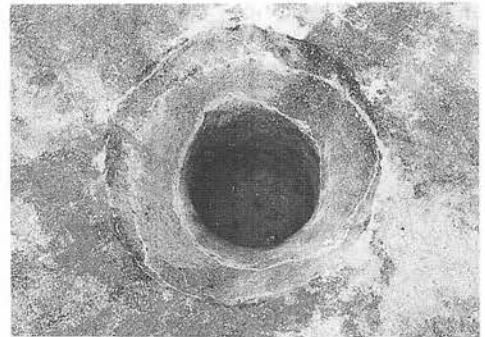
断面



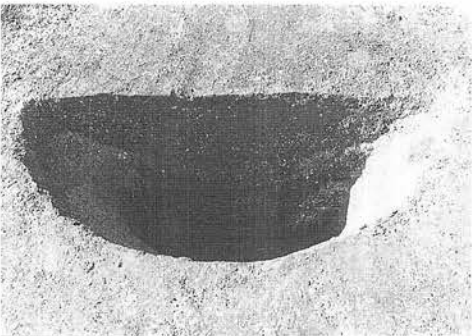
断面



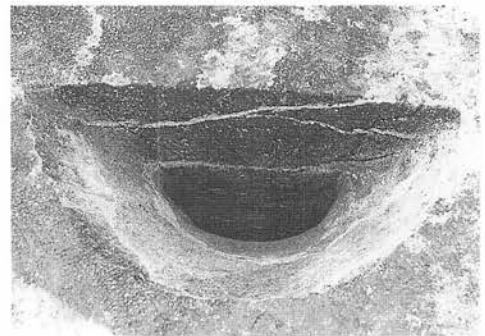
第15号陥し穴状遺構



第16号陥し穴状遺構



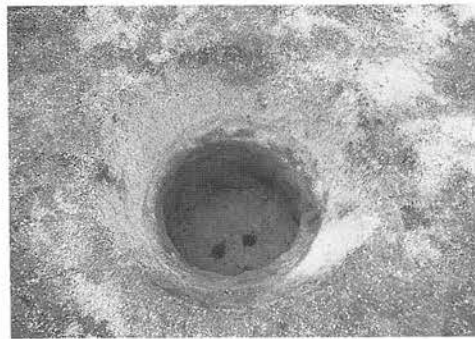
断面



断面



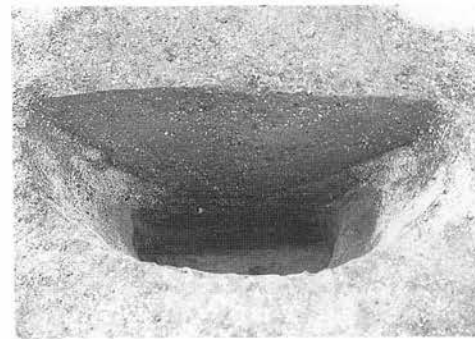
第17号陥L状遺構



第18号陥L状遺構



断面



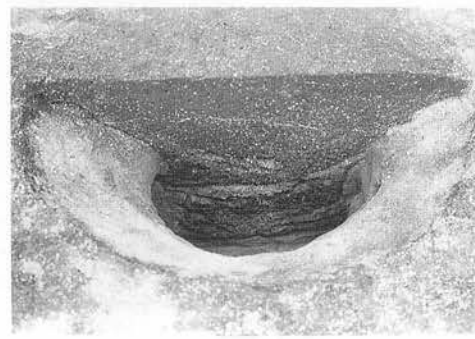
断面



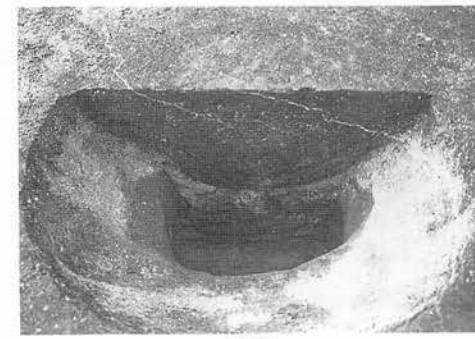
第19号陥L状遺構



第20号陥L状遺構



断面

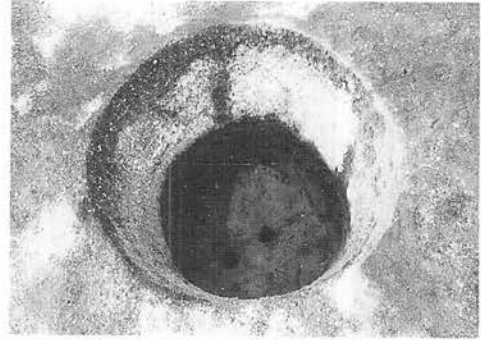


断面

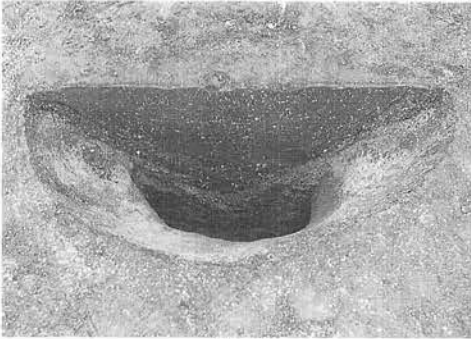
写真図版82 陥L状遺構(5)



第21号陥穴状遺構



第22号陥し穴状遺構



断面



断面



平成5年度 調査区（東から）

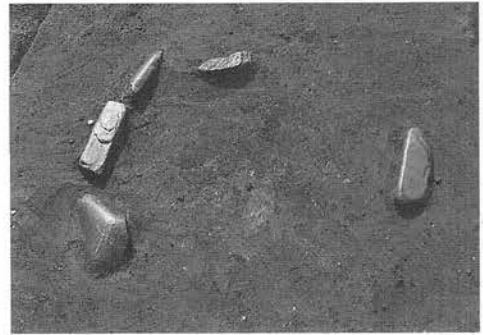
写真図版83 陥し穴状遺構(6)・調査区遠景



第1号～4号掘立柱建物跡



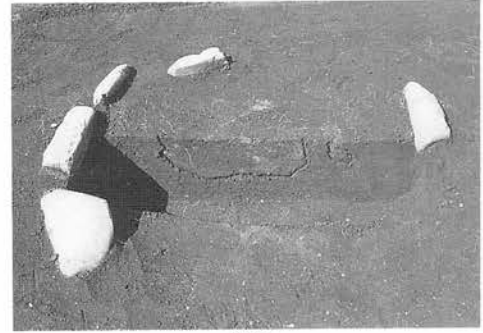
第1号炉跡



第2号炉跡

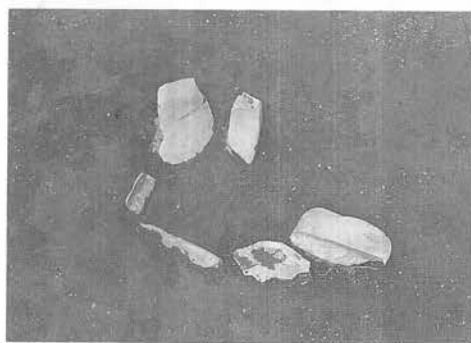


断面

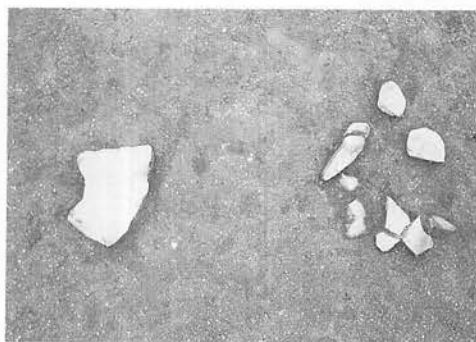


断面

写真図版84 掘立柱建物跡・炉跡(1)



第 3 号炉迹



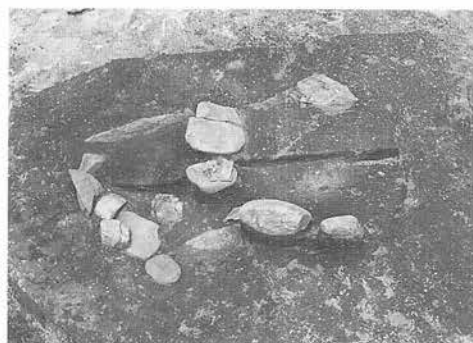
第 6 号炉迹



断面



断面



第 4 号炉迹



第 5 号炉迹



断面



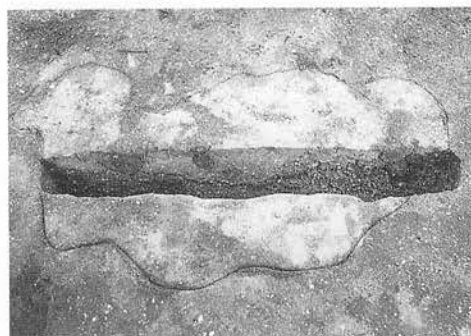
断面



第 1 号烧土遺構



第 2 号烧土遺構



断面



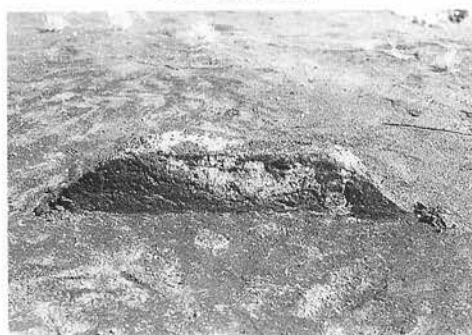
断面



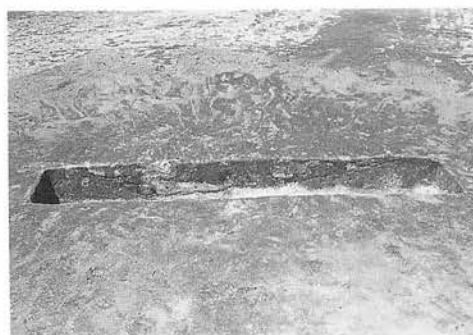
第 3 号烧土遺構



第 4 号烧土遺構



断面

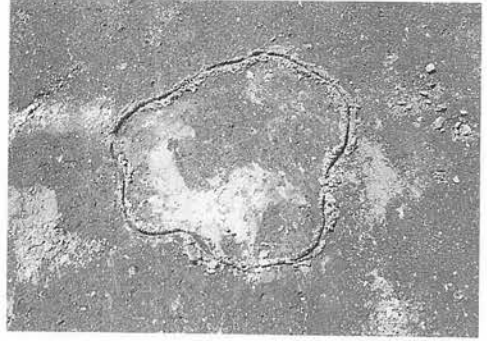


断面

写真図版86 烧土遺構(1)



第5号烧土遺構



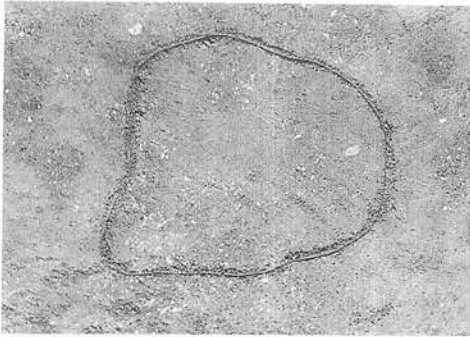
第6号烧土遺構



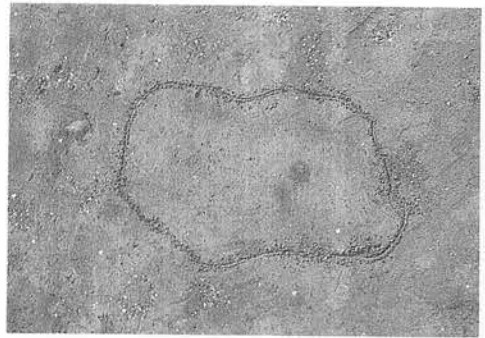
断面



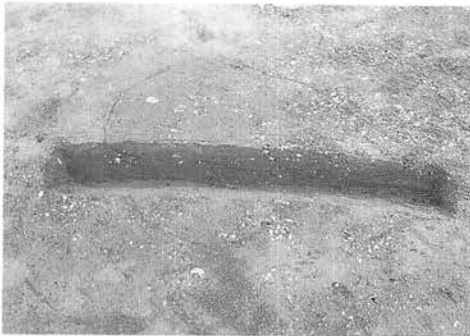
断面



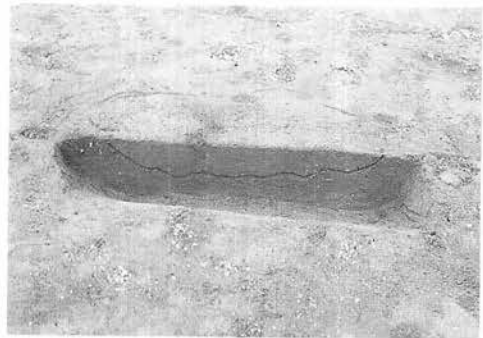
第7号烧土遺構



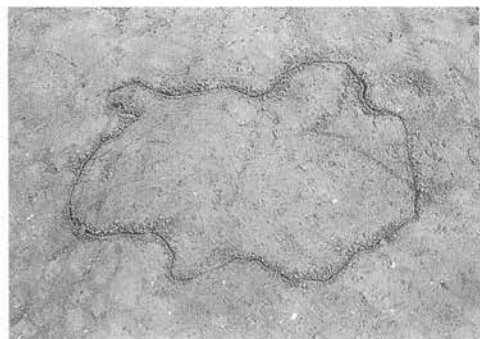
第8号烧土遺構



断面



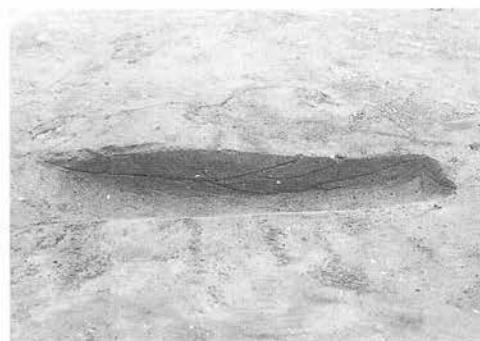
断面



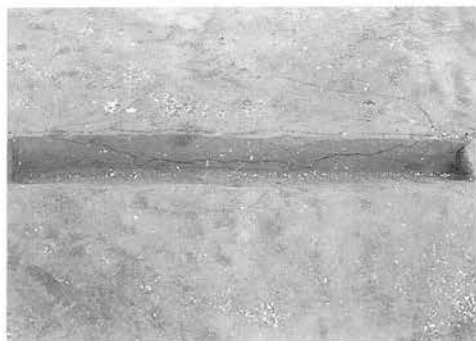
第9号烧土遺構



第10号烧土遺構



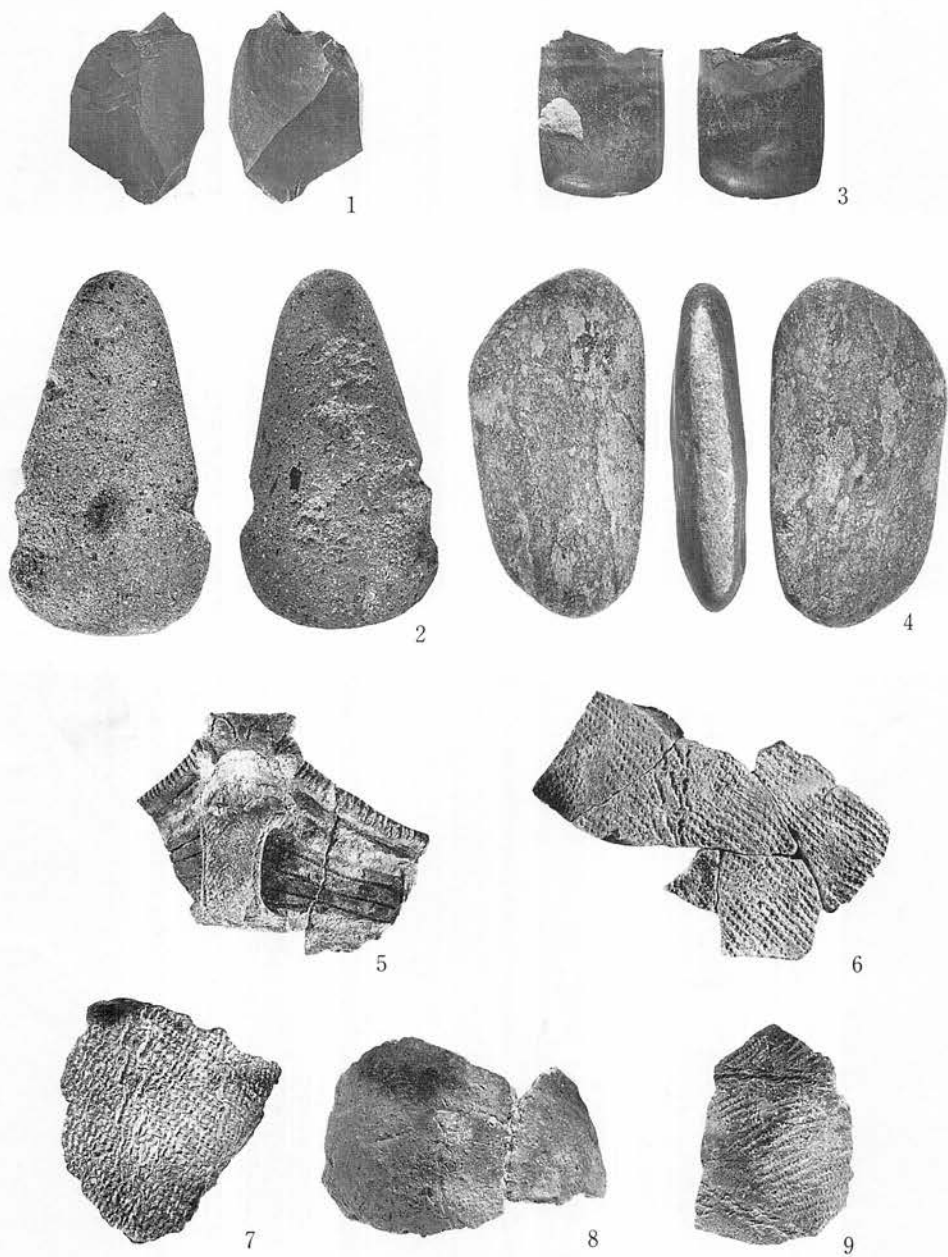
断面



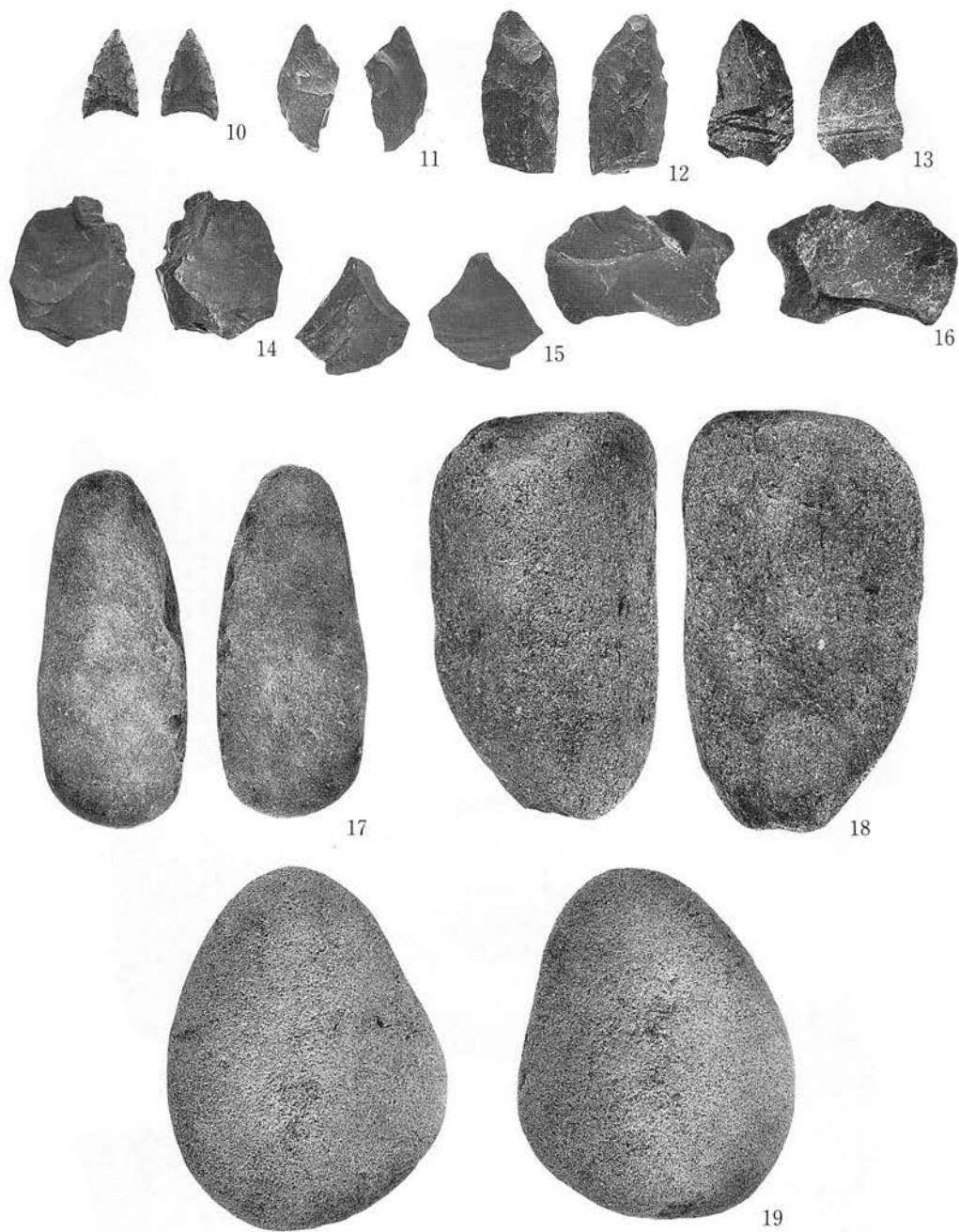
断面



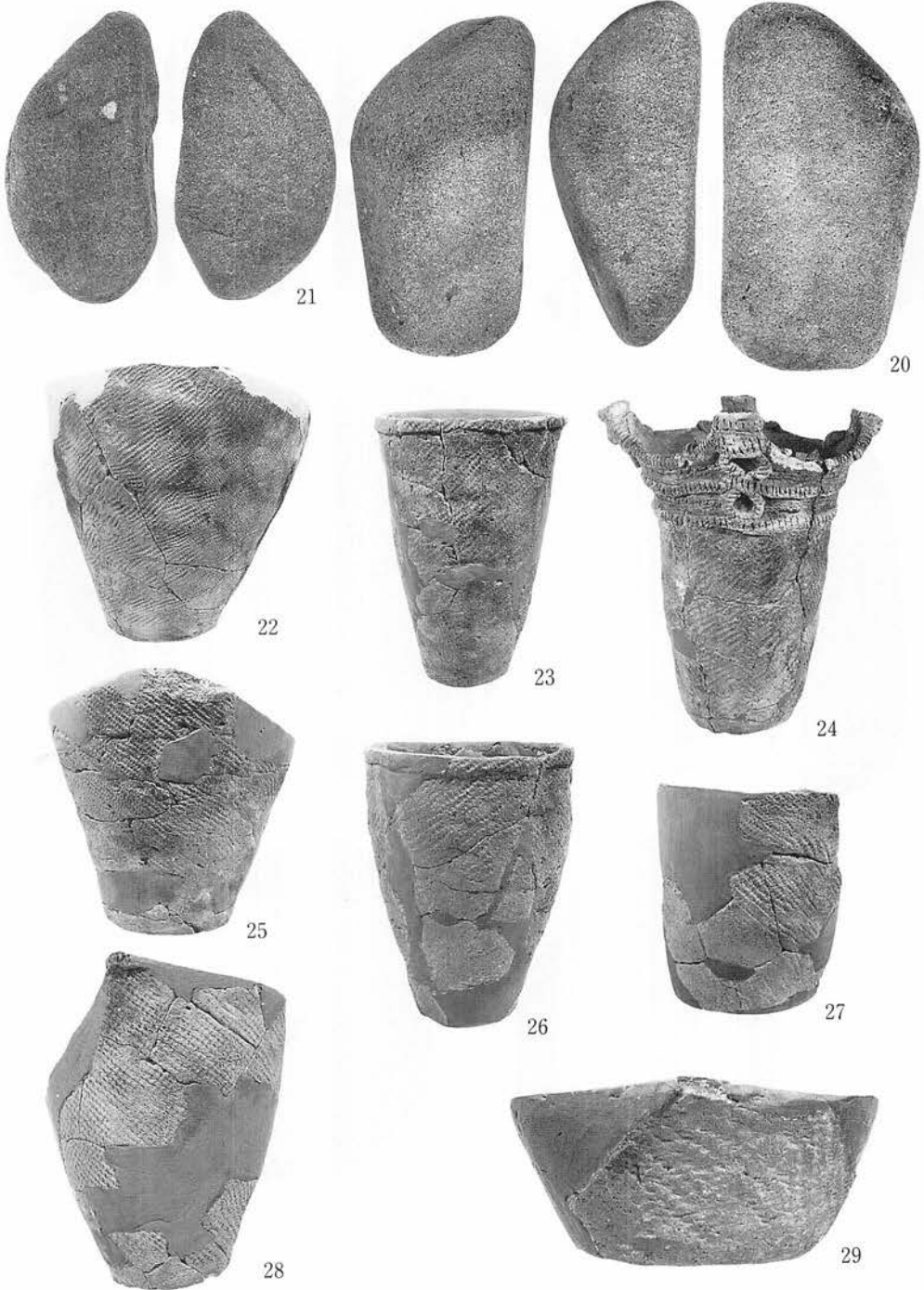
写真図版88 烧土遺構(3)・遺跡遠景



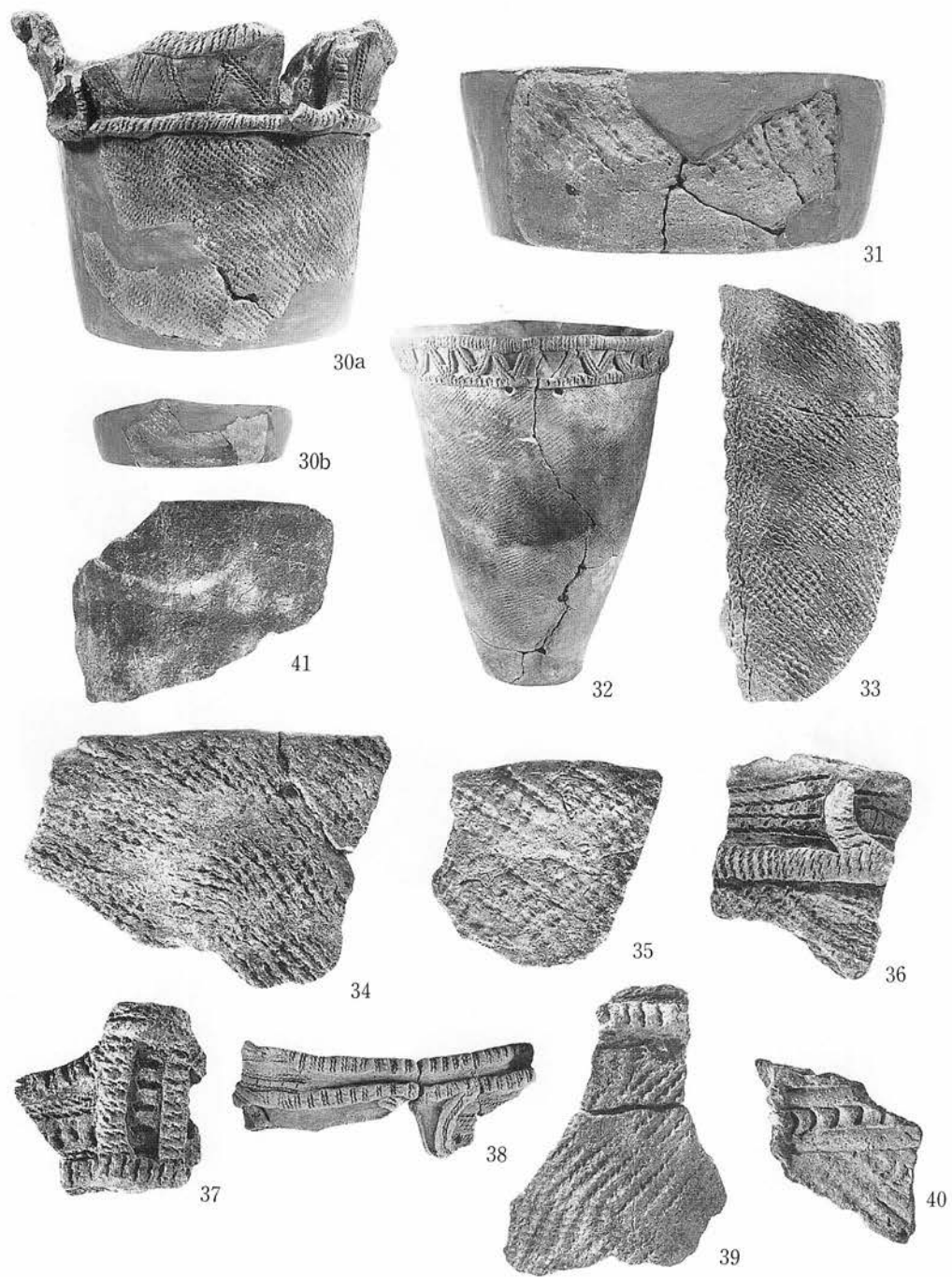
写真図版89 縄文第1号住居跡出土遺物



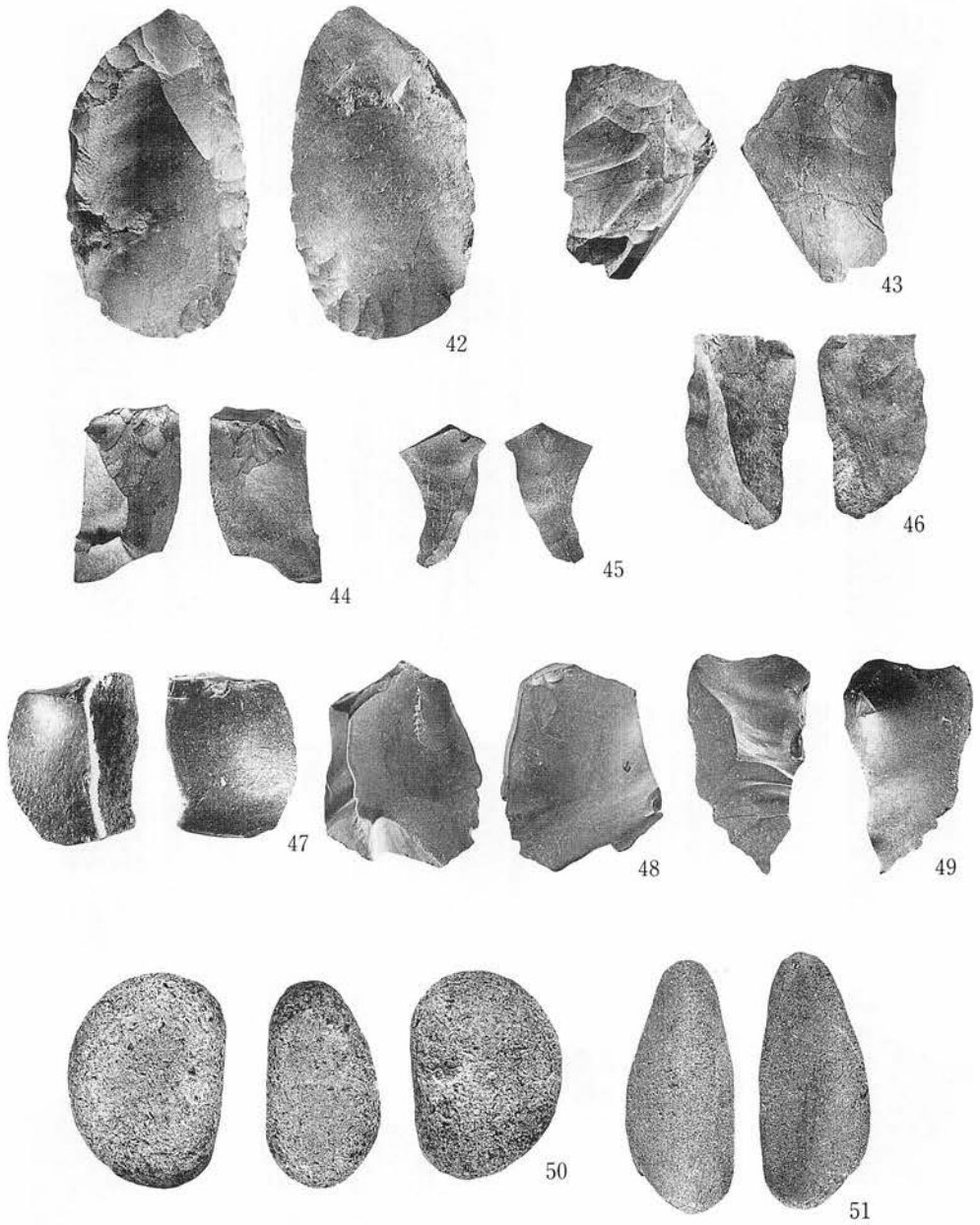
写真図版90 縄文第2号住居跡出土遺物(1)



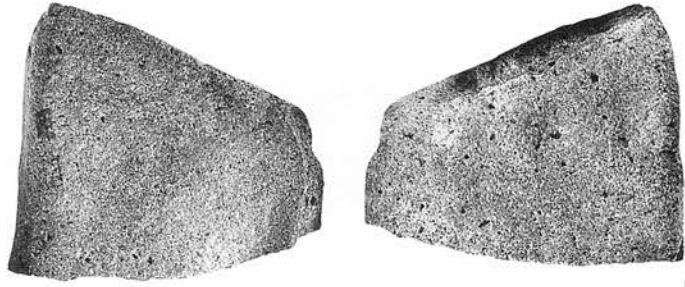
写真図版91 縄文第2号住居跡出土遺物(2)



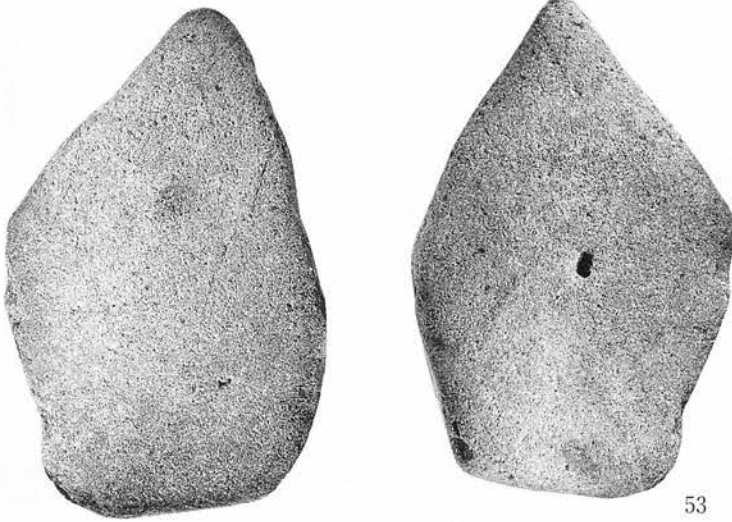
写真図版92 縄文第2号住居跡出土遺物(3)



写真図版93 縄文第3号住居跡出土遺物(1)



52



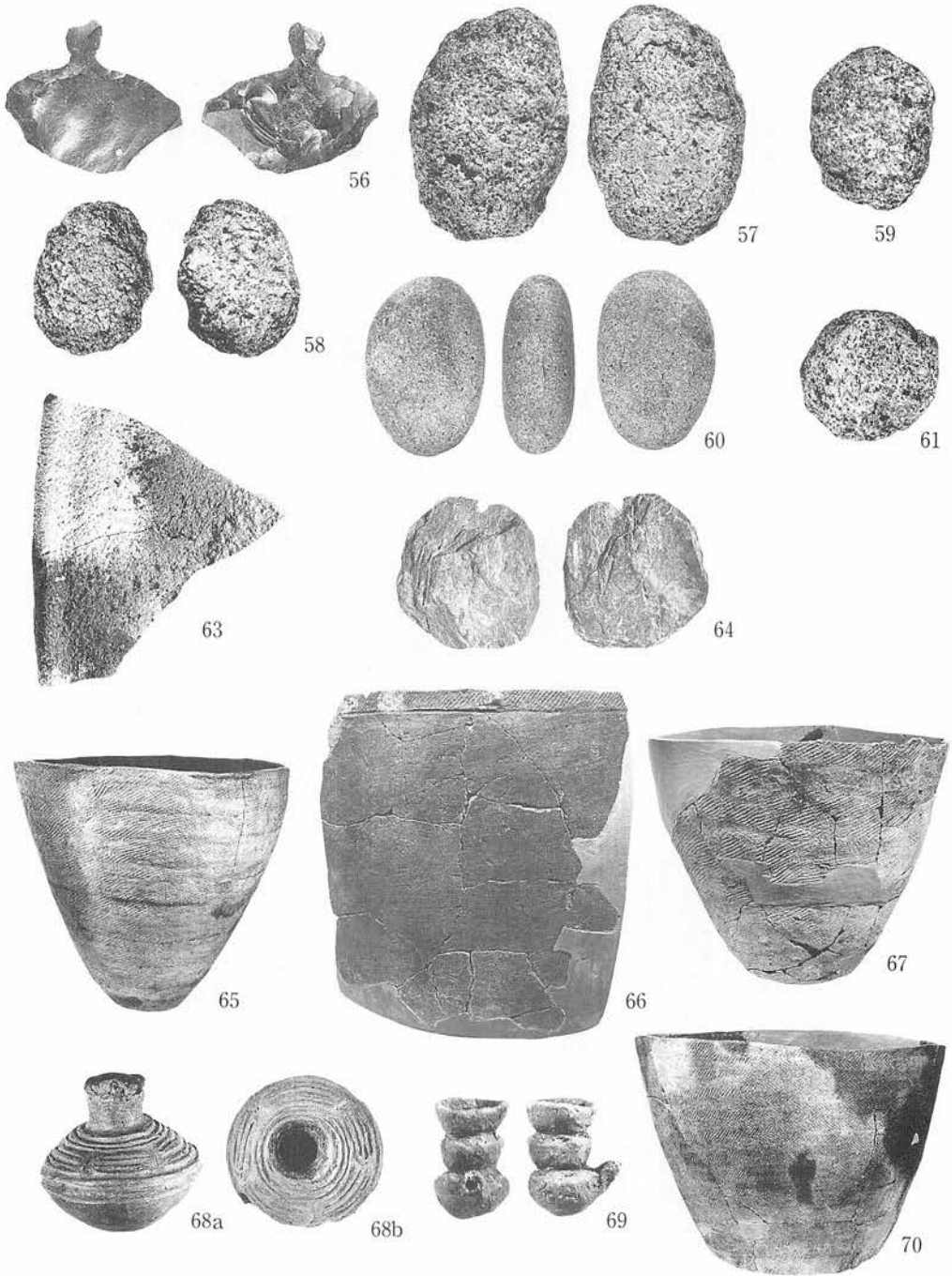
53



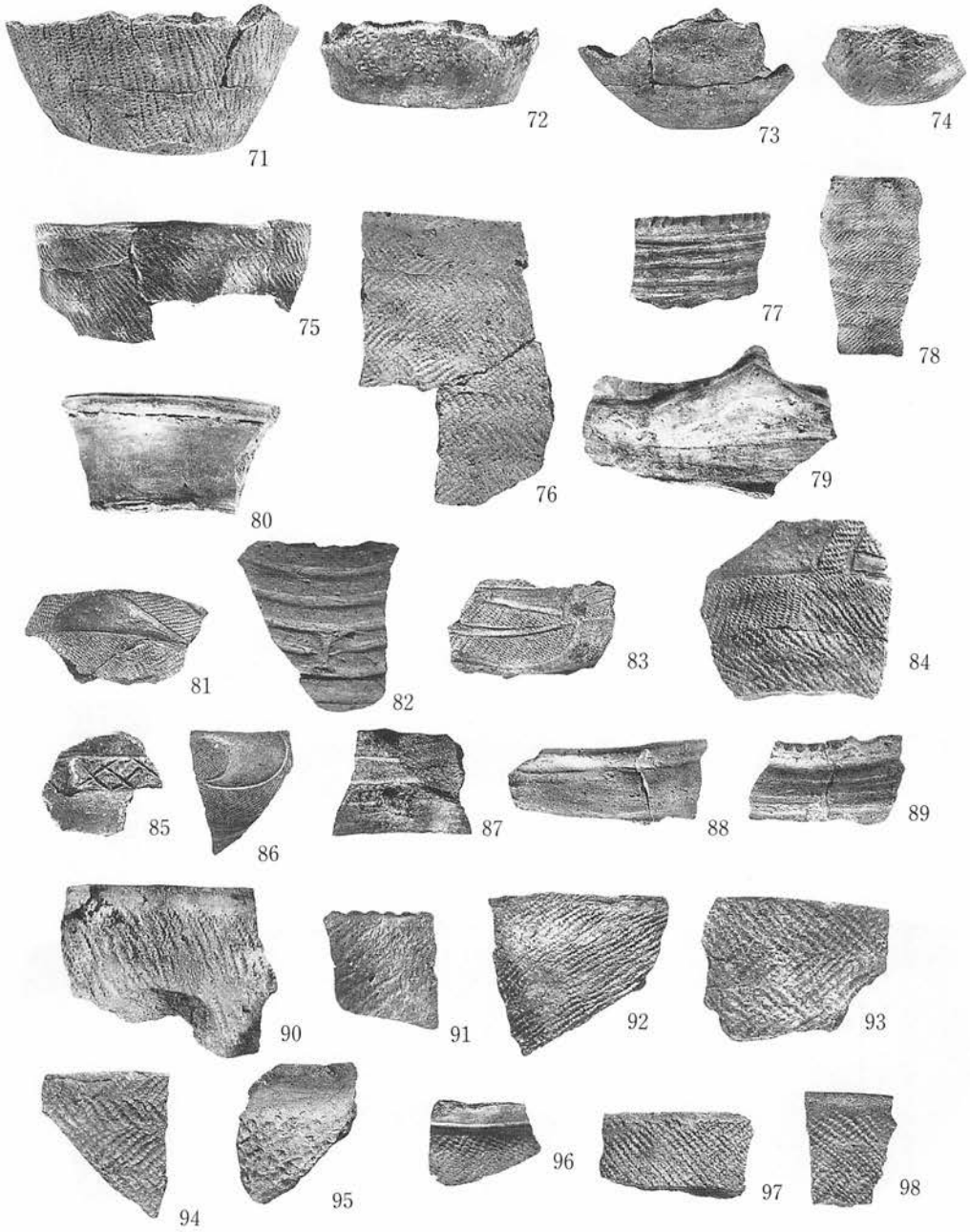
54



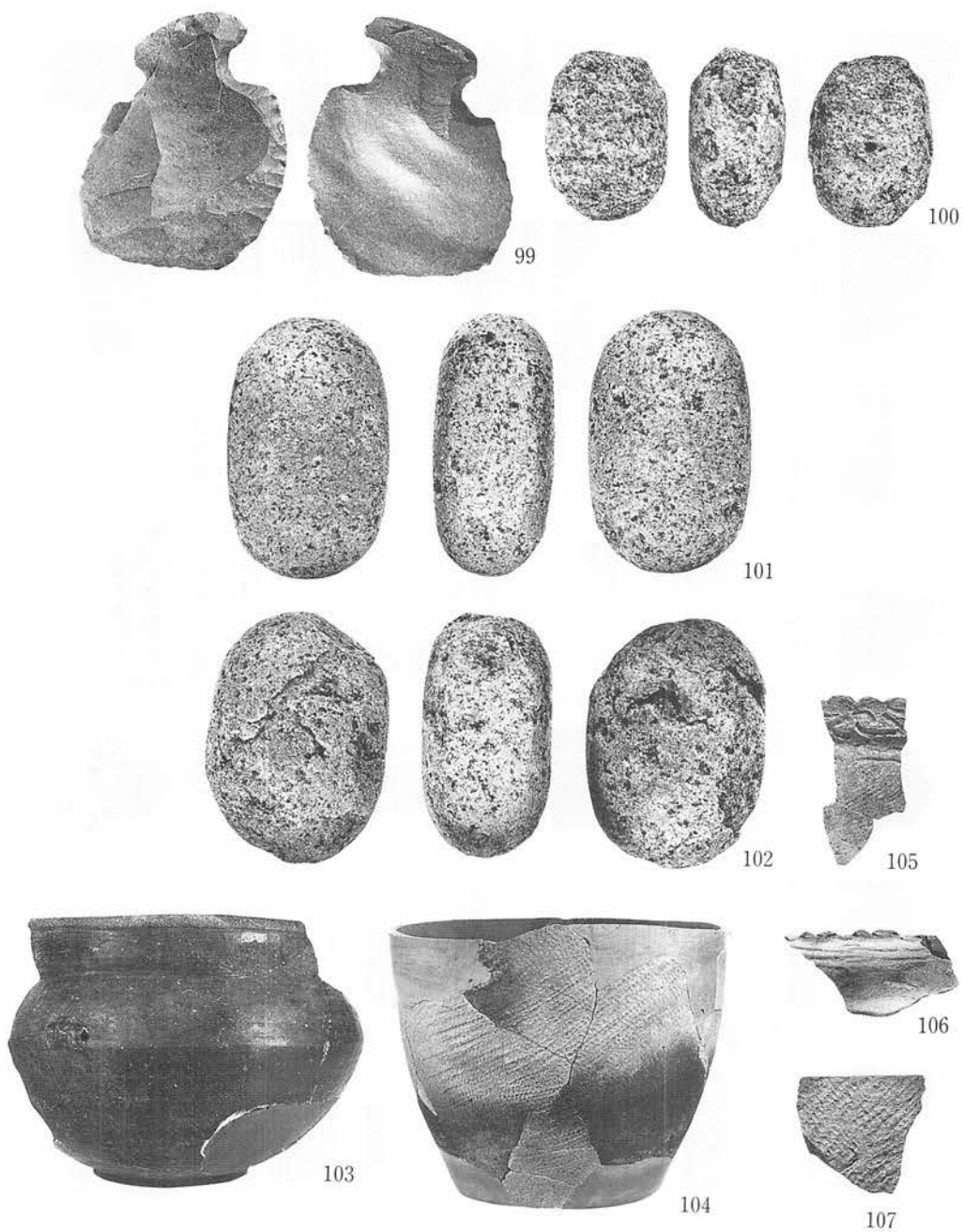
55



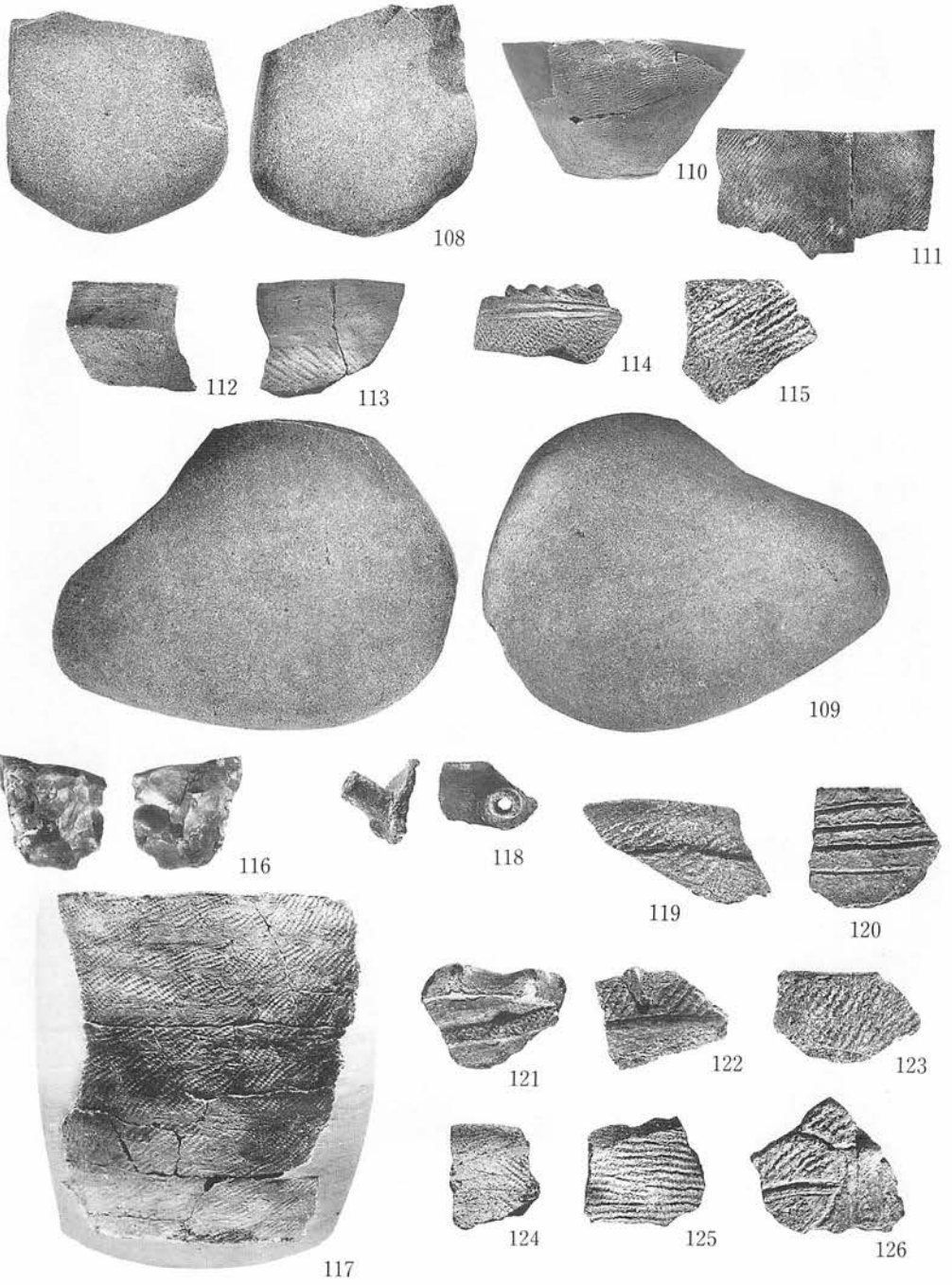
写真図版95 縄文第4号住居跡出土遺物(1)



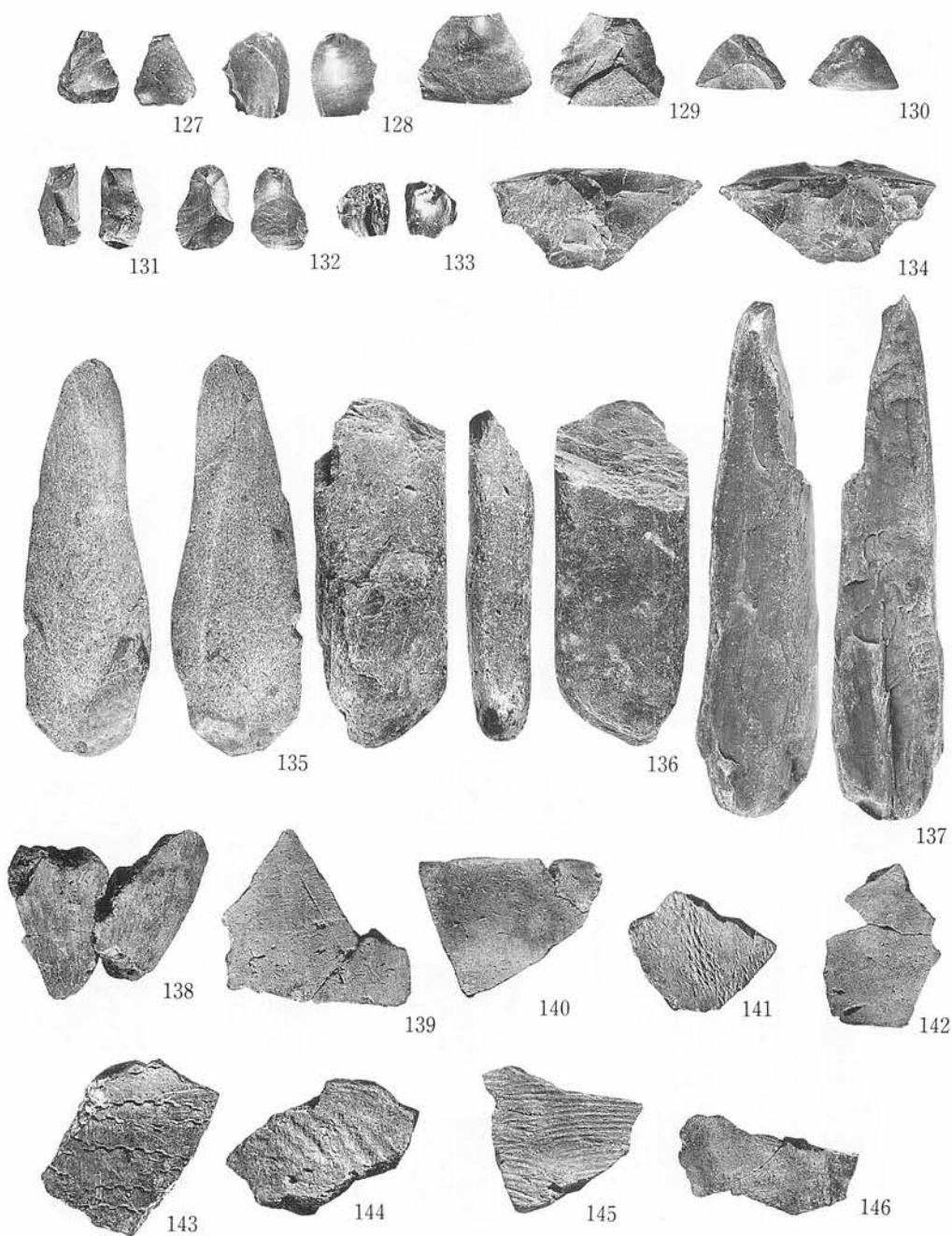
写真図版96 縄文第4号住居跡出土遺物(2)



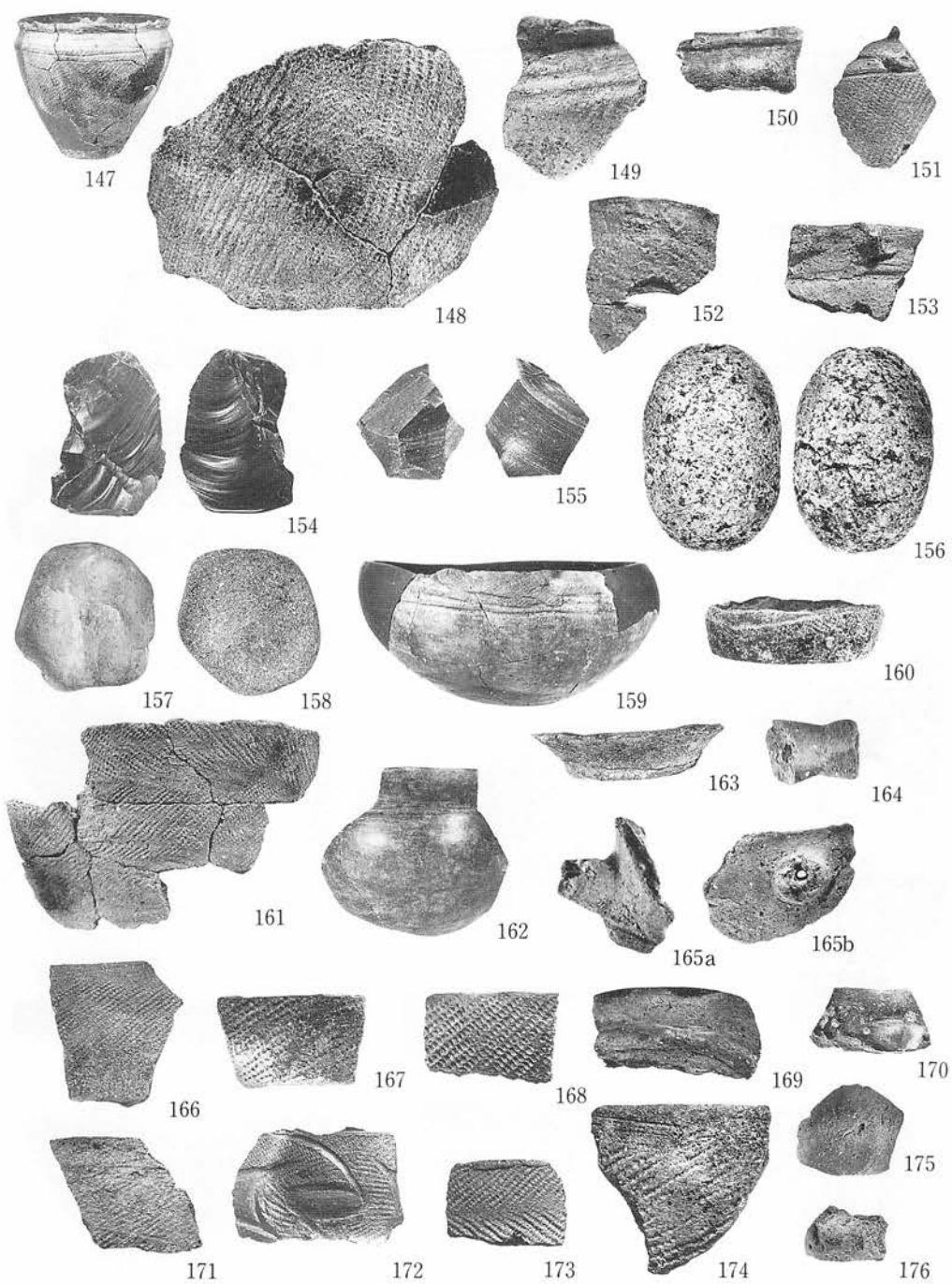
写真図版97 縄文第5号住居跡出土遺物



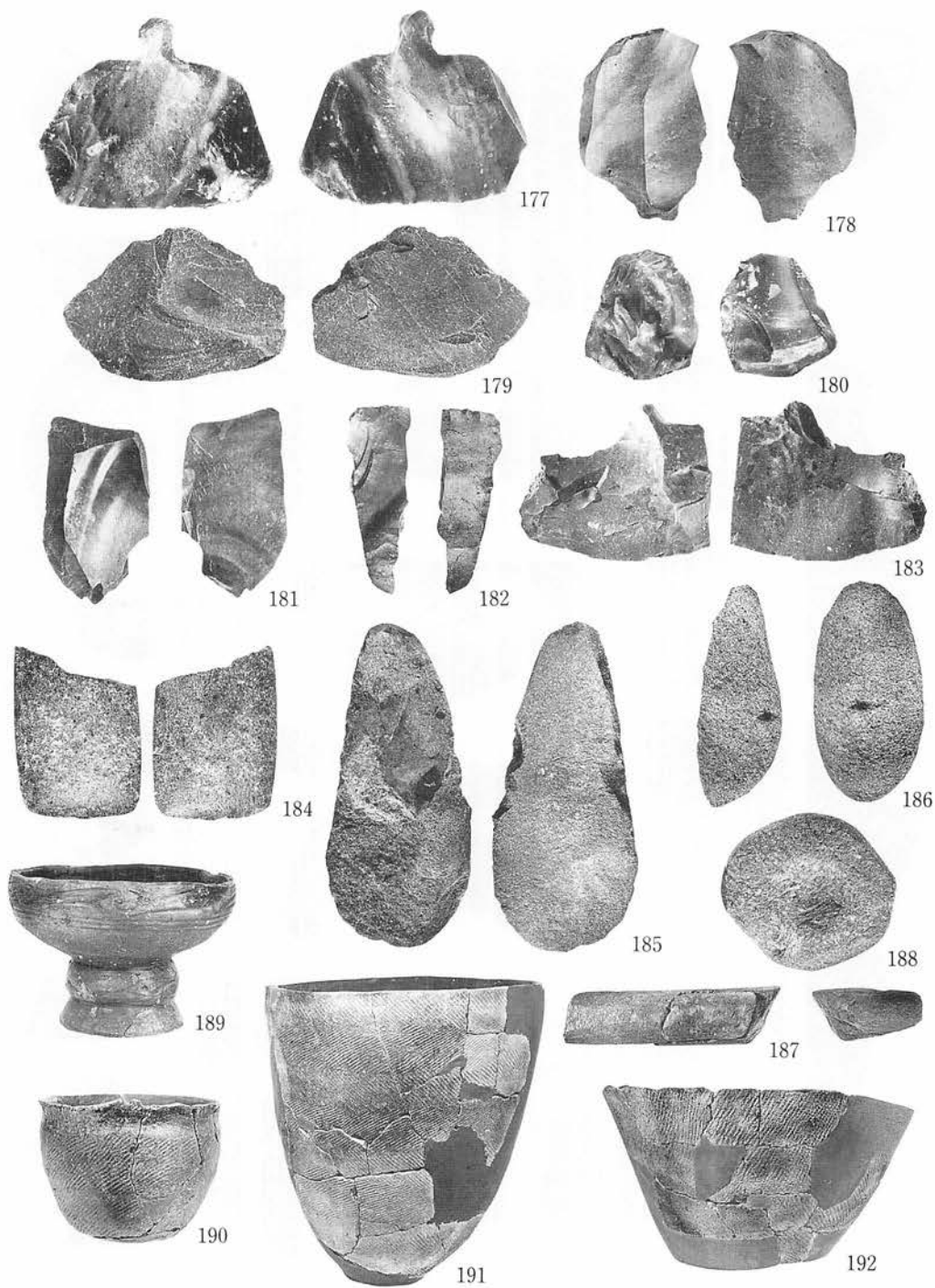
写真図版98 縄文第6号・7号住居跡出土遺物



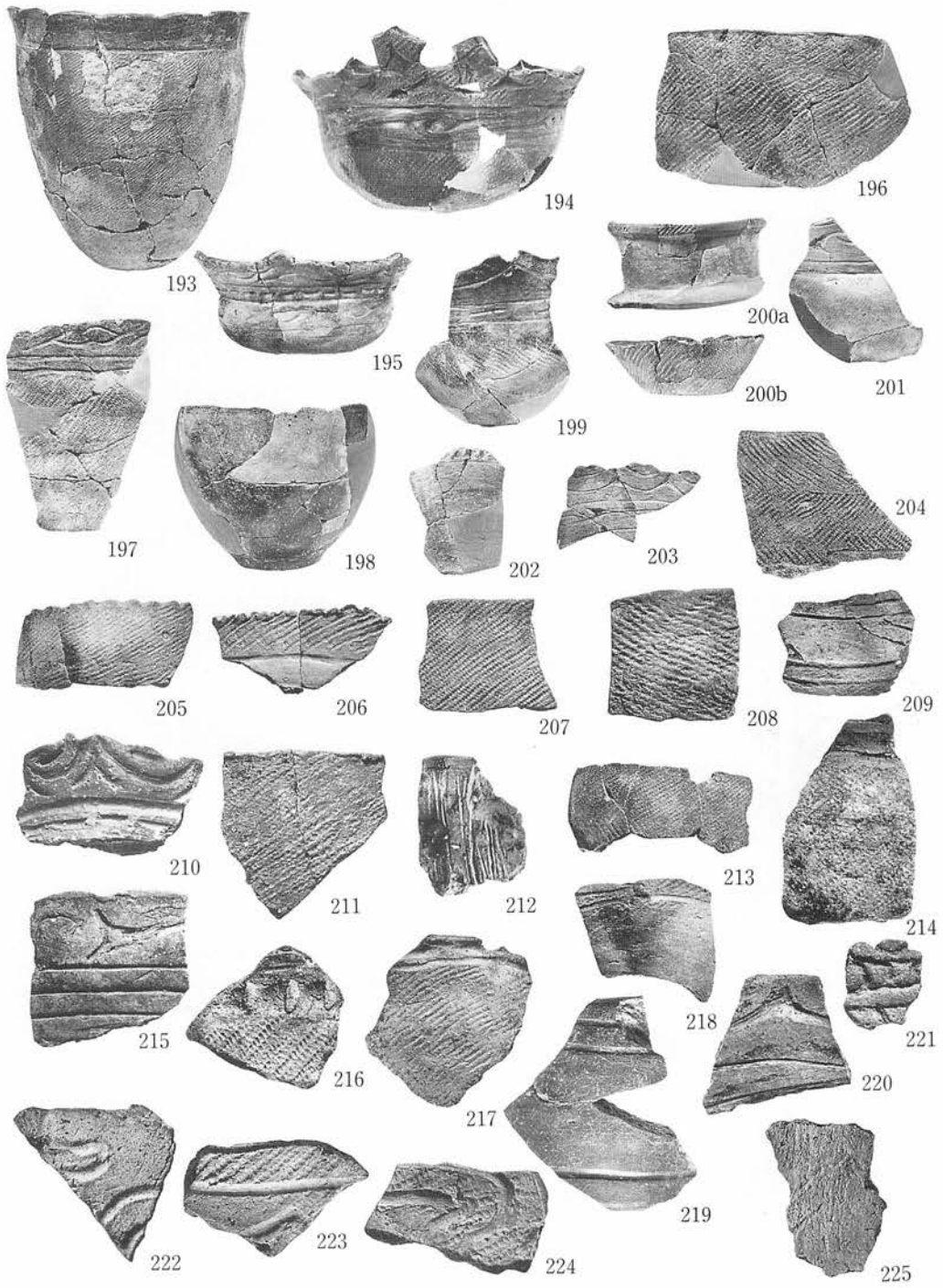
写真図版99 縄文第8号住居跡出土遺物



写真図版100 縄文第1号・2号竪穴状遺構出土遺物



写真図版101 縄文第3号竪穴状遺構出土遺物(1)



写真図版102 縄文第3号(2)・4号竪穴状遺構出土遺物



226



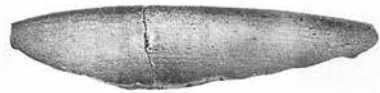
227 a



228 a



227 b



229



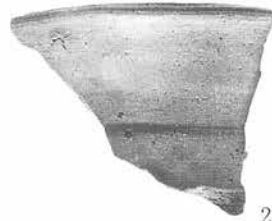
228 b



230



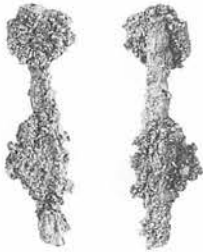
231



232



233

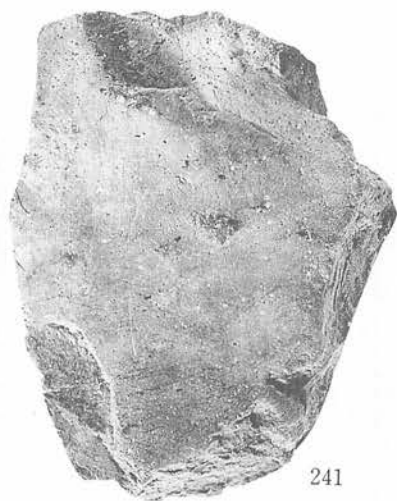


234



235

写真図版104 古代第2号住居跡出土遺物



241



242



236



237



238



239



240

写真図版105 古代第3号住居跡出土遺物



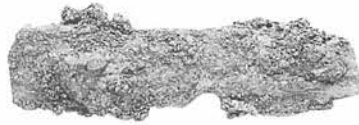
243



244 a



244 b



245



246



247

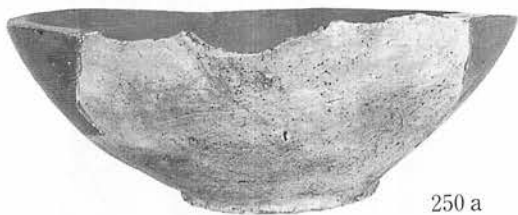


248



249





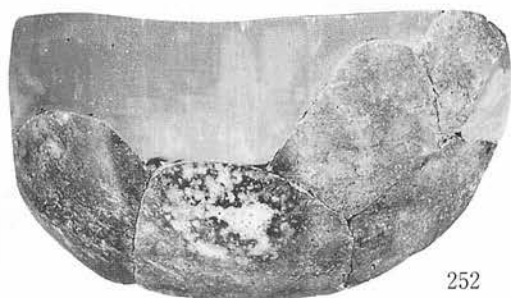
250 a



251



250 b



252



253



254



255



海水産貝殻



256



257



258



259



260

写真図版108 古代第7号住居跡出土遺物(1)



261



262

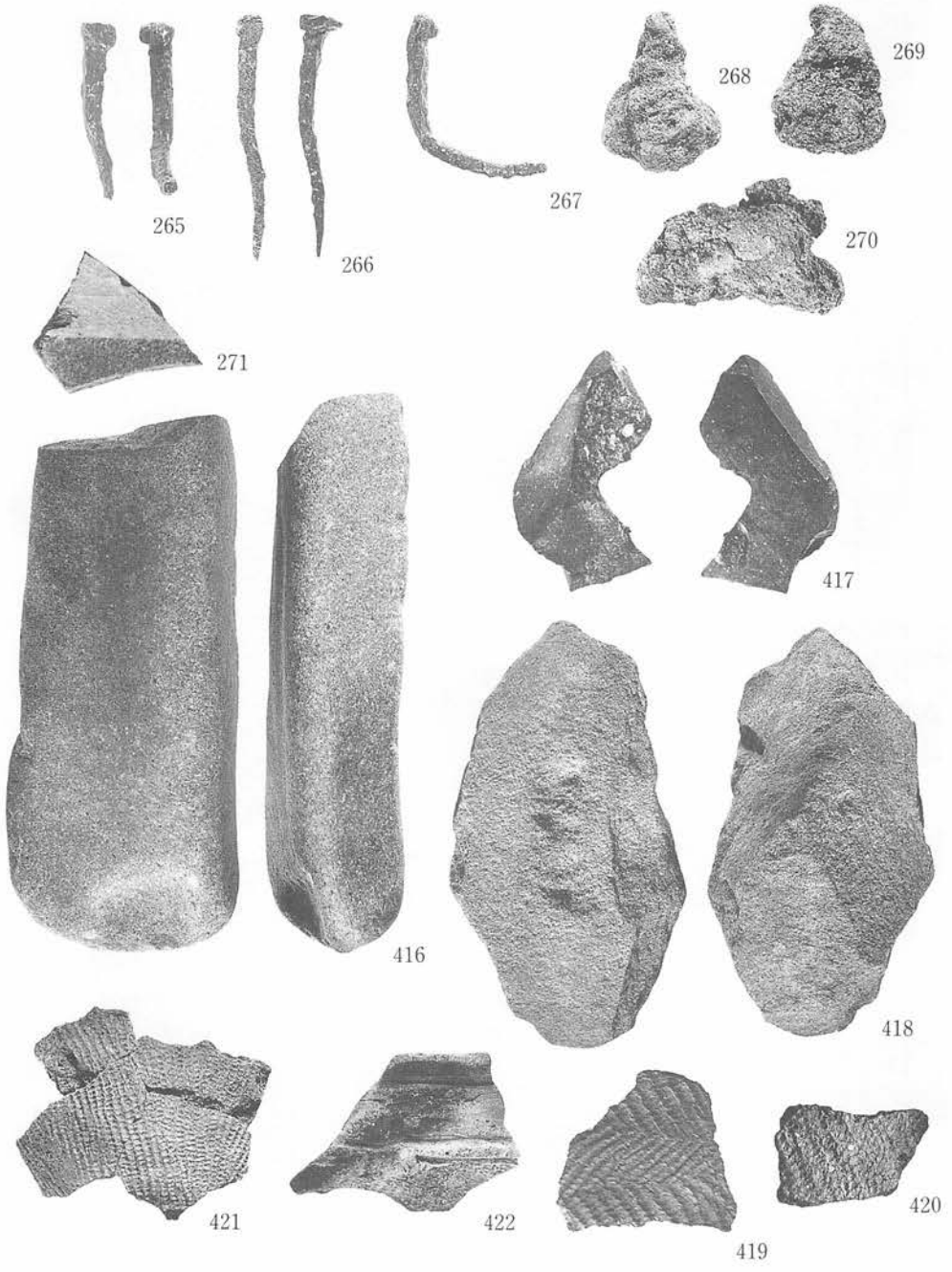


263

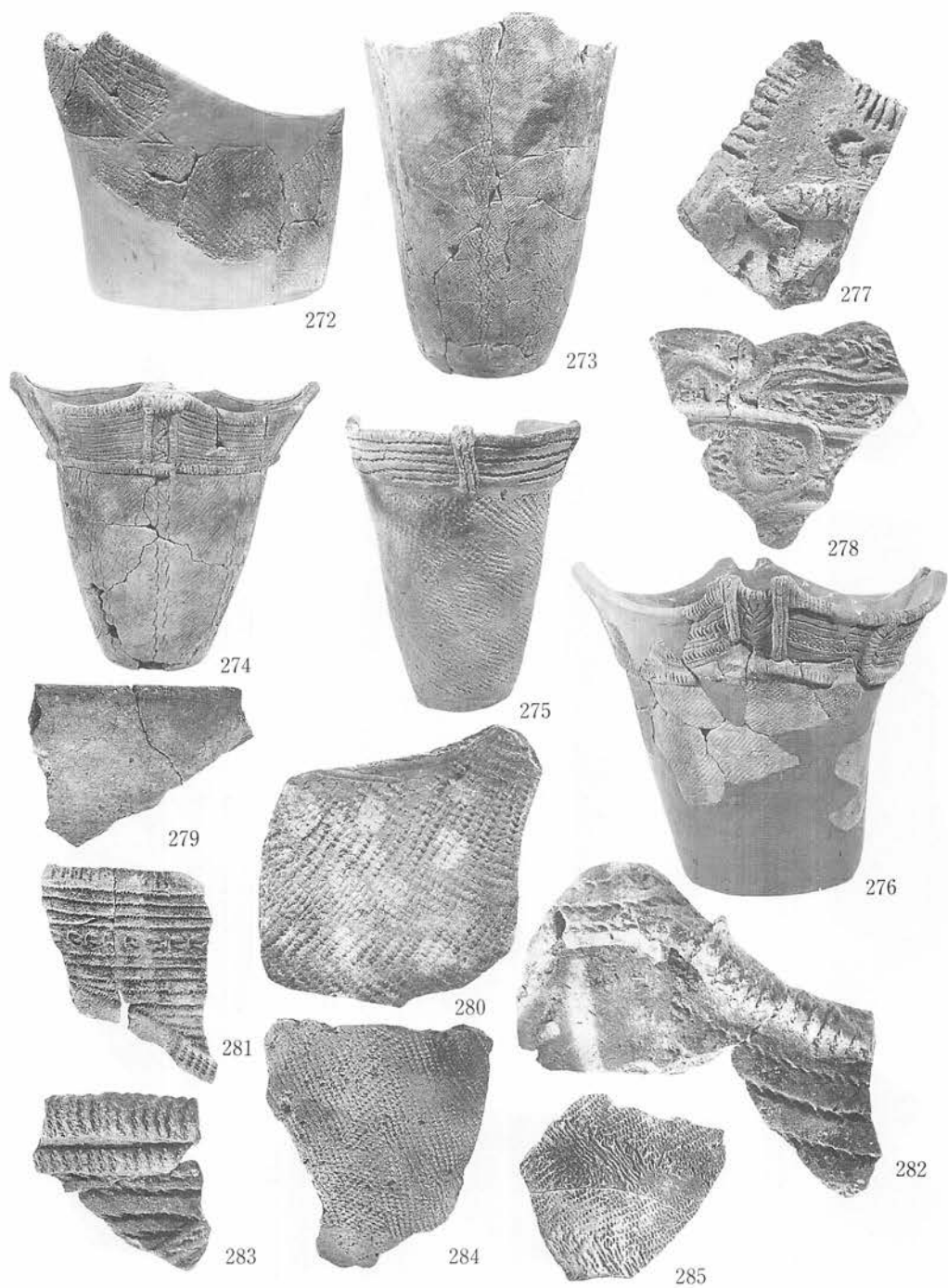


264

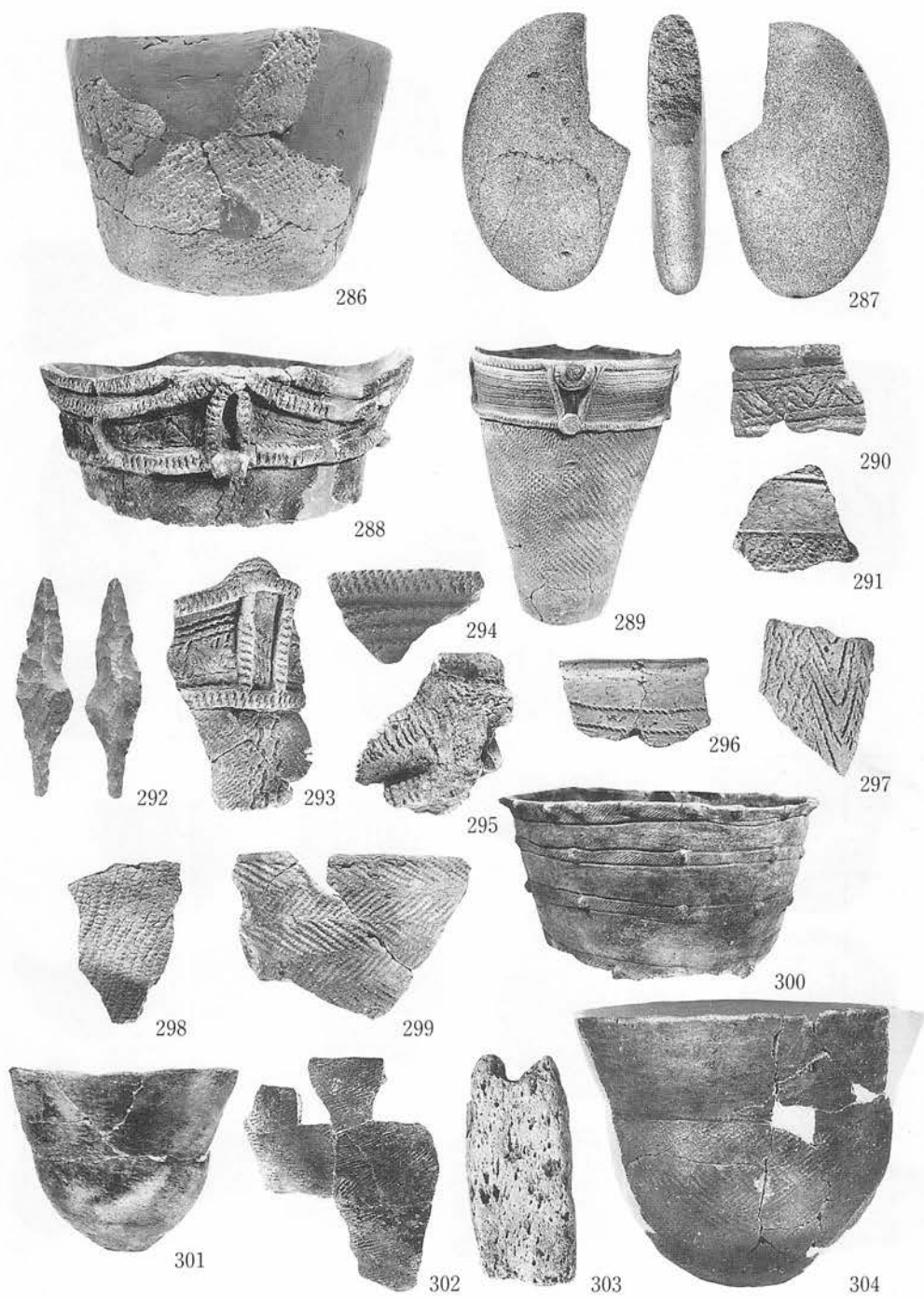
写真図版109 古代第7号住居跡出土遺物(2)



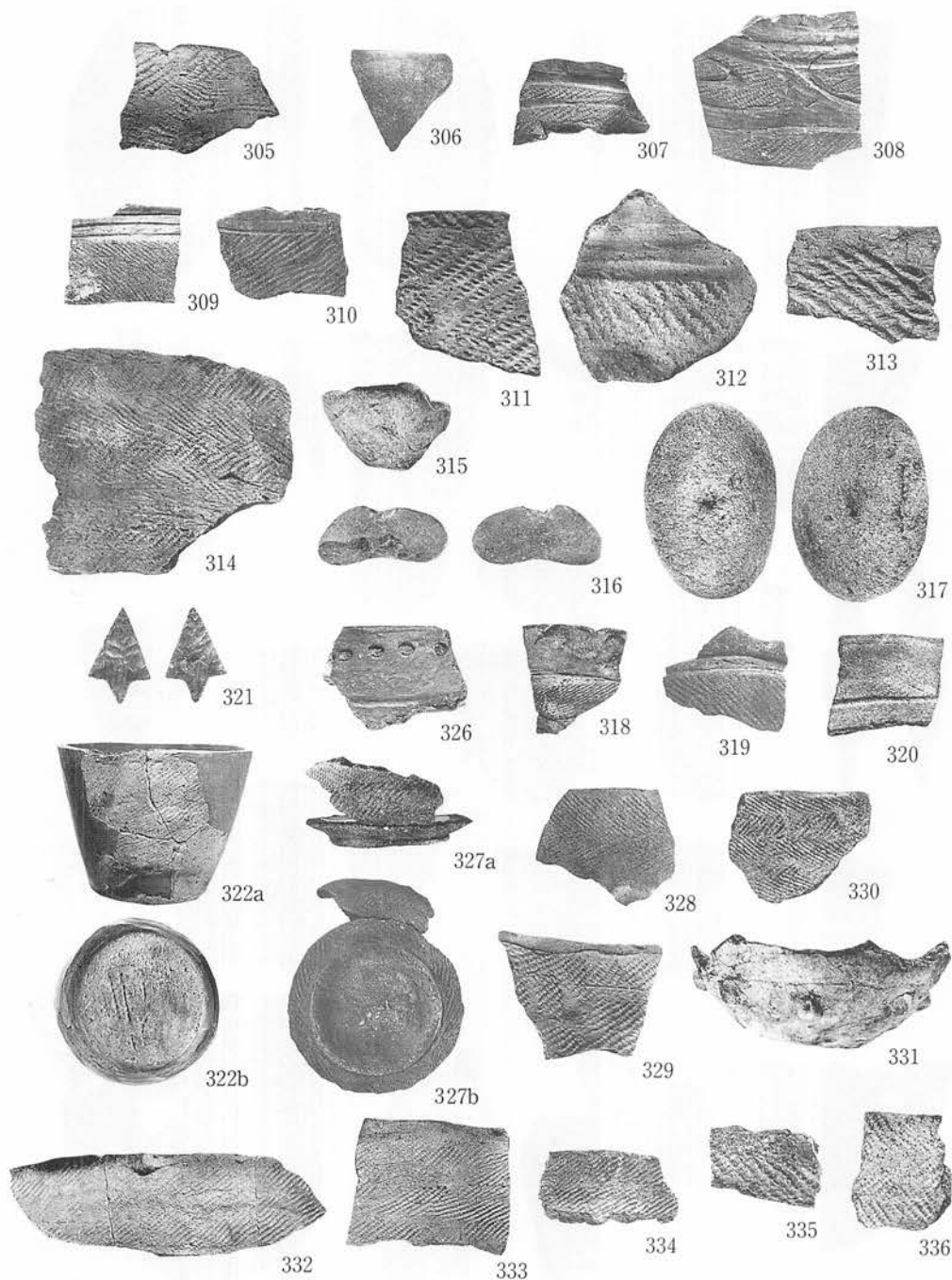
写真図版110 中世住居跡・縄文時代炉跡出土遺物



写真図版111 土坑内出土遺物(1)

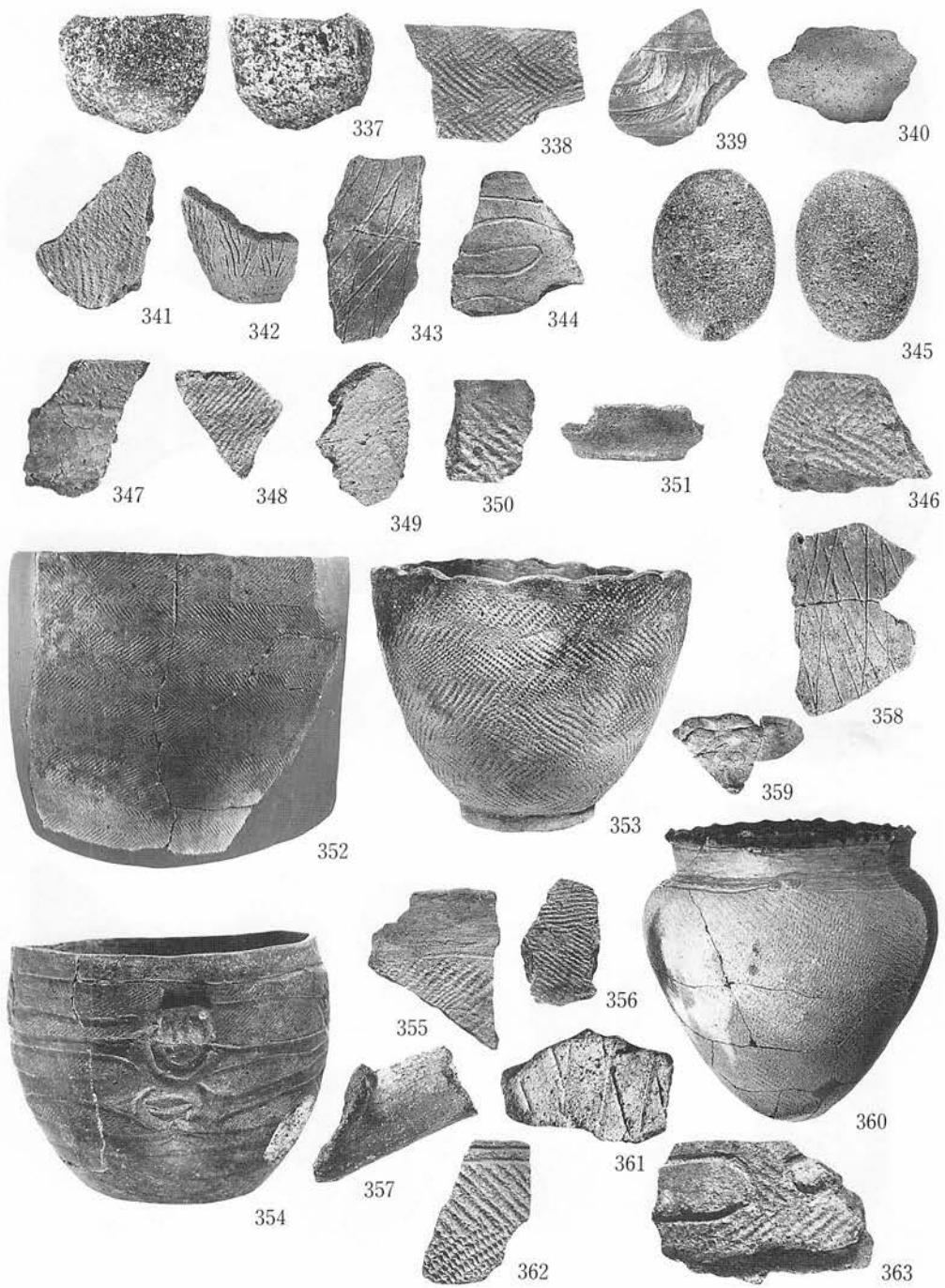


写真図版112 土坑内出土遺物(2)

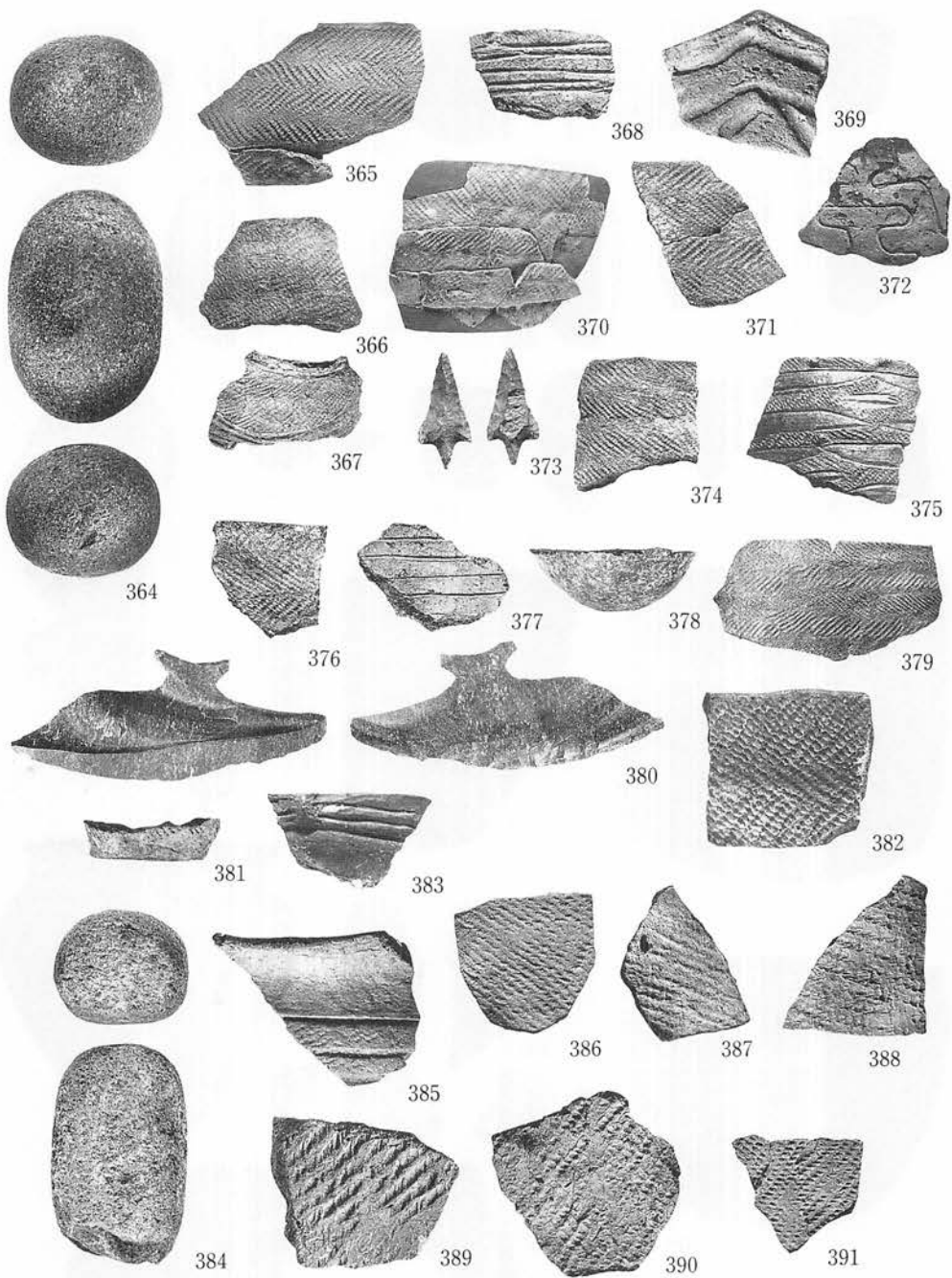


323~325は欠番

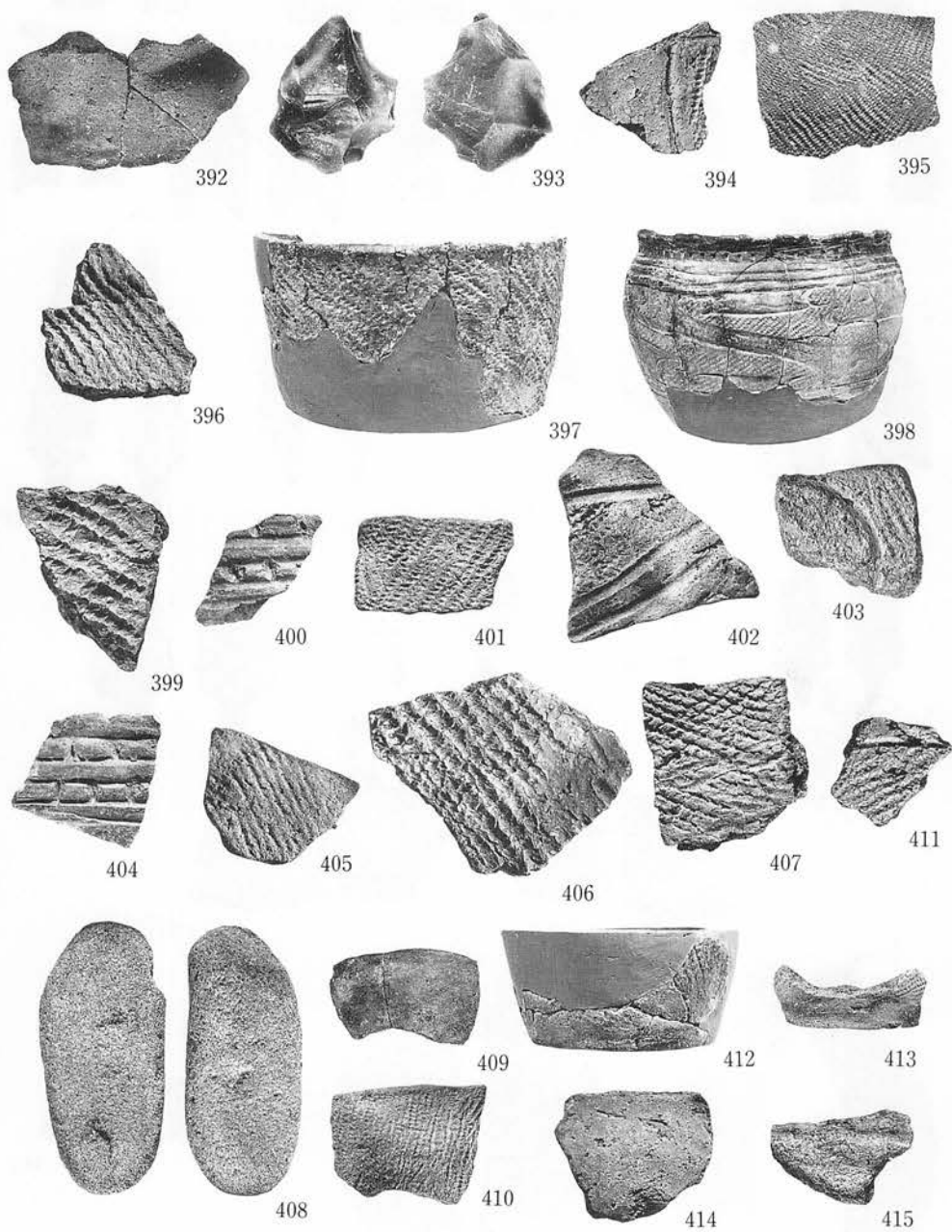
写真図版113 土坑内出土遺物(3)



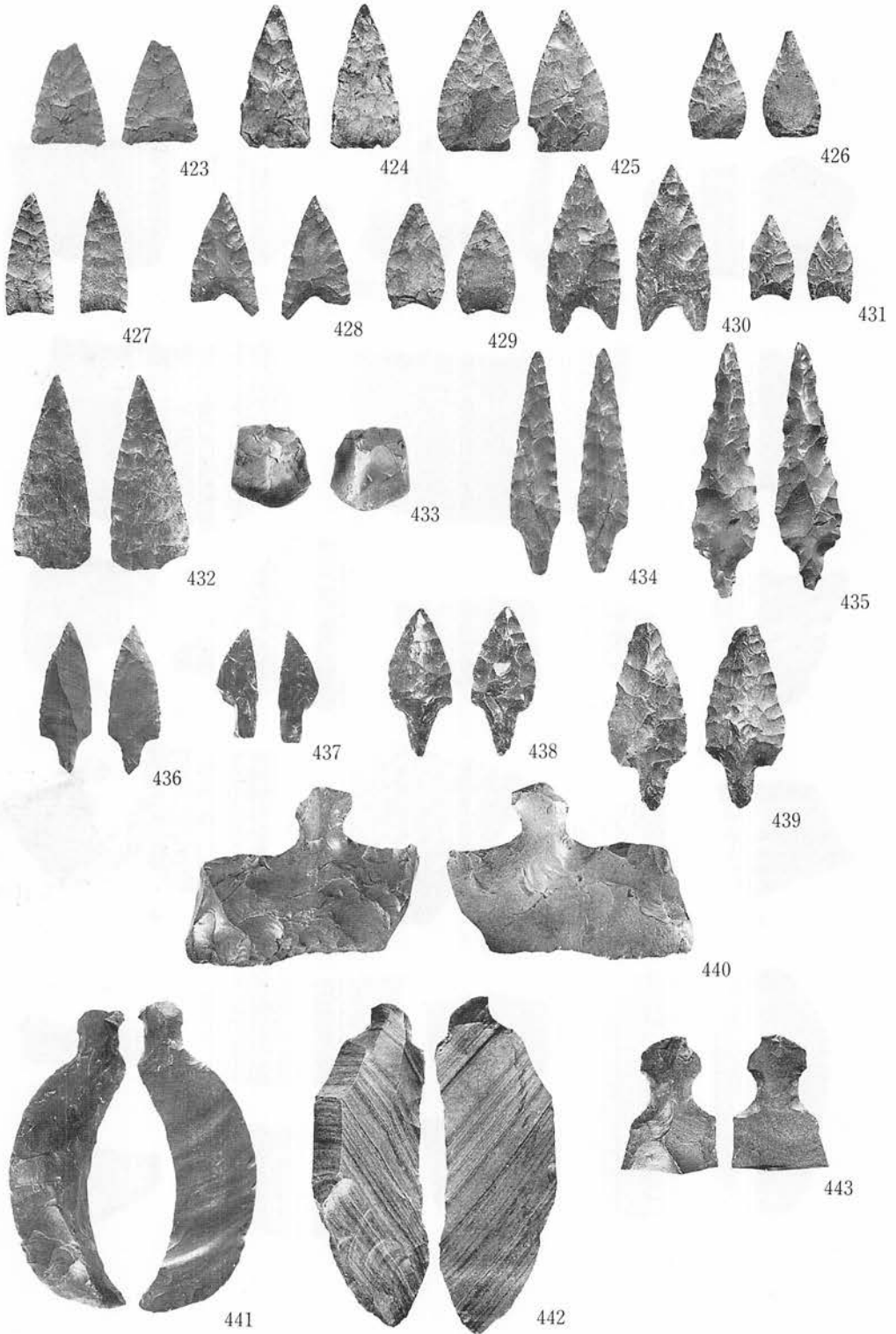
写真図版114 土坑内出土遺物(4)



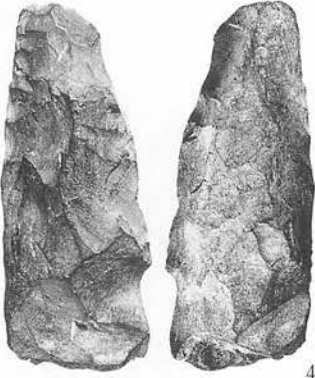
写真图版115 土坑内出土遺物(5)



写真図版116 土坑内出土遺物(6)



写真図版117 遺構外出土石器類(1)



444



445



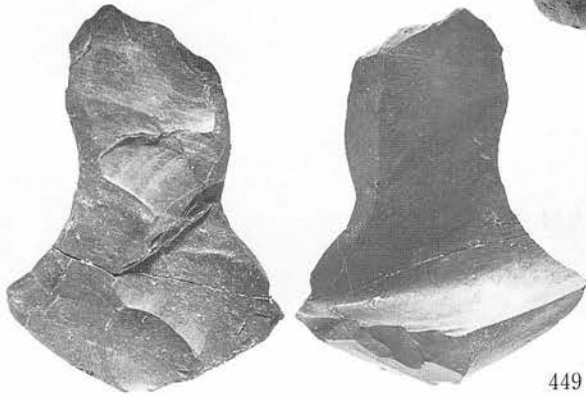
446



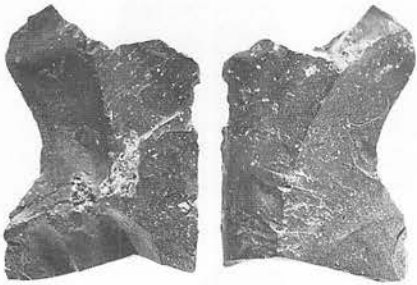
447



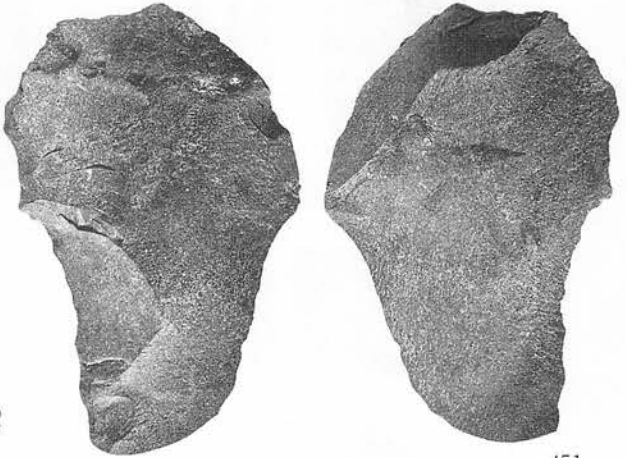
448



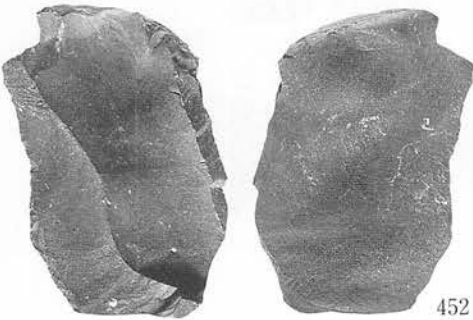
449



450



451

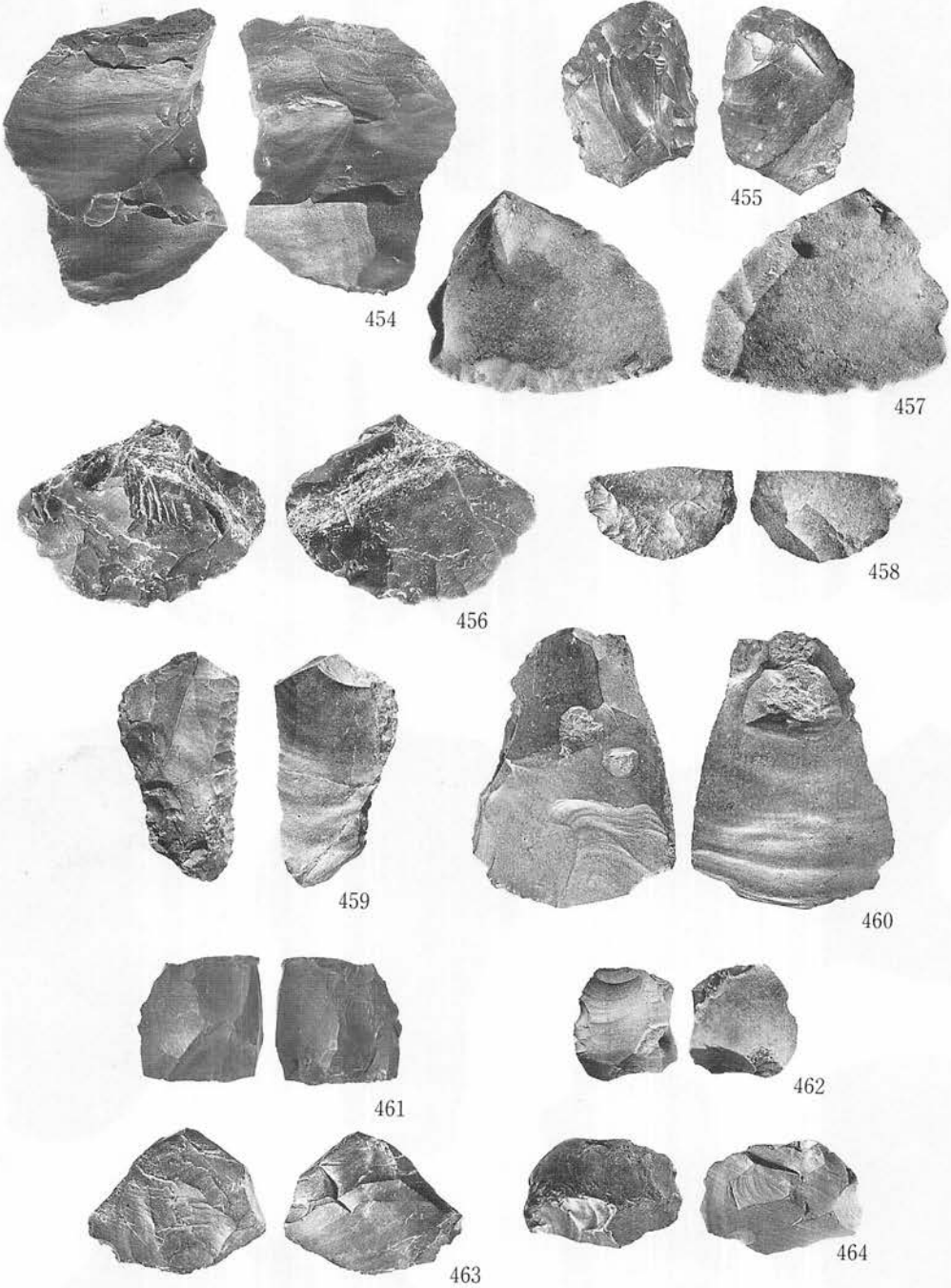


452

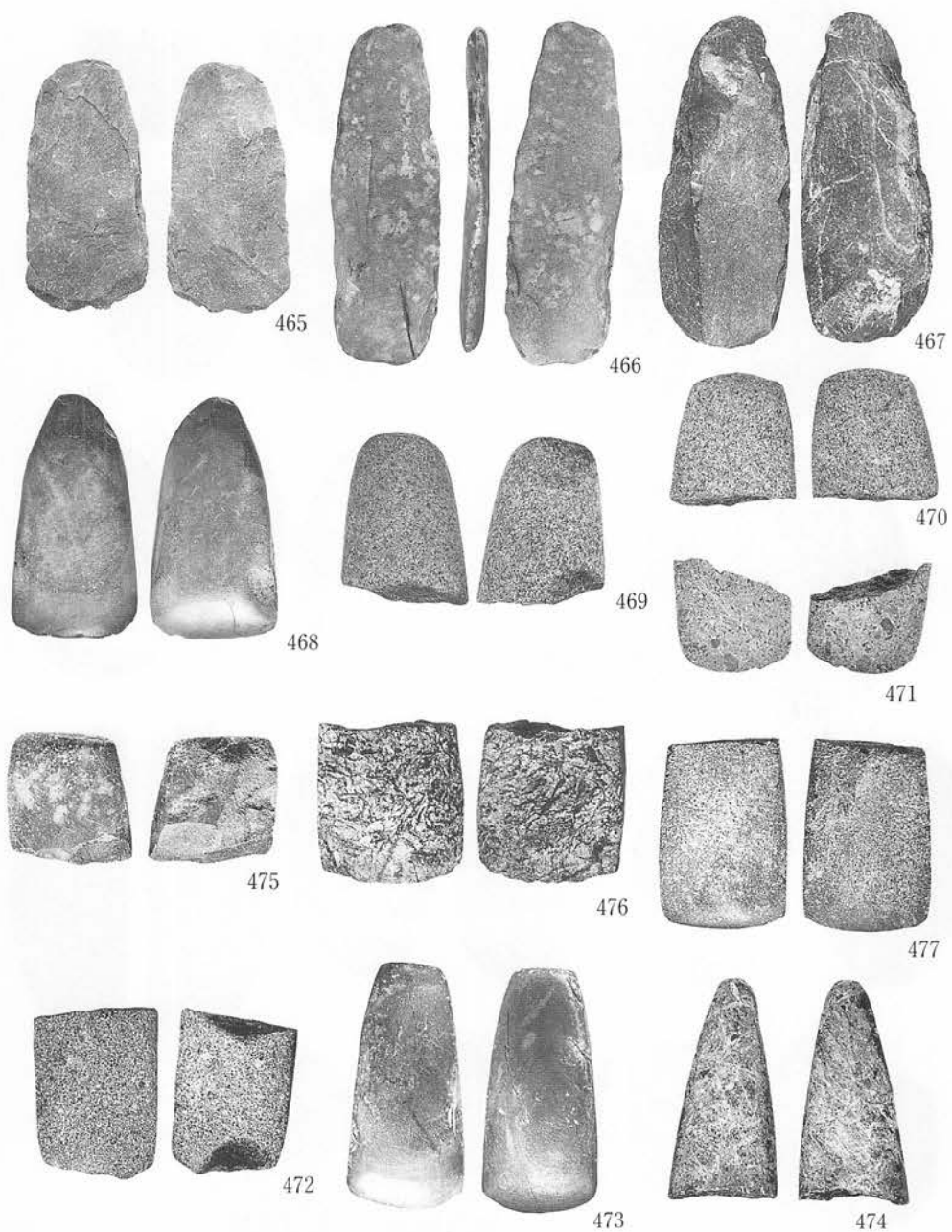


453

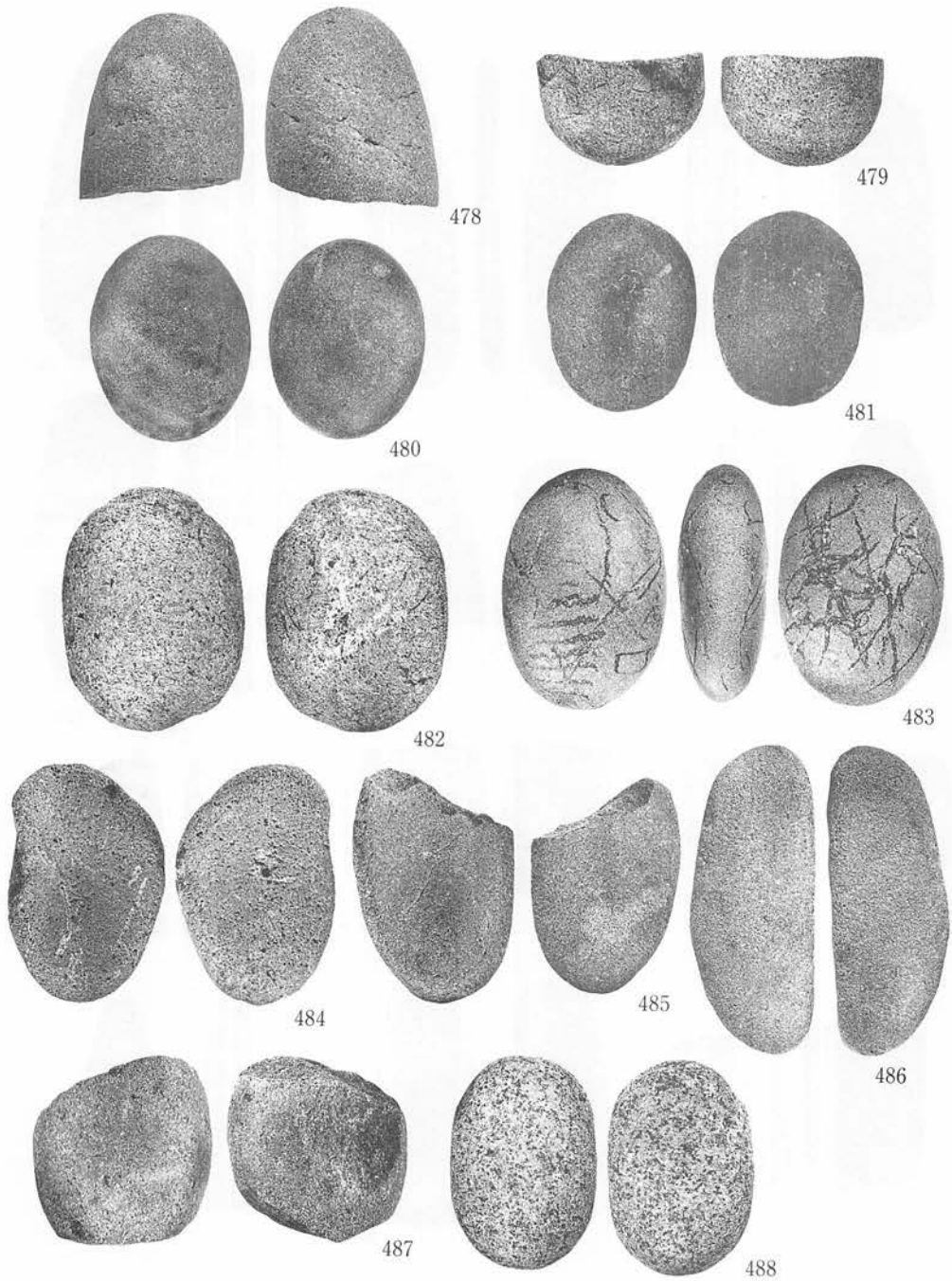
写真図版118 遺構外出土石器類(2)



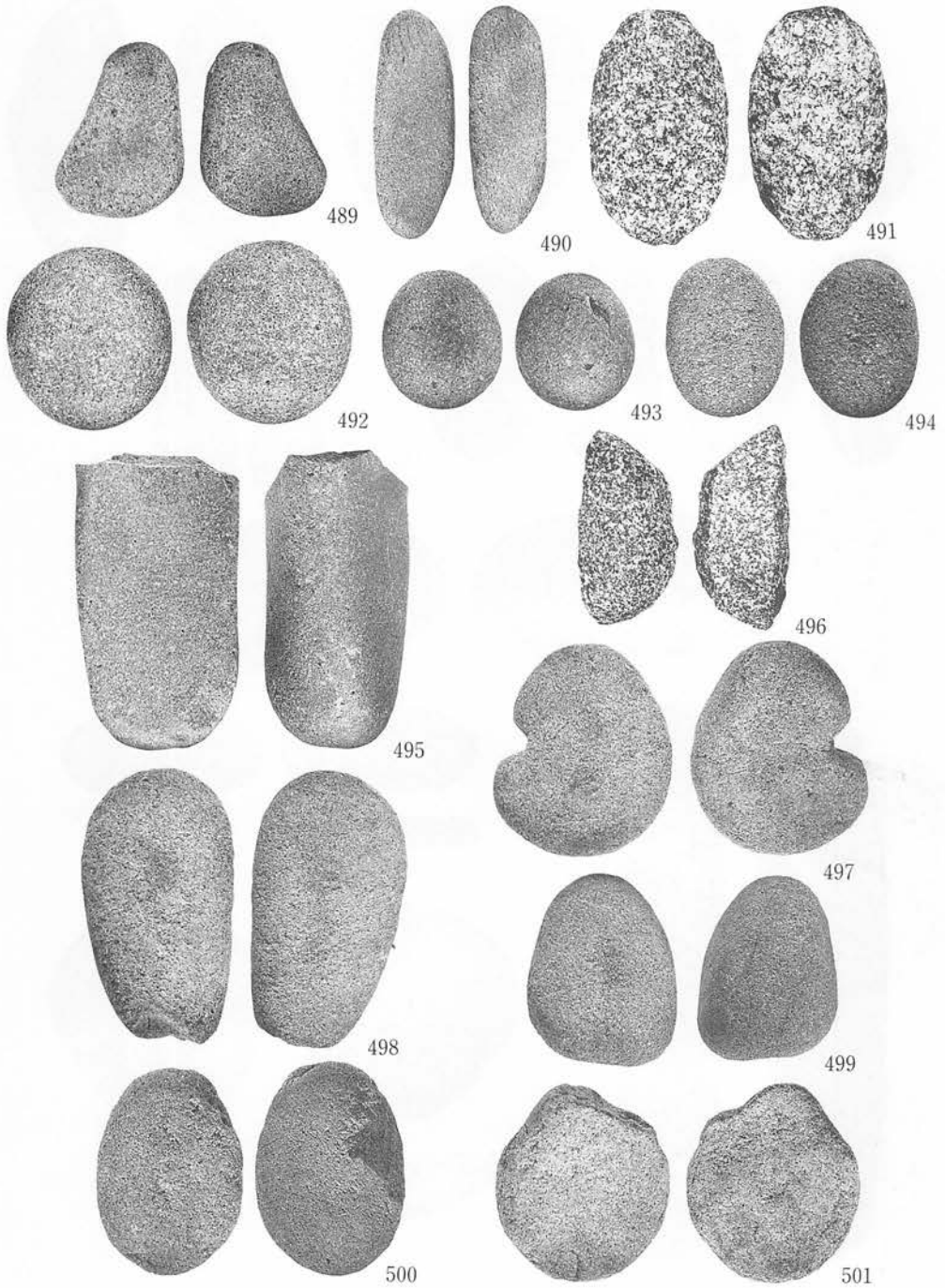
写真図版119 遺構外出土石器類(3)



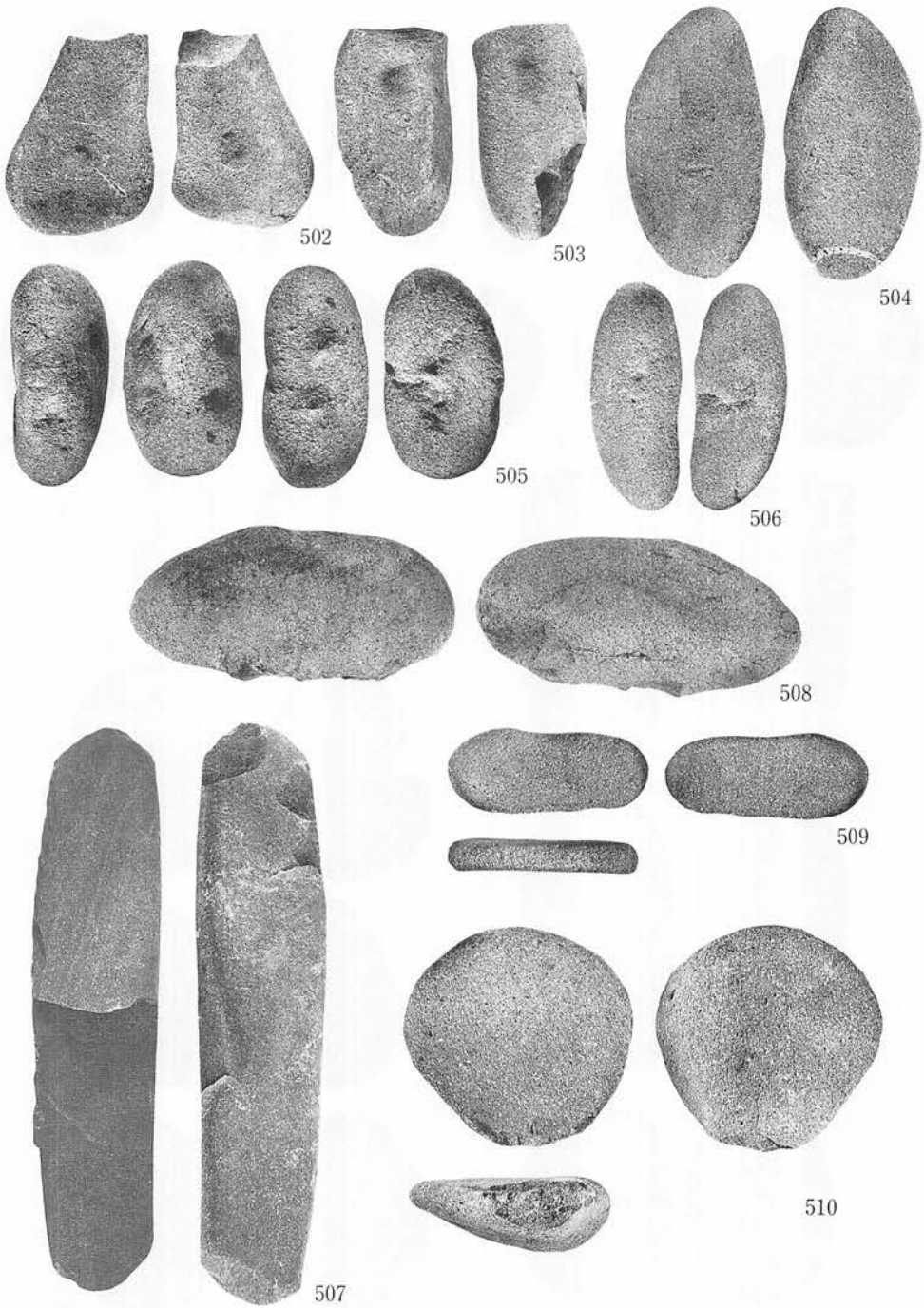
写真図版120 遺構外出土石器類(4)



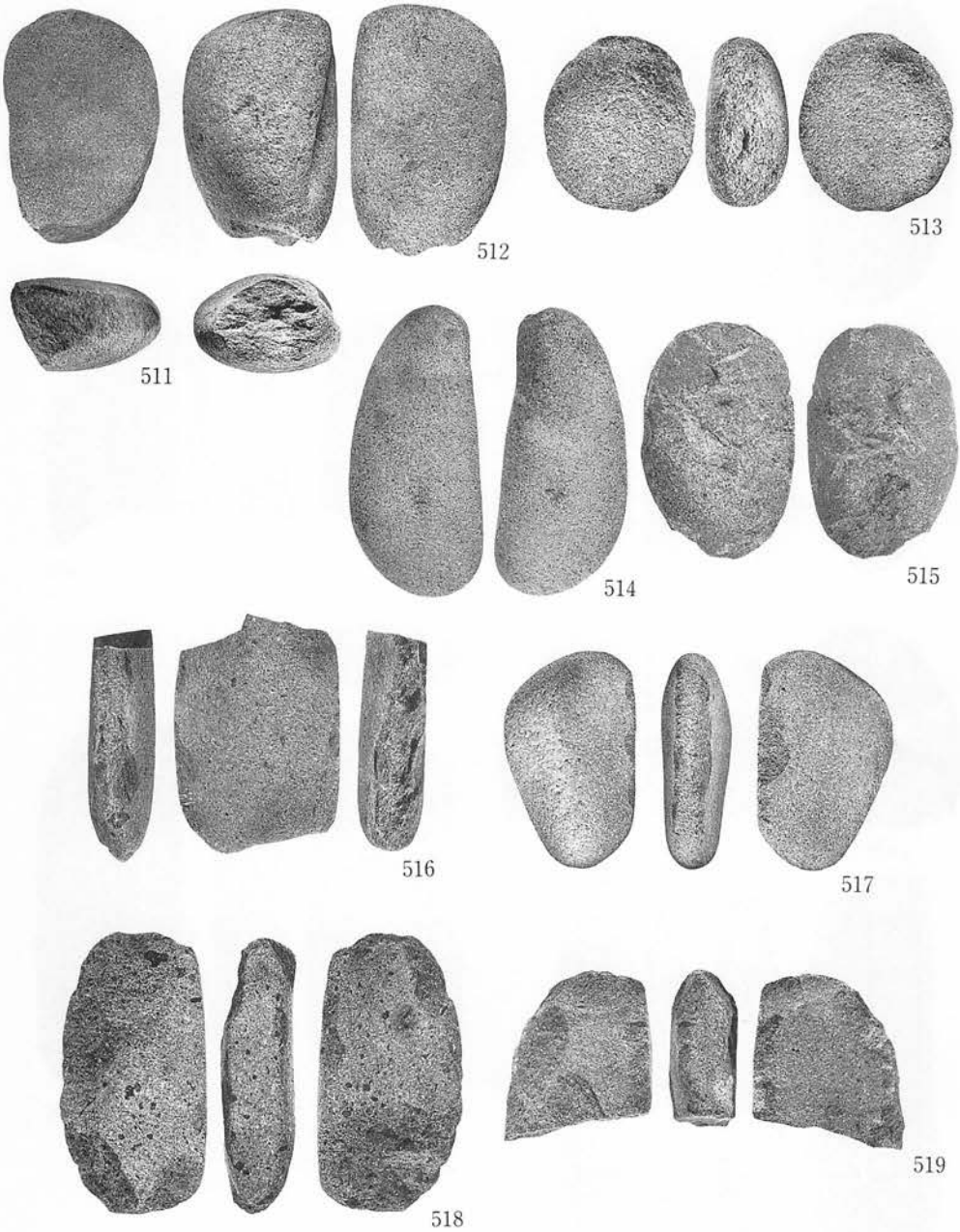
写真図版121 遺構外出土石器類(5)



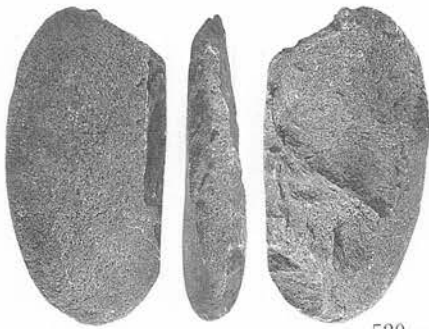
写真図版122 遺構外出土石器類(6)



写真図版123 遺構外出土石器類(7)



写真図版124 遺構外出土石器類(8)



520



521



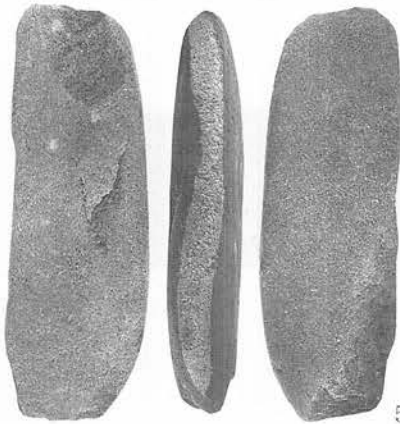
522



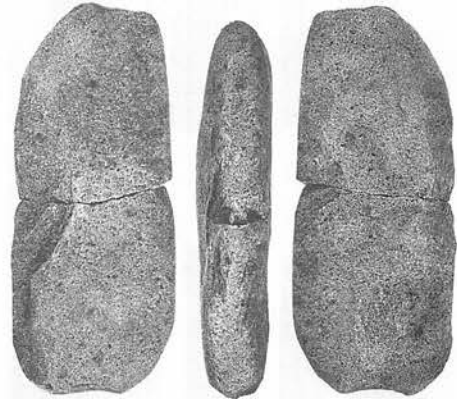
523



524



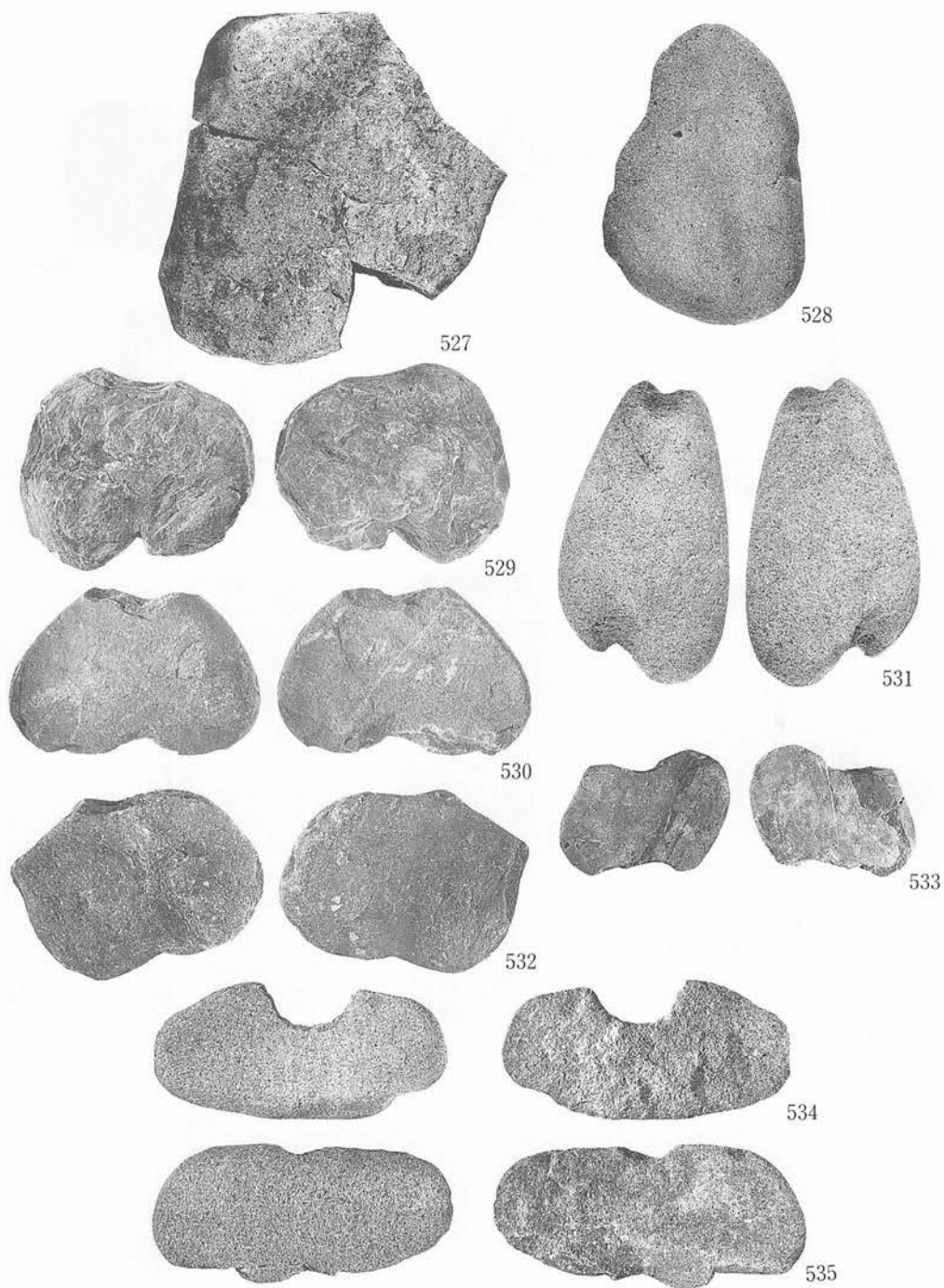
526



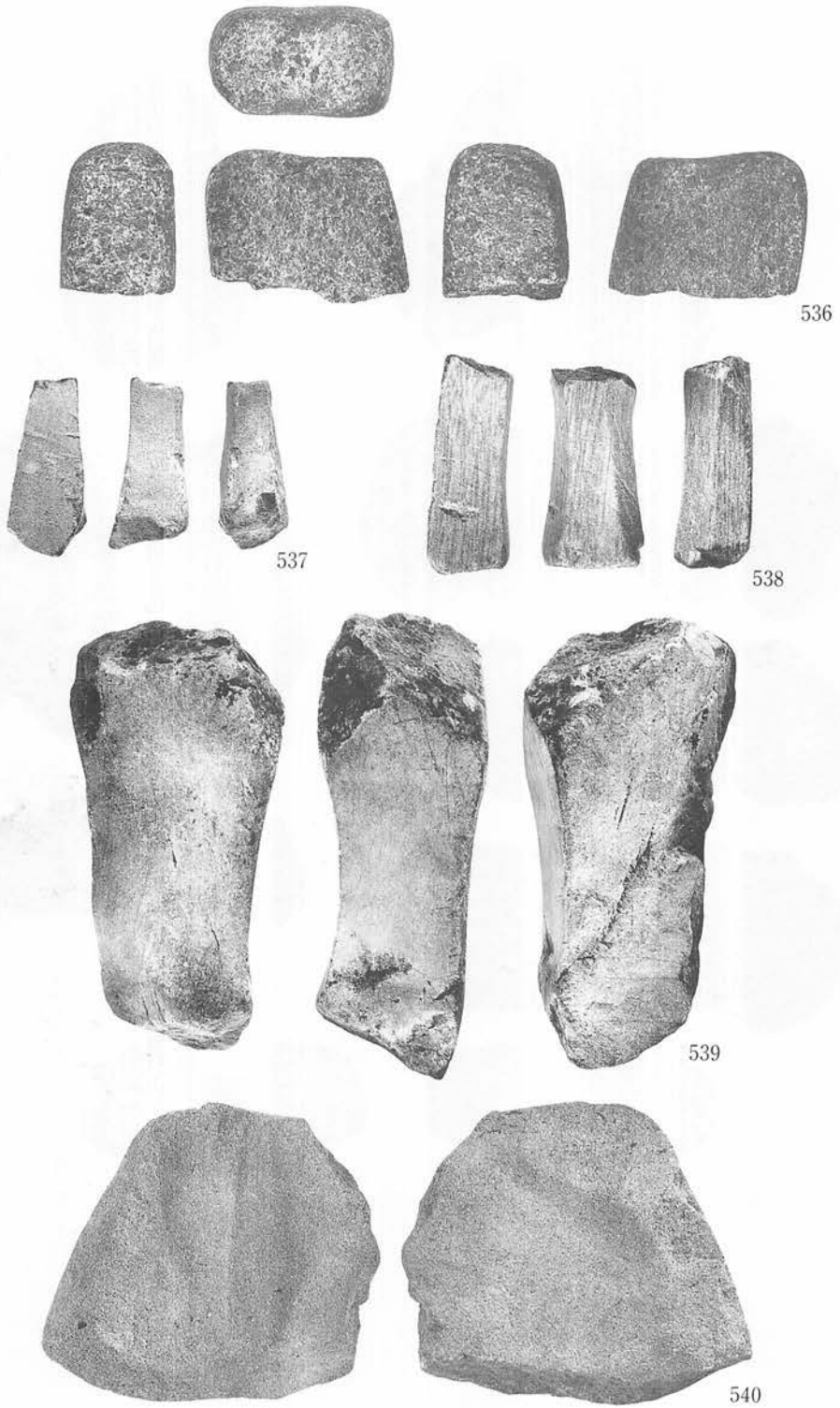
525



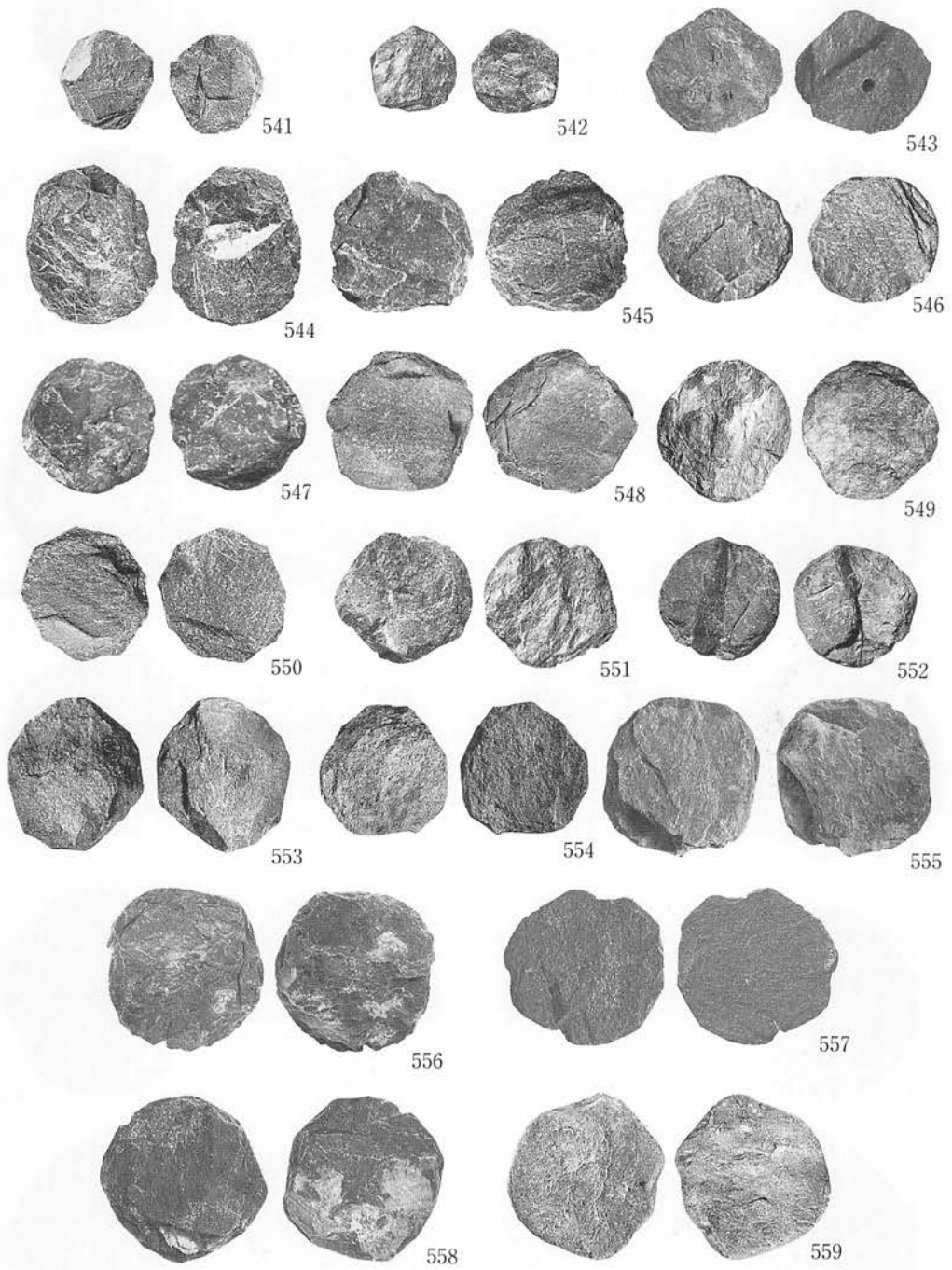
写真図版125 遺構外出土石器類(9)



写真図版126 遺構外出土石器類(10)



写真図版127 遺構外出土石器類(1)



写真図版128 遺構外出土石器類(12)



560



561



562



563



564



565



566



567



568



569



570



571



写真図版129 遺構外出土石器類(13)



572



573



574



575



576



577



578



579



580



581



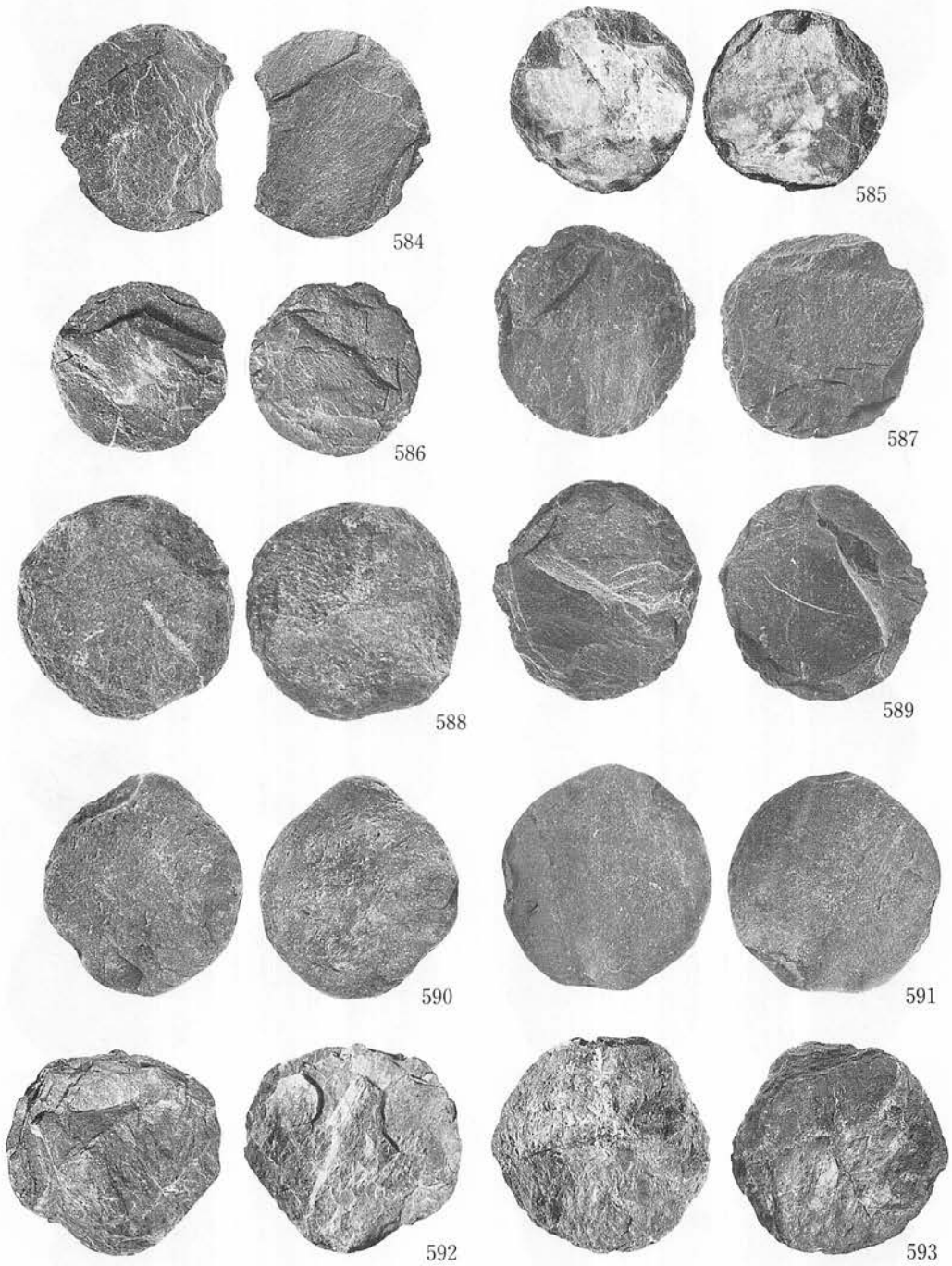
582



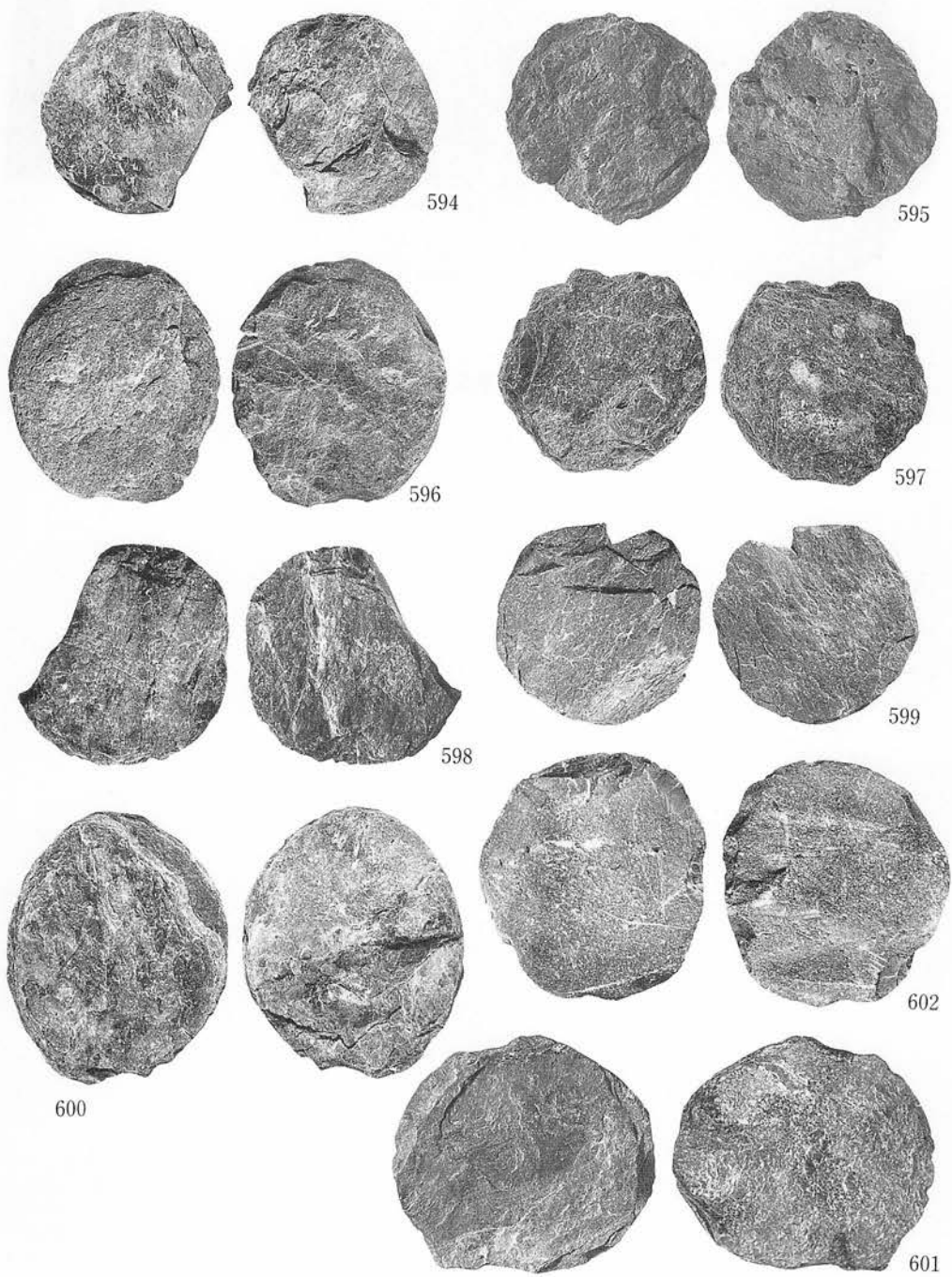
583



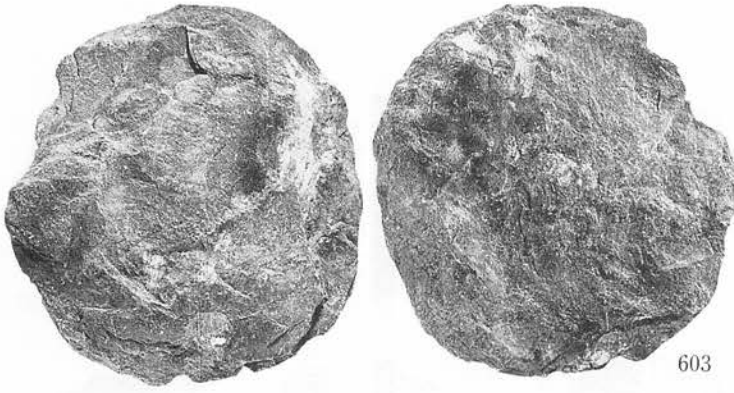
写真図版130 遺構外出土石器類(14)



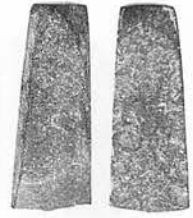
写真図版131 遺構外出土石器類(15)



写真図版132 遺構外出土石器類(16)

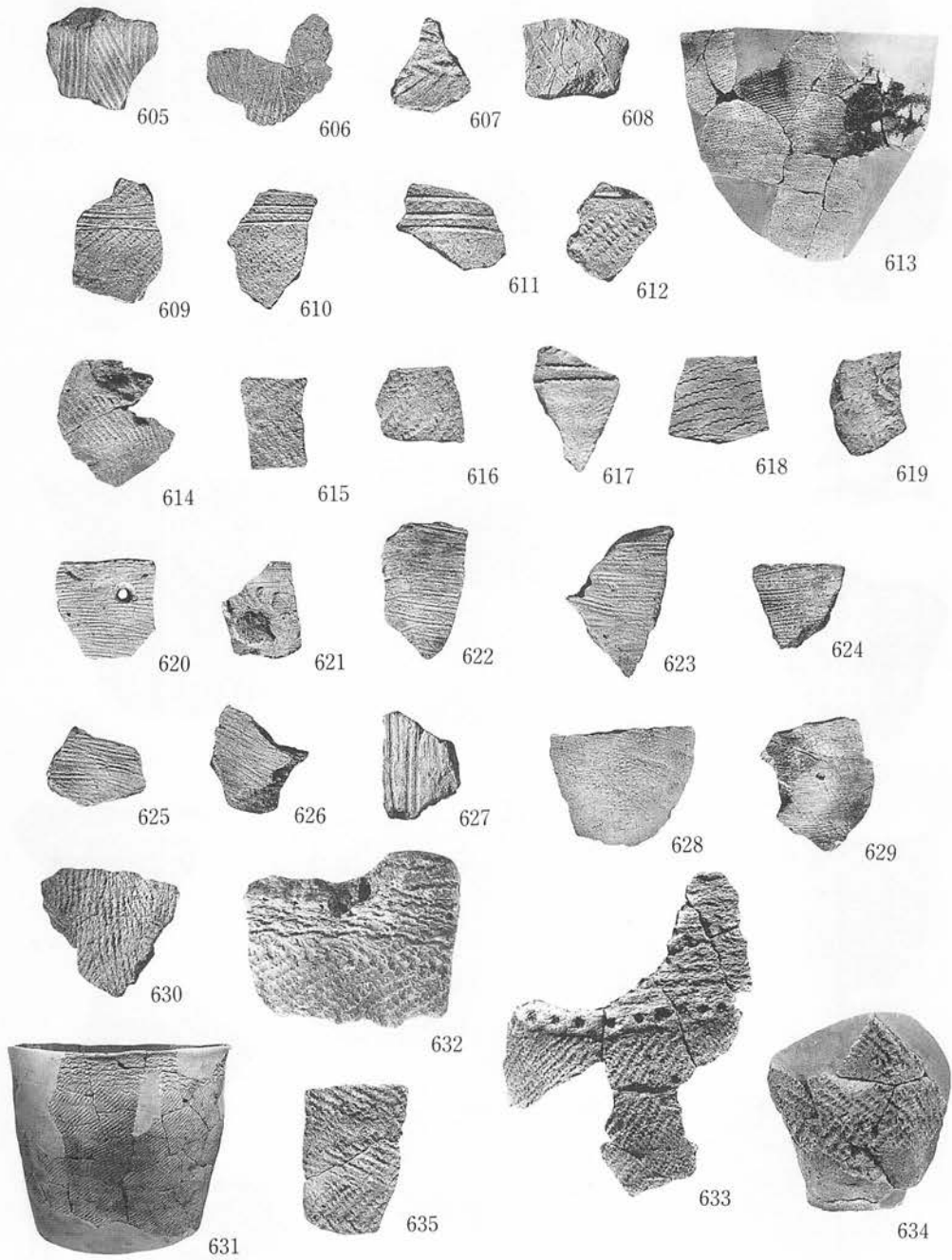


603

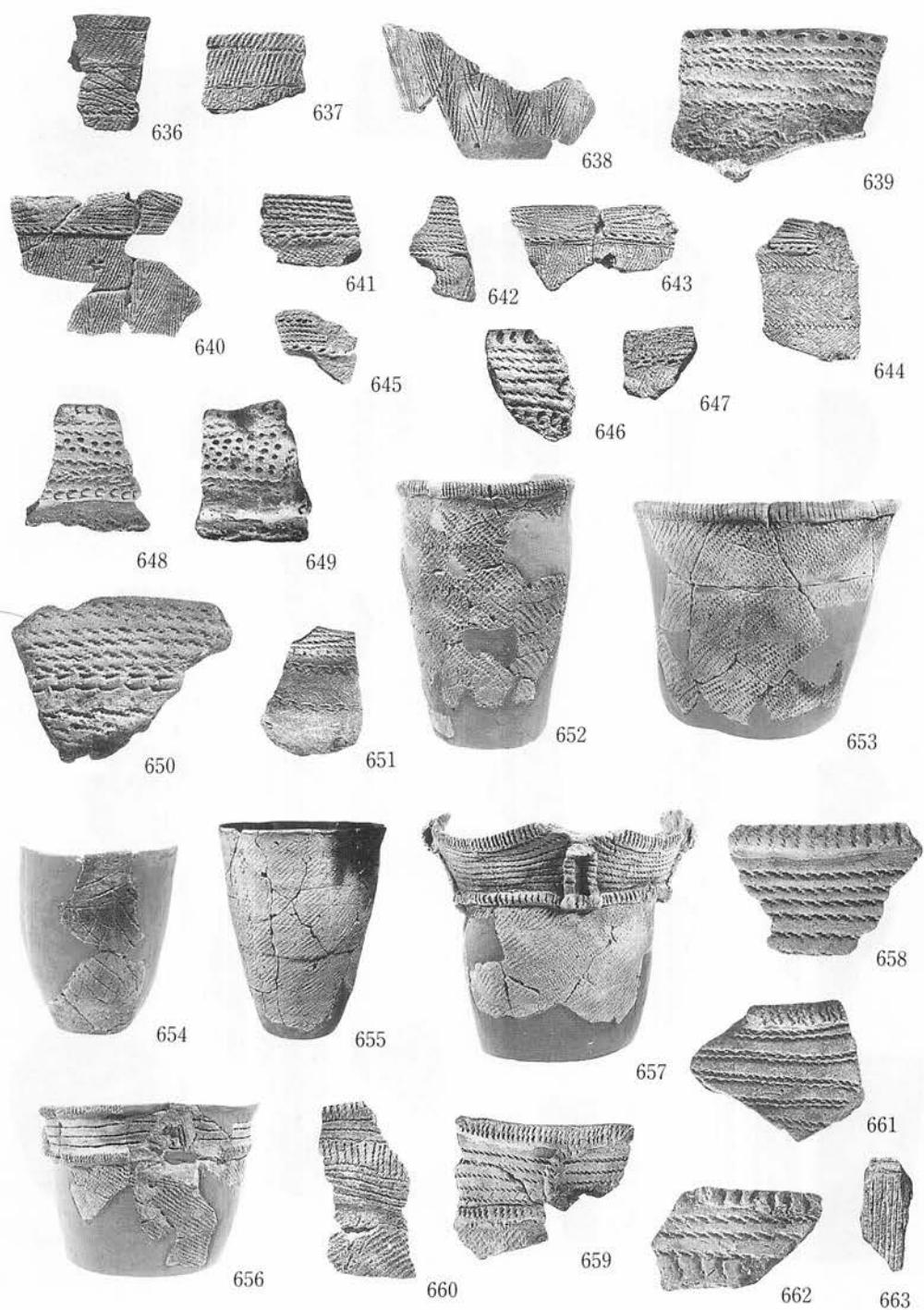


604

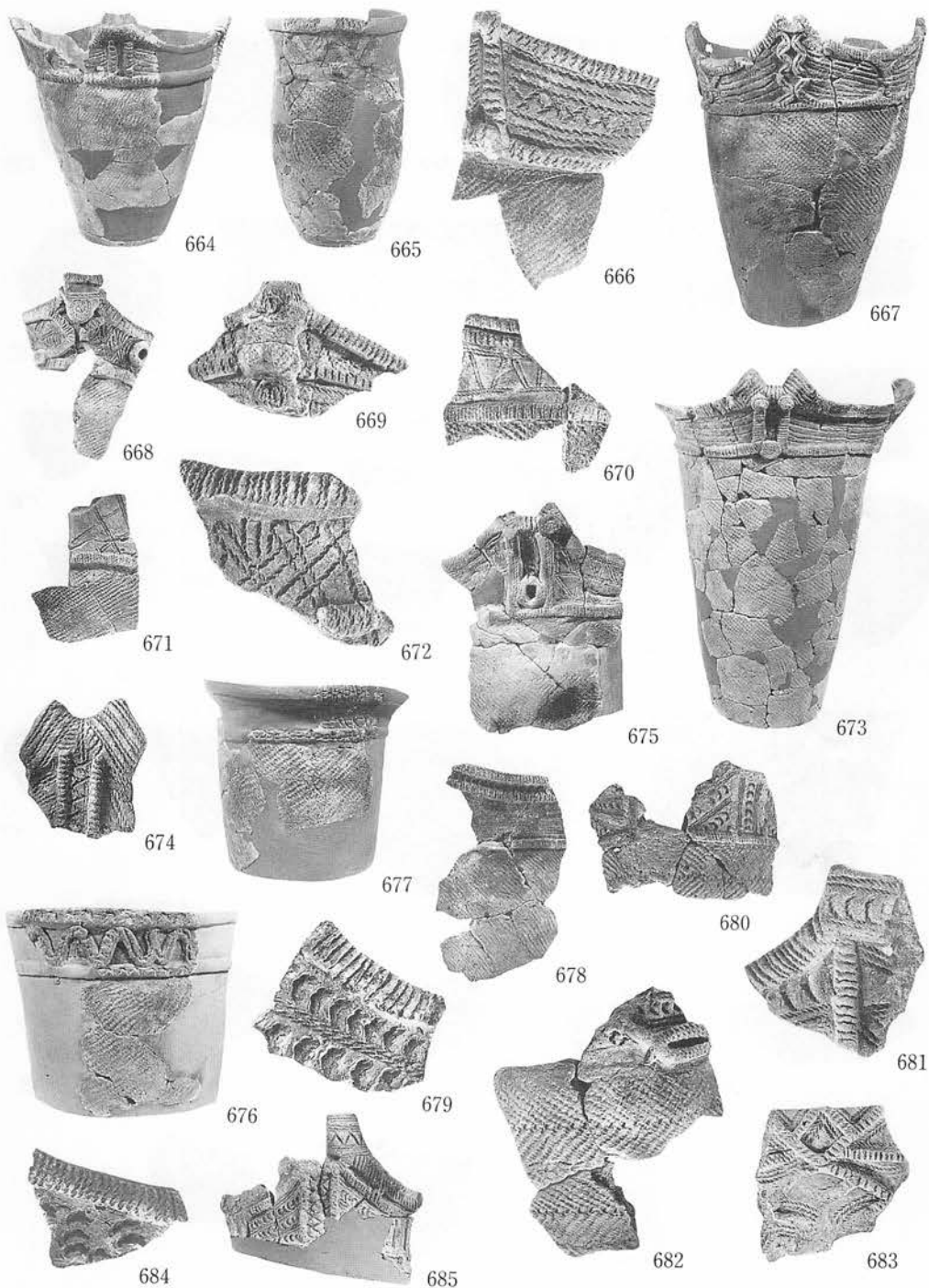
写真図版133 遺構外出土石器類(17)



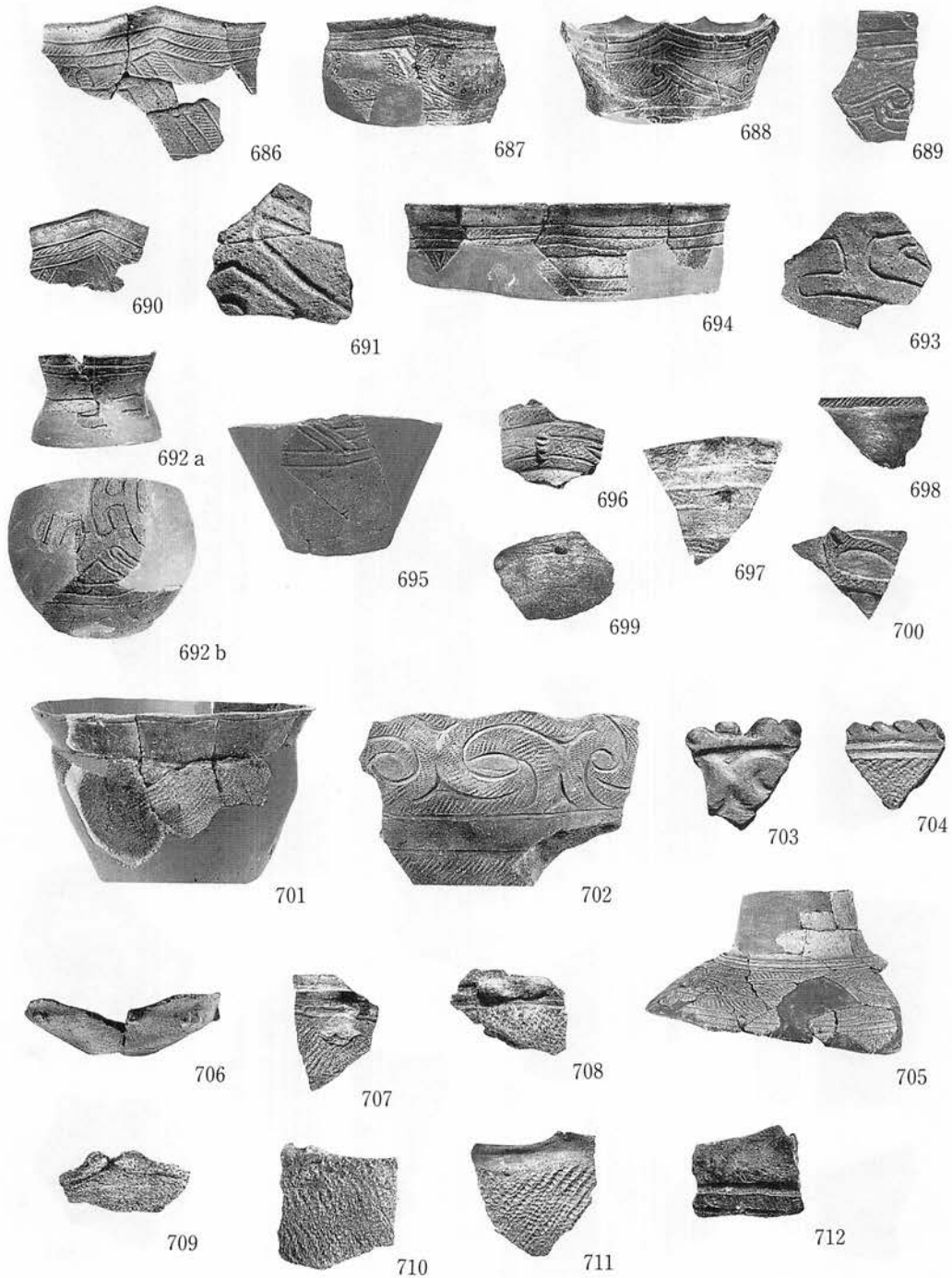
写真図版134 遺構外出土土器類(1)



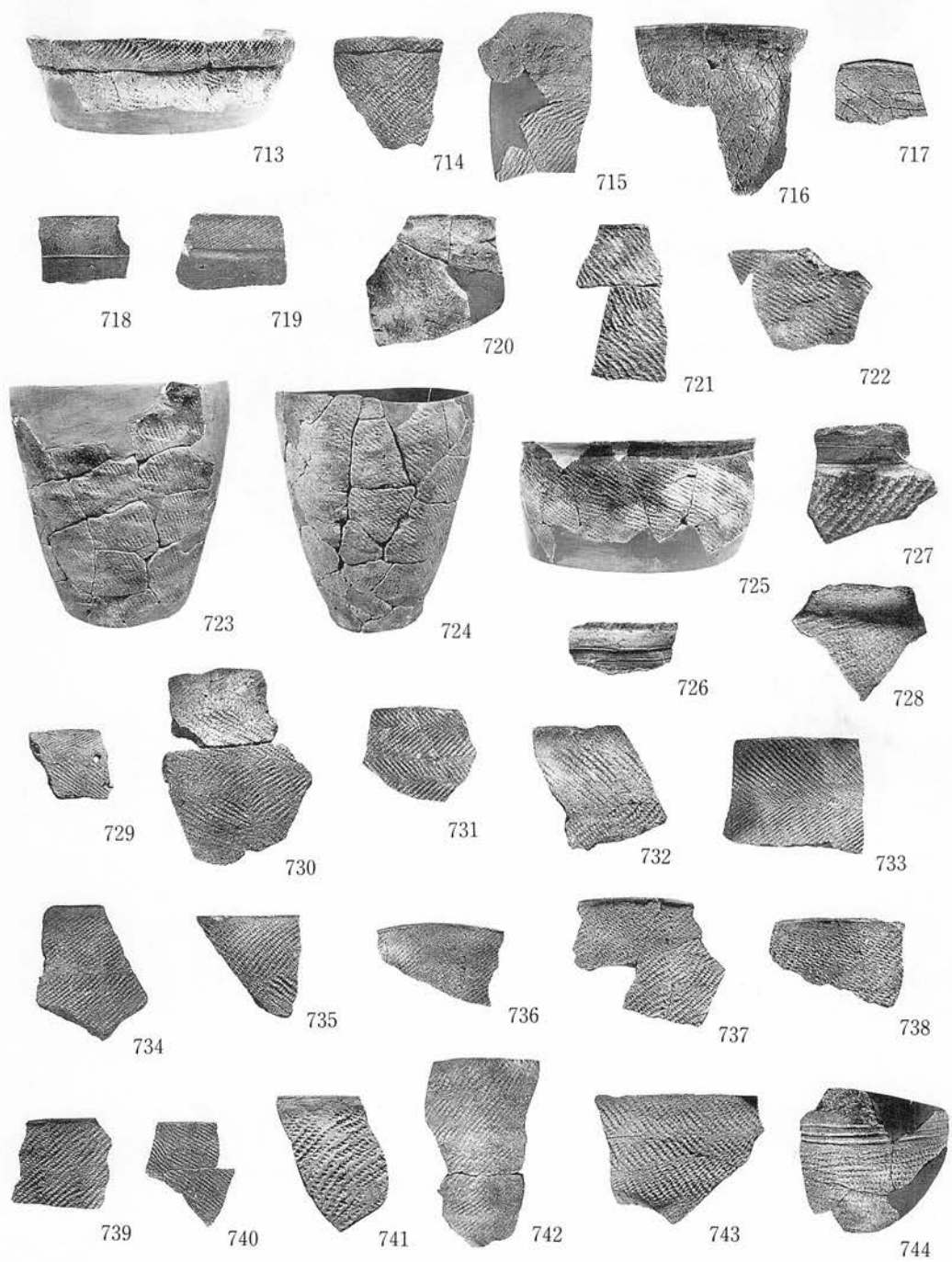
写真図版135 遺構外出土土器類(2)



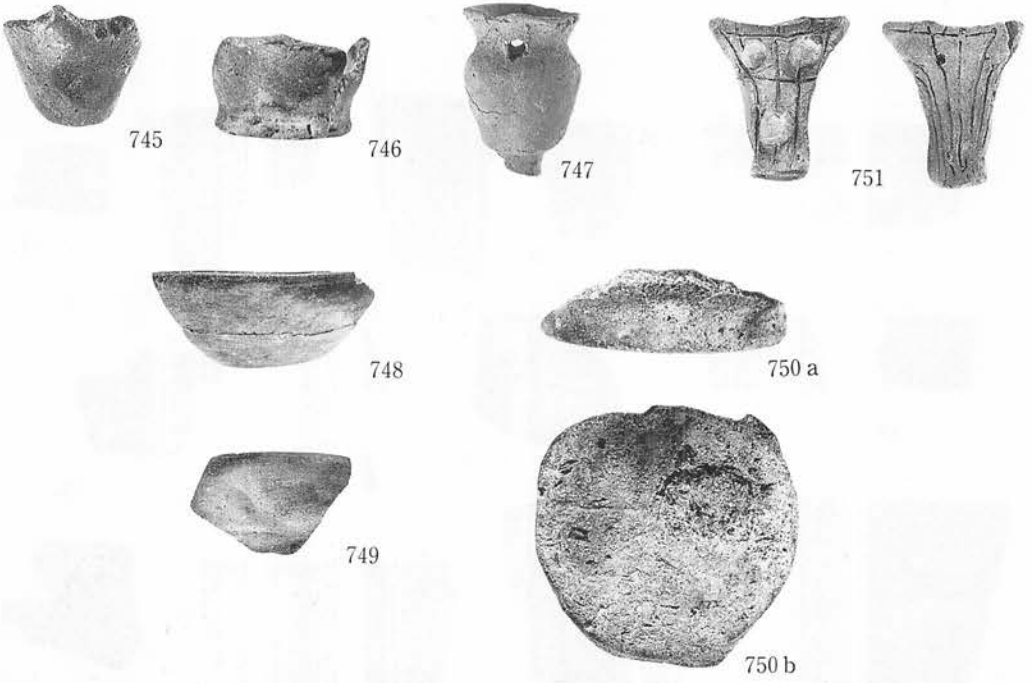
写真図版136 遺構外出土土器類(3)



写真図版137 遺構外出土土器類(4)



写真図版138 遺構外出土土器類(5)



写真図版139 遺構外出土土器類(6)



〈元豐通寶〉



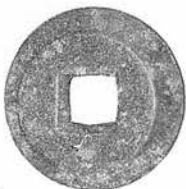
〈元祐通寶〉



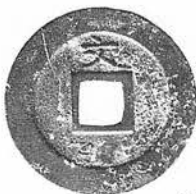
〈永樂通寶〉



〈古寬永〉



〈新寬永〉



〈文寬永〉



〈四文錢〉

報告書抄録

ふりがな	みずよしろうく い せき はつ くつ ちよう き ほう こく しよ							
書名	水吉VI遺跡発掘調査報告書							
副書名	世増ダム関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第219集							
編著者名	濱田 宏・高橋一浩・田中元明							
編集機関	財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL 0196-38-9001							
発行年月日	西暦 1995年 3月 31日							
所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みずよしろうく い せき 水吉VI遺跡	いわてけんくのへぐん 岩手県九戸郡 かるまいちよう 軽米町	03501	IF63-0361	40°22'13"	141°28'57"	1991. 7.16~11.21	5,000m ²	世増ダム 建設に伴 う発掘調 査
						1992. 4.14~10.28	16,900m ²	
						1993. 4.12~10.29	26,660m ²	
						計	48,560m ²	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
みずよしろうく い せき 水吉VI遺跡	集落	縄文時代 (早・前・中・後・ 晩期) 奈良時代 (8世紀) 中世 近世	竪穴住居跡 (縄文時代 8棟) (奈良時代 7棟) 中世 4棟) 土坑 203基 陥し穴状遺構 22基 炉跡 4基 焼土 10基 掘立柱建物跡 5棟	縄文土器 (早・前・中・後・晩期) 石器 土・石製品 土師器(坏・甕・甔) 鉄製品 鉄滓 古銭類 炭化堅果類	縄文時代から近世ま での複合遺跡。 北海道系(擦文系)土 師器甕が出土。			

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長 高 橋 重 實

副 所 長 千 葉 政 男

〔管理課〕

管 理 課 長 澤 田 寛 嘱 託 吉 田 十 次

主 事 佐 藤 理 〃 野 崎 他 夫

〃 久保田 幸 恵

〔調査課〕

調 査 課 長 鈴 木 恵 治 文 化 財 金 子 昭 彦
専門調査員

課 長 補 佐 三 浦 謙 一 〃 木 戸 口 俊 子

〃 高 橋 與 右 衛 門 〃 大 道 篤 史

主 任 文 化 財 菊 池 強 一 〃 阿 部 勝 則
専門調査員

〃 渡 辺 洋 一 〃 星 雅 之

〃 工 藤 利 幸 〃 羽 柴 直 人

〃 中 川 重 紀 〃 高 木 晃

〃 佐 々 木 清 文 〃 村 上 拓

〃 高 橋 義 介 〃 高 橋 佐 知 子

〃 中 村 英 俊 〃 杉 沢 昭 太 郎

文 化 財 酒 井 宗 孝 〃 溜 浩 二 郎
専門調査員

〃 千 葉 孝 雄 期 限 付 高 橋 英 樹
専門職員

〃 菊 池 人 見 〃 佐 藤 修 一

〃 伊 東 格 〃 稲 垣 雅 宏

〃 吉 田 充 〃 元 吉 弘 明

〃 斎 藤 邦 雄 〃 熊 谷 和 明

〃 高 橋 一 浩 〃 佐 々 木 裕 司

〃 鎌 田 勉 〃 千 葉 貴 子

〃 小 山 内 透 〃 沼 田 和 宏

〃 松 本 建 速 〃 後 藤 円

〃 笹 平 克 子

〃 花 坂 政 博

〃 佐 々 木 務

〔資料課〕

資 料 課 長 駒 嶺 高 幸

主 任 文 化 財 高 橋 正 之
専門調査員

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第219集

水吉VI遺跡発掘調査報告書

世増ダム関連遺跡発掘調査

印刷 平成7年3月25日

発行 平成7年3月31日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020 岩手県盛岡市下飯岡11-185

TEL (0196) 38-9001

印刷 株式会社 杜陵印刷

〒020-01 盛岡市みたけ二丁目22-50

TEL (0196) 41-8000(代)

© 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1994